

2022 燃 建 発 第 14 号

2023 年 2 月 28 日

原子力規制委員会 殿

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付 4 番地 108

日本原燃株式会社

代表取締役社長 社長執行役員 増田 尚宏

MOX 燃料加工施設に関する設計及び
工事の計画の変更の認可申請書

核原料物質,核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 16 条の 2 第 2 項の規定に基づき,別紙のとおり MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請をいたします。

本書類の記載内容のうち ■■■■内の記載事項は、商業機密又は核不拡散に係る情報に属するものであり、公開できません。

別紙

一 名称及び住所並びに代表者の氏名

名 称 日本原燃株式会社
住 所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付 4 番地 108
代表者の氏名 代表取締役社長 社長執行役員 増田 尚宏

二 工事を行う事業所の名称及び所在地

名 称 再処理事業所
所 在 地 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

三 変更に係る加工施設の区分並びに設計及び工事の方法

区 分 成形施設 被覆施設 組立施設 核燃料物質の貯蔵施設
その他の加工施設
設計及び工事の計画 別添Ⅰ及び別添Ⅱのとおり

四 変更に係る工事工程表

別添Ⅲのとおり

五 変更に係る設計及び工事に係る品質マネジメントシステム

別添Ⅳのとおり

六 変更の理由

(1) 変更の理由

核原料物質，核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正等に伴い，技術上の基準に適合させるために必要な設計及び工事の計画について，新規制基準に基づき加工の事業の変更の許可を受けた事業変更許可申請書（以下「事業変更許可申請書」という。）を踏まえて変更する。

(2) 分割の理由

本申請の申請範囲は，事業変更許可申請書における変更内容のうち，新規制基準への適合及びその他設計変更に係る MOX 燃料加工施設（以下「本施設」という。）の変更であり，本施設が建設工事の段階であること及び建設工事に時間を要することを踏

まえ、建設工事の工程を考慮し、段階的に工事を実施することが効率的であるため、工事の工程に合わせて申請範囲を4つの時期に分割し、新規申請及び変更申請に区分することで、計7申請に分割して申請する。

本申請の申請範囲を第1表に示す。

なお、今後の進捗に応じて、分割申請の各申請回次の申請内容を変更する可能性がある。

第1表 分割申請計画

申請種別	申請時期	申請回数	施設区分及び設備区分																										申請計画									
			ハ 成形施設	ニ 被覆施設	ホ 組立施設	ヘ 核燃料物質の貯蔵施設	ト 放射性廃棄物の廃棄施設			チ 放射線管理施設	リ その他の加工施設	火災防護設備	照明設備	所内電源設備（電気設備）	補機駆動用燃料補給設備	拡散抑制設備	水供給設備	緊急時対策所	通信連絡設備	核燃料物質の検査設備	核燃料物質の計量設備	主要な実験設備	溢水防護設備	警報関連設備	冷却水設備	給排水衛生設備	空調用設備	窒素循環関係設備	水素・アルゴンガス用設備	その他ガス設備	選別・保管設備	荷役設備	2020年度	2021年度	2022年度		2023年度	
							気体廃棄物の廃棄設備	液体廃棄物の廃棄設備	固体廃棄物の廃棄設備																										下期	上期	下期	上期
新規制基準への適合	第1回	2項変更	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▽						
	第2回	2項変更	●	●	●	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	-	●	-	●	-	-	-			▽			
		1項新規	●	●	●	●	●	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	●	-	●	●	-	●	-	-			▽				
	第3回	2項変更	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-				▽			
		1項新規	●	-	-	-	●	-	-	●	●	●	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	-	●	-	●	-	-	●	-	●	●			▽			
	第4回	2項変更	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				▽			
		1項新規	-	-	-	●	-	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	●	-	-	●	●	-	-	-	●	-				▽		

注記 *1: 主配管（海洋放出管理系（燃料加工建屋の排水口から再処理施設との取合点までの範囲））が対象。

基本設計方針及び工事の方法

目 次

I-1 基本設計方針

I-2 工事の方法

I - 1 基本設計方針

「I-1 基本設計方針」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設
工認申請書の「I-1 基本設計方針」による。

I - 2 工事の方法

「I-2 工事の方法」は、令和4年9月14日付け原規規発第2209145号にて認可を受けた設工認申請書の「I-2 工事の方法」に同じである。

各施設的设计条件及び仕様並びに
準拠規格及び基準

目 次

- ハ 成形施設
 - 1. 設計条件及び仕様
 - 1.2 貯蔵容器搬送用洞道
 - 2. 準拠規格及び基準
- ニ 被覆施設
 - 1. 設計条件及び仕様
 - 1.1 燃料棒加工工程
 - 1.1.1 スタック編成設備
 - 1.1.2 スタック乾燥設備
 - 1.1.4 燃料棒検査設備
 - 1.1.5 燃料棒収容設備
 - 1.1.7 燃料棒加工工程搬送設備
 - 2. 準拠規格及び基準
- ホ 組立施設
 - 1. 設計条件及び仕様
 - 1.1 燃料集合体組立工程
 - 1.1.4 燃料集合体組立工程搬送設備
 - 2. 準拠規格及び基準
- ヘ 核燃料物質の貯蔵施設
 - 1. 設計条件及び仕様
 - 1.1 貯蔵容器一時保管設備
 - 1.4 粉末一時保管設備
 - 1.5 ペレット一時保管設備
 - 1.6 スクラップ貯蔵設備
 - 1.7 製品ペレット貯蔵設備
 - 1.8 燃料棒貯蔵設備
 - 2. 準拠規格及び基準
- ト 放射性廃棄物の廃棄施設
 - 1. 設計条件及び仕様
 - 1.2 液体廃棄物の廃棄設備
 - 1.2.1 低レベル廃液処理設備
 - 2. 準拠規格及び基準
- リ その他の加工施設

1. 設計条件及び仕様
 - 1.1 非常用設備
 - 1.1.1 火災防護設備
 - 1.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備
 - 1.2.1 核燃料物質の検査設備
 - 1.2.1.1 分析設備
 - 1.3 その他の主要な事項
 - 1.3.2 冷却水設備
 - 1.3.3 窒素循環関係設備
 - 1.3.4 その他ガス設備
2. 準拠規格及び基準
 - 2.1 非常用設備
 - 2.1.1 火災防護設備の準拠規格及び基準
 - 2.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備
 - 2.2.1 核燃料物質の検査設備の準拠規格及び基準
 - 2.3 その他の主要な事項
 - 2.3.1 警報関連設備の準拠規格及び基準
 - 2.3.2 冷却水設備の準拠規格及び基準
 - 2.3.3 給排水衛生設備の準拠規格及び基準
 - 2.3.4 空調用設備の準拠規格及び基準
 - 2.3.5 窒素循環関係設備の準拠規格及び基準
 - 2.3.6 その他ガス設備の準拠規格及び基準

八 成形施設

1. 設計条件及び仕様

1.2 貯蔵容器搬送用洞道

(1) 建物・構築物

a. 建屋・洞道

			変更前	変更後	
名称			貯蔵容器搬送用洞道*1 (再処理施設と共用)	変更なし	
種類*3		—	鉄筋コンクリート造		
主要 寸 法	幅		m		7.60～8.30*2
	高さ*6		m		5.55～5.90*2
	壁 厚 さ	側壁	m		1.30～1.65*2*4
		頂版	m		1.30～1.65*2*4
		底版	m		1.40*2*4
底面の標高		—	T. M. S. L. 36.85m		
主要材料		—	鉄筋コンクリート*5		
個数		—	1		

注記 *1：貯蔵容器搬送用洞道は、MOX 燃料加工施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化。既設工認には「主要構造」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 コンクリート：JASS5N の規定による普通コンクリート設計基準強度 $F_c=30\text{N/mm}^2$ 密度 $2.15 \times 10^3\text{kg/m}^3$ 以上」と記載。

*6：高さは、底版を含めた高さ示す。

b. 遮蔽設備
 (a) 建屋壁遮蔽

名 称 類	変更前		変更後	
	主要寸法*2 (mm)	材料	主要寸法*2 (mm)	材料
洞道遮蔽 (貯蔵容器搬送用洞道)	1290(1300*1)	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)		変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：遮蔽設計上考慮する厚さを示す。

2. 準拠規格及び基準

「2. 準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「ハ 成形施設」の「2. 準拠規格及び基準」による。

二 被覆施設

1. 設計条件及び仕様
 1.1 燃料棒加工工程
 1.1.1 スタック編成設備
 (1) 搬送設備

			変更前	変更後
名称*2			空乾燥ボート取扱装置 (PA0141-M-30000)	変更なし
種類*3		—	コンベア方式	
容量*4	乾燥ボートストック コンベア	kg	540	
	乾燥ボート移載機	kg	60	
	乾燥ボート 秤量テーブル*5	kg	60	
主要寸法*6	たて	mm	4240*1	
	横	mm	500*1	
	高さ	mm	469*1	
主要材料*7		—	SUS304	
個数*8		—	1	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*5	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10	変更なし
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—*10	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*5：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

(2) 機械装置

a. 機械・検査装置

			変更前	変更後
名称*2			波板トレイ取出装置 (PA0141-M-11000, -21000)*3	変更なし
種類*4		—	クレーン方式	
容量*5	ペレット保管容器 移載機	kg	35	
	波板トレイ取扱機	kg	35	
	実ペレット保管容器 設置テーブル-1*6	kg	35	
主要寸法 *7*12	たて	mm	3900*1	
	横	mm	960*1	
	高さ	mm	2660*1	
主要材料*8		—	SUS304	
個数*9		—	2	
取付箇所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*6	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「波板トレイ取出装置A」及び「波板トレイ取出装置B」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

*12：波板トレイ取出装置A，スタック編成装置A及びスタック収容装置Aの合計寸法又は波板トレイ取出装置B，スタック編成装置B及びスタック収容装置Bの合計寸法を示す。

		変更前		変更後
名称*2		スタック編成装置 (PA0141-M-12000, -22000)*3		変更なし
種類*4		—	マグネスケール方式	
容量*5	波板トレイスライ ドテーブル*6	kg	5	
	スタックトレイス ライドテーブル*6	kg	8	
主要寸法 *7*12	たて	mm	3900*1	
	横	mm	960*1	
	高さ	mm	2660*1	
主要材料*8		—	SUS304	
個数*9		—	2	
取付箇所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*6	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「スタック編成装置A」及び「スタック編成装置B」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

*12：波板トレイ取出装置A，スタック編成装置A及びスタック収容装置Aの合計寸法又は波板トレイ取出装置B，スタック編成装置B及びスタック収容装置Bの合計寸法を示す。

			変更前	変更後
名称*2			スタック収容装置 (PA0141-M-13000, -23000)*3	変更なし
種類*4		—	クレーン方式, リフタ方式	
容量*5	スタック秤量テーブル *6	kg	8	
	スタックトレイ 取扱機*6	kg	60	
	乾燥ボート 段積テーブル*6	kg	60	
	乾燥ボート移載機-1*6	kg	60	
	乾燥ボート移載機-2*6	kg	60	
	乾燥ボートリフタ*6	kg	60	
主要寸法 *7*12	たて	mm	3900*1	
	横	mm	960*1	
	高さ	mm	2660*1	
主要材料*8		—	SUS304	
個数*9		—	2	
取付箇所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*6	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「スタック収容装置A」及び「スタック収容装置B」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

- *9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *11：本装置は，溢水防護対象でないため「－」とする。
- *12：波板トレイ取出装置A，スタック編成装置A及びスタック収容装置Aの合計寸法又は波板トレイ取出装置B，スタック編成装置B及びスタック収容装置Bの合計寸法を示す。

(3) 核物質等取扱ボックス

			変更前	変更後
名称*2			スタック編成設備 グローブボックス*3 (PA0141-B-11700, -21700)	変更なし
種類*4		—	グローブボックス	
臨 界 管 理	核的制 限值*13	取扱Pu* 質量*14	kg・ Pu* 36.0	
	他の単一ユニットとの 相互間隔		mm 300以上	
	設置する室の壁・天井 までの距離*5		mm 300以上	
	単一ユニット相互間の 壁厚さ		mm 305以上*15	
漏れ率*6*17		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*7*16		m/s	0.5以上	
主要寸法*8	たて	mm	4000*1	
	横	mm	1300*1	
	高さ	mm	2800*1*15	
主要材料*9	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*10		—	2	変更なし
取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)		—	
	設置床		— 燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*15	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*12
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*12

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「スタック編成設備Aグローブボックス」及び「スタック編成設備Bグローブボックス」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。

- *6：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *10：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *11：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *12：本機器は、溢水防護対象ではないため「－」とする。
- *13：スタック編成設備Aグローブボックスに単一ユニット(スタック編成ユニットA)、スタック編成設備Bグローブボックスに単一ユニット(スタック編成ユニットB)を設定する。
- *14：Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、
kg・Pu*は、その合計質量とする。
- *15：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- *16：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
- *17：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

				変更前	変更後
名称*2				空乾燥ボート取扱装置 グローブボックス (PA0141-B-30700)	変更なし
種類*3			—	グローブボックス	
臨界 管理	核的制 限值*12	取扱Pu* 質量*13	kg・ Pu*	36.0	
	他の単一ユニットとの 相互間隔		mm	300以上	
	設置する室の壁・天井 までの距離*4		mm	300以上	
	単一ユニット相互間の 壁厚さ		mm	305以上*14	
漏れ率*5*16			vol% /h	0.25以下	
開口部風速*6*15			m/s	0.5以上	
主要 寸法 *7	たて		mm	2500*1	
	横		mm	800*1	
	高さ		mm	1000*1*14	
主要 材料 *8	本体		—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部		—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9			—	1	変更なし
取付 箇所 *10	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*14	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番 号		—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

- *6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *11：本機器は、溢水防護対象ではないため「ー」とする。
- *12：本グローブボックスに単一ユニット(空乾燥ポート取扱ユニット)を設定する。
- *13：Pu*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし，
kg・Pu*は，その合計質量とする。
- *14：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *15：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
- *16：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

1.1.2 スタック乾燥設備

(1) 搬送設備

		変更前	変更後	
名称* ²		乾燥ボート供給装置 (PA0142-M-11000, -21000)* ³	変更なし	
種類* ⁴		—		クレーン方式
容量* ⁵	乾燥ボート移載機	kg		60
	乾燥ボート取扱機	kg		60
主要寸法* ⁶	たて	mm		2230* ¹
	横	mm		1050* ¹
	高さ	mm		1904* ¹
主要材料* ⁷		—		SUS304
個数* ⁸		—		2
取付箇所* ⁹	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m* ¹¹	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画 番号	—	—* ¹⁰	変更なし
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—* ¹⁰	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「乾燥ボート供給装置 A」及び「乾燥ボート供給装置 B」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

*11：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート取出装置 (PA0142-M-13000, -23000)*3	変更なし
種類*4		—	クレーン方式, リフタ方式	
容量 *5	乾燥ボート取扱機	kg	60	
	乾燥ボートリフタ	kg	60	
	乾燥ボート秤量テーブル*6	kg	60	
主要 寸法 *7	たて	mm	2780*1	
	横	mm	1050*1	
	高さ	mm	2633*1	
主要材料*8		—	SUS304	
個数*9		—	2	
取付 箇所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*6	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「乾燥ボート取出装置 A」及び「乾燥ボート取出装置 B」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

(2) 機械装置

a. 焼結・乾燥装置

				変更前	変更後
名称*2				スタック乾燥装置 (PA0142-M-12000, -22000)*3	変更なし
種類*4			—	電気加熱方式	
臨界 管理	核的制限値 *12	Pu*質量*13	kg・Pu*	36.0	
	他の単一ユニットとの相互 間隔		mm	300以上	
	設置する室の壁・天井まで の距離*5		mm	300以上	
	単一ユニット相互間の壁厚 さ		mm	305以上*14	
漏れ率*6*15			vol%/h	0.25以下	
主要 寸法 *7	たて		mm	10060*1	
	よこ		mm	1518*1	
	高さ		mm	1332*1	
主要材料*8			—	SUS304, STKR400 SUS304TP, SUS316	
個数*9			—	2	
取付 箇所 *10	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*14	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ		—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「スタック乾燥装置 A」及び「スタック乾燥装置 B」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。

- *6：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *11：本装置は、溢水防護対象でないため「－」とする。
- *12：スタック乾燥装置 A に単一ユニット(スタック乾燥ユニット A)，スタック乾燥装置 B に単一ユニット(スタック乾燥ユニット B)を設定する。
- *13：Pu*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241 及びウラン-235 の総称とし，kg・Pu*は，その合計質量とする。
- *14：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *15：グローブボックスと同等の漏れ率を担保するため，JIS Z 4820 グローブボックス気密試験方法に基づき，焼結炉の給排気系等を防止した状態で炉内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と 1 時間後の大気圧と炉内圧力の差により算出する。

(3) 核物質等取扱ボックス

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート供給装置 グローブボックス*3 (PA0142-B-11700, -21700)	変更なし
種類*4		—	グローブボックス	
臨 界 管 理	核的制 限值*13	取扱Pu* 質量*14	kg・ Pu* 36.0	
	他の単一ユニットとの 相互間隔		mm 300以上	
	設置する室の壁・天井 までの距離*5		mm 300以上	
	単一ユニット相互間の 壁厚さ		mm 305以上*15	
漏れ率*6*17		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*7*16		m/s	0.5以上	
主要寸法*8	たて	mm	2500*1	
	横	mm	1300*1	
	高さ	mm	2800*1*15	
主要材料*9	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*10		—	2	変更なし
取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)		—	
	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42.60m*15	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43.20m
	溢水防護上の区画番号		—*12	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—*12	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「乾燥ボート供給装置Aグローブボックス」及び「乾燥ボート供給装置Bグローブボックス」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。

- *6：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *10：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *11：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *12：本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。
- *13：乾燥ポート供給装置Aグローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニットA)、乾燥ポート供給装置Bグローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニットB)を設定する。
- *14：Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、
kg・Pu*は、その合計質量とする。
- *15：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- *16：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
- *17：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート取出装置 グローブボックス*3 (PA0142-B-13700, -23700)	変更なし
種類*4		—	グローブボックス	
臨 界 管 理	核的制 限值*13	取扱Pu* 質量*14	kg・Pu* 36.0	
	他の単一ユニットとの 相互間隔		mm 300以上	
	設置する室の壁・天井 までの距離*5		mm 300以上	
	単一ユニット相互間の 壁厚さ		mm 305以上*15	
漏れ率*6*17		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*7*16		m/s	0.5以上	
主要寸法*8	たて	mm	3000*1	
	横	mm	1300*1	
	高さ	mm	2800*1*15	
主要材料*9	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*10		—	2	変更なし
取 付 箇 所 *11	系統名(ライン名)		—	変更なし
	設置床		— 燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*15	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*12
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*12

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「乾燥ボート取出装置Aグローブボックス」及び「乾燥ボート取出装置Bグローブボックス」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

- *7：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *10：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *11：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *12：本機器は、溢水防護対象ではないため「－」とする。
- *13：乾燥ポート取出装置Aグローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニットA)，乾燥ポート取出装置Bグローブボックスに単一ユニット(スタック乾燥ユニットB)を設定する。
- *14：Pu*は、プルトニウム-239，プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし，
kg・Pu*は，その合計質量とする。
- *15：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *16：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。
- *17：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

1.1.4 燃料棒検査設備

(1) 搬送設備

				変更前	変更後
名称 ^{*2}				燃料棒移載装置 (PA0146-M-60000)	
種類 ^{*3}			—	台車方式	
臨界管理	核的制限値 ^{*4}	燃料棒の 平板厚さ	mm	150	
	単一ユニット相互間の壁 厚さ		mm	305以上 ^{*6}	
容量 ^{*5}	移載機-1		kg	5	
	移載機-2		kg	40	
	移載機-3		kg	5	
	移載機-4		kg	5	
	移載機-5		kg	5	
	ローラコンベア-1 ^{*6}		kg	5	
	ローラコンベア-2 ^{*6}		kg	5	
	ローラコンベア-3 ^{*6}		kg	40	
	ローラコンベア-4 ^{*6}		kg	40	
	ローラコンベア-5 ^{*6}		kg	5	
	ローラコンベア-6 ^{*6}		kg	80	
	ローラコンベア-7 ^{*6}		kg	40	
	ローラコンベア-8 ^{*6}		kg	5	
	ローラコンベア-9 ^{*6}		kg	5	
	ローラコンベア-10 ^{*6}		kg	5	
ローラコンベア-11 ^{*6}		kg	5		
ローラコンベア-12 ^{*6}		kg	5		
ローラコンベア-13 ^{*6}		kg	5		
ローラコンベア-14 ^{*6}		kg	5		
ローラコンベア-15 ^{*6}		kg	40		
主要寸法 ^{*7}	燃料棒移載装置		たて	mm	4600 ^{*1}
			横	mm	32200 ^{*1}
			高さ	mm	1225 ^{*1}
	ゲート-1	高さ	mm	140 ^{*1}	
	ゲート-2	高さ	mm	140 ^{*1}	

変更なし

(続き)

				変更前	変更後
主要寸法*7	ゲート-3	高さ	mm	140*1	
主要材料*8	燃料棒移載装置		—	STKR400	変更なし
	ゲート-1		—	STKR400	
	ゲート-2		—	STKR400	
	ゲート-3		—	STKR400	
個数*9			—	1*10	
取付箇所 *11	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 42. 60m*6	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*12	変更なし
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ		—	—*12	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット)を設定する。

*5：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「1台」と記載。記載内容は、設計図書による。

*11：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*12：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

1.1.5 燃料棒収容設備

(1) 運搬・製品容器

			変更前	変更後
名称 ^{*2}			貯蔵マガジン	
種類 ^{*3}		—	格子配列方式	
臨 界 管 理	貯蔵マガジンの形状(外形) ^{*4}		—	360mm×360mm以上
	貯蔵マガジン中心から最も 近い燃料棒中心までの距離 ^{*5}		mm	39以下
	燃料棒間隔 ^{*5*10}		mm	17以下
	中性子吸収材 ^{*6}	厚さ	mm	3以上
		材料	—	ほう素入りステンレス鋼 (ほう素濃度：0.8%以上)
容量	燃料棒収納数		本	256
最高使用圧力			Pa	大気圧 ^{*11}
最高使用温度			℃	75
主 要 寸 法 ^{*7}	たて		mm	4500 ^{*1}
	横		mm	400 ^{*1}
	高さ		mm	440 ^{*1}
	貯蔵マガジン中心から最も 近い燃料棒中心までの距離		mm	37 ^{*1}
	燃料棒間隔		mm	16.3 ^{*1}
	厚さ	中性子吸収材	mm	3 ^{*1}
	主要材料 ^{*8}			—
個数 ^{*9}			—	72

変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「貯蔵マガジンの形状」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「燃料棒の配置」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「中性子吸収剤(ほう素入りステンレス鋼)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：燃料棒を8行×8列正方格子に配列したものを2行×2列格子に配置する。

*11：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。

(2) 搬送設備

				変更前	変更後
名称*2				貯蔵マガジン移載装置 (PA0147-M-30000)	変更なし
種類*3			—	コンベア方式	
臨界管理	核的制限値*10	貯蔵マガジン取扱段数	段	1	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上*11	
容量*4	昇降機		kg	1600	
	移載機		kg	1600	
主要寸法*5	昇降機	たて	mm	3870*1	
		横	mm	1365*1	
		高さ	mm	1898*1	
	移載機	たて	mm	2000*1	
		横	mm	485*1	
		高さ	mm	495*1	
主要材料*6	昇降機		—	SS400, STKR400	
	移載機		—	STKR400	
個数*7			—	1	
取付箇所*8	系統名 (ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料棒加工第3室 T. M. S. L. 42. 60m*11	燃料棒加工第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*9	変更なし
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*9	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*9：本装置は，溢水防護対象でないため「－」とする。

*10：本装置に単一ユニット(貯蔵マガジン移載ユニット)を設定する。

*11：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。

(3) 機械装置

a. 機械・検査装置

				変更前	変更後
名称*2				燃料棒収容装置 (PA0147-M-10000)	
種類*3			—	コンベア方式	
臨界 管理	核的制限値 *10	平板厚さ	mm	150	
		貯蔵マガジン 取扱段数	段	1	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上*11	
容量 *4	燃料棒挿入機		kg	40	
	収容マガジン取扱機		kg	1600	
主要 寸法 *5	燃料棒挿入機	たて	mm	5755*1	
		横	mm	400*1	
		高さ	mm	951*1	
	収容マガジン 取扱機	たて	mm	4480*1	
		横	mm	1150*1	
		高さ	mm	1661*1	
主要 材料 *6	燃料棒挿入機		—	SS400, STKR400	
	収容マガジン取扱機		—	SS400, STKR400	
個数*7			—	1	
取付 箇所 *8	系統名 (ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料棒加工第3室 T. M. S. L. 42. 60m*11	燃料棒加工第3室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*9	
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ		—	—*9	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

- *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *9：本装置は，溢水防護対象でないため「－」とする。
- *10：本装置に単一ユニット(燃料棒検査ユニット，燃料棒収容ユニット)を設定する。
- *11：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。

				変更前	変更後
名称*2				燃料棒供給装置 (PA0147-M-20000)	
種類*3			—	コンベア方式	
臨界 管理	核的制限値 *10	平板厚さ	mm	150	
		貯蔵マガジン 取扱段数	段	1	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上*11	
容量 *4	燃料棒挿抜機		kg	40	
	供給マガジン取扱機		kg	1600	
主要 寸法 *5	燃料棒挿抜機	たて	mm	5755*1	
		横	mm	400*1	
		高さ	mm	951*1	
	供給マガジン 取扱機	たて	mm	4480*1	
		横	mm	1150*1	
		高さ	mm	1661*1	
	押出機	たて	mm	3500*1	
		横	mm	460*1	
		高さ	mm	956*1	
	ゲート	高さ	mm	140*1	
主要 材料 *6	燃料棒挿抜機		—	SS400, STKR400	
	供給マガジン取扱機		—	SS400, STKR400	
	押出機		—	SS400	
	ゲート		—	STKR400	
個数*7			—	1	
取付 箇所 *8	系統名 (ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料棒加工第3室 T. M. S. L. 42. 60m*11	
	溢水防護上の区画番号		—	—*9	
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ		—	—*9	

変更なし

燃料棒加工第3室
T. M. S. L. 43. 20m

変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

- *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *9：本装置は、溢水防護対象でないため「－」とする。
- *10：本装置に単一ユニット(燃料棒立会検査ユニット，燃料棒供給ユニット)を設定する。
- *11：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。

1. 燃料棒加工工程搬送設備

(1) 搬送設備

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器 搬送装置 (PA0144-M-10000)	変更なし
種類*3		—	台車方式 クレーン方式 リフタ方式	
臨界管理	ペレット積載部高さ	mm	105以下	
容量*4	搬送台車-1	kg	35	
	搬送台車-2	kg	35	
	搬送台車-3	kg	35	
	移載機付搬送台車	kg	35	
	移載機付 スライド台車-1	kg	35	
	移載機付 スライド台車-2	kg	35	
	移載機-1	kg	35	
	移載機-2	kg	35	
	移載機-3	kg	35	
	移載機-4	kg	35	
	取扱機-1	kg	35	
	取扱機-2	kg	35	
	リフタ	kg	35	
	秤量テーブル-1	kg	35	
	秤量テーブル-2	kg	35	
	秤量テーブル-3	kg	35	
秤量テーブル-4	kg	35		
主要寸法 *5	たて	mm	9005*1	
	横	mm	19619*1	
	高さ	mm	4491*1	
	高さ確認ゲ ート-1, -2	高さ	mm	98*1*11

(続き)

		変更前	変更後
主要材料*6		—	SUS304
個数*7		—	1*8
取付箇所 *9	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室, ペレット立会室 T. M. S. L. 42. 60m*11
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—	—*10
			変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「1式」と記載。記載内容は、設計図書による。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

*11：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

		変更前	変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 (PA0144-M-20000)	
種類*3		—	台車方式 クレーン方式
容量*4	搬送台車	kg	60
	移載機付搬送台車-1	kg	60
	移載機付搬送台車-2	kg	60
	移載機付搬送台車-3	kg	60
	移載機付スライド台車	kg	60
	移載機-1	kg	60
	移載機-2	kg	60
	移載機-3	kg	60
	移載機-4	kg	60
	移載機-5	kg	60
	取扱機-1	kg	60
	取扱機-2	kg	60
	取扱機-3	kg	60
	取扱機-4	kg	60
	取扱機-5	kg	60
	取扱機-6	kg	60
	秤量テーブル-1	kg	60
	秤量テーブル-2	kg	60
	秤量テーブル-3	kg	60
	秤量テーブル-4	kg	60
	秤量テーブル-5	kg	60
秤量テーブル-6	kg	60	
秤量テーブル-7	kg	60	
スライド付仮置台	kg	60	
主要寸法*5	たて	mm	13024*1
	横	mm	15618*1
	高さ	mm	1363*1
主要材料*6		—	SUS304
個数*7		—	1*8

変更なし

(続き)

		変更前	変更後
取付箇所 ^{*9}	系統名(ライン名)	—	変更なし
	設置床	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m ^{*11}	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の 区画番号	— ^{*10}	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	— ^{*10}	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「1式」と記載。記載内容は、設計図書による。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

			変更前	変更後
名称*2			燃料棒搬送装置 (PA0144-M-30000)	変更なし
種類*3		—	台車方式 スライドテーブル方式	
容量 *4	搬送台車	kg	40	
	解体投入機	kg	40	
	再検査投入機	kg	40	
	取出機	kg	40	
	出入機	kg	40	
	ローラコンベア-3*5	kg	5	
主要 寸法 *6	たて	mm	5048*1	
	横	mm	41480*1	
	高さ	mm	2192*1	
主要材料*7		—	SS400, STKR400	
個数*8		—	1*9	
取付 箇所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 42. 60m*5	燃料棒加工第1室, 燃料棒加工第2室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*5：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「1式」と記載。記載内容は、設計図書による。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本装置は、溢水防護対象でないため「—」とする。

(2) 核物質等取扱ボックス

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-1 (PA0144-B-10701)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1000*1	
	横	mm	1130*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-2 (PA0144-B-10702)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1000*1	
	横	mm	900*1	
	高さ	mm	2800*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-3 (PA0144-B-10703)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1550*1	
	横	mm	1200*1	
	高さ	mm	1500*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-4 (PA0144-B-10704)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	3300*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室, 燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-5 (PA0144-B-10705)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	2400*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

		変更前		変更後
名称*2		ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-6 (PA0144-B-10706)		変更なし
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	3000*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒解体室, ペレット立会室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力

より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-7 (PA0144-B-10707)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	4000*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-8 (PA0144-B-10708)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	3000*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-9 (PA0144-B-10709)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1800*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-10 (PA0144-B-10710)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1800*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-11 (PA0144-B-10711)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	3000*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			ペレット保管容器搬送装置 グローブボックス-12 (PA0144-B-10712)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	2600*1	
	横	mm	1200*1	
	高さ	mm	1500*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒解体室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒解体室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-1 (PA0144-B-20701)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1500*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)		—	
	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-2 (PA0144-B-20702)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1500*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*9		—	1	
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)		—	
	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— *11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		— *11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

		変更前		変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-3 (PA0144-B-20703)		変更なし
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	4300*1	
	横	mm	1200*1	
	高さ	mm	1500*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-4 (PA0144-B-20704)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	2885*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)		—	
	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— *11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		— *11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-5 (PA0144-B-20705)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	2000*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

		変更前		変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-6 (PA0144-B-20706)		変更なし
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	3775*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

		変更前		変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-7 (PA0144-B-20707)		変更なし
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	2200*1	
	横	mm	1200*1	
	高さ	mm	1500*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-8 (PA0144-B-20708)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1650*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

		変更前		変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-9 (PA0144-B-20709)		変更なし
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	2200*1	
	横	mm	1200*1	
	高さ	mm	1500*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

		変更前		変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-10 (PA0144-B-20710)		変更なし
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	1580*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-11 (PA0144-B-20711)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	1000*1	
	横	mm	1100*1	
	高さ	mm	1500*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)		—	
	設置床		燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		— *11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		— *11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

		変更前		変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-12 (PA0144-B-20712)		変更なし
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	2000*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

			変更前	変更後
名称*2			乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-13 (PA0144-B-20713)	変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*5*13		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*6*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*7	たて	mm	5000*1	
	横	mm	800*1	
	高さ	mm	1000*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*9		—	1	
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

		変更前		変更後
名称*2		乾燥ボート搬送装置 グローブボックス-14 (PA0144-B-20714)		変更なし
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*5*13	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*6*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*7	たて	mm	6000*1	
	横	mm	1200*1	
	高さ	mm	1500*1*4	
主要材料*8	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート 樹脂
個数*9		—	1	変更なし
取 付 箇 所 *10	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 42. 60m*4	燃料棒加工第1室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	変更なし
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「閉じ込めの機能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12：グローブ1個が破損した場合のグローブポートの開口部における風速を示す。

*13：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。

2. 準拠規格及び基準

「2. 準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「ニ 被覆施設」の「2. 準拠規格及び基準」による。

ホ 組立施設

1. 設計条件及び仕様

1.1 燃料集合体組立工程

1.1.4 燃料集合体組立工程搬送設備

(1) 搬送設備

				変更前	変更後
名称*2				組立クレーン (PA0154-M-10000)	変更なし
種類*3			—	床上走行式	
臨界 管理	核的制限値*11	燃料集合体取扱 体数	体	1	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上*12	
容量*4			t	1.2	
主要 寸法 *5	走行レール間距離		mm	8000*1	
	クレーン本体ガード距離		mm	3016*1	
	高さ		mm	5744*1	
	クレーン本体ガード幅		mm	580*1	
主要 材料 *6	ガード		—	SS400*7	
	高さ		mm	740*1	
個数*8			—	1	
取付 箇所 *9	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料集合体組立 クレーン室 T. M. S. L. 49. 10m*12	燃料集合体組立 クレーン室 T. M. S. L. 50. 30m
	溢水防護上の区画番号		—	—*10	変更なし
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*10	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「鋼材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：本装置は，溢水防護対象でないため「-」とする。

*11：本装置に単一ユニット(組立クレーンユニット)を設定する。

*12：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。

2. 準拠規格及び基準

「2. 準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「ホ 組立施設」の「2. 準拠規格及び基準」による。

〰 核燃料物質の貯蔵施設

1. 設計条件及び仕様
 1.1 貯蔵容器一時保管設備
 (1) ラック/ピット/棚

			変更前	変更後	
名称*2			一時保管ピット (PA0112-M-01101)	変更なし	
種類*3		—	縦置貯蔵方式*9		
臨 界 管 理	中心間距離(ピット間 隔)*12		mm		行方向600以上 列方向600以上
	設置する室 の壁・床・ 天井までの 距離	南壁	mm		1300以上
		北壁	mm		1300以上
		床	mm		500以上
		天井	mm		100以上
単一ユニット相互間の壁 厚さ		mm	305以上*10		
容量*4		t・HM	1.2(32ピット)		
主 要 寸 法 *5	たて		mm		3070*1
	横		mm		6370*1
	高さ		mm		2010*1
	中心間距離(ピット間隔)		mm		行方向825*1*10 列方向825*1*10
主要材料*6		—	SS400, SUS304		
個数*7		—	1		
取 付 箇 所 *8	系統名(ライン名)		—		—
	設置床		—	貯蔵容器一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号		—	—*11	
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ		—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

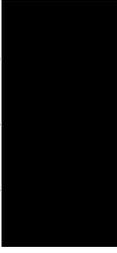
*4：記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

- *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「床下保管方式」と記載。
- *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- *11：本機器は、溢水防護対象ではないため「－」とする。
- *12：貯蔵単位(混合酸化物貯蔵容器)の配列(4行×8列)を核的に安全な配置とする。

1.4 粉末一時保管設備

(1) 運搬・製品容器

			変更前	変更後
名称 ^{*2}			容器(J60)	変更なし
種類 ^{*3}		—	たて置円筒形	
臨 界 管 理	内径	mm	410以下	
	内管の外径	mm	190以上	
	高さ	mm	650以上	
容量		kg・ MOX	65 ^{*4}	
最高使用圧力		Pa	大気圧 ^{*4}	
最高使用温度		℃	60 ^{*4}	
主 要 寸 法 ^{*5}	内径	mm		
	厚さ	mm		
	内管の外径	mm		
	高さ	mm		
主要材料 ^{*6}		—	ステンレス鋼	
個数 ^{*7}		—	30	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

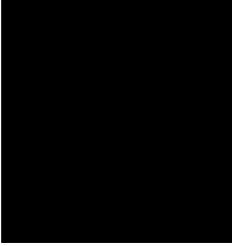
*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

			変更前	変更後
名称* ²			容器(J85)	変更なし
種類* ³		—	たて置円筒形	
臨 界 管 理	内径	mm	470以下	
	内管の外径	mm	135以上	
	高さ	mm	650以上	
容量		kg・ MOX	90* ⁴	
最高使用圧力		Pa	大気圧* ⁴	
最高使用温度		℃	60* ⁴	
主 要 寸 法 * ⁵	内径	mm		
	厚さ	mm		
	内管の外径	mm		
	高さ	mm		
主要材料* ⁶		—	ステンレス鋼	
個数* ⁷		—	46	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

		変更前		変更後	
名称*2		容器(5缶バスケット)	容器(1缶バスケット)	変更なし	
種類*3		5缶積載式	1缶積載式		
臨 界 管 理	CS・RS保管ポット収納数	—	5以下		
	先行試験ポット収納数*4	—	5以下		
	CS・RS回収ポット収納数*4	—	5以下		
容量		kg	19*4		3.8*4
最高使用圧力		Pa	大気圧*4		
最高使用温度		℃	60*4		
主 要 寸 法 *5	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
	厚さ	mm			
主要材料*6		—	ステンレス鋼		
個数*7		—	8	1	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

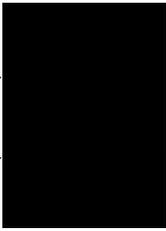
*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

			変更前	変更後
名称 ^{*2}			容器(CS・RS保管ポット)	変更なし
種類 ^{*3}		—	たて置円筒形	
臨 界 管 理	内径	mm	90以下	
	高さ	mm	250以下	
容量	粉末	kg・	2 ^{*4}	
	ペレット	MOX	6 ^{*4}	
最高使用圧力		Pa	大気圧 ^{*4}	
最高使用温度		℃	60 ^{*4}	
主 要 寸 法 ^{*5}	内径	mm		
	厚さ	mm		
	高さ	mm		
主要材料 ^{*6}		—	ステンレス鋼	
個数 ^{*7}		—	1944	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

(2) ラック/ピット/棚

				変更前	変更後
名称*2				粉末一時保管装置 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 (PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)	変更 なし
種類*3			—	たて置きラック式*4	
臨 界 管 理	中心間距離 (ピット間隔)*12		mm	行方向650以上 列方向650以上	
	設置する室の壁・ 床までの距離	東西壁	mm	1500以上	
		床	mm	750以上	
	単一ユニット相互間の壁厚さ		mm	305以上*10	
容量*5			t・ HM	6.1(94ピット)	
主 要 寸 法 *6	粉末一時保管装 置1, 12	たて	mm	1670*1	
		横	mm	4390*1	
		高さ	mm	1216*1	
		中心間距離 (ピット間隔)	mm	行方向762*1*10, 680*1*10 列方向762*1*10	
	粉末一時保管装 置2, 4, 11	たて	mm	1670*1	
		横	mm	2948*1	
		高さ	mm	1216*1	
		中心間距離 (ピット間隔)	mm	行方向680*1*10 列方向762*1*10	
	粉末一時保管装 置3, 7	たて	mm	1670*1	
		横	mm	1588*1	
		高さ	mm	1216*1	
		中心間距離 (ピット間隔)	mm	行方向680*1*10 列方向762*1*10	

(続き)

主要寸法 *6	粉末一時保管装置5, 9, 10		たて	mm	1670* ¹		
			横	mm	2268* ¹		
			高さ	mm	1216* ¹		
			中心間距離 (ピット間隔)	mm	行方向680* ¹ * ¹⁰ 列方向762* ¹ * ¹⁰		
	粉末一時保管装置6, 8		たて	mm	1670* ¹		
			横	mm	3628* ¹		
			高さ	mm	1216* ¹		
			中心間距離 (ピット間隔)	mm	行方向680* ¹ * ¹⁰ 列方向762* ¹ * ¹⁰		
主要材料 *7	本体			—	SUS304, SS400	変更なし	
個数* ⁸			—	12			
遮蔽体	主要寸法	厚さ	ピット	内側	mm		10(12* ¹)
				中間	mm		150(152* ¹)
				外側	mm		32(36* ¹)
			区画壁 東西-1	内側	mm		25(28* ¹)
				中間	mm		200(202* ¹)
				外側	mm		25(28* ¹)
			区画壁 南北	内側	mm		25(28* ¹)
				中間	mm		200(202* ¹)
				外側	mm		25(28* ¹)
		区画壁 東西-2	内側	mm	3(4* ¹)		
			中間	mm	166(168* ¹)		
			外側	mm	3(4* ¹)		
	主要材料	ピット	内側	—	SUS304		
			中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)		
			外側	—	SS400		

(続き)

遮蔽体	主要材料	区画壁 東西-1	内側	—	SUS304	変更なし
			中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	
		区画壁 南北	内側	—	SUS304	
			中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	
		区画壁 東西-2	内側	—	SUS304	
			中間	—	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
			外側	—	SUS304	
		取付箇所 *9	系統名(ライン名)		—	
設置床			—	粉末一時保管室, 点検第1室*10, 点検第2室*10 T. M. S. L. 35.00m*10		
溢水防護上の区画番号			—	—*11		
溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	—*11		

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4: 記載の適正化。既設工認では「ピット方式」と記載。

*5: 記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。

*6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

*12: 貯蔵単位(J60, J85)の配列(47行×2列)を核的に安全な配置とする。

(3) 搬送設備

				変更前	変更後
名称*2				粉末一時保管搬送装置*9 (PA0126-M-02101, -02102, -02103, -02104)	変更なし
種類*3			—	クレーン方式	
容量*4	本体		kg	220	
	秤量テーブル		kg	220	
主要 寸 法 *5	走行架台1, 6	たて	mm	850*1	
		横	mm	3124*1	
		高さ	mm	3723*1*10	
	走行架台2	たて	mm	1650*1	
		横	mm	12292*1	
		高さ	mm	2327*1	
	走行架台3	たて	mm	1650*1	
		横	mm	11218*1	
		高さ	mm	2491*1*10	
	走行架台4	たて	mm	1650*1	
		横	mm	9281*1	
		高さ	mm	2327*1	
	走行架台5	たて	mm	1650*1	
		横	mm	13002*1	
		高さ	mm	2491*1*10	
主要材料*6			—	SUS304, SUS304TP, STKR400, SS400*10	
個数*7			—	4	
取 付 箇 所 *8	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床		—	点検第1室, 点検第2室, 粉末一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号		—	—*11	
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ		—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

- *4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。
- *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「粉末一時保管搬送装置A, B, C, D」と記載。
- *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- *11：本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。

(4) 核物質等取扱ボックス

		変更前		変更後
名称*2		粉末一時保管装置グローブボックス-1*13 (PA0126-B-04701)		変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*6	たて	mm	1200*1	
	横	mm	3564*1	
	高さ	mm	3800*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	ポリカーボネート樹脂
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*8		—	1	変更なし
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	点検第1室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

			変更前	変更後	
名称*2			粉末一時保管装置グローブボックス-2*13 (PA0126-B-04702)	変更なし	
種類*3		—	グローブボックス		
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm	2000*1		
	横	mm	12741*1		
	高さ	mm	3800*1*10		
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部	—	メタクリル樹脂		ポリカーボネート樹脂
個数*8		—	1		変更なし
遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	22(23.5*1)	
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 $1.55 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
取付箇所*9	系統名(ライン名)		—		
	設置床		—	粉末一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号		—	—	PA-1-10
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

- *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *10：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13：本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

			変更前	変更後	
名称*2			粉末一時保管装置グローブボックス-3*13 (PA0126-B-04703)	変更なし	
種類*3		—	グローブボックス		
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm	2000*1		
	横	mm	11340*1		
	高さ	mm	3800*1*10		
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部	—	メタクリル樹脂		ポリカーボネート樹脂
個数*8		—	1		変更なし
遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	22(23.5*1)	
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 $1.55 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
取付箇所*9	系統名(ライン名)		—		
	設置床		—	粉末一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号		—	—	PA-1-10
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

- *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *10：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13：本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

			変更前	変更後	
名称*2			粉末一時保管装置グローブボックス-4*13 (PA0126-B-04704)	変更なし	
種類*3		—	グローブボックス		
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm	2000*1		
	横	mm	9570*1		
	高さ	mm	3800*1*10		
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部	—	メタクリル樹脂		ポリカーボネート樹脂
個数*8		—	1		変更なし
遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	22(23.5*1)	
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 $1.55 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
取付箇所*9	系統名(ライン名)		—		
	設置床		—	粉末一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号		—	—	PA-1-10
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

- *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *10：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13：本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

			変更前	変更後	
名称*2			粉末一時保管装置グローブボックス-5*13 (PA0126-B-04705)	変更なし	
種類*3		—	グローブボックス		
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm	2000*1		
	横	mm	13471*1		
	高さ	mm	3800*1*10		
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部	—	メタクリル樹脂		ポリカーボネート樹脂
個数*8		—	1		変更なし
遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	22(23.5*1)	
	主要材料		—	含鉛メタクリル樹脂 (密度 $1.55 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	
取付箇所*9	系統名(ライン名)		—		
	設置床		—	粉末一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号		—	—	PA-1-10
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

- *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *10：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13：本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

		変更前		変更後
名称*2		粉末一時保管装置グローブボックス-6*13 (PA0126-B-04706)		変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*6	たて	mm	1200*1	
	横	mm	3564*1	
	高さ	mm	3800*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*8		—	1	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	点検第2室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-29
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

1.5 ペレット一時保管設備

(1) 運搬・製品容器

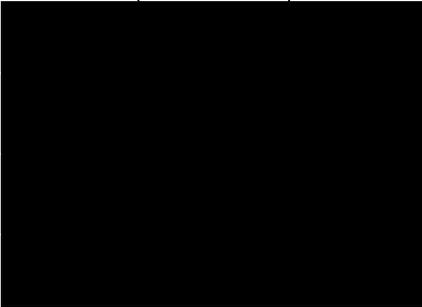
				変更前		変更後	
名称 ^{*2}				収納パレット-1	収納パレット-2	変更なし	
種類 ^{*3}		—		パレット式			
容量		kg		32 ^{*4}	33 ^{*4}		
最高使用圧力		Pa		大気圧 ^{*4}			
最高使用温度		℃		60 ^{*4}			
主要寸法 ^{*5}	たて		mm	299 ^{*1}			
	横		mm	423.5 ^{*1}			
	高さ		mm	230 ^{*1}			
	厚さ	側面	mm	6 ^{*1*4}			
前面		mm	10 ^{*1*4}				
後面		mm	6 ^{*1*4}				
主要材料 ^{*6}			—	SUS304			
個数 ^{*7}			—	188	4		
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	側面	mm		20(22.5 ^{*1})
				前面	mm	50(52 ^{*1})	
				後面・底面	mm	20(22.5 ^{*1})	
			外側	側面	mm	4(6 ^{*1})	
				前面	mm	8(10 ^{*1})	
				後面・底面	mm	4(6 ^{*1})	
	主要材料		内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)		
			外側	—	SUS304		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

- *4：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

		変更前			変更後	
名称*2		容器(焼結ボート)	容器(先行試験焼結ボート)	容器(スクラップ焼結ボート)	変更なし	
種類*3		—	トレイ式			
臨 界 管 理	たて	mm	190以下			
	横	mm	285以下			
	高さ	mm	105以下			
容量		kg・MOX	8*4	1*4		8*4
最高使用圧力		Pa	大気圧*4			
最高使用温度		℃	1780*4			
主 要 寸 法 *5	たて	mm				
	横	mm				
	高さ	mm				
	厚さ	mm				
主要材料*6		—	モリブデン鋼			
個数*7		—	192	3	6	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

以下の設備は核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備であり、ペレット一時保管設備として本設工認で兼用とする。

- ・ 容器(規格外ペレット保管容器)

(2) ラック/ピット/棚

					変更前	変更後
名称*2					ペレット一時保管棚-1, -2, -3 (PA0136-M-01101, -01102, -01103)	
種類*3				—	棚段貯蔵方式	
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*11			mm	段方向300以上 行方向350以上	
	設置する室 の壁・床ま での距離	東西壁		mm	1635以上	
		床		mm	300以上	
	単一ユニット相互間の壁 厚さ			mm	305以上*9	
容量*4				t・HM	1.7 (192棚 : 64×3台)	
主 要 寸 法 *5	たて			mm	1270*1	
	横			mm	3765*1	
	高さ			mm	3850*1*9	
	中心間距離(棚間隔)			mm	段方向357*1*9 行方向445*1*9	
主要材料*6				—	SUS304, SUS304TP	
個数*7				—	3	
遮 蔽 体	主要 寸法	厚さ	棚 上 部	内側	mm	20(23*1)
			外側	mm	4(5*1)	
	主要材料	棚 上 部	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)	
			外側	—	SUS304	
取 付 箇 所 *8	系統名(ライン名)			—	—	
	設置床			—	ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*9	
	溢水防護上の区画番号			—	—*10	
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ			—	—*10	

変更なし

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。
- *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。
- *4：記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。
- *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *9：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- *10：本機器は、溢水防護対象ではないため「-」とする。
- *11：貯蔵単位(焼結ボート，ペレット保管容器)の配列(8段×8行)を核的に安全な配置とする。

(3) 搬送設備

		変更前		変更後	
名称*2		焼結ボート入出庫装置-1, -2 (PA0136-M-02101, -02102)		変更なし	
種類*3	—	クレーン方式*4			
容量*5	kg	79			
主要寸法*6	たて	mm	628*1*10		
	横	mm	2393*1*10		
			3643*1*10		
			5079*1*10		
高さ	mm	5273*1*10	3674*1*10		
主要材料*7		—	STKR400, SS400, SUS304TP*10		
個数*8		—	2		
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	ペレット一時保管室, ペレット加工第1室, ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35.00m*10		
	溢水防護上の区画番号	—	—*11		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11		

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4: 記載の適正化。既設工認では「スタッカークレーン方式」と記載。

*5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10: 記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*11: 本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

				変更前	変更後
名称*2				焼結ボート受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8 (PA0136-M-03110, -03120, -03130, -03140, -03150, -03160, -03170, -03180)	変更なし
種類*3		—		コンベア方式, クレーン方式, リフタ方式*4	
容量*5	焼結ボート搬送コンベア -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8		kg	35	
	焼結ボート取扱機 -1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8				
	昇降台-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8				
主要寸法*6	焼結ボート受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7	たて	mm	650*1	
		横	mm	700*1	
		高さ	mm	3760*1	
	焼結ボート受渡装置-8	たて	mm	650*1	
		横	mm	700*1	
		高さ	mm	2200*1	
主要材料*7		—		SS400, STKR400, SCM440H*10	
個数*8		—		8	

(続き)

取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット一時保管室, ペレット加工第1室, ペレット加工第4室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4: 記載の適正化。既設工認では「コンベア方式, クレーン方式」と記載。

*5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10: 記載の適正化。記載内容は, 設計図書による。

*11: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。

(4) 核物質等取扱ボックス

					変更前	変更後
名称*2					ペレット一時保管棚グローブボックス-1*13 (PA0136-B-01701)	
種類*3					—	グローブボックス
漏れ率*4*11					vol%/h	0.25以下
開口部風速*5*12					m/s	0.5以上
主要寸法*6	たて				mm	1270*1
	横				mm	3765*1
	高さ				mm	3850*1*10
主要材料*7	本体				—	SUS304, SUS304TP
	窓板部				—	メタクリル樹脂
個数*8					—	1
遮蔽体	主要寸法	厚さ	棚側面	内側	mm	6(8*1)
				中間	mm	85(87*1)
				外側	mm	6(8*1)
	主要材料	棚側面	内側	—	SUS304	
			中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)	
			外側	—	SUS304	
取付箇所*9	系統名(ライン名)				—	—
	設置床				—	ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10
	溢水防護上の区画番号				—	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ				—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

- *4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。
- *5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13：本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。

		変更前		変更後
名称*2		ペレット一時保管棚グローブボックス-2*13 (PA0136-B-01702)		変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*6	たて	mm	1270*1	
	横	mm	3765*1	
	高さ	mm	3850*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	ポリカーボネート樹脂
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*8		—	1	変更なし
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

					変更前	変更後
名称*2					ペレット一時保管棚グローブボックス-3*13 (PA0136-B-01703)	
種類*3					—	グローブボックス
漏れ率*4*11					vol%/h	0.25以下
開口部風速*5*12					m/s	0.5以上
主要 寸法 *6	たて				mm	1270*1
	横				mm	3765*1
	高さ				mm	3850*1*10
主要 材料 *7	本体				—	SUS304, SUS304TP
	窓板部				—	メタクリル樹脂
個数*8					—	1
遮 蔽 体	主要 寸法	厚さ	棚 側 面	内側	mm	6(8*1)
				中間	mm	85(87*1)
				外側	mm	6(8*1)
	主要材料	棚 側 面	内側	—	SUS304	
			中間	—	ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)	
			外側	—	SUS304	
取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)				—	—
	設置床				—	ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10
	溢水防護上の区画番号				—	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ				—	—
					—	PA-1-19
					—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

- *4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。
- *5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき、グローブボックスの給排気系、グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における、測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13：本グローブボックスは、窒素雰囲気とする。

		変更前	変更後		
名称*2		焼結ボート受渡装置グローブボックス-1*13 (PA0136-B-03701)	変更なし		
種類*3		グローブボックス			
漏れ率*4*11		vol%/h		0.25以下	
開口部風速*5*12		m/s		0.5以上	
主要寸法*6	たて	mm	2635*1	変更なし	
	横	mm	4845*1		5095*1
	高さ	mm	3850*1*10		
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	変更なし	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂	
個数*8		—	1	変更なし	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	ペレット一時保管室*10, ペレット加工第1室 T. M. S. L. 35.00m*10		
	溢水防護上の区画番号	—	—		PA-1-19 PA-1-26
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

- *10：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13：本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

		変更前	変更後	
名称*2		焼結ボート受渡装置グローブボックス-2, -3*13 (PA0136-B-03702, -03703)	変更なし	
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm		1800*1
	横	mm	2515*1	
	高さ	mm	3850*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂
個数*8		—	2	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-19
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

		変更前	変更後	
名称*2		焼結ボート受渡装置グローブボックス-4*13 (PA0136-B-03704)	変更なし	
種類*3		グローブボックス		
漏れ率*4*11		vol%/h		0.25以下
開口部風速*5*12		m/s		0.5以上
主要寸法*6	たて	mm		1820*1
	横	mm		5450*1
	高さ	mm		3850*1*10
主要材料*7	本体	—		SUS304, SUS304TP
	窓板部	—		メタクリル樹脂
個数*8		—		1
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	ペレット加工第4室*10, ペレット一時保管室 T. M. S. L. 35.00m*10	変更なし
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-16 PA-1-19
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

- *10：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *11：JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13：本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

(5) 遮蔽設備

a. 建屋壁遮蔽

名称 種類	変更前		変更後	
	主要寸法*2 (mm)	材料	主要寸法*2 (mm)	材料
遮蔽扉 (ペレット 一時保管 設備)*3	6(8*1)	SUS304	変更なし	
	85(87*1)	ポリエチレン (密度 $0.93 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)		

注記 *1：公称値を示す。

*2：遮蔽設計上考慮する厚さを示す。

*3：遮蔽扉のうち、ペレット一時保管室及びペレット加工第1室、ペレット一時保管室及びペレット加工第4室境界の遮蔽扉はその他の加工施設の火災防護設備の火災区域構造物及び火災区画構造物(燃料加工建屋)の防火扉と兼用する。

1.6 スクラップ貯蔵設備

(1) 運搬・製品容器

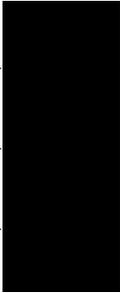
				変更前	変更後	
名称 ^{*2}				収納パレット		
種類 ^{*3}		—		パレット式		
容量		kg		89 ^{*4}		
最高使用圧力		Pa		大気圧 ^{*4}		
最高使用温度		℃		60 ^{*4}		
主要 寸法 ^{*5}	たて		mm	389 ^{*1}		
	横		mm	425.5 ^{*1}		
	高さ		mm	370 ^{*1}		
	厚さ	側面	mm	6 ^{*1*4}		
		前面	mm	12 ^{*1*4}		
		後面	mm	6 ^{*1*4}		
	主要材料 ^{*6}			—	SUS304	
個数 ^{*7}			—	210		
遮蔽 体	主要 寸法	厚さ	内側	側面	mm	20(22.5 ^{*1})
				前面	mm	50(52 ^{*1})
				後面 ・ 底面	mm	20(22.5 ^{*1})
			外側	側面	mm	4(6 ^{*1})
				前面	mm	11(12 ^{*1})
				後面 ・ 底面	mm	4(6 ^{*1})
	主要材料	内側		—	ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)	
		外側		—	SUS304	

変更
なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

- *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。
- *4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。
- *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

		変更前		変更後
名称 ^{*2}		容器(9缶バスケット)		変更なし
種類 ^{*3}		—	9缶積載式	
臨 界 管 理	CS・RS保管ポット収納数	—	9以下	
容量		kg	70.2 ^{*4}	
最高使用圧力		Pa	大気圧 ^{*4}	
最高使用温度		℃	60 ^{*4}	
主 要 寸 法 ^{*5}	たて	mm		
	横	mm		
	高さ	mm		
	厚さ	mm		
主要材料 ^{*6}		—	ステンレス鋼	
個数 ^{*7}		—	210	204

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

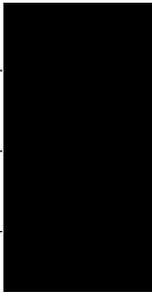
*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

			変更前	変更後
名称* ²			容器(規格外ペレット保管容器)	
種類* ³		—	トレイ式	
臨 界 管 理	たて	mm	260以下	
	横	mm	270以下	
	高さ	mm	105以下	
容量		kg・ MOX	20* ⁴	
最高使用圧力		Pa	大気圧* ⁴	
最高使用温度		℃	60* ⁴	
主 要 寸 法 * ⁵	たて	mm		
	横	mm		
	高さ	mm		
	厚さ	mm		
主要材料* ⁶		—	ステンレス鋼	
個数* ⁷		—	10	

変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

以下の設備は核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備であり、スクラップ貯蔵設備として本設工認で兼用とする。

- ・ 容器(ペレット保管容器)

以下の設備は核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備であり、スクラップ貯蔵設備として本設工認で兼用とする。

- ・ 容器(CS・RS保管ポット)

(2) ラック/ピット/棚

					変更前	変更後
名称*2					スクラップ貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0138-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)	
種類*3				—	棚段貯蔵方式	
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4			mm	段方向450以上 列方向450以上	
	製品ペレット貯蔵設備と の面間距離			mm	2500以上	
	設置する室 の壁・床・ までの距離	南壁		mm	1635以上	
		床		mm	300以上	
	単一ユニット相互間の壁 厚さ			mm	305以上*10	
容量*5				t・HM	10 (210棚：42×5台)	
主 要 寸 法 *6	たて			mm	1270*1	
	横			mm	3950*1	
	高さ			mm	3850*1*10	
	中心間距離(棚間隔)			mm	段方向495*1*10 列方向535*1*10	
主要材料*7				—	SUS304, SUS304TP	
個数*8				—	5	
遮 蔽 体	主要 寸法	厚さ	棚 上 部	内側	mm	20 (23*1)
			外側	mm	4 (5*1)	
	主要材料		棚 上 部	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)
				外側	—	SUS304

変更
なし

(続き)

取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35. 00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	— *11	
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	— *11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：貯蔵単位(9缶バスケット，ペレット保管容器)の配列(6段×7列)を核的に安全な配置とする。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。

*11：本機器は，溢水防護対象ではないため「—」とする。

(3) 搬送設備

		変更前		変更後
名称*2		スクラップ保管容器入出庫装置 (PA0138-M-02101)		変更なし
種類*3	—	クレーン方式*4		
容量*5	kg	163		
主要寸法*6	たて	mm	628*1*10	
	横	mm	2964*1*10	
			3564*1*10	
高さ	mm	3828*1*10		
主要材料*7		—	STKR400, SS400, SUS304TP*10	
個数*8		—	1	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室, 点検第4室 T. M. S. L. 35. 00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「スタックークレーン方式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称*2		スクラップ保管容器受渡装置 -1, -2 (PA0138-M-03110, -03120)	変更なし	
種類*3		— コンベア方式, クレーン方式, リフタ方式*4		
容量 *5	保管容器搬送コンベア -1, -2	kg		91
	保管容器取扱機-1, -2			
	昇降台-1, -2			
主要 寸法 *6	たて	mm		650*1
	横	mm		700*1
	高さ	mm		2860*1
主要材料*7		—		SS400, STKR400*10
個数*8		—		2
取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—		—
	設置床	—	点検第3室, 点検第4室 T. M. S. L. 35. 00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	—*11	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3: 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4: 記載の適正化。既設工認では「コンベア方式, クレーン方式」と記載。

*5: 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6: 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7: 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8: 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9: 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10: 記載の適正化。記載内容は, 設計図書による。

*11: 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。

(4) 核物質等取扱ボックス

		変更前	変更後	
名称*2		スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1*13 (PA0138-B-01701)	変更なし	
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm		1270*1
	横	mm		3950*1
	高さ	mm		3850*1*10
主要材料*7	本体	—		SUS304, SUS304TP
	窓板部	—		メタクリル樹脂
個数*8		—		1
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-13
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

		変更前	変更後	
名称 ^{*2}		スクラップ貯蔵棚グローブボックス-2, -3, -4 ^{*13} (PA0138-B-01702, -01703, -01704)	変更なし	
種類 ^{*3}	—	グローブボックス		
漏れ率 ^{*4*11}	vol%/h	0.25以下		
開口部風速 ^{*5*12}	m/s	0.5以上		
主要寸法 ^{*6}	たて	mm		1270 ^{*1}
	横	mm		3950 ^{*1}
	高さ	mm	3850 ^{*1*10}	
主要材料 ^{*7}	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂
個数 ^{*8}		—	3	
取付箇所 ^{*9}	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m ^{*10}	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-13
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

		変更前	変更後	
名称*2		スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5*13 (PA0138-B-01705)	変更なし	
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm		1270*1
	横	mm		3950*1
	高さ	mm		3850*1*10
主要材料*7	本体	—		SUS304, SUS304TP
	窓板部	—		メタクリル樹脂
個数*8		—		1
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-13
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

		変更前		変更後
名称*2		スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス-1*13 (PA0138-B-03701)		変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*6	たて	mm	1920*1	
	横	mm	3045*1	
	高さ	mm	3850*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*8		—	1	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	点検第3室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-12
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

		変更前		変更後
名称*2		スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス-2*13 (PA0138-B-03702)		変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*6	たて	mm	1920*1	
	横	mm	3675*1	
	高さ	mm	3850*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*8		—	1	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	点検第4室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，窒素雰囲気とする。

1.7 製品ペレット貯蔵設備

(1) 運搬・製品容器

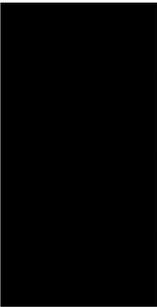
					変更前	変更後	
名称*2					収納パレット		
種類*3		—		パレット式			
容量		kg		33*4			
最高使用圧力		Pa		大気圧*4			
最高使用温度		℃		60*4			
主要寸法*5	たて		mm		389*1		
	横		mm		375.5*1		
	高さ		mm		157*1		
	厚さ	側面		mm		6*1*4	
		前面		mm		12*1*4	
		後面		mm		6*1*4	
主要材料*6			—		SUS304		
個数*7			—		350		
遮蔽体	主要寸法	厚さ	内側	側面	mm	20(22.5*1)	
				前面	mm	50(52*1)	
				後面・底面	mm	20(22.5*1)	
			外側	側面	mm	4(6*1)	
				前面	mm	11(12*1)	
				後面・底面	mm	4(6*1)	
	主要材料	内側		—		ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)	
		外側		—		SUS304	

変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

- *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。
- *4：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。
- *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

		変更前		変更後	
名称*2		容器(ペレット 保管容器)	容器(ペレット 保存試料保管容 器)	変更なし	
種類*3		トレイ式			
臨 界 管 理	たて	mm	260以下		
	横	mm	270以下		
	高さ	mm	105以下		
容量		kg	24*4		9.1*4
最高使用圧力		Pa	大気圧*4		
最高使用温度		℃	60*4		
主 要 寸 法 *5	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
	厚さ	mm			
主要材料*6		ステンレス鋼			
個数*7		297		53	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

(2) ラック/ピット/棚

					変更前	変更後	
名称*2					製品ペレット貯蔵棚-1, -2, -3, -4, -5 (PA0137-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105)		
種類*3				—	棚段貯蔵方式		
臨 界 管 理	中心間距離(棚間隔)*4			mm	段方向250以上 列方向450以上		
	スクラップ貯蔵設備との 面間距離			mm	2500以上		
	設置する室 の壁・床・ までの距離	北壁		mm	2130以上		
		床		mm	300以上		
	単一ユニット相互間の壁 厚さ			mm	305以上*10		
容量*5				t・HM	6.3 (350棚 : 70×5台)		
主 要 寸 法 *6	たて			mm	1270*1		
	横			mm	3950*1		
	高さ			mm	3850*1*10		
	中心間距離(棚間隔)			mm	段方向284*1*10 列方向535*1*10		
主要材料*7				—	SUS304, SUS304TP		
個数*8				—	5		
遮 蔽 体	主要 寸法	厚さ	棚 上 部	内側	mm	20(23*1)	
			外側	mm	4(5*1)		
	主要材料		棚 上 部	内側	—	ポリエチレン (密度0.93×10 ³ kg/m ³ 以上)	
				外側	—	SUS304	

変更
なし

(続き)

取 付 箇 所 *9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35. 00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	— *11	
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	—	— *11	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：貯蔵単位(ペレット保管容器)の配列(10段×7列)を核的に安全な配置とする。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

(3) 搬送設備

		変更前		変更後	
名称*2		ペレット保管容器入出庫装置 (PA0137-M-02101)		変更なし	
種類*3	—	クレーン方式*4			
容量*5	kg	76			
主要寸法*6	たて	mm	628*1*10		
	横	mm	2964*1*10		
			3564*1*10 3828*1*10		
高さ	mm	3674*1*10			
主要材料*7		—	STKR400, SS400, SUS304TP*10		
個数*8		—	1		
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室, 点検第3室, 点検第4室 T. M. S. L. 35. 00m*10		
	溢水防護上の区画番号	—	—*11		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*11		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「スタックークレーン方式」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

*11：本機器は、溢水防護対象ではないため「—」とする。

		変更前		変更後
名称*2		ペレット保管容器受渡装置-1, -2 (PA0137-M-03110, -03120)		変更なし
種類*3		— コンベア方式, クレーン方式, リフタ方式*4		
容量*5	保管容器搬送コンベア -1, -2	kg	35	
	保管容器取扱機-1, -2			
	昇降台-1, -2			
主要寸法*6	たて	mm	650*1	
	横	mm	700*1	
	高さ	mm	2110*1	
主要材料*7		— SS400, STKR400*10		
個数*8		— 2		
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—		
	設置床	— 点検第3室, 点検第4室 T. M. S. L. 35. 00m*10		
	溢水防護上の区画番号	— *11		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	— *11		

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3 : 記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4 : 記載の適正化。既設工認では「コンベア方式, クレーン方式」と記載。

*5 : 記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。

*6 : 記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7 : 記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8 : 記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9 : 記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10 : 記載の適正化。記載内容は, 設計図書による。

*11 : 本機器は, 溢水防護対象ではないため「—」とする。

(4) 核物質等取扱ボックス

		変更前		変更後
名称*2		製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1*13 (PA0137-B-01701)		変更なし
種類*3		—	グローブボックス	
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下	
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上	
主要寸法*6	たて	mm	1270*1	
	横	mm	3950*1	
	高さ	mm	3850*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	ポリカーボネート樹脂
	窓板部	—	メタクリル樹脂	
個数*8		—	1	変更なし
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，空気雰囲気とする。

		変更前	変更後	
名称*2		製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2, -3, -4*13 (PA0137-B-01702, -01703, -01704)	変更なし	
種類*3		—		グローブボックス
漏れ率*4*11		vol%/h		0.25以下
開口部風速*5*12		m/s		0.5以上
主要寸法*6	たて	mm		1270*1
	横	mm		3950*1
	高さ	mm	3850*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂
個数*8		—	3	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-13
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，空気雰囲気とする。

		変更前	変更後	
名称*2		製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-5*13 (PA0137-B-01705)	変更なし	
種類*3		グローブボックス		
漏れ率*4*11		vol%/h		0.25以下
開口部風速*5*12		m/s		0.5以上
主要寸法*6	たて	mm		1270*1
	横	mm		3950*1
	高さ	mm		3850*1*10
主要材料*7	本体	—		SUS304, SUS304TP
	窓板部	—		メタクリル樹脂
個数*8		—		1
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	ペレット・スクラップ貯蔵室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-13
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，空気雰囲気とする。

		変更前	変更後	
名称*2		ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1*13 (PA0137-B-03701)	変更なし	
種類*3	—	グローブボックス		
漏れ率*4*11	vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12	m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm		1875*1
	横	mm	3045*1	
	高さ	mm	3850*1*10	
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP	
	窓板部	—	メタクリル樹脂	ポリカーボネート樹脂
個数*8		—	1	
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	点検第3室 T. M. S. L. 35.00m*10	
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-12
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，空気雰囲気とする。

		変更前		変更後	
名称*2		ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2*13 (PA0137-B-03702)		変更なし	
種類*3		—	グローブボックス		
漏れ率*4*11		vol%/h	0.25以下		
開口部風速*5*12		m/s	0.5以上		
主要寸法*6	たて	mm	1825*1		
	横	mm	3675*1		
	高さ	mm	3850*1*10		
主要材料*7	本体	—	SUS304, SUS304TP		
	窓板部	—	メタクリル樹脂		ポリカーボネート樹脂
個数*8		—	1		変更なし
取付箇所*9	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	点検第4室 T. M. S. L. 35.00m*10		
	溢水防護上の区画番号	—	—	PA-1-14	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 35.00m以上	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

*3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。

*4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。

*5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。

*6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。

*7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。

*8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。

*9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。

*10：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

- *11 : JIS Z 4820グローブボックス気密試験方法に基づき，グローブボックスの給排気系，グローブポート等を閉止した状態でグローブボックス内の環境圧力より深い負圧に維持した状態における，測定開始時と1時間後の大気圧とグローブボックス内圧力の差により算出する。
- *12 : グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。
- *13 : 本グローブボックスは，空気雰囲気とする。

1.8. 燃料棒貯蔵設備

(1) ラック/ピット/棚

				変 更 前	変 更 後
名称*2				燃料棒貯蔵棚-1, -2 (PA0148-M-10101, 10102)	変更なし
種類*3			—	棚段貯蔵方式	
臨界 管理	中心間距離	棚間隔*11	mm	段方向700以上 行方向750以上	
	設置する室の 壁・床・天井ま での距離*4	東壁	mm	4000	
		床	mm	460	
		天井	mm	790	
設置室の周囲の壁厚さ*12			mm	305以上	
容量*5			t・ HM	60 (燃料棒貯蔵棚-1 40棚, 燃料棒貯蔵棚-2 32棚)	
主要 寸法 *6	たて		mm	燃料棒貯蔵棚-1 8125*1 燃料棒貯蔵棚-2 6525*1	
	横		mm	4793*1	
	高さ		mm	4815*1	
	中心間距離	棚間隔	mm	段方向750*1 行方向800*1	
主要材料*7			—	SS400, STKR400	
個数*8			—	2	
取付 箇所 *9	系統名 (ライン名)		—	—	
	設置床		—	燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 42. 60m*12	
	溢水防護上の区画番号		—	—*10	変更なし
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*10	

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。
- *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。
- *4：記載の適正化。既設工認では「注1 技術基準に対する仕様の補足説明(1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。
- *5：記載の適正化。既設工認では「その他の性能」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *9：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *10：本装置は、溢水防護対象でないため「－」とする。
- *11：貯蔵単位(貯蔵マガジン)の配列(4段×10行，4段×8行)を核的に安全な配置とする。
- *12：記載の適正化。記載内容は，設計図書による。

(2) 搬送設備

				変更前	変更後
名称*2				貯蔵マガジン入出庫装置 (PA0148-M-20101)	貯蔵マガジン入出庫装置 (PA0148-M-20000)
種類*3			—	床上走行方式	床上走行方式, コンベア方式
臨界管理	核的制限値* 11	貯蔵マガジン 取扱段数	段	1	変更なし
	単一ユニット相互間の壁厚 さ		mm	305以上*12	
容量 *4	貯蔵マガジン入出庫装置		kg	1600*9	
	搬送用コンベア-1		kg	—	1600*9
	搬送用コンベア-2		kg	—	1600*9
	搬送用コンベア-3		kg	—	1600*9
主要寸法 *5	貯蔵マガジン 入出庫装置	たて	mm	4000*1	変更なし
		横	mm	4936*1	
		高さ	mm	4410*1	
	搬送用コンベ ア-1, -2, -3	たて	mm	—	1383*1
		横	mm	—	620*1
		高さ	mm	—	1275*1
主要材料 *6	貯蔵マガジン入出庫装置		—	SS400, STKR400	変更なし
	搬送用コンベア-1, -2, -3		—	—	SS400
個数*7			—	1	変更なし
系統名(ライン名)			—	—	
取付箇所 *8	設置床		—	燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 42. 60m*12	燃料棒貯蔵室 T. M. S. L. 43. 20m
	溢水防護上の区画番号		—	—*10	変更なし
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ		—	—*10	
			—	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。

- *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。
- *4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。
- *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。
- *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。
- *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。
- *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。
- *9：定格荷重を示す。
- *10：本装置は、溢水防護対象でないため「－」とする。
- *11：本装置に単一ユニット(貯蔵マガジン入出庫ユニット)を設定する。
- *12：記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

2. 準拠規格及び基準

「2. 準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「へ 核燃料物質の貯蔵施設」の「2. 準拠規格及び基準」による。

ト 放射性廃棄物の廃棄施設

- 1. 設計条件及び仕様
 - 1.2 液体廃棄物の廃棄設備
 - 1.2.1 低レベル廃液処理設備
 - (4) 主配管

名称	変更前	変更後
	低レベル廃液処理系	ステンレス鋼
検査槽までの配管のうち、燃料加工建屋の壁、床等に埋設する部分を含む配管等	—	—
	主要材料	主要材料

注記 *1：本機器は、基本設計方針対象の設備であるため記載の適正化を行う。

2. 準拠規格及び基準

「2. 準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「ト 放射性廃棄物の廃棄施設」の「2. 準拠規格及び基準」による。

リ その他の加工施設

1. 設計条件及び仕様

1.1 非常用設備

1.1.1 火災防護設備

(1) 建物・構築物

- a. 火災区域構造物及び火災区画構造物
 - ・火災区域構造物及び火災区画構造物（燃料加工建屋）

変更前				変更後			
名称		種類	主要寸法 (mm)	名称		種類	主要寸法 (mm)
火災区域名称	区分			火災区域名称	区分		
燃料棒貯蔵室 *2*3	火災 区域	壁	150 (300*1)	燃料棒貯蔵室 *2*3*4			変更なし

注記 *1：公称値のうち最小のものを示す。

*2：3時間耐火性能を有する防火扉を含む。（主要材料：鋼材）

*3：防火扉のうち、燃料棒貯蔵室及び燃料棒受入室境界の防火扉は成形施設 燃料加工建屋の遮蔽扉と兼用する。

*4：防火扉のうち、燃料棒貯蔵室及び燃料棒加工第3室境界の防火扉、燃料棒貯蔵室及び燃料集合体組立第1室境界の防火扉、燃料棒貯蔵室及び燃料棒受入室境界の防火扉は核燃料物質の貯蔵施設 燃料棒貯蔵設備の遮蔽扉と兼用する。

・火災区域構造物及び火災区画構造物（貯蔵容器搬送用洞道）

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域名称	区分	番号				火災区域名称	区分	番号			
						火災区域名称	火災区域	PA-61	壁	150 (300*1)	鉄筋コンクリート

注記 *1：公称値のうち最小のものを示す。

*2：3時間耐火性能を有する防火扉を含む。（主要材料：鋼材）

1.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備

1.2.1 核燃料物質の検査設備

1.2.1.1 分析設備

(6) 気送装置

		変更前	変更後
名称		気送装置 (PA0161-M-01111, -01112) *2	— *1
主要材料	—	ステンレス鋼	
個数	—	2	

注記 *1：本機器は、基本設計方針対象の設備であるため記載の適正化を行う。

*2：送受信装置のPA0161-M-01111は乾燥ボート取出装置A，PA0161-M-01112は乾燥ボート取出装置Bに設置。

1.3 その他の主要な事項

1.3.2 冷却水設備

		変更前	変更後
名称		冷却水設備	— *1
個数	—	一式	

注記 *1：本機器は，基本設計方針対象の設備であるため記載の適正化を行う。

1.3.3 窒素循環関係設備

(1) 窒素ガス供給設備

		変更前	変更後
名称		窒素ガス設備	— *1
個数	—	一式	

注記 *1 : 本機器は、基本設計方針対象の設備であるため記載の適正化を行う。

1.3.4 その他ガス設備

(1) ヘリウムガス設備

		変更前	変更後
名称		ヘリウムガス設備	— *1
個数	—	一式	

注記 *1：本機器は、基本設計方針対象の設備であるため記載の適正化を行う。

(2) 圧縮空気供給設備

		変更前	変更後
名称		圧縮空気設備	— *1
個数	—	一式	

注記 *1：本機器は，基本設計方針対象の設備であるため記載の適正化を行う。

2. 準拠規格及び基準

2.1 非常用設備

2.1.1 火災防護設備の準拠規格及び基準

「2.1.1 火災防護設備の準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「リ その他の加工施設」の「2.1.1 火災防護設備の準拠規格及び基準」による。

2.2 核燃料物質の検査設備及び計量設備

2.2.1 核燃料物質の検査設備の準拠規格及び基準

「2.2.1 核燃料物質の検査設備の準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「リ その他の加工施設」の「2.2.1 核燃料物質の検査設備の準拠規格及び基準」による。

2.3 その他の主要な事項

2.3.1 警報関連設備の準拠規格及び基準

「2.3.1 警報関連設備の準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「リ その他の加工施設」の「2.3.1 警報関連設備の準拠規格及び基準」による。

2.3.2 冷却水設備の準拠規格及び基準

「2.3.2 冷却水設備の準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「リ その他の加工施設」の「2.3.2 冷却水設備の準拠規格及び基準」による。

2.3.3 給排水衛生設備の準拠規格及び基準

「2.3.3 給排水衛生設備の準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「リ その他の加工施設」の「2.3.3 給排水衛生設備の準拠規格及び基準」による。

2.3.4 空調用設備の準拠規格及び基準

「2.3.4 空調用設備の準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「リ その他の加工施設」の「2.3.4 空調用設備の準拠規格及び基準」による。

2.3.5 窒素循環関係設備の準拠規格及び基準

「2.3.5 窒素循環関係設備の準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022

燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の「リ その他の加工施設」の「2.3.5 窒素循環関係設備の準拠規格及び基準」による。

2.3.6 その他ガス設備の準拠規格及び基準

「2.3.6 その他ガス設備の準拠規格及び基準」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「リ その他の加工施設」の「2.3.6 その他ガス設備の準拠規格及び基準」による。

変更に係る工事工程表

「別添Ⅲ 変更に係る工事工程表」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「別添Ⅲ 工事工程表」による。

変更に係る設計及び工事に係る
品質マネジメントシステム

「別添Ⅳ 変更に係る設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」は、令和4年9月14日付け原規規発第2209145号にて認可を受けた設工認申請書の「五 変更に係る設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に同じである。

添 付 書 類

目 次

- (1) 加工施設の事業変更許可申請書との整合性に関する説明書
- (2) 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書
- (3) 加工施設の技術基準への適合性に関する説明書
 - 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理
 - I 核燃料物質の臨界防止に関する説明書
 - II 放射線による被ばくの防止に関する説明書
 - III 耐震性に関する説明書
 - IV 強度に関する説明書
 - V その他の説明書
 - V-1 説明書
 - V-2 加工施設に関する図面

(1) 加工施設の事業変更許可申請書との整合性に関する説明書

「(1) 加工施設の事業変更許可申請書との整合性に関する説明書」は、2023年2月28日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の「(1) 加工施設の事業変更許可申請書との整合性に関する説明書」による。

(2) 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書

「(2) 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書」は、2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の「(2) 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書」による。

(3) 加工施設の技術基準への適合性に関する説明書

目 次

設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理

- I 核燃料物質の臨界防止に関する説明書
 - I-1 安全機能を有する施設の臨界防止に関する説明書
 - I-2 臨界事故の拡大防止に関する説明書
- II 放射線による被ばくの防止に関する説明書
 - II-1 遮蔽設計に関する基本方針
 - II-2 放射線による被ばくの防止に関する計算書
 - II-3 計算機プログラム(解析コード)の概要
- III 耐震性に関する説明書
 - III-1 耐震性に関する基本方針
 - III-2 耐震性に関する計算書
 - III-3 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する説明書
 - III-4 地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備の耐震性に関する説明書
 - III-5 火災防護設備の耐震性に関する説明書
 - III-6 溢水による損傷の防止に対する耐震性に関する説明書 次回以降申請
 - III-7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震性に関する説明書
 - III-8 計算機プログラム(解析コード)の概要
- IV 強度に関する説明書
 - IV-1 強度に関する基本方針
 - IV-2 強度評価書 今回対象なし
- V その他の説明書
 - V-1 説明書
 - V-1-1 各施設に共通の説明書
 - V-1-1-1 自然現象等による損傷の防止に関する説明書
 - V-1-1-2 閉じ込めの機能に関する説明書
 - V-1-1-3 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書
 - V-1-1-4 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備が使用される条件
の下における健全性に関する説明書
 - V-1-1-5 加工施設への人の不法な侵入等の防止に関する説明書 前回申請
 - V-1-1-6 火災及び爆発の防止に関する説明書
 - V-1-1-7 加工施設内における溢水による損傷の防止に関する説明書
 - V-1-1-8 通信連絡設備に関する説明書 次回以降申請

- V-1-1-9 安全避難通路等に関する説明書 次回以降申請
- V-1-1-10 搬送設備に関する説明書
- V-1-1-11 警報設備等に関する説明書
- V-1-2 緊急時対策所に関する説明書 次回以降申請
- V-1-3 核燃料物質の貯蔵施設に関する説明書
- V-1-4 放射性廃棄物の廃棄施設に関する説明書
- V-1-5 放射線管理施設に関する説明書 次回以降申請
- V-1-6 その他の加工施設に関する説明書 次回以降申請
- V-2 加工施設に関する図面

「設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」による。

I 核燃料物質の臨界防止に関する 説明書

目 次

- I - 1 安全機能を有する施設の臨界防止に関する説明書
- I - 2 臨界事故の拡大防止に関する説明書

I - 1

安全機能を有する施設の臨界防止に 関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「I - 1 安全機能を有する施設の臨界防止に関する説明書」による。

I - 2

臨界事故の拡大防止に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「I - 2 臨界事故の拡大防止に関する説明書」による。

Ⅱ 放射線による被ばくの防止に関する説明書

目 次

- Ⅱ－１ 遮蔽設計に関する基本方針
- Ⅱ－２ 放射線による被ばくの防止に関する計算書
- Ⅱ－３ 計算機プログラム（解析コード）の概要

Ⅱ－1 遮蔽設計に関する基本方針

Ⅱ－１
遮蔽設計に関する基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅱ－１ 遮蔽設計に関する基本方針」による。

Ⅱ－２

放射線による被ばくの防止に関する 計算書

Ⅱ－２
放射線による被ばくの防止に関する計算書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅱ－２ 放射線による被ばくの防止に関する計算書」による。

Ⅱ－3 計算機プログラム（解析コード）の 概要

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅱ－3 計算機プログラム（解析コード）の概要」による。

Ⅲ 耐震性に関する説明書

目 次

- Ⅲ－ 1 耐震性に関する基本方針
- Ⅲ－ 2 耐震性に関する計算書
- Ⅲ－ 3 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する説明書
- Ⅲ－ 4 地震時に室素循環の経路維持が必要な設備の耐震性に関する説明書
- Ⅲ－ 5 火災防護設備の耐震性に関する説明書
- Ⅲ－ 6 溢水による損傷の防止に対する耐震性に関する説明書 次回以降申請
- Ⅲ－ 7 地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震性に関する説明書
- Ⅲ－ 8 計算機プログラム（解析コード）の概要

Ⅲ－1 耐震性に関する基本方針

目 次

- Ⅲ－１－１ 耐震設計の基本方針
 - Ⅲ－１－１－１ 基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の概要
 - Ⅲ－１－１－２ 地盤の支持性能に係る基本方針
 - Ⅲ－１－１－３ 重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類の基本方針
 - Ⅲ－１－１－４ 波及的影響に係る基本方針
 - Ⅲ－１－１－５ 地震応答解析の基本方針
 - Ⅲ－１－１－６ 設計用床応答曲線の作成方針
 - Ⅲ－１－１－７ 水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針
 - Ⅲ－１－１－８ 機能維持の基本方針
 - Ⅲ－１－１－９ 構造計画，材料選択上の留意点
 - Ⅲ－１－１－10 機器の耐震支持方針
 - Ⅲ－１－１－11 配管系の耐震支持方針
 - Ⅲ－１－１－11－１ 配管の耐震支持方針
 - Ⅲ－１－１－11－２ ダクトの耐震支持方針
 - Ⅲ－１－１－12 電気計測制御装置等の耐震支持方針
- Ⅲ－１－２ 耐震計算に関する基本方針
 - Ⅲ－１－２－１ 建物・構築物^{次回以降申請}
 - Ⅲ－１－２－２ 機器・配管系
 - Ⅲ－１－２－２－１ 機器の耐震計算に関する基本方針
 - Ⅲ－１－２－２－２ ダンパの耐震計算に関する基本方針
- Ⅲ－１－３ 耐震性に関する計算書作成の基本方針
 - Ⅲ－１－３－１ 建物・構築物^{次回以降申請}
 - Ⅲ－１－３－２ 機器・配管系
 - Ⅲ－１－３－２－１ 定式化された計算式を用いて評価を行う機器の耐震計算書作成の基本方針
 - Ⅲ－１－３－２－２ 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震計算書作成の基本方針
 - Ⅲ－１－３－２－３ ダンパの耐震計算書作成の基本方針

Ⅲ－1－1 耐震設計の基本方針

Ⅲ－１－１
耐震設計の基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－１－１ 耐震設計の基本方針」による。

Ⅲ－1－2

耐震計算に関する基本方針

Ⅲ－１－２
耐震計算に関する基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－１－２ 耐震計算に関する基本方針」による。

Ⅲ－1－3

耐震性に関する計算書作成の基本方針

Ⅲ－１－３
耐震性に関する計算書作成の基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－１－３ 耐震性に関する計算書作成の基本方針」による。

Ⅲ－2 耐震性に関する計算書

目 次

- Ⅲ－２－１ 耐震重要施設等の耐震性に関する計算書
- Ⅲ－２－２ 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価
- Ⅲ－２－３ 水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価
- Ⅲ－２－４ 耐震性に関する影響評価

Ⅲ－2－1

耐震重要施設等の耐震性に関する計算書

目 次

Ⅲ-2-1-1 建物・構築物 今回対象なし

Ⅲ-2-1-2 機器・配管系

Ⅲ－2－1－2
機器・配管系

目 次

- Ⅲ-2-1-2-1 定式化された計算式を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書 今回対象なし
- Ⅲ-2-1-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書
- Ⅲ-2-1-2-3 ダンパの耐震性に関する計算書 今回対象なし

Ⅲ－2－1－2－2

有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書

目 次

Ⅲ-2-1-2-2-1 グローブボックスの耐震計算書

Ⅲ－2－1－2－2－1

グローブボックスの耐震計算書

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 耐震重要施設	2
2.1 燃料加工建屋	2

1. 概要

本計算書は、「Ⅲ-1-3-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震計算書作成の基本方針」に基づき、グローブボックスの耐震評価について、算出した結果を示すものである。

グローブボックス（オープンポートボックスを含む）は、缶体、パネル、缶体支持架台等から構成される箱形構造であり、缶体支持架台上に缶体が設置され、必要に応じて耐震サポートが取り付け（缶体支持架台、耐震サポートを総じて、支持構造物という）。また、缶体には物品搬出入ポート、給・排気フィルタ、給・排気弁等が設置される。

グローブボックスには、前後面、側面、天井面に対して、遮蔽体が設置されるものがあり、この遮蔽体付のグローブボックスには、遮蔽体が直接缶体に固定されるものと、缶体とは独立した支持フレームに遮蔽体が固定されるものがある。また、缶体に防火シャッタが設置されるものがある。

グローブボックスの内部の機器構成によっては、内装架台を有するものがある。

グローブボックスの耐震評価は、各構成部材と固定するボルトに対して実施する。ボルトの耐震評価は、基礎ボルト及び耐震サポート取付ボルトに対して実施する。なお、防火シャッタは缶体と接続され、グローブボックスの閉じ込めバウンダリの一部を構成するため、缶体と同様に評価する。

なお、グローブボックスは、閉じ込め機能を有することから、構造強度について評価を実施するとともに、閉じ込め機能が維持されることを確認する。

機器の概要図、解析モデル図、構造強度評価（設計条件、機器要目及び結論）、閉じ込め機能維持評価（設計条件、機器要目及び結論）、内装機器の耐震性検討のための加速度算定（設計条件、機器要目及び結論）を次項以降に示す。

2. 耐震重要施設

2.1 燃料加工建屋

対象設備及び記載先を下表に示す。

記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル図	耐震重要施設		
					構造強度 評価	機能維持 評価	加速度 算定
(A)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 グローブボックス-1	A.	I.	II.	—
(B)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 グローブボックス-2	B.	I.	II.	—
(C)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 グローブボックス-3	C.	I.	II.	—
(D)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 グローブボックス-4	D.	I.	II.	—
(E)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 グローブボックス-5	E.	I.	II.	—
(F)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 グローブボックス-6	F.	I.	II.	—
(G)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	ペレット一時保管棚 グローブボックス-1	G.	I.	II.	—

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル図	耐震重要施設		
					構造強度 評価	機能維持 評価	加速度 算定
(H)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	ペレット一時保管棚 グローブボックス-2	H.	I.	II.	—
(I)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	ペレット一時保管棚 グローブボックス-3	I.	I.	II.	—
(J)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-1	J.	I.	II.	III.
(K)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-2	K.	I.	II.	III.
(L)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-3	L.	I.	II.	III.
(M)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-4	M.	I.	II.	III.
(N)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-1	N.	I.	II.	—
(O)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-2	O.	I.	II.	—
(P)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-3	P.	I.	II.	—

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル図	耐震重要施設		
					構造強度 評価	機能維持 評価	加速度 算定
(Q)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-4	Q.	I.	II.	—
(R)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-5	R.	I.	II.	—
(S)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡 装置グローブボックス-1	S.	I.	II.	III.
(T)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡 装置グローブボックス-2	T.	I.	II.	III.
(U)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-1	U.	I.	II.	—
(V)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-2	V.	I.	II.	—
(W)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-3	W.	I.	II.	—
(X)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-4	X.	I.	II.	—
(Y)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-5	Y.	I.	II.	—

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

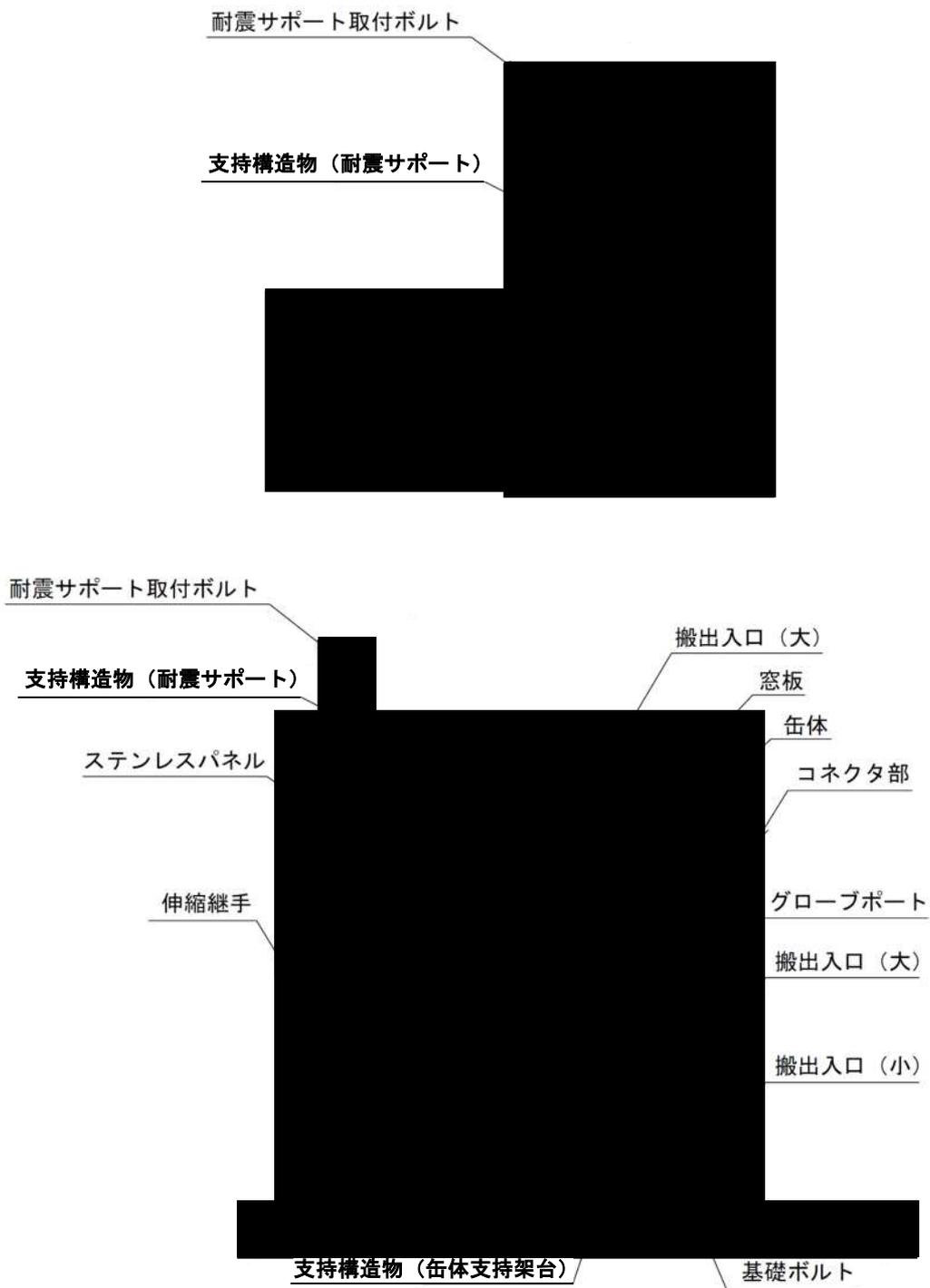
記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル図	耐震重要施設		
					構造強度 評価	機能維持 評価	加速度 算定
(Z)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装 置グローブボックス-1	Z.	I.	II.	III.
(AA)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装 置グローブボックス-2	AA.	I.	II.	III.

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

A. 粉末一時保管装置グローブボックス-1
概要図及び解析モデル図

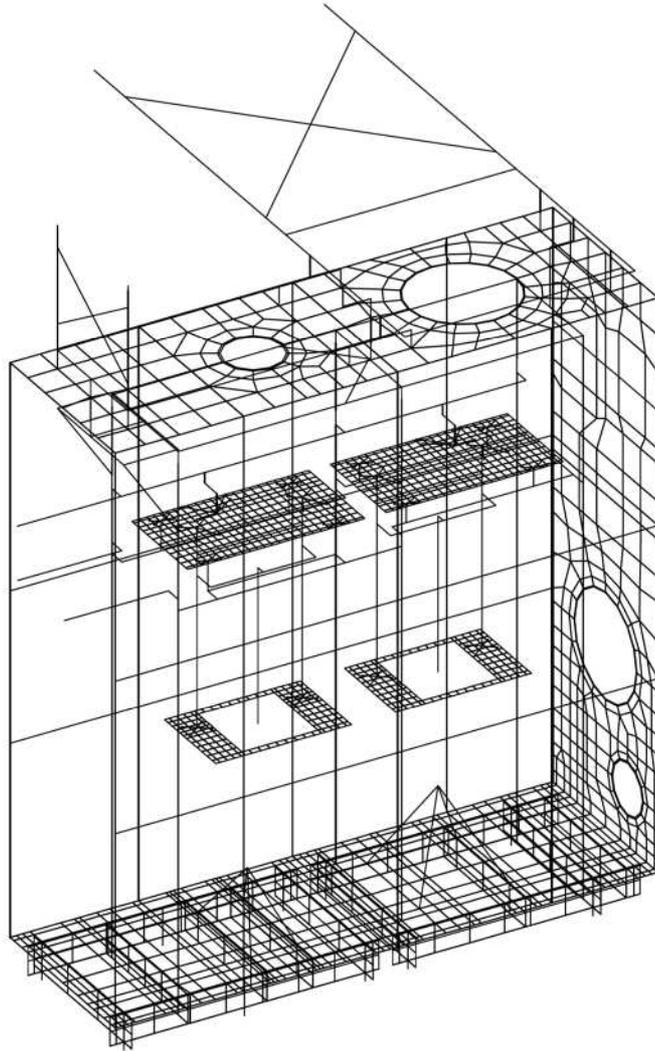
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 25 年 2 月 28 日付け原管研収第 121116001 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-1 粉末一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第 A. -1 図 概要図 (A)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第A.-2図 解析モデル図(A)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第A.-1表 (1/2) モデル諸元(A)

要素数	3135
節点数	2785
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-1表 (2/2) モデル諸元(A)

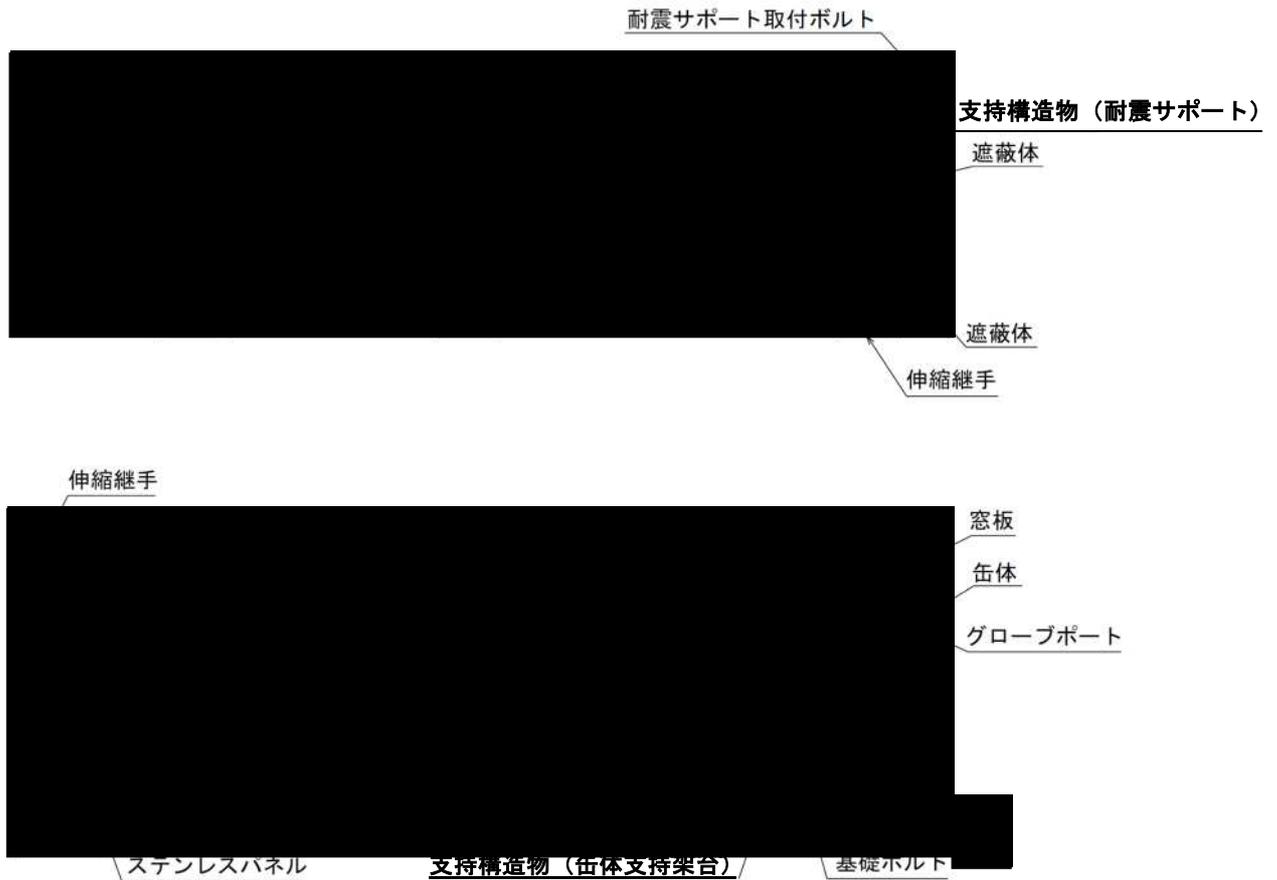
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	80.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10^3	3.700×10^6	5.224×10^6
	SUS304	—	2.859×10^3	1.303×10^6	1.805×10^6
	SUS304	—	2.432×10^3	3.700×10^6	5.224×10^6
	SUS304	—	1.245×10^3	3.943×10^5	8.730×10^5
	SUS304	—	600.0	1.800×10^3	5.000×10^5
	SUS304	—	1.888×10^3	1.073×10^5	1.107×10^6
	SUS304	—	1.684×10^3	1.066×10^5	7.511×10^5
	SUS304	—	3.142×10^3	2.396×10^6	2.396×10^6
SUS304	—	2.392×10^3	1.172×10^5	7.004×10^5	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10^3	3.600×10^3	4.000×10^6
	SS400	—	2.400×10^3	2.880×10^4	8.000×10^6
	SS400	—	400.0	533.3	3.333×10^5
	SS400	—	800.0	4.266×10^3	6.666×10^5
	SS400	—	607.5	2.306×10^3	4.100×10^5
	SS400	—	1.215×10^3	1.845×10^4	8.201×10^5
	SS400	—	3.965×10^3	5.630×10^6	1.620×10^7
	SS400	—	1.269×10^3	6.440×10^5	6.440×10^5

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

B. 粉末一時保管装置グローブボックス-2
概要図及び解析モデル図

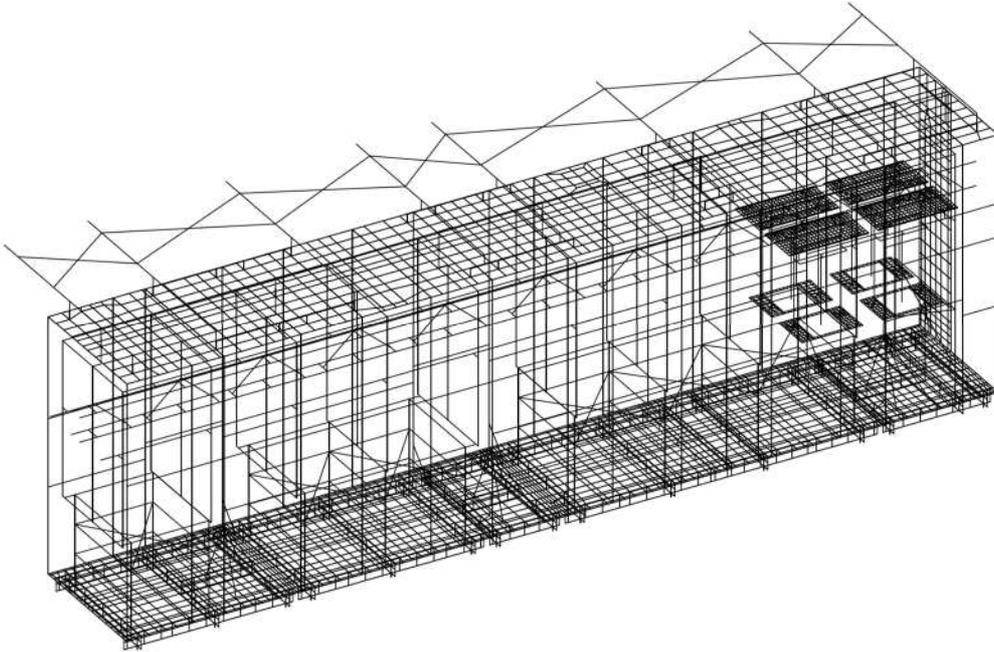
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 25 年 2 月 28 日付け原管研収第 121116001 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-1 粉末一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第B.-1図 概要図(B)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第B.-2図 解析モデル図(B)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第B.-1表 (1/3) モデル諸元(B)

要素数	9035
節点数	7537
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第B.-1表 (2/3) モデル諸元(B)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	10.5	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10^3	3.700×10^6	5.224×10^6
	SUS304	—	2.859×10^3	1.303×10^6	1.805×10^6
	SUS304	—	2.432×10^3	3.700×10^6	5.224×10^6
	SUS304	—	3.141×10^3	1.650×10^6	3.032×10^6
	SUS304	—	1.852×10^3	1.545×10^6	2.425×10^6
	SUS304	—	1.245×10^3	3.943×10^5	8.730×10^5
	SUS304	—	600.0	1.800×10^3	1.825×10^6
	SUS304	—	1.888×10^3	1.073×10^5	3.429×10^6
	SUS304	—	1.684×10^3	1.066×10^5	2.104×10^6
	SUS304	—	3.142×10^3	2.396×10^6	2.396×10^6
	SUS304	—	1.200×10^3	3.600×10^3	3.650×10^6
	SUS304	—	2.392×10^3	9.237×10^4	3.378×10^6
	SUS304	—	732.0	2.196×10^3	9.079×10^5
	SUS304	—	458.9	1.095×10^5	1.095×10^5

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第B.-1表 (3/3) モデル諸元(B)

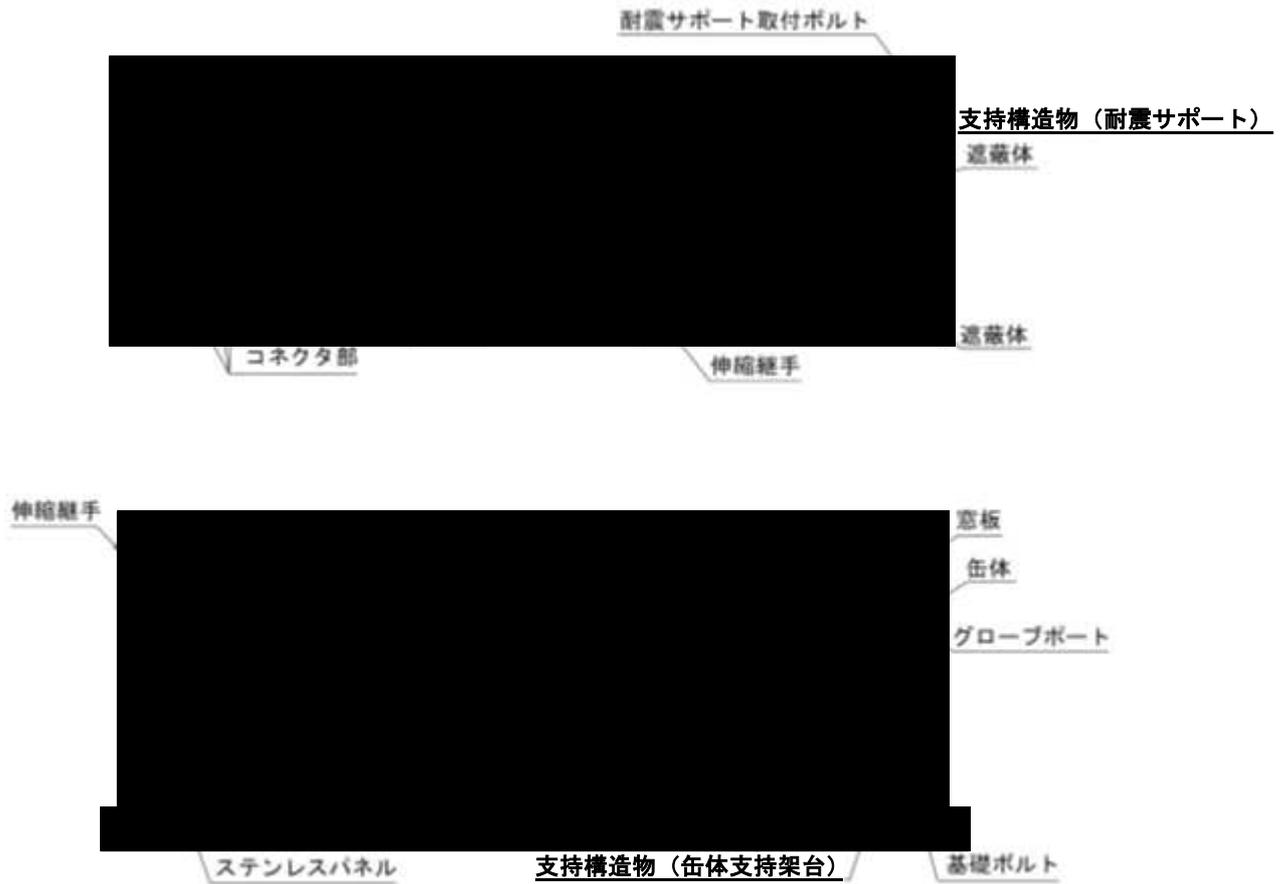
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	400.0	533.3	3.333×10 ⁵
	SS400	—	800.0	4.266×10 ³	6.666×10 ⁵
	SS400	—	675.0	1.139×10 ³	1.265×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

C. 粉末一時保管装置グローブボックス-3
概要図及び解析モデル図

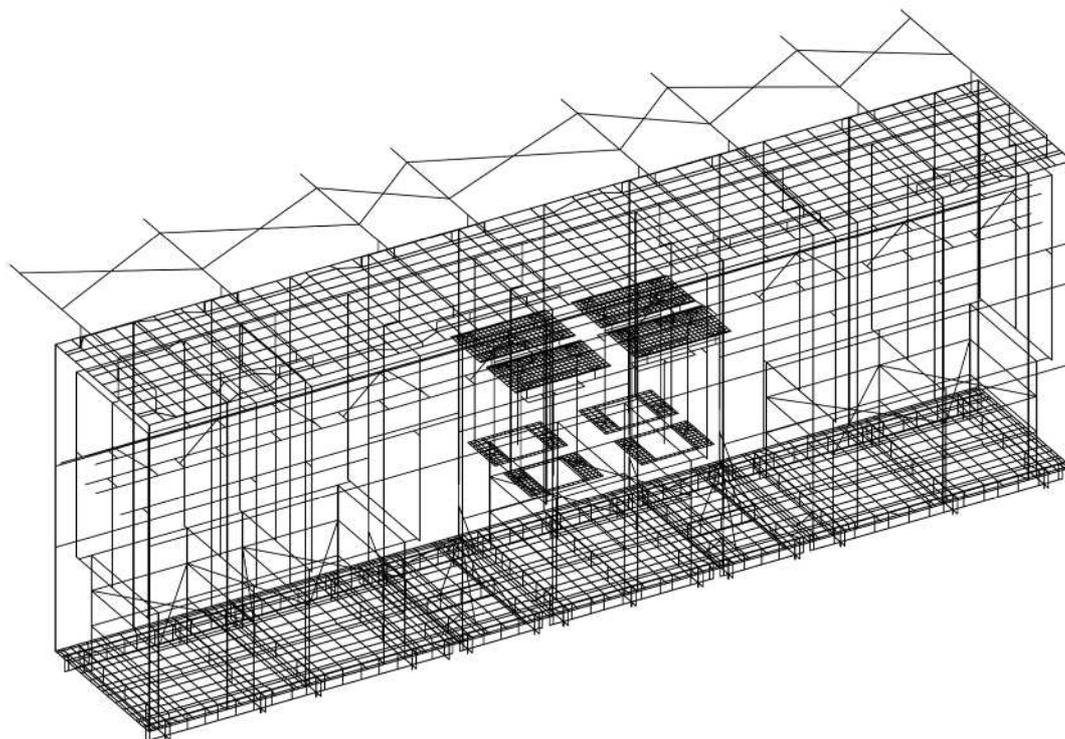
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 25 年 2 月 28 日付け原管研収第 121116001 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-1 粉末一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第C.-1図 概要図(C)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第C.-2図 解析モデル図(C)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第C.-1表 (1/2) モデル諸元(C)

要素数	7510
節点数	6200
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第C.-1表 (2/2) モデル諸元(C)

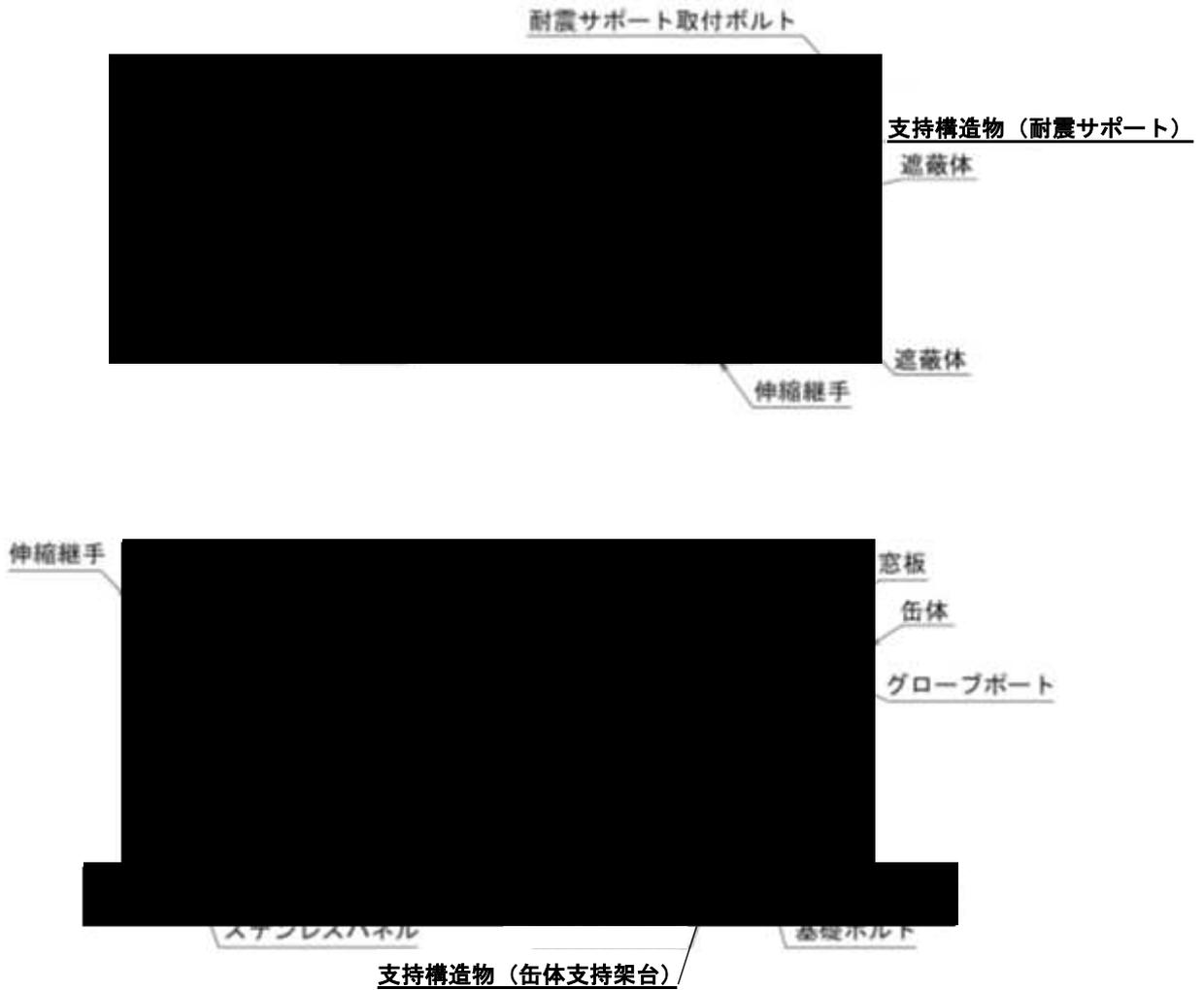
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.859×10 ³	1.303×10 ⁶	1.805×10 ⁶
	SUS304	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	1.825×10 ⁶
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	3.429×10 ⁶
	SUS304	—	1.684×10 ³	1.066×10 ⁵	2.104×10 ⁶
	SUS304	—	3.142×10 ³	2.396×10 ⁶	2.396×10 ⁶
	SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	3.650×10 ⁶
	SUS304	—	2.392×10 ³	9.237×10 ⁴	3.378×10 ⁶
	SUS304	—	458.9	1.095×10 ⁵	1.095×10 ⁵
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

D. 粉末一時保管装置グローブボックス-4
概要図及び解析モデル図

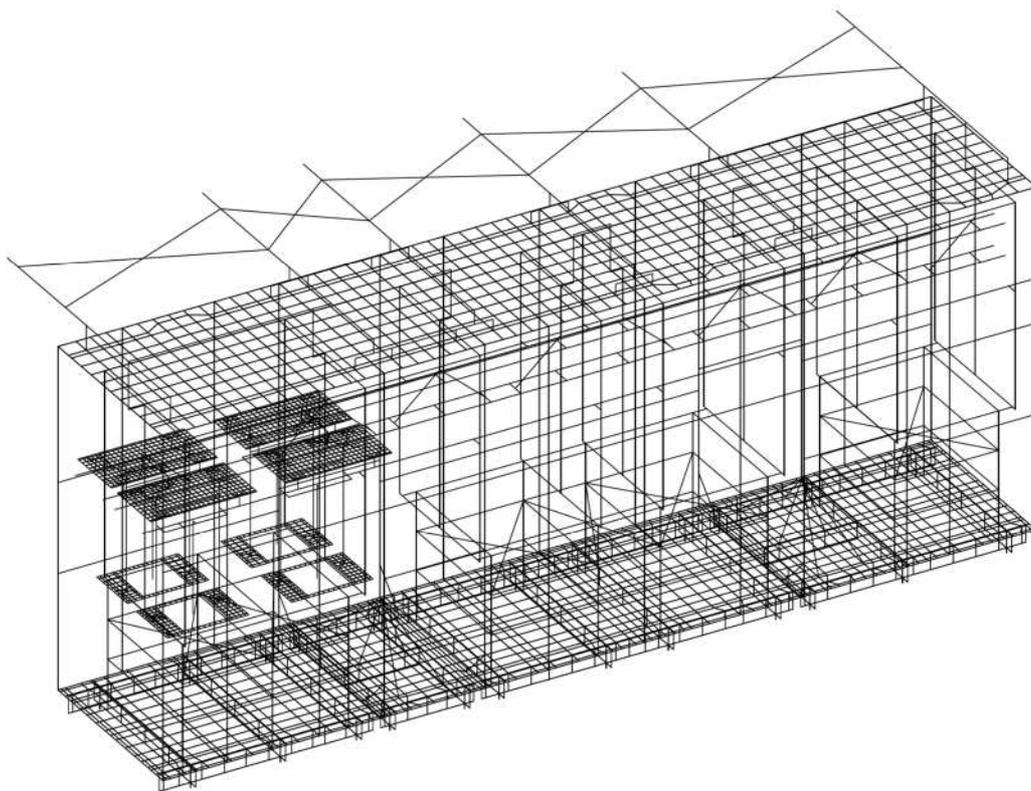
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 25 年 2 月 28 日付け原管研収第 121116001 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-1 粉末一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第D.-1図 概要図(D)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第D.-2図 解析モデル図(D)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

第D.-1表 (1/2) モデル諸元(D)

要素数	6930
節点数	5831
拘束条件	完全固定 並進 3 方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005. 1. 0 2005R2

第D.-1表 (2/2) モデル諸元(D)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.859×10 ³	1.303×10 ⁶	1.805×10 ⁶
	SUS304	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	1.825×10 ⁶
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	3.429×10 ⁶
	SUS304	—	1.684×10 ³	1.066×10 ⁵	2.104×10 ⁶
	SUS304	—	3.142×10 ³	2.396×10 ⁶	2.396×10 ⁶
	SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	3.650×10 ⁶
	SUS304	—	2.392×10 ³	9.237×10 ⁴	3.378×10 ⁶
	SUS304	—	458.9	1.095×10 ⁵	1.095×10 ⁵
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

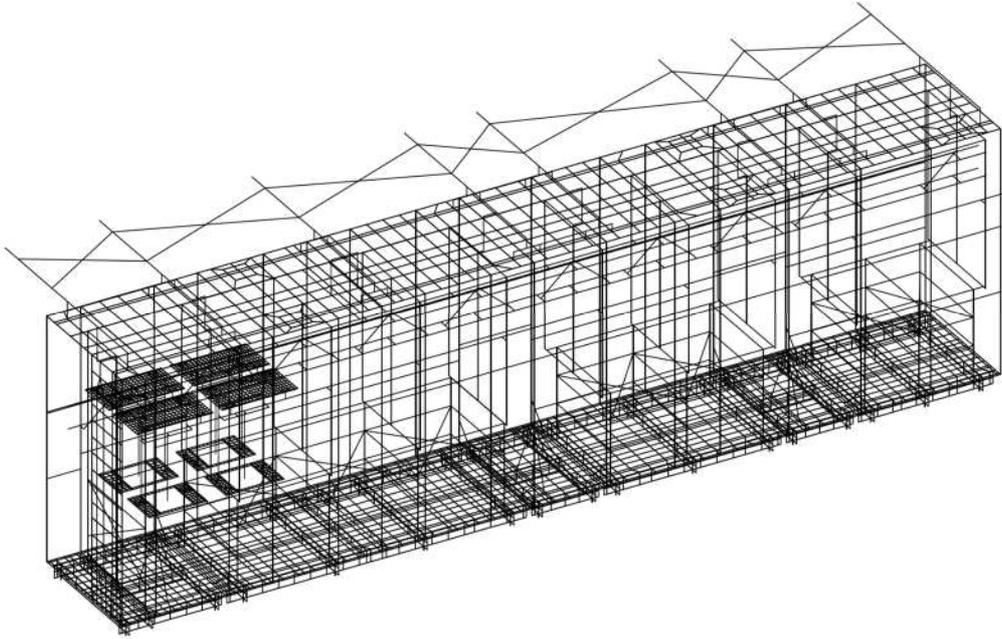
E. 粉末一時保管装置グローブボックス-5
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 25 年 2 月 28 日付け原管研収第 121116001 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-1 粉末一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第E.-1図 概要図(E)



第E.-2図 解析モデル図(E)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第E.-1表 (1/3) モデル諸元(E)

要素数	8697
節点数	7149
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第E.-1表 (2/3) モデル諸元(E)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	10.5	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10^3	3.700×10^6	5.224×10^6
	SUS304	—	2.859×10^3	1.303×10^6	1.805×10^6
	SUS304	—	2.432×10^3	3.700×10^6	5.224×10^6
	SUS304	—	3.141×10^3	1.650×10^6	3.032×10^6
	SUS304	—	1.852×10^3	1.545×10^6	2.425×10^6
	SUS304	—	1.245×10^3	3.943×10^5	8.730×10^5
	SUS304	—	600.0	1.800×10^3	1.825×10^6
	SUS304	—	1.888×10^3	1.073×10^5	3.429×10^6
	SUS304	—	1.684×10^3	1.066×10^5	2.104×10^6
	SUS304	—	3.142×10^3	2.396×10^6	2.396×10^6
	SUS304	—	1.200×10^3	3.600×10^3	3.650×10^6
	SUS304	—	2.392×10^3	9.237×10^4	3.378×10^6
	SUS304	—	458.9	1.095×10^5	1.095×10^5

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第E.-1表 (3/3) モデル諸元(E)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	400.0	533.3	3.333×10 ⁵
	SS400	—	800.0	4.266×10 ³	6.666×10 ⁵
	SS400	—	675.0	1.139×10 ³	1.265×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

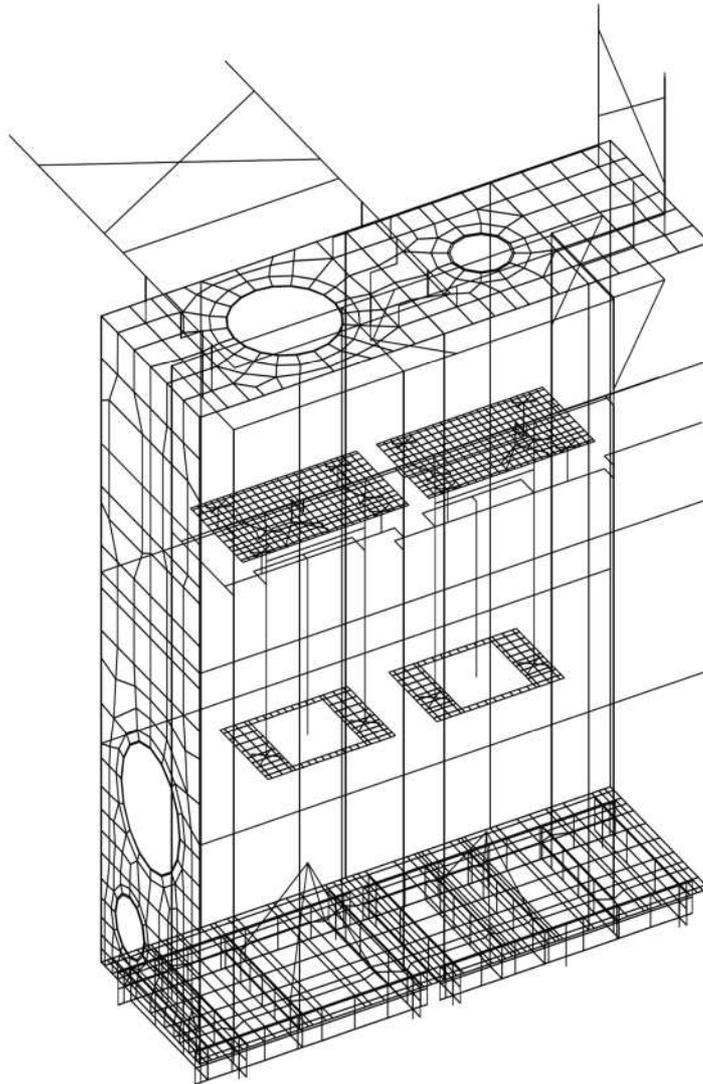
F. 粉末一時保管装置グローブボックス-6
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 25 年 2 月 28 日付け原管研収第 121116001 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-1 粉末一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第F.-1図 概要図(F)



第F.-2図 解析モデル図(F)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第F.-1表 (1/3) モデル諸元(F)

要素数	3035
節点数	2697
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第F.-1表 (2/3) モデル諸元(F)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	80.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10^3	3.700×10^6	5.224×10^6
	SUS304	—	2.859×10^3	1.303×10^6	1.805×10^6
	SUS304	—	2.432×10^3	3.700×10^6	5.224×10^6
	SUS304	—	1.245×10^3	3.943×10^5	8.730×10^5
	SUS304	—	600.0	1.800×10^3	5.000×10^5
	SUS304	—	1.888×10^3	1.073×10^5	1.107×10^6
	SUS304	—	1.684×10^3	1.066×10^5	7.511×10^5
	SUS304	—	3.142×10^3	2.396×10^6	2.396×10^6
	SUS304	—	1.200×10^3	3.600×10^3	1.000×10^6
	SUS304	—	2.392×10^3	1.172×10^5	7.004×10^5

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第F.-1表 (3/3) モデル諸元(F)

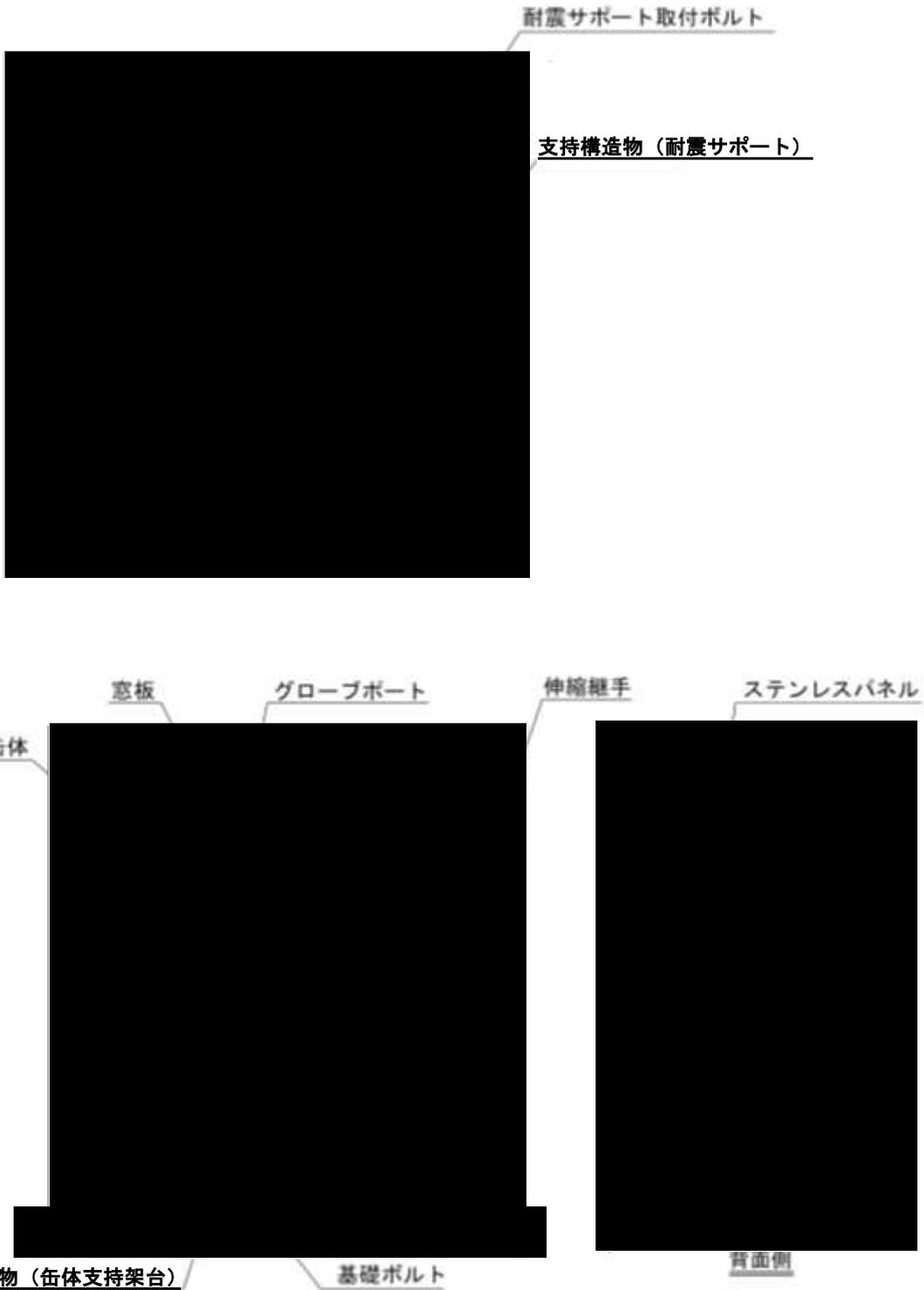
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	400.0	533.3	3.333×10 ⁵
	SS400	—	800.0	4.266×10 ³	6.666×10 ⁵
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

G. ペレット一時保管棚グローブボックス-1
概要図及び解析モデル図

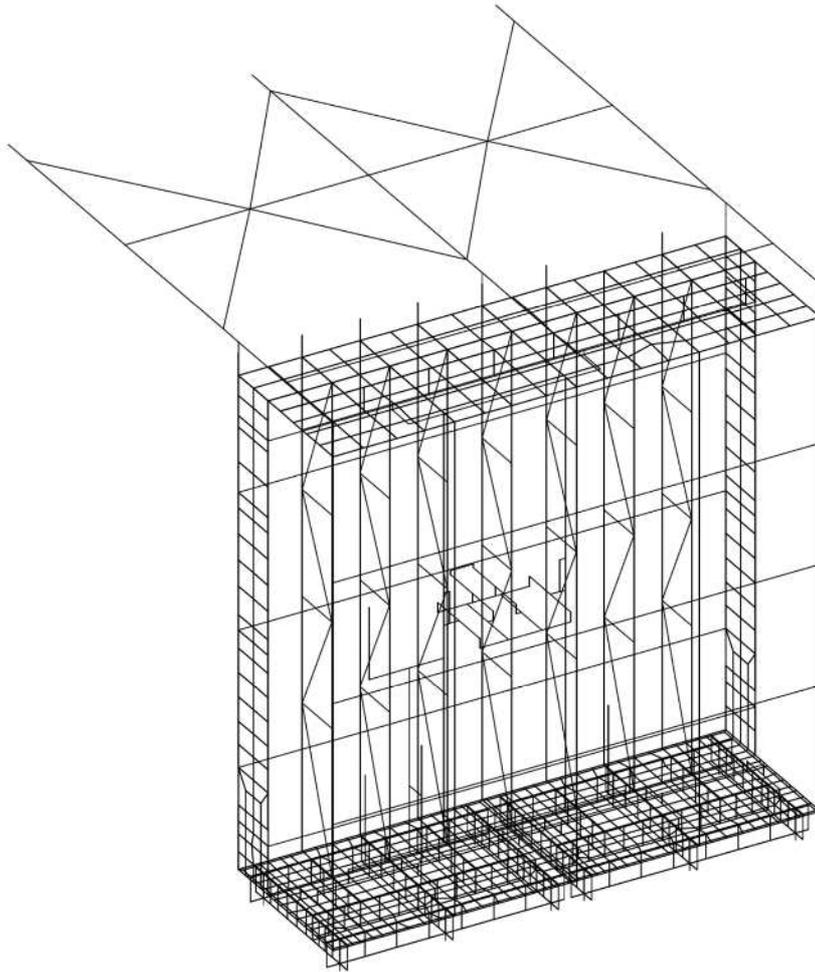
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-2 ペレット一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第G.-1図 概要図(G)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第G.-2図 解析モデル図(G)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第G.-1表 (1/2) モデル諸元(G)

要素数	2288
節点数	1598
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第G.-1表 (2/2) モデル諸元(G)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

H. ペレット一時保管棚グローブボックス-2
概要図及び解析モデル図

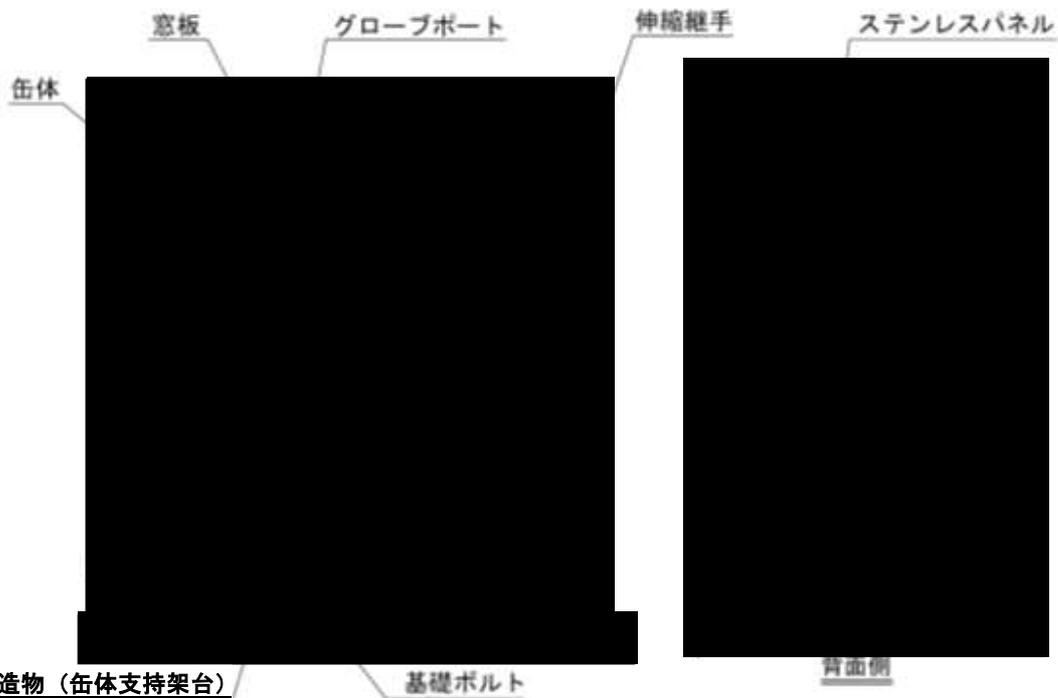
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-2 ペレット一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。

耐震サポート取付ボルト

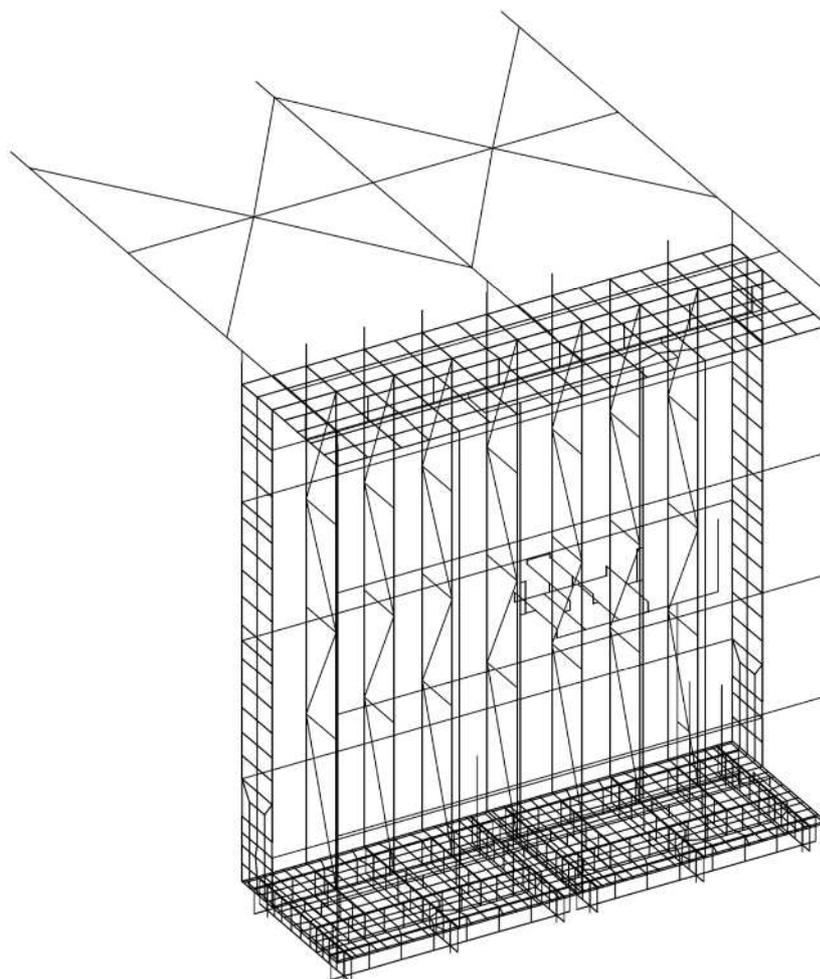


支持構造物（耐震サポート）



第H.-1図 概要図(H)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第H.-2図 解析モデル図(H)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第H.-1表 (1/2) モデル諸元(H)

要素数	2285
節点数	1598
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第H.-1表 (2/2) モデル諸元(H)

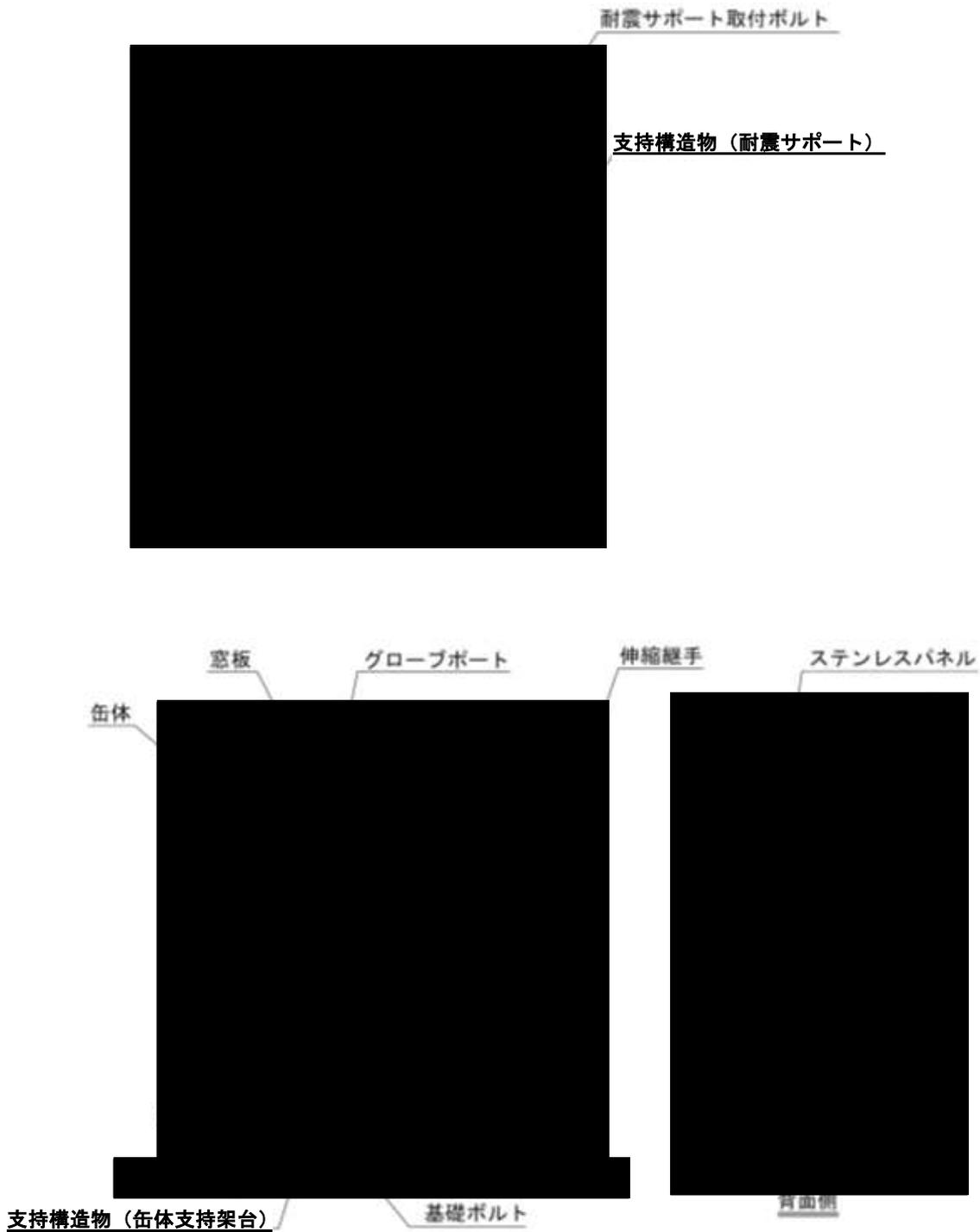
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

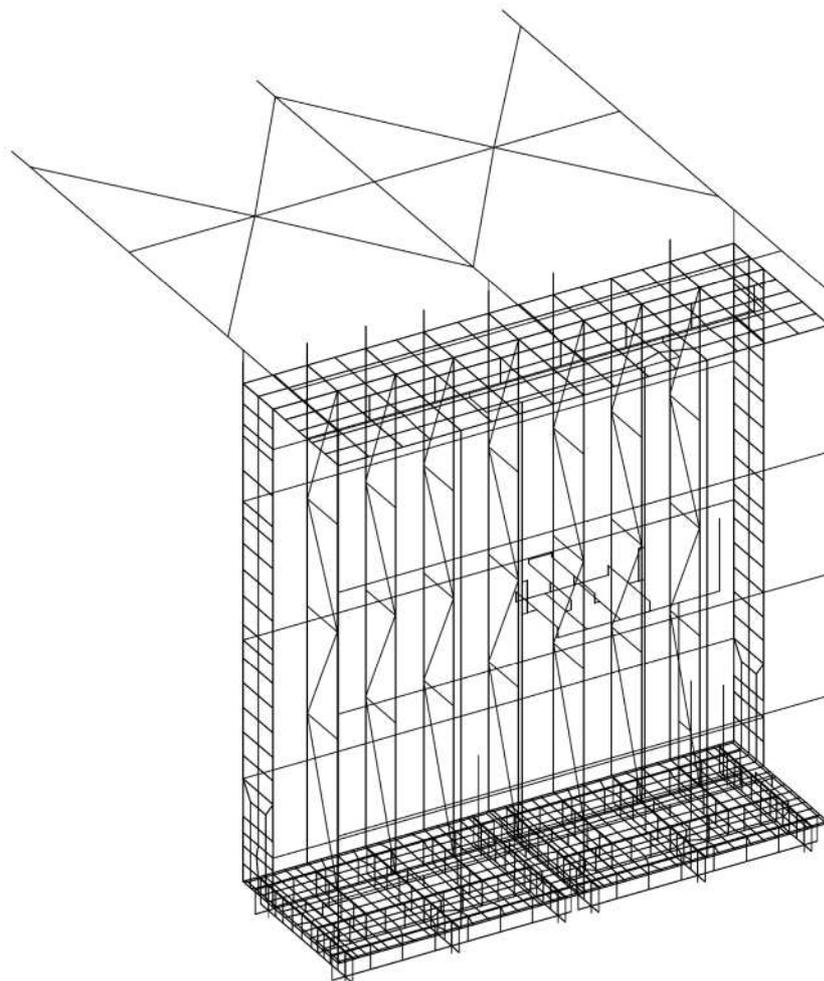
I. ペレット一時保管棚グローブボックス-3
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

: 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-2 ベレット一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第I.-1図 概要図(I)



第I.-2図 解析モデル図(I)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第I.-1表 (1/2) モデル諸元(I)

要素数	2288
節点数	1598
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第I.-1表 (2/2) モデル諸元(I)

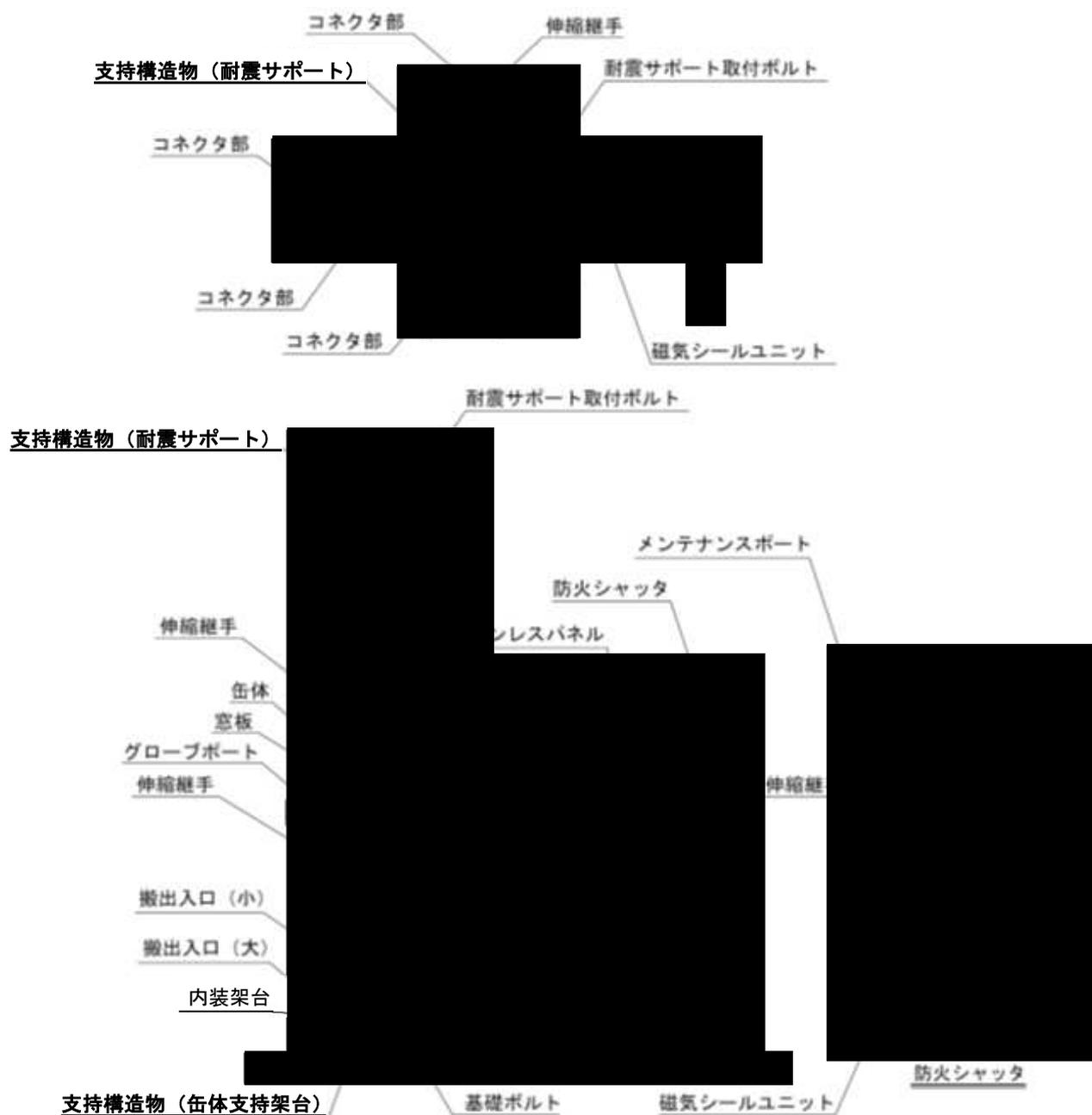
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

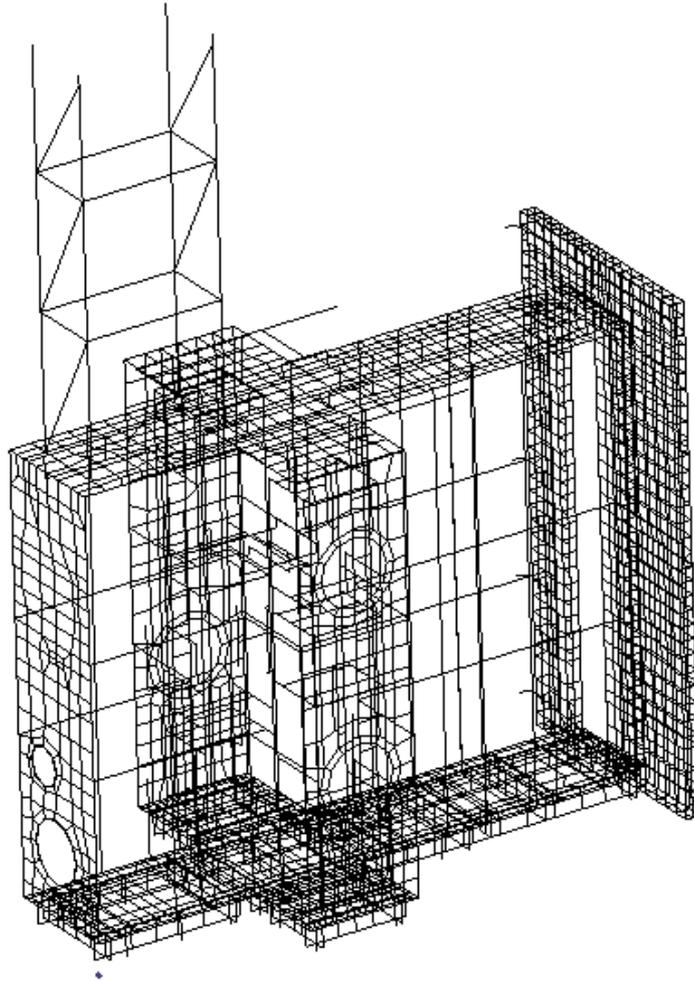
J. 焼結ボート受渡装置グローブボックス-1
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

: 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-2 ベレット一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第J.-1図 概要図(J)



第J.-2図 解析モデル図(J)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第J.-1表 (1/3) モデル諸元(J)

要素数	5167
節点数	4009
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第J.-1表 (2/3) モデル諸元(J)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	80.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	27.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304	20.0	—	—	—
	SUS304	16.0	—	—	—
	SUS304	25.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	2.268×10 ³	1.857×10 ⁶	4.920×10 ⁶
	SUS304TP	—	1.532×10 ³	5.674×10 ⁵	1.709×10 ⁶
	SUS304	—	5.700×10 ³	4.275×10 ⁵	1.714×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	5.457×10 ³	5.412×10 ⁶	6.862×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304	—	1.719×10 ³	1.341×10 ⁶	2.066×10 ⁶
	SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶
SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	1.000×10 ⁶	

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第J.-1表 (3/3) モデル諸元(J)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	—	900.0	6.750×10 ⁴	6.750×10 ⁴
	SUS304	—	800.0	2.666×10 ⁴	1.066×10 ⁵
	SUS304	—	2.000×10 ³	2.666×10 ⁵	4.166×10 ⁵
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵
	SUS304	—	4.000×10 ³	5.333×10 ⁵	3.333×10 ⁶
内装架台	STKR400	—	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	SS400	—	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	—	4.000×10 ³	1.333×10 ⁵	1.333×10 ⁷

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

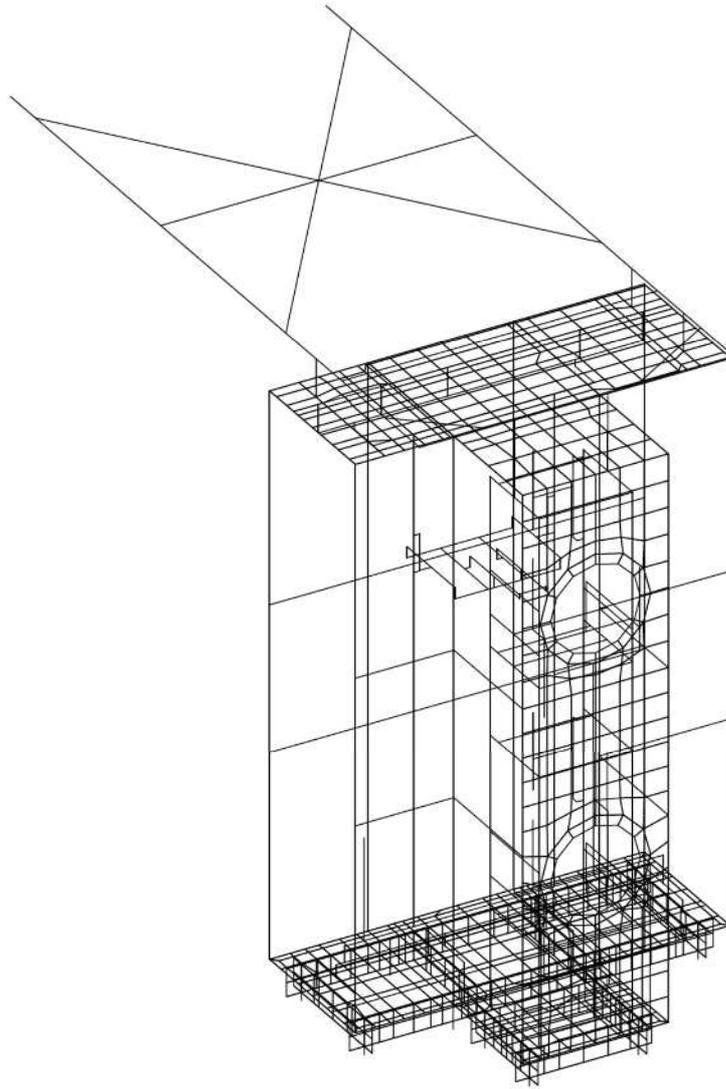
K. 焼結ボート受渡装置グローブボックス-2
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

: 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-2 ペレット一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第K.-1図 概要図(K)



第K.-2図 解析モデル図(K)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第K.-1表 (1/3) モデル諸元(K)

要素数	1962
節点数	1497
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第K.-1表 (2/3) モデル諸元(K)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	33.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	3.300×10 ³	2.475×10 ⁵	3.327×10 ⁶
	SUS304	—	5.700×10 ³	4.275×10 ⁵	1.714×10 ⁷
	SUS304	—	1.512×10 ³	5.890×10 ⁵	3.900×10 ⁶
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.151×10 ³	5.766×10 ⁶	6.565×10 ⁶
SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	1.000×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.900×10 ³	1.750×10 ⁶	1.750×10 ⁶

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第K.-1表 (3/3) モデル諸元(K)

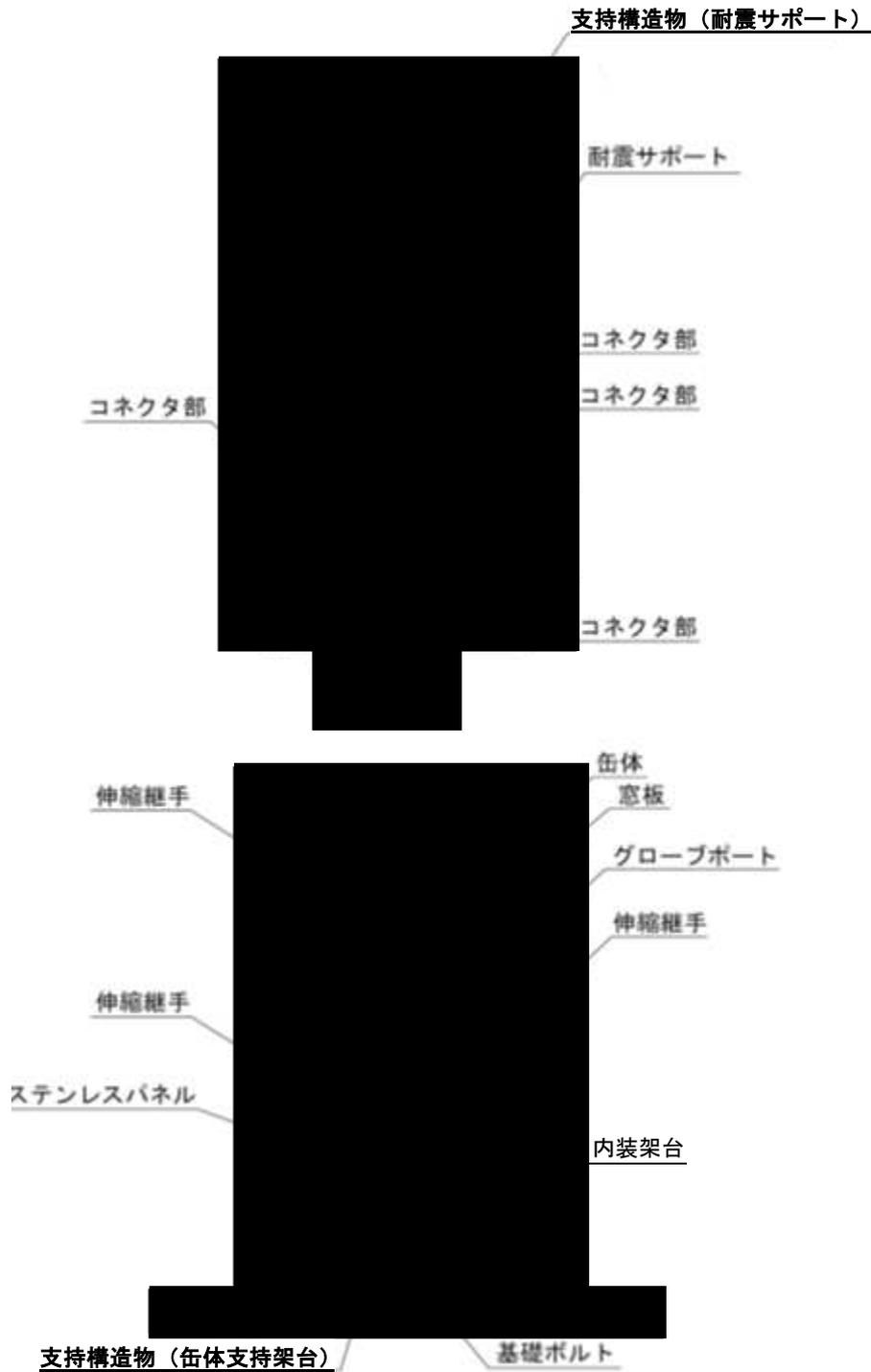
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
内装架台	STKR400	—	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	SS400	—	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	—	4.000×10 ³	1.333×10 ⁵	1.333×10 ⁷

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

L. 焼結ボート受渡装置グローブボックス-3
概要図及び解析モデル図

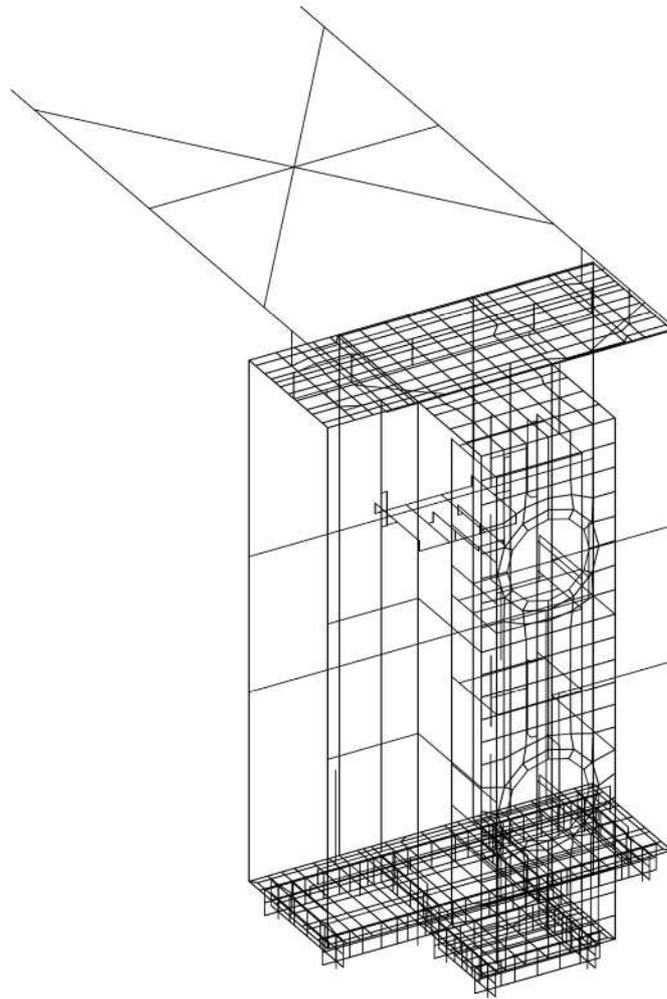
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-2 ペレット一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第L.-1図 概要図(L)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第L.-2図 解析モデル図(L)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第L.-1表 (1/3) モデル諸元(L)

要素数	1962
節点数	1497
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第L.-1表 (2/3) モデル諸元(L)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	33.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	3.300×10 ³	2.475×10 ⁵	3.327×10 ⁶
	SUS304	—	5.700×10 ³	4.275×10 ⁵	1.714×10 ⁷
	SUS304	—	1.512×10 ³	5.890×10 ⁵	3.900×10 ⁶
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.151×10 ³	5.766×10 ⁶	6.565×10 ⁶
SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	1.000×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.900×10 ³	1.750×10 ⁶	1.750×10 ⁶

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第L.-1表 (3/3) モデル諸元(L)

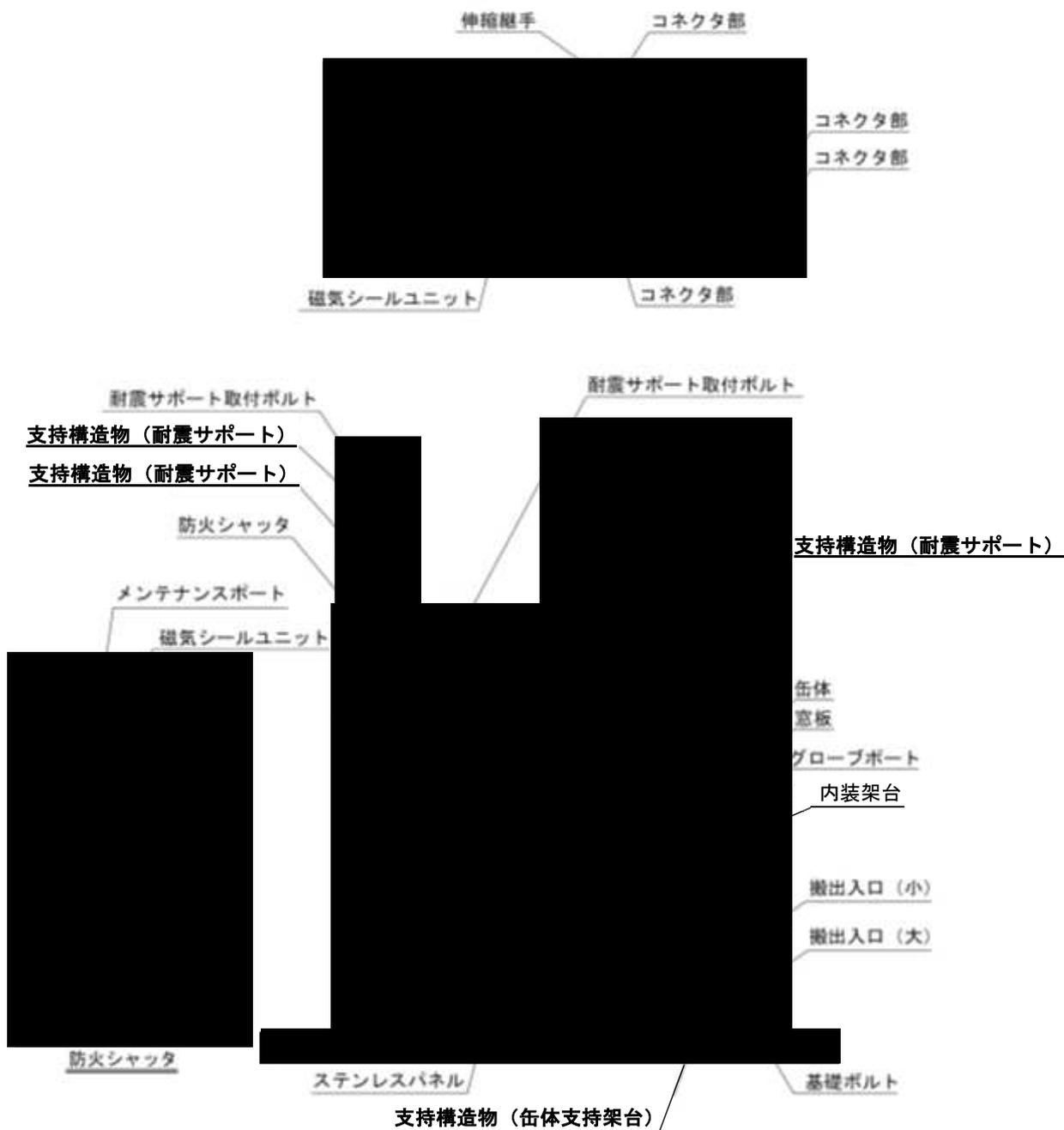
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
内装架台	STKR400	—	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	SS400	—	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	—	4.000×10 ³	1.333×10 ⁵	1.333×10 ⁷

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

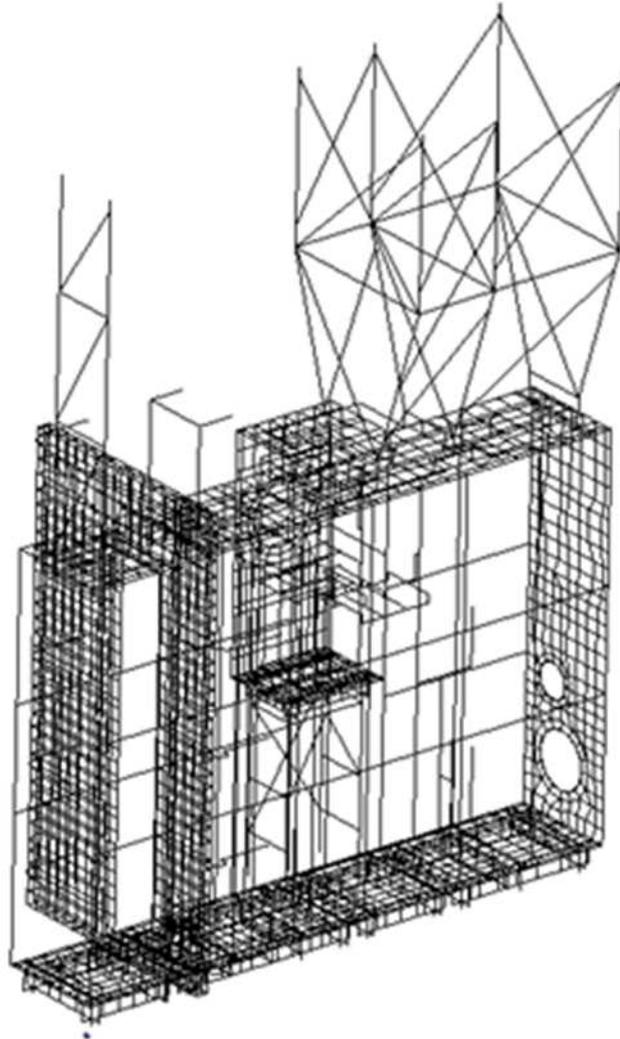
M. 焼結ボート受渡装置グローブボックス-4
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
 グローブボックスの耐震計算書

: 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-2 ペレット一時保管設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第M.-1図 概要図(M)



第M.-2図 解析モデル図(M)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第M.-1表 (1/3) モデル諸元(M)

要素数	5027
節点数	3923
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第M.-1表 (2/3) モデル諸元(M)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)		
				弱軸	強軸	
缶体	SUS304	6.0	—	—	—	
	SUS304	80.0	—	—	—	
	SUS304	10.0	—	—	—	
	SUS304	27.0	—	—	—	
	SUS304	12.0	—	—	—	
	SUS304	11.0	—	—	—	
	SUS304	12.75	—	—	—	
	SUS304	20.0	—	—	—	
	SUS304	16.0	—	—	—	
	SUS304	25.0	—	—	—	
	SUS304TP	—	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304	—	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304	—	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	—	2.268×10 ³	1.857×10 ⁶	4.920×10 ⁶
	SUS304TP	—	—	1.532×10 ³	5.674×10 ⁵	1.709×10 ⁶
	SUS304	—	—	5.700×10 ³	4.275×10 ⁵	1.714×10 ⁷
	SUS304	—	—	600.0	1.800×10 ³	1.825×10 ⁶
	SUS304	—	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	3.429×10 ⁶
SUS304	—	—	5.457×10 ³	5.412×10 ⁶	6.862×10 ⁶	

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第M.-1表 (3/3) モデル諸元(M)

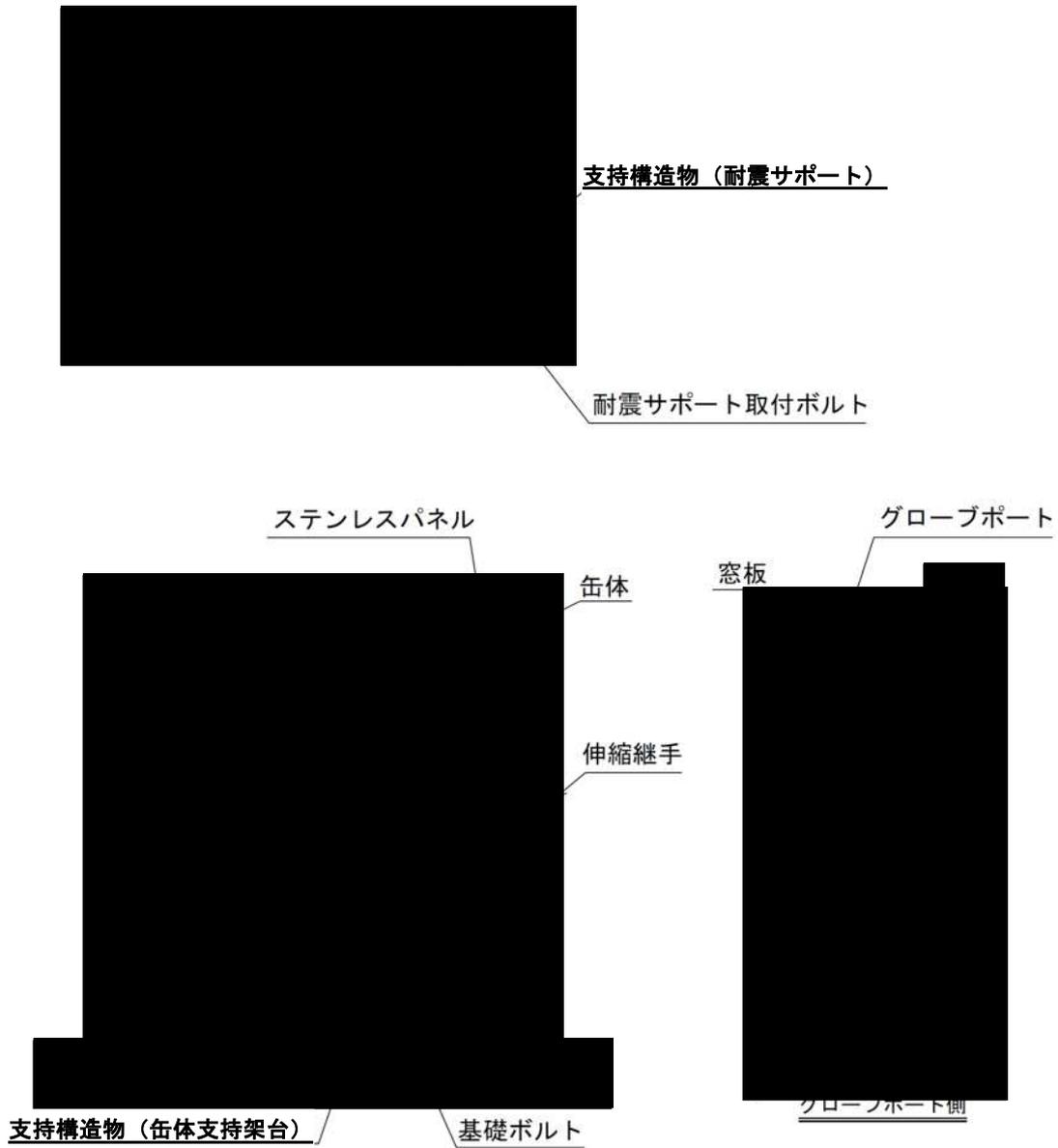
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.116×10 ⁷
	SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	3.650×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.750×10 ⁴	6.750×10 ⁴
	SUS304	—	800.0	2.666×10 ⁴	1.066×10 ⁵
	SUS304	—	2.000×10 ³	2.666×10 ⁵	4.166×10 ⁵
	SUS304	—	1.532×10 ³	5.674×10 ⁵	1.709×10 ⁶
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	750.0	1.562×10 ³	1.406×10 ⁶
	SS400	—	1.500×10 ³	1.250×10 ⁴	2.812×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	375.0	781.2	1.757×10 ⁵
	SS400	—	750.0	6.250×10 ³	3.515×10 ⁵
	SS400	—	872.7	4.610×10 ⁵	4.610×10 ⁵
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵
	SUS304	—	4.000×10 ³	5.333×10 ⁵	3.333×10 ⁶
	STKR400	—	4.867×10 ³	1.580×10 ⁷	1.580×10 ⁷
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
内装架台	STKR400	—	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	SS400	—	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	—	4.000×10 ³	1.333×10 ⁵	1.333×10 ⁷

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

N. スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1
概要図及び解析モデル図

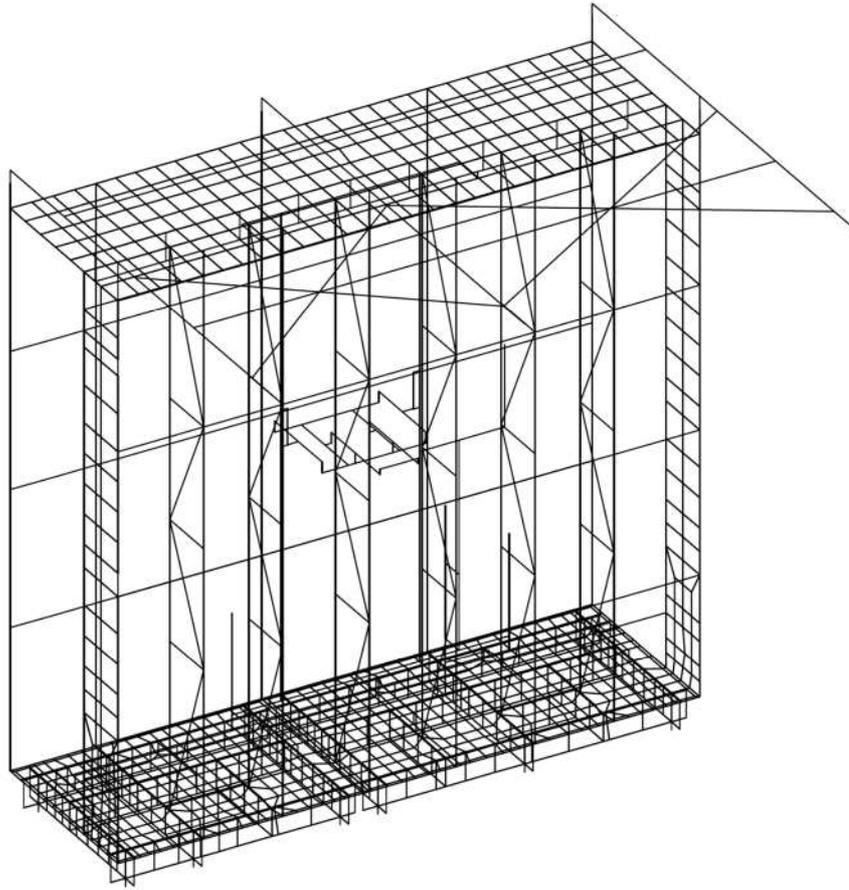
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-3 スクラップ貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第N.-1図 概要図(N)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第N.-2図 解析モデル図(N)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第N.-1表 (1/2) モデル諸元(N)

要素数	2428
節点数	1702
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第N.-1表 (2/2) モデル諸元(N)

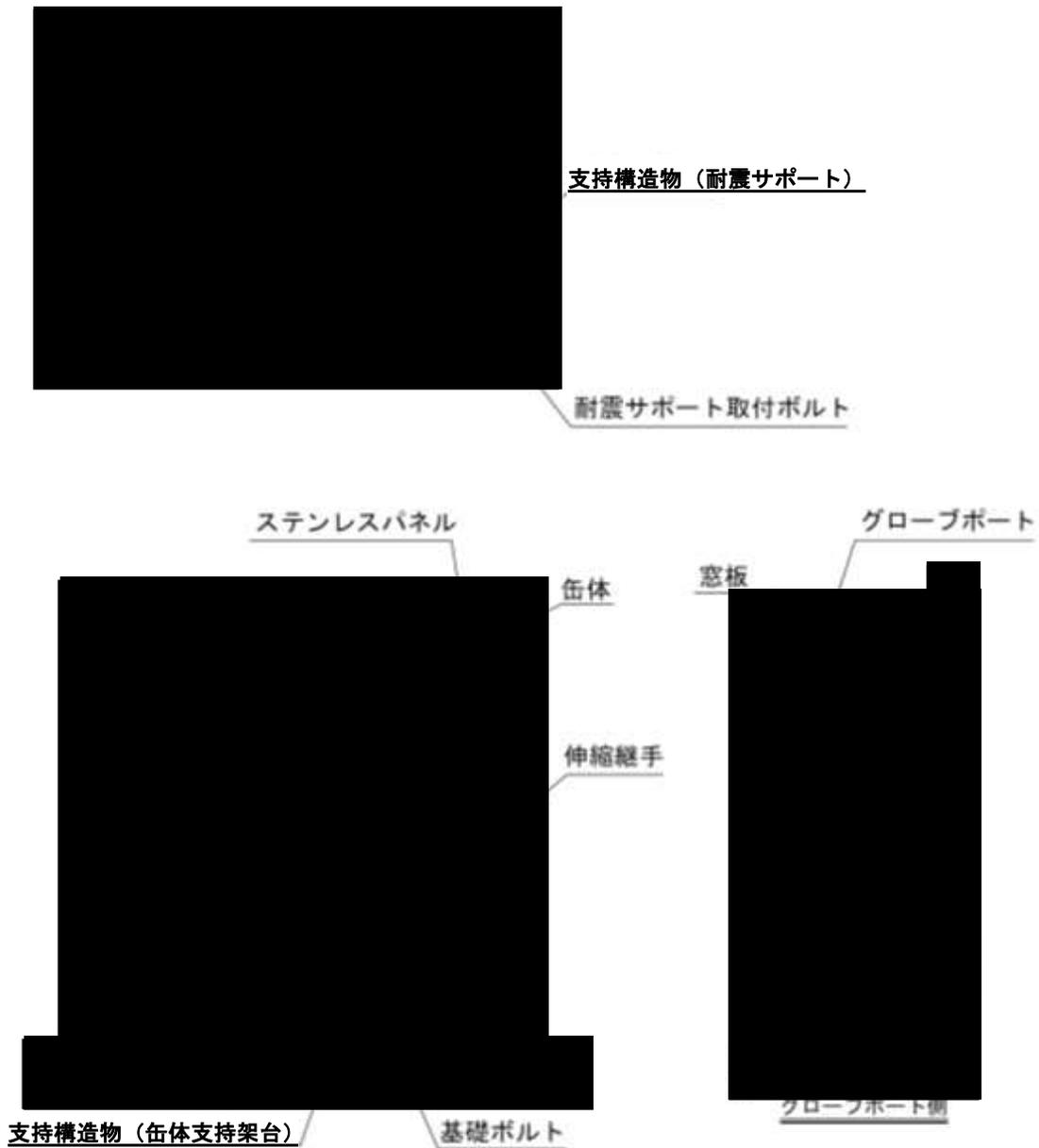
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	1.825×10 ⁶
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	3.429×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.116×10 ⁷	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

0. スクラップ貯蔵棚グローブボックス-2
概要図及び解析モデル図

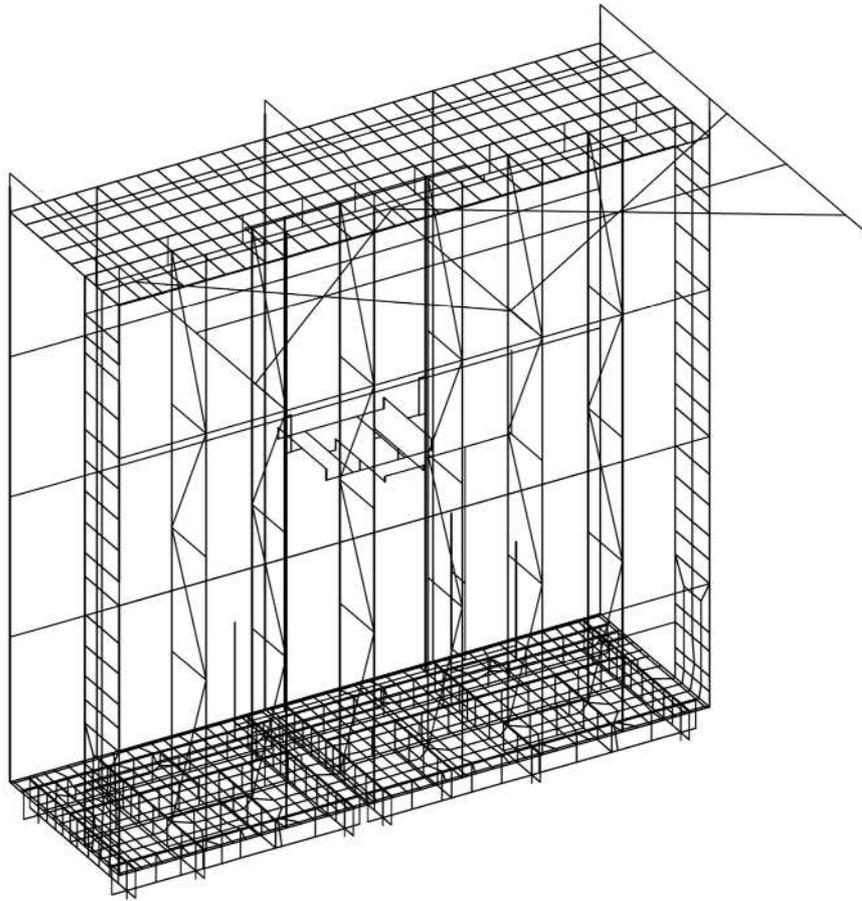
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-3 スクラップ貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第0.-1図 概要図(0)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第0.-2図 解析モデル図(0)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第0.-1表 (1/2) モデル諸元(0)

要素数	2424
節点数	1702
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第0.-1表 (2/2) モデル諸元(0)

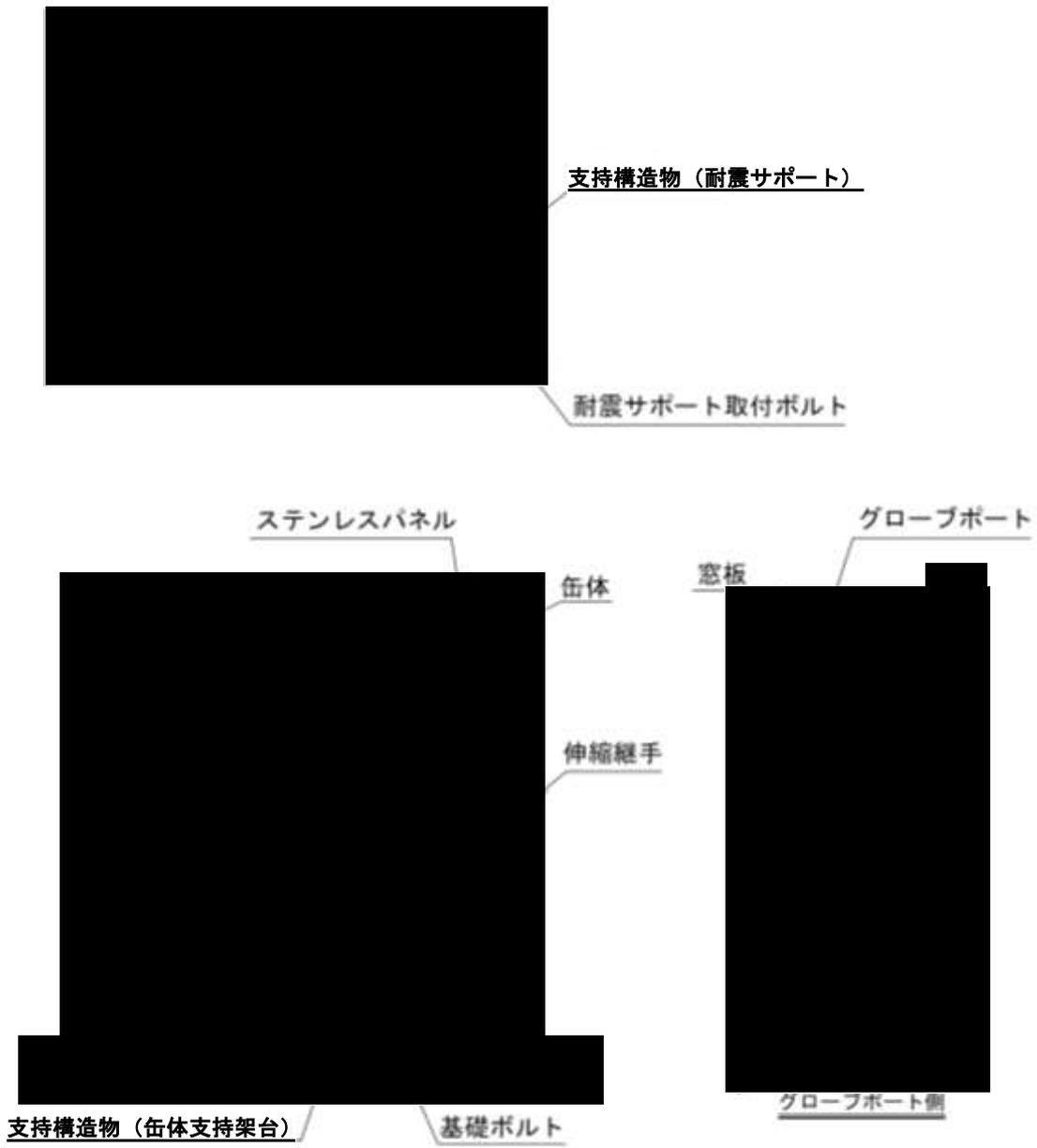
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	1.825×10 ⁶
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	3.429×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.116×10 ⁷	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

P. スクラップ貯蔵棚グローブボックス-3
概要図及び解析モデル図

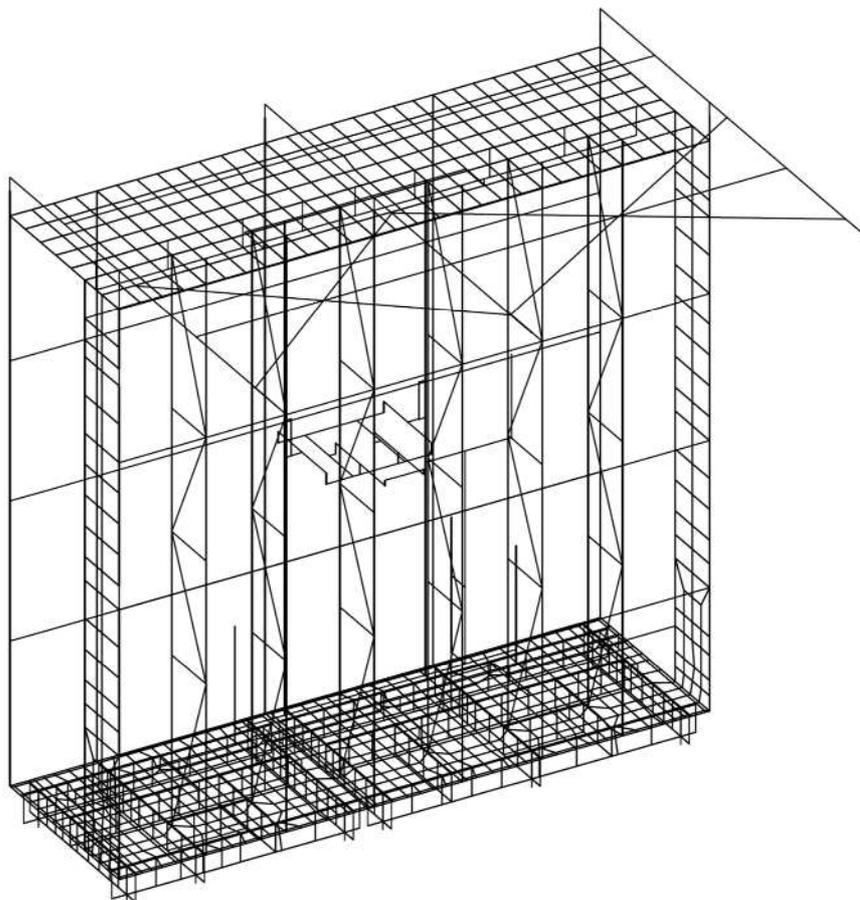
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-3 スクラップ貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第P.-1図 概要図(P)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第P.-2図 解析モデル図(P)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第P.-1表 (1/2) モデル諸元(P)

要素数	2424
節点数	1702
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第P.-1表 (2/2) モデル諸元(P)

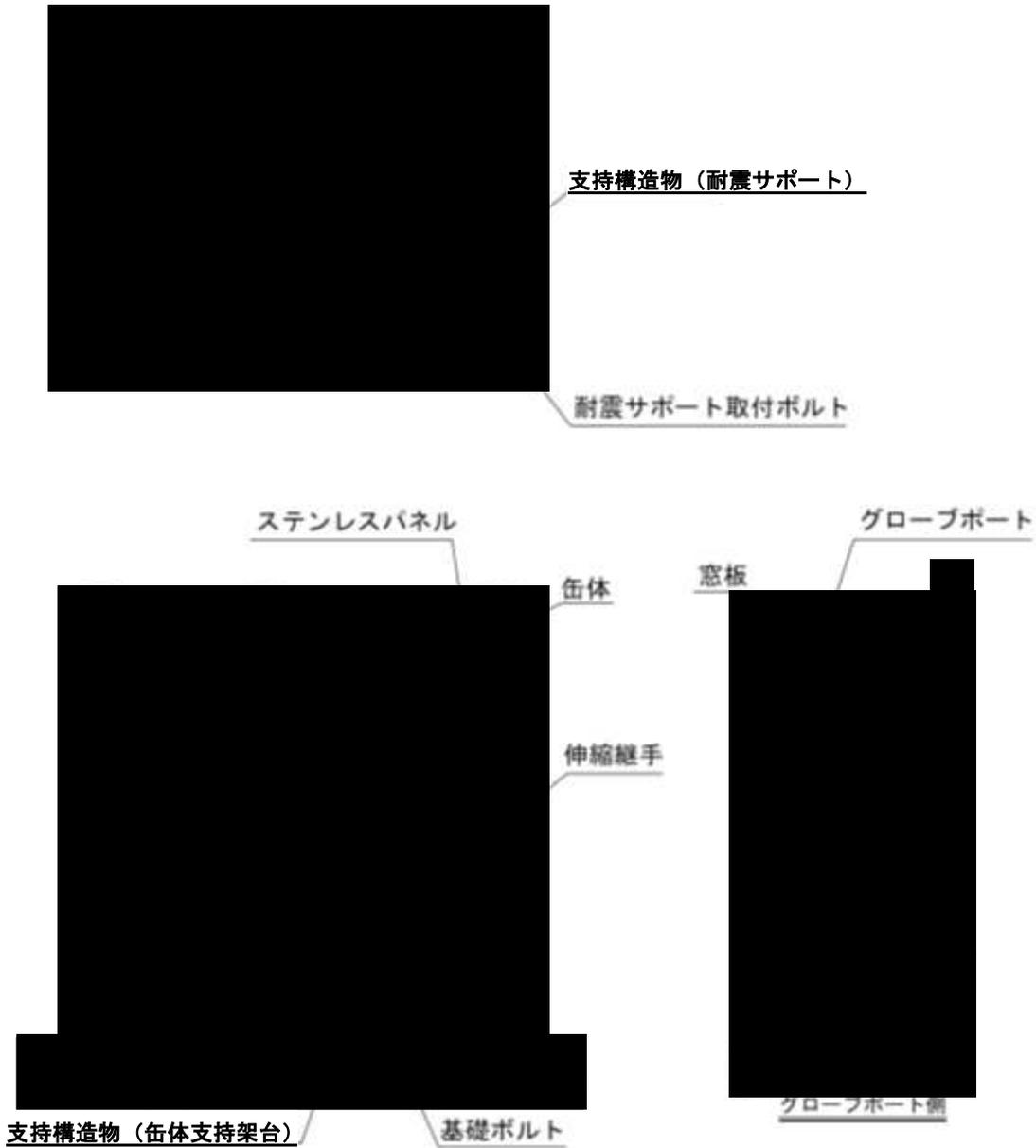
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	1.825×10 ⁶
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	3.429×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.116×10 ⁷	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

Q. スクラップ貯蔵棚グローブボックス-4
概要図及び解析モデル図

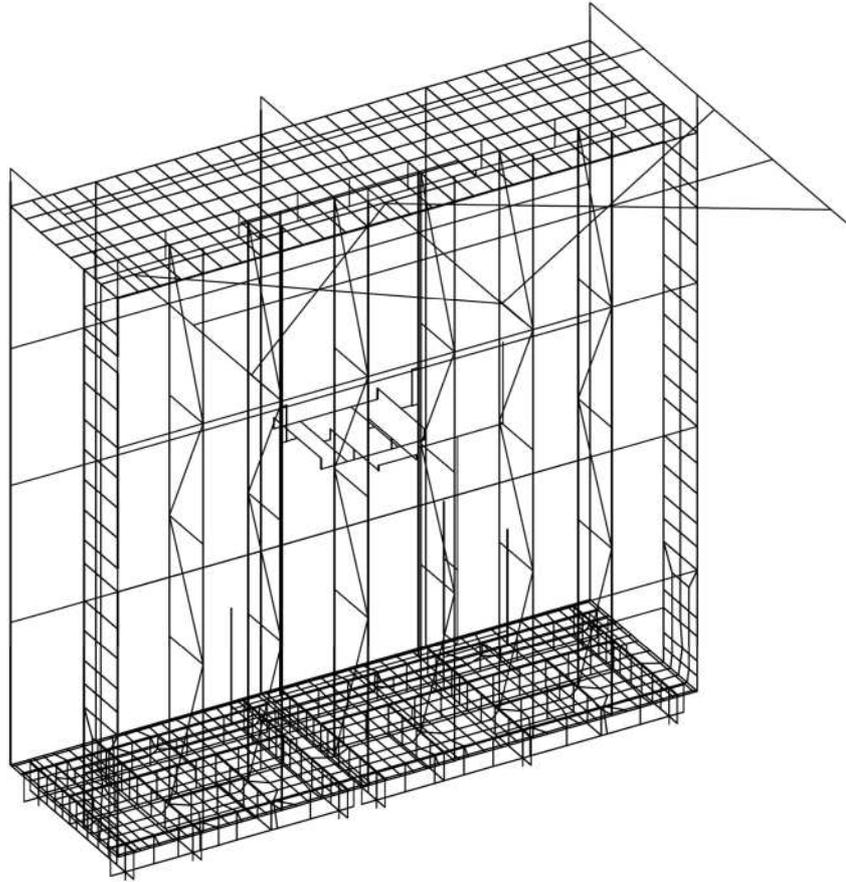
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-3 スクラップ貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第Q.-1図 概要図(Q)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第Q.-2図 解析モデル図(Q)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第Q.-1表 (1/2) モデル諸元(Q)

要素数	2424
節点数	1702
拘束条件	完全固定 並進 3 方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第Q.-1表 (2/2) モデル諸元(Q)

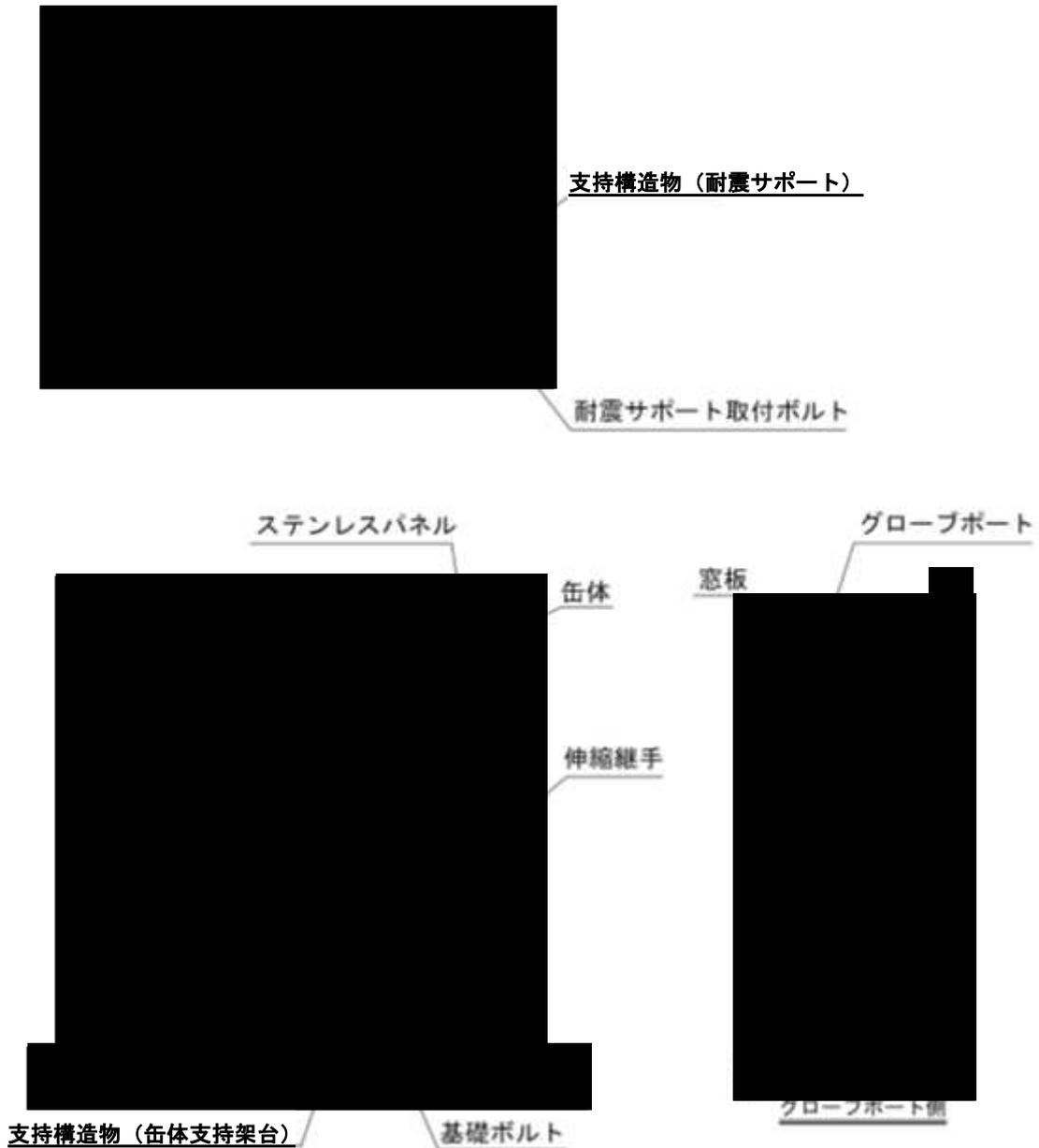
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	1.825×10 ⁶
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	3.429×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.116×10 ⁷	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

R. スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5
概要図及び解析モデル図

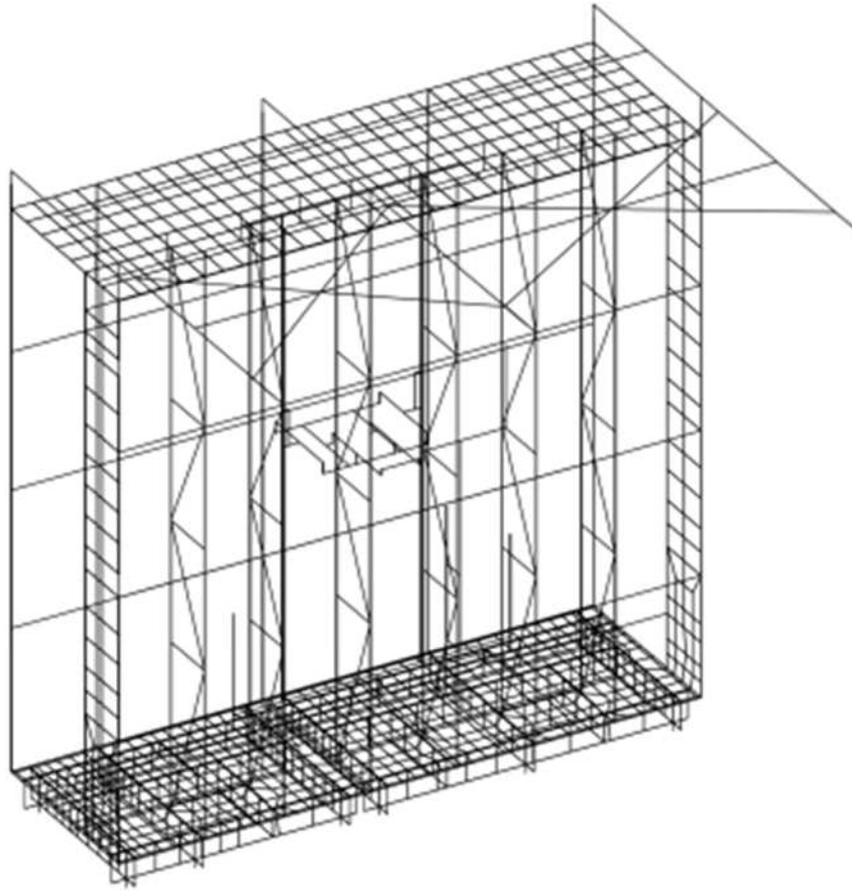
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-3 スクラップ貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第 R.-1 図 概要図 (R)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第R.-2図 解析モデル図(R)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第R.-1表 (1/2) モデル諸元(R)

要素数	2428
節点数	1702
拘束条件	完全固定 並進 3 方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005. 1. 0 2005R2

第R.-1表 (2/2) モデル諸元(R)

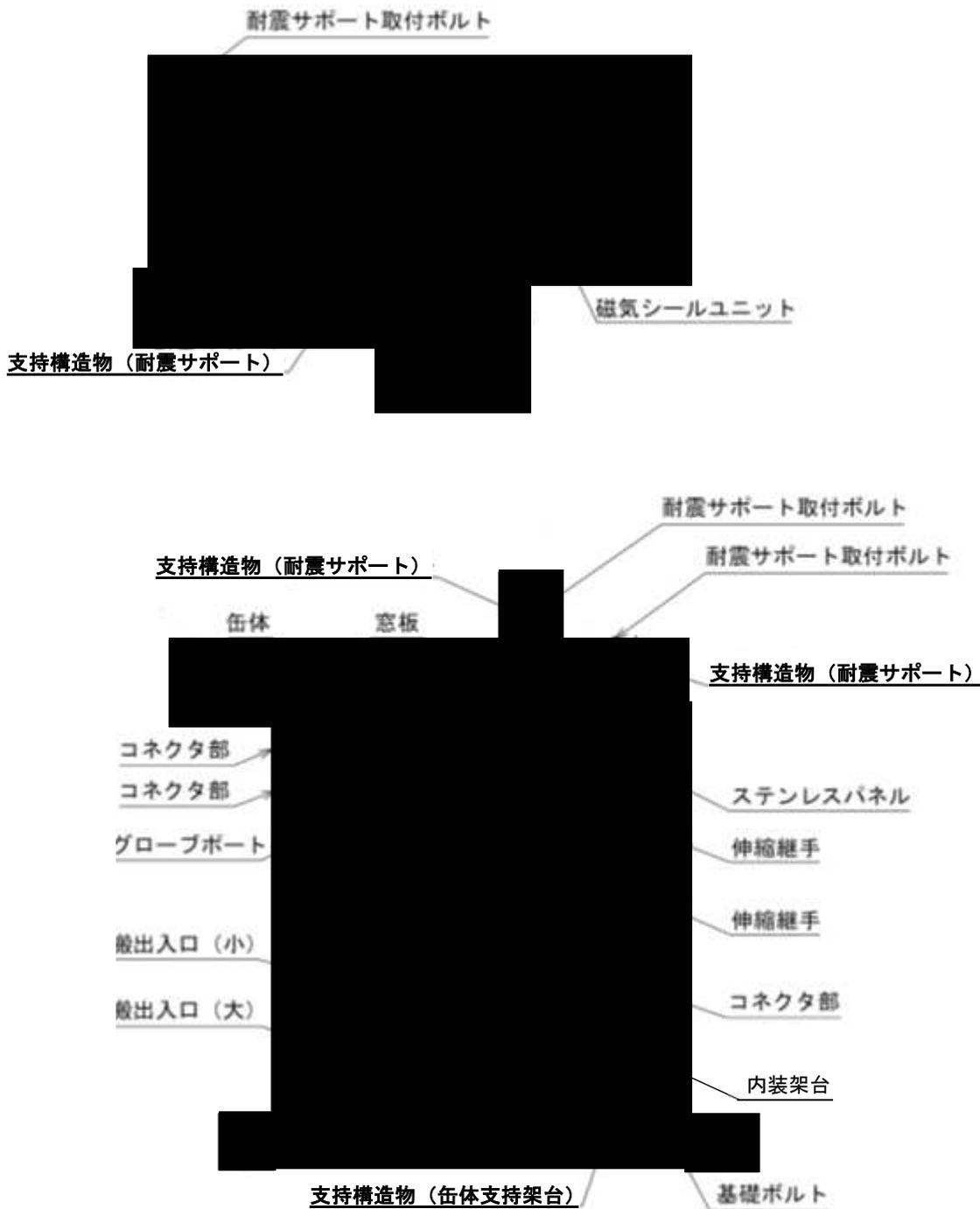
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	1.825×10 ⁶
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	3.429×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.116×10 ⁷	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

S. スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1
概要図及び解析モデル図

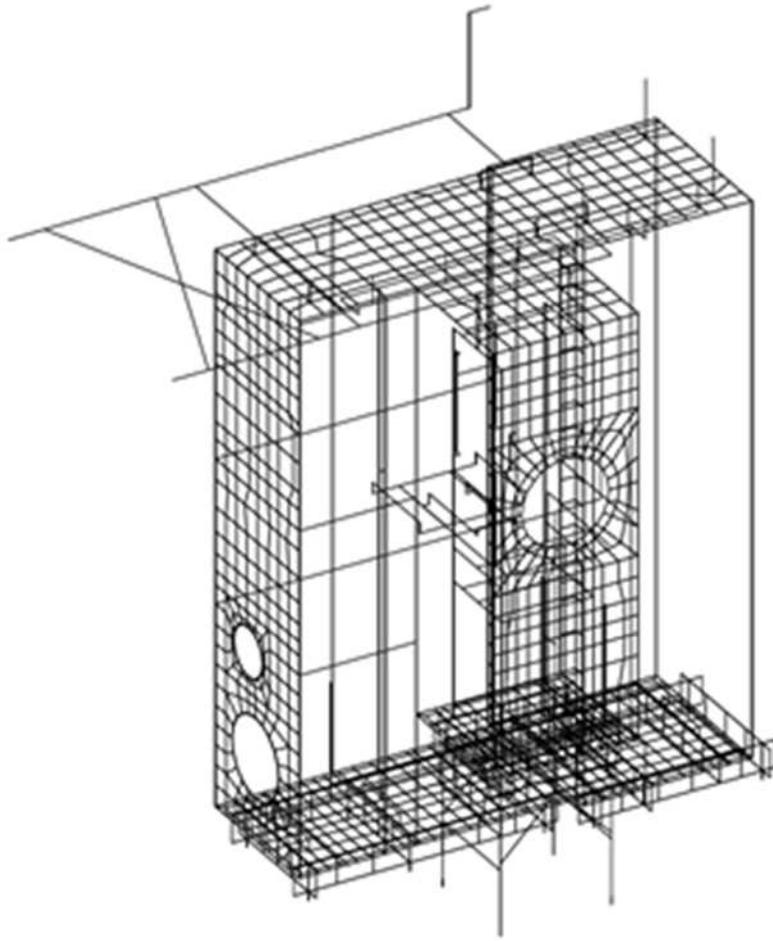
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

: 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-3 スクラップ貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第S.-1図 概要図(S)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第S.-2図 解析モデル図(S)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第S.-1表 (1/3) モデル諸元(S)

要素数	2697
節点数	2048
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第S.-1表 (2/3) モデル諸元(S)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	80.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	33.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	1.719×10 ³	1.341×10 ⁶	2.066×10 ⁶
	SUS304	—	2.737×10 ³	5.420×10 ⁶	5.420×10 ⁶
	SUS304	—	4.565×10 ³	6.658×10 ⁶	1.547×10 ⁷
	SUS304	—	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	480.0	1.440×10 ³	2.560×10 ⁵
	SUS304	—	540.0	1.620×10 ³	3.645×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	1.000×10 ⁶
	SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶
SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶	

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第S.-1表 (3/3) モデル諸元(S)

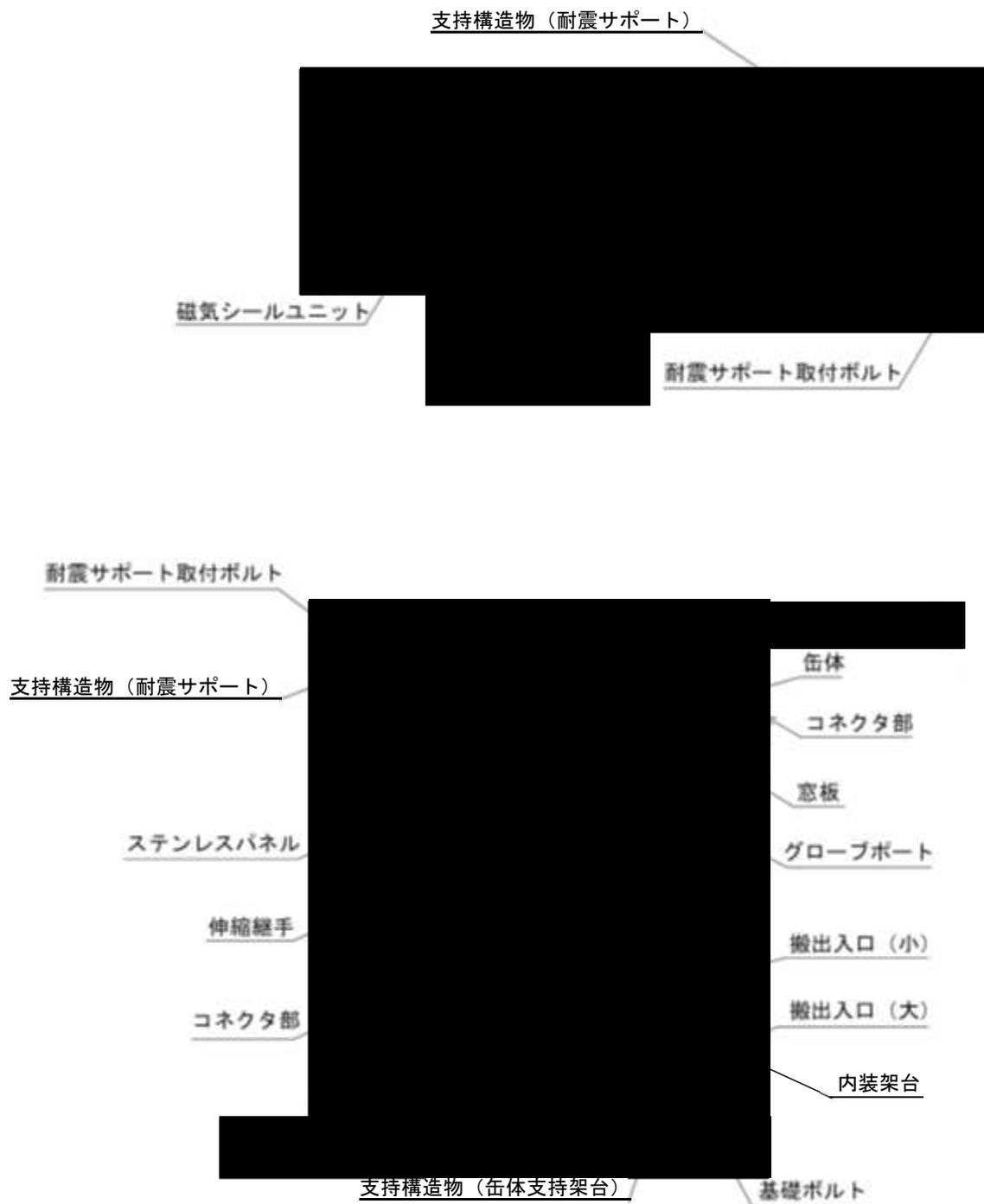
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.268×10 ³	1.857×10 ⁶	4.920×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.151×10 ³	5.766×10 ⁶	6.565×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.032×10 ³	3.701×10 ⁶	5.724×10 ⁶
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	872.7	4.610×10 ⁵	4.610×10 ⁵
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵
内装架台	STKR400	—	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	SS400	—	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	—	4.000×10 ³	1.333×10 ⁵	1.333×10 ⁷

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

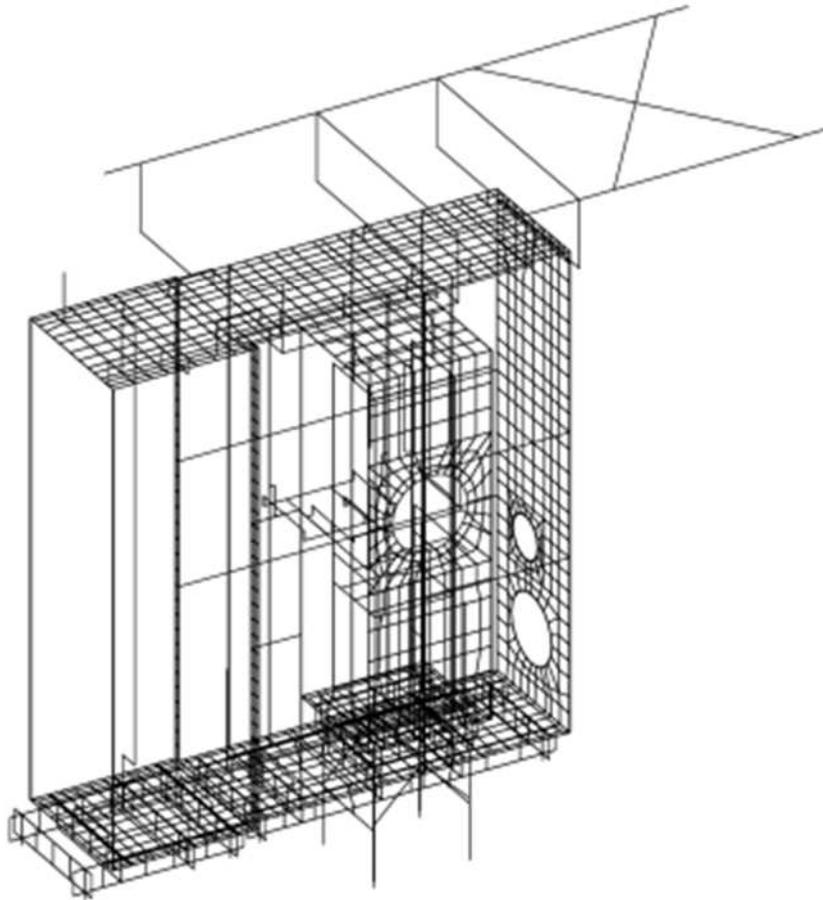
T. スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-3 スクラップ貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第T.-1図 概要図(T)



第T.-2図 解析モデル図(T)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第T.-1表 (1/3) モデル諸元(T)

要素数	3078
節点数	2343
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第T.-1表 (2/3) モデル諸元(T)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	80.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	33.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	1.719×10 ³	1.341×10 ⁶	2.066×10 ⁶
	SUS304	—	2.737×10 ³	5.420×10 ⁶	5.420×10 ⁶
	SUS304	—	4.565×10 ³	6.658×10 ⁶	1.547×10 ⁷
	SUS304	—	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	480.0	1.440×10 ³	2.560×10 ⁵
	SUS304	—	540.0	1.620×10 ³	3.645×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	1.000×10 ⁶
	SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶
SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶	

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第T.-1表 (3/3) モデル諸元(T)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.268×10 ³	1.857×10 ⁶	4.920×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.151×10 ³	5.766×10 ⁶	6.565×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.032×10 ³	3.701×10 ⁶	5.724×10 ⁶
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	872.7	4.610×10 ⁵	4.610×10 ⁵
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵
内装架台	STKR400	—	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	SS400	—	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	—	4.000×10 ³	1.333×10 ⁵	1.333×10 ⁷

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

U. 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1
概要図及び解析モデル図

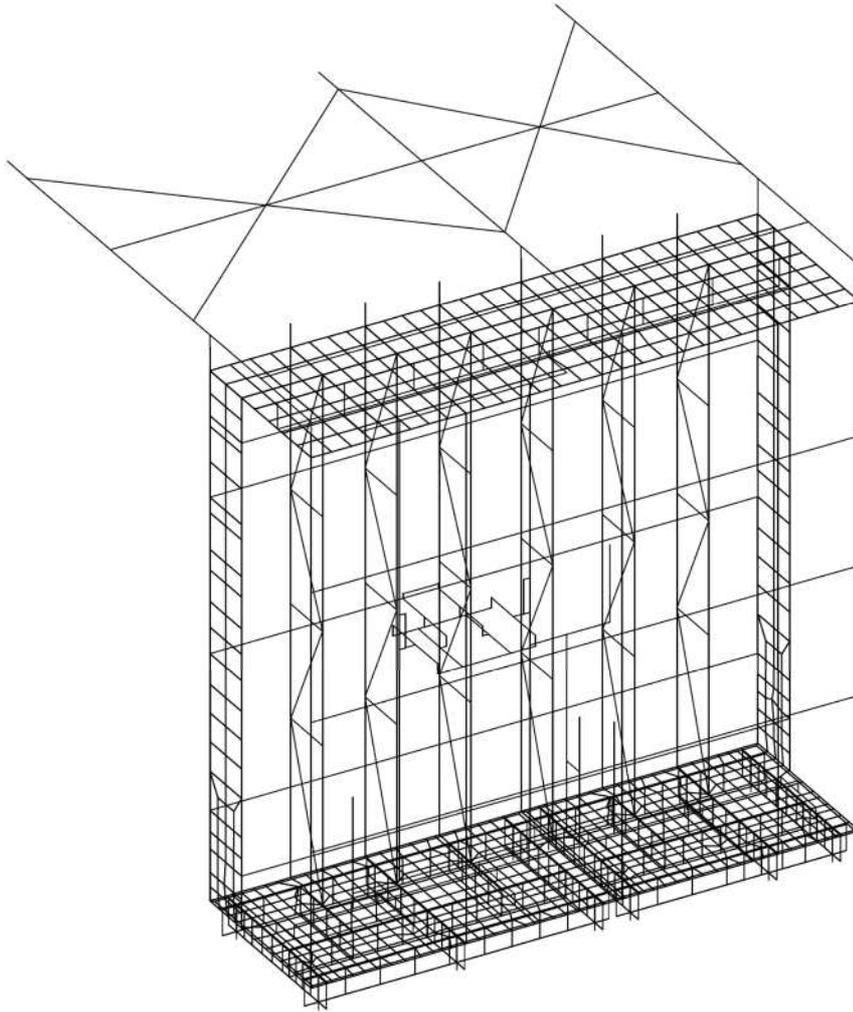
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-4 製品ベレット貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第U.-1図 概要図(U)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第U.-2図 解析モデル図(U)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第U.-1表 (1/2) モデル諸元(U)

要素数	2403
節点数	1712
拘束条件	完全固定 並進 3 方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005. 1. 0 2005R2

第U.-1表 (2/2) モデル諸元(U)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

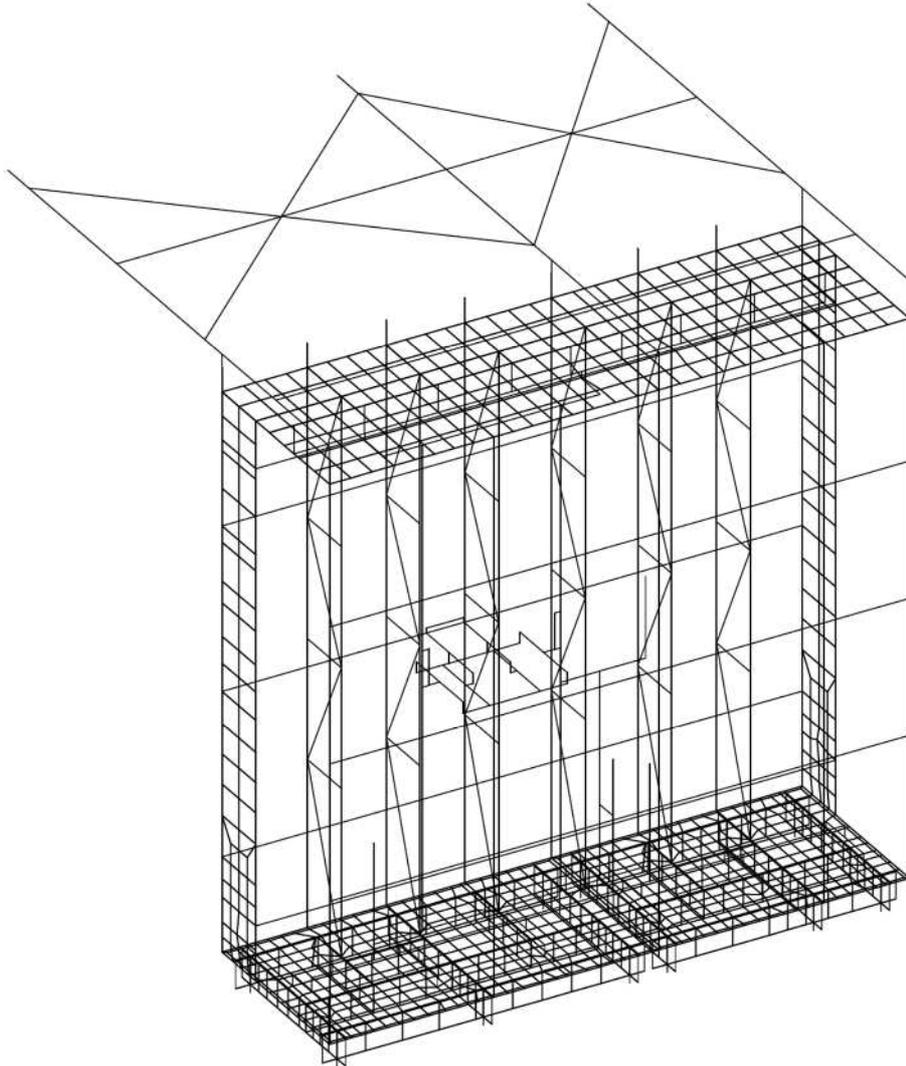
V. 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-4 製品ペレット貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第V.-1図 概要図(V)



第V.-2図 解析モデル図(V)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第V.-1表 (1/2) モデル諸元(V)

要素数	2399
節点数	1712
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第V.-1表 (2/2) モデル諸元(V)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

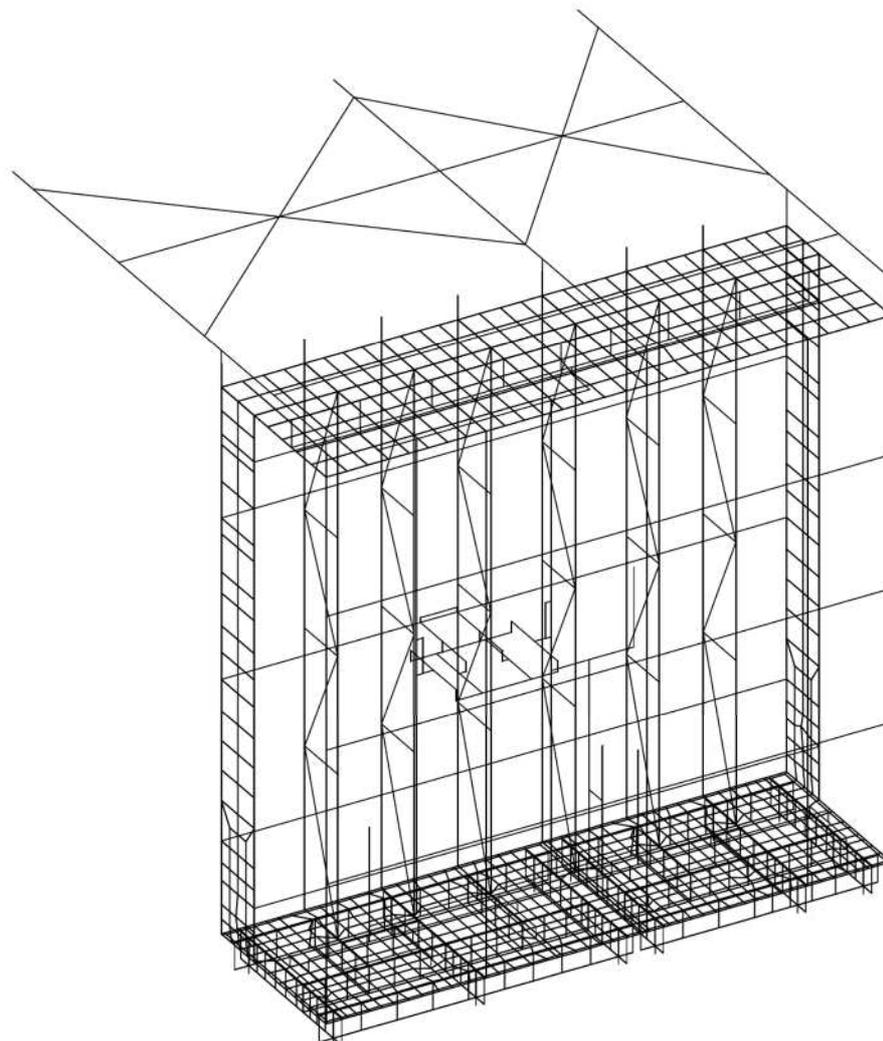
W. 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-3
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-4 製品ペレット貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第W.-1図 概要図(W)



第W.-2図 解析モデル図(W)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第W.-1表 (1/2) モデル諸元(W)

要素数	2399
節点数	1712
拘束条件	完全固定 並進 3 方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005. 1. 0 2005R2

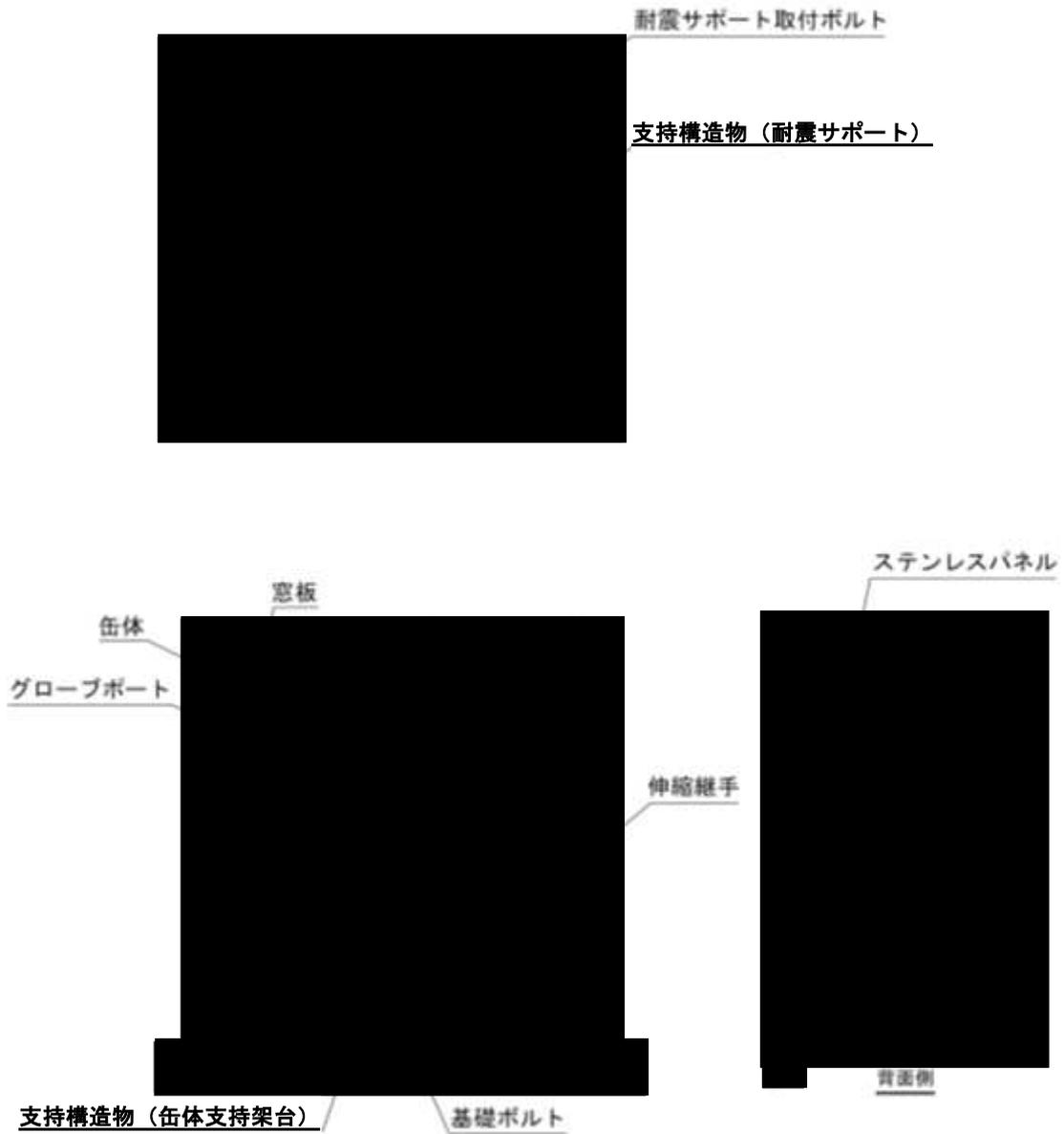
第W.-1表 (2/2) モデル諸元(W)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

X. 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4
概要図及び解析モデル図

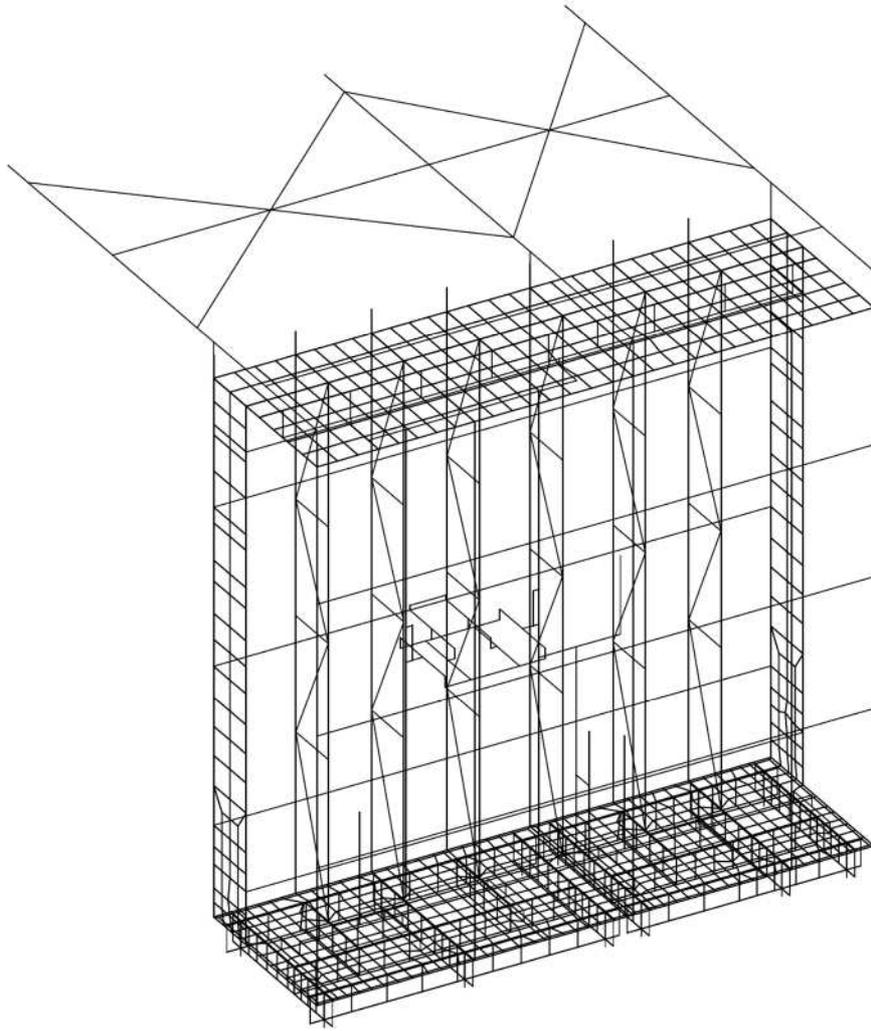
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-4 製品ペレット貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第X.-1図 概要図(X)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第X.-2図 解析モデル図(X)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第X.-1表 (1/2) モデル諸元(X)

要素数	2399
節点数	1712
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第X.-1表 (2/2) モデル諸元(X)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

Y. 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-5
概要図及び解析モデル図

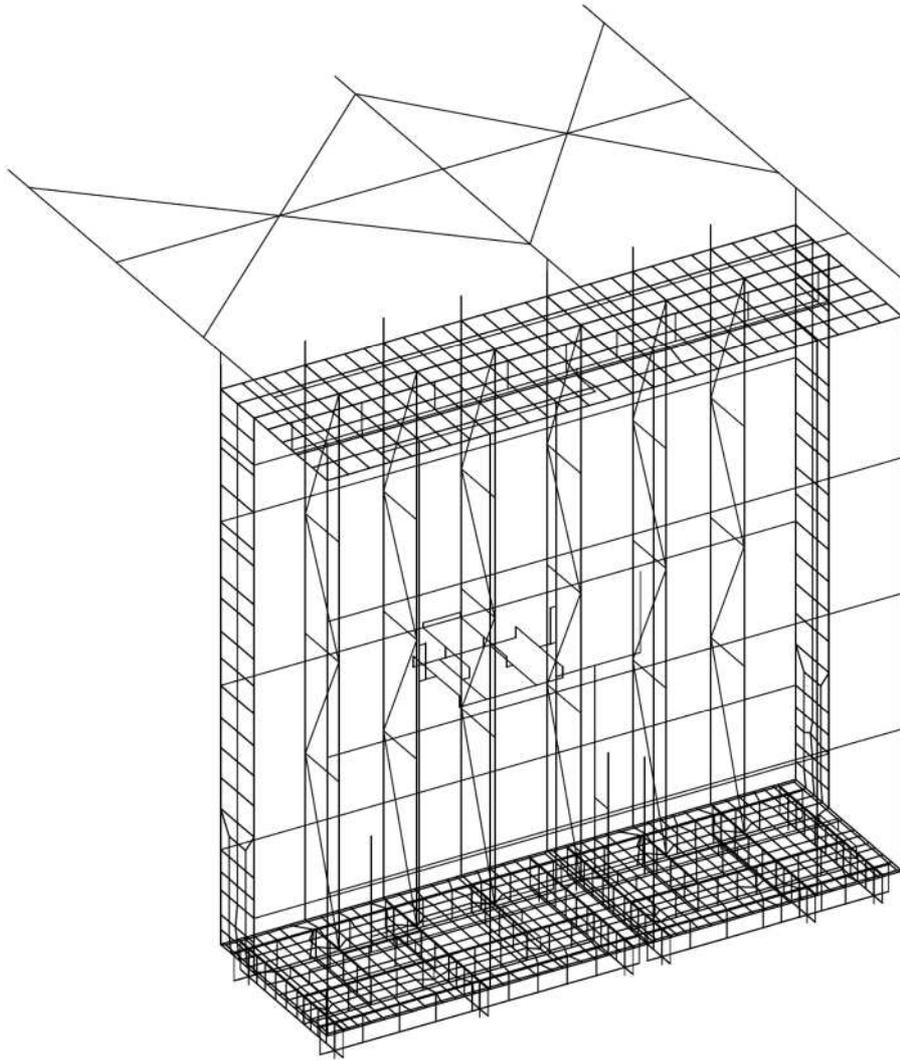
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-4 製品ペレット貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第Y.-1図 概要図(Y)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第Y.-2図 解析モデル図(Y)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第Y.-1表 (1/2) モデル諸元(Y)

要素数	2403
節点数	1712
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

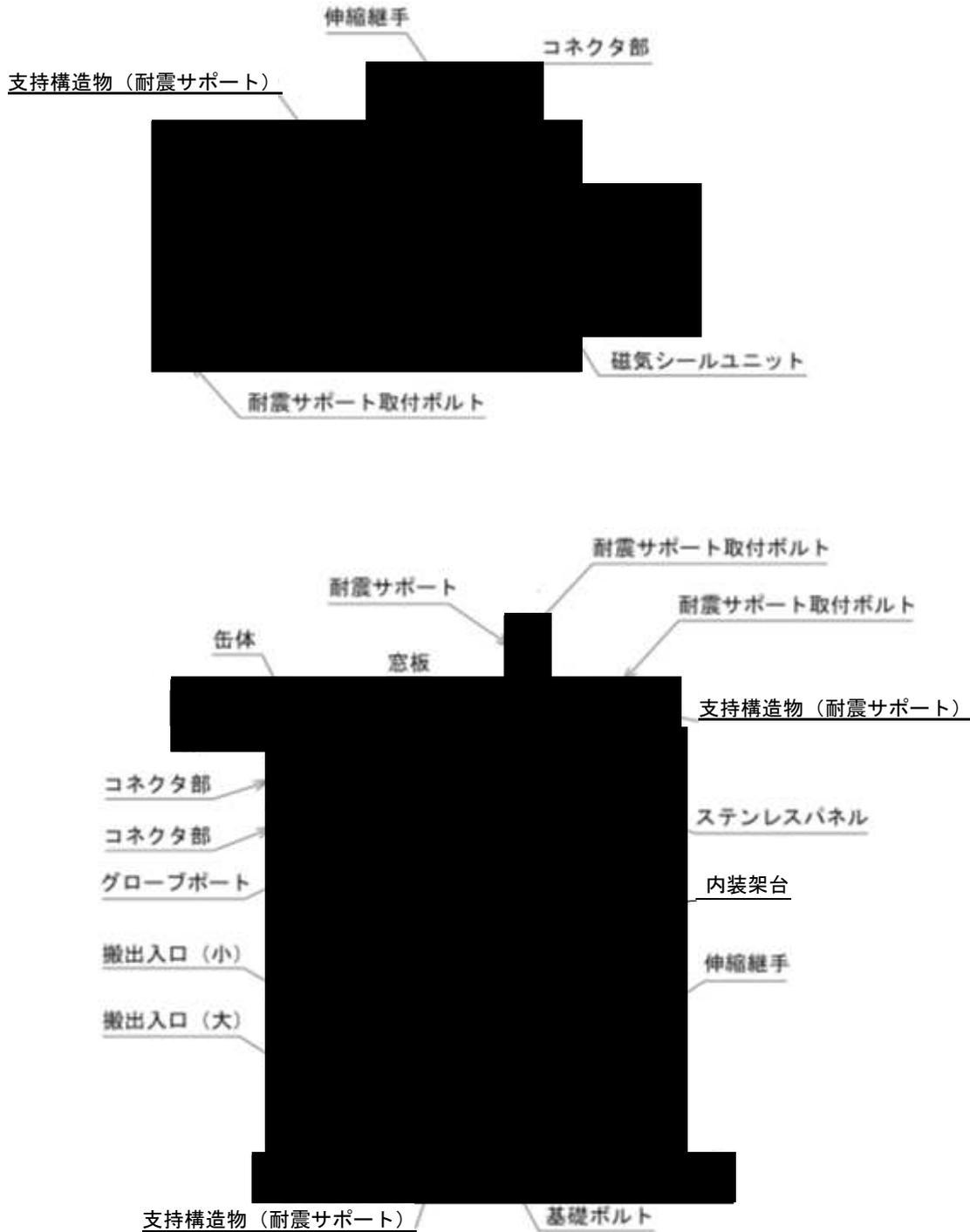
第Y.-1表 (2/2) モデル諸元(Y)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.420×10 ³	3.145×10 ⁶	3.647×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.120×10 ³	2.872×10 ⁶	3.079×10 ⁶
	SUS304TP	—	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	—	900.0	6.075×10 ³	7.500×10 ⁵
	SUS304TP	—	2.912×10 ³	3.040×10 ⁶	8.620×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶
SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶	
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵

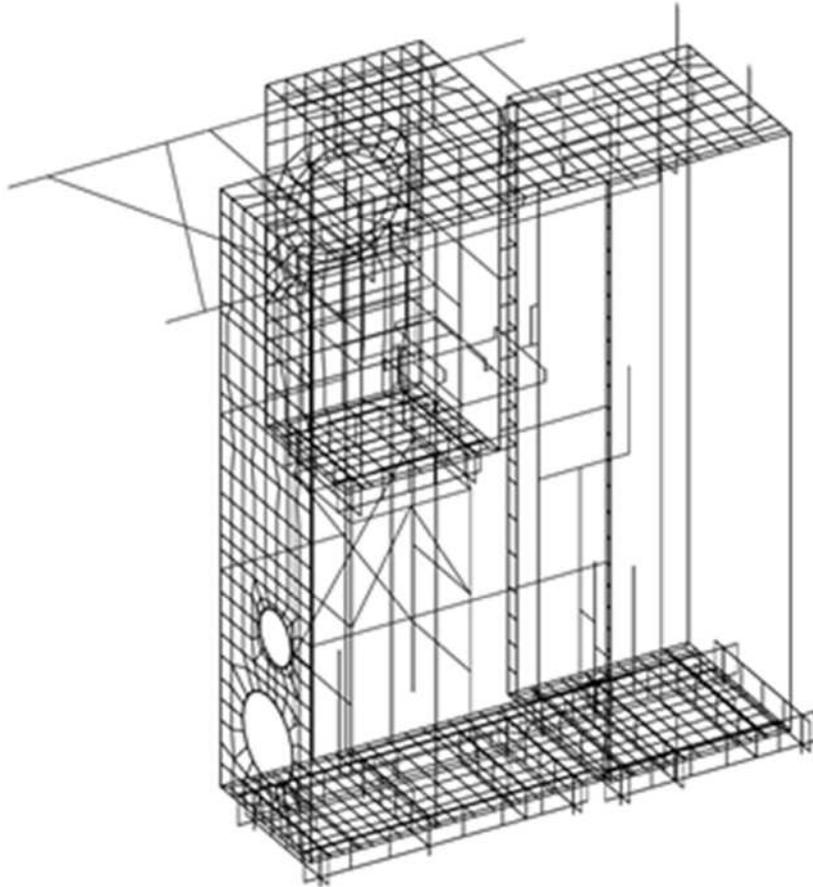
Z. ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-1-2-2-1
グロブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-4 製品ペレット貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第Z.-1図 概要図(Z)



第Z.-2図 解析モデル図(Z)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第Z.-1表 (1/3) モデル諸元 (Z)

要素数	2567
節点数	1952
拘束条件	完全固定 並進 3 方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005. 1. 0 2005R2

第Z.-1表 (2/3) モデル諸元 (Z)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	80.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	33.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	1.719×10 ³	1.341×10 ⁶	2.066×10 ⁶
	SUS304	—	2.737×10 ³	5.420×10 ⁶	5.420×10 ⁶
	SUS304	—	4.565×10 ³	6.658×10 ⁶	1.547×10 ⁷
	SUS304	—	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	480.0	1.440×10 ³	2.560×10 ⁵
	SUS304	—	540.0	1.620×10 ³	3.645×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	1.000×10 ⁶
	SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶
SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶	

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第Z.-1表 (3/3) モデル諸元(Z)

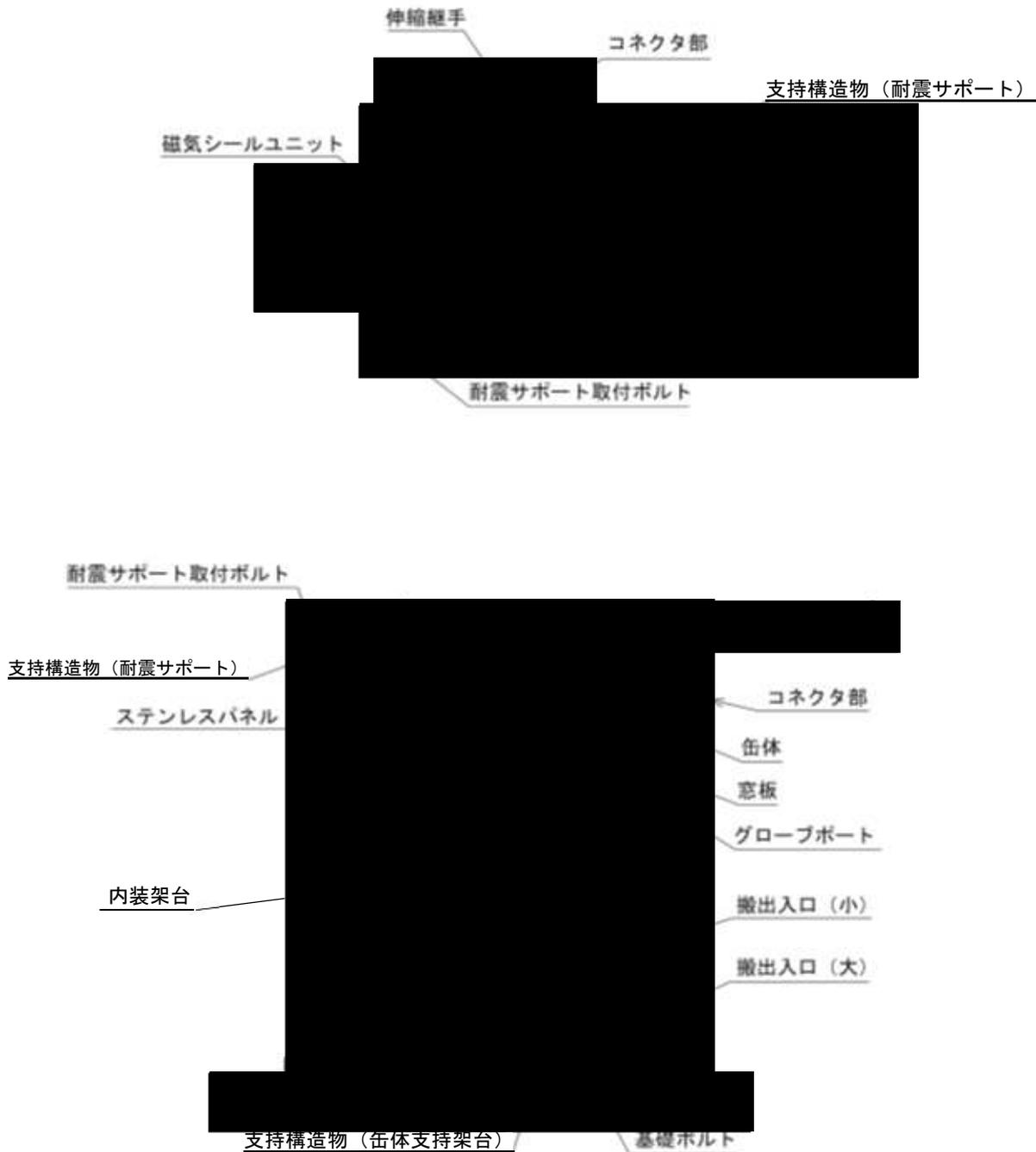
部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.268×10 ³	1.857×10 ⁶	4.920×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.151×10 ³	5.766×10 ⁶	6.565×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.032×10 ³	3.701×10 ⁶	5.724×10 ⁶
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	872.7	4.610×10 ⁵	4.610×10 ⁵
	SS400	—	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵
内装架台	STKR400	—	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	SS400	—	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	—	4.000×10 ³	1.333×10 ⁵	1.333×10 ⁷

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

AA. ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2
概要図及び解析モデル図

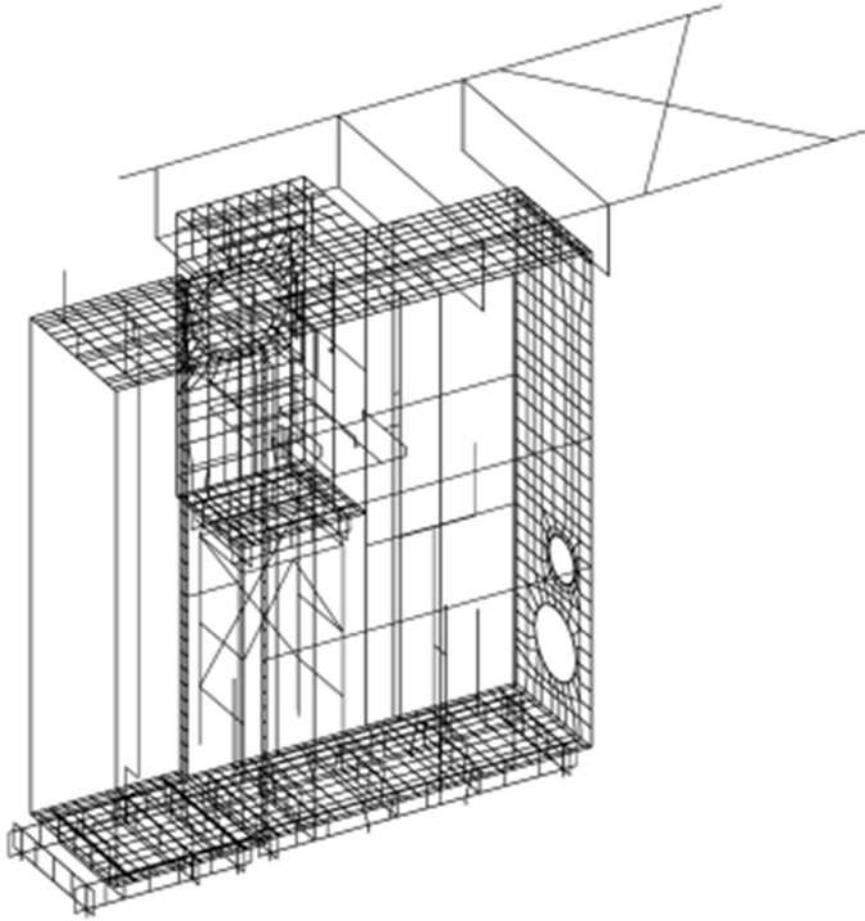
Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

 : 平成 22 年 10 月 22 日付け平成 22・05・21 原第 9 号にて認可を受けた設工認申請書の「Ⅲ-2-2-2-4 製品ペレット貯蔵設備の耐震性に関する計算書」からの変更箇所を示す。



第AA.-1図 概要図(AA)

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書



第AA.-2図 解析モデル図(AA)

注記 * : 本グローブボックスは、内包する内装機器の相互影響を考慮しグローブボックス及び内装機器の連成モデルにて解析モデルを示す。

第AA.-1表 (1/3) モデル諸元(AA)

要素数	2970
節点数	2273
拘束条件	完全固定 並進3方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第AA.-1表 (2/3) モデル諸元(AA)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	6.0	—	—	—
	SUS304	80.0	—	—	—
	SUS304	10.0	—	—	—
	SUS304	33.0	—	—	—
	SUS304	12.0	—	—	—
	SUS304	12.8	—	—	—
	SUS304TP	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.019×10 ³	2.730×10 ⁶	2.730×10 ⁶
	SUS304	—	1.719×10 ³	1.341×10 ⁶	2.066×10 ⁶
	SUS304	—	2.737×10 ³	5.420×10 ⁶	5.420×10 ⁶
	SUS304	—	4.565×10 ³	6.658×10 ⁶	1.547×10 ⁷
	SUS304	—	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	—	6.150×10 ³	4.612×10 ⁵	2.153×10 ⁷
	SUS304	—	600.0	1.800×10 ³	5.000×10 ⁵
	SUS304	—	480.0	1.440×10 ³	2.560×10 ⁵
	SUS304	—	540.0	1.620×10 ³	3.645×10 ⁵
	SUS304	—	1.888×10 ³	1.073×10 ⁵	1.107×10 ⁶
	SUS304	—	3.307×10 ³	2.835×10 ⁶	3.337×10 ⁶
	SUS304	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	1.000×10 ⁶
	SUS304	—	3.075×10 ³	1.012×10 ⁵	1.878×10 ⁶
SUS304	—	4.038×10 ³	5.460×10 ⁶	5.460×10 ⁶	

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

第AA.-1表 (3/3) モデル諸元(AA)

部材	材料	板厚 (mm)	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
				弱軸	強軸
缶体	SUS304	—	2.432×10 ³	3.700×10 ⁶	5.224×10 ⁶
	SUS304	—	2.268×10 ³	1.857×10 ⁶	4.920×10 ⁶
	SUS304TP	—	4.151×10 ³	5.766×10 ⁶	6.565×10 ⁶
	SUS304TP	—	3.032×10 ³	3.701×10 ⁶	5.724×10 ⁶
支持構造物 (耐震サポ ート, 缶体 支持架台)	SS400	—	1.200×10 ³	3.600×10 ³	4.000×10 ⁶
	SS400	—	2.400×10 ³	2.880×10 ⁴	8.000×10 ⁶
	SS400	—	3.965×10 ³	5.630×10 ⁶	1.620×10 ⁷
	SS400	—	607.5	2.306×10 ³	4.100×10 ⁵
	SS400	—	1.215×10 ³	1.845×10 ⁴	8.201×10 ⁵
	SS400	—	872.7	4.610×10 ⁵	4.610×10 ⁵
内装架台	STKR400	—	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	STKR400	—	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	SS400	—	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	—	4.000×10 ³	1.333×10 ⁵	1.333×10 ⁷

I. 耐震重要施設
構造強度評価
(設計条件, 機器要目及び結論)

I.1 設計条件

記号	機器名称	耐震設計上の 重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有 周期 (s)	減衰 定数 (%)	静的震度 $3.6C_i$		弾性設計用地震動 S_d		基準地震動 S_s		最高使用 温度 (°C)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(A)	粉末一時保管装置 グローブボックス-1	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	$C_H=0.48$	$C_V=0.29$	*3	*3	*3	*3	60
(B)	粉末一時保管装置 グローブボックス-2	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	$C_H=0.48$	$C_V=0.29$	*3	*3	*3	*3	60
(C)	粉末一時保管装置 グローブボックス-3	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	$C_H=0.48$	$C_V=0.29$	*3	*3	*3	*3	60
(D)	粉末一時保管装置 グローブボックス-4	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	$C_H=0.48$	$C_V=0.29$	*3	*3	*3	*3	60
(E)	粉末一時保管装置 グローブボックス-5	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	$C_H=0.48$	$C_V=0.29$	*3	*3	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：下記に示す。

*3：弾性設計用地震動 S_d 又は基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

記号	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有周期 (s)	減衰定数 (%)	静的震度 3.6C _i		弾性設計用地震動 S _d		基準地震動 S _s		最高使用温度 (°C)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(F)	粉末一時保管装置 グローブボックス-6	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(G)	ペレット一時保管棚 グローブボックス-1	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(H)	ペレット一時保管棚 グローブボックス-2	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(I)	ペレット一時保管棚 グローブボックス-3	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(J)	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-1	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
	内装架台*4 (焼結ボート受渡装置-1, -2, -3)	B					-	-	-	-			

注記 *1：基準床レベルを示す。
*2：下記に示す。
*3：弾性設計用地震動 S_d 又は基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。
*4：当該装置を設置するグローブボックスに対する波及影響評価の設計条件を示す。

記号	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有周期 (s)	減衰定数 (%)	静的震度 3.6C _i		弾性設計用地震動 S _d		基準地震動 S _s		最高使用温度 (℃)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(K)	焼結ポート受渡装置 グローブボックス-2	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
	内装架台*4 (焼結ポート受渡装置-4, -5)	B					-	-	-	-			
(L)	焼結ポート受渡装置 グローブボックス-3	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
	内装架台*4 (焼結ポート受渡装置-6, -7)	B					-	-	-	-			
(M)	焼結ポート受渡装置 グローブボックス-4	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
	内装架台*4 (焼結ポート受渡装置-8)	B					-	-	-	-			
(N)	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-1	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。
 *2：下記に示す。
 *3：弾性設計用地震動 S_d 又は基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。
 *4：当該装置を設置するグローブボックスに対する波及影響評価の設計条件を示す。

記号	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有周期 (s)	減衰定数 (%)	静的震度 3.6C _i		弾性設計用地震動 S _d		基準地震動 S _s		最高使用温度 (℃)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(O)	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-2	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(P)	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-3	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(Q)	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-4	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(R)	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-5	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(S)	スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス-1	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
	内装架台*4 (スクラップ保管容器受渡装置-1)	B					—	—	—	—			

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：下記に示す。

*3：弾性設計用地震動 S_d 又は基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

*4：当該装置を設置するグローブボックスに対する波及影響評価の設計条件を示す。

記号	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有周期 (s)	減衰定数 (%)	静的震度 3.6C _i		弾性設計用地震動 S _d		基準地震動 S _s		最高使用温度 (℃)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(T)	スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス-2	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
	内装架台*4 (スクラップ保管容器受渡装置-2)	B					—	—	—	—			
(U)	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-1	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(V)	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-2	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(W)	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-3	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(X)	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-4	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：下記に示す。

*3：弾性設計用地震動 S_d 又は基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

*4：当該装置を設置するグローブボックスに対する波及影響評価の設計条件を示す。

記号	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有周期 (s)	減衰定数 (%)	静的震度 3.6C _i		弾性設計用地震動 S _d		基準地震動 S _s		最高使用温度 (℃)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(Y)	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-5	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
(Z)	ペレット保管容器受渡装置 グローブボックス-1	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
	内装架台*4 (ペレット保管容器受渡装置-1)	B					—	—	—	—			
(AA)	ペレット保管容器受渡装置 グローブボックス-2	S	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	C _H =0.48	C _V =0.29	*3	*3	*3	*3	60
	内装架台*4 (ペレット保管容器受渡装置-2)	B					—	—	—	—			

注記 *1：基準床レベルを示す。
*2：下記に示す。
*3：弾性設計用地震動 S_d 又は基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。
*4：当該装置を設置するグローブボックスに対する波及影響評価の設計条件を示す。

固有周期(A)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.099	6	0.076
2	0.096	7	0.075
3	0.093	8	0.074
4	0.082	15	0.051
5	0.078	16	0.049

固有周期(B)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.081
2	0.089	7	0.079
3	0.086	8	0.077
4	0.082	21	0.053
5	0.081	22	0.050

固有周期(C)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.080
2	0.093	7	0.079
3	0.090	8	0.075
4	0.085	25	0.051
5	0.081	26	0.050

固有周期(D)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.081
2	0.091	7	0.078
3	0.089	8	0.075
4	0.083	22	0.050
5	0.082	23	0.050

固有周期(E)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.080
2	0.090	7	0.078
3	0.087	8	0.076
4	0.084	25	0.051
5	0.083	26	0.050

固有周期(F)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.074
2	0.095	7	0.062
3	0.082	8	0.058
4	0.077	13	0.050
5	0.075	14	0.049

固有周期(G)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.109	6	0.062
2	0.101	7	0.054
3	0.076	8	0.052
4	0.073	9	0.049
5	0.063		

固有周期(H)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.109	6	0.062
2	0.101	7	0.054
3	0.076	8	0.052
4	0.072	9	0.049
5	0.063		

固有周期(I)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.109	6	0.062
2	0.101	7	0.054
3	0.076	8	0.052
4	0.073	9	0.049
5	0.063		

固有周期(J)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.134	6	0.074
2	0.116	7	0.071
3	0.100	8	0.066
4	0.081	21	0.052
5	0.076	22	0.050

固有周期(K)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.112	6	0.071
2	0.100	7	0.067
3	0.099	8	0.064
4	0.074	17	0.050
5	0.071	18	0.049

固有周期(L)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.112	6	0.071
2	0.100	7	0.067
3	0.099	8	0.064
4	0.074	17	0.050
5	0.071	18	0.049

固有周期(M)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.135	6	0.066
2	0.121	7	0.063
3	0.099	8	0.061
4	0.078	15	0.050
5	0.073	16	0.049

固有周期(N)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(O)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(P)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(Q)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(R)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(S)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.110	6	0.074
2	0.109	7	0.074
3	0.093	8	0.073
4	0.086	19	0.052
5	0.083	20	0.048

固有周期(T)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.110	6	0.075
2	0.110	7	0.074
3	0.094	8	0.072
4	0.086	18	0.052
5	0.083	19	0.047

固有周期(U)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(V)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(W)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(X)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(Y)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(Z)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.114	6	0.062
2	0.089	7	0.061
3	0.074	8	0.060
4	0.074	15	0.051
5	0.072	16	0.049

固有周期(AA)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.114	6	0.062
2	0.089	7	0.061
3	0.075	8	0.060
4	0.074	15	0.050
5	0.063	16	0.047

I.3 結論 (その1)

(単位: MPa)

記号	躯体																									支持構造物(耐震サポート、躯体支持架台)																		
	材料	S d又は3.6C _i															S s										S d又は3.6C _i						S s											
		組合応力			せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)			組合応力			せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)			せん断		組合せ(圧縮+曲げ)		組合せ(引張+曲げ)		せん断		組合せ(圧縮+曲げ)		組合せ(引張+曲げ)								
		計算式	算出応力 ^{*1} σ	許容応力 1.5f _t	計算式	算出応力 ^{*1} τ	許容応力 1.5f _v	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 ^{*1} σ	許容応力 1.5f _c	計算式	算出応力 ^{*1} τ	許容応力 1.5f _v	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値										
(A)	SUS304	3.1.2-1	-	205	3.1.2-1	-	118	3.1.2-1	-	1	3.1.2-1	-	1	3.1.2-1	112	205	3.1.2-1	20	118	3.1.2-1	0.41	1	3.1.2-1	0.58	1	SS400	3.1.2-1	-	141	3.1.2-1	0.22	1	3.1.2-1	0.22	1	3.1.2-1	31	161	3.1.2-1	0.32	1	3.1.2-1	0.32	1
(AA)	SUS304	3.1.2-1	-	205	3.1.2-1	-	118	3.1.2-1	-	1	3.1.2-1	-	1	3.1.2-1	114	205	3.1.2-1	39	118	3.1.2-1	0.83	1	3.1.2-1	0.63	1	SS400	3.1.2-1	-	141	3.1.2-1	-	1	3.1.2-1	-	1	3.1.2-1	11	161	3.1.2-1	0.35	1	3.1.2-1	0.33	1

注記 *1: S s による算出応力が S d 又は 3.6C_i の許容応力以下である場合は記載を省略する。

I.3 結論 (その2)

(単位: MPa)

記号	内装架台															基礎ボルト															取付ボルト (内装架台)																	
	材料	S d又は3.6C ₁									S s						材料	S d又は3.6C ₁									S s						材料	S d又は3.6C ₁									S s					
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)			せん断			組合せ(圧縮+曲げ)				組合せ(引張+曲げ)			引張			せん断			せん断			引張				せん断			せん断			引張			せん断					
		計算式	算出応力 ^{*1} σ	許容応力 1.5f _t	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値						
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								

注記 *1: S sによる算出応力がS d又は3.6C₁の許容応力以下である場合は記載を省略する。

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅱ. 耐震重要施設

閉じ込め機能維持評価

(設計条件, 機器要目及び結論)

Ⅱ.1 設計条件

「設計条件」はⅠ.項と同一の条件を用いる。

Ⅱ.2 機器要目

「機器要目」はⅠ.項と同一の条件を用いる。

Ⅱ.3 結論

(単位：G)

記号		最大応答加速度	機能確認済加速度	
				選定位置
(A)	窓板部	2.36	■	4-a
	搬出入口(大)	1.18	■	6-a
	搬出入口(小)	0.90	■	6-c
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	1.08	■	6-c
(B)	窓板部	3.64	■	4-a
(C)	窓板部	3.30	■	4-a
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	0.90	■	6-c
(D)	窓板部	3.92	■	4-a
(E)	窓板部	4.36	■	4-a
(F)	窓板部	2.33	■	4-a
	搬出入口(大)	1.36	■	6-a
	搬出入口(小)	0.90	■	6-c
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	1.44	■	6-c
(G)	窓板部	2.58	■	4-a
(H)	窓板部	2.57	■	4-a
(I)	窓板部	2.58	■	4-a

全て機能確認済加速度以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

(単位：G)

記号		最大応答加速度	機能確認済加速度	
				選定位置
(J)	窓板部	2.23	■	4-a
	搬出入口(大)	0.90	■	6-b
	搬出入口(小)	0.90	■	6-c
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	2.14	■	6-c
	磁性流体シール(グローブボックス貫通部)	0.90	■	6-e
	メンテナンスポート	2.67	■	2-a
	磁性流体シール(防火シャッタ駆動軸貫通部)	2.41	■	2-b
(K)	窓板部	2.32	■	4-a
	ステンレスパネル部	1.58	■	7-a
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	1.70	■	6-c
(L)	窓板部	2.32	■	4-a
	ステンレスパネル部	1.58	■	7-a
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	1.70	■	6-c
(M)	窓板部	3.24	■	4-a
	ステンレスパネル部	1.52	■	7-a
	搬出入口(大)	1.22	■	6-b
	搬出入口(小)	1.22	■	6-c
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	1.62	■	6-c
	磁性流体シール(グローブボックス貫通部)	1.39	■	6-e
	メンテナンスポート	1.63	■	2-a
	磁性流体シール(防火シャッタ駆動軸貫通部)	1.30	■	2-b

全て機能確認済加速度以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

(単位：G)

記号		最大応答加速度	機能確認済加速度	
				選定位置
(N)	窓板部	4.83	■	4-a
(O)	窓板部	4.79	■	4-a
(P)	窓板部	4.79	■	4-a
(Q)	窓板部	4.79	■	4-a
(R)	窓板部	4.86	■	4-a
(S)	窓板部	2.83	■	4-a
	搬出入口(大)	0.92	■	6-b
	搬出入口(小)	1.48	■	6-c
	コネクタ部(ハーメチック シールタイプ, 挟み込み 型)	1.46	■	6-c
	磁性流体シール	0.90	■	6-e
(T)	窓板部	2.84	■	4-a
	搬出入口(大)	0.90	■	6-b
	搬出入口(小)	1.36	■	6-c
	コネクタ部(ハーメチック シールタイプ, 挟み込み 型)	0.91	■	6-c
	磁性流体シール	0.90	■	6-e
(U)	窓板部	4.06	■	4-a
(V)	窓板部	4.01	■	4-a
(W)	窓板部	4.01	■	4-a
(X)	窓板部	4.01	■	4-a

全て機能確認済加速度以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

(単位：G)

記号		最大応答加速度	機能確認済加速度	
				選定位置
(Y)	窓板部	4.04	■	4-a
(Z)	窓板部	0.90	■	4-a
	ステンレスパネル部	0.90	■	7-a
	搬出入口(大)	0.90	■	6-b
	搬出入口(小)	0.90	■	6-c
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	0.90	■	6-c
	磁性流体シール	0.90	■	6-e
(AA)	窓板部	3.39	■	4-a
	ステンレスパネル部	1.38	■	7-a
	搬出入口(大)	0.90	■	6-b
	搬出入口(小)	1.13	■	6-c
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	1.05	■	6-c
	磁性流体シール	0.90	■	6-e

全て機能確認済加速度以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅲ. 耐震重要施設

内装機器の耐震性検討のための加速度算定

(設計条件, 機器要目及び結論)

Ⅲ.1 設計条件

「設計条件」はⅠ.項と同一の条件を用いる。

Ⅲ.2 機器要目

「機器要目」はⅠ.項と同一の条件を用いる。

Ⅲ.3 結論

(単位：G)

記号		最大応答加速度		
		X	Y	Z
(J)	焼結ボート搬送コンベア	1.89	2.86	0.48
	焼結ボート取扱機	2.02	1.21	0.64
	昇降台	1.92	3.66	0.48
(K)	焼結ボート搬送コンベア	2.69	1.47	0.48
	焼結ボート取扱機	2.24	0.90	0.48
	昇降台	2.42	1.29	0.48
(L)	焼結ボート搬送コンベア	2.69	1.47	0.48
	焼結ボート取扱機	2.24	0.90	0.48
	昇降台	2.42	1.29	0.48
(M)	焼結ボート搬送コンベア	3.84	3.61	0.48
	焼結ボート取扱機	2.71	0.92	0.62
	昇降台	2.66	3.94	0.48

Ⅲ-2-1-2-2-1
グローブボックスの耐震計算書

(単位：G)

記号		最大応答加速度		
		X	Y	Z
(S)	保管容器搬送コンベア	2.17	1.50	0.48
	保管容器取扱機	0.87	1.19	0.48
	昇降台	2.54	4.28	0.48
(T)	保管容器搬送コンベア	2.20	1.44	0.48
	保管容器取扱機	0.87	1.15	0.48
	昇降台	2.57	4.35	0.48
(Z)	保管容器搬送コンベア	0.89	0.90	0.48
	保管容器取扱機	0.87	0.90	0.48
	昇降台	0.87	1.29	0.48
(AA)	保管容器搬送コンベア	2.69	1.72	0.48
	保管容器取扱機	1.25	0.90	0.48
	昇降台	1.87	1.21	0.48

Ⅲ－２－２

波及的影響を及ぼすおそれのある下
位クラス施設の耐震評価

目 次

- Ⅲ－２－２－１ 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針
- Ⅲ－２－２－２ 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震性に関する計算書

Ⅲ－2－2－1

波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針

Ⅲ－２－２－１

波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－２－２－１ 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」による。

Ⅲ－2－2－2

波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震性に関する計算書

目 次

Ⅲ-2-2-2-1 建物・構築物 今回対象なし

Ⅲ-2-2-2-2 機器・配管系

Ⅲ－2－2－2－2
機器・配管系

目 次

- Ⅲ－２－２－２－２－１ 定式化された計算式を用いて評価を行う機器の耐震性に関する
計算書
- Ⅲ－２－２－２－２－２ 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計
算書

Ⅲ－2－2－2－2－1

定式化された計算式を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書

目 次

Ⅲ-2-2-2-2-1-1 剛体設備の耐震計算書

Ⅲ－2－2－2－2－1－1

剛体設備の耐震計算書

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 燃料加工建屋	2
2.1 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設	2
2.1.1 構造強度評価	2
2.1.1.1 設計条件	2
2.1.1.2 機器要目	4
2.1.1.3 結論	6

1. 概要

本計算書は、「Ⅲ-1-3-2-1 定式化された計算式を用いて評価を行う機器の耐震計算書作成の基本方針」及び「Ⅲ-2-2-1 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」に基づき、安全機能を有する施設のうち耐震重要施設が下位クラス施設の波及的影響によってその安全機能に必要な機能を損なわないことについて、波及的影響の評価を実施するものであり、剛体設備の耐震評価について、算出した結果を示すものである。

本計算書においては、波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設に対する構造強度評価(設計条件、機器要目及び結論)について示す。

2. 燃料加工建屋

2.1 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設

2.1.1 構造強度評価

2.1.1.1 設計条件(その1)

No.	施設区分	設備区分	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ(m) ^{*1}	固有周期(s)		減衰定数(%)	基準地震動 S _s		最高使用温度(°C)	回転機器の振動による震度(g)
									水平方向設計震度(g)	鉛直方向設計震度(g)		
1	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	粉末一時保管装置-1(容器冷却用ブロワ1)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	—	0.050以下	—	*2	*2	60	0.46
2	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	粉末一時保管装置-12(容器冷却用ブロワ2)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	—	0.050以下	—	*2	*2	60	0.46
3	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	粉末一時保管装置-1(冷却系切替ダンパ1(ゲートレバースタンド))	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1 3.1.2-3	0.010	—	*2	*2	60	—
4	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	粉末一時保管装置-12(冷却系切替ダンパ2(ゲートレバースタンド))	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1 3.1.2-3	0.010	—	*2	*2	60	—
5	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-1(搬送コンベア-1)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.016	—	*2	*2	60	—
6	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-1(取扱機-1)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.032	—	*2	*2	60	—
7	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-1(昇降台-1)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.027	—	*2	*2	60	—
8	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-2(搬送コンベア-2)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.016	—	*2	*2	60	—
9	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-2(取扱機-2)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.032	—	*2	*2	60	—
10	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-2(昇降台-2)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.027	—	*2	*2	60	—
11	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-3(搬送コンベア-3)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.016	—	*2	*2	60	—
12	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-3(取扱機-3)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.032	—	*2	*2	60	—
13	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-3(昇降台-3)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.027	—	*2	*2	60	—
14	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-4,6(搬送コンベア-4,6)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.016	—	*2	*2	60	—
15	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-4,6(取扱機-4,6)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.032	—	*2	*2	60	—
16	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-4,6(昇降台-4,6)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.027	—	*2	*2	60	—
17	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-5,7(搬送コンベア-5,7)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.016	—	*2	*2	60	—
18	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-5,7(取扱機-5,7)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.032	—	*2	*2	60	—
19	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-5,7(昇降台-5,7)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.027	—	*2	*2	60	—
20	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-8(搬送コンベア-8)	B	T. M. S. L. 35.00～43.20	3.1.2-1	0.016	—	*2	*2	60	—

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

2.1.1.1 設計条件(その2)

No.	施設区分	設備区分	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ(m)*1	固有周期(s)		減衰定数(%)	基準地震動 S _s		最高使用温度(°C)	回転機器の振動による震度(G)
									水平方向設計震度(G)	鉛直方向設計震度(G)		
21	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-8(取扱機-8)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.032	-	*2	*2	60	-
22	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-8(昇降台-8)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.027	-	*2	*2	60	-
23	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	防火シャッター-1	C	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.025	-	*2	*2	60	-
24	核燃料物質の貯蔵施設	ペレット一時保管設備	防火シャッター-2	C	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.025	-	*2	*2	60	-
25	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-1(搬送コンベア-1)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.049	-	*2	*2	60	-
26	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-1(取扱機-1)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.046	-	*2	*2	60	-
27	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-1(昇降台-1)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.027	-	*2	*2	60	-
28	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-2(搬送コンベア-2)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.049	-	*2	*2	60	-
29	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-2(取扱機-2)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.046	-	*2	*2	60	-
30	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-2(昇降台-2)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.027	-	*2	*2	60	-
31	核燃料物質の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置-1(搬送コンベア-1)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.020	-	*2	*2	60	-
32	核燃料物質の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置-1(取扱機-1)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.035	-	*2	*2	60	-
33	核燃料物質の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置-1(昇降台-1)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.024	-	*2	*2	60	-
34	核燃料物質の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置-2(搬送コンベア-2)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.020	-	*2	*2	60	-
35	核燃料物質の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置-2(取扱機-2)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.035	-	*2	*2	60	-
36	核燃料物質の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置-2(昇降台-2)	B	T.M.S.L.35.00~43.20	3.1.2-1	0.024	-	*2	*2	60	-

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

2.1.1.2 機器要目 (その1)

No.	機器名称	m	m ₁	m ₂	h	h ₁	A _b	A _{b1}	A _{b2}	n _{rb}	n _{rv}	n _{r1}	n _{r2}	M _p	F*	E	G	I	L	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	l ₁₁	l ₁₂	l ₂₁	l ₂₂	n	n ₁	n ₂	n _r	A _e
		(kg)	(kg)	(kg)	(mm)	(mm)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(-)	(-)	(-)	(-)	(N・mm)	(MPa)	(MPa)	(MPa)	(mm ⁴)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(-)	(-)	(-)	(-)	(mm ²)
1	粉末一時保管装置-1(容器冷却用ブロワ1)	—	150	50	—	352.0	—	113.0	113.0	—	—	3	2	5026	205	—	—	—	—	—	—	—	—	230.0	60.0	230.0	60.0	—	6	4	—	—
2	粉末一時保管装置-12(容器冷却用ブロワ2)	—	150	50	—	352.0	—	113.0	113.0	—	—	3	2	5026	205	—	—	—	—	—	—	—	—	230.0	60.0	230.0	60.0	—	6	4	—	—
3	粉末一時保管装置-1(冷却系切替ダンバ1 (ゲートレバースタンド))	40	—	—	480.0	—	113.0	—	—	—	—	—	—	—	205	1.920×10 ⁵	7.380×10 ⁴	1.729×10 ⁶	—	40.0	95.0	—	—	—	—	—	—	4	—	—	2	1.440×10 ³
4	粉末一時保管装置-12(冷却系切替ダンバ2 (ゲートレバースタンド))	40	—	—	480.0	—	113.0	—	—	—	—	—	—	—	205	1.920×10 ⁵	7.380×10 ⁴	1.729×10 ⁶	—	40.0	95.0	—	—	—	—	—	—	4	—	—	2	1.440×10 ³
5	焼結ボート受渡装置-1(搬送コンベア-1)	170	—	—	210.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	220	140.0	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	1.840×10 ³
6	焼結ボート受渡装置-1(取扱機-1)	130	—	—	210.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	8.003×10 ⁴	—	75.0	345.0	93	100	—	—	—	—	6	—	—	—	3.266×10 ³
7	焼結ボート受渡装置-1(昇降台-1)	145	—	—	170.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	38.0	142.0	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
8	焼結ボート受渡装置-2(搬送コンベア-2)	170	—	—	210.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	220	220.0	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	1.840×10 ³
9	焼結ボート受渡装置-2(取扱機-2)	130	—	—	210.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	8.003×10 ⁴	—	75.0	345.0	93	100	—	—	—	—	6	—	—	—	3.266×10 ³
10	焼結ボート受渡装置-2(昇降台-2)	145	—	—	170.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	32.0	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
11	焼結ボート受渡装置-3(搬送コンベア-3)	170	—	—	210.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	220	220.0	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	1.840×10 ³
12	焼結ボート受渡装置-3(取扱機-3)	130	—	—	210.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	8.003×10 ⁴	—	75.0	345.0	93	100	—	—	—	—	6	—	—	—	3.266×10 ³
13	焼結ボート受渡装置-3(昇降台-3)	145	—	—	170.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	32.0	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
14	焼結ボート受渡装置-4,6(搬送コンベア-4,6)	170	—	—	210.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	220	220.0	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	1.840×10 ³
15	焼結ボート受渡装置-4,6(取扱機-4,6)	130	—	—	210.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	8.003×10 ⁴	—	75.0	345.0	93	100	—	—	—	—	6	—	—	—	3.266×10 ³
16	焼結ボート受渡装置-4,6(昇降台-4,6)	145	—	—	170.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	18.0	162.0	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
17	焼結ボート受渡装置-5,7(搬送コンベア-5,7)	170	—	—	210.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	220	220.0	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	1.840×10 ³
18	焼結ボート受渡装置-5,7(取扱機-5,7)	130	—	—	210.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	8.003×10 ⁴	—	75.0	345.0	93	100	—	—	—	—	6	—	—	—	3.266×10 ³
19	焼結ボート受渡装置-5,7(昇降台-5,7)	145	—	—	170.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	18.0	162.0	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
20	焼結ボート受渡装置-8(搬送コンベア-8)	170	—	—	210.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	220	140.0	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	1.840×10 ³

2.1.1.2 機器要目 (その2)

No.	機器名称	m (kg)	m ₁ (kg)	m ₂ (kg)	h (mm)	h ₁ (mm)	A _b (mm ²)	A _{b1} (mm ²)	A _{b2} (mm ²)	n _{r0} (-)	n _{r1} (-)	n _{r11} (-)	n _{r12} (-)	M _p (N・mm)	F* (MPa)	E (MPa)	G (MPa)	I (mm ⁴)	L (mm)	l ₁ (mm)	l ₂ (mm)	l ₃ (mm)	l ₄ (mm)	l ₁₁ (mm)	l ₁₂ (mm)	l ₂₁ (mm)	l ₂₂ (mm)	n (-)	n ₁ (-)	n ₂ (-)	n _r (-)	A _e (mm ²)
21	焼結ボート受渡装置-8(取扱機-8)	130	—	—	210.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	8.003×10 ⁴	—	75.0	345.0	93	100	—	—	—	—	6	—	—	—	3.266×10 ³
22	焼結ボート受渡装置-8(昇降台-8)	145	—	—	170.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	38.0	142.0	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
23	防火シャッター-1	240	—	—	1962.5	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	617	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	2.290×10 ⁸	780	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	2	3.392×10 ³
24	防火シャッター-2	240	—	—	1962.5	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	617	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	2.290×10 ⁸	780	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	2	3.392×10 ³
25	スクラップ保管容器受渡装置-1(搬送コンベア-1)	240	—	—	280.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	289	140.0	149.0	—	—	—	—	—	—	3	—	—	3	1.840×10 ³
26	スクラップ保管容器受渡装置-1(取扱機-1)	215	—	—	220.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	7.317×10 ⁴	—	105.0	475.0	76	105	—	—	—	—	6	—	—	—	2.986×10 ³
27	スクラップ保管容器受渡装置-1(昇降台-1)	210	—	—	150.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	5.0	175.0	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
28	スクラップ保管容器受渡装置-2(搬送コンベア-2)	240	—	—	280.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	289	140.0	149.0	—	—	—	—	—	—	3	—	—	3	1.840×10 ³
29	スクラップ保管容器受渡装置-2(取扱機-2)	215	—	—	220.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	7.317×10 ⁴	—	105.0	475.0	76	105	—	—	—	—	6	—	—	—	2.986×10 ³
30	スクラップ保管容器受渡装置-2(昇降台-2)	210	—	—	150.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	5.0	175.0	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
31	ペレット保管容器受渡装置-1(搬送コンベア-1)	180	—	—	210.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	200	250.0	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	1.840×10 ³
32	ペレット保管容器受渡装置-1(取扱機-1)	140	—	—	210.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	7.317×10 ⁴	—	65.0	405.0	76	125	—	—	—	—	6	—	—	—	2.986×10 ³
33	ペレット保管容器受渡装置-1(昇降台-1)	140	—	—	160.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	15.0	165.0	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³
34	ペレット保管容器受渡装置-2(搬送コンベア-2)	180	—	—	210.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	4.866×10 ⁵	200	250.0	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	1.840×10 ³
35	ペレット保管容器受渡装置-2(取扱機-2)	140	—	—	210.0	—	50.2	—	—	6	1	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	7.317×10 ⁴	—	65.0	405.0	76	125	—	—	—	—	6	—	—	—	2.986×10 ³
36	ペレット保管容器受渡装置-2(昇降台-2)	140	—	—	160.0	—	78.5	—	—	—	—	—	—	—	205	1.729×10 ⁵	7.380×10 ⁴	6.826×10 ⁴	180	15.0	165.0	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	4.266×10 ³

2.1.1.3 結論(その1)

(単位：MPa)

No.	機器名称	支持構造物 (ボルト等)							取付ボルト(原動機台)						取付ボルト(ファン)							
		材料	S s						材料	S s						材料	S s					
			引張			せん断				引張			せん断				引張			せん断		
			計算式	算出応力 σ_{b1}	許容応力 $1.5f_{ts1}^*$	計算式	算出応力 τ_{b1}	許容応力 $1.5f_{ts1}^*$		計算式	算出応力 σ_{b2}	許容応力 $1.5f_{ts2}^*$	計算式	算出応力 τ_{b2}	許容応力 $1.5f_{ts2}^*$		計算式	算出応力 σ_{b3}	許容応力 $1.5f_{ts3}^*$	計算式	算出応力 τ_{b3}	許容応力 $1.5f_{ts3}^*$
1	粉末一時保管装置-1(容器冷却用ブロワ1)	—	—	—	—	—	—	SUS304	3.1.3.3 .1-1	8	153	3.1.3.3 .1-1	4	118	SUS304	3.1.3.3 .1-1	10	153	3.1.3.3 .1-1	2	118	
2	粉末一時保管装置-12(容器冷却用ブロワ2)	—	—	—	—	—	—	SUS304	3.1.3.3 .1-1	8	153	3.1.3.3 .1-1	4	118	SUS304	3.1.3.3 .1-1	10	153	3.1.3.3 .1-1	2	118	
3	粉末一時保管装置-1(冷却系切替ダンパ1 (ゲートレバースタンド))	SUS304	3.1.3.3 .1-1	13	153	3.1.3.3 .1-1	2	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	粉末一時保管装置-12(冷却系切替ダンパ2 (ゲートレバースタンド))	SUS304	3.1.3.3 .1-1	14	153	3.1.3.3 .1-1	2	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	焼結ボート受渡装置-1(搬送コンベア-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	40	153	3.1.3.3 .1-2,-4	25	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6	焼結ボート受渡装置-1(取扱機-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	63	153	3.1.3.3 .1-1,-4	9	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	焼結ボート受渡装置-1(昇降台-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	31	153	3.1.3.3 .1-1,-4	34	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8	焼結ボート受渡装置-2(搬送コンベア-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	46	153	3.1.3.3 .1-2,-4	29	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	焼結ボート受渡装置-2(取扱機-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	63	153	3.1.3.3 .1-1,-4	9	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10	焼結ボート受渡装置-2(昇降台-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	34	153	3.1.3.3 .1-2,-4	34	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
11	焼結ボート受渡装置-3(搬送コンベア-3)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	46	153	3.1.3.3 .1-2,-4	29	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
12	焼結ボート受渡装置-3(取扱機-3)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	63	153	3.1.3.3 .1-1,-4	9	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
13	焼結ボート受渡装置-3(昇降台-3)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	34	153	3.1.3.3 .1-2,-4	34	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
14	焼結ボート受渡装置-4,6(搬送コンベア-4,6)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	32	153	3.1.3.3 .1-2,-4	41	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
15	焼結ボート受渡装置-4,6(取扱機-4,6)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	67	153	3.1.3.3 .1-1,-4	8	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
16	焼結ボート受渡装置-4,6(昇降台-4,6)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	11	153	3.1.3.3 .1-1,-4	22	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
17	焼結ボート受渡装置-5,7(搬送コンベア-5,7)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	32	153	3.1.3.3 .1-2,-4	41	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
18	焼結ボート受渡装置-5,7(取扱機-5,7)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	67	153	3.1.3.3 .1-1,-4	8	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
19	焼結ボート受渡装置-5,7(昇降台-5,7)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	11	153	3.1.3.3 .1-1,-4	22	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
20	焼結ボート受渡装置-8(搬送コンベア-8)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	48	153	3.1.3.3 .1-2,-4	51	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

2.1.1.3 結論(その2)

(単位:MPa)

No.	機器名称	支持構造物(ボルト等)						取付ボルト(原動機台)						取付ボルト(ファン)								
		材料	S s						材料	S s						材料	S s					
			引張			せん断				引張			せん断				引張			せん断		
			計算式	算出応力 σ_{b1}	許容応力 $1.5f_{ts1}^*$	計算式	算出応力 τ_{b1}	許容応力 $1.5f_{ts1}^*$		計算式	算出応力 σ_{b2}	許容応力 $1.5f_{ts2}^*$	計算式	算出応力 τ_{b2}	許容応力 $1.5f_{ts2}^*$		計算式	算出応力 σ_{b3}	許容応力 $1.5f_{ts3}^*$	計算式	算出応力 τ_{b3}	許容応力 $1.5f_{ts3}^*$
21	焼結ボート受渡装置-8(取扱機-8)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	78	153	3.1.3.3 .1-1,-4	9	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
22	焼結ボート受渡装置-8(昇降台-8)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	33	153	3.1.3.3 .1-1,-4	36	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
23	防火シャッター-1	SCM435	3.1.3.3.1- 3	53	462	3.1.3.3.1- 1	9	356	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
24	防火シャッター-2	SCM435	3.1.3.3.1- 3	53	462	3.1.3.3.1- 1	9	356	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
25	スクラップ保管容器受渡装置-1(搬送コンベア-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	59	115	3.1.3.3 .1-2,-4	63	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
26	スクラップ保管容器受渡装置-1(取扱機-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	62	153	3.1.3.3 .1-1,-4	14	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27	スクラップ保管容器受渡装置-1(昇降台-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	47	125	3.1.3.3 .1-1,-4	57	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
28	スクラップ保管容器受渡装置-2(搬送コンベア-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	59	114	3.1.3.3 .1-2,-4	64	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
29	スクラップ保管容器受渡装置-2(取扱機-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	62	153	3.1.3.3 .1-1,-4	14	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
30	スクラップ保管容器受渡装置-2(昇降台-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	48	123	3.1.3.3 .1-1,-4	58	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
31	ペレット保管容器受渡装置-1(搬送コンベア-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	35	153	3.1.3.3 .1-1,-4	18	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
32	ペレット保管容器受渡装置-1(取扱機-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	45	153	3.1.3.3 .1-1,-4	9	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
33	ペレット保管容器受渡装置-1(昇降台-1)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	10	153	3.1.3.3 .1-1,-4	12	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
34	ペレット保管容器受渡装置-2(搬送コンベア-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-2,-4	43	153	3.1.3.3 .1-2,-4	45	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
35	ペレット保管容器受渡装置-2(取扱機-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	49	153	3.1.3.3 .1-1,-4	9	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
36	ペレット保管容器受渡装置-2(昇降台-2)	SUS304	3.1.3.3 .1-1,-4	10	153	3.1.3.3 .1-1,-4	17	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅲ－2－2－2－2－2

有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書

目 次

Ⅲ-2-2-2-2-2-1	グローブボックスの耐震計算書	該当設備なし
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	ラック/ピット/棚の耐震計算書	
Ⅲ-2-2-2-2-2-3	搬送装置の耐震計算書	
Ⅲ-2-2-2-2-2-4	遮蔽設備の耐震計算書	

Ⅲ－２－２－２－２－２－２－２

ラック/ピット/棚の耐震計算書

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設	2
2.1 燃料加工建屋	2

1. 概要

本計算書は、「Ⅲ-1-3-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震計算書作成の基本方針」、「Ⅲ-2-2-1 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」及び「Ⅲ-3-1 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震計算に関する基本方針」に基づき、安全機能を有する施設のうち耐震重要施設が下位クラス施設の波及的影響によってその安全機能に必要な機能を損なわないことについて、波及的影響の評価及び地震時の単一ユニット間距離の確保の評価を実施するものであり、ラック/ピット/棚の耐震評価について、算出した結果を示すものである。

粉末一時保管装置 1～12 は、本体内部に、容器を貯蔵する構造であり、支持構造物から構成され、取付ボルトによりグローブボックスに固定される。

ペレット一時保管棚-1～-3 は、本体内部に、容器を貯蔵する構造である。

スクラップ貯蔵棚-1～-5 は、本体内部に、容器を貯蔵する構造である。

製品ペレット貯蔵棚-1～-5 は、本体内部に、容器を貯蔵する構造である。

粉末一時保管装置 1～12 の耐震評価は、本体部が剛であるため、支持構造物、取付ボルトについて実施する。

ペレット一時保管棚-1～-3 の耐震評価は、支持構造物について実施する。

スクラップ貯蔵棚-1～-5 の耐震評価は、支持構造物について実施する。

製品ペレット貯蔵棚-1～-5 の耐震評価は、支持構造物について実施する。

なお、粉末一時保管装置 1～12 は、単一ユニット間距離の確保が必要な設備であるが、剛であることの確認をもって許容変位以下であると判定する。

本計算書においては、機器の概要図、解析モデル図、構造強度評価（設計条件、機器要目及び結論）を次項以降に示す。

2. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設

2.1 燃料加工建屋

対象設備及び記載先を下表に示す。

記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル図	波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設	
					構造強度評価	臨界安全性評価
(A)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 1	A.	I.	—
(B)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 2	B.	I.	—
(C)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 3	C.	I.	—
(D)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 4	D.	I.	—
(E)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 5	E.	I.	—
(F)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 6	F.	I.	—
(G)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 7	G.	I.	—

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書

記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル 図	波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設	
					構造強度評価	臨界安全性評価
(H)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 8	H.	I.	—
(I)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 9	I.	I.	—
(J)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 10	J.	I.	—
(K)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 11	K.	I.	—
(L)	核燃料物質の 貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管装置 12	L.	I.	—
(M)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	ペレット一時保管棚-1	M.	I.	Ⅱ.
(N)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	ペレット一時保管棚-2	N.	I.	Ⅱ.
(O)	核燃料物質の 貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	ペレット一時保管棚-3	O.	I.	Ⅱ.
(P)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-1	P.	I.	Ⅱ.

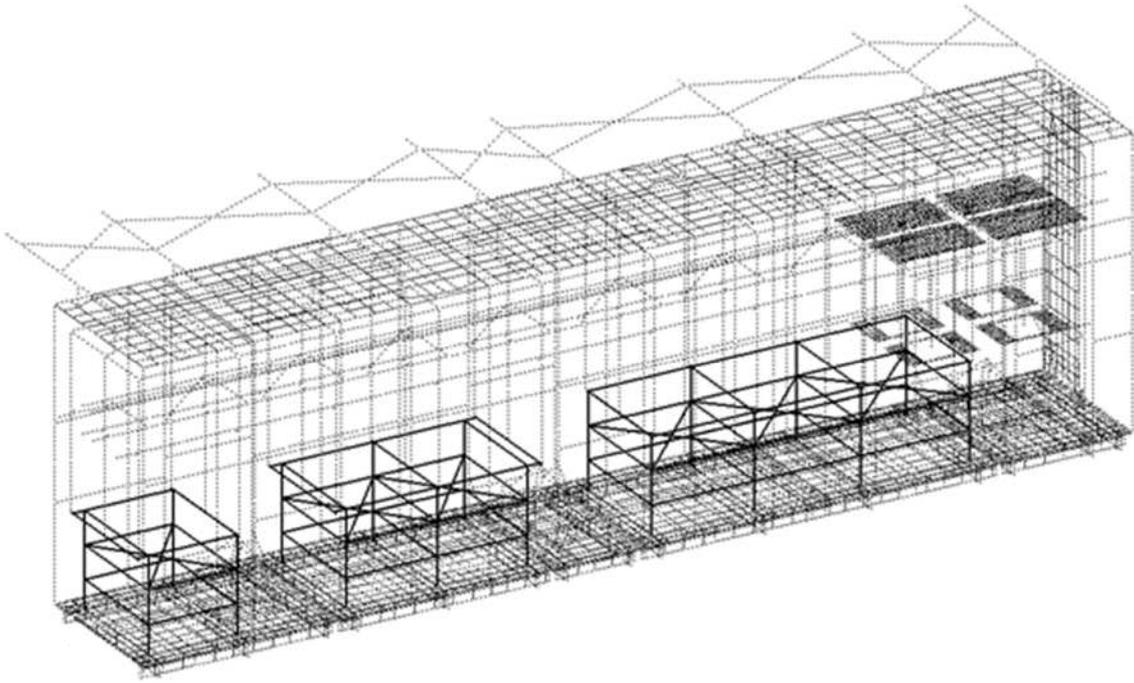
Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書

記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル 図	波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設	
					構造強度評価	臨界安全性評価
(Q)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-2	Q.	I.	II.
(R)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-3	R.	I.	II.
(S)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-4	S.	I.	II.
(T)	核燃料物質の 貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-5	T.	I.	II.
(U)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-1	U.	I.	II.
(V)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-2	V.	I.	II.
(W)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-3	W.	I.	II.
(X)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-4	X.	I.	II.
(Y)	核燃料物質の 貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-5	Y.	I.	II.

A. 粉末一時保管装置 1
概要図及び解析モデル図



第A.-1図 概要図(A)



第A.-2図 解析モデル図(A)

第A.-1表 (1/2) モデル諸元(A)

要素数	9035
節点数	7537
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-1表 (2/2) モデル諸元(A)

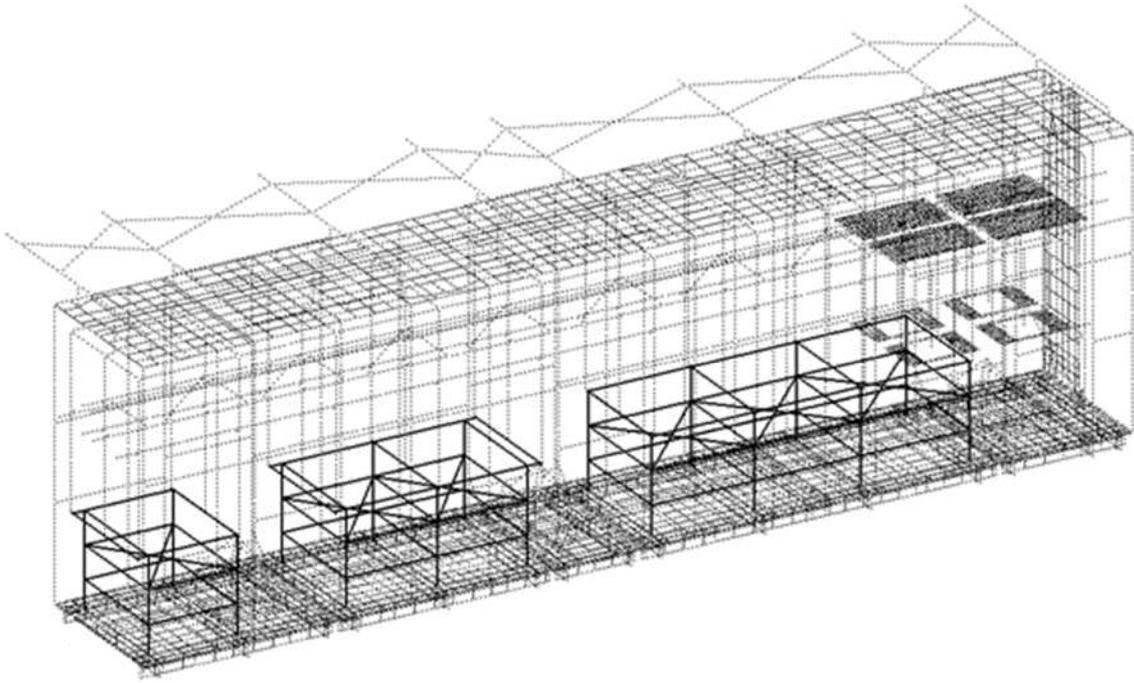
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 1)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

B. 粉末一時保管装置 2
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
 ラック/ピット/棚の耐震計算書



第B.-1図 概要図(B)



第B.-2図 解析モデル図(B)

第B.-1表 (1/2) モデル諸元(B)

要素数	9035
節点数	7537
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第B.-1表 (2/2) モデル諸元(B)

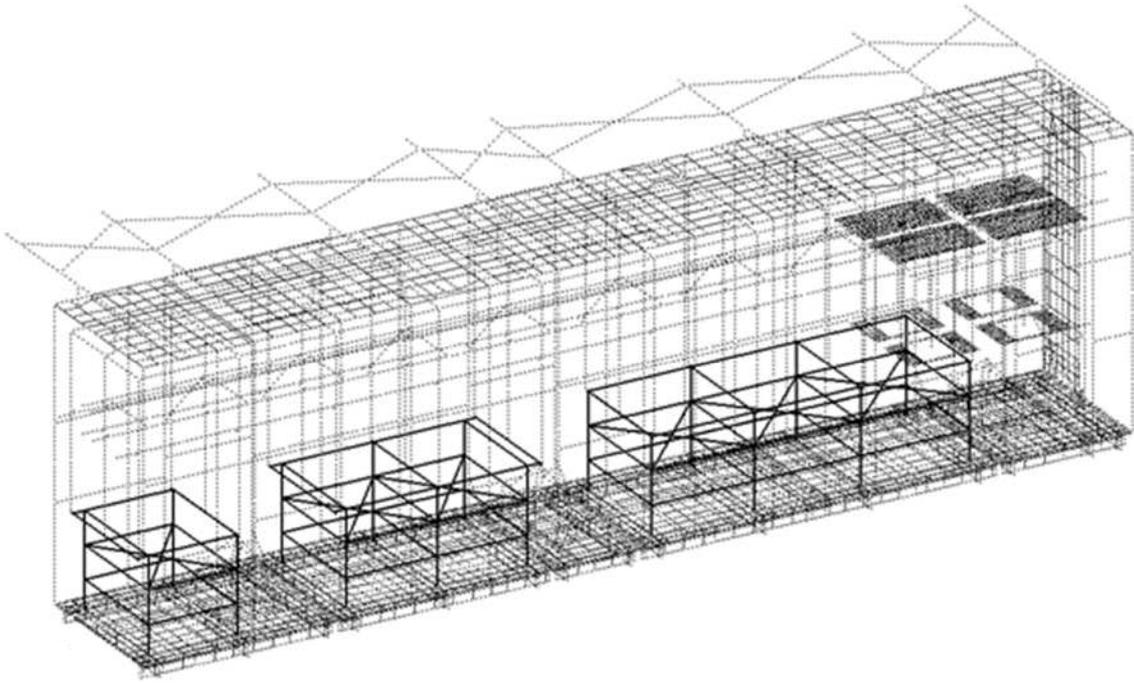
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 2)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

C. 粉末一時保管装置 3
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第C.-1図 概要図(C)



第C.-2図 解析モデル図(C)

第C.-1表 (1/2) モデル諸元(C)

要素数	9035
節点数	7537
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

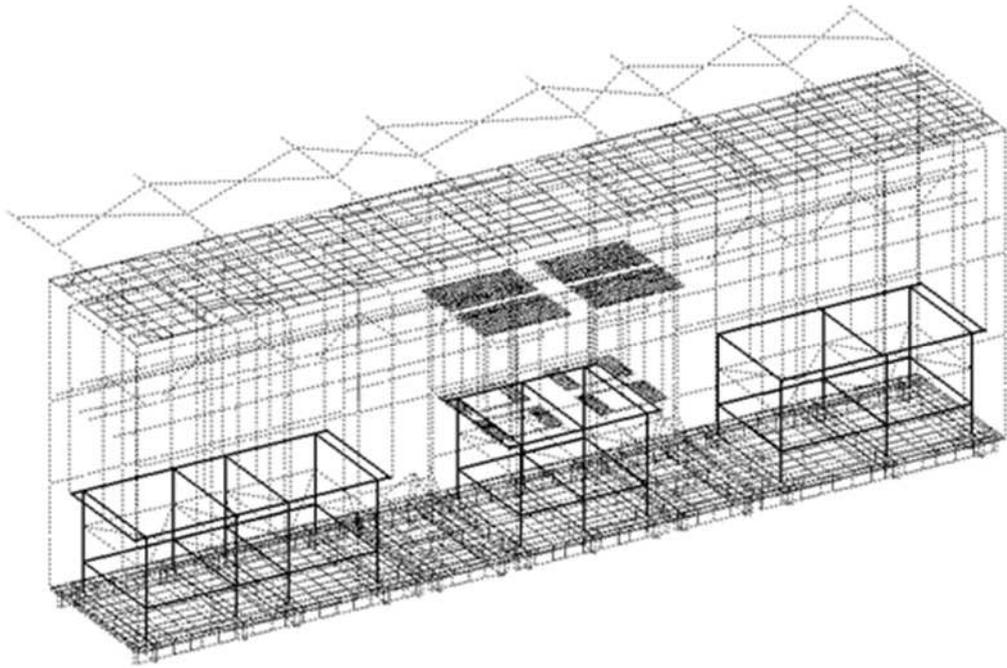
第C.-1表 (2/2) モデル諸元(C)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 3)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

D. 粉末一時保管装置 4
概要図及び解析モデル図



第D.-1図 概要図(D)



第D.-2図 解析モデル図(D)

第D.-1表 (1/2) モデル諸元(D)

要素数	7510
節点数	6200
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第D.-1表 (2/2) モデル諸元(D)

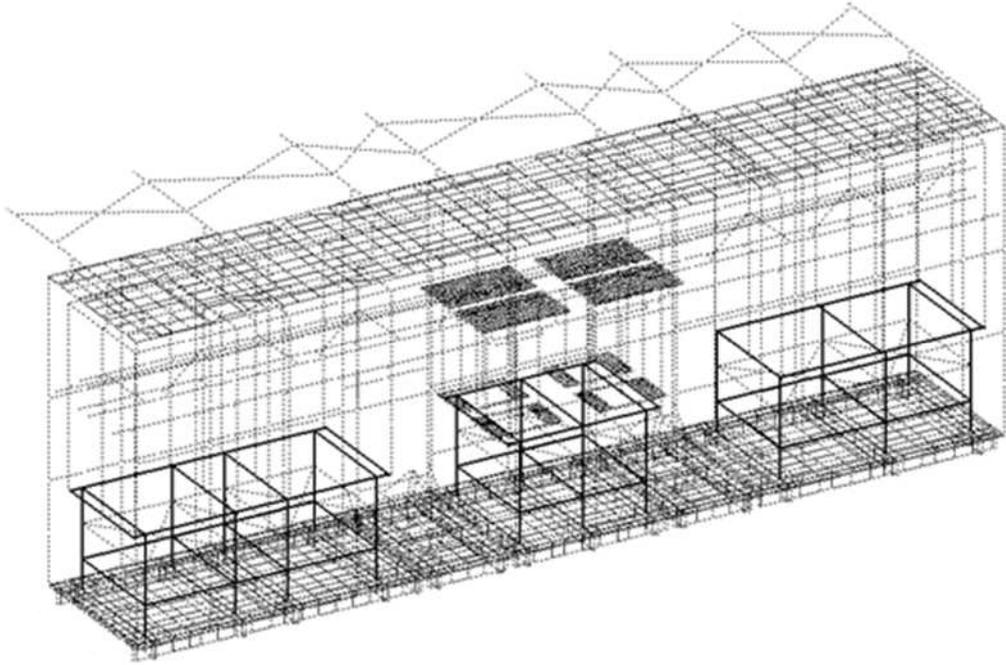
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 4)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

E. 粉末一時保管装置 5
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
 ラック/ピット/棚の耐震計算書



第E.-1図 概要図(E)



第E.-2図 解析モデル図(E)

第E.-1表 (1/2) モデル諸元(E)

要素数	7510
節点数	6200
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

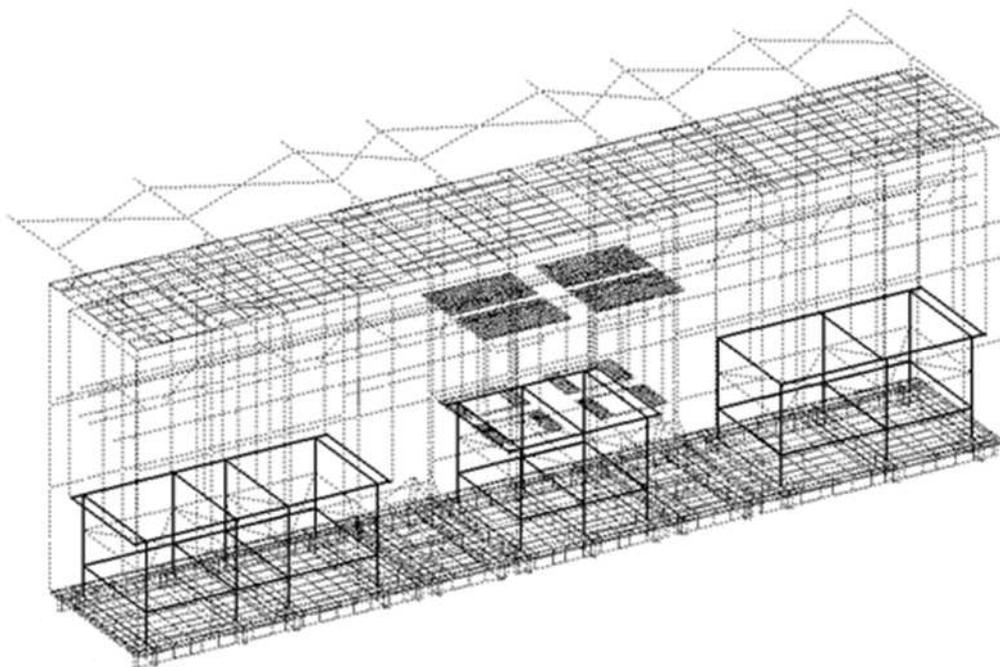
第E.-1表 (2/2) モデル諸元(E)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 5)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

F. 粉末一時保管装置 6
概要図及び解析モデル図



第F.-1図 概要図(F)



第F.-2図 解析モデル図(F)

第F.-1表 (1/2) モデル諸元(F)

要素数	7510
節点数	6200
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第F.-1表 (2/2) モデル諸元(F)

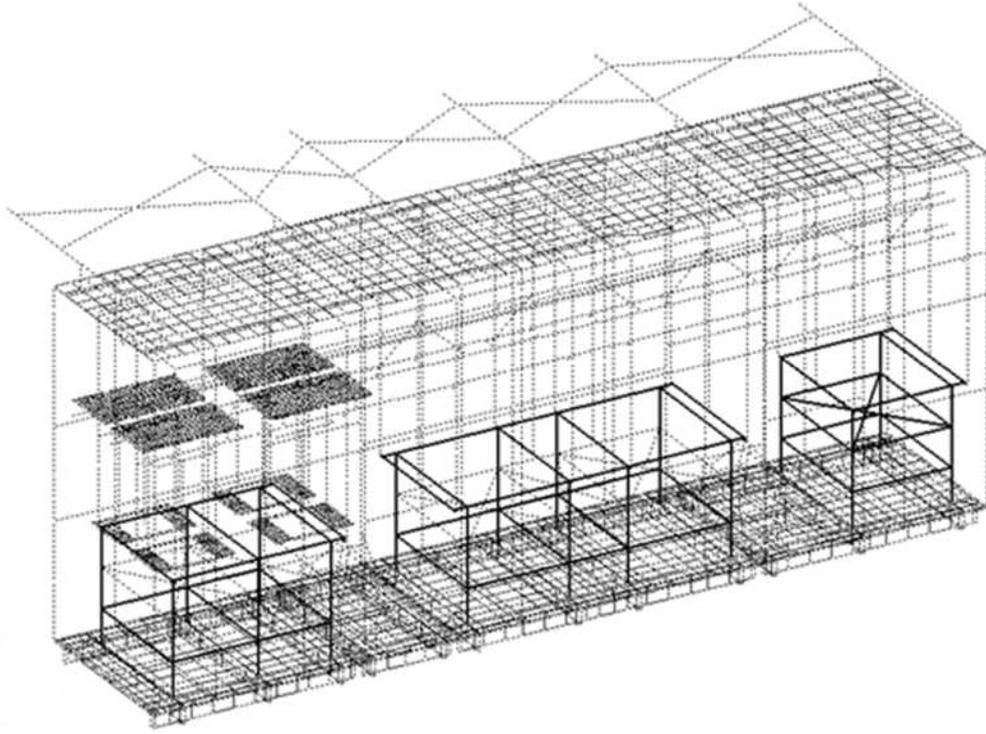
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 6)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

G. 粉末一時保管装置 7
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第G.-1図 概要図(G)



第G.-2図 解析モデル図(G)

第G.-1表 (1/2) モデル諸元(G)

要素数	6930
節点数	5831
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第G.-1表 (2/2) モデル諸元(G)

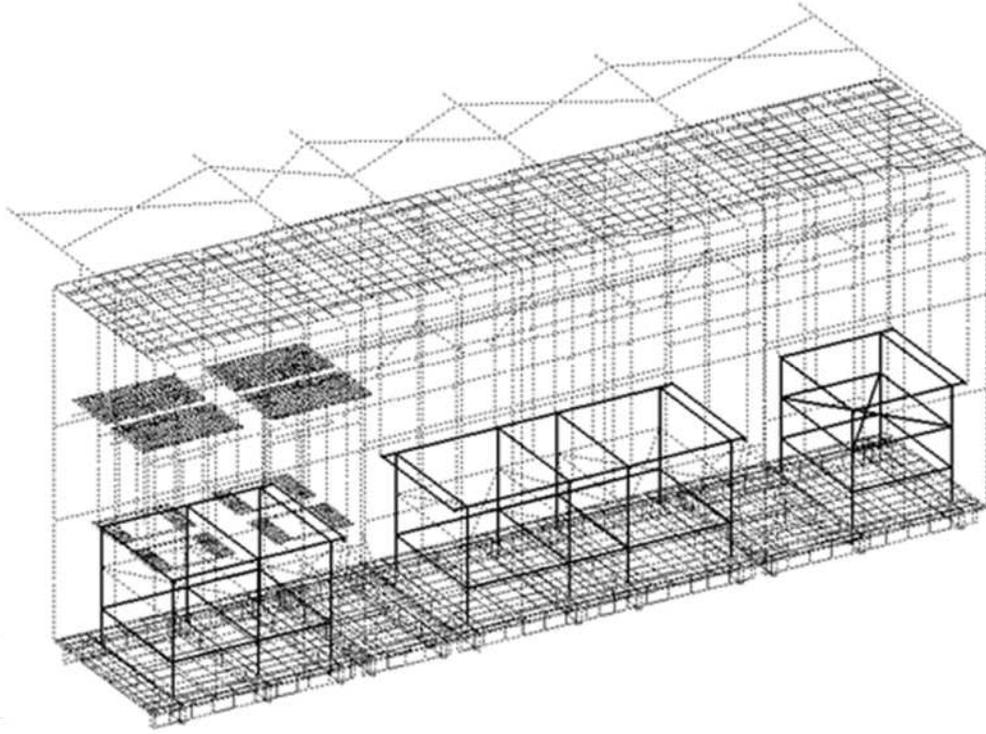
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 7)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

H. 粉末一時保管装置 8
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第H.-1図 概要図(H)



第H.-2図 解析モデル図(H)

第H.-1表 (1/2) モデル諸元(H)

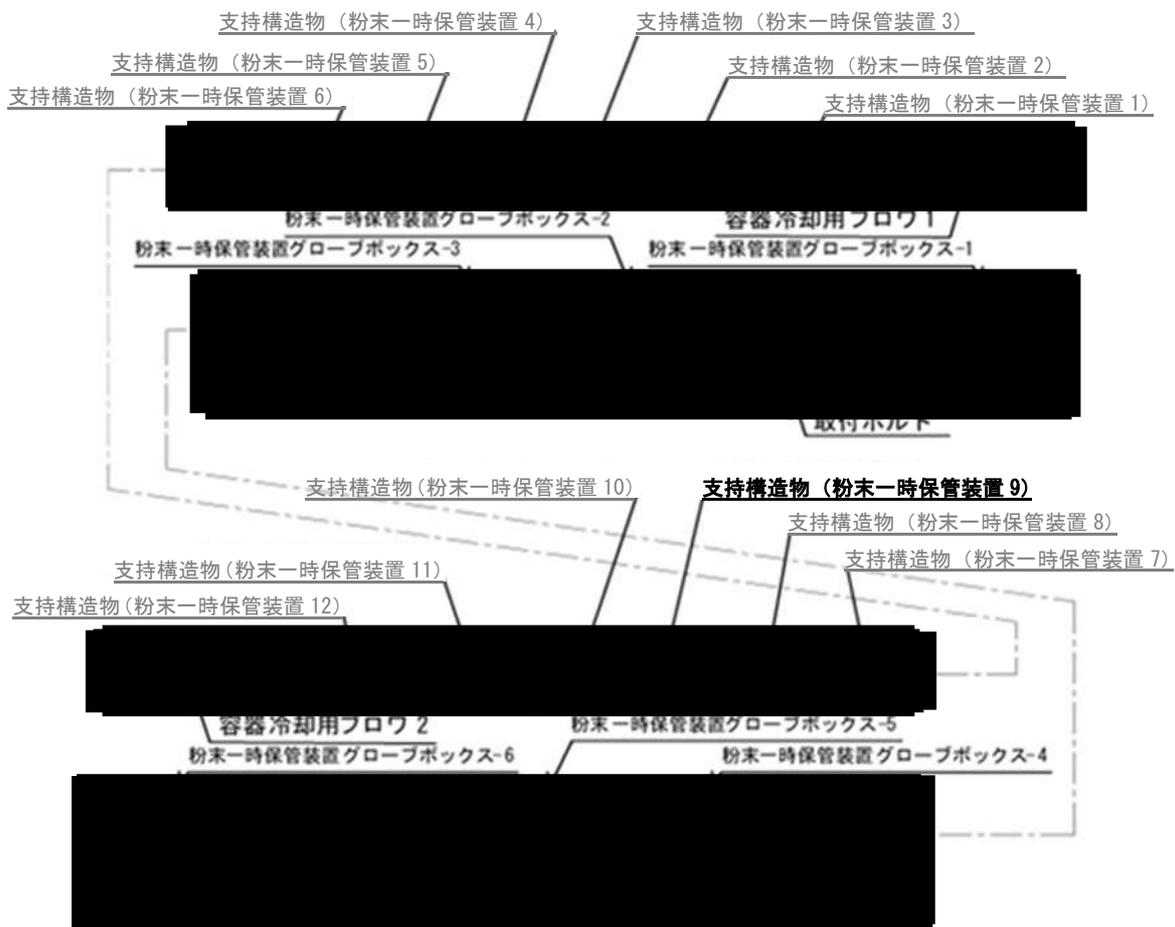
要素数	6930
節点数	5831
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第H.-1表 (2/2) モデル諸元(H)

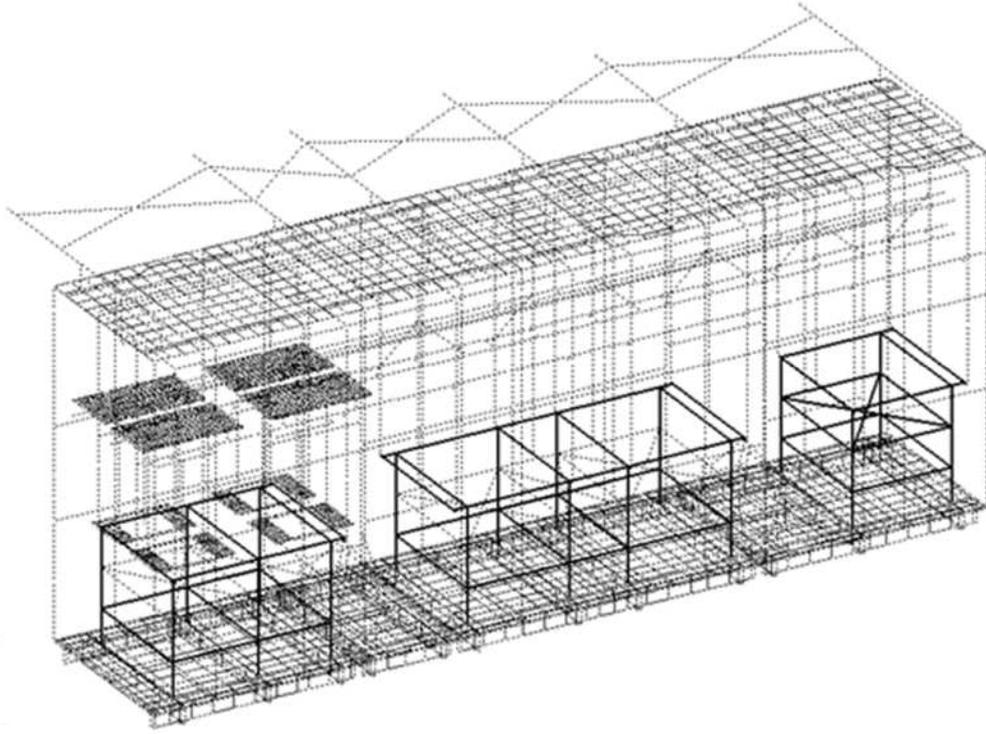
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 8)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

I. 粉末一時保管装置 9
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第I.-1図 概要図(I)



第I.-2図 解析モデル図(I)

第I.-1表 (1/2) モデル諸元(I)

要素数	6930
節点数	5831
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第I.-1表 (2/2) モデル諸元(I)

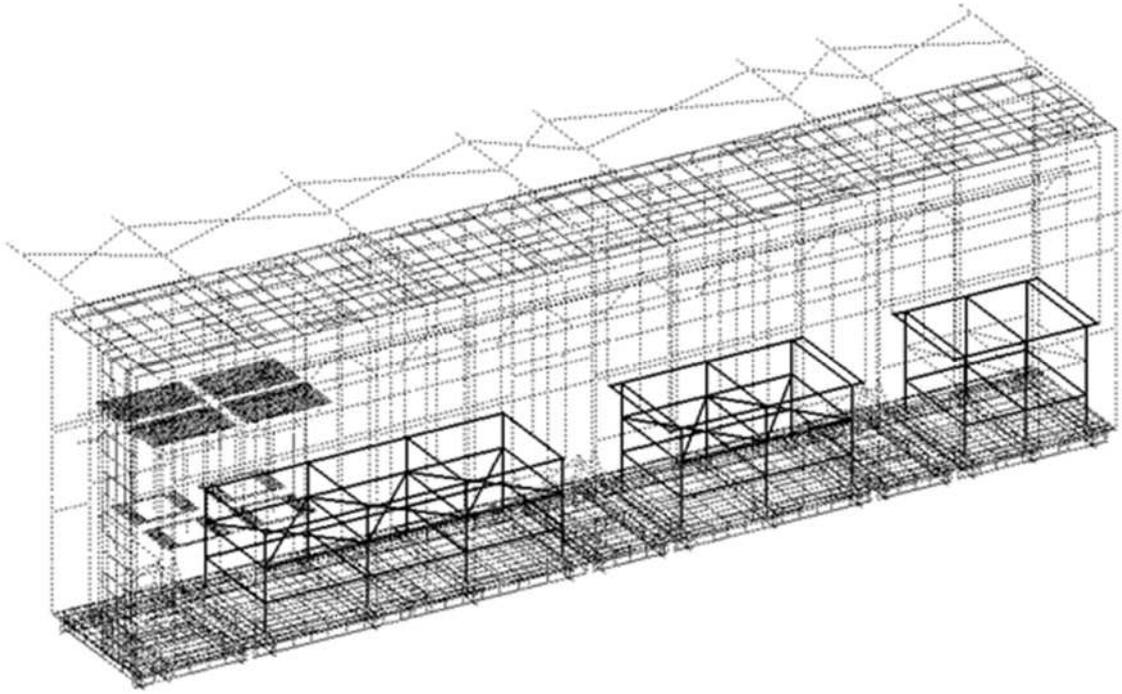
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 9)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

J. 粉末一時保管装置 10
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
 ラック/ピット/棚の耐震計算書



第J.-1図 概要図(J)



第J.-2図 解析モデル図(J)

第J.-1表 (1/2) モデル諸元(J)

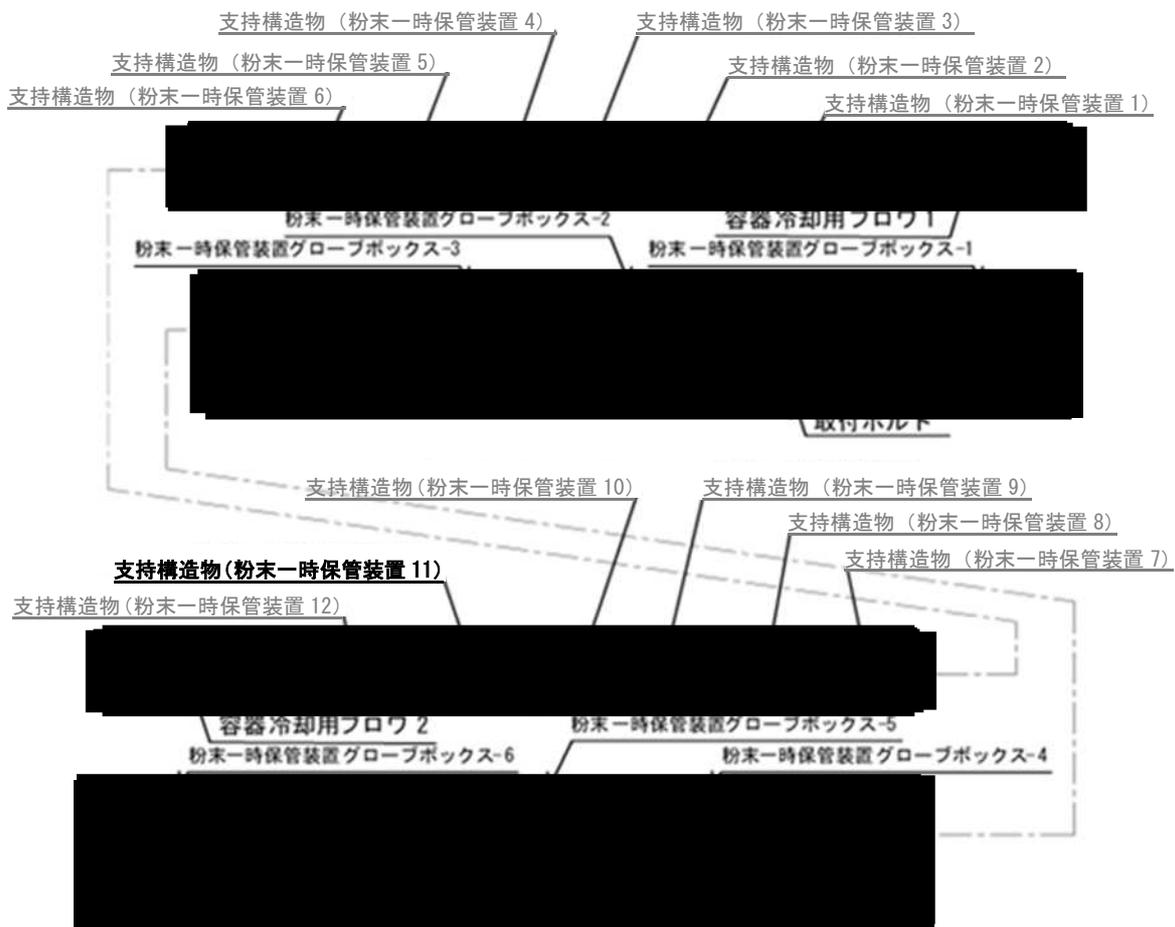
要素数	8697
節点数	7149
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第J.-1表 (2/2) モデル諸元(J)

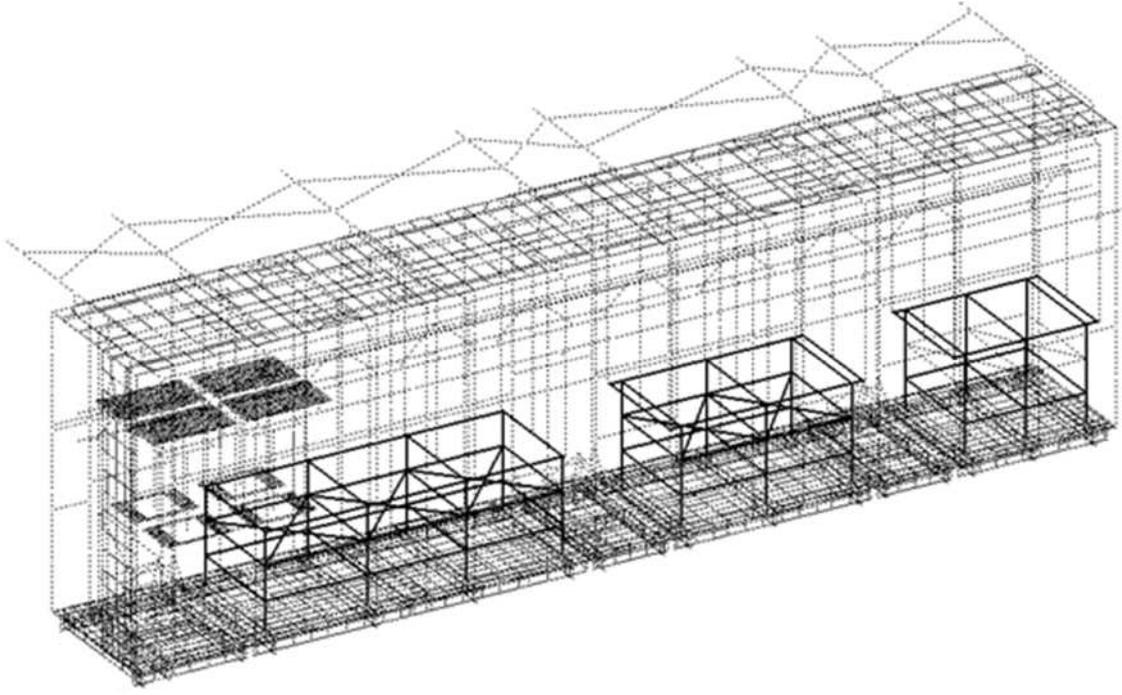
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 10)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

K. 粉末一時保管装置 11
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
 ラック/ピット/棚の耐震計算書



第K.-1図 概要図(K)



第K.-2図 解析モデル図(K)

第K.-1表 (1/2) モデル諸元(K)

要素数	8697
節点数	7149
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第K.-1表 (2/2) モデル諸元(K)

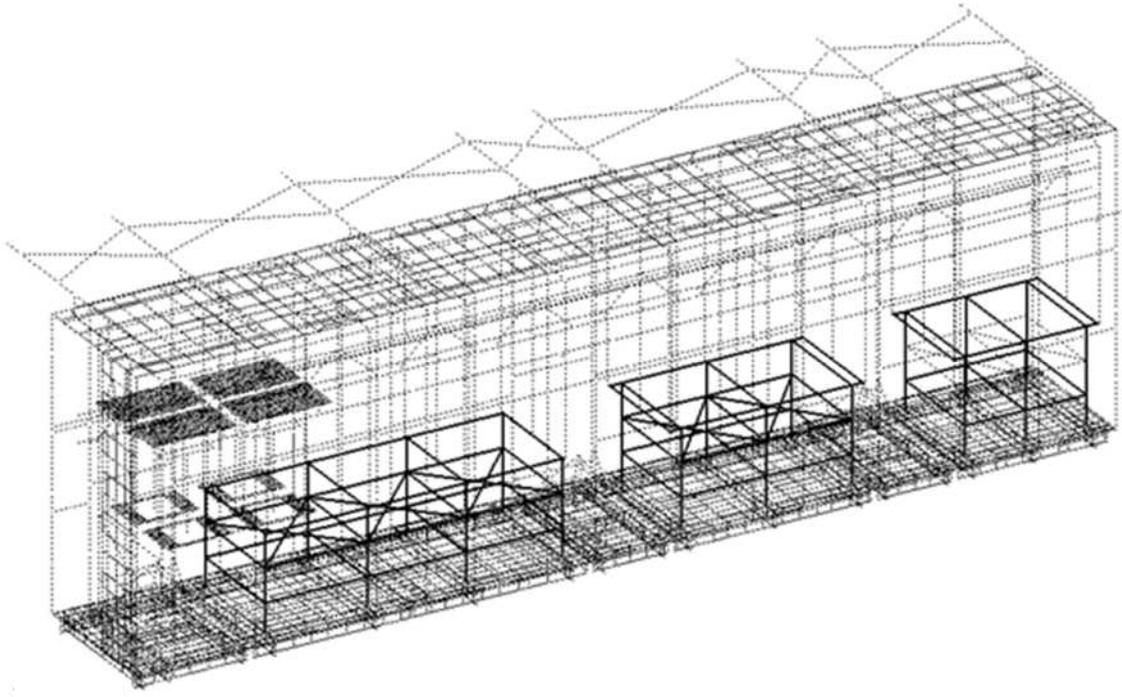
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 11)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

L. 粉末一時保管装置 12
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第L.-1図 概要図(L)



第L.-2図 解析モデル図(L)

第L.-1表 (1/2) モデル諸元(L)

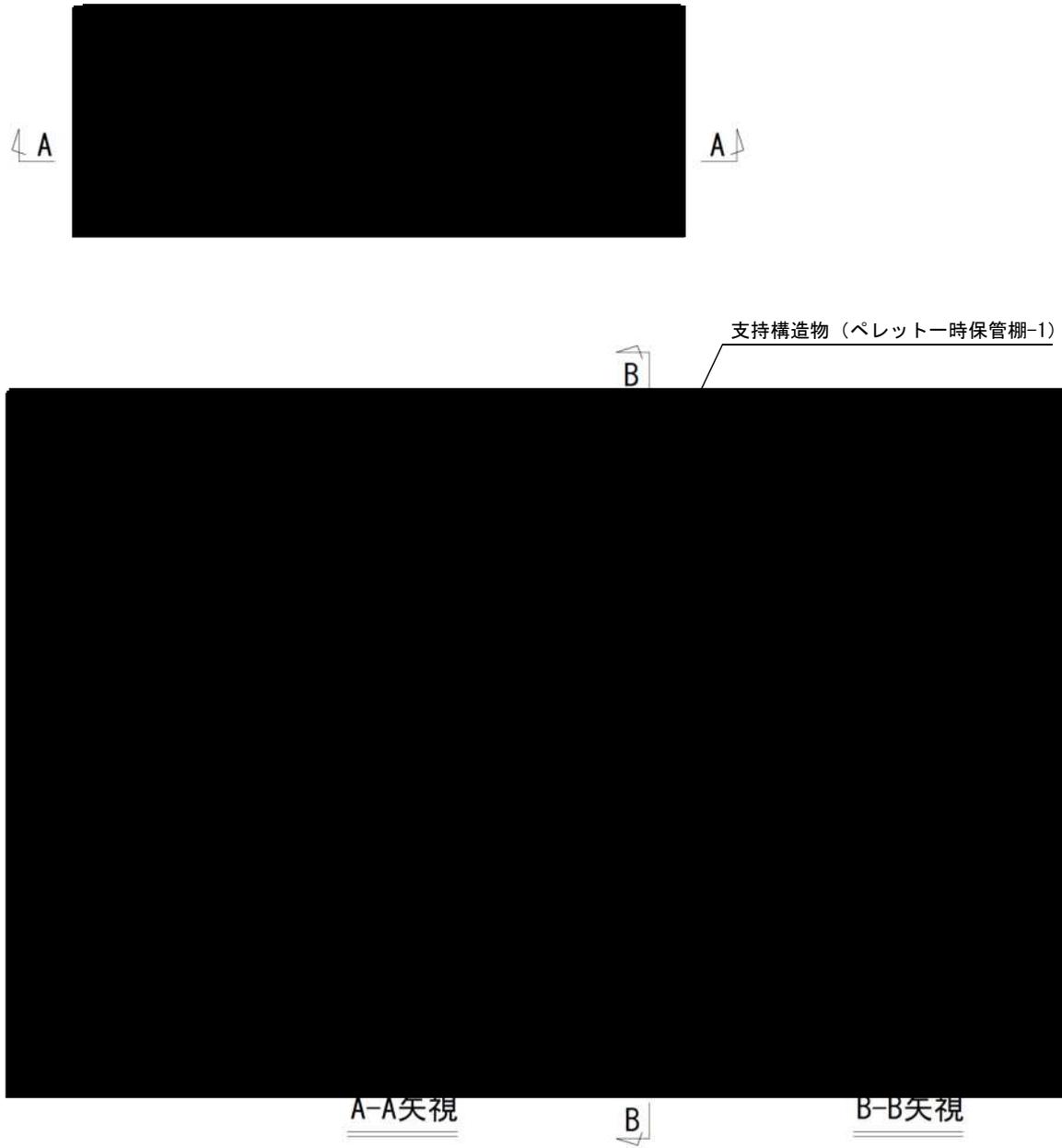
要素数	8697
節点数	7149
拘束条件	回転2方向拘束
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第L.-1表 (2/2) モデル諸元(L)

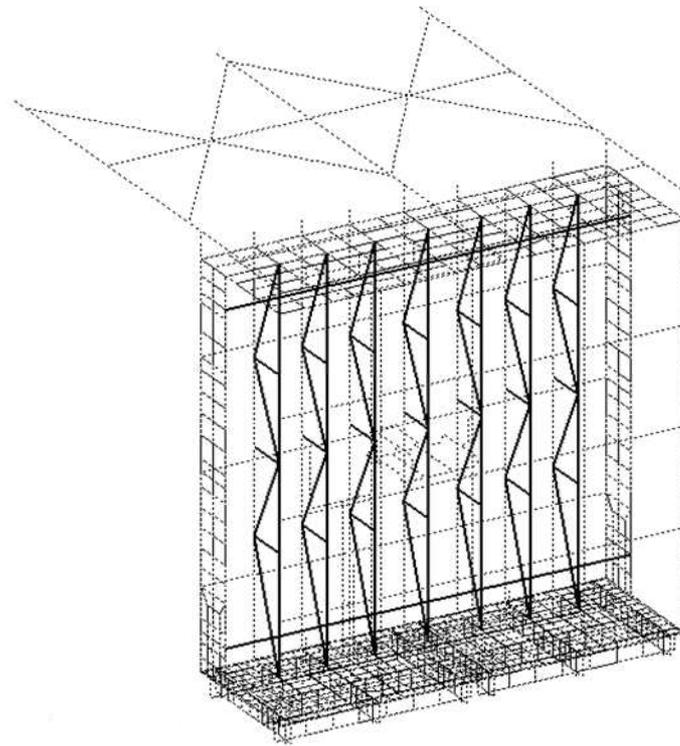
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管装置 12)	SS400	6.353×10 ³	1.600×10 ⁷	4.720×10 ⁷

M. ペレット一時保管棚-1
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第M.-1図 概要図(M)



第M.-2図 解析モデル図(M)

第M.-1表 (1/2) モデル諸元(M)

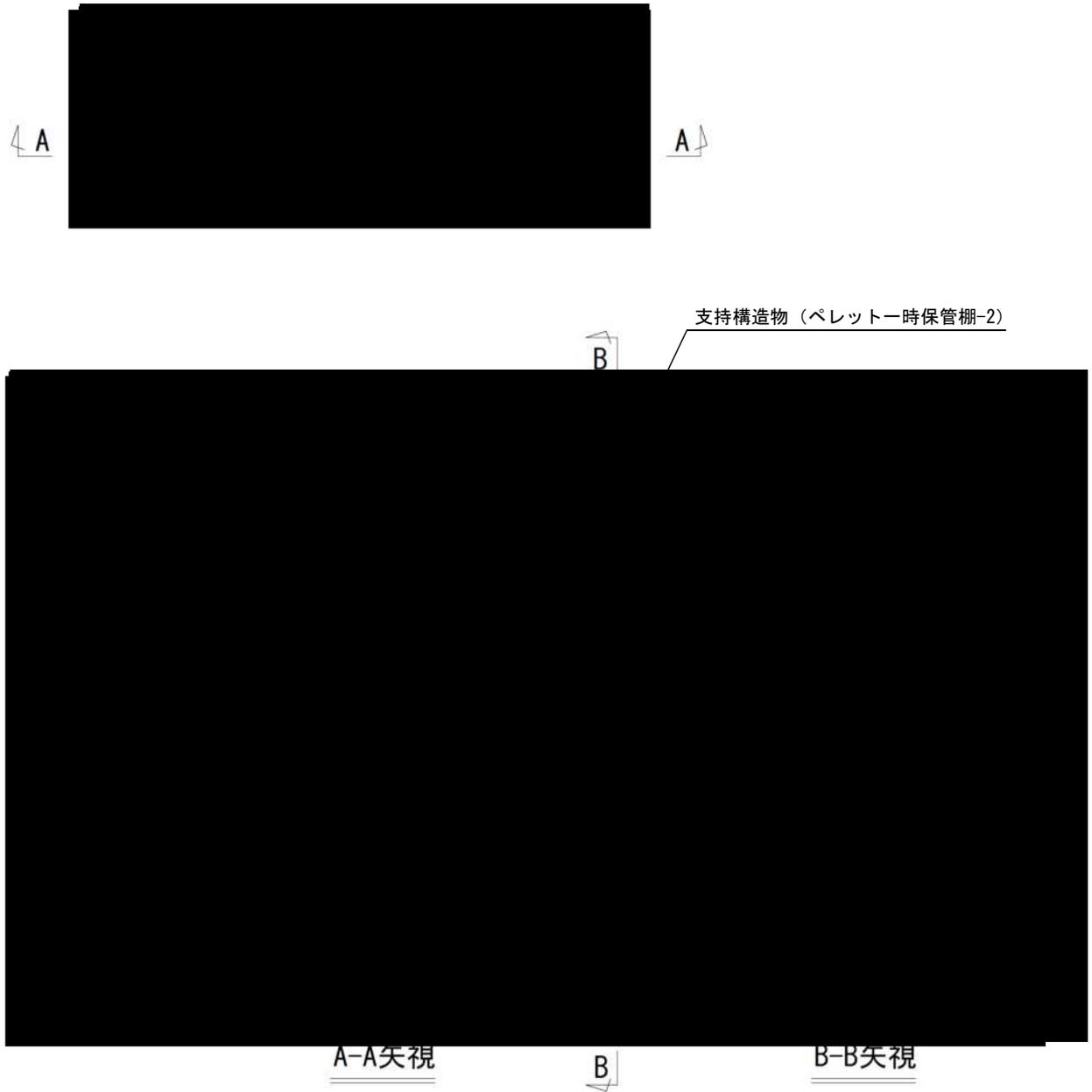
要素数	2288
節点数	1598
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第M.-1表 (2/2) モデル諸元(M)

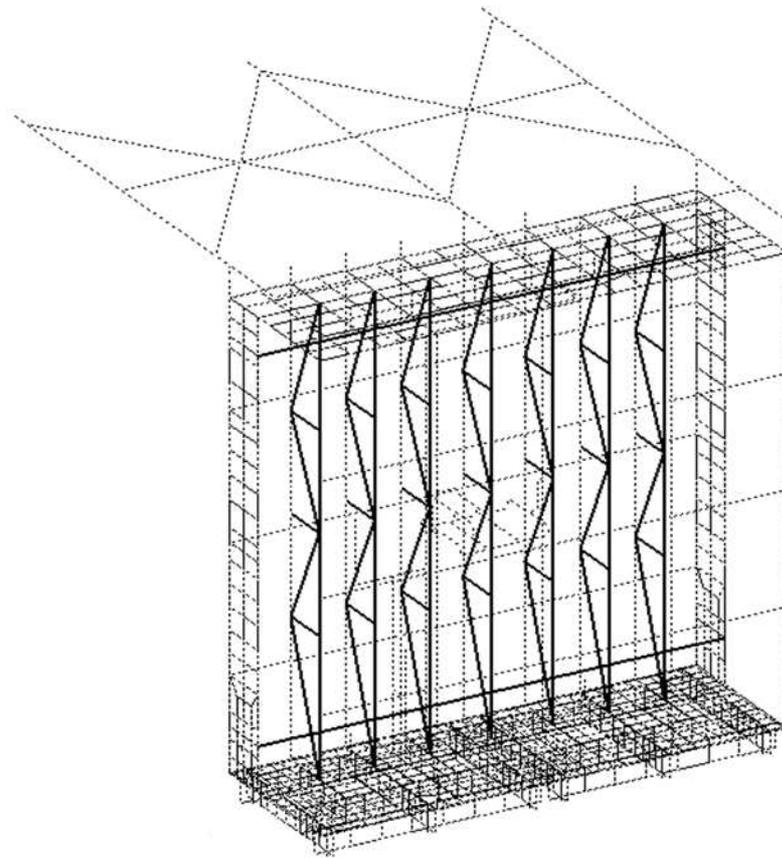
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (ペレット一時保管棚-1)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

N. ペレット一時保管棚-2
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第N.-1図 概要図(N)



第N.-2図 解析モデル図(N)

第N.-1表 (1/2) モデル諸元(N)

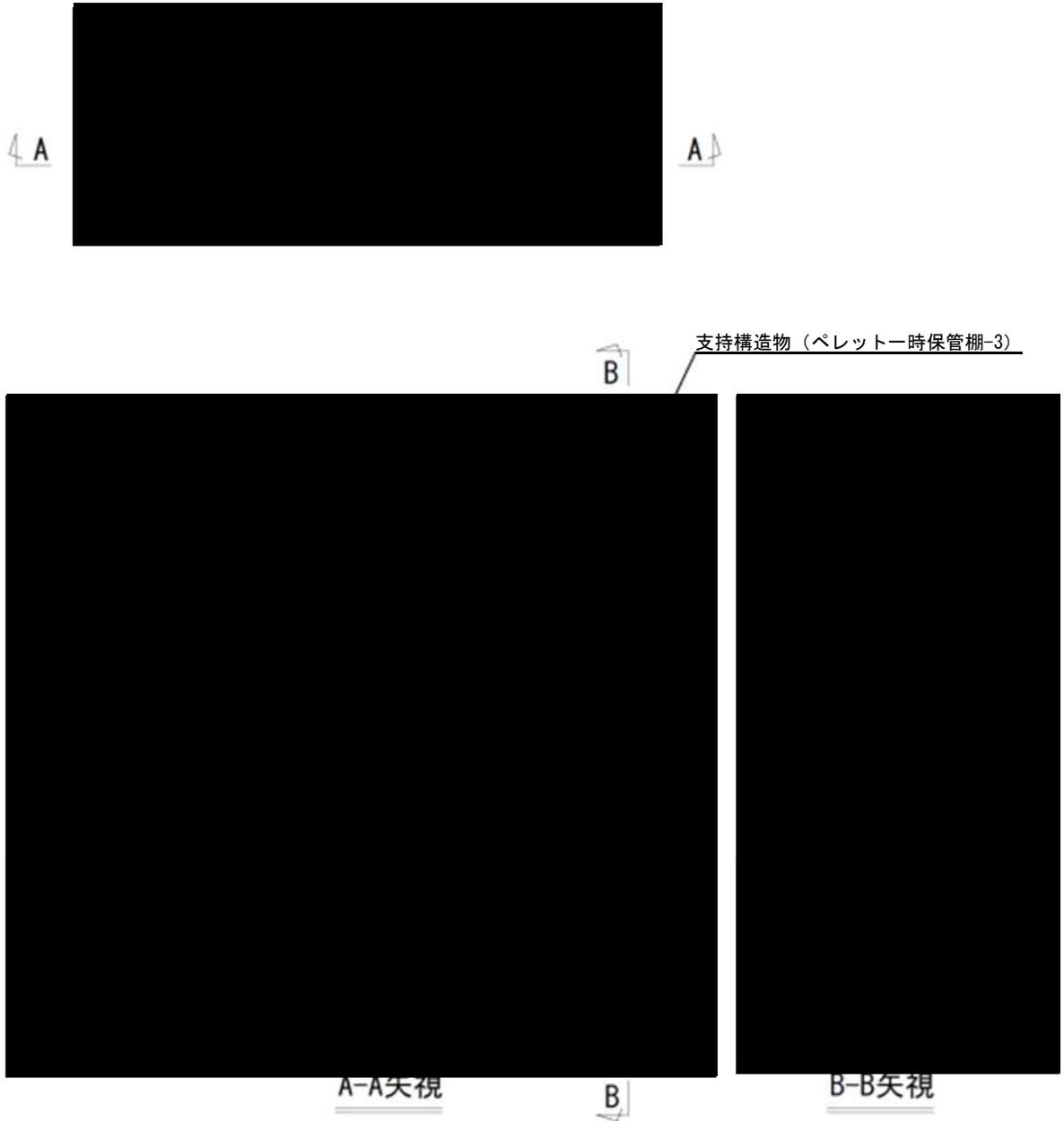
要素数	2285
節点数	1598
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第N.-1表 (2/2) モデル諸元(N)

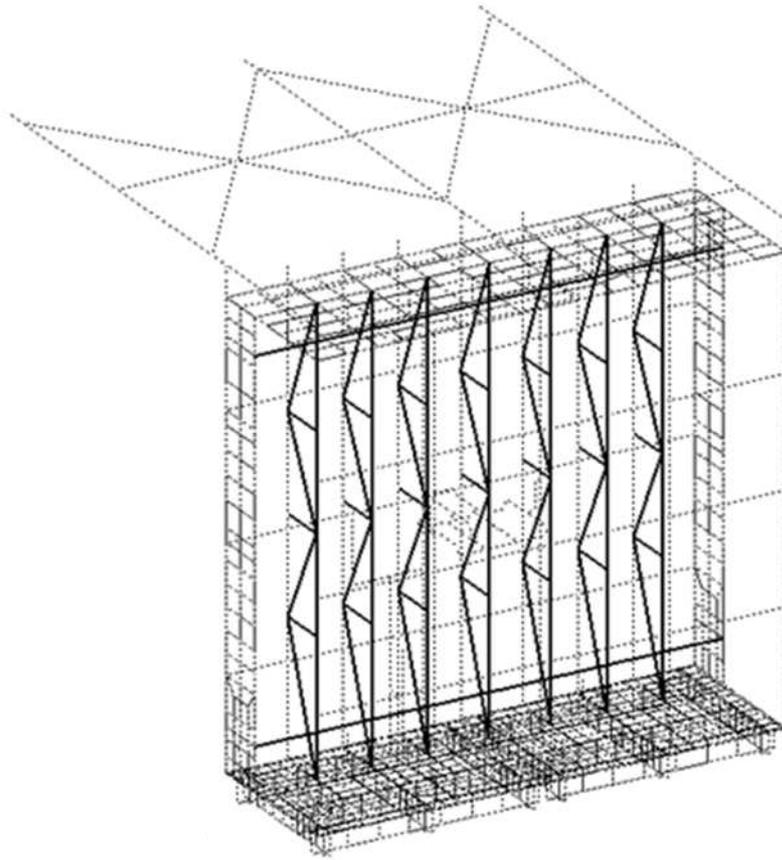
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (ペレット一時保管棚-2)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

0. ペレット一時保管棚-3
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第0.-1図 概要図(0)



第0.-2図 解析モデル図(0)

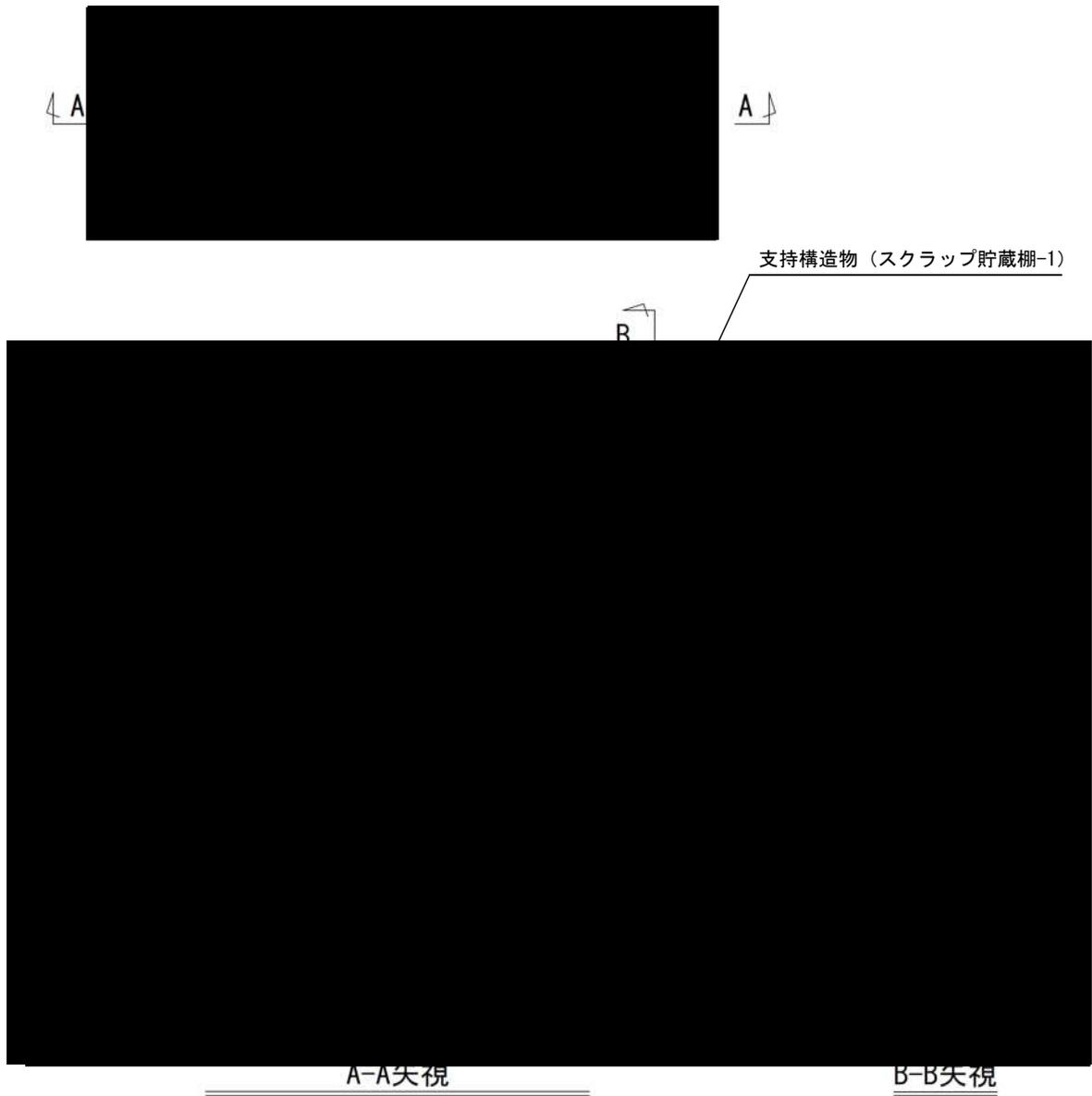
第0.-1表 (1/2) モデル諸元(0)

要素数	2288
節点数	1598
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

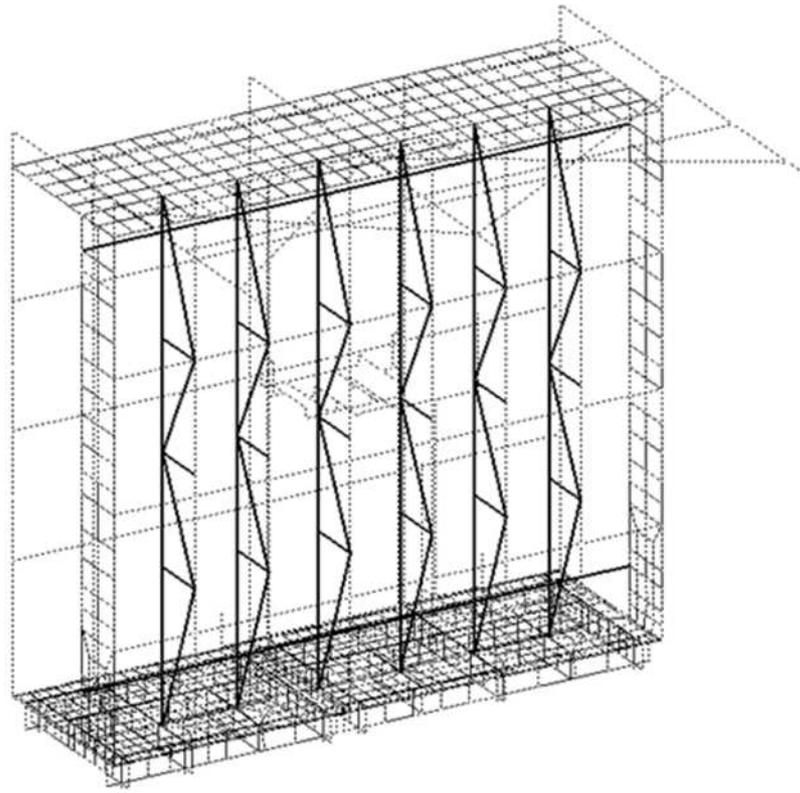
第0.-1表 (2/2) モデル諸元(0)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (ペレット一時保管棚-3)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

P. スクラップ貯蔵棚-1
概要図及び解析モデル図



第P.-1図 概要図(P)



第P.-2図 解析モデル図(P)

第P.-1表 (1/2) モデル諸元(P)

要素数	2428
節点数	1702
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第P.-1表 (2/2) モデル諸元(P)

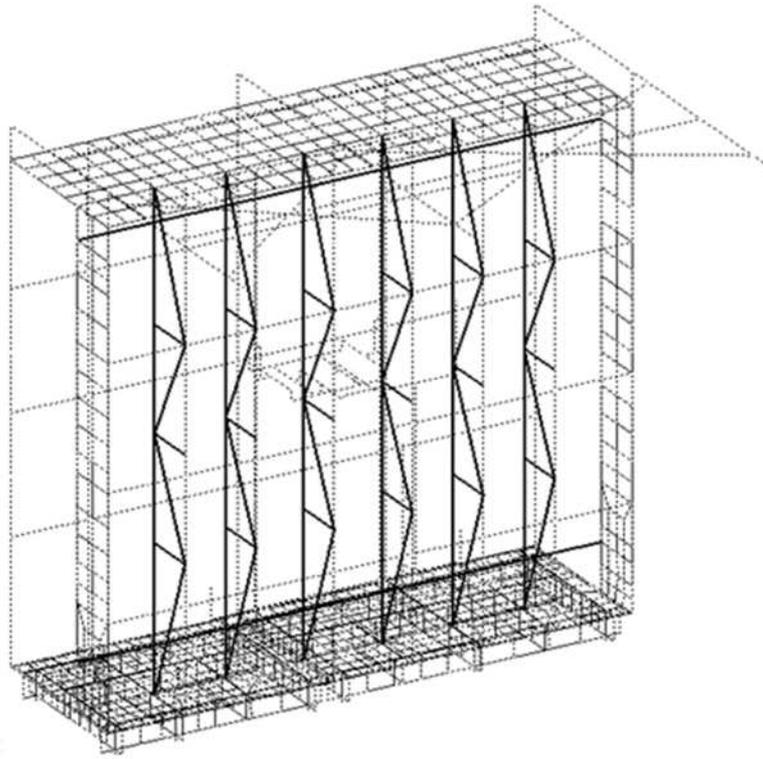
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-1)	SUS304TP	2.132×10^3	3.040×10^6	3.040×10^6
	SUS304	389.2	9.060×10^4	9.060×10^4
	SUS304TP	1.563×10^3	1.200×10^6	1.200×10^6
	SUS304TP	4.264×10^3	6.080×10^6	6.080×10^6

Q. スクラップ貯蔵棚-2
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第Q.-1図 概要図(Q)



第Q.-2図 解析モデル図(Q)

第Q.-1表 (1/2) モデル諸元(Q)

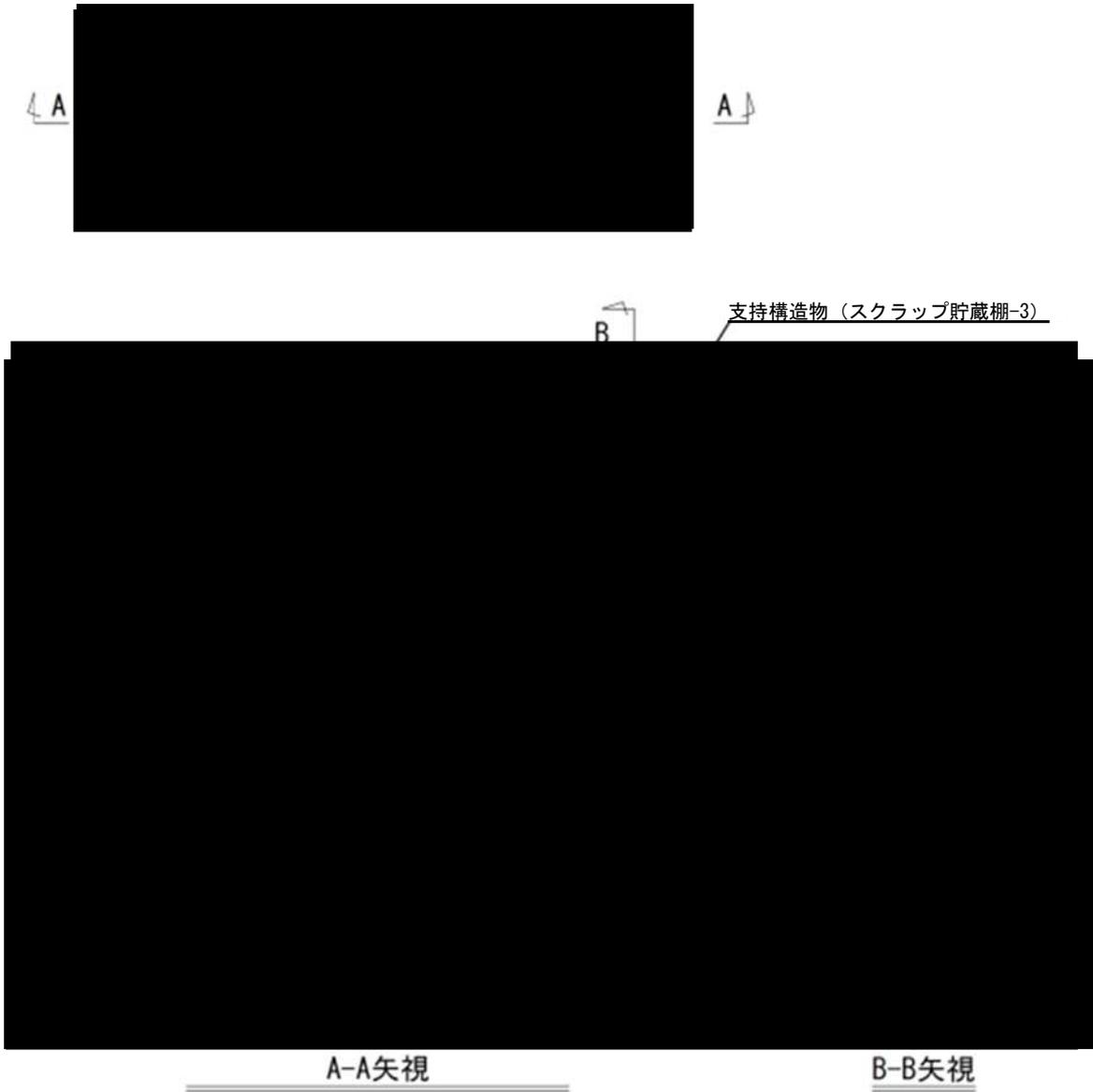
要素数	2424
節点数	1702
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第Q.-1表 (2/2) モデル諸元(Q)

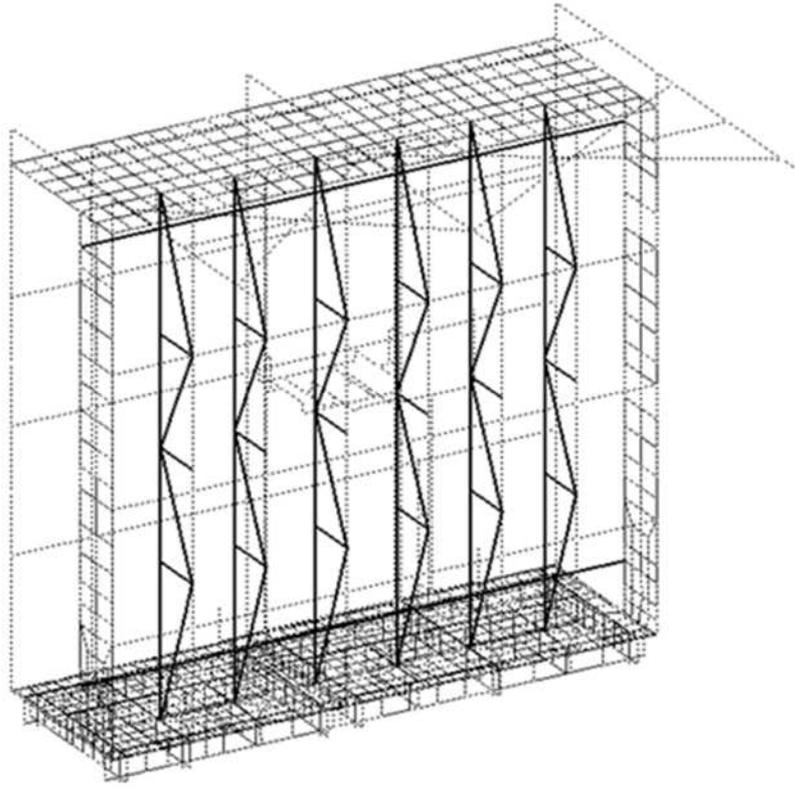
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-2)	SUS304TP	2.132×10^3	3.040×10^6	3.040×10^6
	SUS304	389.2	9.060×10^4	9.060×10^4
	SUS304TP	1.563×10^3	1.200×10^6	1.200×10^6
	SUS304TP	4.264×10^3	6.080×10^6	6.080×10^6

R. スクラップ貯蔵棚-3
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第R.-1図 概要図(R)



第R.-2図 解析モデル図(R)

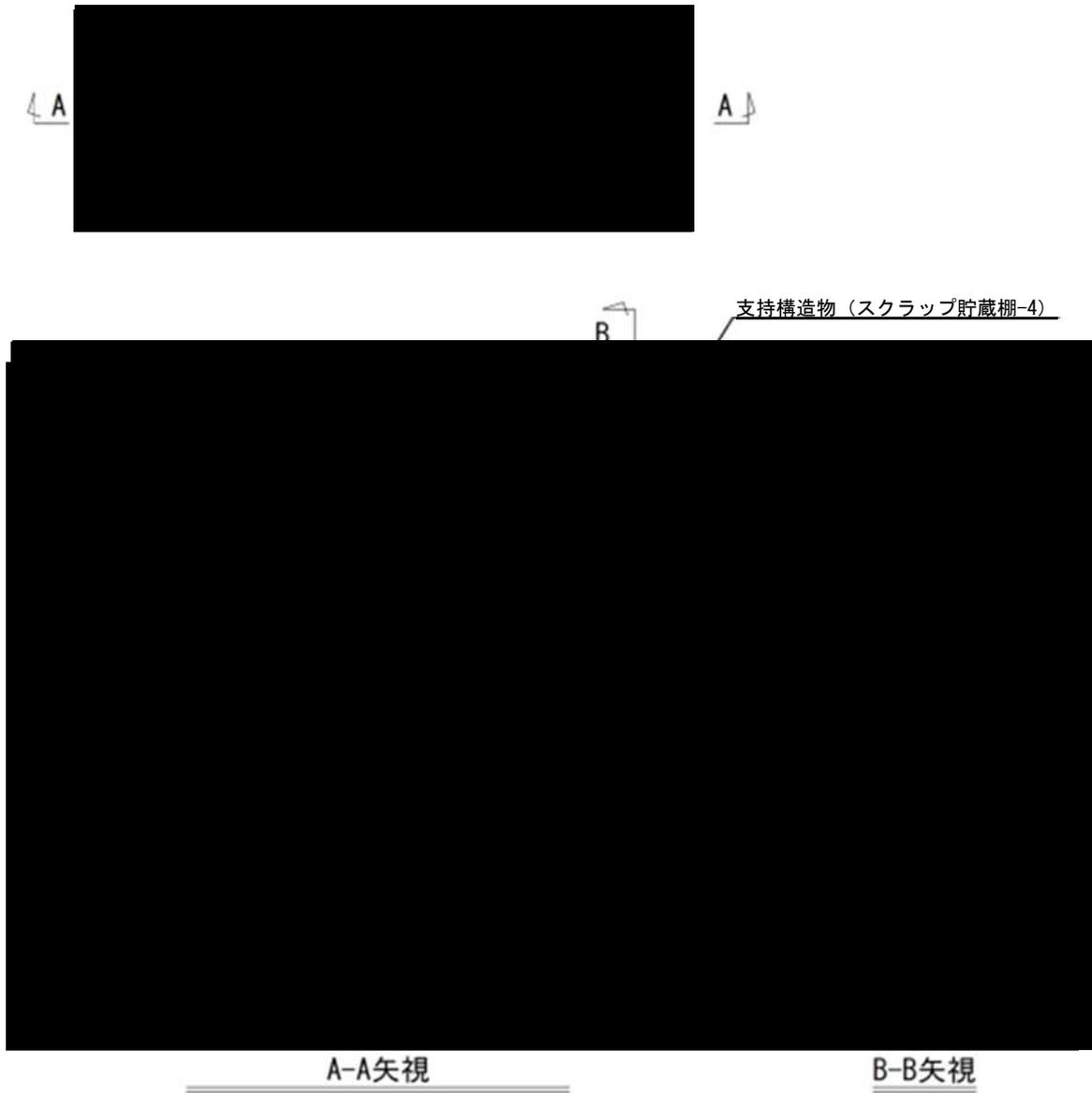
第R.-1表 (1/2) モデル諸元(R)

要素数	2424
節点数	1702
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

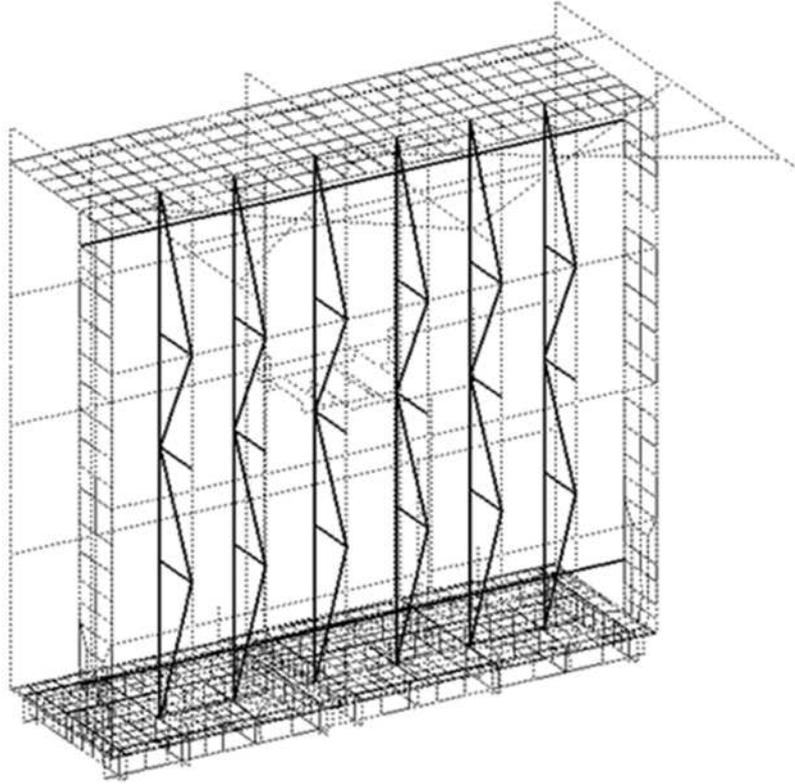
第R.-1表 (2/2) モデル諸元(R)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-3)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

S. スクラップ貯蔵棚-4
概要図及び解析モデル図



第S.-1図 概要図(S)



第S.-2図 解析モデル図(S)

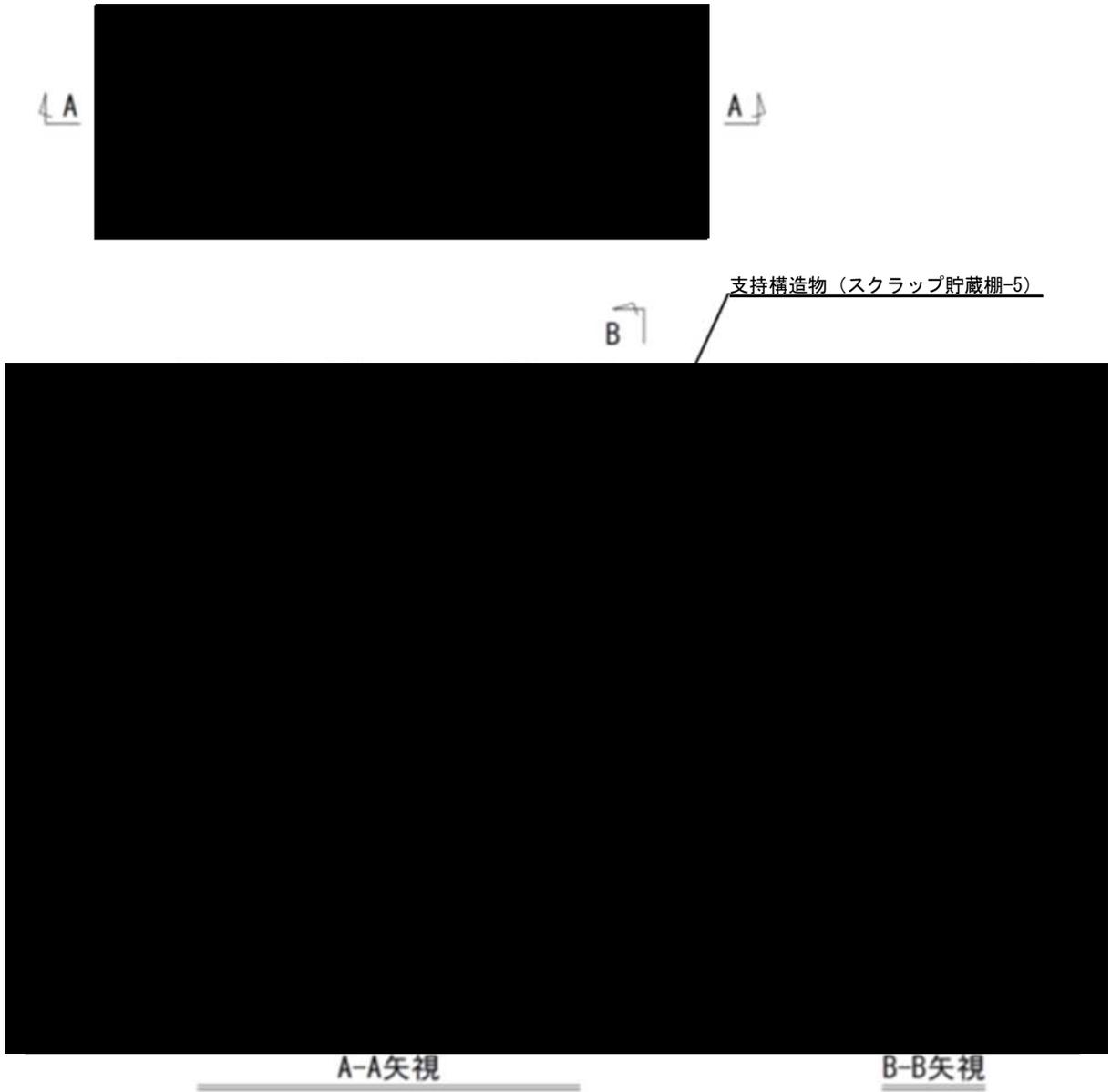
第S.-1表 (1/2) モデル諸元(S)

要素数	2424
節点数	1702
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

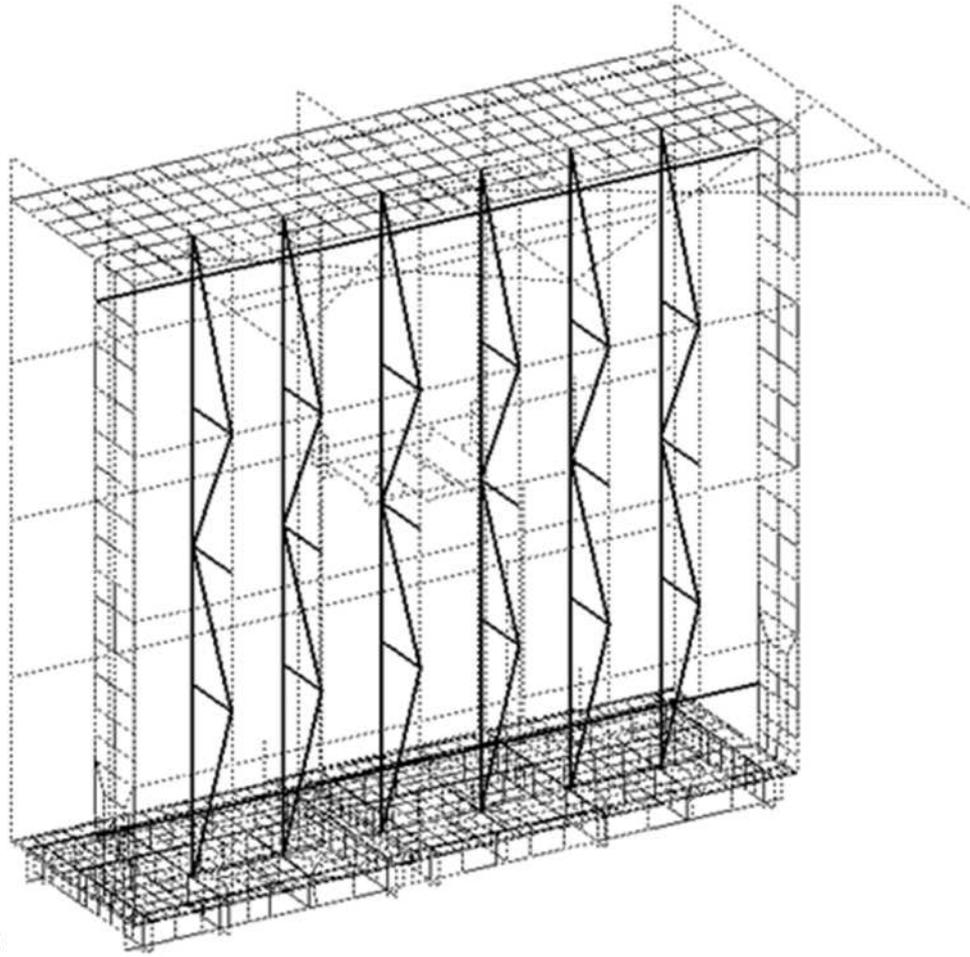
第S.-1表 (2/2) モデル諸元(S)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-4)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

1. スクラップ貯蔵棚-5
概要図及び解析モデル図



第T.-1図 概要図(T)



第T.-2図 解析モデル図(T)

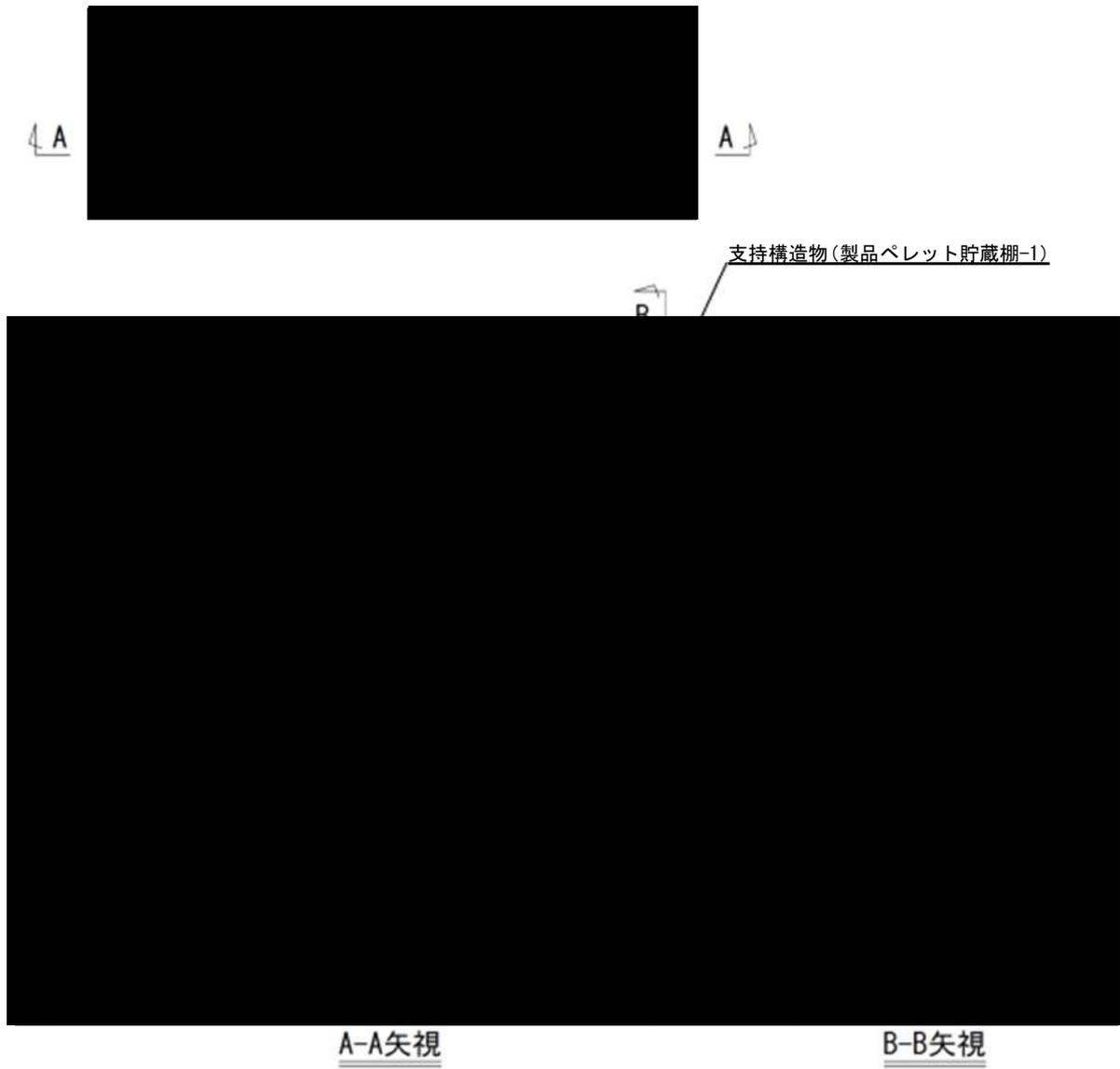
第T.-1表 (1/2) モデル諸元(T)

要素数	2428
節点数	1702
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

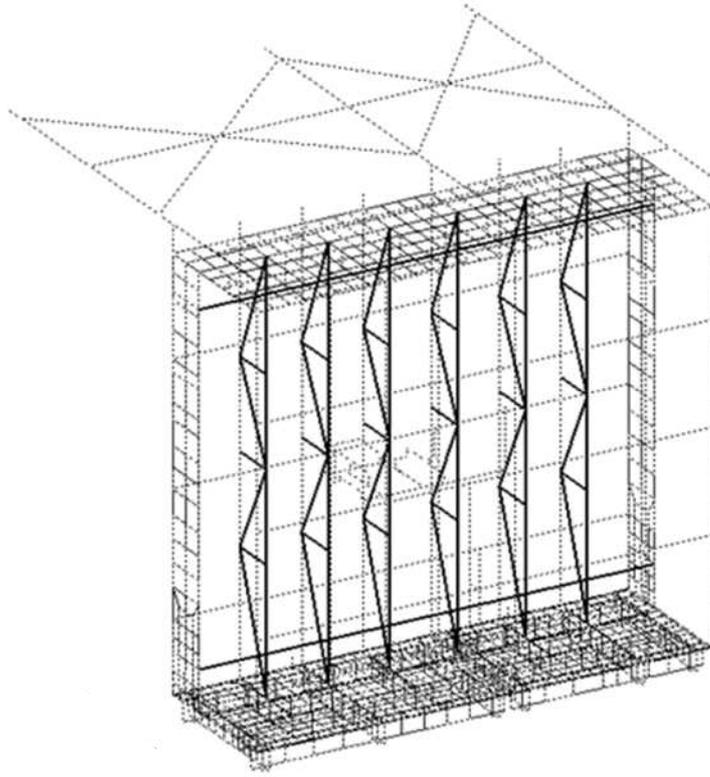
第T.-1表 (2/2) モデル諸元(T)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-5)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

U. 製品ペレット貯蔵棚-1
概要図及び解析モデル図



第U.-1図 概要図(U)



第U.-2図 解析モデル図(U)

第U.-1表 (1/2) モデル諸元(U)

要素数	2403
節点数	1712
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

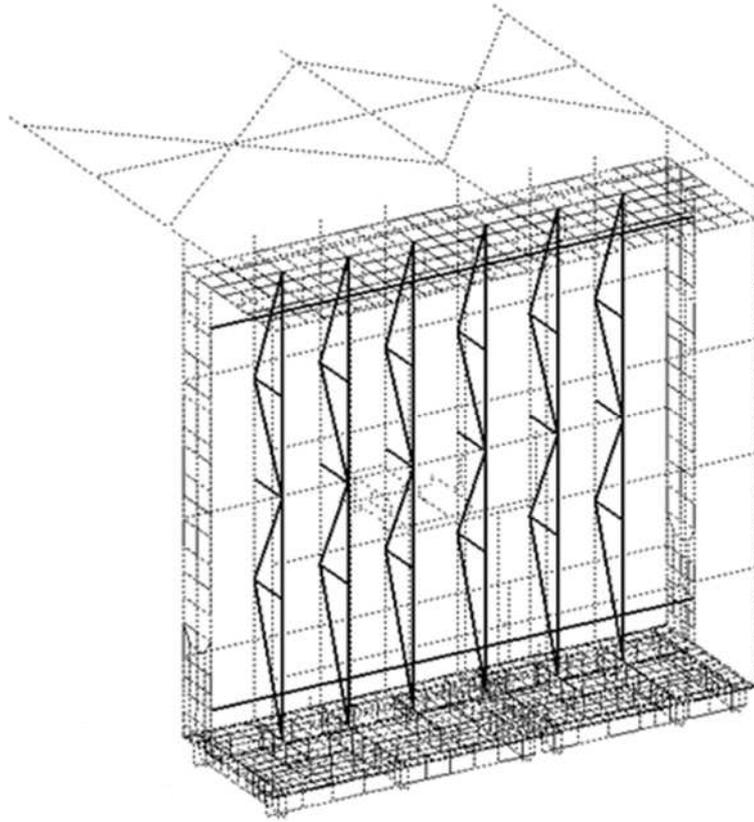
第U.-1表 (2/2) モデル諸元(U)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-1)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

V. 製品ペレット貯蔵棚-2
概要図及び解析モデル図



第V.-1図 概要図(V)



第V.-2図 解析モデル図(V)

第V.-1表 (1/2) モデル諸元(V)

要素数	2399
節点数	1712
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第V.-1表 (2/2) モデル諸元(V)

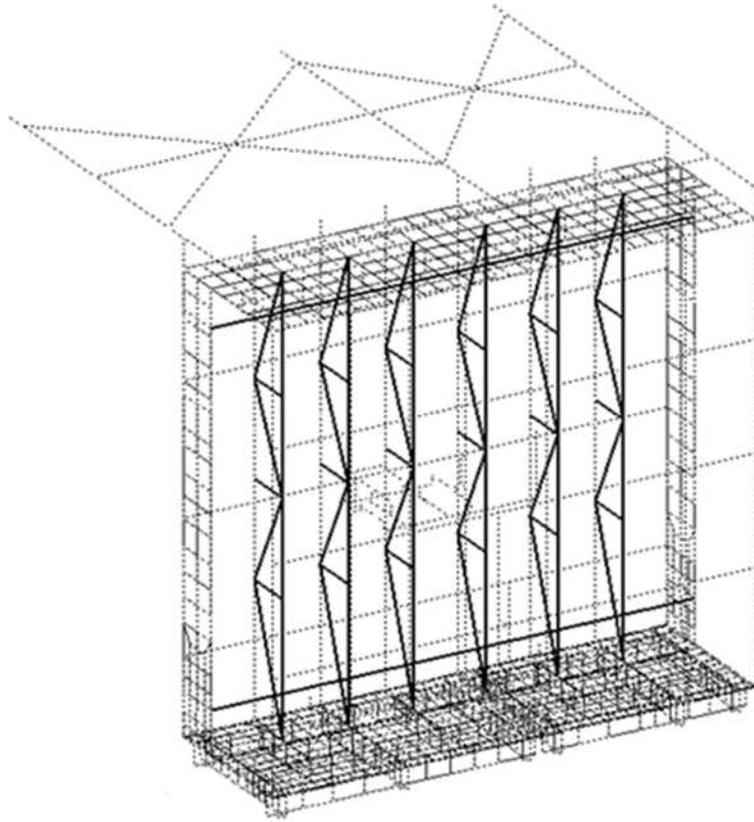
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-2)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

W. 製品ペレット貯蔵棚-3
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第W.-1図 概要図(W)



第W.-2図 解析モデル図(W)

第W.-1表 (1/2) モデル諸元(W)

要素数	2399
節点数	1712
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第W.-1表 (2/2) モデル諸元(W)

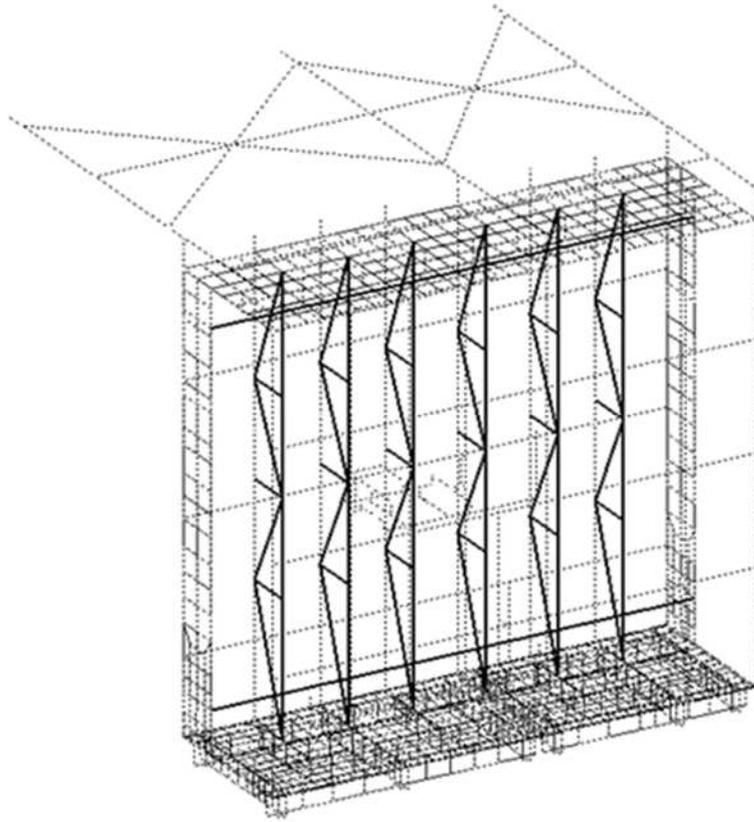
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-3)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

X. 製品ペレット貯蔵棚-4
概要図及び解析モデル図

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書



第X.-1図 概要図(X)



第X.-2図 解析モデル図(X)

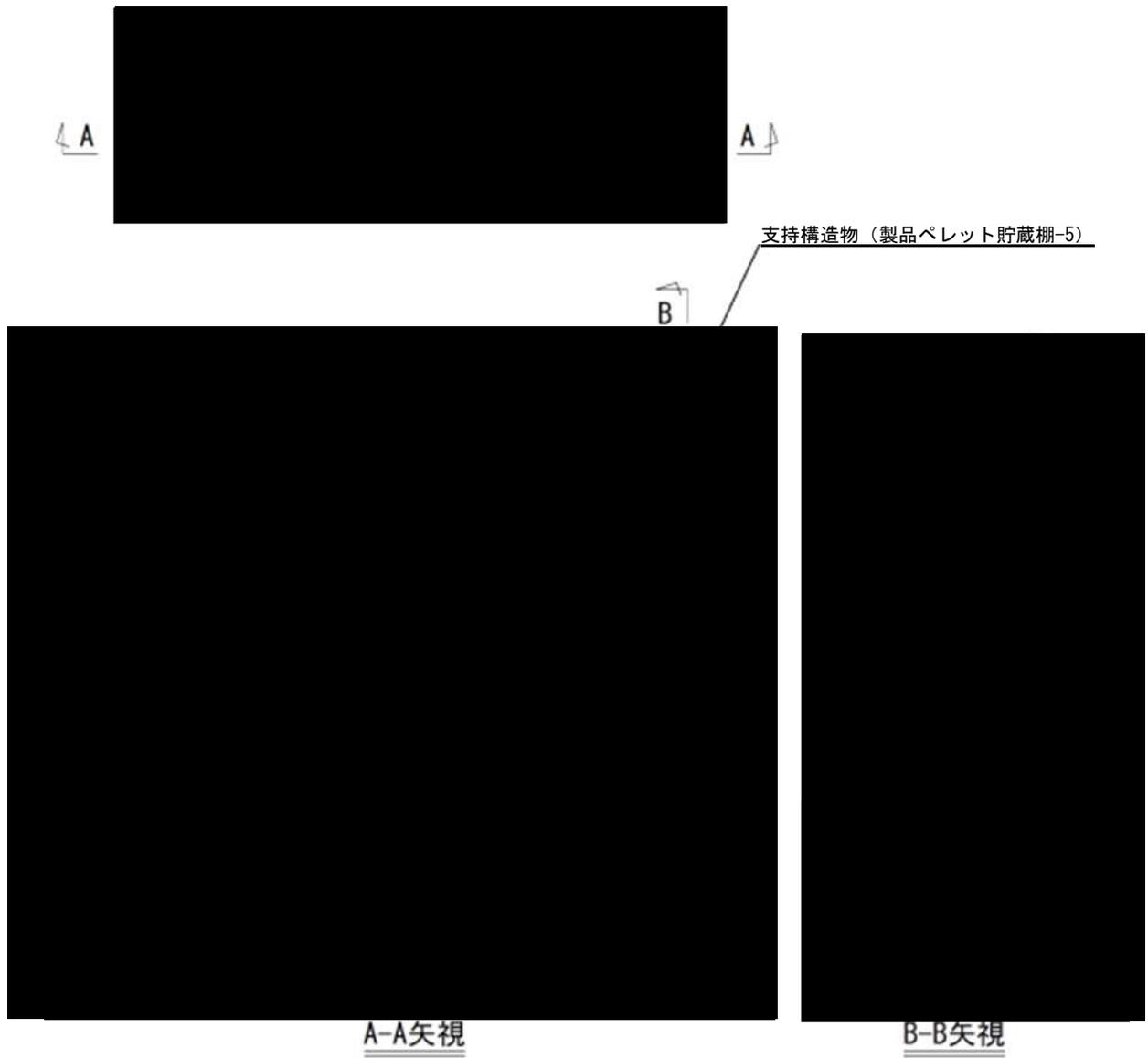
第X.-1表 (1/2) モデル諸元(X)

要素数	2399
節点数	1712
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

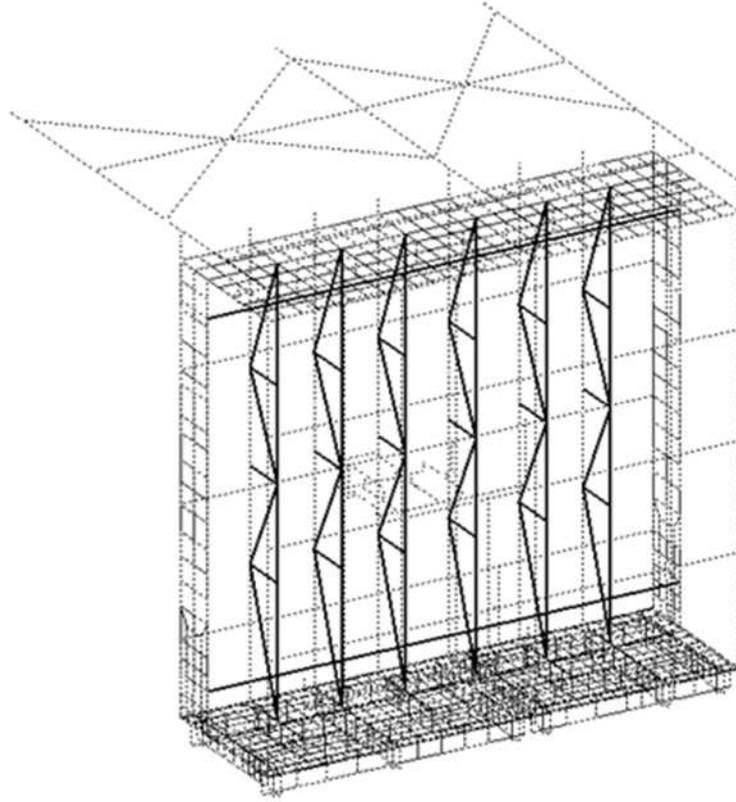
第X.-1表 (2/2) モデル諸元(X)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-4)	SUS304TP	2.132×10 ³	3.040×10 ⁶	3.040×10 ⁶
	SUS304	389.2	9.060×10 ⁴	9.060×10 ⁴
	SUS304TP	1.563×10 ³	1.200×10 ⁶	1.200×10 ⁶
	SUS304TP	4.264×10 ³	6.080×10 ⁶	6.080×10 ⁶

Y. 製品ペレット貯蔵棚-5
概要図及び解析モデル図



第Y.-1図 概要図(Y)



第Y.-2図 解析モデル図(Y)

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書

第Y.-1表 (1/2) モデル諸元(Y)

要素数	2403
節点数	1712
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第Y.-1表 (2/2) モデル諸元(Y)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-5)	SUS304TP	2.132×10^3	3.040×10^6	3.040×10^6
	SUS304	389.2	9.060×10^4	9.060×10^4
	SUS304TP	1.563×10^3	1.200×10^6	1.200×10^6
	SUS304TP	4.264×10^3	6.080×10^6	6.080×10^6

I. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設
構造強度評価
(設計条件, 機器要目及び結論)

I.1 設計条件

記号	機器名称	耐震設計上の 重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有 周期 (s)	減衰 定数 (%)	基準地震動 S _s		最高使用 温度 (°C)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(A)	粉末一時保管装置 1	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(B)	粉末一時保管装置 2	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(C)	粉末一時保管装置 3	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(D)	粉末一時保管装置 4	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(E)	粉末一時保管装置 5	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：下記に示す。

*3：基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

記号	機器名称	耐震設計上の 重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有 周期 (s)	減衰 定数 (%)	基準地震動 S s		最高使用 温度 (℃)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(F)	粉末一時保管装置 6	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(G)	粉末一時保管装置 7	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(H)	粉末一時保管装置 8	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(I)	粉末一時保管装置 9	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(J)	粉末一時保管装置 10	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：下記に示す。

*3：基準地震動 S s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

記号	機器名称	耐震設計上の 重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有 周期 (s)	減衰 定数 (%)	基準地震動 S _s		最高使用 温度 (℃)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(K)	粉末一時保管装置 11	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(L)	粉末一時保管装置 12	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(M)	ペレット一時保管棚-1	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(N)	ペレット一時保管棚-2	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(O)	ペレット一時保管棚-3	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：下記に示す。

*3：基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

記号	機器名称	耐震設計上の 重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有 周期 (s)	減衰 定数 (%)	基準地震動 S _s		最高使用 温度 (℃)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(P)	スクラップ貯蔵棚-1	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(Q)	スクラップ貯蔵棚-2	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(R)	スクラップ貯蔵棚-3	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(S)	スクラップ貯蔵棚-4	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(T)	スクラップ貯蔵棚-5	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。
 *2：下記に示す。
 *3：基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

記号	機器名称	耐震設計上の 重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有 周期 (s)	減衰 定数 (%)	基準地震動 S s		最高使用 温度 (℃)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(U)	製品ペレット貯蔵棚-1	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(V)	製品ペレット貯蔵棚-2	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(W)	製品ペレット貯蔵棚-3	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(X)	製品ペレット貯蔵棚-4	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60
(Y)	製品ペレット貯蔵棚-5	B	T. M. S. L. 35.00～ 43.20	解析に よる	*2	1.0	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。

*2：下記に示す。

*3：基準地震動 S s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

固有周期(A)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.081
2	0.089	7	0.079
3	0.086	8	0.077
4	0.082	21	0.053
5	0.081	22	0.050

固有周期(B)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.081
2	0.089	7	0.079
3	0.086	8	0.077
4	0.082	21	0.053
5	0.081	22	0.050

固有周期(C)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.081
2	0.089	7	0.079
3	0.086	8	0.077
4	0.082	21	0.053
5	0.081	22	0.050

固有周期(D)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.080
2	0.093	7	0.079
3	0.090	8	0.075
4	0.085	25	0.051
5	0.081	26	0.050

固有周期(E)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.080
2	0.093	7	0.079
3	0.090	8	0.075
4	0.085	25	0.051
5	0.081	26	0.050

固有周期(F)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.080
2	0.093	7	0.079
3	0.090	8	0.075
4	0.085	25	0.051
5	0.081	26	0.050

固有周期(G)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.081
2	0.091	7	0.078
3	0.089	8	0.075
4	0.083	22	0.050
5	0.082	23	0.050

固有周期(H)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.081
2	0.091	7	0.078
3	0.089	8	0.075
4	0.083	22	0.050
5	0.082	23	0.050

固有周期(I)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.081
2	0.091	7	0.078
3	0.089	8	0.075
4	0.083	22	0.050
5	0.082	23	0.050

固有周期(J)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.080
2	0.090	7	0.078
3	0.087	8	0.076
4	0.084	25	0.051
5	0.083	26	0.050

固有周期(K)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.080
2	0.090	7	0.078
3	0.087	8	0.076
4	0.084	25	0.051
5	0.083	26	0.050

固有周期(L)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.080
2	0.090	7	0.078
3	0.087	8	0.076
4	0.084	25	0.051
5	0.083	26	0.050

固有周期(M)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.109	6	0.062
2	0.101	7	0.054
3	0.076	8	0.052
4	0.073	9	0.049
5	0.063		

固有周期(N)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.109	6	0.062
2	0.101	7	0.054
3	0.076	8	0.052
4	0.072	9	0.049
5	0.063		

固有周期(O)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.109	6	0.062
2	0.101	7	0.054
3	0.076	8	0.052
4	0.073	9	0.049
5	0.063		

固有周期(P)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(Q)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(R)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(S)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(T)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(U)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(V)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(W)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(X)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

固有周期(Y)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.108	6	0.054
2	0.091	7	0.052
3	0.073	8	0.051
4	0.064	9	0.050
5	0.062	10	0.046

I.2 機器要目 (その1)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置1)					取付ボルト					支持構造物 (粉末一時保管装置2)					取付ボルト					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	
(A)	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(G)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(H)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(I)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(J)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(K)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(N)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Q)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(S)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(T)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(U)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(V)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(W)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(X)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Y)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目 (その2)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置3)					取付ボルト					支持構造物 (粉末一時保管装置4)					取付ボルト					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(G)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(H)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(I)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(J)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(K)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(N)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Q)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(S)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(T)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(U)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(V)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(W)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(X)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Y)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目 (その3)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置5)					取付ボルト					支持構造物 (粉末一時保管装置6)					取付ボルト					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(E)	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	-
(G)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(I)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(K)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(M)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(N)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(O)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(Q)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(T)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(U)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(W)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(X)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(Y)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

I.2 機器要目 (その4)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置7)					取付ボルト					支持構造物 (粉末一時保管装置8)					取付ボルト					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(G)	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(H)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—
(I)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(J)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(K)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(N)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Q)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(S)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(T)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(U)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(V)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(W)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(X)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Y)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目 (その5)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置9)					取付ボルト					支持構造物 (粉末一時保管装置10)					取付ボルト					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(G)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(H)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(I)	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(J)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—
(K)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(N)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Q)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(S)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(T)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(U)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(V)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(W)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(X)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Y)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目 (その6)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置11)					取付ボルト					支持構造物 (粉末一時保管装置12)					取付ボルト					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _b	n _f	n _s	L	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(G)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(H)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(I)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(J)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(K)	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.353×10 ³	1.600×10 ³	1.600×10 ⁵	2.01×10 ⁵	272	452.3 (M24)	2	2	150	249	—
(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(N)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Q)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(S)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(T)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(U)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(V)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(W)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(X)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Y)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目 (その7)

記号	支持構造物 (ペレット一時保管棚-1)					支持構造物 (ペレット一時保管棚-2)					支持構造物 (ペレット一時保管棚-3)					支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-1)					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(G)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(H)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(I)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(J)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(K)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(M)	1.563×10 ³	612.0	3.200×10 ⁴	1.92×10 ⁵	184	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(N)	—	—	—	—	—	1.563×10 ³	612.0	3.200×10 ⁴	1.92×10 ⁵	184	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.563×10 ³	612.0	3.200×10 ⁴	1.92×10 ⁵	184	—	—	—	—	—	—
(P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—
(Q)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(S)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(T)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(U)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(V)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(W)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(X)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Y)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目 (その8)

記号	支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-2)					支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-3)					支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-4)					支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-5)					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(G)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(H)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(I)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(J)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(K)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(N)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Q)	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(R)	—	—	—	—	—	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(S)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—	—	—	—	—	—
(T)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—
(U)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(V)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(W)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(X)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Y)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目 (その9)

記号	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-1)					支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-2)					支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-3)					支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-4)					支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-5)					
	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	A _s	A _{s s}	Z _s	E	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(G)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(H)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(I)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(J)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(K)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(N)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(Q)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(S)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(T)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(U)	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(V)	—	—	—	—	—	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(W)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(X)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205	—	—	—	—	—	—
(Y)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	389.2	189.2	2.495×10 ³	1.92×10 ⁵	205

I.3 結論 (その1)

(単位:MPa)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置1)										取付ボルト						支持構造物 (粉末一時保管装置2)										取付ボルト							
	材料	S s									材料	S s					材料	S s									材料	S s						
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張		せん断				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張		せん断				
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}		許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値		許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$
(A)	SS400	3.1.2-1	7	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.09	1	SS400	3.1.2-2	9	186	3.1.2-3	14	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SS400	3.1.2-1	7	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.09	1	SS400	3.1.2-2	9	186	3.1.2-3	14	143
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(G)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(I)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(K)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(M)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(N)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(O)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(Q)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(T)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(U)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(W)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(X)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(Y)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論 (その2)

(単位: MPa)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置3)										取付ボルト						支持構造物 (粉末一時保管装置4)										取付ボルト									
	材料	S s									材料	S s					材料	S s									材料	S s								
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張			せん断			せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張			せん断					
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}		許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出値		許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(C)	SS400	3.1.2-1	7	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.09	1	SS400	3.1.2-2	9	186	3.1.2-3	14	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SS400	3.1.2-1	9	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.11	1	SS400	3.1.2-2	19	186	3.1.2-3	15	143		
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(G)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(I)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(K)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(M)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(N)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(O)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(Q)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(T)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(U)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(W)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(X)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(Y)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論 (その3)

(単位:MPa)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置5)										取付ボルト						支持構造物 (粉末一時保管装置6)										取付ボルト											
	材料	S s									材料	S s					材料	S s									材料	S s										
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張		せん断				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張		せん断								
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_{ts}$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}		許容応力 $1.5f_{ts}$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_{ts}$	計算式	算出値		許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}$	計算式	算出値	許容値	
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(E)	SS400	3.1.2-1	9	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.11	1	SS400	3.1.2-2	19	186	3.1.2-3	15	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SS400	3.1.2-1	9	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.11	1	SS400	3.1.2-2	19	186	3.1.2-3	15	143	-	-	-	
(G)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(I)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(K)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(M)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(N)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(O)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(Q)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(T)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(U)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(W)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(X)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(Y)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論 (その5)

(単位: MPa)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置9)										取付ボルト						支持構造物 (粉末一時保管装置10)										取付ボルト														
	材料	S s									材料	S s						材料	S s									材料	S s												
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張			せん断				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張			せん断									
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$		計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値				
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(G)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(I)	SS400	3.1.2-1	6	157	3.1.2-1	0.12	1	3.1.2-1	0.10	1	SS400	3.1.2-2	10	186	3.1.2-3	12	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SS400	3.1.2-1	7	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.06	1	SS400	3.1.2-2	2	186	3.1.2-3	13	143	-	-	-	-	-	-	-
(K)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(M)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(N)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(O)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(Q)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(T)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(U)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(W)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(X)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(Y)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論 (その6)

(単位: MPa)

記号	支持構造物 (粉末一時保管装置11)										取付ボルト						支持構造物 (粉末一時保管装置12)										取付ボルト							
	材料	S s									材料	S s					材料	S s									材料	S s						
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張		せん断				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張		せん断				
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5 f_{ts}^*$	計算式	算出応力 σ_{bt}		許容応力 $1.5 f_{ts}^*$	計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_{ts}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値		許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5 f_{ts}^*$
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(G)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(I)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(K)	SS400	3.1.2-1	7	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.06	1	SS400	3.1.2-2	2	186	3.1.2-3	13	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SS400	3.1.2-1	7	157	3.1.2-1	0.14	1	3.1.2-1	0.06	1	SS400	3.1.2-2	2	186	3.1.2-3	13	143
(M)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(N)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(O)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(Q)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(T)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(U)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(W)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(X)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(Y)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論 (その7)

(単位: MPa)

記号	支持構造物 (ベレット-時保管棚-1)									支持構造物 (ベレット-時保管棚-2)									支持構造物 (ベレット-時保管棚-3)									支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-1)												
	材料	S s									材料	S s									材料	S s									材料	S s								
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_{\tau}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_{\tau}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_{\tau}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(G)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(I)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(K)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(M)	SUS304TP	3.1.2-1	16	106	3.1.2-1	0.42	1	3.1.2-1	0.42	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(N)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SUS304TP	3.1.2-1	16	106	3.1.2-1	0.42	1	3.1.2-1	0.42	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(O)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SUS304TP	3.1.2-1	16	106	3.1.2-1	0.42	1	3.1.2-1	0.42	1	-	-	-	-	-	-					
(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SUS304	3.1.2-1	16	106	3.1.2-1	0.64	1	3.1.2-1	0.50	1		
(Q)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
(S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(T)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(U)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(W)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(X)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(Y)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論 (その8)

(単位:MPa)

記号	支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-2)									支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-3)									支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-4)									支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-5)												
	材料	S s									材料	S s									材料	S s									材料	S s								
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値			
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(G)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(I)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(K)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(L)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(M)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(N)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(O)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(P)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(Q)	SUS304	3.1.2-1	16	106	3.1.2-1	0.63	1	3.1.2-1	0.45	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SUS304	3.1.2-1	16	106	3.1.2-1	0.63	1	3.1.2-1	0.45	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
(S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SUS304	3.1.2-1	16	106	3.1.2-1	0.63	1	3.1.2-1	0.45	1	-	-	-	-	-						
(T)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SUS304	3.1.2-1	16	106	3.1.2-1	0.63	1	3.1.2-1	0.50	1					
(U)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(W)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
(X)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
(Y)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅱ. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設

臨界安全性評価

(設計条件, 機器要目及び結論)

Ⅱ.1 設計条件

「設計条件」はⅠ. 項と同一の条件を用いる。

Ⅱ.2 機器要目

「機器要目」はⅠ. 項と同一の条件を用いる。

Ⅱ.3 結論

記号	変位量評価				
	支持構造物 (ペレット一時保管棚-1)				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量 (mm)	
発生変位				許容変位	
(M)	SUS304TP	解析による	行方向	6.0	95以下
			段方向	2.8	57以下

記号	変位量評価				
	支持構造物 (ペレット一時保管棚-2)				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量 (mm)	
発生変位				許容変位	
(N)	SUS304TP	解析による	行方向	5.8	95以下
			段方向	2.8	57以下

記号	変位量評価				
	支持構造物 (ペレット一時保管棚-3)				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量 (mm)	
発生変位				許容変位	
(O)	SUS304TP	解析による	行方向	6.0	95以下
			段方向	2.8	57以下

記号	変位量評価				
	支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-1)				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量 (mm)	
発生変位				許容変位	
(P)	SUS304TP	解析による	列方向	6.2	85以下
			段方向	4.1	45以下

発生変位量が許容変位量以下であるので臨界安全性が確保される。

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書

記号	変位量評価			
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-1）及び 支持構造物（製品ペレット貯蔵棚-1）			
	材料	Ss		
		計算式	変位量（mm）	
発生変位			許容変位	
(P)(U)	SUS304TP	解析による	8.4	660以下

記号	変位量評価				
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-2）				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(Q)	SUS304TP	解析による	列方向	5.9	85以下
			段方向	4.1	45以下

記号	変位量評価			
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-2）及び 支持構造物（製品ペレット貯蔵棚-2）			
	材料	Ss		
		計算式	変位量（mm）	
発生変位			許容変位	
(Q)(V)	SUS304TP	解析による	8.4	660以下

記号	変位量評価				
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-3）				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(R)	SUS304TP	解析による	列方向	5.9	85以下
			段方向	4.1	45以下

発生変位量が許容変位量以下であるので臨界安全性が確保される。

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書

記号	変位量評価			
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-3）及び 支持構造物（製品ペレット貯蔵棚-3）			
	材料	Ss		
		計算式	変位量（mm）	
発生変位			許容変位	
(R)(W)	SUS304TP	解析による	8.4	660以下

記号	変位量評価				
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-4）				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(S)	SUS304TP	解析による	列方向	5.9	85以下
			段方向	4.1	45以下

記号	変位量評価			
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-4）及び 支持構造物（製品ペレット貯蔵棚-4）			
	材料	Ss		
		計算式	変位量（mm）	
発生変位			許容変位	
(S)(X)	SUS304TP	解析による	8.4	660以下

記号	変位量評価				
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-5）				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(T)	SUS304TP	解析による	列方向	6.1	85以下
			段方向	4.1	45以下

発生変位量が許容変位量以下であるので臨界安全性が確保される。

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
ラック/ピット/棚の耐震計算書

記号	変位量評価			
	支持構造物（スクラップ貯蔵棚-5）及び 支持構造物（製品ベレット貯蔵棚-5）			
	材料	Ss		
		計算式	変位量（mm）	
発生変位			許容変位	
(T)(Y)	SUS304TP	解析による	8.5	660以下

記号	変位量評価				
	支持構造物（製品ベレット貯蔵棚-1）				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(U)	SUS304TP	解析による	列方向	6.6	85以下
			段方向	3.5	34以下

記号	変位量評価				
	支持構造物（製品ベレット貯蔵棚-2）				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(V)	SUS304TP	解析による	列方向	6.5	85以下
			段方向	3.5	34以下

記号	変位量評価				
	支持構造物（製品ベレット貯蔵棚-3）				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(W)	SUS304TP	解析による	列方向	6.5	85以下
			段方向	3.5	34以下

記号	変位量評価				
	支持構造物（製品ベレット貯蔵棚-4）				
	材料	Ss			
		計算式	方向	変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(X)	SUS304TP	解析による	列方向	6.5	85以下
			段方向	3.5	34以下

発生変位量が許容変位量以下であるので臨界安全性が確保される。

Ⅲ-2-2-2-2-2-2
 ラック/ピット/棚の耐震計算書

記号	変位量評価				
	支持構造物（製品ペレット貯蔵棚・5）				
	材料	計算式	方向	Ss	
				変位量（mm）	
発生変位				許容変位	
(Y)	SUS304TP	解析による	列方向	6.7	85以下
			段方向	3.5	34以下

発生変位量が許容変位量以下であるので臨界安全性が確保される。

Ⅲ－2－2－2－2－2－2－3
搬送装置の耐震計算書

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設	2
2.1 燃料加工建屋	2

1. 概要

本計算書は、「Ⅲ-1-3-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震計算書作成の基本方針」に基づき、安全機能を有する施設のうち耐震重要施設が下位クラス施設の波及的影響によってその安全機能に必要な機能を損なわないことについて、波及的影響の評価を実施するものであり、搬送装置の耐震評価について、算出した結果を示すものである。

粉末一時保管搬送装置は、容器を搬送する構造であり、支持構造物から構成され、取付ボルトによりグローブボックスに固定される。

焼結ボート入出庫装置-1, -2 は、容器を搬送する構造であり、支持構造物から構成される。

スクラップ保管容器入出庫装置は、容器を搬送する構造であり、支持構造物から構成される。

ペレット保管容器入出庫装置は、容器を搬送する構造であり、支持構造物から構成される。

原料 MOX 粉末缶一時保管搬送装置の耐震評価は、支持構造物、取付ボルトについて実施する。

焼結ボート入出庫装置-1, -2 の耐震評価は、支持構造物について実施する。

スクラップ保管容器入出庫装置の耐震評価は、支持構造物について実施する。

ペレット保管容器入出庫装置の耐震評価は、支持構造物について実施する。

本計算書においては、機器の概要図、解析モデル図、構造強度評価（設計条件、機器要目及び結論）を次項以降に示す。

2. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設

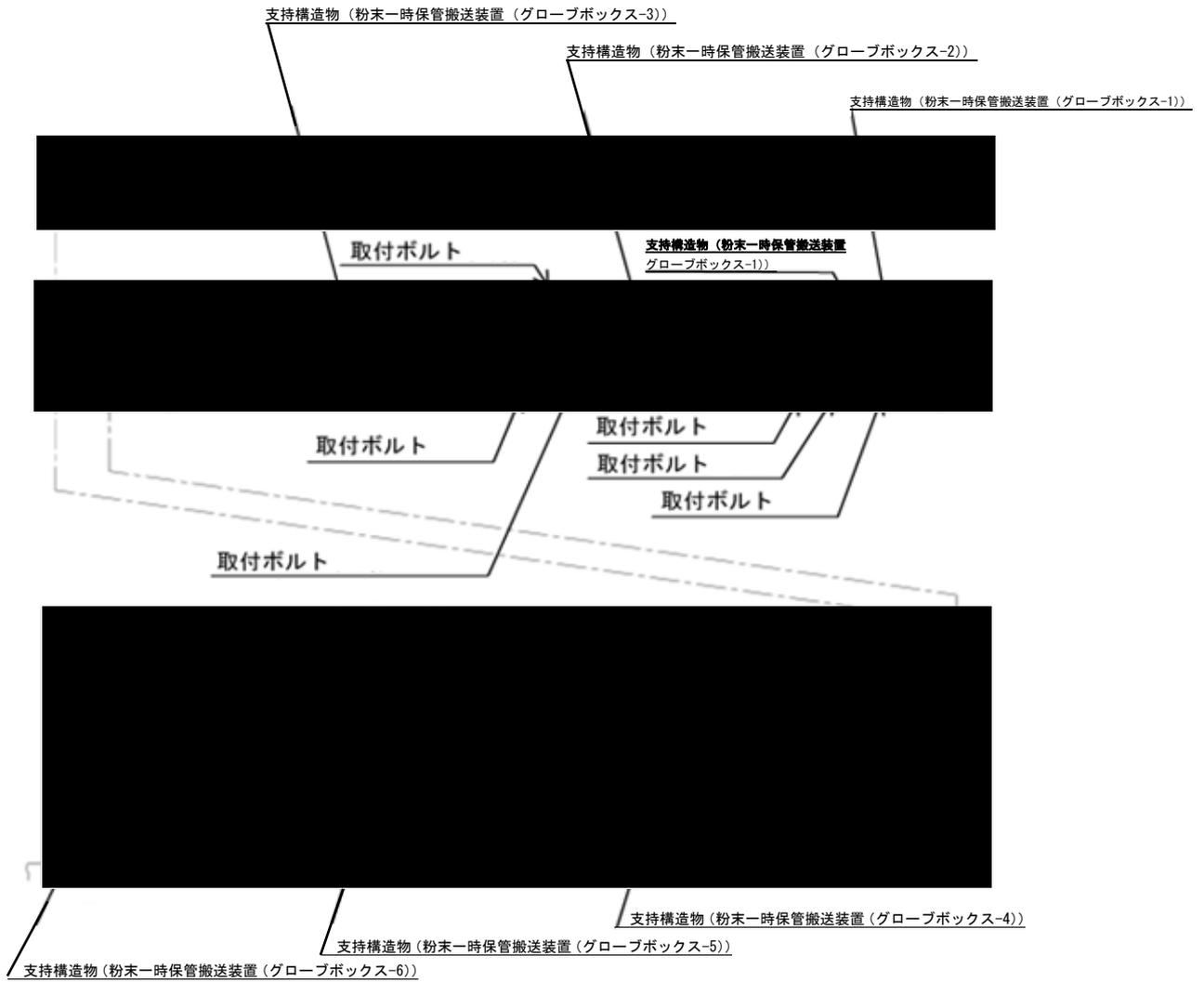
2.1 燃料加工建屋

対象設備及び記載先を下表に示す。

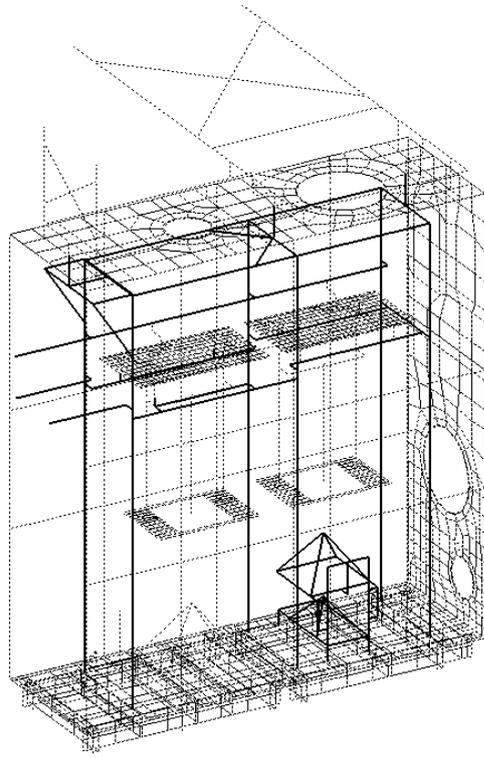
記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル 図	波及的影響を及ぼす おそれのある下位 クラス施設
					構造強度 評価
(A)	核燃料物質 の貯蔵施設	粉末一時 保管設備	粉末一時保管搬送装置	A.	I.
(B)	核燃料物質 の貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	焼結ボート入出庫装置-1	B.	I.
(C)	核燃料物質 の貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	焼結ボート入出庫装置-2	C.	I.
(D)	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器 入出庫装置	D.	I.
(E)	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット 貯蔵設備	ペレット保管容器 入出庫装置	E.	I.

A. 粉末一時保管搬送装置
概要図及び解析モデル図

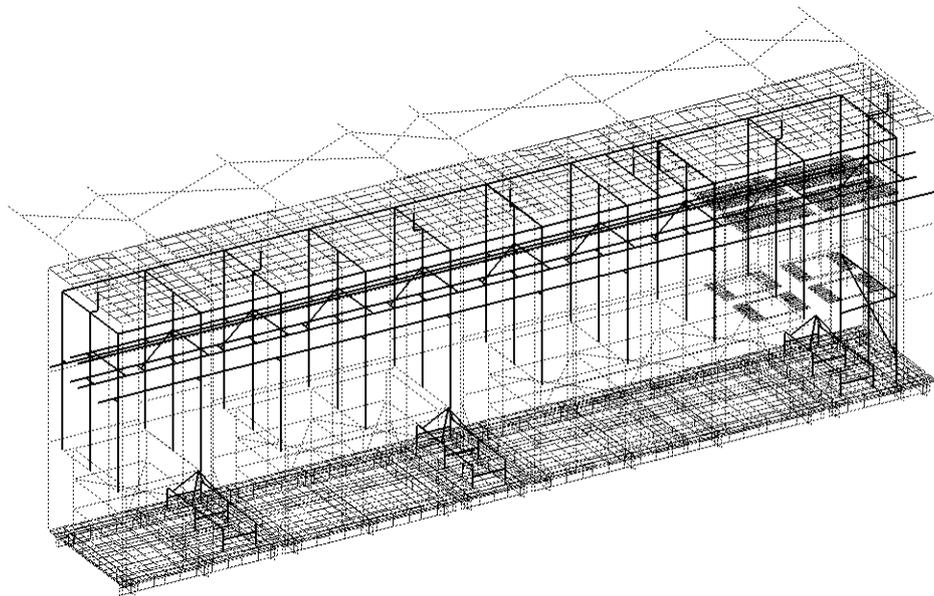
Ⅲ-2-2-2-2-2-3
搬送装置の耐震計算書



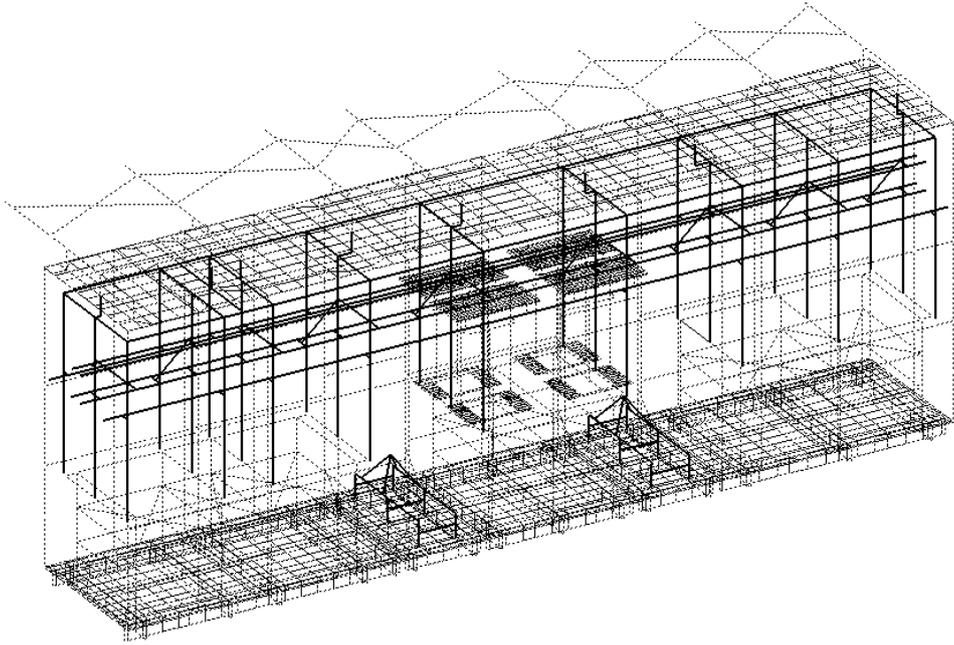
第A.-1図 概要図(A)



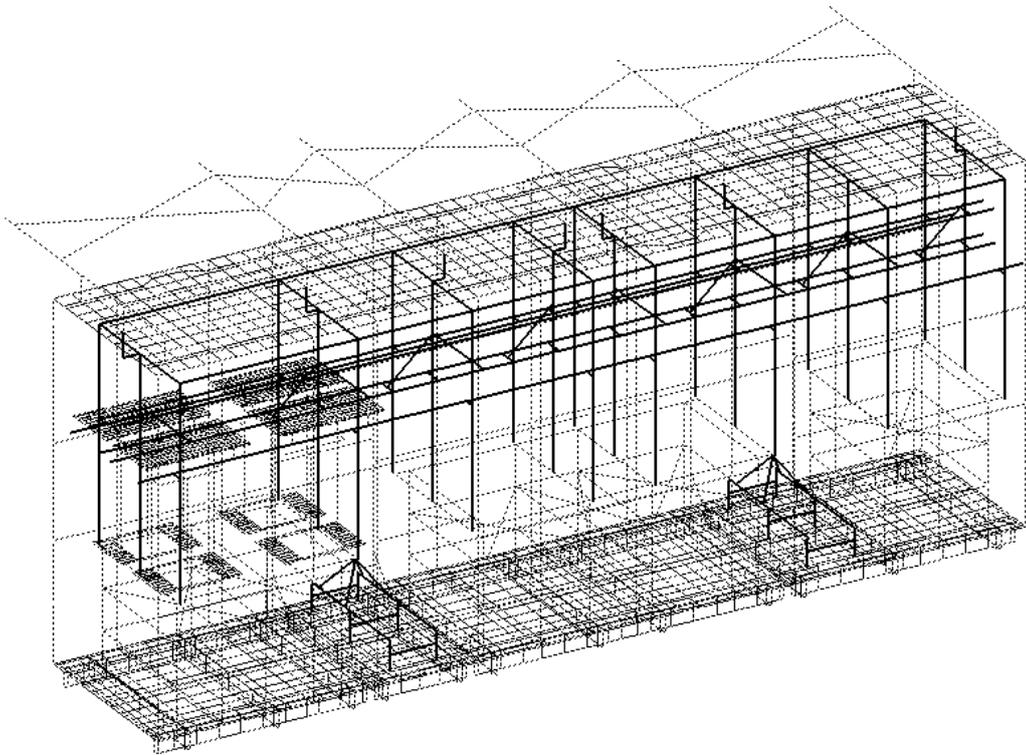
第A.-2図 解析モデル図(A)-1



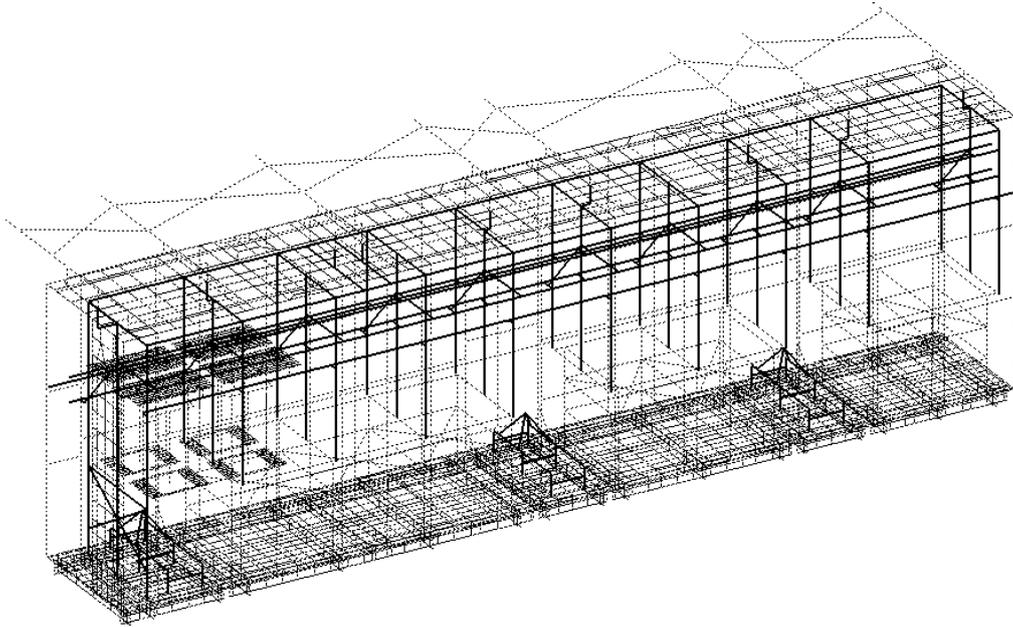
第A.-3図 解析モデル図(A)-2



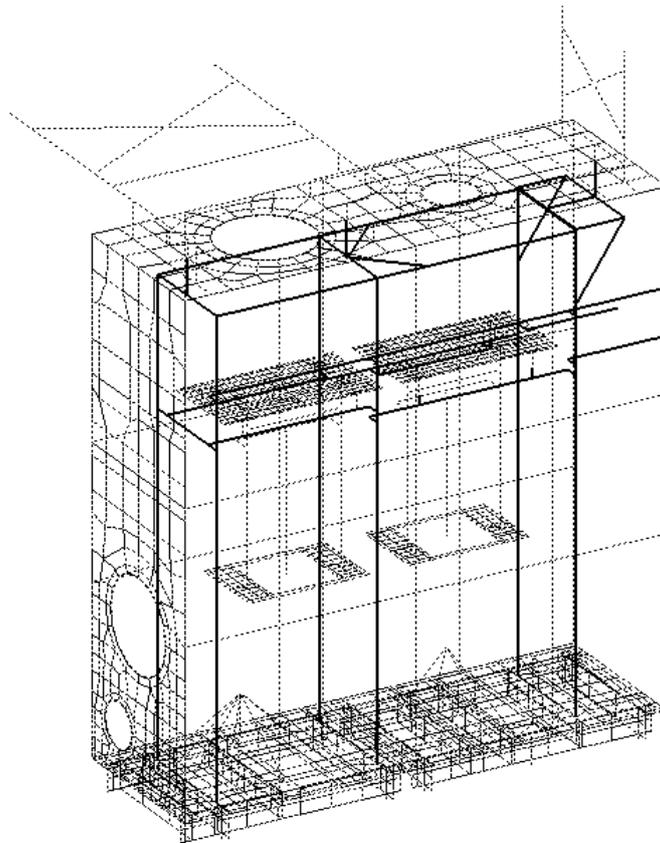
第A.-4図 解析モデル図(A)-3



第A.-5図 解析モデル図(A)-4



第A.-6図 解析モデル図(A)-5



第A.-7図 解析モデル図(A)-6

第A.-1表 (1/2) モデル諸元(A)-1

要素数	3135
節点数	2785
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-1表 (2/2) モデル諸元(A)-1

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管搬送装置 (グローブボックス-1))	STKR400	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	STKR400	3.300×10 ³	4.797×10 ⁶	6.452×10 ⁶
	STKR400	2.336×10 ³	5.530×10 ⁶	5.530×10 ⁶
	STKR400	3.067×10 ³	4.080×10 ⁶	4.080×10 ⁶
	SS400	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	1.192×10 ³	2.600×10 ⁵	1.880×10 ⁶
	SS400	2.815×10 ³	2.767×10 ⁵	6.883×10 ⁶
	SUS304	1.350×10 ³	9.112×10 ³	2.531×10 ⁶
	SUS304	1.752×10 ³	9.230×10 ⁵	6.090×10 ⁶
	SUS304	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	1.512×10 ³	5.890×10 ⁵	3.900×10 ⁶
	STKR400	1.217×10 ³	9.860×10 ⁵	9.860×10 ⁵
	SS400	2.259×10 ³	1.639×10 ⁶	3.507×10 ⁶

第A.-2表 (1/2) モデル諸元(A)-2

要素数	9035
節点数	7537
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-2表 (2/2) モデル諸元(A)-2

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管搬送装置 (グローブボックス-2))	STKR400	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	STKR400	2.336×10 ³	5.530×10 ⁶	5.530×10 ⁶
	STKR400	3.067×10 ³	4.080×10 ⁶	4.080×10 ⁶
	SS400	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SUS304	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵
	SUS304	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	1.512×10 ³	5.890×10 ⁵	3.900×10 ⁶
	SUS304TP	1.563×10 ³	5.870×10 ⁵	1.790×10 ⁶
	SUS304TP	1.923×10 ³	2.204×10 ⁶	2.204×10 ⁶
	SUS304	2.500×10 ³	5.208×10 ⁵	5.208×10 ⁵
	SUS304	2.400×10 ³	4.608×10 ⁵	5.000×10 ⁵

第A.-3表 (1/2) モデル諸元(A)-3

要素数	7510
節点数	6200
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-3表 (2/2) モデル諸元(A)-3

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管搬送装置 (グローブボックス-3))	STKR400	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	STKR400	2.336×10 ³	5.530×10 ⁶	5.530×10 ⁶
	STKR400	3.067×10 ³	4.080×10 ⁶	4.080×10 ⁶
	SS400	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SUS304	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	1.512×10 ³	5.890×10 ⁵	3.900×10 ⁶
	SUS304TP	1.563×10 ³	5.870×10 ⁵	1.790×10 ⁶
	SUS304TP	1.923×10 ³	2.204×10 ⁶	2.204×10 ⁶
	SUS304	2.500×10 ³	5.208×10 ⁵	5.208×10 ⁵
	SUS304	2.400×10 ³	4.608×10 ⁵	5.000×10 ⁵

第A.-4表 (1/2) モデル諸元(A)-4

要素数	6930
節点数	5831
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-4表 (2/2) モデル諸元(A)-4

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管搬送装置 (グローブボックス-4))	STKR400	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	STKR400	2.336×10 ³	5.530×10 ⁶	5.530×10 ⁶
	STKR400	3.067×10 ³	4.080×10 ⁶	4.080×10 ⁶
	SS400	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SUS304	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	1.512×10 ³	5.890×10 ⁵	3.900×10 ⁶
	SUS304TP	1.563×10 ³	5.870×10 ⁵	1.790×10 ⁶
	SUS304TP	1.923×10 ³	2.204×10 ⁶	2.204×10 ⁶
	SUS304	2.500×10 ³	5.208×10 ⁵	5.208×10 ⁵
	SUS304	2.400×10 ³	4.608×10 ⁵	5.000×10 ⁵

第A.-5表 (1/2) モデル諸元(A)-5

要素数	8697
節点数	7149
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-5表 (2/2) モデル諸元(A)-5

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管搬送装置 (グローブボックス-5))	STKR400	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	STKR400	2.336×10 ³	5.530×10 ⁶	5.530×10 ⁶
	STKR400	3.067×10 ³	4.080×10 ⁶	4.080×10 ⁶
	SS400	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SUS304	1.269×10 ³	6.440×10 ⁵	6.440×10 ⁵
	SUS304	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	1.512×10 ³	5.890×10 ⁵	3.900×10 ⁶
	SUS304TP	1.563×10 ³	5.870×10 ⁵	1.790×10 ⁶
	SUS304TP	1.923×10 ³	2.204×10 ⁶	2.204×10 ⁶
	SUS304	2.500×10 ³	5.208×10 ⁵	5.208×10 ⁵
	SUS304	2.400×10 ³	4.608×10 ⁵	5.000×10 ⁵

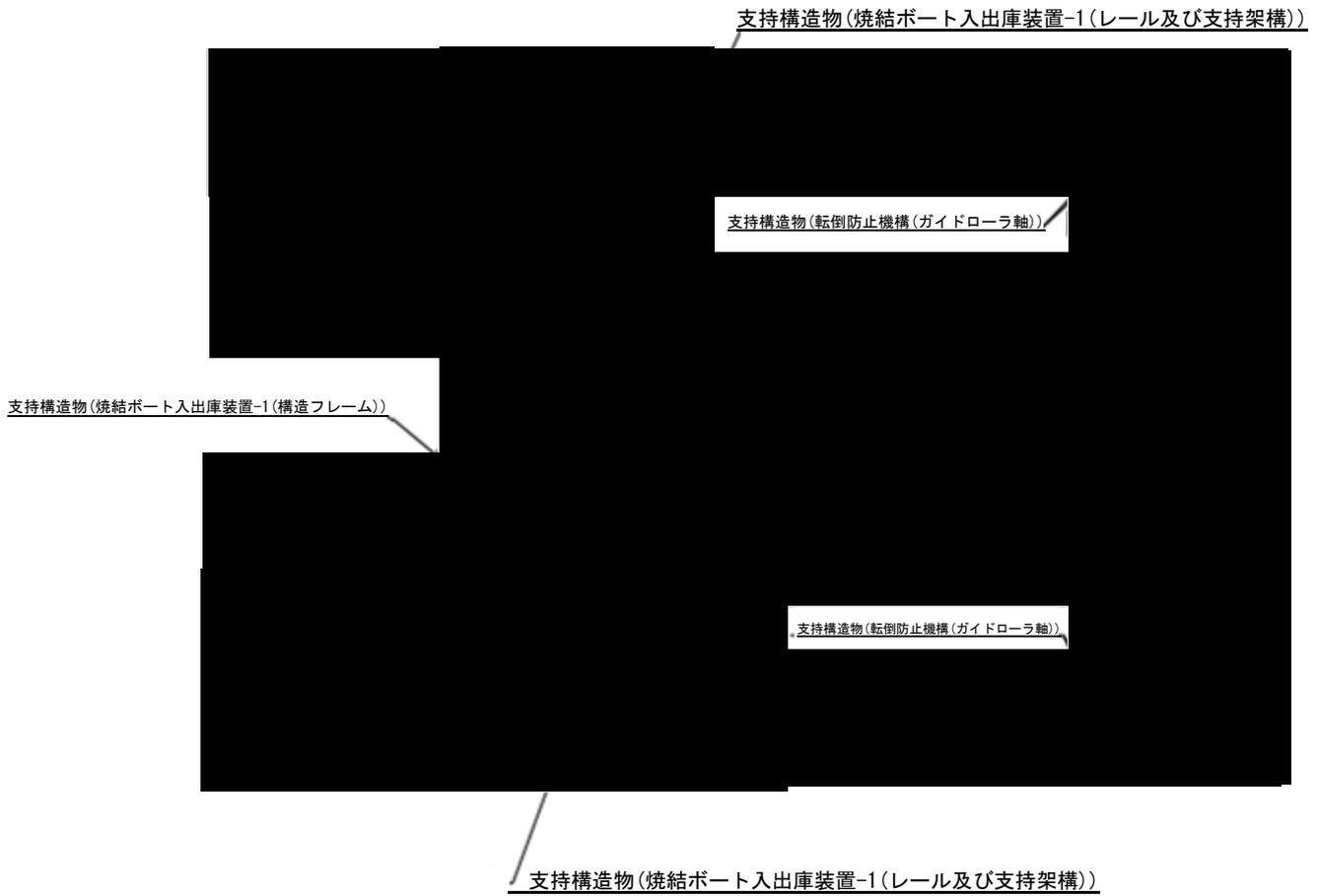
第A.-6表 (1/2) モデル諸元(A)-6

要素数	3035
節点数	2697
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

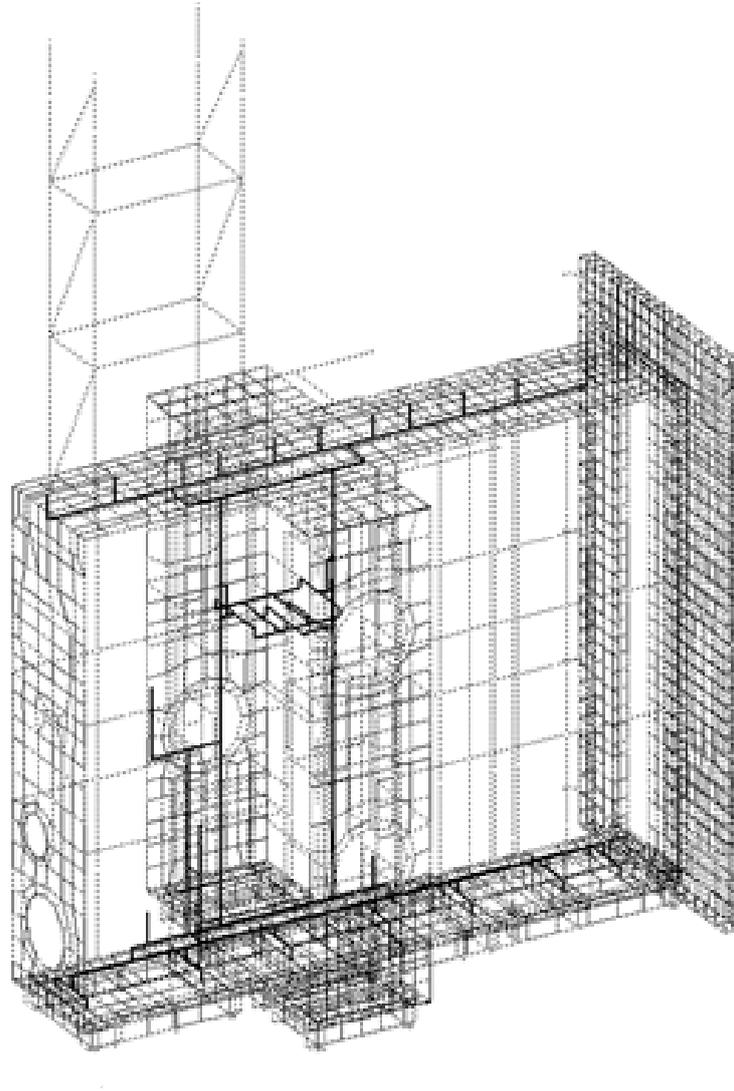
第A.-6表 (2/2) モデル諸元(A)-6

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (粉末一時保管搬送装置 (グローブボックス-6))	STKR400	2.163×10 ³	3.110×10 ⁶	3.110×10 ⁶
	STKR400	3.300×10 ³	4.797×10 ⁶	6.452×10 ⁶
	STKR400	2.336×10 ³	5.530×10 ⁶	5.530×10 ⁶
	STKR400	3.067×10 ³	4.080×10 ⁶	4.080×10 ⁶
	SS400	2.159×10 ³	1.340×10 ⁶	3.780×10 ⁶
	SS400	1.192×10 ³	2.600×10 ⁵	1.880×10 ⁶
	SS400	2.815×10 ³	2.767×10 ⁵	6.883×10 ⁶
	SUS304	1.350×10 ³	9.112×10 ³	2.531×10 ⁶
	SUS304	1.752×10 ³	9.230×10 ⁵	6.090×10 ⁶
	SUS304	1.137×10 ³	2.530×10 ⁵	1.680×10 ⁶
	SUS304	1.512×10 ³	5.890×10 ⁵	3.900×10 ⁶

B. 焼結ボート入出庫装置-1
概要図及び解析モデル図



第B.-1図 概要図(B)



第B.-2図 解析モデル図(B)

第B.-1表 (1/2) モデル諸元(B)

要素数	5167
節点数	4009
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

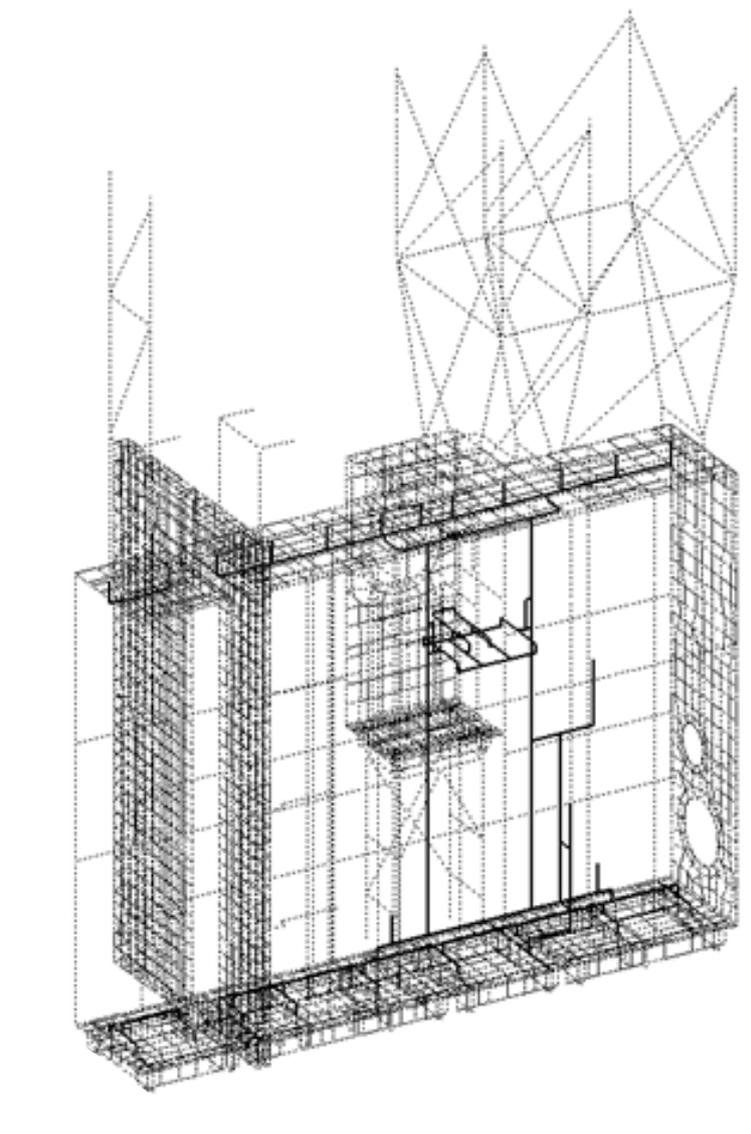
第B.-1表 (2/2) モデル諸元(B)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (焼結ボート入出庫装置-1 (構造フレーム))	SS400	1.224×10 ⁴	5.757×10 ⁷	1.085×10 ⁸
	SS400	5.184×10 ³	1.046×10 ⁷	1.487×10 ⁷
	STKR400	3.363×10 ³	1.150×10 ⁷	1.150×10 ⁷
	STKR400	2.763×10 ³	6.410×10 ⁶	6.410×10 ⁶
	SS400	2.704×10 ³	1.362×10 ⁶	1.652×10 ⁶
	STKR400	1.667×10 ³	2.490×10 ⁶	2.490×10 ⁶
	SS400	8.144×10 ³	1.838×10 ⁷	2.052×10 ⁷
	SS400	9.184×10 ³	1.966×10 ⁷	2.820×10 ⁷
	STKR400	700.7	2.280×10 ⁵	5.080×10 ⁵
	SS400	648.0	1.190×10 ⁵	2.655×10 ⁵
	SS400	700.0	4.981×10 ⁴	9.507×10 ⁴
支持構造物 (焼結ボート入出庫装置-1 (レール及び支持架構))	SS400	4.085×10 ³	1.499×10 ⁶	7.328×10 ⁶
	SS400	1.711×10 ³	6.180×10 ⁵	4.240×10 ⁶
	SS400	2.802×10 ³	8.150×10 ⁵	3.355×10 ⁶
	SUS304TP	660.8	2.170×10 ⁵	4.830×10 ⁵

C. 焼結ボート入出庫装置-2
概要図及び解析モデル図



第C.-1図 概要図(C)



第C.-2図 解析モデル図(C)

第C.-1表 (1/2) モデル諸元(C)

要素数	5027
節点数	3923
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第C.-1表 (2/2) モデル諸元(C)

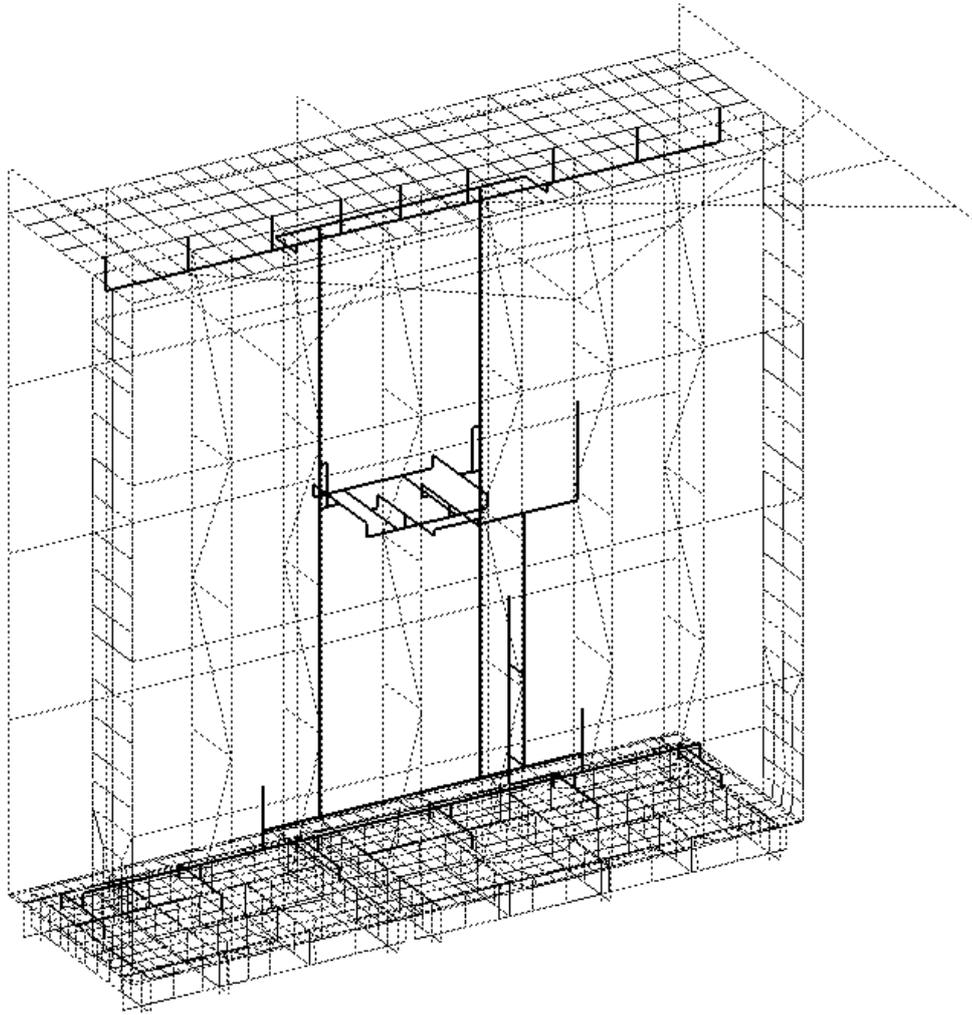
部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (焼結ボート入出庫装置-2 (構造フレーム))	SS400	1.224×10 ⁴	5.757×10 ⁷	1.085×10 ⁸
	SS400	5.184×10 ³	1.046×10 ⁷	1.487×10 ⁷
	STKR400	3.363×10 ³	1.150×10 ⁷	1.150×10 ⁷
	STKR400	2.763×10 ³	6.410×10 ⁶	6.410×10 ⁶
	SS400	2.704×10 ³	1.362×10 ⁶	1.652×10 ⁶
	STKR400	1.667×10 ³	2.490×10 ⁶	2.490×10 ⁶
	SS400	8.144×10 ³	1.838×10 ⁷	2.052×10 ⁷
	SS400	9.184×10 ³	1.966×10 ⁷	2.820×10 ⁷
	STKR400	700.7	2.280×10 ⁵	5.080×10 ⁵
	SS400	648.0	1.190×10 ⁵	2.655×10 ⁵
支持構造物 (焼結ボート入出庫装置-2 (レール及び支持架構))	SS400	700.0	4.981×10 ⁴	9.507×10 ⁴
	SS400	4.085×10 ³	1.499×10 ⁶	7.328×10 ⁶
	SS400	1.711×10 ³	6.180×10 ⁵	4.240×10 ⁶
	SS400	2.802×10 ³	8.150×10 ⁵	3.355×10 ⁶
	SUS304TP	660.8	2.170×10 ⁵	4.830×10 ⁵

D. スクラップ保管容器入出庫装置

概要図及び解析モデル図



第D.-1図 概要図(D)



第D.-2図 解析モデル図(D)

第D.-1表 (1/2) モデル諸元(D)

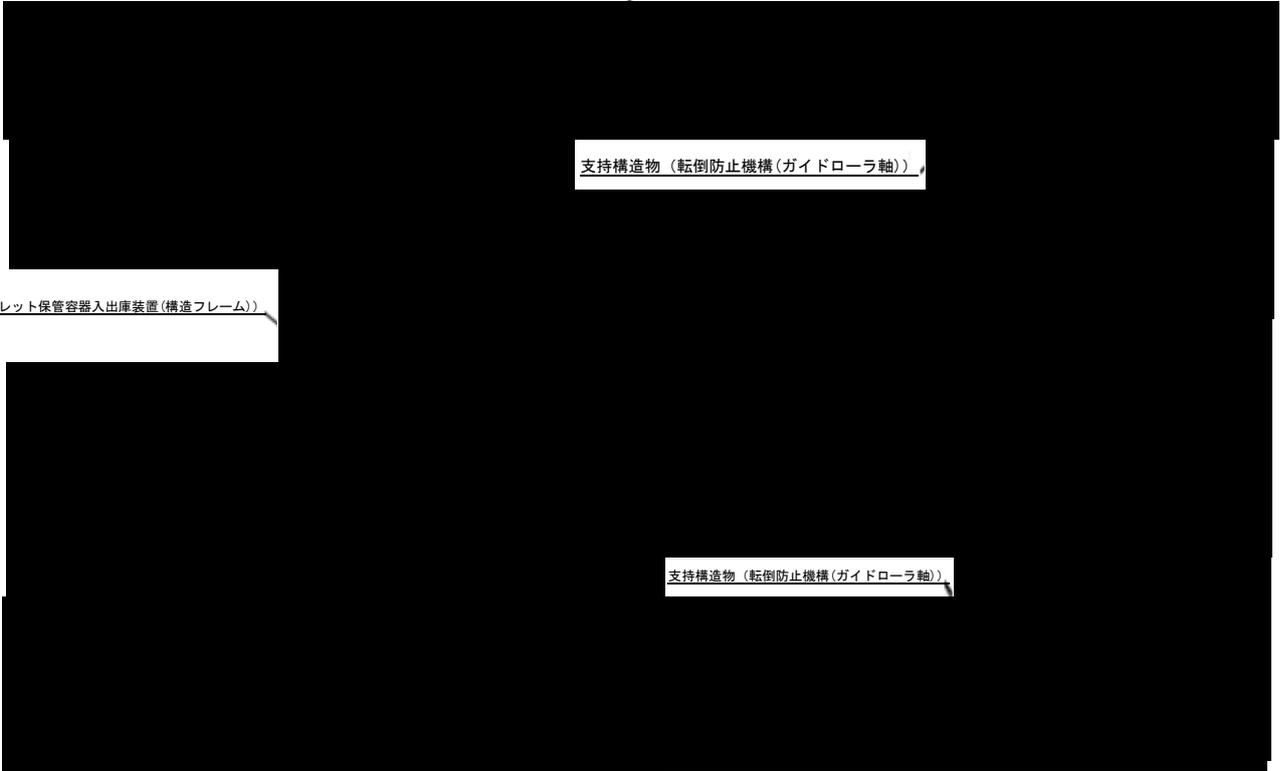
要素数	2428
節点数	1702
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第D.-1表 (2/2) モデル諸元(D)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (スクラップ保管容器入出庫装置 (構造フレーム))	SS400	1.224×10 ⁴	5.757×10 ⁷	1.085×10 ⁸
	SS400	5.184×10 ³	1.046×10 ⁷	1.487×10 ⁷
	STKR400	3.363×10 ³	1.150×10 ⁷	1.150×10 ⁷
	STKR400	2.763×10 ³	6.410×10 ⁶	6.410×10 ⁶
	SS400	2.704×10 ³	1.362×10 ⁶	1.652×10 ⁶
	STKR400	1.667×10 ³	2.490×10 ⁶	2.490×10 ⁶
	SS400	8.144×10 ³	1.838×10 ⁷	2.052×10 ⁷
	SS400	9.184×10 ³	1.966×10 ⁷	2.820×10 ⁷
	STKR400	700.7	2.280×10 ⁵	5.080×10 ⁵
	SS400	672.0	1.507×10 ⁵	2.727×10 ⁵
	SS400	1.354×10 ³	1.585×10 ⁵	2.898×10 ⁵
	STKR400	1.540×10 ³	4.790×10 ⁵	1.996×10 ⁶
支持構造物 (スクラップ保管容器入出庫装置 (レール及び支持架構))	SS400	4.085×10 ³	1.499×10 ⁶	7.328×10 ⁶
	SS400	1.711×10 ³	6.180×10 ⁵	4.240×10 ⁶
	SS400	2.802×10 ³	8.150×10 ⁵	3.355×10 ⁶
	SUS304TP	660.8	2.170×10 ⁵	4.830×10 ⁵

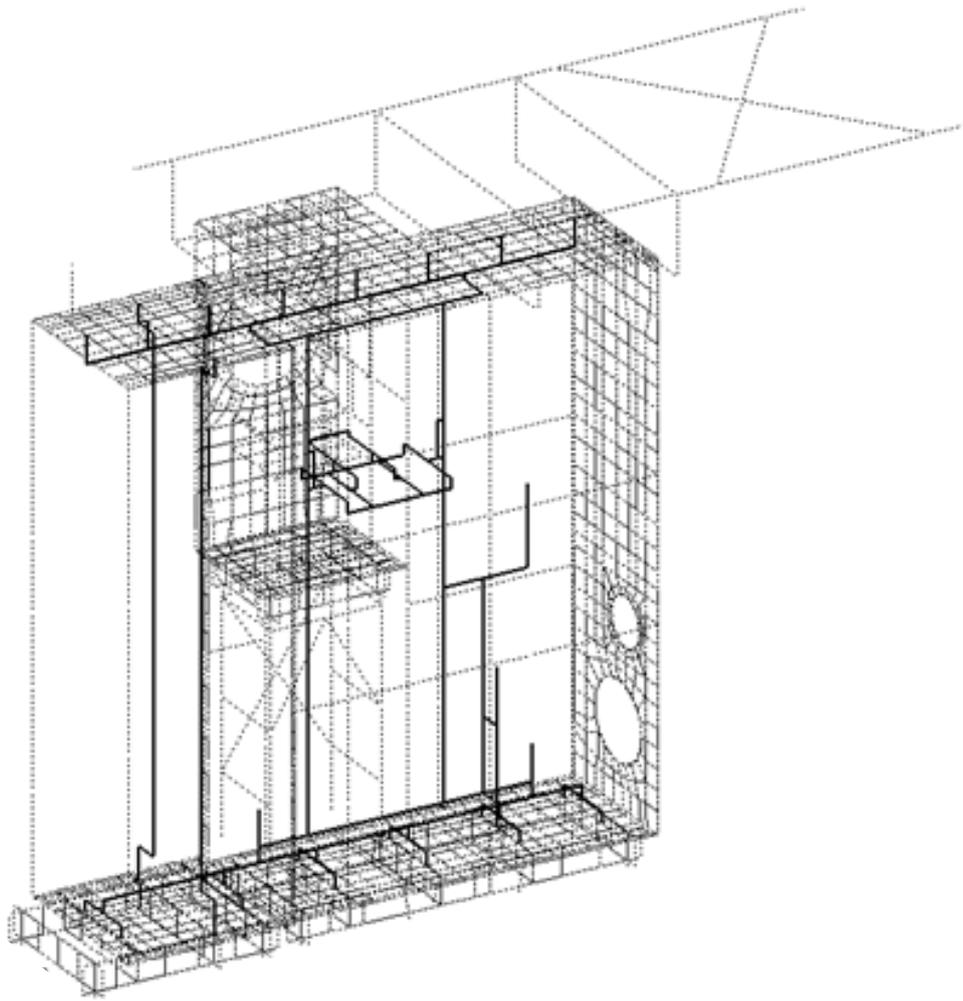
- E. ペレット保管容器入出庫装置
概要図及び解析モデル図

支持構造物(ペレット保管容器入出庫装置(レール及び支持架構))



支持構造物(ペレット保管容器入出庫装置(レール及び支持架構))

第E.-1図 概要図(E)



第E.-2図 解析モデル図(E)

第E.-1表 (1/2) モデル諸元(E)

要素数	2970
節点数	2273
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005. 1. 0 2005R2

第E.-1表 (2/2) モデル諸元(E)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (ペレット保管容器入出庫装置 (構造フレーム))	SS400	1. 224×10 ⁴	5. 757×10 ⁷	1. 085×10 ⁸
	SS400	5. 184×10 ³	1. 046×10 ⁷	1. 487×10 ⁷
	STKR400	3. 363×10 ³	1. 150×10 ⁷	1. 150×10 ⁷
	STKR400	2. 763×10 ³	6. 410×10 ⁶	6. 410×10 ⁶
	SS400	2. 704×10 ³	1. 362×10 ⁶	1. 652×10 ⁶
	STKR400	1. 667×10 ³	2. 490×10 ⁶	2. 490×10 ⁶
	SS400	8. 144×10 ³	1. 838×10 ⁷	2. 052×10 ⁷
	SS400	9. 184×10 ³	1. 966×10 ⁷	2. 820×10 ⁷
	STKR400	700. 7	2. 280×10 ⁵	5. 080×10 ⁵
	SS400	672. 0	1. 507×10 ⁵	2. 727×10 ⁵
	SS400	1. 354×10 ³	1. 585×10 ⁵	2. 898×10 ⁵
	STKR400	1. 150×10 ³	4. 076×10 ⁵	7. 186×10 ⁵
支持構造物 (ペレット保管容器入出庫装置 (レール及び支持架構))	SS400	4. 085×10 ³	1. 499×10 ⁶	7. 328×10 ⁶
	SS400	1. 711×10 ³	6. 180×10 ⁵	4. 240×10 ⁶
	SS400	2. 802×10 ³	8. 150×10 ⁵	3. 355×10 ⁶
	SUS304TP	660. 8	2. 170×10 ⁵	4. 830×10 ⁵

I. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設

構造強度評価

(設計条件, 機器要目及び結論)

I.1 設計条件

記号	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有周期 (s)	減衰定数 (%)	基準地震動 S _s		最高使用温度 (°C)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(A)	粉末一時保管搬送装置	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	*3	*3	60
(B)	焼結ボート入出庫装置-1	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	*3	*3	60
(C)	焼結ボート入出庫装置-2	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	*3	*3	60
(D)	スクラップ保管容器入出庫装置	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	*3	*3	60
(E)	ペレット保管容器入出庫装置	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	*3	*3	60

注記 *1：基準床レベルを示す。
*2：下記に示す。
*3：基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

固有周期(A)-1

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.099	6	0.076
2	0.096	7	0.075
3	0.093	8	0.074
4	0.082	15	0.051
5	0.078	16	0.049

固有周期(A)-2

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.081
2	0.089	7	0.079
3	0.086	8	0.077
4	0.082	21	0.053
5	0.081	22	0.050

固有周期(A)-3

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.080
2	0.093	7	0.079
3	0.090	8	0.075
4	0.085	25	0.051
5	0.081	26	0.050

固有周期(A)-4

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.081
2	0.091	7	0.078
3	0.089	8	0.075
4	0.083	22	0.050
5	0.082	23	0.050

固有周期(A)-5

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.093	6	0.080
2	0.090	7	0.078
3	0.087	8	0.076
4	0.084	25	0.051
5	0.083	26	0.050

固有周期(A)-6

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.098	6	0.074
2	0.095	7	0.062
3	0.082	8	0.058
4	0.077	13	0.050
5	0.075	14	0.049

固有周期(B)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.134	6	0.074
2	0.116	7	0.071
3	0.100	8	0.066
4	0.081	21	0.052
5	0.076	22	0.050

固有周期(C)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.135	6	0.066
2	0.121	7	0.063
3	0.099	8	0.061
4	0.078	15	0.050
5	0.073	16	0.049

固有周期(D)

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.113	6	0.052
2	0.093	7	0.052
3	0.068	8	0.051
4	0.066	9	0.050
5	0.058		

固有周期(E)

次 数	固有周期 (s)	次 数	固有周期 (s)
1	0.114	6	0.062
2	0.089	7	0.061
3	0.075	8	0.060
4	0.074	15	0.050
5	0.063	16	0.047

I.2 機器要目(その1)

記号	支持構造物 (粉末一時保管搬送装置)					取付ボルト					支持構造物 (焼結ボート入庫装置-1 (構造フレーム))					支持構造物 (焼結ボート入庫装置-1 (レール及び支持架構))					支持構造物 (焼結ボート入庫装置-1 (ガイドローラ軸))					
	A _s	A _{ss}	Z _s	E _s	F*	A _b	n _t	n _s	L	F*	A _s	A _{ss}	Z _s	E _s	F*	A _s	A _{ss}	Z _s	E _s	F*	A _s	A _{ss}	Z _s	E _s	F*	
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(-)	(-)	(mm)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(MPa)	(MPa)	
(A)-1	1.217×10 ³	513.0	2.630×10 ⁴	2.01×10 ⁵	226	201.0 (M16)	4	4	160	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-2	2.163×10 ³	912.0	6.230×10 ⁴	2.01×10 ⁵	226	201.0 (M16)	6	6	135	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-3	1.512×10 ³	732.0	1.250×10 ⁴	1.92×10 ⁵	205	201.0 (M16)	6	6	135	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-4	1.512×10 ³	732.0	1.250×10 ⁴	1.92×10 ⁵	205	201.0 (M16)	6	6	135	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-5	2.163×10 ³	912.0	6.230×10 ⁴	2.01×10 ⁵	226	201.0 (M16)	6	6	135	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-6	3.300×10 ³	912.0	8.282×10 ⁴	2.01×10 ⁵	226	201.0 (M16)	4	4	160	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700.7	206.0	1.010×10 ⁴	2.01×10 ⁵	226	2.802×10 ³	1.004×10 ³	1.737×10 ⁴	2.01×10 ⁵	272	706.8	530	2.650×10 ³	2.01×10 ⁵	272	
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目(その2)

記号	支持構造物(焼結ポート入出庫装置-2(構造フレーム))					支持構造物(焼結ポート入出庫装置-2(レール及び支持架構))					支持構造物(スクラップ保管容器入出庫装置(構造フレーム))					支持構造物(スクラップ保管容器入出庫装置(レール及び支持架構))				
	A _s	A _{ss}	Z _s	E _s	F*	A _s	A _{ss}	Z _s	E _s	F*	A _s	A _{ss}	Z _s	E _s	F*	A _s	A _{ss}	Z _s	E _s	F*
	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ³)	(MPa)	(MPa)
(A)-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	700.7	206.0	1.010×10 ⁴	2.01×10 ⁵	226	2.802×10 ³	1.004×10 ³	1.737×10 ⁴	2.01×10 ⁵	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.540×10 ³	206.0	1.315×10 ⁴	2.01×10 ⁵	226	1.711×10 ³	750.0	1.340×10 ⁴	2.01×10 ⁵	272
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I.2 機器要目(その3)

記号	支持構造物(スクラップ保管容器入庫装置(レール及び支持架構))					支持構造物(スクラップ保管容器入庫装置(ガイドローラ軸))					支持構造物(ペレット保管容器入庫装置(構造フレーム))					支持構造物(ペレット保管容器入庫装置(レール及び支持架構))					支持構造物(ペレット保管容器入庫装置(ガイドローラ軸))				
	A _s (mm ²)	A _{ss} (mm ²)	Z _s (mm ³)	E _s (MPa)	F* (MPa)	A _s (mm ²)	A _{ss} (mm ²)	Z _s (mm ³)	E _s (MPa)	F* (MPa)	A _s (mm ²)	A _{ss} (mm ²)	Z _s (mm ³)	E _s (MPa)	F* (MPa)	A _s (mm ²)	A _{ss} (mm ²)	Z _s (mm ³)	E _s (MPa)	F* (MPa)	A _s (mm ²)	A _{ss} (mm ²)	Z _s (mm ³)	E _s (MPa)	F* (MPa)
(A)-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(A)-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D)	1.711×10 ³	750.0	1.340×10 ⁴	2.01×10 ⁵	272	706.8	530	2.650×10 ³	2.01×10 ⁵	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.667×10 ³	738.0	4.990×10 ⁴	2.01×10 ⁵	226	4.085×10 ³	960.0	2.398×10 ⁴	2.01×10 ⁵	272	706.8	530	2.650×10 ³	2.01×10 ⁵	272

I.3 結論(その1)

(単位:MPa)

記号	支持構造物(粉末一時保管搬送装置(グローブボックス-1))										支持構造物(粉末一時保管搬送装置(グローブボックス-2))									支持構造物(粉末一時保管搬送装置(グローブボックス-3))									支持構造物(粉末一時保管搬送装置(グローブボックス-4))											
	材料	Ss									材料	Ss									材料	Ss									材料	Ss								
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_{v,0}$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値			
(A)	STER400	3.1.2-1	32	130	3.1.2-1	0.62	1	3.1.2-1	0.61	1	SS400 STER400	3.1.2-1	42	130	3.1.2-1	0.58	1	3.1.2-1	0.55	1	SUS304	3.1.2-1	44	118	3.1.2-1	0.76	1	3.1.2-1	0.76	1	SUS304	3.1.2-1	39	118	3.1.2-1	0.65	1	3.1.2-1	0.65	1
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論(その2)

(単位：MPa)

記号	支持構造物 (粉末一時保管搬送装置 (グローブボックス-5))										支持構造物 (粉末一時保管搬送装置 (グローブボックス-6))									粉末一時保管搬送装置取付ボルト (グローブボックス-1)						粉末一時保管搬送装置取付ボルト (グローブボックス-2)										
	材料	S s									材料	S s									材料	S s						材料	S s							
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				引張			せん断				引張			せん断				
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_{t, s}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_{t, s}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 ¹⁾ $\sigma_{b, t}$	許容応力 $1.5 f_{t, s}^*$		計算式	算出応力 ¹⁾ $\sigma_{b, t}$	許容応力 $1.5 f_{t, s}^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出応力 $\sigma_{b, t}$
(A)	STKR400	3.1.2-1	43	130	3.1.2-1	0.54	1	3.1.2-1	0.52	1	STKR400	3.1.2-1	35	130	3.1.2-1	0.60	1	3.1.2-1	0.56	1	SS400	3.1.2-2	100	204	3.1.2-3	41	157	SS400	3.1.2-2	120	204	3.1.2-3	39	157		
(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論(その3)

(単位:MPa)

記号	粉末一時保管搬送装置取付ボルト (グローブボックス-3)							粉末一時保管搬送装置取付ボルト (グローブボックス-4)							粉末一時保管搬送装置取付ボルト (グローブボックス-5)							粉末一時保管搬送装置取付ボルト (グローブボックス-6)						
	材料	S s						材料	S s						材料	S s						材料	S s					
		引 張			せん 断				引 張			せん 断				引 張			せん 断				引 張			せん 断		
		計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}$		計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}$		計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}$		計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出応力 σ_{bt}	許容応力 $1.5f_{ts}$
(A)	SS400	3.1.2-2	161	204	3.1.2-3	45	157	SS400	3.1.2-2	149	204	3.1.2-3	47	157	SS400	3.1.2-2	119	204	3.1.2-3	39	157	SS400	3.1.2-2	94	204	3.1.2-3	44	157
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論(その4)

(単位:MPa)

記号	支持構造物(焼結ボート入出庫装置-1(構造フレーム))										支持構造物(焼結ボート入出庫装置-1(レール及び支持架構))									支持構造物(転倒防止機構(ガイドローラ軸))							
	材料	Ss									材料	Ss									材料	Ss					
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値
(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(B)	SKR400	3.1.2-1	102	157	3.1.2-1	0.82	1	3.1.2-1	0.82	1	SS400	3.1.2-1	79	157	3.1.2-1	0.71	1	3.1.2-1	0.70	1	SS400	3.1.2-1	32	157	3.1.2-1	177	272
(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論(その5)

(単位:MPa)

記号	支持構造物(焼結ボート入出庫装置-2(構造フレーム))										支持構造物(焼結ボート入出庫装置-2(レール及び支持架橋))									転倒防止機構(ガイドローラ軸)							
	材料	Ss									材料	Ss									材料	Ss					
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値	許容値
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
(C)	STKR400	3.1.2-1	82	157	3.1.2-1	0.80	1	3.1.2-1	0.80	1	SS400 SUS304TP	3.1.2-1	65	157	3.1.2-1	0.64	1	3.1.2-1	0.62	1	SS400	3.1.2-1	26	157	3.1.2-1	145	272
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論(その6)

(単位：MPa)

記号	支持構造物 (スクラップ保管容器入庫装置(構造フレーム))										支持構造物(スクラップ保管容器入庫装置(レール及び支持架構))									支持構造物 (転倒防止機構 (ガイドローラ軸))							
	材料	Ss									材料	Ss									材料	Ss					
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_s^*$	計算式	算出値	許容値
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(D)	STKR400	3.1.2-1	71	130	3.1.2-1	0.65	1	3.1.2-1	0.65	1	SS400	3.1.2-1	57	157	3.1.2-1	0.53	1	3.1.2-1	0.50	1	SS400	3.1.2-1	15	157	3.1.2-1	87	272
(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

I.3 結論(その7)

(単位:MPa)

記号	支持構造物 (パレット保管容器入庫装置(構造フレーム))										支持構造物(パレット保管容器入庫装置(レール及び支持架構))									支持構造物 (転倒防止機構 (ガイドローラ軸))							
	材料	Ss									材料	Ss									材料	Ss					
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_s^*$	計算式	算出値	許容値
(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(D)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(E)	STKR400	3.1.2-1	60	130	3.1.2-1	0.63	1	3.1.2-1	0.58	1	SS400	3.1.2-1	66	157	3.1.2-1	0.51	1	3.1.2-1	0.50	1	SS400	3.1.2-1	17	157	3.1.2-1	101	272

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅲ－2－2－2－2－2－4
遮蔽設備の耐震計算書

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設	2
2.1 燃料加工建屋	2

1. 概要

本計算書は、「Ⅲ-1-3-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震計算書作成の基本方針」に基づき、安全機能を有する施設のうち耐震重要施設が下位クラス施設の波及的影響によってその安全機能に必要な機能を損なわないことについて、波及的影響の評価を実施するものであり、遮蔽設備の耐震評価について、算出した結果を示すものである。

遮蔽扉-1, -2 は、被ばくを低減する構造であり、支持構造物から構成される。

遮蔽扉-1, -2 の耐震評価は、支持構造物について実施する。

本計算書においては、機器の概要図、解析モデル図、構造強度評価（設計条件、機器要目及び結論）を次項以降に示す。

2. 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設

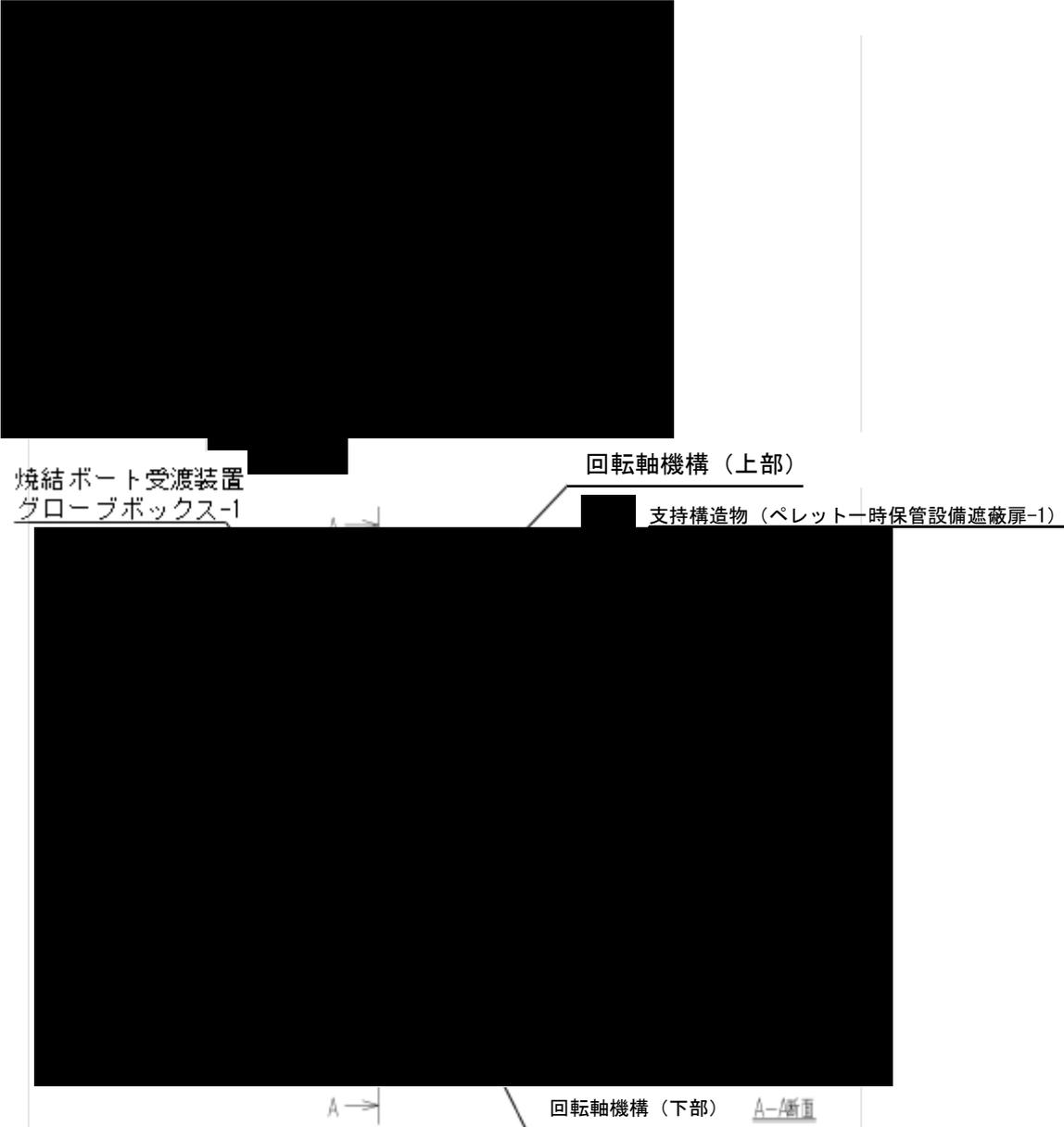
2.1 燃料加工建屋

対象設備及び記載先を下表に示す。

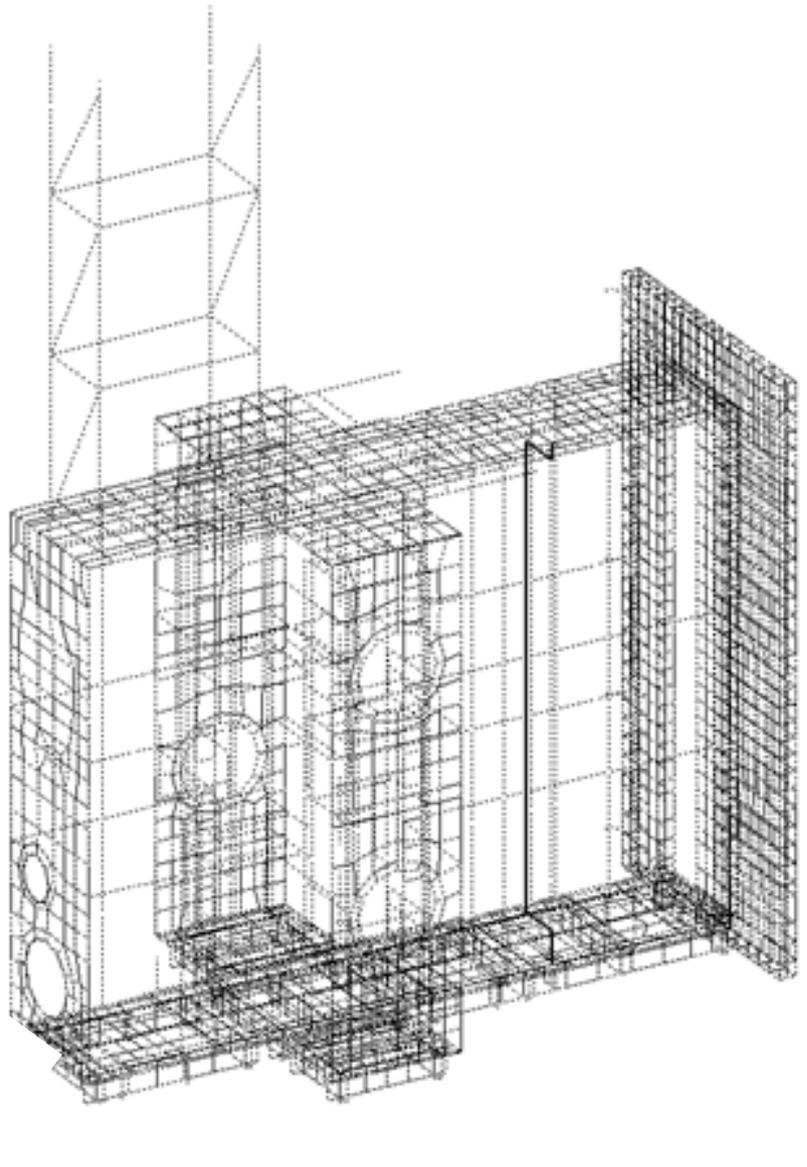
記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析 モデル 図	波及的影響を及ぼすおそれ のある下位クラス施設
					構造強度 評価
(A)	核燃料物質 の貯蔵施設	ペレット一時 保管設備	遮蔽扉 (ペレット一時保管設備)	A.	I.

A. 遮蔽扉（ペレット一時保管設備）

概要図及び解析モデル図



第A.-1図 概要図(A)



第A.-2図 解析モデル図(A)

第A.-1表 (1/2) モデル諸元(A)

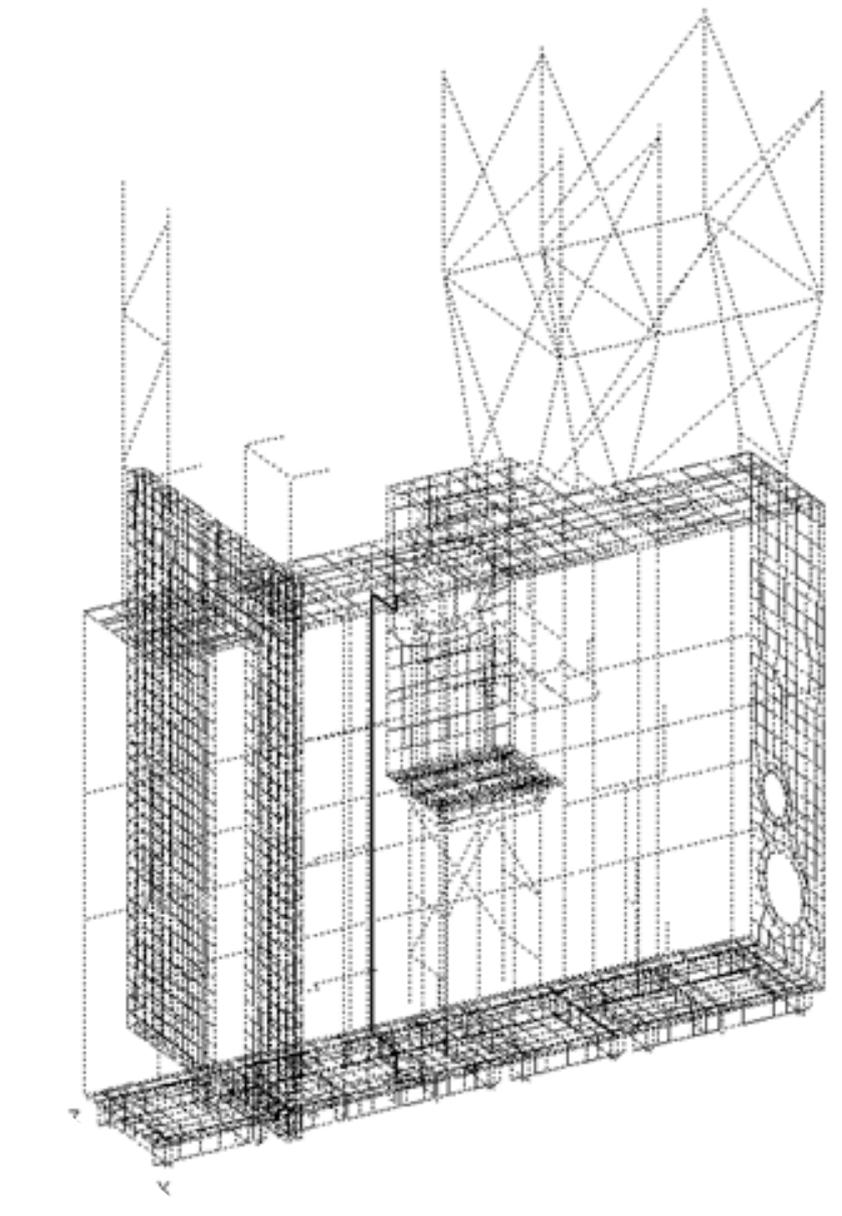
要素数	5167
節点数	4009
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-1表 (2/2) モデル諸元(A)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (ペレット一時保管設備遮蔽扉-1)	SCM440H	706.8	3.976×10 ⁴	3.976×10 ⁴
	SUS304	1.361×10 ⁴	3.086×10 ⁷	7.911×10 ⁸



第A.-3図 概要図(A)



第A.-4図 解析モデル図(A)

第A.-2表 (1/2) モデル諸元(A)

要素数	5027
節点数	3923
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

第A.-2表 (2/2) モデル諸元(A)

部材	材料	A _s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物 (ペレット一時保管設備遮蔽扉-2)	SCM440H	706.8	3.976×10 ⁴	3.976×10 ⁴
	SUS304	1.361×10 ⁴	3.086×10 ⁷	7.911×10 ⁸

I．波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設

構造強度評価

(設計条件, 機器要目及び結論)

I.1 設計条件

記号	機器名称	耐震設計上の重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有周期 (s)	減衰定数 (%)	基準地震動 S _s		最高使用温度 (°C)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(A)-1	ペレット一時保管設備 遮蔽扉-1	B	T. M. S. L. 35.00~43.20	解析による	*2	1.0	*3	*3	60
(A)-2	ペレット一時保管設備 遮蔽扉-2								

注記 *1: 基準床レベルを示す。
 *2: 下記に示す。
 *3: 基準地震動 S_s による基準床レベルの設計用床応答曲線を入力地震動とする。

固有周期 (A)-1

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.134	6	0.074
2	0.116	7	0.071
3	0.100	8	0.066
4	0.081	21	0.052
5	0.076	22	0.050

固有周期 (A)-2

次数	固有周期 (s)	次数	固有周期 (s)
1	0.135	6	0.066
2	0.121	7	0.063
3	0.099	8	0.061
4	0.078	15	0.050
5	0.073	16	0.049

I.2 機器要目

記号	支持構造物 (ペレット一時保管設備遮蔽扉-1)					支持構造物 (ペレット一時保管設備遮蔽扉-2)				
	A_s	A_{ss}	Z_s	E_s	F^*	A_s	A_{ss}	Z_s	E_s	F^*
	(mm^2)	(mm^2)	(mm^3)	(MPa)	(MPa)	(mm^2)	(mm^2)	(mm^3)	(MPa)	(MPa)
(A)	706.8	530.0	2.650×10^3	1.990×10^5	650	706.8	530.0	2.650×10^3	1.990×10^5	650

I.3 結論

記号	支持構造物 (ペレット一時保管設備遮蔽扉-1)										支持構造物 (ペレット一時保管設備遮蔽扉-2)									
	材料	Ss									材料	Ss								
		せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)				せん断			組合せ(圧縮+曲げ)			組合せ(引張+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値		計算式	算出応力 τ	許容応力 $1.5 f_s^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値
(A)	SCM440H	3.1.2-1	25	375	3.1.2-1	0.36	1	3.1.2-1	-	1	SCM440H	3.1.2-1	26	375	3.1.2-1	0.39	1	3.1.2-1	-	1

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

Ⅲ－２－３

水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価

目 次

Ⅲ-2-3-1 建物・構築物 今回対象なし

Ⅲ-2-3-2 機器・配管系

Ⅲ－2－3－2
機器・配管系

目 次

- Ⅲ－２－３－２－１ 機器・配管系の水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価

Ⅲ－2－3－2－1

機器・配管系の水平2方向及び鉛直
方向地震力の組合せに関する影響評
価

Ⅲ－２－３－２－１

機器・配管系の水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－２－３－２－１ 機器・配管系の水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価」による。

Ⅲ－2－3－2－1 別紙1
機器・配管系の水平2方向及び
鉛直方向地震力の組合せに関する
影響評価結果

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響検討対象設備及び評価部位の抽出結果	2
3. 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響評価結果	5

1. 概要

本資料は、「Ⅲ-1-1-7 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針」及び「Ⅲ-1-2-2-1 機器の耐震計算に関する基本方針」に基づき、水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せの影響に対する評価部位の抽出結果及び影響評価結果について説明するものである。

影響評価に用いる従来評価結果は、「Ⅲ-2-1-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書」、「Ⅲ-2-2-2-2-1 定式化された計算式を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書」及び「Ⅲ-2-2-2-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書」による。

2. 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響検討対象設備及び評価部位の抽出結果

水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響検討対象設備の形状ごとの分類を第2-1表に示し、影響評価を行う評価項目又は評価部位の抽出結果を第2-2表に示す。

第2-1表 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せの影響検討対象設備

水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響に対する形状ごとの分類*1	機器・配管系の耐震性に関する計算書における分類*2	評価項目又は評価部位
矩形設備	支持構造物 (ボルト以外)	支持構造物
		缶体
	支持構造物 (ボルト)	ボルト
移動式設備	支持構造物 (ボルト以外)	フレーム
		レール
		転倒防止装置

*1：水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響は、形状分類に応じて整理する。

*2：以下の図書を示す。

- ・「Ⅲ-2-1-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書」
- ・「Ⅲ-2-2-2-2-1 定式化された計算式を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書」
- ・「Ⅲ-2-2-2-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書」

第 2-2 表 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響評価部位の抽出結果(1/2)

水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響に対する形状ごとの分類*1	評価項目又は評価部位*2		応力分類	(1)水平 2 方向の地震力が重複する形状	(2)水平 2 方向の振動モードによりねじれ振動が生じる形状	(3)水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せにより応力が増加する形状(応答軸が明確)	影響評価の要否 (1)又は(2)で△かつ(3)で○の場合は影響評価を実施
				△：水平 2 方向地震力が重複する可能性有 ×：重複しない	△：ねじれ振動発生の可能性有 ×：発生しない －：対象外*3	○：応答軸が明確ではない ×：応答軸が明確 －：対象外*4	影響評価実施又は影響軽微
矩形設備	支持構造物 (ボルト以外)	支持構造物	せん断	△	－	×	影響軽微
			組合せ	△	－	×	
	缶体	組合せ応力	×	×	－		
	支持構造物 (ボルト)	ボルト	引張	△	－	×	
			せん断	△	－	×	

第 2-2 表 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響評価部位の抽出結果(2/2)

水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響に対する形状ごとの分類*1	評価項目又は評価部位*2		応力分類	(1)水平 2 方向の地震力が重複する形状	(2)水平 2 方向の振動モードによりねじれ振動が生じる形状	(3)水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せにより応力が増加する形状(応答軸が明確)	影響評価の要否 (1)又は(2)で△かつ(3)で○の場合は影響評価を実施
				△：水平 2 方向地震力が重複する可能性有 ×：重複しない	△：ねじれ振動発生の可能性有 ×：発生しない －：対象外*3	○：応答軸が明確ではない ×：応答軸が明確 －：対象外*4	影響評価実施 又は影響軽微
移動式設備	支持構造物 (ボルト以外)	フレーム	せん断	×	△	×	影響軽微
			組合せ	×	△	×	
		レール	せん断	×	△	×	
			組合せ	×	△	×	
		転倒防止装置	せん断	×	△	×	
			組合せ	×	△	×	

*1：水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響は、形状分類に応じて整理する。

*2：評価項目又は評価部位は第 2-1 表による。

*3：(1)の確認において影響の可能性がある場合、(2)の確認は対象外とする。

*4：(1)及び(2)の確認において双方とも影響軽微の場合、水平 2 方向の影響は軽微となるため、(3)の確認は対象外とする。

3. 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響評価結果
今回の申請範囲については影響軽微であり，設備が有する耐震性に影響のないことを確認した。

Ⅲ－２－４ 耐震性に関する影響評価

目 次

Ⅲ－２－４－１ 一関東評価用地震動(鉛直)に関する影響評価

Ⅲ－２－４－２ 隣接建屋に関する影響評価

Ⅲ－2－4－1

一 関東評価用地震動(鉛直)に関する 影響評価

目 次

Ⅲ-2-4-1-1 建物・構築物 今回対象なし

Ⅲ-2-4-1-2 機器・配管系

Ⅲ－2－4－1－2
機器・配管系

目 次

Ⅲ－２－４－１－２－１ 機器・配管系の一関東評価用地震動（鉛直）に関する影響評価

Ⅲ－2－4－1－2－1
機器・配管系の一関東評価用地震動
(鉛直)に関する影響評価

Ⅲ－２－４－１－２－１
機器・配管系の一関東評価用地震動(鉛直)に関する影響評価

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－２－４－１－２－１ 機器・配管系の一関東評価用地震動(鉛直)に関する影響評価」による。

Ⅲ－2－4－1－2－1 別紙1
燃料加工建屋の一関東評価用地震動
(鉛直) に関する影響評価結果

1. 概要

本計算書は、燃料加工建屋において、「Ⅲ-2-4-1-2-1 機器・配管系の一関東評価用地震動（鉛直）に関する影響評価」に基づき、一関東（鉛直）に関する影響評価結果を示すものである。

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.58	1	1次 0.099 2次 0.096 3次 0.093 4次 0.082 5次 0.078	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.79	1	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-3	缶体	圧縮+ 曲げ	0.71	1	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-4	缶体	組合せ 応力	160	205	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-5	缶体	圧縮+ 曲げ	0.81	1	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-6	缶体	引張+ 曲げ	0.60	1	1次 0.098 2次 0.095 3次 0.082 4次 0.077 5次 0.075	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.73	1	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.82	0.82	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.72	1	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.072 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.80	0.80	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-3	缶体	引張+ 曲げ	0.72	1	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.80	0.80	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.65	1	1次 0.134 2次 0.116 3次 0.100 4次 0.081 5次 0.076	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.71	1	(1次 0.112) 2次 0.100 3次 0.099 4次 0.074 5次 0.071	1.99	2.15	1.09	-	-	0.78	0.78	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-3	缶体	引張+ 曲げ	0.71	1	(1次 0.112) 2次 0.100 3次 0.099 4次 0.074 5次 0.071	1.99	2.15	1.09	-	-	0.78	0.78	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-4	缶体	組合応 力	146	205	1次 0.135 2次 0.121 3次 0.099 4次 0.078 5次 0.073	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.77	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.83	0.83	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.77	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.83	0.83	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-3	缶体	引張+ 曲げ	0.77	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.83	0.83	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-4	缶体	引張+ 曲げ	0.77	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.83	0.83	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-5	缶体	引張+ 曲げ	0.78	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.84	0.84	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-1-2-2-1	スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1	内装架台	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.67	1	1次 0.110 2次 0.109 3次 0.093 4次 0.086 5次 0.083	1.91	2.11	1.11	-	-	0.75	0.75	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2	内装架台	圧縮+ 曲げ	0.69	1	(1次 0.110) (2次 0.110) 3次 0.094 4次 0.086 5次 0.083	1.93	2.13	1.11	-	-	0.77	0.77	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.84	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.95	0.95	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.83	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.93	0.93	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-3	缶体	引張+ 曲げ	0.83	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.93	0.93	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4	缶体	引張+ 曲げ	0.83	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.93	0.93	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-5	缶体	引張+ 曲げ	0.84	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.95	0.95	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.39	1	(1次 0.114) 2次 0.089 3次 0.074 4次 0.074 5次 0.072	2.06	2.16	1.05	-	-	0.41	0.41	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.63	1	(1次 0.114) 2次 0.089 3次 0.075 4次 0.074 5次 0.063	2.06	2.16	1.05	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-2-2-2-2-1-1	粉末一時保管装置 容器冷却用ブロワ1	取付ボルト(ファン)	引張	10	153	0.05 以下	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	粉末一時保管装置 容器冷却用ブロワ2	取付ボルト(ファン)	引張	10	153	0.05 以下	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	粉末一時保管装置 冷却系切替ダンパ1 (ゲートレバースタンド)	支持構造物(ボルト等)	引張	13	153	0.010	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	粉末一時保管装置 冷却系切替ダンパ2 (ゲートレバースタンド)	支持構造物(ボルト等)	引張	14	153	0.010	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-1	支持構造物(ボルト等)	引張	63	153	0.032	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-2	支持構造物(ボルト等)	引張	63	153	0.032	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-3	支持構造物(ボルト等)	引張	63	153	0.032	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-4	支持構造物(ボルト等)	引張	67	153	0.032	1.99	2.15	1.09	-	-	74	0.49	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-5	支持構造物(ボルト等)	引張	67	153	0.032	1.99	2.15	1.09	-	-	74	0.49	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-6	支持構造物(ボルト等)	引張	67	153	0.032	1.99	2.15	1.09	-	-	74	0.49	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価						(5)詳細評価				
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-7	支持構造物(ボルト等)	引張	67	153	0.032	1.99	2.15	1.09	-	-	74	0.49	-	-	-	-
III-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-8	支持構造物(ボルト等)	引張	78	153	0.032	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-1-1	防火シャッター-1	支持構造物(ボルト等)	引張	53	462	0.025	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-1-1	防火シャッター-2	支持構造物(ボルト等)	引張	53	462	0.025	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-1-1	スクラップ保管容器受渡装置-1	支持構造物(ボルト等)	せん断	63	118	0.049	1.91	2.11	1.11	-	-	70	0.60	-	-	-	-
III-2-2-2-2-1-1	スクラップ保管容器受渡装置-2	支持構造物(ボルト等)	せん断	64	118	0.049	1.93	2.13	1.11	-	-	72	0.62	-	-	-	-
III-2-2-2-2-1-1	ペレット保管容器受渡装置-1	支持構造物(ボルト等)	引張	45	153	0.035	2.06	2.16	1.05	-	-	48	0.32	-	-	-	-
III-2-2-2-2-1-1	ペレット保管容器受渡装置-2	支持構造物(ボルト等)	せん断	45	118	0.020	2.06	2.16	1.05	-	-	48	0.41	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 1	支持構造物(粉末一時保管装置 1)	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 2	支持構造物(粉末一時保管装置 2)	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2											
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価			
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比	
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比			
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 3	支持構造物（粉末一時保管装置 3）	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 4	支持構造物（粉末一時保管装置 4）	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 5	支持構造物（粉末一時保管装置 5）	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 6	支持構造物（粉末一時保管装置 6）	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 7	支持構造物（粉末一時保管装置 7）	圧縮+曲げ	0.12	1	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 8	支持構造物（粉末一時保管装置 8）	圧縮+曲げ	0.12	1	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 9	支持構造物（粉末一時保管装置 9）	圧縮+曲げ	0.12	1	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 10	支持構造物（粉末一時保管装置 10）	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 11	支持構造物（粉末一時保管装置 11）	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 12	支持構造物 (粉末一時 保管装置 12)	圧縮+ 曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-1	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -1)	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.42	1	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.47	0.47	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-2	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -2)	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.42	1	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.072 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.47	0.47	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-3	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -3)	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.42	1	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.47	0.47	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-1	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 1)	圧縮+ 曲げ	0.64	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.69	0.69	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-2	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 2)	圧縮+ 曲げ	0.63	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.68	0.68	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-3	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 3)	圧縮+ 曲げ	0.63	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.68	0.68	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-4	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 4)	圧縮+ 曲げ	0.63	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.68	0.68	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-5	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 5)	圧縮+ 曲げ	0.63	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.68	0.68	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-1	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-1)	圧縮+ 曲げ	0.75	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.84	0.84	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-2	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-2)	圧縮+ 曲げ	0.75	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.84	0.84	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-3	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-3)	圧縮+ 曲げ	0.75	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.84	0.84	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-4	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-4)	圧縮+ 曲げ	0.75	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.84	0.84	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-5	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-5)	圧縮+ 曲げ	0.75	1	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.84	0.84	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-3	粉末一時保管搬送装置	粉末一時保管搬送装置 取付ボルト (グローブボックス-3)	引張	161	204	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-3	焼結ボート入出庫装置-1	支持構造物 (焼結ボート入出庫装置-1(構造フレーム))	圧縮+ 曲げ 引張 + 曲 げ	0.82	1	1次 0.134 2次 0.116 3次 0.100 4次 0.081 5次 0.076	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-3	焼結ボート入出庫装置-2	支持構造物 (焼結ボート入出庫装置-2(構造フレーム))	圧縮+ 曲げ 引張 + 曲 げ	0.80	1	1次 0.135 2次 0.121 3次 0.099 4次 0.078 5次 0.073	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-2- 2-2-2- 3	スクラップ保管容器 入出庫装置	支持構造 物(スク ラップ保 管容器入 出庫装置 (構造フ レーム))	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.65	1	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.70	0.70	-	-	-	-
III-2-2- 2-2-2- 3	ペレット保管容器 入出庫装置	支持構造 物(ペレ ット保管 容器入出 庫装置 (構造フ レーム))	圧縮+ 曲げ	0.63	1	(1次 0.114) 2次 0.089 3次 0.075 4次 0.074 5次 0.063	2.06	2.16	1.05	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-
III-2-2- 2-2-2- 4	遮蔽扉 (ペレット一時保管設備)	支持構造 物(ペレ ット一時 保管設備 遮蔽扉- 2)	圧縮+ 曲げ	0.39	1	1次 0.135 2次 0.121 3次 0.099 4次 0.078 5次 0.073	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-

注記 *1:算出応力及び許容応力については、評価内容に応じて次のとおり読み替えることとする。「ダクトの標準支持間隔:算出応力(モーメント比),許容応力(判定値)」,「組合せ:算出応力(応力比),許容応力(判定値)」

*2:影響評価番号については、本紙に記載の「第3-1図 一関東評価用地震動(鉛直)影響評価対応フロー」に則った番号を示す。

*3:固有周期欄については5次までの固有周期を示し、5次までに剛領域となった場合は、剛領域となった次数まで示す。また、(3)及び(4)については、最大の加速度比率の次数及び固有周期を()内に示す。

*4:算出応力については、注記*1の評価内容に応じて読み替えることとし、応力比については、評価内容に応じた許容値との比率を示す。

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(機能維持)(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書						影響評価結果*1											
添付書類番号	機器名称	部材	評価用 加速度 (G)		機能 確認済 加速度 (G)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		評価用 加速度 (G)	応力比
												評価用 加速度 (G)	応力比	評価用 加速度 (G)	応力比		
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-1	窓板部	鉛直	0.48	■	1次 0.099 2次 0.096 3次 0.093 4次 0.082 5次 0.078	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-2	窓板部	鉛直	0.48	■	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-3	窓板部	鉛直	0.48	■	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-4	窓板部	鉛直	0.69	■	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-5	窓板部	鉛直	0.77	■	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-6	搬出入口 (大)	鉛直	0.48	■	1次 0.098 2次 0.095 3次 0.082 4次 0.077 5次 0.075	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-1	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-2	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.072 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-3	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 5次 0.063	1.91	2.11	1.11	-	-	0.54	■	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(機能維持)(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書						影響評価結果*1											
添付書類番号	機器名称	部材	評価用 加速度 (G)		機能 確認済 加速度 (G)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		評価用 加速度 (G)	応力比
												評価用 加速度 (G)	応力比	評価用 加速度 (G)	応力比		
III-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-1	メンテナ ンス ポート	鉛直	0.48	■	1次 0.134 2次 0.116 3次 0.100 4次 0.081 5次 0.076	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-2	コネクタ 部(給電端 子)	鉛直	0.72	■	(1次 0.112) 2次 0.100 3次 0.099 4次 0.074 5次 0.071	1.99	2.15	1.09	-	-	0.79	■	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-3	コネクタ 部(給電端 子)	鉛直	0.72	■	(1次 0.112) 2次 0.100 3次 0.099 4次 0.074 5次 0.071	1.99	2.15	1.09	-	-	0.79	■	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-4	窓板部	鉛直	0.48	■	1次 0.135 2次 0.121 3次 0.099 4次 0.078 5次 0.073	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-1	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.013) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.52	■	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-2	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.52	■	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-3	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.52	■	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-4	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.52	■	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-5	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058	2.02	2.16	1.07	-	-	0.52	■	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(機能維持)(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書						影響評価結果*1											
添付書類番号	機器名称	部材	評価用 加速度 (G)		機能 確認済 加速度 (G)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		評価用 加速度 (G)	応力比
												評価用 加速度 (G)	応力比	評価用 加速度 (G)	応力比		
Ⅲ-2-1-2-2-1	スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1	窓板部	鉛直	0.48	■	1次 0.110 2次 0.109 3次 0.093 4次 0.086 5次 0.083	1.91	2.11	1.11	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.110) (2次 0.110) 3次 0.094 4次 0.086 5次 0.083	1.93	2.13	1.11	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-3	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-5	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	0.54	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1	搬出入口(大)	鉛直	0.48	■	(1次 0.114) 2次 0.089 3次 0.074 4次 0.074 5次 0.072	2.06	2.16	1.05	-	-	0.51	■	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(機能維持)(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書						影響評価結果*1											
添付書類番号	機器名称	部材	評価用 加速度 (G)		機能 確認済 加速度 (G)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		評価用 加速度 (G)	応力比
												評価用 加速度 (G)	応力比	評価用 加速度 (G)	応力比		
Ⅲ-2-1- 2-2-1	ペレット保管容器受渡装置 グローブボックス-2	窓板部	鉛直	0.48	■	(1次 0.114) 2次 0.089 3次 0.075 4次 0.074 5次 0.063	2.06	2.16	1.05	-	-	0.51	■	-	-	-	-

注記 *1: 本紙に記載の「第3-1図 一関東評価用地震動(鉛直)の影響を考慮した影響評価対応フロー」に基づき実施した影響評価の対応項目に対する結果を示す。

*2: 固有周期欄については5次までの固有周期を示し、5次までに剛領域となった場合は、剛領域となった次数まで示す。また、(3)及び(4)については、最大の加速度比率の次数及び固有周期を()内に示す。

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(変位量評価)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1						影響評価結果*1										
添付書類番号	添付書類名称	部材	発生変位 (mm)	許容変位(mm)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
						設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位
											算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位	算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位		
Ⅲ-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-1	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -1)	行方向 6.0	行方向 95	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076	1.91	2.11	1.11	-	-	行方向 6.7	行方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 2.8	段方向 57	4次 0.073 5次 0.063						段方向 3.2	段方向 0.06				
Ⅲ-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-2	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -2)	行方向 5.8	行方向 95	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076	1.91	2.11	1.11	-	-	行方向 6.5	行方向 0.07	-	-	-	-
			段方向 2.8	段方向 57	4次 0.072 5次 0.063						段方向 3.2	段方向 0.06				
Ⅲ-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-3	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -3)	行方向 6.0	行方向 95	(1次 0.109) 2次 0.101 3次 0.076	1.91	2.11	1.11	-	-	行方向 6.7	行方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 2.8	段方向 57	4次 0.073 5次 0.063						段方向 3.2	段方向 0.06				
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-1	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 1)	列方向 6.2	列方向 85	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068	2.02	2.16	1.07	-	-	列方向 6.7	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45	4次 0.066 5次 0.058						段方向 4.4	段方向 0.10				
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-1	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚-1 及び製品ペ レット貯蔵 棚-1)*3	8.4	660	1次 (0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	9.5	0.02	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-2	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 2)	列方向 5.9	列方向 85	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068	2.02	2.16	1.07	-	-	列方向 6.4	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45	4次 0.066 5次 0.058						段方向 4.4	段方向 0.10				
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-2	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚-2 及び製品ペ レット貯蔵 棚-2)*3	8.4	660	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	9.5	0.02	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(変位量評価)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1						影響評価結果*1										
添付書類番号	添付書類名称	部材	発生変位 (mm)	許容変位(mm)	固有周期 (s)*2	簡易評価					(5)詳細評価					
						設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位
											算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位	算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位		
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-3	支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-3)	列方向 5.9	列方向 85	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068	2.02	2.16	1.07	-	-	列方向 6.4	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45	4次 0.066 5次 0.058						段方向 4.4	段方向 0.10				
		支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-3 及び製品ペレット貯蔵棚-3)*3	8.4	660	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	9.5	0.02	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-4	支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-4)	列方向 5.9	列方向 85	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068	2.02	2.16	1.07	-	-	列方向 6.4	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45	4次 0.066 5次 0.058						段方向 4.4	段方向 0.10				
		支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-4 及び製品ペレット貯蔵棚-4)*3	8.4	660	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	9.5	0.02	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-5	支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-5)	列方向 6.1	列方向 85	(1次 0.113) 2次 0.093 3次 0.068	2.02	2.16	1.07	-	-	列方向 6.6	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45	4次 0.066 5次 0.058						段方向 4.4	段方向 0.10				
		支持構造物 (スクラップ貯蔵棚-5 及び製品ペレット貯蔵棚-5)*3	8.5	660	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	9.6	0.02	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(変位量評価)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1.1 配管系の耐震支持方針*1						影響評価結果*1										
添付書類番号	添付書類名称	部材	発生変位 (mm)	許容変位(mm)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
						設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位
											算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位	算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位		
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-1	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-1)	列方向 6.6	列方向 85	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	列方向 7.4	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34							段方向 4.0	段方向 0.12				
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-2	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-2)	列方向 6.5	列方向 85	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	列方向 7.3	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34							段方向 4.0	段方向 0.12				
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-3	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-3)	列方向 6.5	列方向 85	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	列方向 7.3	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34							段方向 4.0	段方向 0.12				
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-4	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-4)	列方向 6.5	列方向 85	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	列方向 7.3	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34							段方向 4.0	段方向 0.12				
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-5	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-5)	列方向 6.7	列方向 85	(1次 0.108) 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.88	2.09	1.12	-	-	列方向 7.6	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34							段方向 4.0	段方向 0.12				

注記 *1：影響評価番号については、本紙に記載の「第3-1図 一関東評価用地震動（鉛直）影響評価対応フロー」に則った番号を示す。

*2：固有周期欄については5次までの固有周期を示し、5次までに剛領域となった場合は、剛領域となった次数まで示す。また、(3)及び(4)については、最大の加速度比率の次数及び固有周期を()内に示す。

*3：加速度比率が大きい設備の値を用いる。

Ⅲ－2－4－2

隣接建屋に関する影響評価

目 次

Ⅲ-2-4-2-1 建物・構築物 今回対象なし

Ⅲ-2-4-2-2 機器・配管系

Ⅲ－2－4－2－2
機器・配管系

目 次

Ⅲ－２－４－２－２－１ 機器・配管系の隣接建屋に関する影響評価

Ⅲ－2－4－2－2－1
機器・配管系の隣接建屋に関する
影響評価

Ⅲ－２－４－２－２－１
機器・配管系の隣接建屋に関する影響評価

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－２－４－２－２－１ 機器・配管系の隣接建屋に関する影響評価」による。

Ⅲ－2－4－2－2－1 別紙1
機器・配管系の隣接建屋に関する影
響評価結果

1. 概要

本計算書は、燃料加工建屋において、「Ⅲ-2-4-2-2-1 機器・配管系の隣接建屋に関する影響評価」に基づき、隣接建屋に関する影響評価結果を示すものである。

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.58	1	1次 0.099 2次 0.096 3次 0.093 4次 0.082 5次 0.078 (14次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.61	0.61	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.79	1	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081 (15次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.83	0.83	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-3	缶体	圧縮+ 曲げ	0.71	1	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081 (16次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.75	0.75	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-4	缶体	組合応 力	160	205	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082 (21次 0.051)	2.10	2.17	1.04	-	-	167	0.82	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-5	缶体	圧縮+ 曲げ	0.81	1	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083 (15次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	0.86	0.86	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-6	缶体	引張+ 曲げ	0.60	1	1次 0.098 2次 0.095 3次 0.082 4次 0.077 5次 0.075 (11次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.63	0.63	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
Ⅲ-2-1-2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.73	1	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.77	0.77	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.72	1	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.072 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.76	0.76	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-3	缶体	引張+ 曲げ	0.72	1	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.76	0.76	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.65	1	(1次 0.134) 2次 0.116 3次 0.100 4次 0.081 5次 0.076	3.15	3.56	1.13	-	-	0.74	0.74	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.71	1	1次 0.112 2次 0.100 3次 0.099 4次 0.074 5次 0.071 (8次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	0.75	0.75	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-3	缶体	引張+ 曲げ	0.71	1	1次 0.112 2次 0.100 3次 0.099 4次 0.074 5次 0.071 (8次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	0.75	0.75	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-4	缶体	組合 応力	146	205	(1次 0.135) 2次 0.121 3次 0.099 4次 0.078 5次 0.073	3.07	3.46	1.13	-	-	165	0.81	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
Ⅲ-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.77	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.81	0.81	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.77	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.81	0.81	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-3	缶体	引張+ 曲げ	0.77	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.81	0.81	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-4	缶体	引張+ 曲げ	0.77	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.81	0.81	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-5	缶体	引張+ 曲げ	0.78	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.82	0.82	-	-	-	-
Ⅲ-2-1-2-2-1	スクラップ保管容器受渡装 置グローブボックス-1	内装架台	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.67	1	1次 0.110 2次 0.109 3次 0.093 4次 0.086 5次 0.083 (18次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.71	0.71	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-1-2-2-1	スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス-2	内装架台	圧縮+ 曲げ	0.69	1	1次 0.110 2次 0.110 3次 0.094 4次 0.086 5次 0.083 (11次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.73	0.73	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.84	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.89	0.89	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.83	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.88	0.88	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-3	缶体	引張+ 曲げ	0.83	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.88	0.88	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-4	缶体	引張+ 曲げ	0.83	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.88	0.88	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-5	缶体	引張+ 曲げ	0.84	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.89	0.89	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	ペレット保管容器受渡装置 グローブボックス-1	缶体	引張+ 曲げ	0.39	1	1次 0.114 2次 0.089 3次 0.074 4次 0.074 5次 0.072 (6次 0.062)	1.90	1.97	1.04	-	-	0.41	0.41	-	-	-	-
III-2-1-2-2-1	ペレット保管容器受渡装置 グローブボックス-2	缶体	引張+ 曲げ	0.63	1	1次 0.114 2次 0.089 3次 0.075 4次 0.074 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	粉末一時保管装置 容器冷却用ブロウ1	取付ボルト (ファン)	引張	10	153	0.05 以下	2.10	2.19	1.05	-	-	11	0.08	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	粉末一時保管装置 容器冷却用ブロウ2	取付ボルト (ファン)	引張	10	153	0.05 以下	2.10	2.19	1.05	-	-	11	0.08	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	粉末一時保管装置 冷却系切替ダンパ1 (ゲートレバースタンド)	支持構造 物(ボルト等)	引張	13	153	0.010	2.10	2.19	1.05	-	-	14	0.10	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	粉末一時保管装置 冷却系切替ダンパ2 (ゲートレバースタンド)	支持構造 物(ボルト等)	引張	14	153	0.010	2.10	2.19	1.05	-	-	15	0.10	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-1	支持構造 物(ボルト等)	引張	63	153	0.032	3.15	3.56	1.13	-	-	72	0.48	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-2	支持構造 物(ボルト等)	引張	63	153	0.032	3.15	3.56	1.13	-	-	72	0.48	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-3	支持構造 物(ボルト等)	引張	63	153	0.032	3.15	3.56	1.13	-	-	72	0.48	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-4	支持構造 物(ボルト等)	引張	67	153	0.032	1.90	1.99	1.05	-	-	71	0.47	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-5	支持構造 物(ボルト等)	引張	67	153	0.032	1.90	1.99	1.05	-	-	71	0.47	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-6	支持構造物(ボルト等)	引張	67	153	0.032	1.90	1.99	1.05	-	-	71	0.47	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-7	支持構造物(ボルト等)	引張	67	153	0.032	1.90	1.99	1.05	-	-	71	0.47	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	焼結ボート受渡装置-8	支持構造物(ボルト等)	引張	78	153	0.032	3.07	3.46	1.13	-	-	89	0.59	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	防火シャッター-1	支持構造物(ボルト等)	引張	53	462	0.025	3.15	3.56	1.13	-	-	60	0.13	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	防火シャッター-2	支持構造物(ボルト等)	引張	53	462	0.025	3.07	3.46	1.13	-	-	60	0.13	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	スクラップ保管容器受渡装置-1	支持構造物(ボルト等)	せん断	63	118	0.049	2.10	2.19	1.05	-	-	67	0.57	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	スクラップ保管容器受渡装置-2	支持構造物(ボルト等)	せん断	64	118	0.049	1.90	1.98	1.05	-	-	68	0.58	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	ペレット保管容器受渡装置-1	支持構造物(ボルト等)	引張	45	153	0.035	1.90	1.97	1.04	-	-	47	0.31	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-1-1	ペレット保管容器受渡装置-2	支持構造物(ボルト等)	せん断	45	118	0.020	1.90	1.98	1.05	-	-	48	0.41	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 1	支持構造物(粉末一時保管装置 1)	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081 (15次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 2	支持構造物(粉末一時保管装置 2)	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081 (15次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 3	支持構造物(粉末一時保管装置 3)	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081 (15次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 4	支持構造物(粉末一時保管装置 4)	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081 (16次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 5	支持構造物(粉末一時保管装置 5)	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081 (16次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 6	支持構造物(粉末一時保管装置 6)	圧縮+曲げ	0.14	1	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081 (16次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 7	支持構造物(粉末一時保管装置 7)	圧縮+ 曲げ	0.12	1	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082 (21次 0.051)	2.10	2.17	1.04	-	-	0.13	0.13	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 8	支持構造物(粉末一時保管装置 8)	圧縮+ 曲げ	0.12	1	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082 (21次 0.051)	2.10	2.17	1.04	-	-	0.13	0.13	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 9	支持構造物(粉末一時保管装置 9)	圧縮+ 曲げ	0.12	1	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082 (21次 0.051)	2.10	2.17	1.04	-	-	0.13	0.13	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 10	支持構造物(粉末一時保管装置 10)	圧縮+ 曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083 (15次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置 11	支持構造物(粉末一時保管装置 11)	圧縮+ 曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083 (15次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	粉末一時保管装置-12	支持構造物(粉末一時保管装置 12)	圧縮+ 曲げ	0.14	1	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083 (15次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	0.15	0.15	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-1	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -1)	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.42	1	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.45	0.45	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-2	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -2)	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.42	1	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.072 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.45	0.45	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-3	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -3)	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.42	1	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.45	0.45	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-1	支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚- 1)	圧縮+ 曲げ	0.64	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.68	0.68	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-2	支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚- 2)	圧縮+ 曲げ	0.63	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-3	支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚- 3)	圧縮+ 曲げ	0.63	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-4	支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚- 4)	圧縮+ 曲げ	0.63	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-5	支持構造物(スクラップ貯蔵棚-5)	圧縮+曲げ	0.63	1	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-1	支持構造物(製品ペレット貯蔵棚-1)	圧縮+曲げ	0.75	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.79	0.79	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-2	支持構造物(製品ペレット貯蔵棚-2)	圧縮+曲げ	0.75	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.79	0.79	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-3	支持構造物(製品ペレット貯蔵棚-3)	圧縮+曲げ	0.75	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.79	0.79	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-4	支持構造物(製品ペレット貯蔵棚-4)	圧縮+曲げ	0.75	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.79	0.79	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-5	支持構造物(製品ペレット貯蔵棚-5)	圧縮+曲げ	0.75	1	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	0.79	0.79	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-3	粉末一時保管搬送装置	粉末一時保管搬送装置取付ボルト(グローブボックス-3)	引張	161	204	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081 (16次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	170	0.84	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-3	焼結ボート入出庫装置-1	支持構造物(焼結ボート入出庫装置-1(構造フレーム))	圧縮+曲げ 引張+曲げ	0.82	1	(1次 0.134) 2次 0.116 3次 0.100 4次 0.081 5次 0.076	3.15	3.56	1.13	-	-	0.93	0.93	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書 III-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
III-2-2-2-2-2-3	焼結ボート入出庫装置-2	支持構造物 (焼結ボート入出庫装置-2(構造フレーム))	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.80	1	(1次 0.135) 2次 0.121 3次 0.099 4次 0.078 5次 0.073	3.07	3.46	1.13	-	-	0.91	0.91	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-3	スクラップ保管容器 入出庫装置	支持構造物 (スクラップ保管容器 入出庫装置 (構造フレーム))	圧縮+ 曲げ 引張+ 曲げ	0.65	1	1次 0.013 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (18次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	0.69	0.69	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-3	ペレット保管容器 入出庫装置	支持構造物 (ペレット 保管容器入 出庫装置 (構造フレーム))	圧縮+ 曲げ	0.63	1	1次 0.114 2次 0.089 3次 0.075 4次 0.074 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-
III-2-2-2-2-2-4	遮蔽扉 (ペレット一時保管設備)	支持構造物 (ペレット 一時保管設 備遮蔽扉- 2)	圧縮+ 曲げ	0.39	1	(1次 0.135) 2次 0.121 3次 0.099 4次 0.078 5次 0.073	3.07	3.46	1.13	-	-	0.45	0.45	-	-	-	-

注記 *1:算出応力及び許容応力については、評価内容に応じて次のとおり読み替えることとする。「ダクトの標準支持間隔:算出応力(モーメント比),許容応力(判定値)」,「組合せ:算出応力(応力比),許容応力(判定値)」

*2:影響評価番号については、本紙に記載の「第3-1図 隣接影響評価用地震動(鉛直)影響評価対応フロー」に則った番号を示す。

*3:固有周期欄については5次までの固有周期を示し、5次までに剛領域となった場合は、剛領域となった次数まで示す。また、(3)及び(4)については、最大の加速度比率の次数及び固有周期を()内に示す。

*4:算出応力については、注記*1の評価内容に応じて読み替えることとし、応力比については、評価内容に応じた許容値との比率を示す。

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(機能維持)(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書						影響評価結果*1											
添付書類番号	機器名称	部材	評価用 加速度 (G)		機能 確認済 加速度 (G)	固有周期 (s)*2	簡易評価							(5)詳細評価			
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		評価用 加速度 (G)	応力比
												評価用 加速度 (G)	応力比	評価用 加速度 (G)	応力比		
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-1	窓板部	水平	2.36	■	1次 0.099 2次 0.096 3次 0.093 4次 0.082 5次 0.078 (14次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	2.48	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-2	窓板部	水平	3.64	■	1次 0.093 2次 0.089 3次 0.086 4次 0.082 5次 0.081 (15次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	3.83	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-3	窓板部	水平	3.30	■	1次 0.098 2次 0.093 3次 0.090 4次 0.085 5次 0.081 (16次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	3.47	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-4	窓板部	水平	3.92	■	1次 0.098 2次 0.091 3次 0.089 4次 0.083 5次 0.082 (21次 0.051)	2.10	2.17	1.04	-	-	4.08	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-5	窓板部	水平	4.36	■	1次 0.093 2次 0.090 3次 0.087 4次 0.084 5次 0.083 (15次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	4.58	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	粉末一時保管装置 グローブボックス-6	搬出入口 (大)	水平	1.36	■	1次 0.098 2次 0.095 3次 0.082 4次 0.077 5次 0.075 (11次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	1.43	■	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(機能維持)(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書						影響評価結果*1											
添付書類番号	機器名称	部材	評価用 加速度 (G)		機能 確認済 加速度 (G)	固有周期 (s)*2	簡易評価							(5)詳細評価			
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		評価用 加速度 (G)	応力比
												評価用 加速度 (G)	応力比	評価用 加速度 (G)	応力比		
III-2-1- 2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-1	窓板部	水平	2.58	■	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	2.71	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-2	窓板部	水平	2.57	■	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.072 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	2.70	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	ペレット一時保管棚 グローブボックス-3	窓板部	水平	2.58	■	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	2.71	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-1	メンテナ ンスポー ト	水平	2.67	■	(1次 0.134) 2次 0.116 3次 0.100 4次 0.081 5次 0.076	3.15	3.56	1.13	-	-	3.02	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-2	コネクタ 部(給電端 子)	水平	1.70	■	1次 0.112 2次 0.100 3次 0.099 4次 0.074 5次 0.071 (8次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	1.79	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-3	コネクタ 部(給電端 子)	水平	1.70	■	1次 0.112 2次 0.100 3次 0.099 4次 0.074 5次 0.071 (8次 0.064)	1.90	1.99	1.05	-	-	1.79	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	焼結ボート受渡装置 グローブボックス-4	窓板部	水平	3.24	■	(1次 0.135) 2次 0.121 3次 0.099 4次 0.078 5次 0.073	3.07	3.46	1.13	-	-	3.67	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-1	窓板部	水平	4.83	■	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	5.08	■	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(機能維持)(第六条)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書						影響評価結果*1											
添付書類番号	機器名称	部材	評価用 加速度 (G)		機能 確認済 加速度 (G)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		評価用 加速度 (G)	応力比
												評価用 加速度 (G)	応力比	評価用 加速度 (G)	応力比		
Ⅲ-2-1- 2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-2	窓板部	水平	4.79	■	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	5.03	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-3	窓板部	水平	4.79	■	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	5.03	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-4	窓板部	水平	4.79	■	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	5.03	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-5	窓板部	水平	4.86	■	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052) (7次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	5.11	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	スクラップ保管容器受渡装 置グローブボックス-1	窓板部	水平	2.83	■	1次 0.110 2次 0.109 3次 0.093 4次 0.086 5次 0.083 (18次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	2.98	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	スクラップ保管容器受渡装 置グローブボックス-2	窓板部	水平	2.84	■	1次 0.110 2次 0.110 3次 0.094 4次 0.086 5次 0.083 (11次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	2.99	■	-	-	-	-
Ⅲ-2-1- 2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-1	窓板部	水平	4.06	■	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	4.27	■	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(機能維持)(第六条)

III-2 耐震性に関する計算書						影響評価結果*1											
添付書類番号	機器名称	部材	評価用 加速度 (G)		機能 確認済 加速度 (G)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		評価用 加速度 (G)	応力比
												評価用 加速度 (G)	応力比	評価用 加速度 (G)	応力比		
III-2-1- 2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-2	窓板部	水平	4.01	■	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	4.22	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-3	窓板部	水平	4.01	■	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	4.22	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-4	窓板部	水平	4.01	■	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	4.22	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	製品ペレット貯蔵棚 グローブボックス-5	窓板部	水平	4.04	■	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	4.25	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	ペレット保管容器受渡装置 グローブボックス-1	搬出入口 (大)	水平	0.9	■	1次 0.114 2次 0.089 3次 0.074 4次 0.074 5次 0.072 (6次 0.062)	1.90	1.97	1.04	-	-	0.94	■	-	-	-	-
III-2-1- 2-2-1	ペレット保管容器受渡装置 グローブボックス-2	窓板部	水平	3.39	■	1次 0.114 2次 0.089 3次 0.075 4次 0.074 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	3.56	■	-	-	-	-

注記 *1: 本紙に記載の「第3-1図 隣接影響評価用地震動(鉛直)影響評価対応フロー」に基づき実施した影響評価の対応項目に対する結果を示す。

*2: 固有周期欄については5次までの固有周期を示し、5次までに剛領域となった場合は、剛領域となった次数まで示す。また、(3)及び(4)については、最大の加速度比率の次数及び固有周期を()内に示す。

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(変位量評価)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1						影響評価結果*1										
添付書類番号	添付書類名称	部材	発生変位 (mm)	許容変位 (mm)	固有周期 (s)*2	簡易評価					(5)詳細評価					
						設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位
											算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位	算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位		
Ⅲ-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-1	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -1)	行方向 6.0	行方向 95	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	行方向 6.3	行方向 0.07	-	-	-	-
			段方向 2.8	段方向 57							段方向 3.0	段方向 0.06				
Ⅲ-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-2	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -2)	行方向 5.8	行方向 95	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.072 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	行方向 6.1	行方向 0.07	-	-	-	-
			段方向 2.8	段方向 57							段方向 3.0	段方向 0.06				
Ⅲ-2-2-2-2-2	ペレット一時保管棚-3	支持構造物 (ペレット 一時保管棚 -3)	行方向 6.0	行方向 95	1次 0.109 2次 0.101 3次 0.076 4次 0.073 (5次 0.063)	1.90	1.98	1.05	-	-	行方向 6.3	行方向 0.07	-	-	-	-
			段方向 2.8	段方向 57							段方向 3.0	段方向 0.06				
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-1	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 1)	列方向 6.2	列方向 85	1次 0.013 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	列方向 6.6	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45							段方向 4.4	段方向 0.10				
		支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚-1 及び製品ペ レット貯蔵 棚-1)*3	8.4	660	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	8.9	0.02	-	-	-	-
Ⅲ-2-2-2-2-2	スクラップ貯蔵棚-2	支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚- 2)	列方向 5.9	列方向 85	1次 0.013 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 (6次 0.052)	2.10	2.19	1.05	-	-	列方向 6.2	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45							段方向 4.4	段方向 0.10				
		支持構造物 (スクラッ プ貯蔵棚-2 及び製品ペ レット貯蔵 棚-2)*3	8.4	660	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	8.9	0.02	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(変位量評価)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1						影響評価結果*1										
添付書類番号	添付書類名称	部材	発生変位 (mm)	許容変位 (mm)	固有周期 (s)*2	簡易評価								(5)詳細評価		
						設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位
											算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位	算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位		
Ⅲ-2-2- 2-2-2- 2	スクラップ貯蔵棚-3	支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚- 3)	列方向 5.9	列方向 85	1次 0.013 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 6次 0.052	2.10	2.19	1.05	-	-	列方向 6.2	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45	段方向 4.4						段方向 0.10					
		支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚-3 及び製品ペ レット貯蔵 棚-3)*3	8.4	660	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	8.9	0.02	-	-	-	-
Ⅲ-2-2- 2-2-2- 2	スクラップ貯蔵棚-4	支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚- 4)	列方向 5.9	列方向 85	1次 0.013 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 6次 0.052	2.10	2.19	1.05	-	-	列方向 6.2	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45	段方向 4.4						段方向 0.10					
		支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚-4 及び製品ペ レット貯蔵 棚-4)*3	8.4	660	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	8.9	0.02	-	-	-	-
Ⅲ-2-2- 2-2-2- 2	スクラップ貯蔵棚-5	支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚- 5)	列方向 6.1	列方向 85	1次 0.113 2次 0.093 3次 0.068 4次 0.066 5次 0.058 6次 0.052	2.10	2.19	1.05	-	-	列方向 6.5	列方向 0.08	-	-	-	-
			段方向 4.1	段方向 45	段方向 4.4						段方向 0.10					
		支持構造物 (スクラップ 貯蔵棚-5 及び製品ペ レット貯蔵 棚-5)*3	8.5	660	1次 0.108 2次 0.091 3次 0.073 4次 0.064 5次 0.062	1.90	1.99	1.05	-	-	9.0	0.02	-	-	-	-

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(変位量評価)

Ⅲ-2 耐震性に関する計算書 Ⅲ-1-1-1 配管系の耐震支持方針*1						影響評価結果*1										
添付書類番号	添付書類名称	部材	発生変位 (mm)	許容変位 (mm)	固有周期 (s)*2	簡易評価					(5)詳細評価					
						設計用 地震力 (G)	隣接影響 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位
											算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位	算出 変位 (mm)	算出変位/ 許容変位		
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-1	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-1)	列方向 6.6	列方向 85	1次 0.108	1.90	1.99	1.05	-	-	列方向 7.0	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34	2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062						段方向 3.7	段方向 0.11				
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-2	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-2)	列方向 6.5	列方向 85	1次 0.108	1.90	1.99	1.05	-	-	列方向 6.9	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34	2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062						段方向 3.7	段方向 0.11				
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-3	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-3)	列方向 6.5	列方向 85	1次 0.108	1.90	1.99	1.05	-	-	列方向 6.9	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34	2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062						段方向 3.7	段方向 0.11				
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-4	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-4)	列方向 6.5	列方向 85	1次 0.108	1.90	1.99	1.05	-	-	列方向 6.9	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34	2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062						段方向 3.7	段方向 0.11				
Ⅲ-2-2-2-2-2	製品ペレット貯蔵棚-5	支持構造物 (製品ペレット貯蔵棚-5)	列方向 6.7	列方向 85	1次 0.108	1.90	1.99	1.05	-	-	列方向 7.1	列方向 0.09	-	-	-	-
			段方向 3.5	段方向 34	2次 0.091 3次 0.073 (4次 0.064) 5次 0.062						段方向 3.7	段方向 0.11				

注記 *1: 影響評価番号については、本紙に記載の「第3-1 図 隣接影響評価用地震動(鉛直)影響評価対応フロー」に則った番号を示す。

*2: 固有周期欄については5次までの固有周期を示し、5次までに剛領域となった場合は、剛領域となった次数まで示す。また、(3)及び(4)については、最大の加速度比率の次数及び固有周期を()内に示す。

*3: 加速度比率が大きい設備の値を用いる。

Ⅲ－3

地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する説明書

目 次

- Ⅲ－３－１ 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震計算に関する基本方針
- Ⅲ－３－２ 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する計算書
- Ⅲ－３－３ 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
- Ⅲ－３－４ 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する影響評価

Ⅲ－3－1

地震時に単一ユニット間距離の確保
が必要な設備の耐震計算に関する基
本方針

Ⅲ－３－１
地震時に単一ユニット間距離の確保が
必要な設備の耐震計算に関する基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－３－１ 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震計算に関する基本方針」による。

Ⅲ－3－2

地震時に単一ユニット間距離の確保
が必要な設備の耐震性に関する計算
書

目 次

Ⅲ-3-2-1 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書

Ⅲ－3－2－1

有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書

目 次

Ⅲ-3-2-1-1 ラック／ピット／棚の耐震計算書

Ⅲ－3－2－1－1

ラック/ピット/棚の耐震計算書

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 単一ユニット間距離の確保が必要な設備	2
2.1 燃料加工建屋	2

1. 概要

本計算書は、「Ⅲ-1-3-2-2 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震計算書作成の基本方針」及び「Ⅲ-3-1 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震計算に関する基本方針」に基づき、ラック/ピット/棚の耐震評価について、算出した結果を示すものである。

一時保管ピットは、鋼製の一時保管ピット本体内部に、混合酸化物貯蔵容器を貯蔵する構造であり、支持構造物から構成され、基礎ボルトにより床面に固定される。

燃料棒貯蔵棚は、鋼製の燃料棒貯蔵棚内部に、貯蔵マガジンを貯蔵する構造であり、支持構造物から構成され、基礎ボルトにより床面に、取付ボルトにより壁面に固定される。また、貯蔵マガジンは、支持構造物に支持されているガイドローラにより支持されている。

一時保管ピットの耐震評価は、支持構造物及び基礎ボルトについて実施する。

燃料棒貯蔵棚の耐震評価は、支持構造物、基礎ボルト、取付ボルト及びガイドローラ軸について実施する。

なお、一時保管ピット及び燃料棒貯蔵棚は、単一ユニット間距離の確保が必要な設備であるが、剛であることの確認をもって許容変位以下であると判定する。

本計算書においては、機器の概要図、解析モデル図、構造強度評価（設計条件、機器要目及び結論）を次項以降に示す。

2. 単一ユニット間距離の確保が必要な設備

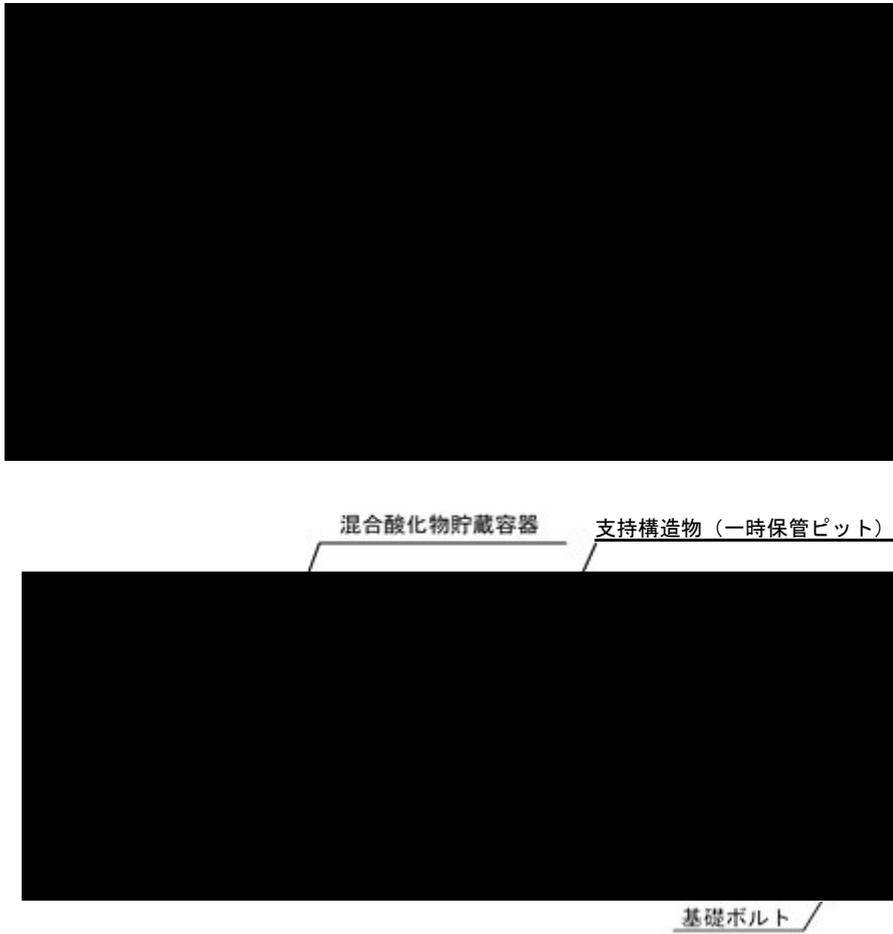
2.1 燃料加工建屋

対象設備及び記載先を下表に示す。

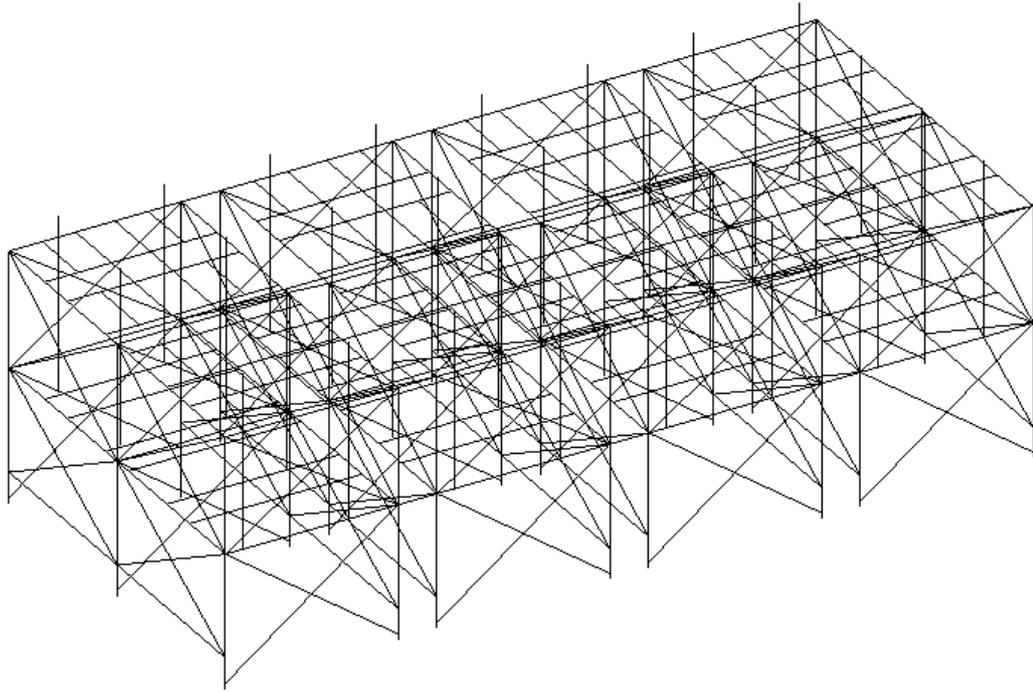
記号	施設区分	設備区分	機器名称	概要図 解析モデル図	単一ユニット間距離の確保が必要な設備	
					構造強度評価	臨界安全性評価
(A)	核燃料物質 の貯蔵施設	貯蔵容器一時 保管設備	一時保管ピット	A.	I.	—*1
(B)	核燃料物質 の貯蔵施設	燃料棒貯蔵設備	燃料棒貯蔵棚-1	B.	I.	—*1
(C)	核燃料物質 の貯蔵施設	燃料棒貯蔵設備	燃料棒貯蔵棚-2	C.	I.	—*1

注記 *1: I.1 設計条件 固有周期 (s) にて, 0.050 (s) 以下であることから剛であると判定する。

A. 一時保管ピット
概要図及び解析モデル図



第 A. -1 図 概要図(A)



第A.-2図 解析モデル図(A)

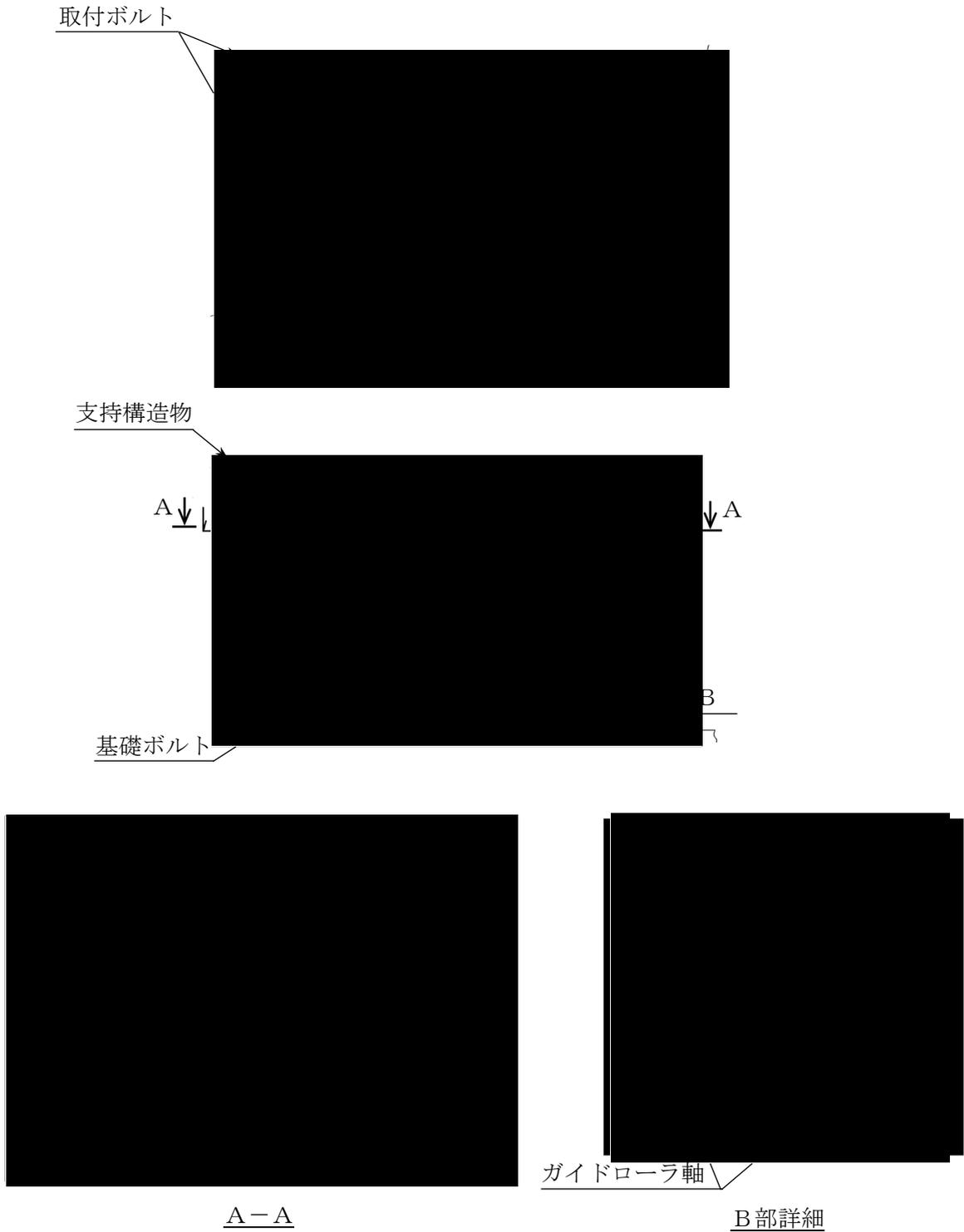
第A.-1表 (1/2) モデル諸元(A)

要素数	1164
節点数	576
拘束条件	完全固定
解析コード	MSC Nastran Ver2005.1.0 2005R2

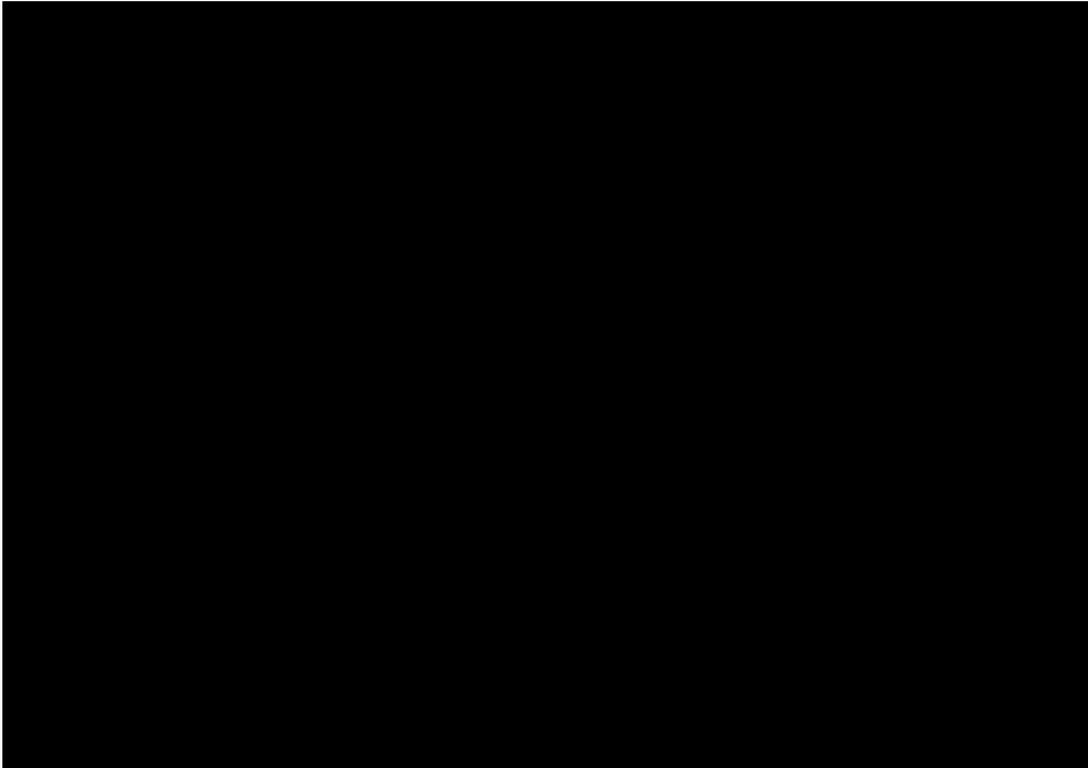
第A.-1表 (2/2) モデル諸元(A)

部材	材料	A s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物	SS400	2.371×10^3	1.170×10^6	8.610×10^6
	SS400	1.269×10^3	6.440×10^5	6.440×10^5
	SS400	564.4	1.260×10^5	1.260×10^5
	SS400	2.371×10^3	1.170×10^6	8.610×10^6

B. 燃料棒貯蔵棚-1
概要図及び解析モデル図

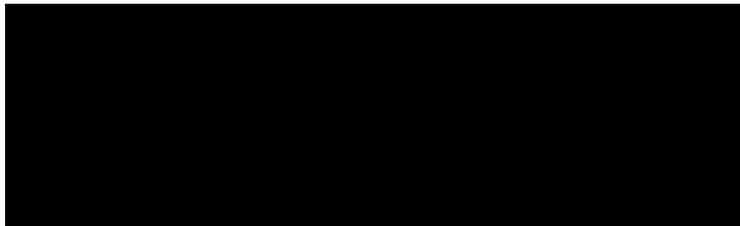


第B.-1図 概要図(B)



第B.-2図 解析モデル図(B)

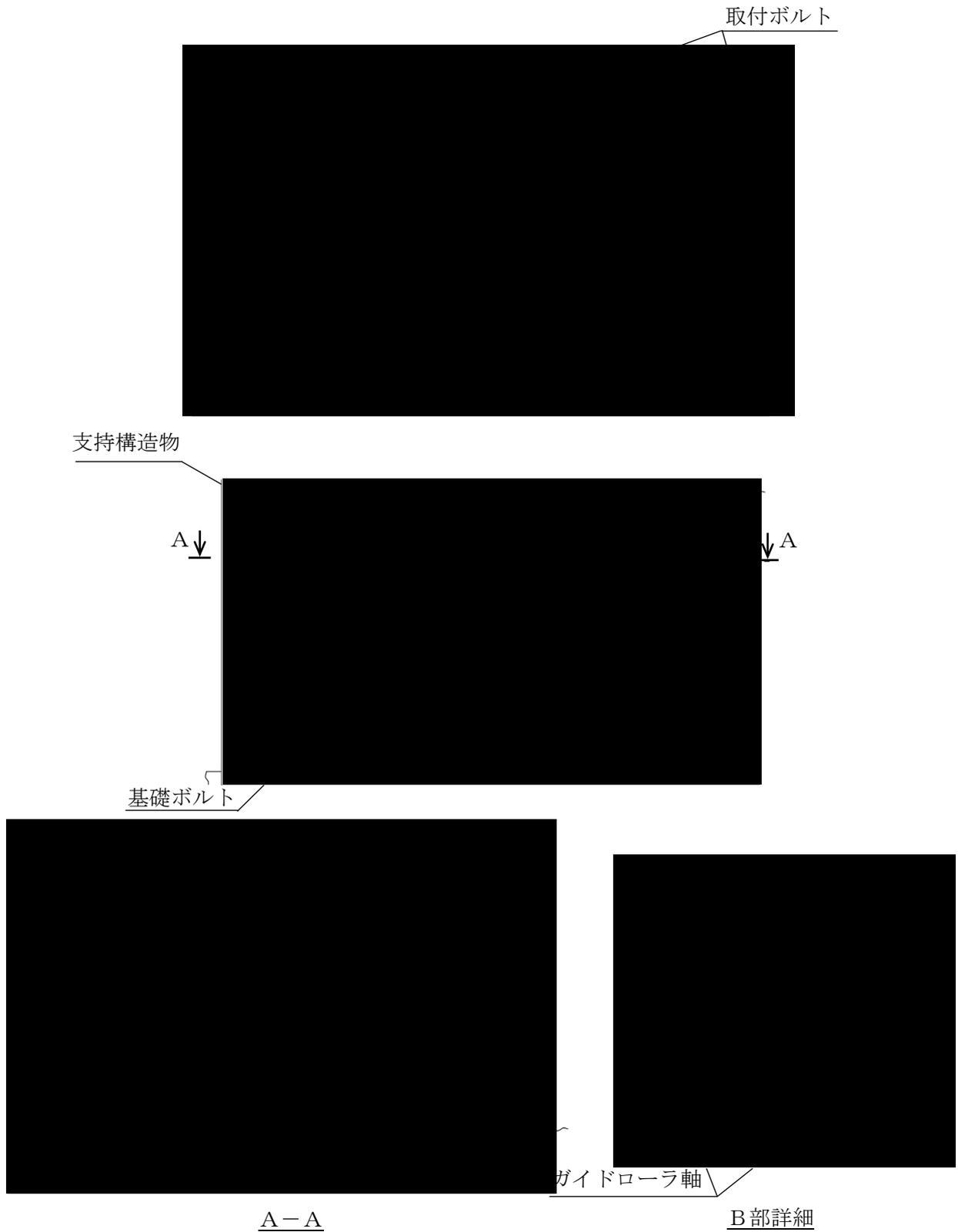
第B.-1表 (1/2) モデル諸元(B)



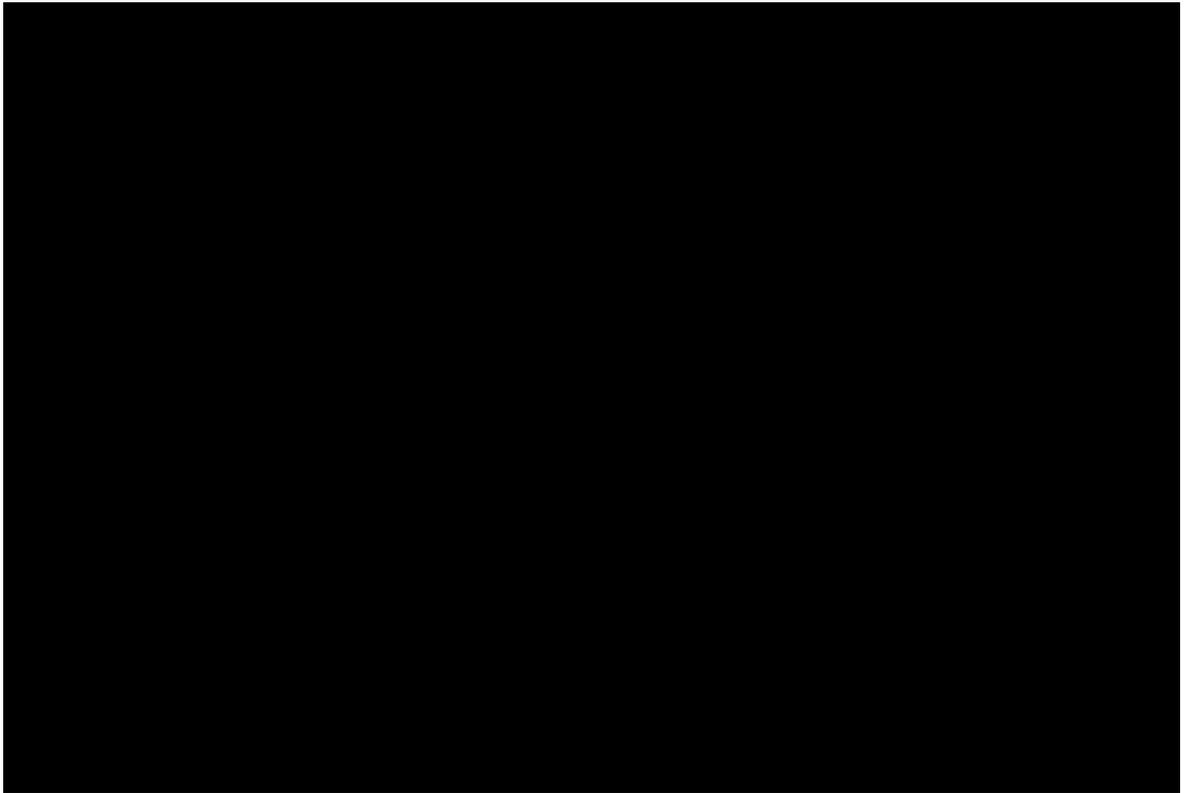
第B.-1表 (2/2) モデル諸元(B)

部材	材料	A s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物	SS400	3.000×10^3	2.930×10^6	8.390×10^6
	SS400	3.456×10^3	3.907×10^6	6.063×10^6
	SS400	2.159×10^3	1.340×10^6	3.780×10^6
	STKR400	1.217×10^3	9.860×10^5	9.860×10^5

C. 燃料棒貯蔵棚-2
概要図及び解析モデル図

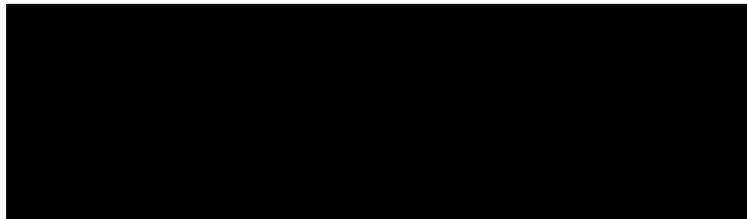


第 C. -1 図 概要図(C)



第 C. -2 図 解析モデル図(C)

第C. -1表 (1/2) モデル諸元(C)



第C. -1表 (2/2) モデル諸元(C)

部材	材料	A s (mm ²)	断面二次モーメント (mm ⁴)	
			弱軸	強軸
支持構造物	SS400	3.000×10^3	2.930×10^6	8.390×10^6
	SS400	3.456×10^3	3.907×10^6	6.063×10^6
	SS400	2.159×10^3	1.340×10^6	3.780×10^6
	STKR400	1.217×10^3	9.860×10^5	9.860×10^5
	SS400	1.269×10^3	6.440×10^5	6.440×10^5

I. 単一ユニット間距離の確保が必要な設備
構造強度評価
(設計条件, 機器要目及び結論)

I.1 設計条件

記号	機器名称	耐震設計上の 重要度分類	据付床面高さ*1 (m)	計算式	固有 周期 (s)	減衰 定数 (%)	基準地震動 S _s		最高使用 温度 (°C)
							水平方向 設計震度 (G)	鉛直方向 設計震度 (G)	
(A)	一時保管ピット	B*2	T. M. S. L. 35.00	解析による	0.041	1.0	C _H = 1.03	C _V = 0.54	65*3
(B)	燃料棒貯蔵棚-1	B*2	T. M. S. L. 43.20~50.30	解析による	0.046	1.0	C _H = 1.20	C _V = 0.59	75*4
(C)	燃料棒貯蔵棚-2	B*2	T. M. S. L. 43.20~50.30	解析による	0.048	1.0	C _H = 1.20	C _V = 0.59	75*4

注記 *1：基準床レベルを示す。
 *2：Bクラスの機器であるが、基準地震動 S_s による地震力に対して過大な変形等が生じないように設計する。
 *3：部材の縦弾性係数及び許容応力の算定条件として、当該設備を設置する場所の室温を考慮して設定した温度。
 *4：部材の縦弾性係数及び許容応力の算出条件として、当該設備内部の運転温度を考慮して設定した温度。

I.2 機器要目

記号	支持構造物			
	A_s (mm^2)	$A_{s s}$ (mm^2)	Z_s (mm^3)	F^* (MPa)
(A)	2.371×10^3	975.0	2.240×10^4	270
(B)	2.159×10^3	600.0	2.670×10^4	266
(C)	—	600.0	—	266
	3.000×10^3	812.5	4.690×10^4	266
	1.269×10^3	—	1.210×10^4	266

記号	基礎ボルト				取付ボルト				ガイドローラ軸		
	$A_{a b}$ (mm^2)	n_a (-)	L_a (mm)	F^* (MPa)	A_b (mm^2)	n_f (-)	n_s (-)	F^* (MPa)	A_s (mm^2)	Z_s (mm^3)	F^* (MPa)
(A)	201.0 (M16)	4	155	280	—	—	—	—	—	—	—
(B)	452.3 (M24)	4	—	280	452.3 (M24)	4	4	280	1.256×10^3	6.283×10^3	243
(C)	452.3 (M24)	4	—	280	452.3 (M24)	4	6	280	1.256×10^3	6.283×10^3	243

I.3 結論

単位 (MPa)

支持構造物													
記号	材料	S _s											
		せん断			組合せ			組合せ(引張+曲げ)			組合せ(圧縮+曲げ)		
		計算式	算出応力 τ_s	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値 σ_s	許容値 $1.5f_t^*$	計算式	算出値	許容値	計算式	算出値	許容値
(A)	SS400	3.1.2-1	11	155	-	-	-	3.1.2-1	0.32	1	3.1.2-1	0.32	1
(B)	SS400	3.1.2-1	23	153	3.1.2-1	122	266	-	-	-	3.1.2-1	0.58	1
(C)	SS400	3.1.2-1	12	153	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SS400	-	-	-	3.1.2-1	65	266	-	-	-	-	-	-
	SS400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1.2-1	0.41	1

基礎ボルト							
記号	材料	S _s					
		引張			せん断		
		計算式	算出応力 σ_{ao}	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出応力 τ_{ao}	許容応力 $1.5f_{sb}^*$
(A)	SS400	3.1.2-2	32	210	3.1.2-3	13	161
(B)	SS400	3.1.2-2	63	210	3.1.2-3	26	161
(C)	SS400	3.1.2-2	62	210	3.1.2-3	26	161

取付ボルト							
記号	材料	S _s					
		引張			せん断		
		計算式	算出応力 σ_b	許容応力 $1.5f_{ts}^*$	計算式	算出応力 τ_b	許容応力 $1.5f_{sb}^*$
(B)	SS400	3.1.2-2	94	210	3.1.2-3	8	161
(C)	SS400	3.1.2-2	47	210	3.1.2-3	8	161

単位 (MPa)

記号	ガイドローラ軸									
	材料	S s								
		曲 げ			せ ん 断			組 合 せ		
		計算式	算出応力 σ_{sb}	許容応力 $1.5f_b^*$	計算式	算出応力 τ_s	許容応力 $1.5f_s^*$	計算式	算出値 σ_s	許容値 $1.5f_t^*$
(B)	SS400	3.1.2-1	68	332	3.1.2-1	4	140	3.1.2-1	69	243
(C)	SS400	3.1.2-1	68	332	3.1.2-1	4	140	3.1.2-1	69	243

全て許容限界以下であるので十分な耐震性が確保される。

III-3-3

地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果

地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の水平２方向及び鉛直方向地震力の
組合せに関する影響評価結果

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響検討対象設備及び評価部位の抽出結果	2
3. 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響評価結果.....	4

地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の水平２方向及び鉛直方向地震力の
組合せに関する影響評価結果

1. 概要

本資料は、「Ⅲ－３－１ 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震計算に関する基本方針」に示すとおり、「Ⅲ－１－２－２－１ 機器の耐震計算に関する基本方針」及び「Ⅲ－２－３－２－１ 機器・配管系の水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価」に基づき実施することとしている水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せの影響に対する評価部位の抽出結果及び影響評価結果について説明するものである。

影響評価に用いる従来評価結果は、「Ⅲ－３－２－１ 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書」による。

地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果

2. 水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響検討対象設備及び評価部位の抽出結果

水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響検討対象設備を第2-1表に示し、影響評価を行う評価部位の抽出結果を第2-2表に示す。

第2-1表 水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せの影響検討対象設備

水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響に対する形状ごとの分類*1	機器・配管系の耐震性に関する計算書における分類*2	評価項目又は評価部位
矩形設備	支持構造物 (ボルト以外)	支持構造物
	支持構造物 (ボルト)	ボルト

*1：水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響は、形状分類に応じて整理する。

*2：以下の図書を示す。

- ・「Ⅲ－３－２－１ 有限要素モデル等を用いて評価を行う機器の耐震性に関する計算書」

第2-2表 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響評価部位の抽出結果

水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響に対する形状ごとの分類 ^{*1}	評価項目又は評価部位 ^{*2}		応力分類	(1)水平2方向の地震力が重複する形状	(2)水平2方向の振動モードによりねじれ振動が生じる形状	(3)水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せにより応力が増加する形状(応答軸が明確)	影響評価の要否 (1)又は(2)で△かつ(3)で○の場合は影響評価を実施
				△：水平2方向地震力が重複する可能性有 ×：重複しない	△：ねじれ振動発生の可能性有 ×：発生しない －：対象外 ^{*3}	○：応答軸が明確ではない ×：応答軸が明確 －：対象外 ^{*4}	影響評価実施又は影響軽微
矩形設備	支持構造物 (ボルト以外)	支持構造物	せん断	△	－	×	影響軽微
			組合せ	△	－	×	
	支持構造物 (ボルト)	ボルト	引張	△	－	×	
			せん断	△	－	×	

*1：水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響は、形状分類に応じて整理する。

*2：評価項目又は評価部位は第2-1表による。

*3：(1)の確認において影響の可能性がある場合、(2)の確認は対象外とする。

*4：(1)及び(2)の確認において双方とも影響軽微の場合、水平2方向の影響は軽微となるため、(3)の確認は対象外とする。

地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の水平２方向及び鉛直方向地震力の
組合せに関する影響評価結果

3. 水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに対する影響評価結果

今回の申請範囲については影響軽微であり，設備が有する耐震性に影響のないことを確認した。

Ⅲ－3－4

地震時に単一ユニット間距離の確保
が必要な設備の耐震性に関する影響
評価

目 次

Ⅲ－３－４－１ 一関東評価用地震動（鉛直）に関する影響評価結果

Ⅲ－３－４－２ 隣接建屋に関する影響評価結果

Ⅲ－3－4－1

一 関東評価用地震動（鉛直）に関する 影響評価結果

1. 概要

本計算書は、燃料加工建屋において、「Ⅲ－３－４ 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する影響評価」に基づき、一関東（鉛直）に関する影響評価結果を示すものである。

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

Ⅲ-3 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する説明書*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用 地震力 (G)	一関東 (鉛直) 地震力 (G)	加速度 比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出 応力 (MPa)	応力比
												算出 応力 (MPa)*4	応力比	算出 応力 (MPa)	応力比		
Ⅲ-3-2-1-1	一時保管ピット	支持構造物	圧縮+曲 げ 引張+曲 げ	0.32	1	0.041	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-3-2-1-1	燃料棒貯蔵棚-1	支持構造物	圧縮曲 げ	0.58	1	0.046	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-3-2-1-1	燃料棒貯蔵棚-2	支持構造物	圧縮曲 げ	0.41	1	0.048	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-

注記 *1：算出応力及び許容応力については、評価内容に応じて次のとおり読み替えることとする。「組合せ：算出応力（応力比），許容応力（判定値）」

*2：影響評価番号については、「Ⅲ-2-4-1-2-1 機器・配管系の一関東評価用地震動（鉛直）に関する影響評価」に記載の「第3-1図 一関東評価用地震動（鉛直）影響評価対応フロー」に則った番号を示す。

*3：固有周期欄については5次までの固有周期を示し、5次までに剛領域となった場合は、剛領域となった次数まで示す。また、(3)及び(4)については、最大の加速度比率の次数及び固有周期を()内に示す。

*4：算出応力については、注記*1の評価内容に応じて読み替えることとし、応力比については、評価内容に応じた許容値との比率を示す。

Ⅲ－3－4－2

隣接建屋に関する影響評価結果

1. 概要

本計算書は、「Ⅲ－３－４ 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する影響評価」に基づき、隣接建屋に関する影響評価結果を示すものである。

設備ごとの影響評価の実施内容及び評価結果(第六条)

Ⅲ-3 地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備の耐震性に関する説明書*1							影響評価結果*1*2										
添付書類番号	機器名称	部材	応力	算出応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	固有周期 (s)*3	簡易評価								(5)詳細評価		
							設計用地震力 (G)	隣接影響地震力 (G)	加速度比率	(1)	(2)	(3)		(4)		算出応力 (MPa)	応力比
												算出応力 (MPa)*4	応力比	算出応力 (MPa)	応力比		
Ⅲ-3-2-1-1	一時保管ピット	支持構造物	圧縮+曲げ 引張+曲げ	0.32	1	0.041	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-3-2-1-1	燃料棒貯蔵棚-1	支持構造物	圧縮曲げ	0.58	1	0.046	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
Ⅲ-3-2-1-1	燃料棒貯蔵棚-2	支持構造物	圧縮曲げ	0.41	1	0.048	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-

注記 *1：算出応力及び許容応力については、評価内容に応じて次のとおり読み替えることとする。「組合せ：算出応力（応力比），許容応力（判定値）」

*2：影響評価番号については、「Ⅲ-2-4-2-2-1 機器・配管系の隣接建屋に関する影響評価」に記載の「第3.2-1 図 隣接建屋の影響評価対応フロー」に則った番号を示す。

*3：固有周期欄については5次までの固有周期を示し、5次までに剛領域となった場合は、剛領域となった次数まで示す。また、(3)及び(4)については、最大の加速度比率の次数及び固有周期を()内に示す。

*4：算出応力については、注記*1の評価内容に応じて読み替えることとし、応力比については、評価内容に応じた許容値との比率を示す。

Ⅲ－４

地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備の耐震性に関する説明書

目 次

- Ⅲ－４－１ 地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備の耐震計算に関する基本方針
- Ⅲ－４－２ 地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備の耐震性に関する計算書 今回対
象なし
- Ⅲ－４－３ 地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備の水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果 今回対象なし
- Ⅲ－４－４ 地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備の耐震性に関する影響評価 今回
対象なし

Ⅲ－４－１

地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備の耐震計算に関する基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－４－１ 地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備の耐震計算に関する基本方針」による。

Ⅲ－5

火災防護設備の耐震性に関する説明書

目 次

- Ⅲ－５－１ 火災防護設備の耐震計算に関する基本方針
- Ⅲ－５－２ 火災防護設備の耐震性に関する計算書 今回対象なし
- Ⅲ－５－３ 火災防護設備の水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果 今回対象なし
- Ⅲ－５－４ 火災防護設備の耐震性に関する影響評価結果 今回対象なし

Ⅲ－5－1

火災防護設備の耐震計算に関する基本方針

Ⅲ－５－１
火災防護設備の耐震計算に関する基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－５－１ 火災防護設備の耐震計算に関する基本方針」による。

Ⅲ－7

地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震性に関する説明書

目 次

- Ⅲ－7－1 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針
 - Ⅲ－7－1－1 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力による重大事故等対処設備の耐震支持方針
 - Ⅲ－7－1－2 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力による重大事故等対処施設の建物・構築物(土木構造物以外)の耐震計算に関する基本方針
次回以降申請
 - Ⅲ－7－1－3 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力による重大事故等対処施設の機器・配管系の耐震計算に関する基本方針
 - Ⅲ－7－1－4 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力による重大事故等対処施設の可搬型設備の耐震計算に関する基本方針
次回以降申請

- Ⅲ－7－2 基準地震動 S_s を1.2倍した地震力に対する耐震性に関する計算書
今回対象なし

Ⅲ－7－1

基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力
による重大事故等対処施設に関する
耐震計算の基本方針

Ⅲ－７－１
基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力による
重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－７－１ 基準地震動 S_s を 1.2 倍した地震力による重大事故等対処施設に関する耐震計算の基本方針」による。

Ⅲ－8 計算機プログラム（解析コード）の 概要

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「Ⅲ－８ 計算機プログラム（解析コード）の概要」による。

IV 強度に関する説明書

目 次

IV-1 強度に関する基本方針

IV-2 強度評価書 今回対象なし

IV－1 強度に関する基本方針

IV-1
強度に関する基本方針

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「IV-1 強度に関する基本方針」による。

V その他の説明書

V - 1 説明書

目 次

- V-1-1 各施設に共通の説明書
 - V-1-1-1 自然現象等による損傷の防止に関する説明書
 - V-1-1-1-1 自然現象等への配慮に関する説明書
 - V-1-1-1-2 竜巻への配慮に関する説明書
 - V-1-1-1-3 外部火災への配慮に関する説明書
 - V-1-1-1-4 火山への配慮に関する説明書
 - V-1-1-1-5 航空機に対する防護設計に関する説明書
 - V-1-1-1-6 津波への配慮に関する説明書 次回以降申請
 - V-1-1-2 閉じ込めの機能に関する説明書
 - V-1-1-3 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書
 - V-1-1-4 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書
 - V-1-1-5 加工施設への人の不法な侵入等の防止に関する説明書 前回申請
 - V-1-1-6 火災及び爆発の防止に関する説明書
 - V-1-1-7 加工施設内における溢水による損傷の防止に関する説明書
 - V-1-1-8 通信連絡設備に関する説明書 次回以降申請
 - V-1-1-9 安全避難通路等に関する説明書 次回以降申請
 - V-1-1-10 搬送設備に関する説明書
 - V-1-1-11 警報設備等に関する説明書

- V-1-2 緊急時対策所に関する説明書 次回以降申請

- V-1-3 核燃料物質の貯蔵施設に関する説明書

- V-1-4 放射性廃棄物の廃棄施設に関する説明書

- V-1-5 放射線管理施設に関する説明書 次回以降申請

- V-1-6 その他の加工施設に関する説明書 次回以降申請
 - V-1-6-1 所内電源設備に関する説明書 次回以降申請
 - V-1-6-2 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための設備に関する説明書 次回以降申請
 - V-1-6-3 重大事故等への対処に必要なとなる水の供給設備に関する説明書 次回以降申請

V - 1 - 1 各施設に共通の説明書

V-1-1-1

自然現象等による損傷の防止に関する説明書

V-1-1-1
自然現象等による損傷の防止に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-1 自然現象等による損傷の防止に関する説明書」による。

V - 1 - 1 - 1 - 1

自然現象等への配慮に関する説明書

V-1-1-1-1
自然現象等への配慮に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-1-1 自然現象等への配慮に関する説明書」による。

V - 1 - 1 - 1 - 2
竜巻への配慮に関する説明書

V-1-1-1-2
竜巻への配慮に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-1-2 竜巻への配慮に関する説明書」による。

V - 1 - 1 - 1 - 3
外部火災への配慮に関する説明書

V-1-1-1-3
外部火災への配慮に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-1-3 外部火災への配慮に関する説明書」による。

V-1-1-1-4
火山への配慮に関する説明書

V-1-1-1-4
火山への配慮に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-1-4 火山への配慮に関する説明書」による。

V - 1 - 1 - 1 - 5
航空機に対する防護設計に関する説
明書

V-1-1-1-5
航空機に対する防護設計に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、令和4年9月14日付け原規規発第2209145号にて認可を受けた設工認申請書の「V-1-1-1-5 航空機に対する防護設計に関する説明書」に同じである。

V - 1 - 1 - 2

閉じ込めの機能に関する説明書

目 次

- V-1-1-2-1 安全機能を有する施設の閉じ込めの機能に関する説明書
 - V-1-1-2-1-1 地震時に窒素循環の経路維持が必要な設備に係る耐震設計

- V-1-1-2-2 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備に関する説明書

V-1-1-2-1
安全機能を有する施設の閉じ込めの
機能に関する説明書

V-1-1-2-1
安全機能を有する施設の閉じ込めの機能に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-2-1 安全機能を有する施設の閉じ込めの機能に関する説明書」による。

V-1-1-2-2

閉じ込める機能の喪失に対処するための設備に関する説明書

V-1-1-2-2
閉じ込める機能の喪失に対処するための設備に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-2-2 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備に関する説明書」による。

V - 1 - 1 - 3

設備別記載事項の設定根拠に関する 説明書

目 次

- V-1-1-3-3 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（核燃料物質の貯蔵施設）
- V-1-1-3-6 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他基本設計方針対象設備）

V - 1 - 1 - 3 - 3

設備別記載事項の設定根拠に関する
説明書（核燃料物質の貯蔵施設）

目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 設備別記載事項の設定根拠に関する設定方針	1
2.1 運搬・製品容器	1
別紙1 核燃料物質の貯蔵施設の各仕様の設定根拠	

1. 概要

本資料は、核燃料物質の貯蔵施設に属する設備・機器で仕様表に記載する事項が通常運転時及び設計基準事故時に要求される状況で所要の機能を発揮するための設計条件の設定根拠に関して説明する。

2. 設備別記載事項の設定根拠に関する設定方針

核燃料物質の貯蔵施設に属する設備・機器についての機種ごとの仕様表記載事項の設定根拠を以下に示す。また、設備・機器の各仕様に対する設定根拠を別紙1に示す。

2.1 運搬・製品容器

(1) 容量の設定根拠

核燃料物質等を収納した容器を9缶積載した場合に必要な容量を設定する。
..... 2.1(1)①

(2) 最高使用圧力の設定根拠

開放容器であることから大気圧を設定する。..... 2.1(2)①

(3) 最高使用温度の設定根拠

グローブボックス内の温度以上の最高使用温度とする。..... 2.1(3)①

(4) 個数の設定根拠

MOX燃料集合体の加工運転に必要な個数とする。..... 2.1(4)①

核燃料物質の貯蔵施設の各仕様の設定根拠

2.1 運搬・製品容器

設備名称	仕様表仕様		根拠		
	容量	70.2 kg	容量	70.2 kg	2.1(1)①
9 缶バスケット	最高使用圧力	大気圧	開放容器の圧力	大気圧	2.1(2)①
	最高使用温度	60℃	グローブボックス内の最高温度	60℃	2.1(3)①
	個数	1	必要な個数	1	2.1(4)①

V-1-1-3-6

設備別記載事項の設定根拠に関する
説明書（その他基本設計方針対象設
備）

V-1-1-3-6
設備別記載事項の設定根拠に関する説明書
(その他基本設計方針対象設備)

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-3-6 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書(その他基本設計方針対象設備)」による。

V-1-1-4

安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書

V-1-1-4

安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備が
使用される条件の下における健全性に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-4 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書」による。

V - 1 - 1 - 6
火災及び爆発の防止に関する説明書

V-1-1-6
火災及び爆発の防止に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-6 火災及び爆発の防止に関する説明書」による。

V-1-1-7

加工施設内における溢水による
損傷の防止に関する説明書

V-1-1-7
加工施設内における溢水による損傷の防止に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-7 加工施設内における溢水による損傷の防止に関する説明書」による。

V - 1 - 1 - 10
搬送設備に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-10 搬送設備に関する説明書」による。

V-1-1-11
警報設備等に関する説明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-1-11 警報設備等に関する説明書」による。

V - 1 - 3
核燃料物質の貯蔵施設に関する説明
書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-3 核燃料物質の貯蔵施設に関する説明書」による。

V - 1 - 4
放射性廃棄物の廃棄施設に関する説
明書

今回の申請に係る本説明は、2023年2月28日付け2022燃建発第13号にて申請した設工認申請書の「V-1-4 放射性廃棄物の廃棄施設に関する説明書」による。

V - 2 加工施設に関する図面

目 次

V-2-1 構内配置図

1. 工場又は事業所の概要を明示した地形図

第 2.1-1 図 工場又は事業所の概要を明示した地形図

【令和 4 年 9 月 14 日原規規発第 2209145 号にて認可された設工認申請書の添付図面「第 2.1-1 図 工場又は事業所の概要を明示した地形図」による】

2. 主要設備の配置の状況を明示した平面図

第 2.1-2 図 主要設備の配置の状況を明示した平面図

【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.1-2 図 主要設備の配置の状況を明示した平面図」による】

V-2-2 平面図及び断面図

2. 貯蔵容器搬送用洞道の平面図及び断面図

第 2.2.2-1 図 貯蔵容器搬送用洞道平面図

第 2.2.2-2 図 貯蔵容器搬送用洞道断面図

V-2-3 系統図

V-2-3-4 搬送物フロー図

1. 被覆施設

第 2.3.4.1-1 図 被覆施設のうちスタック編成設備の搬送物フロー図

第 2.3.4.1-2 図 被覆施設のうちスタック乾燥設備の搬送物フロー図

第 2.3.4.1-4 図 被覆施設のうち燃料棒検査設備の搬送物フロー図

【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.3.4.1-4 図 被覆施設のうち燃料棒検査設備の搬送物フロー図」による】

第 2.3.4.1-5 図 被覆施設のうち燃料棒収容設備，核燃料物質の貯蔵施設のうち燃料棒貯蔵設備の搬送物フロー図

【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.3.4.1-5 図 被覆施設のうち燃料棒収容設備，核燃料物質の貯蔵施設のうち燃料棒貯蔵設備の搬送物フロー図」による】

第 2.3.4.1-6 図 被覆施設のうち燃料棒加工工程搬送設備の搬送物フロー図

2. 組立施設

第 2.3.4.2-1 図 組立施設のうち燃料集合体組立設備，燃料集合体洗浄設備，燃料集合体検査設備，燃料集合体組立工程搬送設備の搬送物フロー図

【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.3.4.2-1 図 組立施設のうち燃料集合体組立設備，燃料集合体洗浄設備，燃料集合体検査設備，燃料集合体組立工程搬送設備の搬送物フロー図」による】

3. 核燃料物質の貯蔵施設

第 2.3.4.3-1 図 核燃料物質の貯蔵施設のうち貯蔵容器一時保管設備の搬送物フロー図

第 2.3.4.3-4 図 核燃料物質の貯蔵施設のうち粉末一時保管設備の搬送物フロー図

第 2.3.4.3-5 図 核燃料物質の貯蔵施設のうちペレット一時保管設備の搬送物フロー図

第 2.3.4.3-6 図 核燃料物質の貯蔵施設のうち製品ペレット貯蔵設備の搬送物フロー図

V-2-4 配置図

1. 被覆施設

第 2.4.1.1-1 図 被覆施設に係る機器の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 2 階

2. 組立施設

第 2.4.2.1-1 図 組立施設に係る機器の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 1 階

3. 核燃料物質の貯蔵施設

第 2.4.3.1-1 図 核燃料物質の貯蔵施設に係る機器の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 3 階

第 2.4.3.1-2 図 核燃料物質の貯蔵施設に係る機器の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 2 階

5. その他の加工施設

5.1 非常用設備

5.1.1 火災防護設備

第 2.4.5.1.1-1 図 火災防護設備に係る火災区域構造物及び火災区画構造物の配置を明示した図面 貯蔵容器搬送用洞道

6. その他の図面

第 2.4.6.1-1 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 3 階

【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.4.6.1-1 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 3 階」による】

第 2.4.6.1-2 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 3 階中 2 階

【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.4.6.1-2 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 3 階中 2 階」による】

第 2.4.6.1-3 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 2 階

【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.4.6.1-3 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 2 階」による】

第 2.4.6.1-4 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 1 階

【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.4.6.1-4 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地下 1 階」による】

- 第 2.4.6.1-5 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地上 1 階
 【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.4.6.1-5 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地上 1 階」による】
- 第 2.4.6.1-6 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地上 2 階
 【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.4.6.1-6 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋地上 2 階」による】
- 第 2.4.6.1-7 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋塔屋階
 【2023 年 2 月 28 日付け 2022 燃建発第 13 号にて申請した設工認申請書の添付図面「第 2.4.6.1-7 図 遮蔽設備の配置を明示した図面 燃料加工建屋塔屋階」による】

V-2-5 構造図

2. 被覆施設

2.1 スタック編成設備

- 第 2.5.2.1.1 図 被覆施設 スタック編成設備の構造図 空乾燥ボート取扱装置
- 第 2.5.2.1.2 図 被覆施設 スタック編成設備の構造図 波板トレイ取出装置, スタック編成装置, スタック収容装置
- 第 2.5.2.1.3 図 被覆施設 スタック編成設備の構造図 スタック編成設備グローブボックス
- 第 2.5.2.1.4 図 被覆施設 スタック編成設備の構造図 空乾燥ボート取扱装置グローブボックス

2.2 スタック乾燥設備

- 第 2.5.2.2.1 図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図 乾燥ボート供給装置
- 第 2.5.2.2.2 図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図 乾燥ボート取出装置
- 第 2.5.2.2.3 図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図 乾燥ボート供給装置グローブボックス
- 第 2.5.2.2.4 図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図 乾燥ボート取出装置グローブボックス
- 第 2.5.2.2.5 図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図 スタック乾燥装置

2.4 燃料棒検査設備

- 第 2.5.2.4.1 図 被覆施設 燃料棒検査設備の構造図 燃料棒移載装置

2.5 燃料棒収容設備

- 第 2.5.2.5.1 図 被覆施設 燃料棒収容設備の構造図 貯蔵マガジン
- 第 2.5.2.5.2 図 被覆施設 燃料棒収容設備の構造図 貯蔵マガジン移載装置
- 第 2.5.2.5.3 図 被覆施設 燃料棒収容設備の構造図 燃料棒収容装置
- 第 2.5.2.5.4 図 被覆施設 燃料棒収容設備の構造図 燃料棒供給装置

2.7 燃料棒加工工程搬送設備

- 第 2.5.2.7.1 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 ペレット保管容器搬送装置
- 第 2.5.2.7.2 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 乾燥ボート搬送装置
- 第 2.5.2.7.3 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 燃料棒搬送装置
- 第 2.5.2.7.4 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -2, -7, -8, -9, -10
- 第 2.5.2.7.5 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-3, -4, -5, -6, -11, -12
- 第 2.5.2.7.6 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-1, -2, -13, -14
- 第 2.5.2.7.7 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-3, -4
- 第 2.5.2.7.8 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-5, -6, -7, -8, -9
- 第 2.5.2.7.9 図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-10, -11, -12

3. 組立施設

3.4 燃料集合体組立工程搬送設備

- 第 2.5.3.4.1 図 組立施設 燃料集合体組立工程搬送設備の構造図 組立クレーン

4. 核燃料物質の貯蔵施設

4.1 貯蔵容器一時保管設備

- 第 2.5.4.1.1 図 核燃料物質の貯蔵施設 貯蔵容器一時保管設備の構造図 一時保管ピット

4.4 粉末一時保管設備

- | | | | |
|----------------|------------|--------------|--|
| 第 2.5.4.4.1 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 容器 (J60) |
| 第 2.5.4.4.2 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 容器 (J85) |
| 第 2.5.4.4.3 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 容器 (5 缶
バスケット) |
| 第 2.5.4.4.4 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 容器 (1 缶
バスケット) |
| 第 2.5.4.4.5 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 容器 (CS・
RS 保管ポット) |
| 第 2.5.4.4.8 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 粉末一時保
管装置 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 |
| 第 2.5.4.4.9 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 粉末一時保
管搬送装置 |
| 第 2.5.4.4.10 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 粉末一時
保管装置グローブボックス-1 |
| 第 2.5.4.4.11 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 粉末一時
保管装置グローブボックス-2 |
| 第 2.5.4.4.12 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 粉末一時
保管装置グローブボックス-3 |
| 第 2.5.4.4.13 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 粉末一時
保管装置グローブボックス-4 |
| 第 2.5.4.4.14 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 粉末一時
保管装置グローブボックス-5 |
| 第 2.5.4.4.15 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | 粉末一時保管設備の構造図 | 粉末一時
保管装置グローブボックス-6 |

4.5 ペレット一時保管設備

- | | | | |
|---------------|------------|----------------|-------------------|
| 第 2.5.4.5.1 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | ペレット一時保管設備の構造図 | 収納パ
レット-1 |
| 第 2.5.4.5.2 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | ペレット一時保管設備の構造図 | 収納パ
レット-2 |
| 第 2.5.4.5.3 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | ペレット一時保管設備の構造図 | 容器
(焼結ボート) |
| 第 2.5.4.5.4 図 | 核燃料物質の貯蔵施設 | ペレット一時保管設備の構造図 | 容器
(先行試験焼結ボート) |

- 第 2.5.4.5.5 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 容器
(スクラップ焼結ボート)
- 第 2.5.4.5.6 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 ペレッ
ト一時保管棚-1, -2, -3
- 第 2.5.4.5.7 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 焼結ボ
ート入出庫装置-1, -2
- 第 2.5.4.5.8 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 焼結ボ
ート受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8
- 第 2.5.4.5.9 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 ペレッ
ト一時保管棚グローブボックス-1
- 第 2.5.4.5.10 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 ペレ
ット一時保管棚グローブボックス-2
- 第 2.5.4.5.11 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 ペレ
ット一時保管棚グローブボックス-3
- 第 2.5.4.5.12 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 焼結
ボート受渡装置グローブボックス-1
- 第 2.5.4.5.13 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 焼結
ボート受渡装置グローブボックス-2, -3
- 第 2.5.4.5.14 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 焼結
ボート受渡装置グローブボックス-4
- 第 2.5.4.5.15 図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図 遮蔽
扉(ペレット一時保管設備)

4.6 スクラップ貯蔵設備

- 第 2.5.4.6.1 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 収納パレ
ット
- 第 2.5.4.6.2 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 容器(9
缶バスケット)
- 第 2.5.4.6.3 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 容器(規
格外ペレット保管容器)
- 第 2.5.4.6.4 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラッ
プ貯蔵棚-1
- 第 2.5.4.6.5 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラッ
プ貯蔵棚-2, -3, -4
- 第 2.5.4.6.6 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラッ
プ貯蔵棚-5

- 第 2.5.4.6.7 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ保管容器入出庫装置
- 第 2.5.4.6.8 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ保管容器受渡装置-1, -2
- 第 2.5.4.6.9 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1
- 第 2.5.4.6.10 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ貯蔵棚グローブボックス-2, -3, -4
- 第 2.5.4.6.11 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5
- 第 2.5.4.6.12 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1
- 第 2.5.4.6.13 図 核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2

4.7 製品ペレット貯蔵設備

- 第 2.5.4.7.1 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 収納パレット
- 第 2.5.4.7.2 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 容器(ペレット保管容器)
- 第 2.5.4.7.3 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 容器(ペレット保存試料保管容器)
- 第 2.5.4.7.4 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 製品ペレット貯蔵棚-1
- 第 2.5.4.7.5 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 製品ペレット貯蔵棚-2, -3, -4
- 第 2.5.4.7.6 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 製品ペレット貯蔵棚-5
- 第 2.5.4.7.7 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 ペレット保管容器入出庫装置
- 第 2.5.4.7.8 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 ペレット保管容器受渡装置-1, -2
- 第 2.5.4.7.9 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1
- 第 2.5.4.7.10 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2, -3, -4

第 2.5.4.7.11 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 製品
ペレット貯蔵棚グローブボックス-5

第 2.5.4.7.12 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 ペレ
ット保管容器受渡装置グローブボックス-1

第 2.5.4.7.13 図 核燃料物質の貯蔵施設 製品ペレット貯蔵設備の構造図 ペレ
ット保管容器受渡装置グローブボックス-2

4.8 燃料棒貯蔵設備

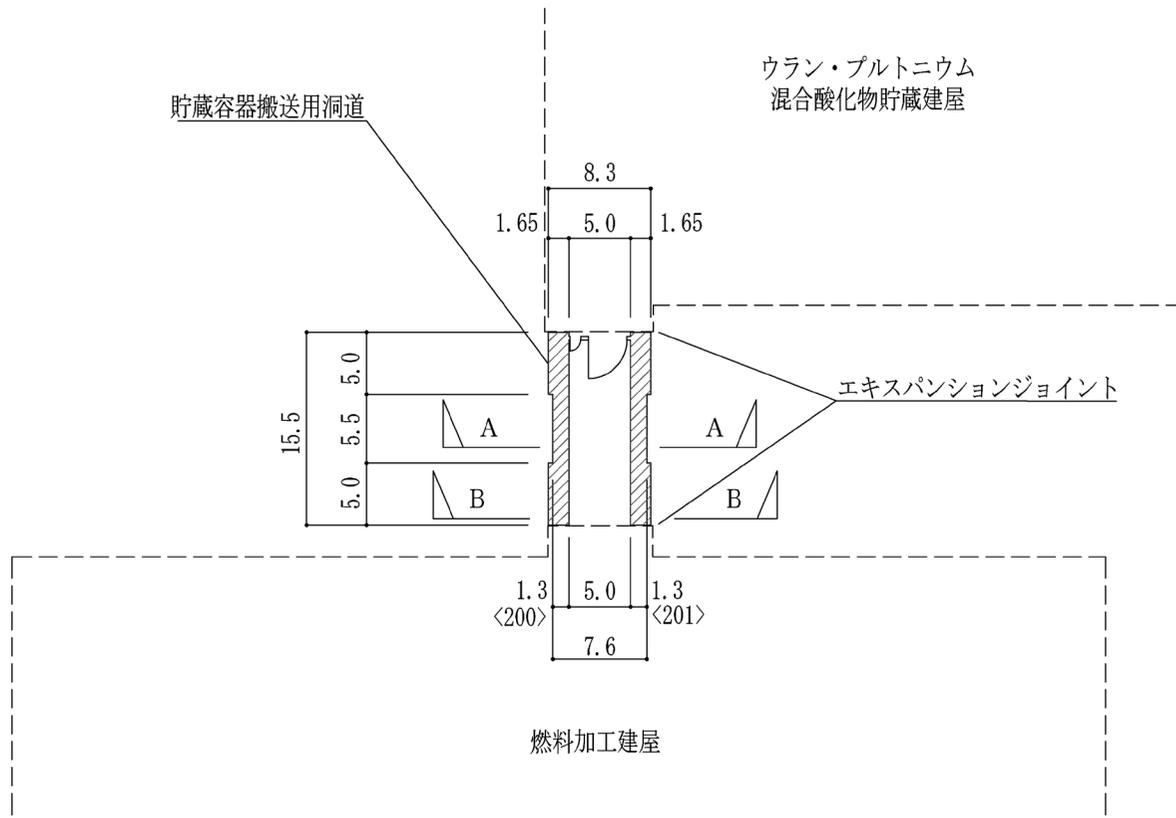
第 2.5.4.8.1 図 核燃料物質の貯蔵施設 燃料棒貯蔵設備の構造図 燃料棒貯蔵棚
-1, -2

第 2.5.4.8.2 図 核燃料物質の貯蔵施設 燃料棒貯蔵設備の構造図 貯蔵マガジン
入出庫装置

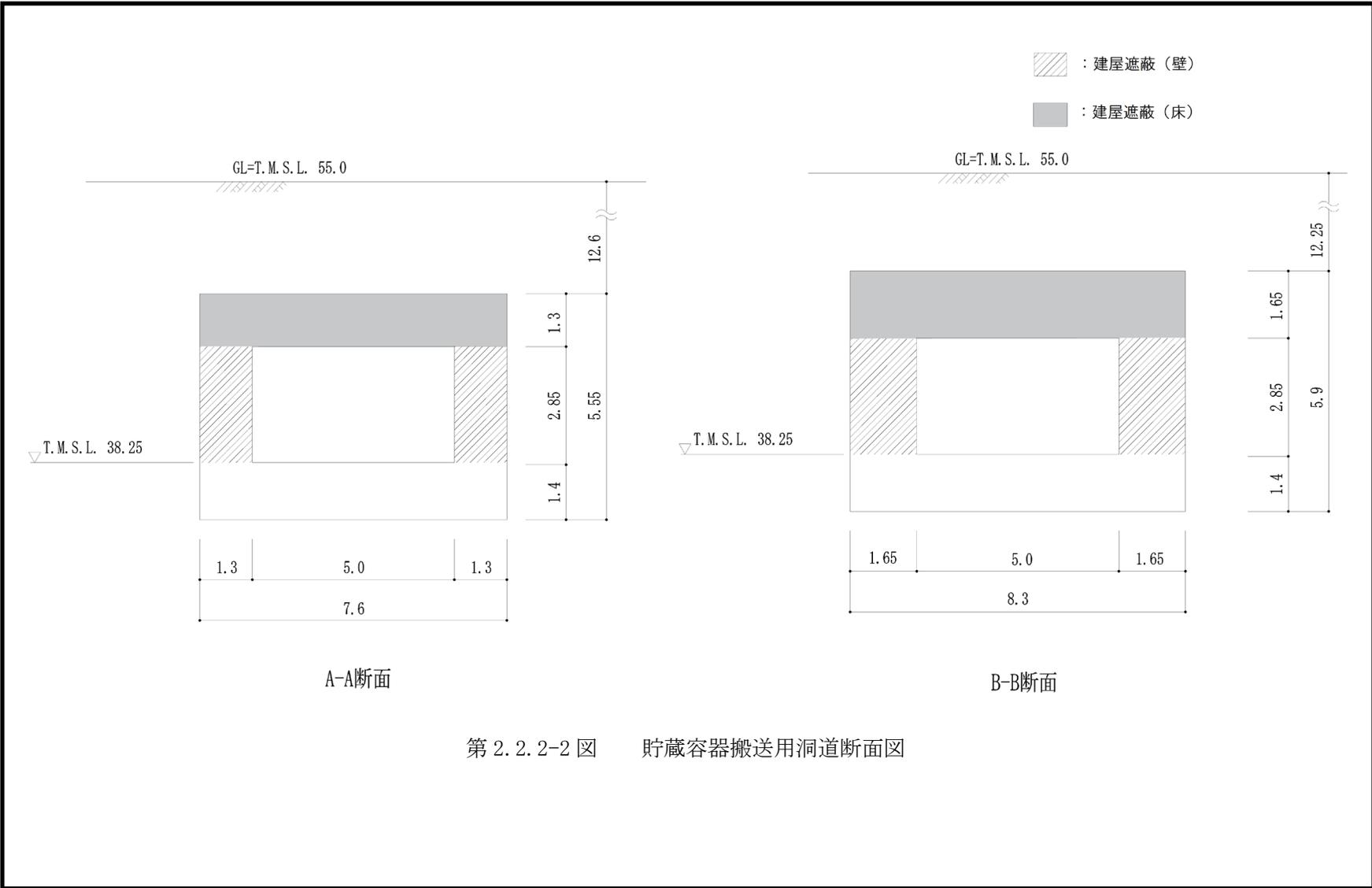
V - 2 - 2 平面図及び断面図



 : 建屋遮蔽 (壁)



第 2. 2. 2-1 図 貯蔵容器搬送用洞道平面図



第 2. 2. 2-2 図 貯蔵容器搬送用洞道断面図

第 2.2.2-1 図 貯蔵容器搬送用洞道平面図
 ～第 2.2.2-2 図 貯蔵容器搬送用洞道断面図

【貯蔵容器搬送用洞道】

主要寸法* ¹ (m)		許容範囲 (mm)	根拠
幅	7.60～8.30	±20mm* ²	JASS 5N の規定に基づく社内基準
高さ	5.55～5.90	±30mm* ³	
壁 厚 さ	側壁	+15mm -5mm	
	頂版	+15mm -5mm	
	底版	+規定せず ³ -5mm	

注記 *1：主要寸法は、設工認申請書記載の公称値を示す。

*2：断面中心部から外壁外面までの寸法に対する許容範囲とする。

*3：T. M. S. L. +55.00m を基準とし、頂版の天端の高さに対する許容範囲とする。

【洞道遮蔽（貯蔵容器搬送用洞道）】

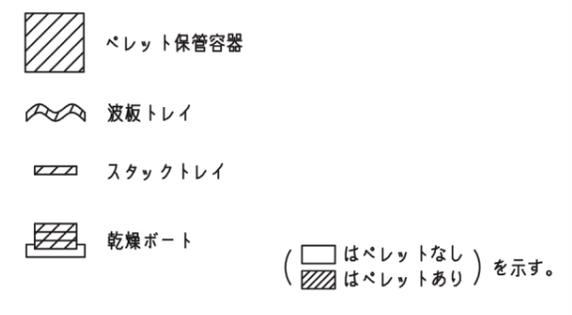
主要寸法* ¹ (m)		許容範囲 (mm)	根拠
側壁及び頂版	—* ²	+15mm -5mm	JASS 5N の規定に基づく社内基準

注記 *1：主要寸法は、設工認申請書記載の公称値を示す。

*2：寸法は場所により異なるが、許容範囲は同一であるため記載を省略する。

V - 2 - 3 系統図

V - 2 - 3 - 4 搬送物フロー図



記号の説明

-  A ペレット保管容器の受入
-  B スタック編成
-  C ペレットの積載
-  D 乾燥ポートの払出

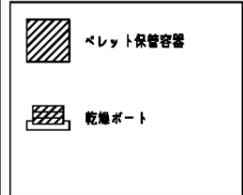
第 2.3.4.1-1 図
被覆施設のうちスタック編成設備の
搬送物フロー図



記号の説明

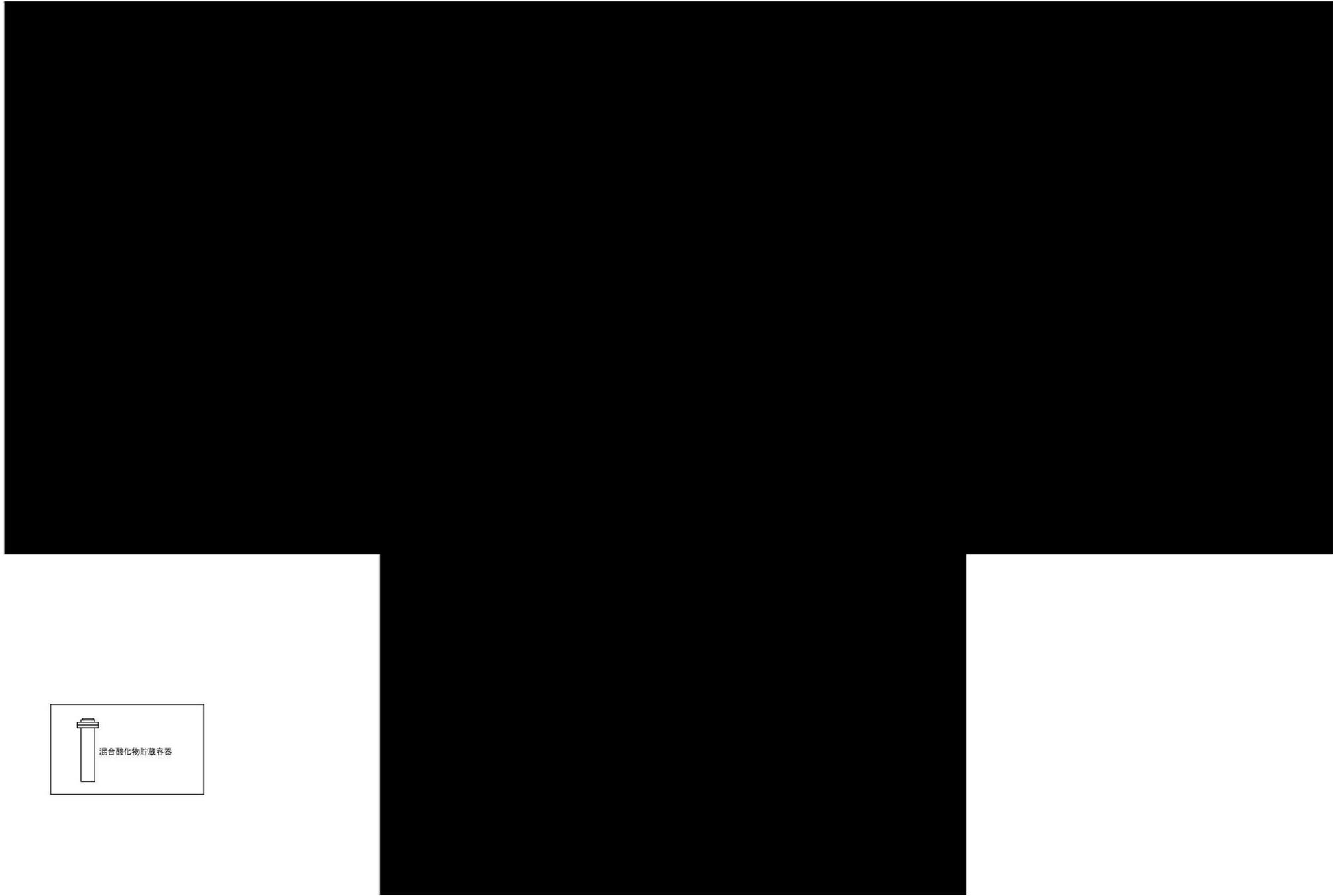
- A 乾燥ポートの受入
- B 乾燥ポートの供給
- C 乾燥ポートの取出
- D 乾燥ポートの払出

第 2. 3. 4. 1-2 図
被覆施設のうちスタック乾燥設備の
搬送物フロー図

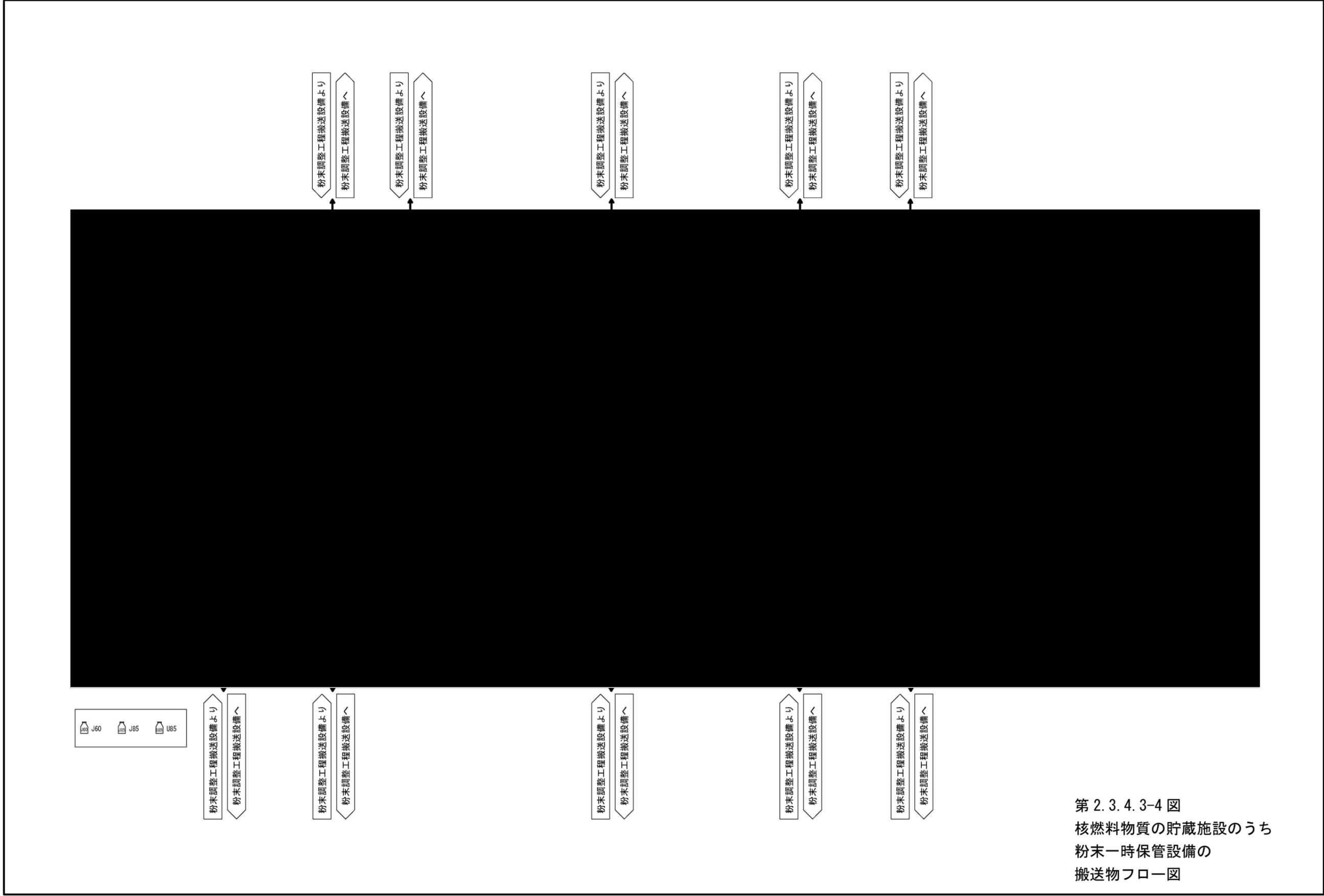


ペレット加工機送受設備より
(B3F)

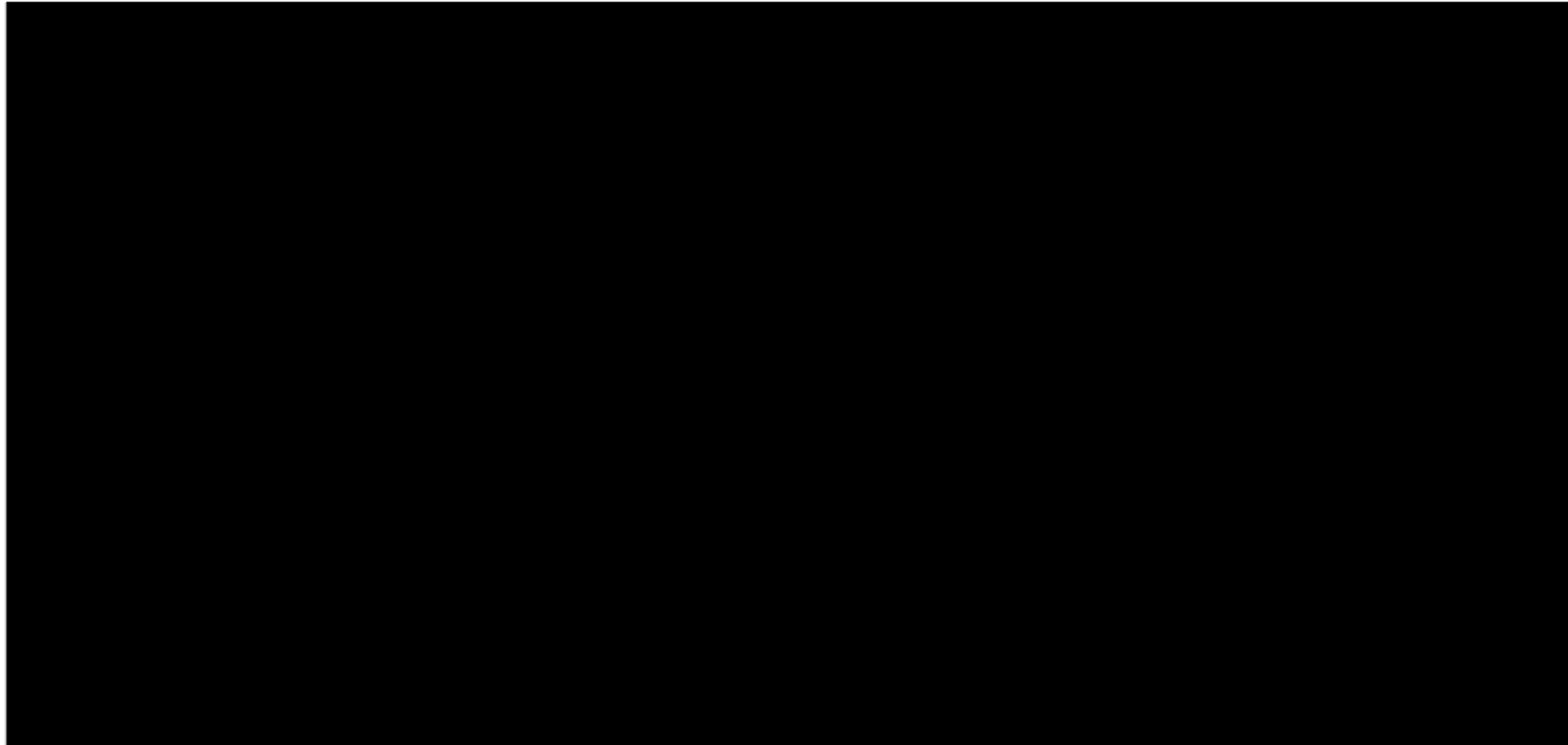
第 2.3.4.1-6 図
被覆施設のうち燃料棒加工工程搬送
設備の搬送物フロー図



第 2.3.4.3-1 図
核燃料物質の貯蔵施設のうち
貯蔵容器一時保管設備の
搬送物フロー図

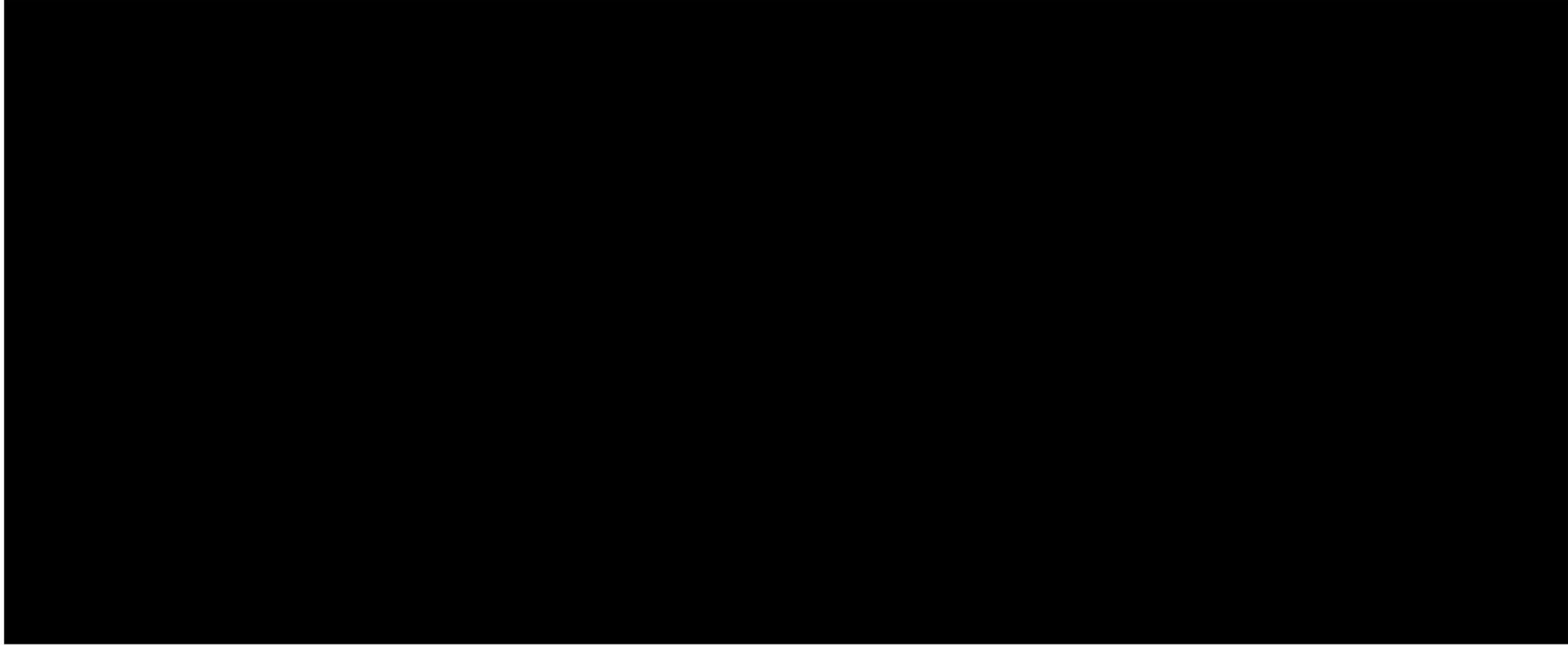


第 2.3.4.3-4 図
核燃料物質の貯蔵施設のうち
粉末一時保管設備の
搬送物フロー図



■ 焼結ポート □ 収納パレット

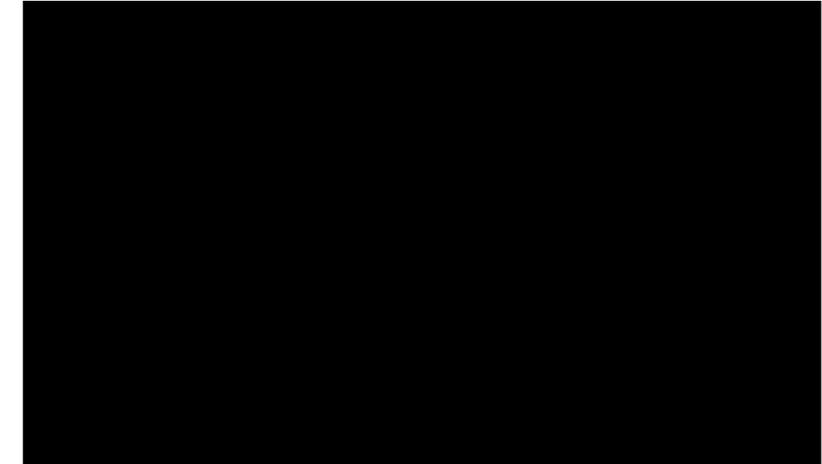
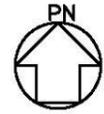
第 2.3.4.3-5 図
核燃料物質の貯蔵施設のうち
ペレット一時保管設備の
搬送物フロー図



☐ ペレット保管容器 ☐ 収納パレット

第 2.3.4.3-6 図
核燃料物質の貯蔵施設のうち
製品ペレット貯蔵設備の
搬送物フロー図

V - 2 - 4 配置図



307, 312, 314室上部

部屋番号	部屋名称
307	ペレット立会室
312	燃料棒解体室
314	燃料棒加工第1室
315	燃料棒加工第2室
322	燃料棒加工第3室

特記事項
1.  は今回申請対象設備を示す。

燃料加工建屋 地下2階平面図 (T.M.S.L. 43.20 m)

第2.4.1.1-1 図
被覆施設に係る機器の配置を明示した図面
燃料加工建屋地下2階 (1/2)

番号	設備名称	機器名称	
①	燃料棒加工工程搬送設備	ペレット保管容器搬送装置	
②			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1
③			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2
④			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-3
⑤			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-4
⑥			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-5
⑦			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6
⑧			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7
⑨			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8
⑩			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-9
⑪			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10
⑫			ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-11
⑬		ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12	
⑭		乾燥ボート搬送装置	乾燥ボート搬送装置グローブボックス-1
⑮			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-2
⑯			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-3
⑰			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-4
⑱			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-5
⑲			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6
⑳			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-7
㉑			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-8
㉒			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-9
㉓			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-10
㉔			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11
㉕			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-12
㉖			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-13
㉗			乾燥ボート搬送装置グローブボックス-14
㉘	燃料棒搬送装置		

番号	設備名称	機器名称
㉙	スタック編成設備	波板トレイ取出装置A
		スタック編成装置A
		スタック収容装置A
㉚	スタック編成設備	波板トレイ取出装置B
		スタック編成装置B
		スタック収容装置B
㉛	空乾燥ボート取扱装置	空乾燥ボート取扱装置グローブボックス
㉜	スタック乾燥設備	乾燥ボート供給装置A
㉝		乾燥ボート供給装置B
㉞		乾燥ボート取出装置A
㉟		乾燥ボート取出装置B
㊱		スタック乾燥装置A
㊲		スタック乾燥装置B
㊳	燃料棒検査設備	燃料棒移載装置
㊴	燃料棒	貯蔵マガジン移載装置
㊵	収容設備	燃料棒収容装置
㊶	収容設備	燃料棒供給装置

第 2.4.1.1-1 図
被覆施設に係る機器の配置を明示した図面
燃料加工建屋地下 2 階 (2/2)



燃料加工建屋 地下1階平面図 (T.M.S.L. 50.30 m)

番号	設備名称	機器名称
①	燃料集合体 組立工程 搬送設備	組立クレーン

部屋番号	部屋名称
413	燃料集合体組立クレーン室

特記事項
1.  は今回申請対象設備を示す。

第2.4.2.1-1 図
組立施設に係る機器の配置を明示した図面
燃料加工建屋地下1階



①



部屋番号	部屋名称
103	貯蔵容器一時保管室
109	点検第1室
110	粉末一時保管室
112	点検第3室
113	ペレット・スクラップ貯蔵室
114	点検第4室
116	ペレット加工第4室
119	ペレット一時保管室
126	ペレット加工第1室
129	点検第2室

特記事項
1.  は今回申請対象設備を示す。

燃料加工建屋 地下3階平面図 (T.M.S.L. 35.00 m)

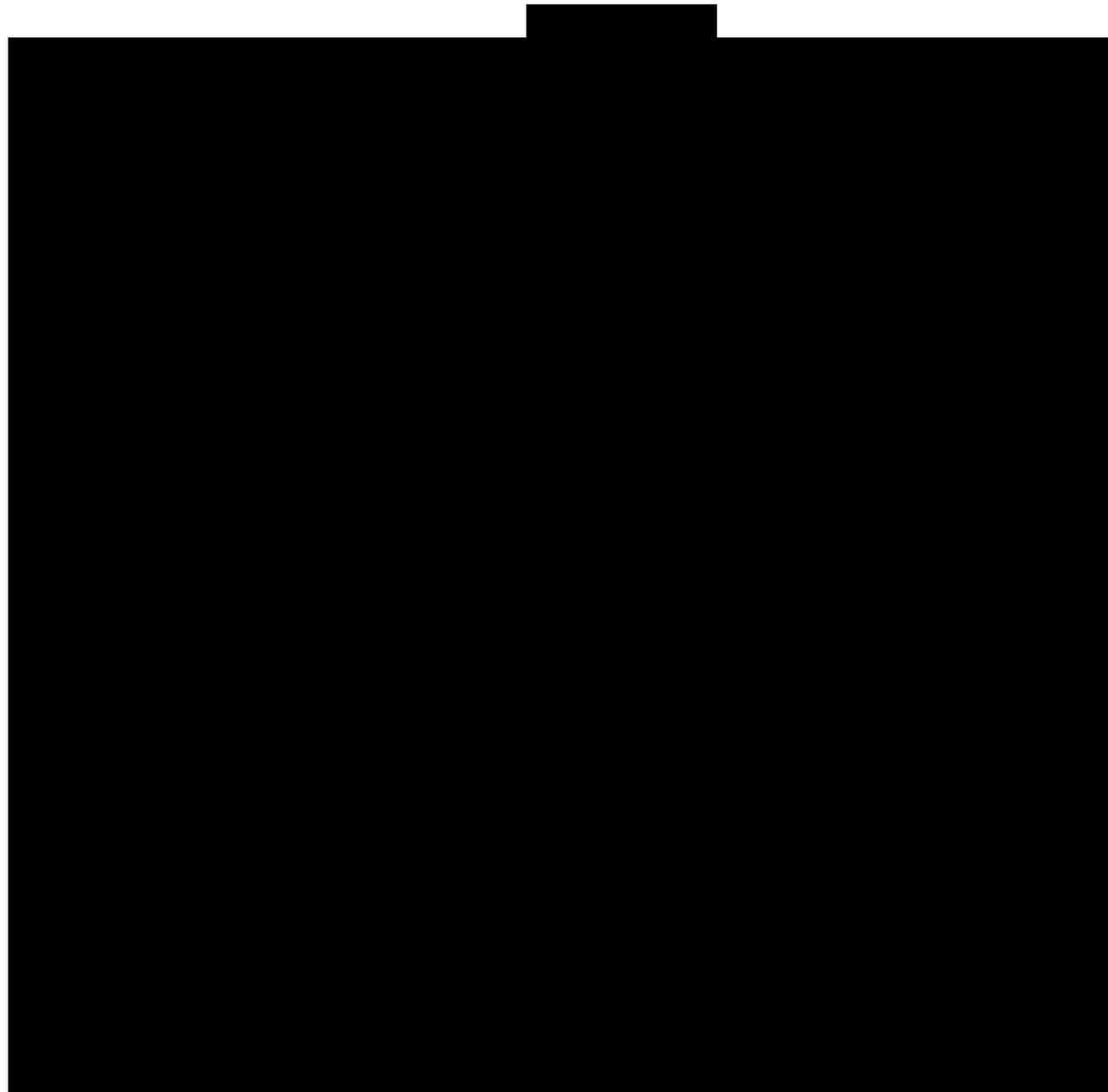
第 2.4.3.1-1 図
核燃料物質の貯蔵施設に係る
機器の配置を明示した図面
燃料加工建屋地下3階 (1/2)

番号	設備名称	機器名称		
①	貯蔵容器一時保管設備	一時保管ピット		
②	粉末一時保管設備	粉末一時保管装置グローブボックス-1		
③		粉末一時保管装置1, 2, 3	粉末一時保管装置グローブボックス-2	
④		粉末一時保管装置4, 5, 6	粉末一時保管装置グローブボックス-3	
⑤		粉末一時保管装置7, 8, 9	粉末一時保管装置グローブボックス-4	
⑥		粉末一時保管装置10, 11, 12	粉末一時保管装置グローブボックス-5	
⑦			粉末一時保管装置グローブボックス-6	
⑧		ペレット一時保管設備	焼結ポート入出庫装置-1	焼結ポート受渡装置-1, -2, -3
⑨	ペレット一時保管棚-1			ペレット一時保管棚グローブボックス-1
⑩	焼結ポート入出庫装置-2		焼結ポート受渡装置-4, -5	焼結ポート受渡装置グローブボックス-2
⑪			ペレット一時保管棚-2	ペレット一時保管棚グローブボックス-2
⑫	焼結ポート受渡装置-6, -7		焼結ポート受渡装置グローブボックス-3	
⑬	ペレット一時保管棚-3		ペレット一時保管棚グローブボックス-3	
⑭	焼結ポート受渡装置-8		焼結ポート受渡装置グローブボックス-4	

番号	設備名称	機器名称		
⑮	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器入出庫装置	製品ペレット貯蔵棚-1	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1
⑯			製品ペレット貯蔵棚-2	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2
⑰			製品ペレット貯蔵棚-3	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-3
⑱			製品ペレット貯蔵棚-4	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4
⑲			製品ペレット貯蔵棚-5	製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-5
⑳			ペレット保管容器受渡装置-1	ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1
㉑			ペレット保管容器受渡装置-2	ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2
㉒	スクラップ貯蔵設備	スクラップ保管容器入出庫装置	スクラップ貯蔵棚-1	スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1
㉓			スクラップ貯蔵棚-2	スクラップ貯蔵棚グローブボックス-2
㉔			スクラップ貯蔵棚-3	スクラップ貯蔵棚グローブボックス-3
㉕			スクラップ貯蔵棚-4	スクラップ貯蔵棚グローブボックス-4
㉖			スクラップ貯蔵棚-5	スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5
㉗			スクラップ保管容器受渡装置-1	スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1
㉘			スクラップ保管容器受渡装置-2	スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2
㉙			ペレット一時保管設備	遮蔽扉(ペレット一時保管設備)

第 2.4.3.1-1 図

核燃料物質の貯蔵施設に係る
機器の配置を明示した図面
燃料加工建屋地下 3 階 (2/2)



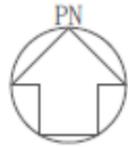
燃料加工建屋 地下2階平面図 (T. M. S. L. 43. 20 m)

番号	設備名称	機器名称
①	燃料棒 貯蔵設備	燃料棒貯蔵棚-1
②		燃料棒貯蔵棚-2
③		貯蔵マガジン入出庫装置

部屋番号	部屋名称
316	燃料棒貯蔵室

特記事項
1.  は今回申請対象設備を示す。

第 2. 4. 3. 1-2 図
核燃料物質の貯蔵施設に係る機器の配置を明示した図面
燃料加工建屋地下2階



貯蔵容器搬送用洞道

ウラン・プルトニウム
混合酸化物貯蔵建屋^{※2}

PA-61

燃料加工建屋^{※1}

※1： 第1回設工認申請（原規規発第2209145号 令和4年9月14日付）にて認可済み。

※2： 再処理施設のため、MOX燃料加工施設においては申請対象外。

凡例

： 火災区域の境界

： 建屋毎の火災区域構造物の厚さ最小部位

---： 第2回設工認申請の対象外の建屋

第2.4.5.1.1.1-1 図

火災防護設備に係る火災区域構造物及び火災区画構造物の配置を明示した図面
貯蔵容器搬送用洞道

第2.4.5.1.1.1-1図 火災防護設備に係る火災区域構造物及び火災区画構造物の配置を明示した図面 貯蔵容器搬送用洞道

主要寸法 (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
貯蔵容器搬送用洞道	300* ¹	150以上* ^{2*3*4}	—

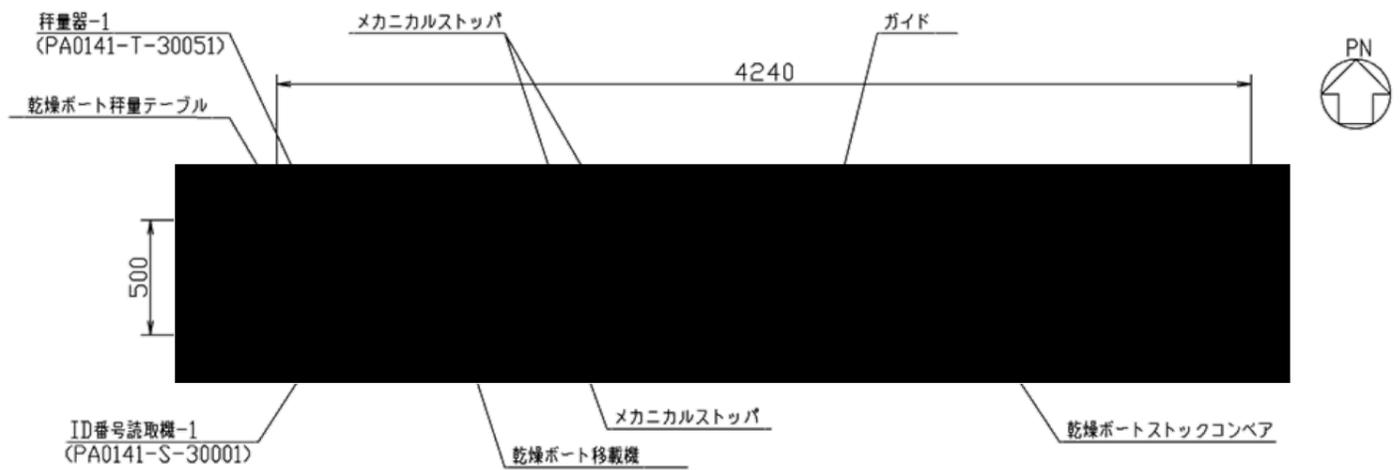
注記 *1：公称値のうち最小のものを示す。

*2：火災区域構造物の耐火能力として150mm以上とする。

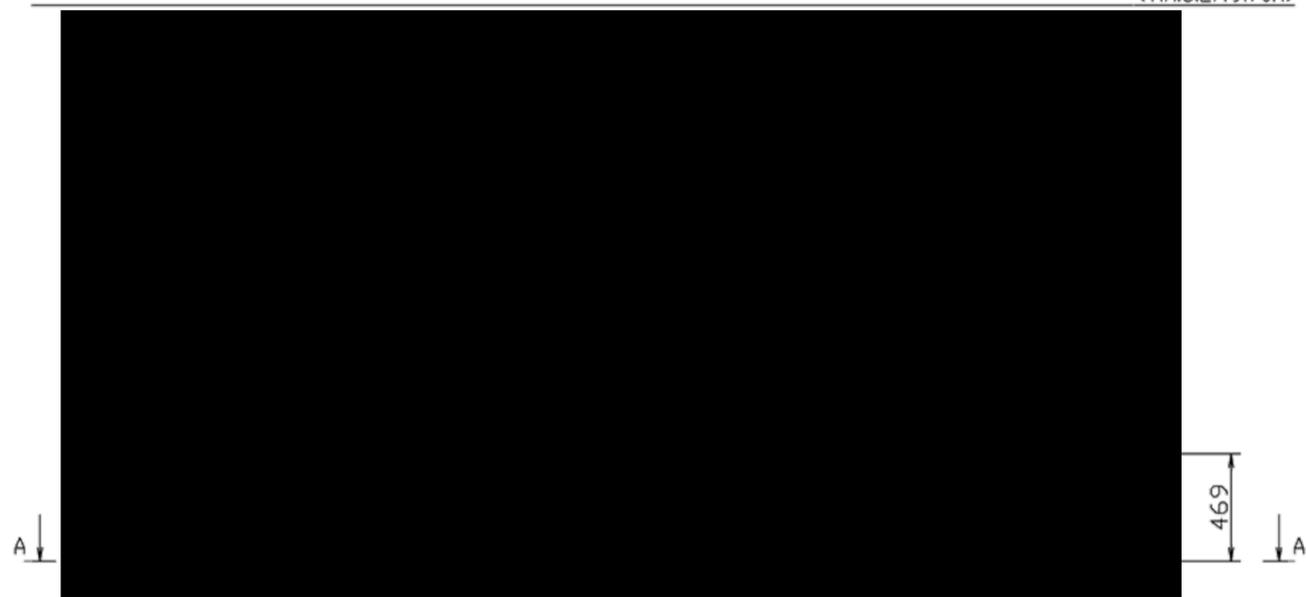
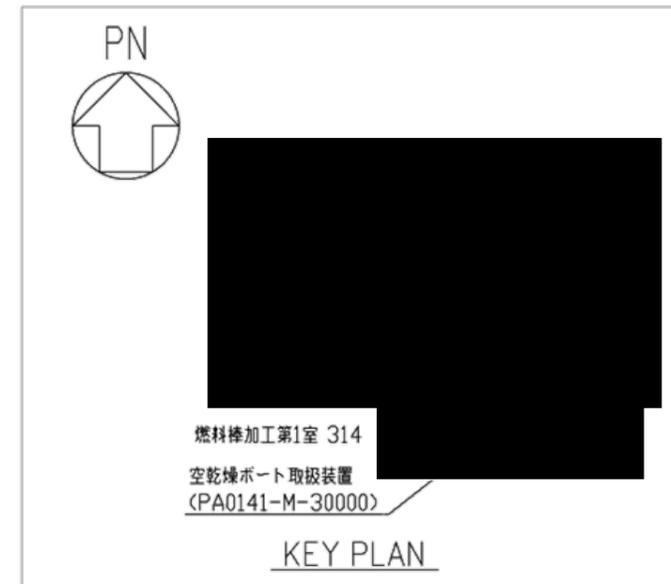
*3：出典 2001年版耐火性能検証法の解説及び計算例とその解説（「建設省告示第1433号耐火性能検証法に関する算出方法等を定める件」講習会テキスト(国土交通省住宅局建築指導課)）

*4：出典 米国NFPA Handbook Twentieth Edition

V - 2 - 5 構造図

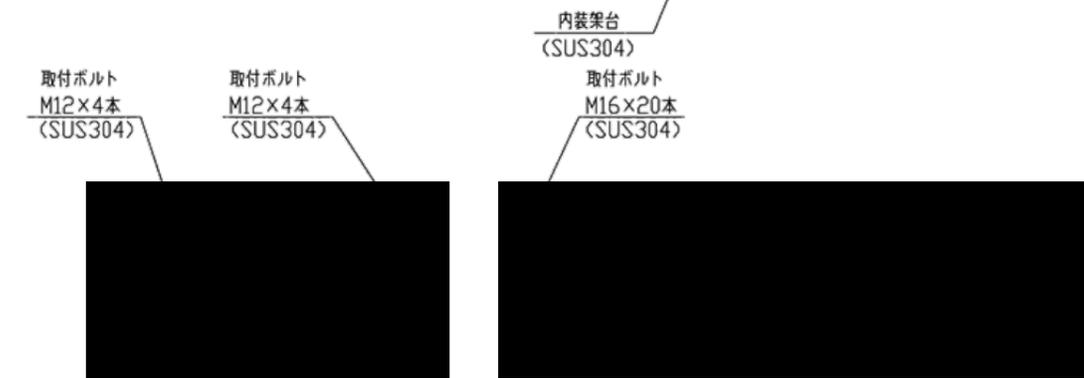


(T.M.S.L.49.70m)



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備(秤量器, ID番号読取機)を設置する。(次回以降申請)
3. 乾燥ボート移載機にメカニカルストップを設置する。



A-A矢視

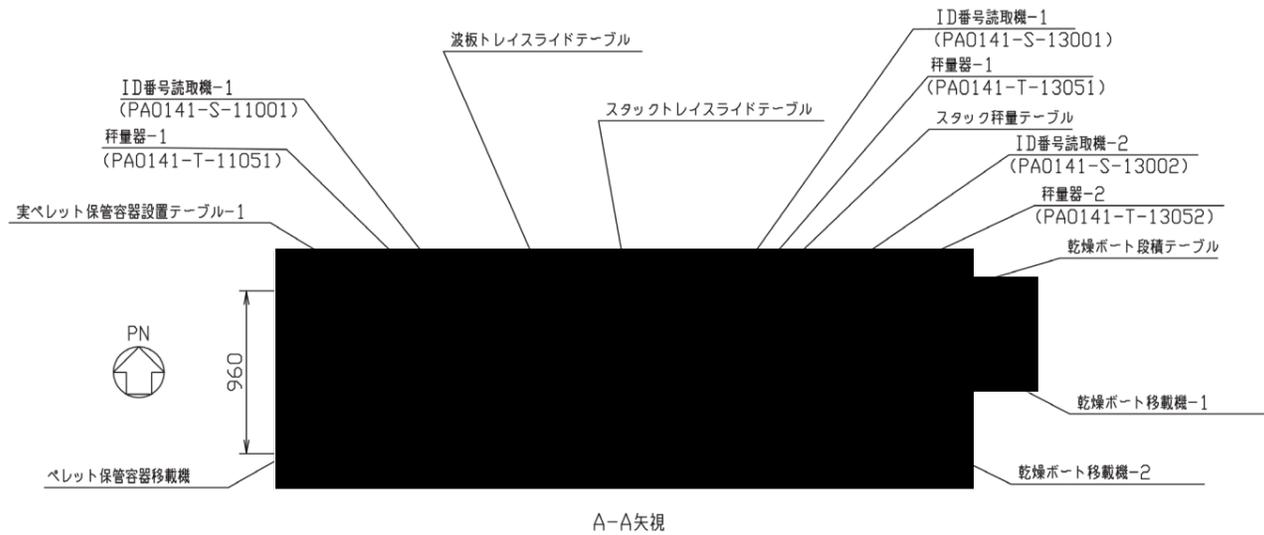
第2.5.2.1.1図 被覆施設
スタック編成設備の構造図
空乾燥ボート取扱装置
(PA0141-M-30000)

第2.5.2.1.1図 被覆施設 スタック編成設備の構造図

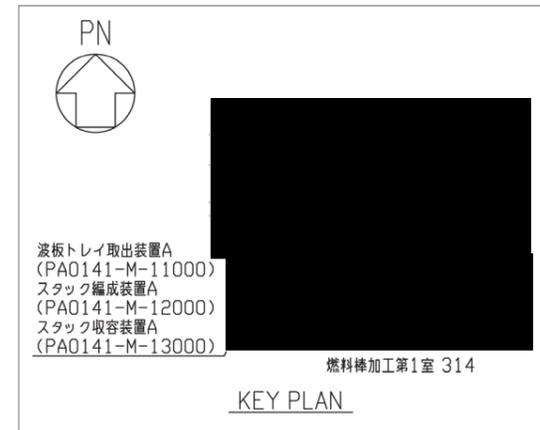
空乾燥ポート取扱装置 (PA0141-M-30000)

主要寸法*		許容範囲	根拠
(mm)		(mm)	
たて	4240	[REDACTED]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	469		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

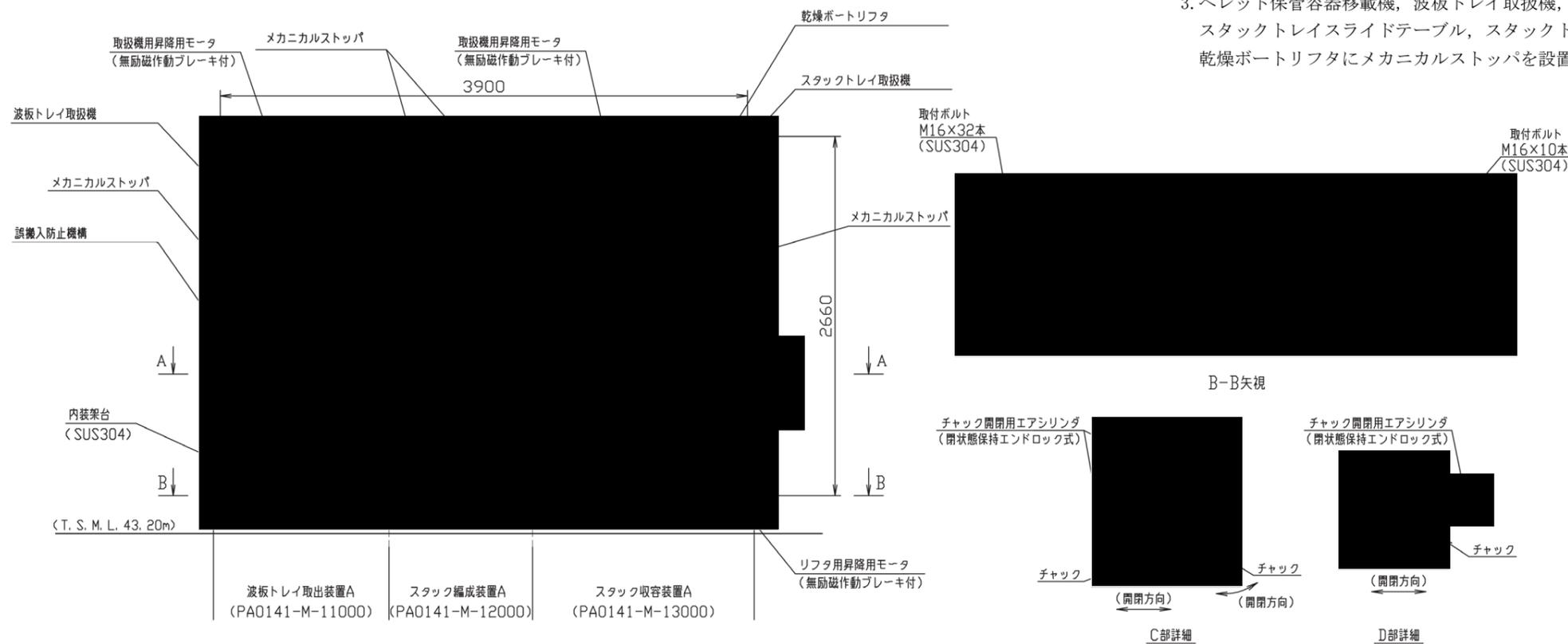


A-A矢視



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備(秤量器, ID番号読取機)を設置する。(次回以降申請)
3. ペレット保管容器移載機, 波板トレイ取扱機, 波板トレイスライドテーブル, スタックトレイスライドテーブル, スタックトレイ取扱機, 乾燥ポート移載機-1, 乾燥ポートリフタにメカニカルストップを設置する。

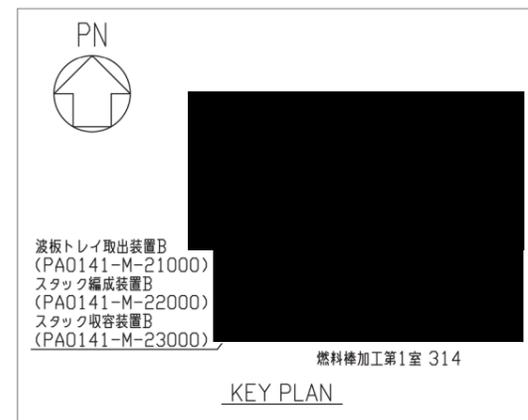
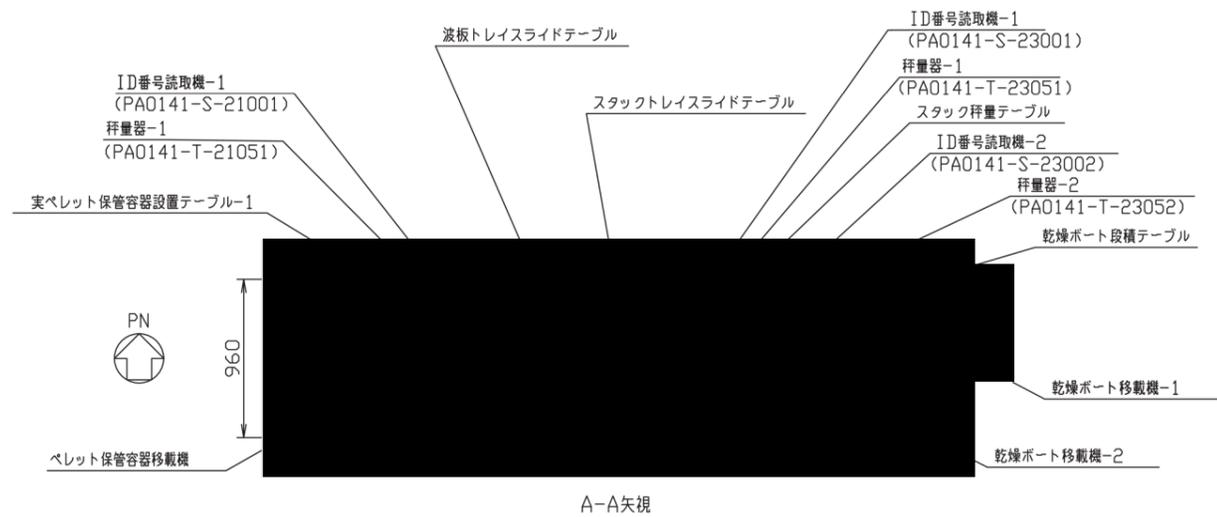


B-B矢視

C部詳細

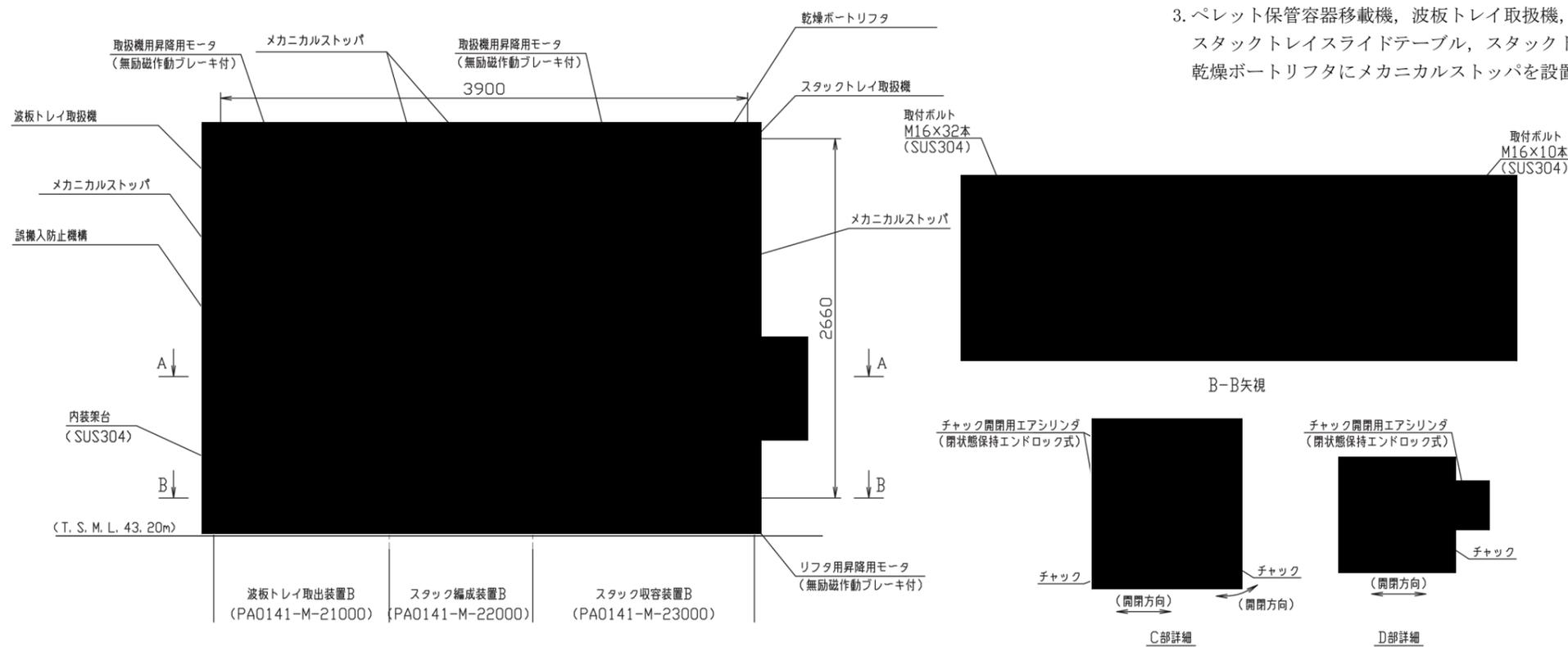
D部詳細

第2.5.2.1.2図 被覆施設
スタック編成設備の構造図
波板トレイ取出装置
(PA0141-M-11000, -21000)
スタック編成装置
(PA0141-M-12000, -22000)
スタック収容装置
(PA0141-M-13000, -23000) (1/2)



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備(秤量器, ID番号読取機)を設置する。(次回以降申請)
3. ペレット保管容器移載機, 波板トレイ取扱機, 波板トレイスライドテーブル, スタックトレイスライドテーブル, スタックトレイ取扱機, 乾燥ボート移載機-1, 乾燥ボートリフタにメカニカルストップを設置する。



第2.5.2.1.2図 被覆施設
スタック編成設備の構造図
波板トレイ取出装置
(PA0141-M-11000, -21000)
スタック編成装置
(PA0141-M-12000, -22000)
スタック収容装置
(PA0141-M-13000, -23000) (2/2)

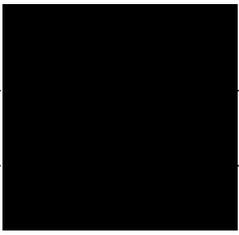
第2.5.2.1.2図 被覆施設 スタック編成設備の構造図

波板トレイ取出装置 (PA0141-M-11000, -21000) ,

スタック編成装置 (PA0141-M-12000, -22000) ,

スタック収容装置 (PA0141-M-13000, -23000)

波板トレイ取出装置 (PA0141-M-11000, -21000)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3900		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	960		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2660		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

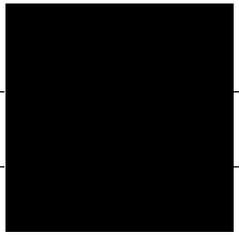
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

スタック編成装置 (PA0141-M-12000, -22000)

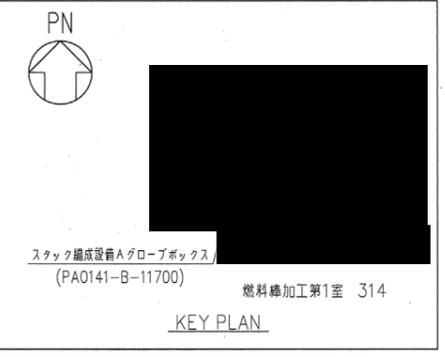
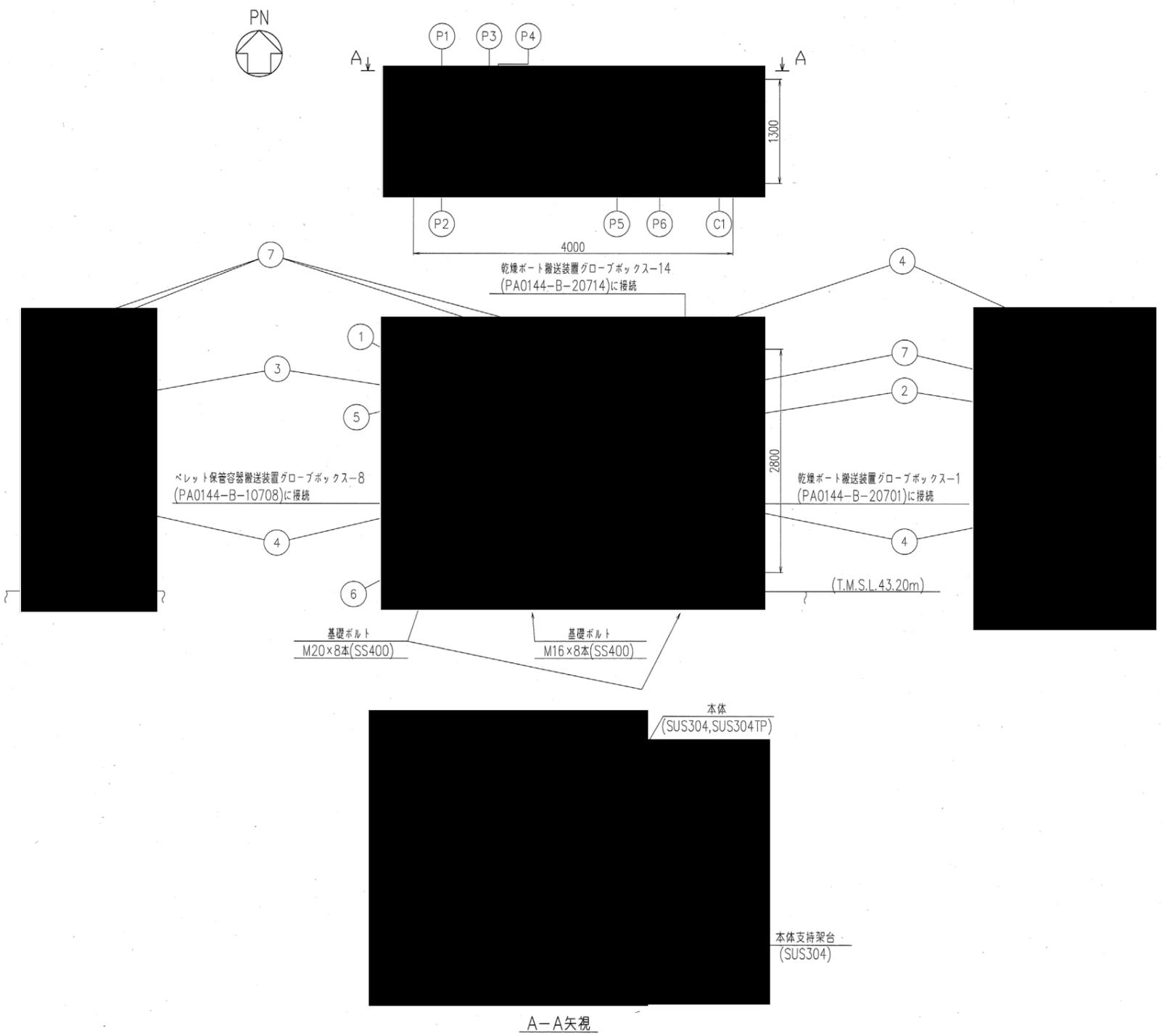
主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3900		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	960		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2660		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

スタック収容装置 (PA0141-M-13000, -23000)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3900		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	960		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2660		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	1
P6	予備	10A	1
P5	予備	10A	1
P4	圧縮空気入口	8A	1
P3	圧縮空気入口	8A	1
P2	排気口	150A	1
P1	排気口	150A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
7	コネクタ部	3式
6	含鉛アクリルパネル	1式
5	窓板	1式
4	伸縮継手	3式
3	搬出入口(大)	1式
2	搬出入口(小)	1式
1	本体	1基

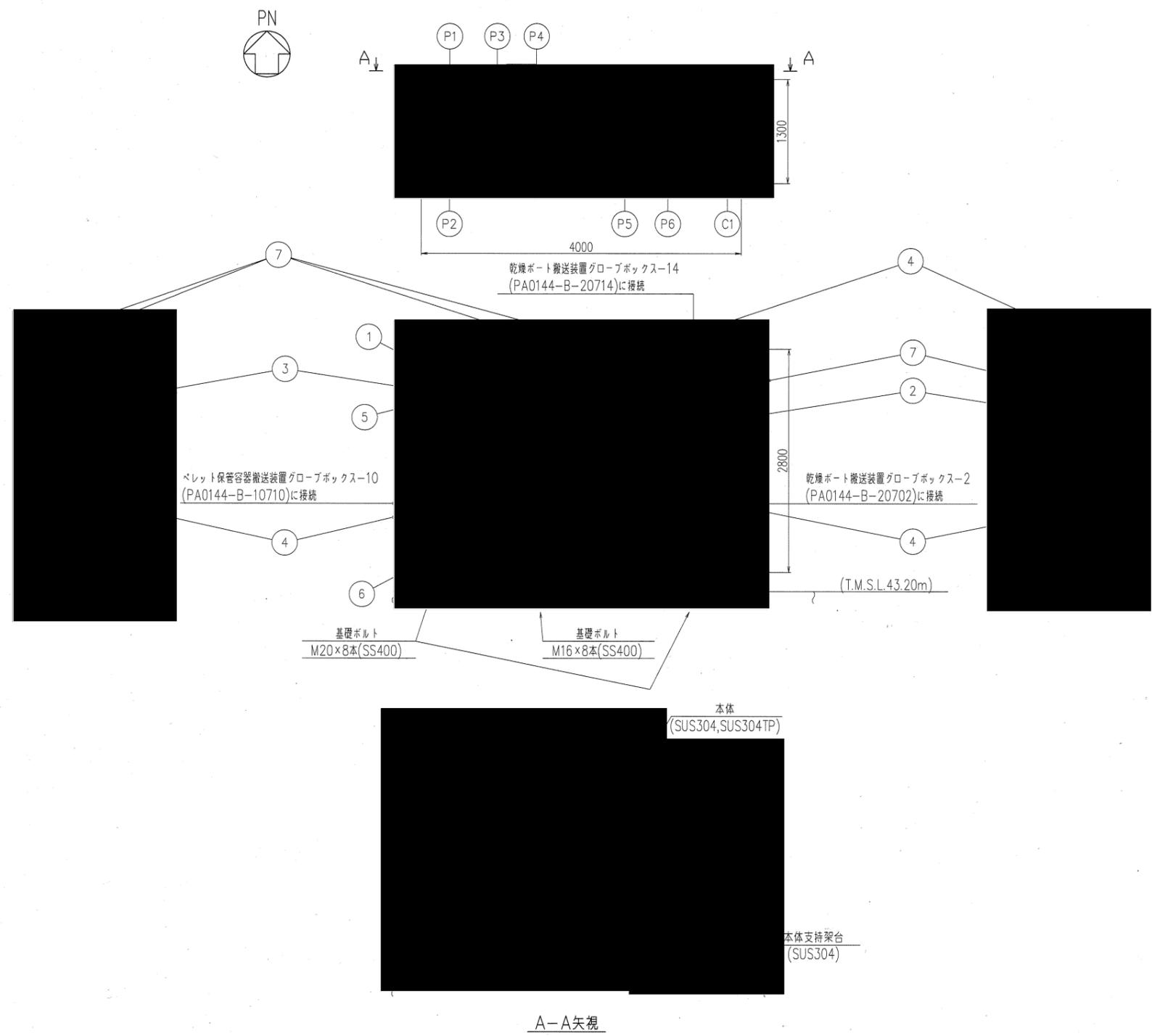
部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

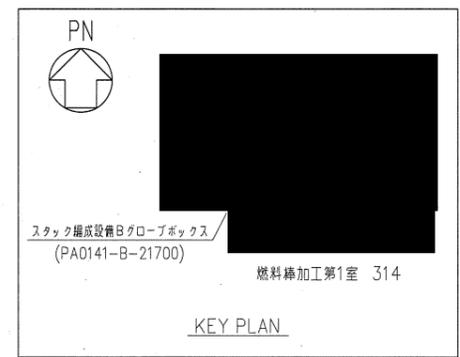
特記事項

1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.1.3図 被覆施設
スタック編成設備の構造図
スタック編成設備グローブボックス
(PA0141-B-11700, -21700) (1/2)



A-A矢視



KEY PLAN

符号	名 称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	1
P6	予 備	10A	1
P5	予 備	10A	1
P4	圧縮空気入口	8A	1
P3	圧縮空気入口	8A	1
P2	排 気 口	150A	1
P1	排 気 口	150A	1

管 台 一 覧 表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名 称	個数
7	コネクタ部	3式
6	含鉛アクリルパネル	1式
5	窓板	1式
4	伸縮継手	3式
3	搬出入口(大)	1式
2	搬出入口(小)	1式
1	本体	1基

部 品 表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

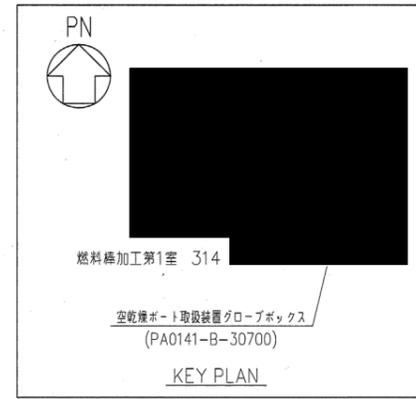
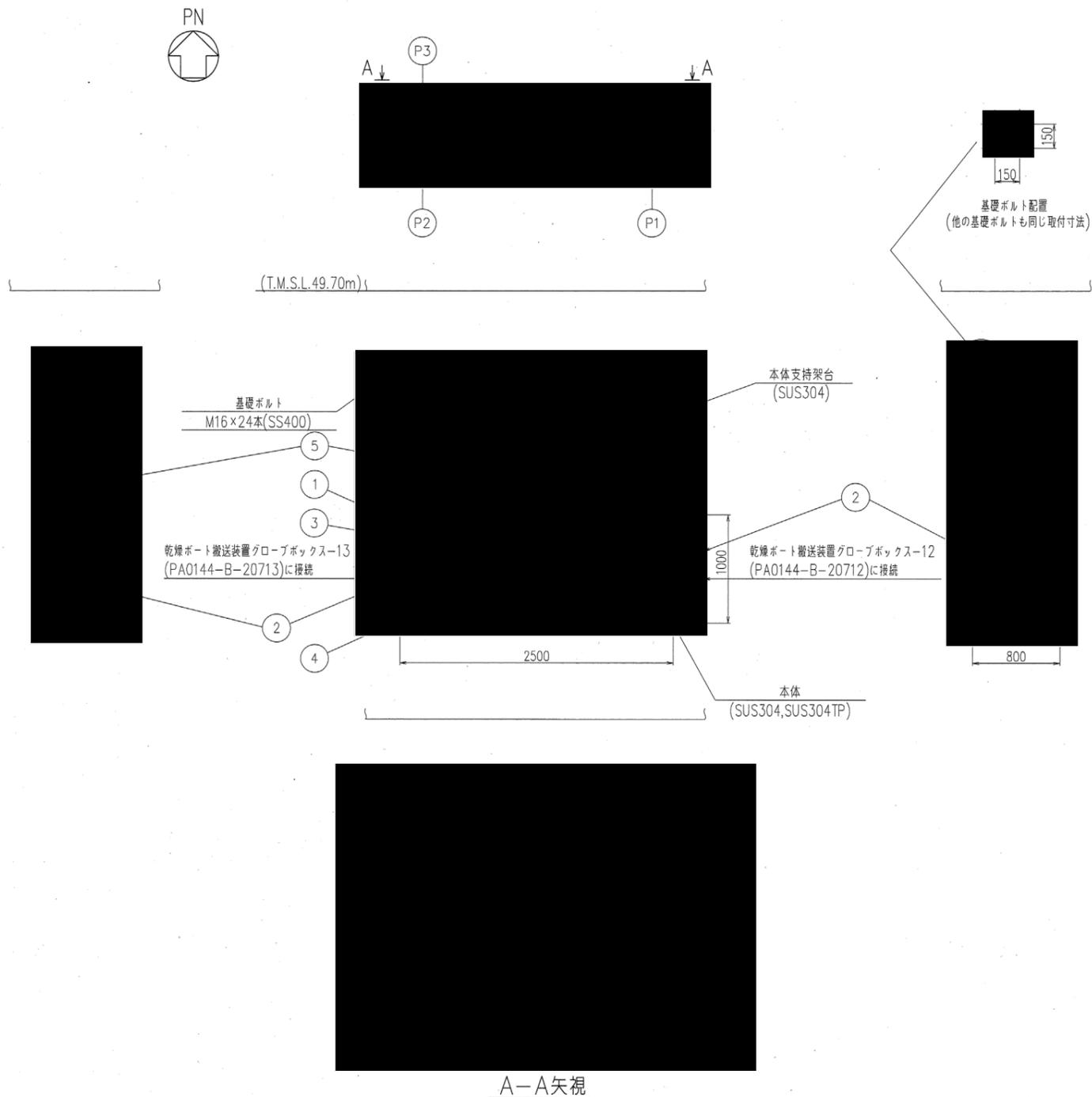
第2.5.2.1.3図 被覆施設
スタック編成設備の構造図
スタック編成設備グローブボックス
(PA0141-B-11700, -21700) (2/2)

第2.5.2.1.3図 被覆施設 スタック編成設備の構造図

スタック編成設備グローブボックス (PA0141-B-11700, -21700)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	4000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1300		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
P3	予備	10A	1
P2	予備	10A	1
P1	圧縮空気入口	8A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
5	コネクタ部	1式
4	含鉛アクリルパネル	1式
3	零板	1式
2	伸縮継手	2式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

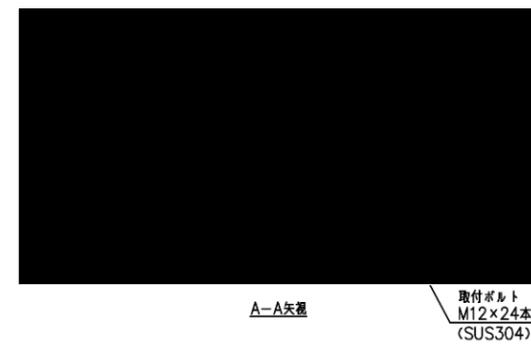
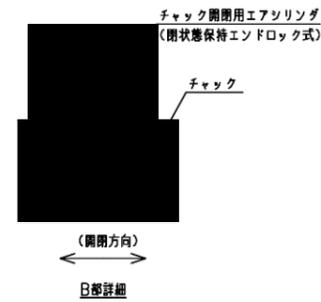
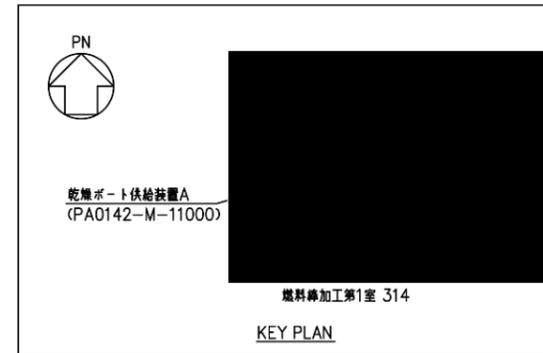
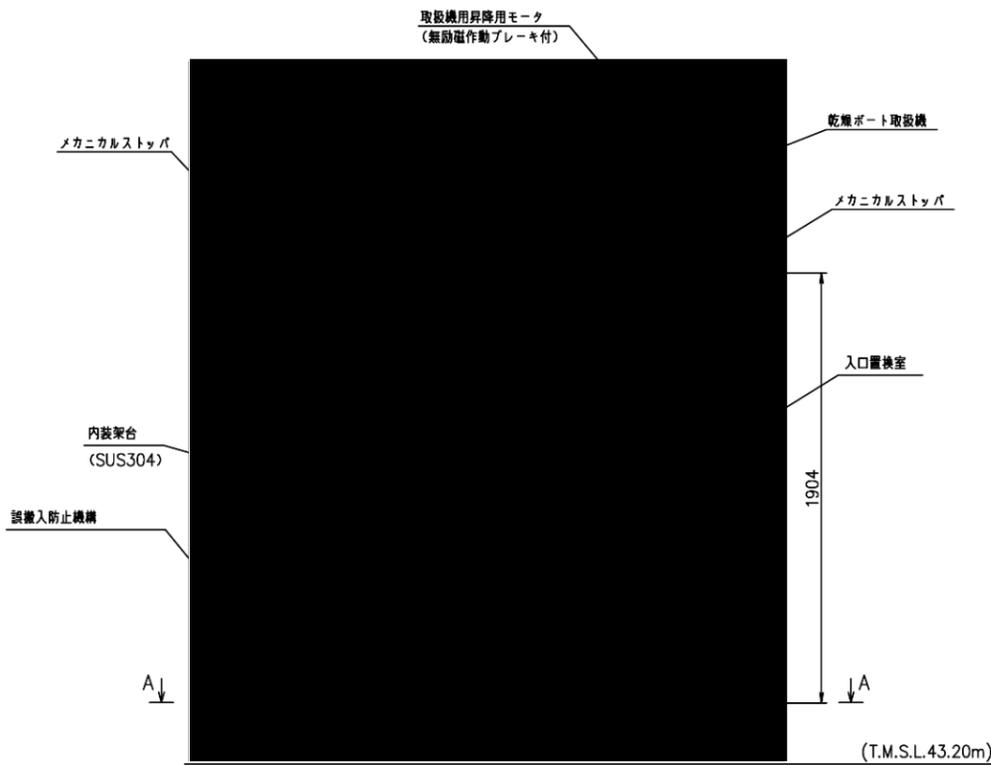
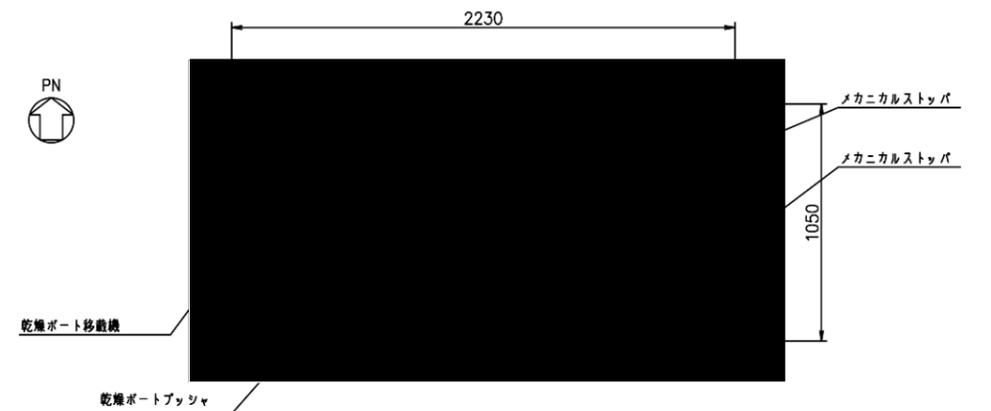
1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.1.4図 被覆施設
スタック編成設備の構造図
空乾燥ポート取扱装置グローブボックス
(PA0141-B-30700)

第2.5.2.1.4図 被覆施設 スタック編成設備の構造図
空乾燥ポート取扱装置グローブボックス (PA0141-B-30700)

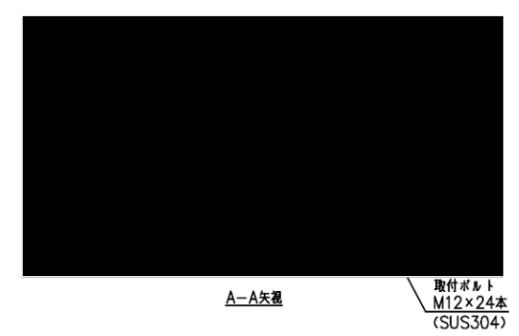
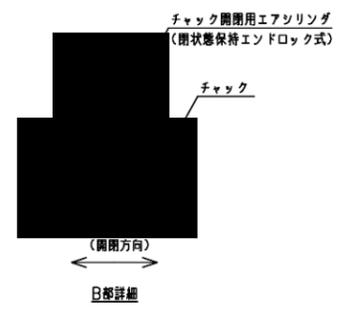
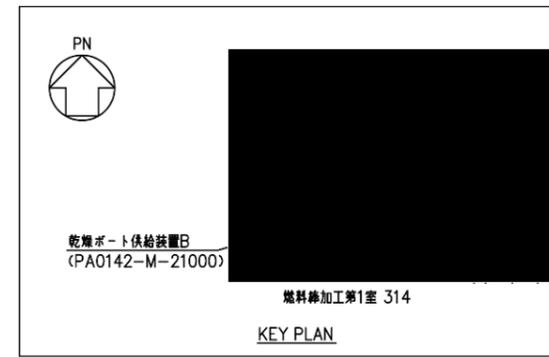
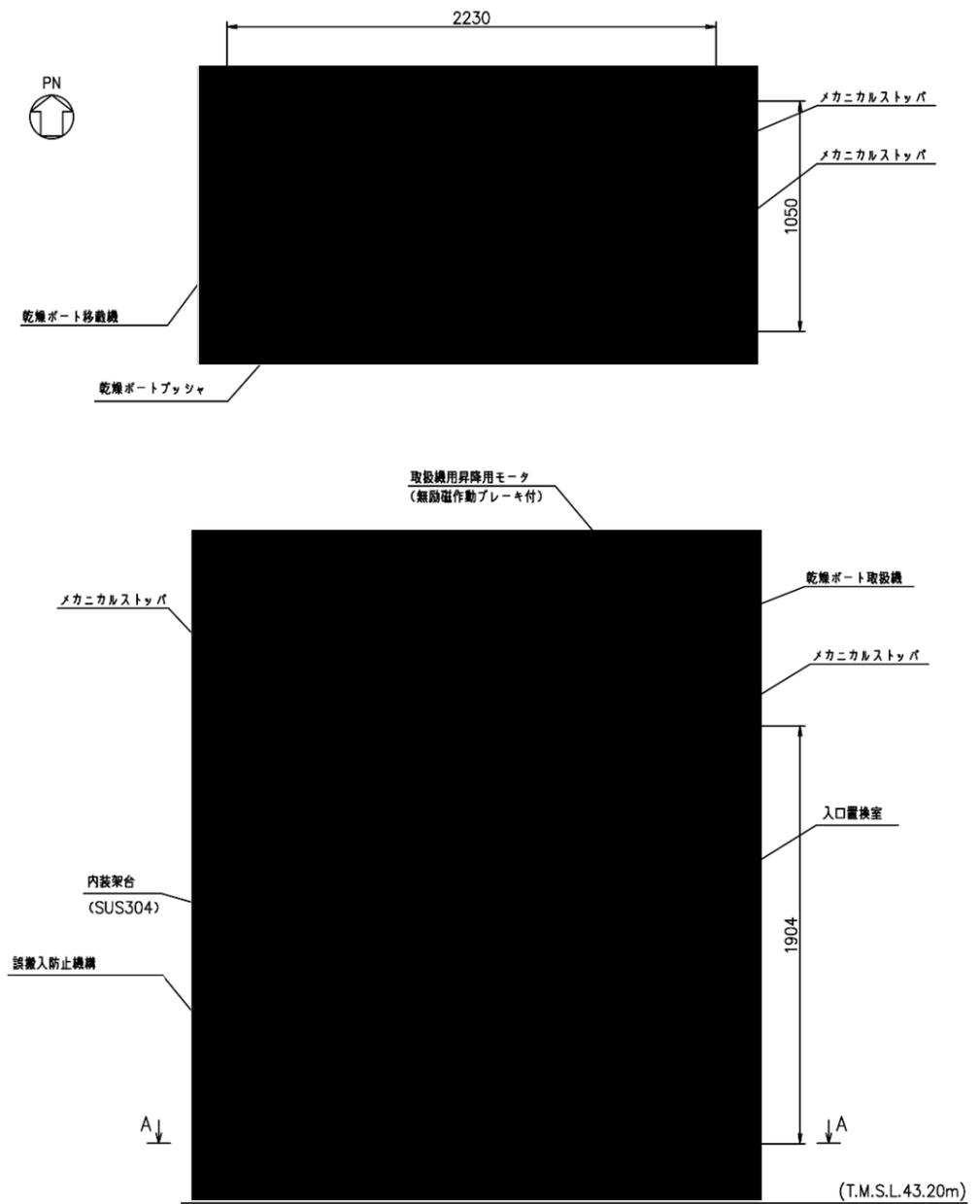
主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 乾燥ボート移載機, 乾燥ボート取扱機にはメカニカルストップを設置する。



- 特記事項
1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 2. 乾燥ポート移送機、乾燥ポート取扱機にはメカニカルストップを設置する。

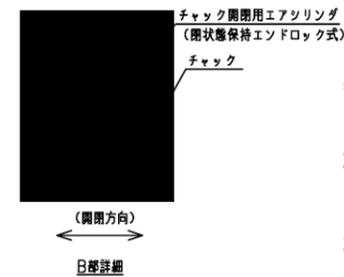
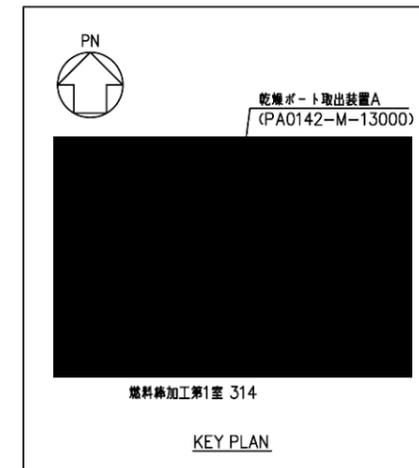
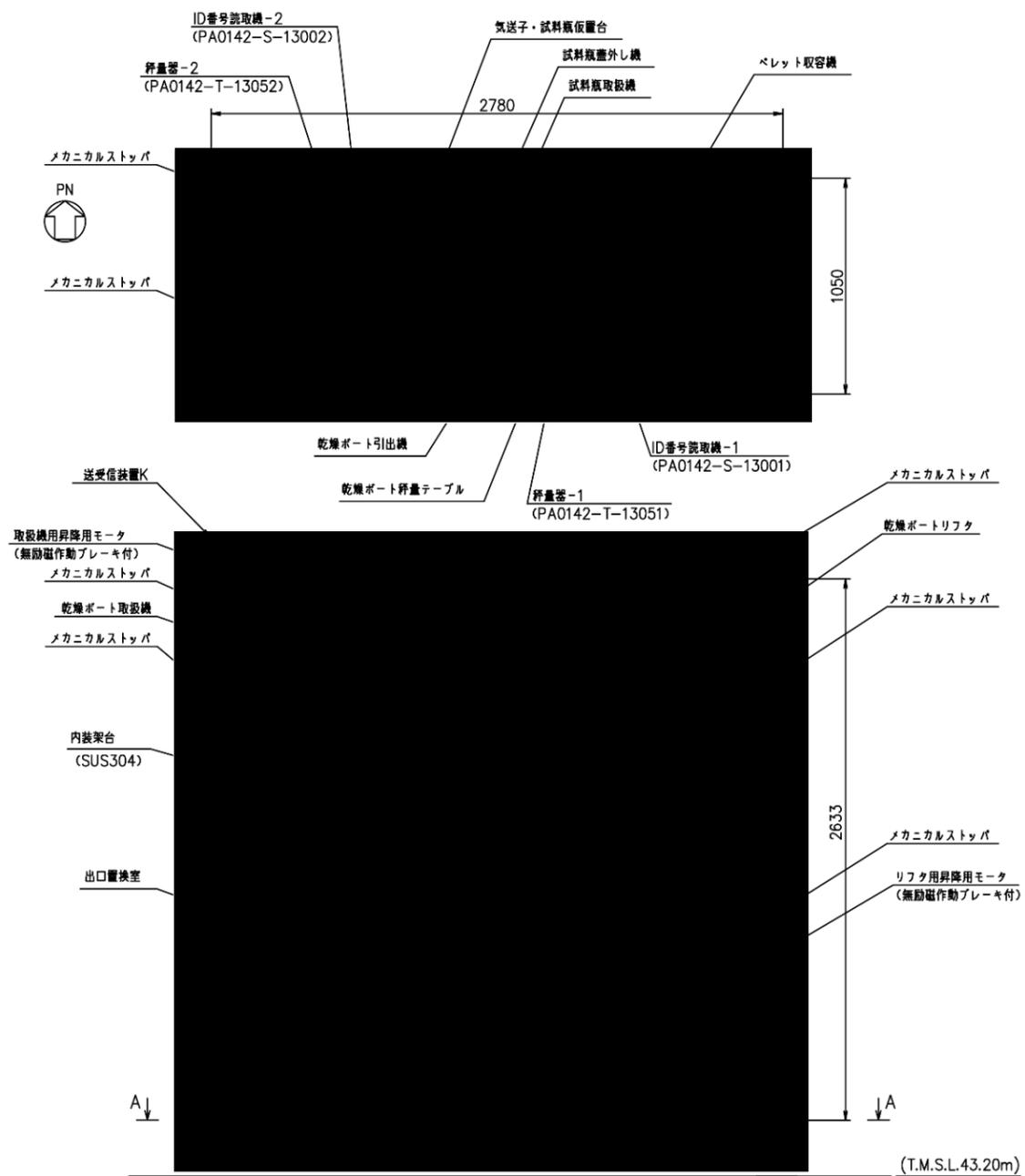
第2.5.2.2.1図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
乾燥ポート供給装置
(PA0142-M-11200, -21000) (2/2)

第2.5.2.2.1図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図

乾燥ボート供給装置(PA0142-M-11000, -21000)

主要寸法* ¹ (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2230	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1050		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1904		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

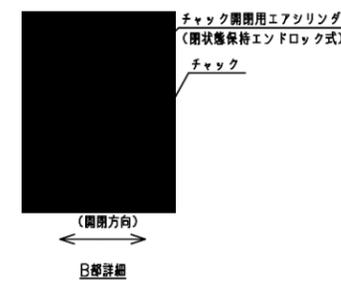
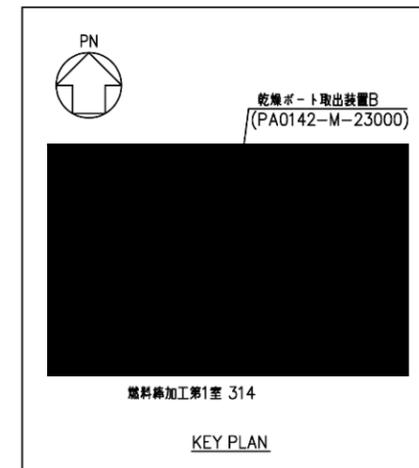
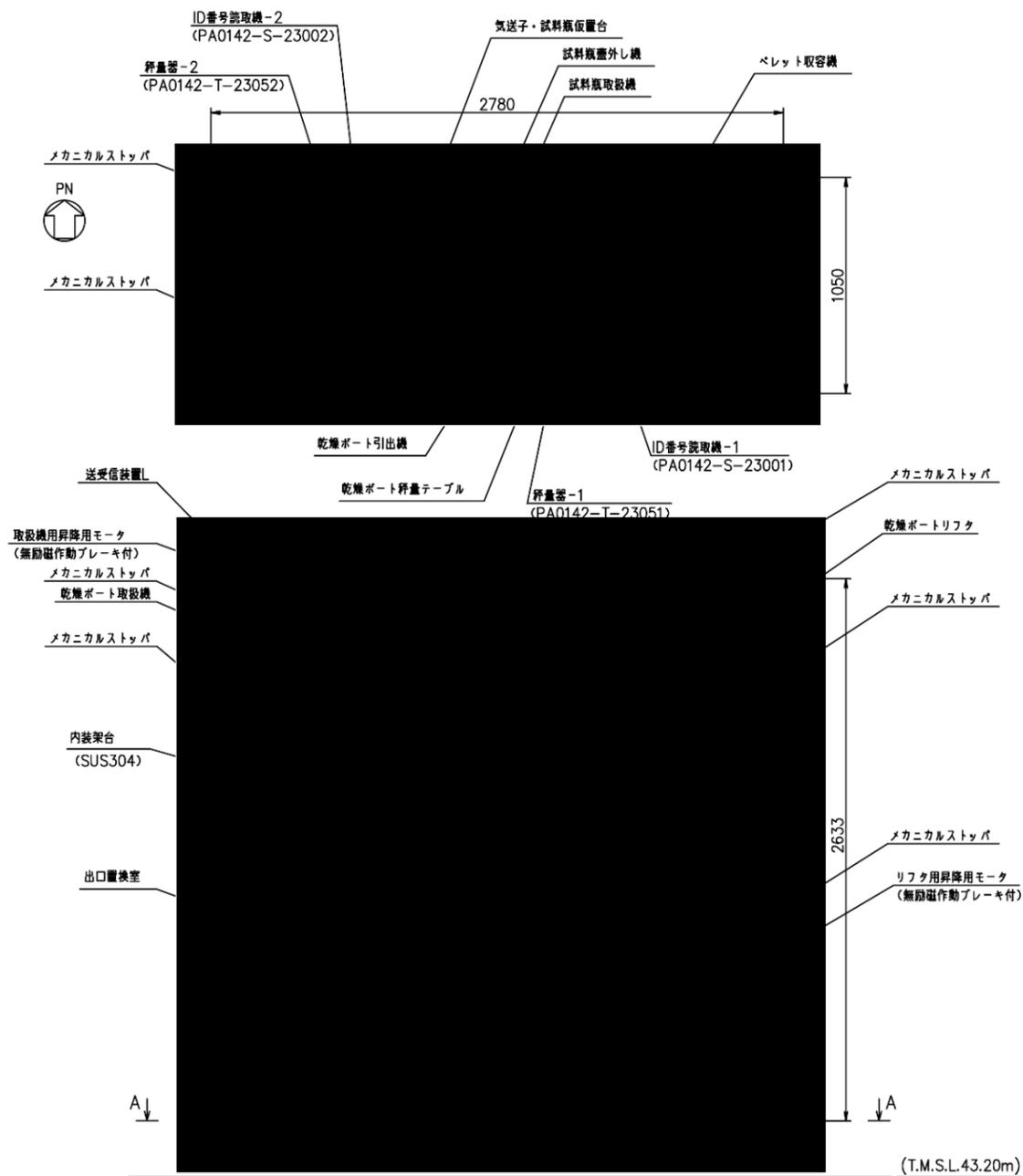


特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備(秤量器, ID番号読取機)を設置する。
(次回以降申請)
3. 本設備には、分析設備(気送装置:送受信装置)を設置する。
4. 乾燥ボート秤量テーブルにはメカニカルストップを設置する。



第2.5.2.2図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
乾燥ボート取出装置
(PA0142-M-13000, -23000) (1/2)



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備(秤量器, ID番号読取機)を設置する。
(次回以降申請)
3. 本設備には、分析設備(気送装置: 送受信装置)を設置する。
4. 乾燥ボート秤量テーブルにはメカニカルストップを設置する。

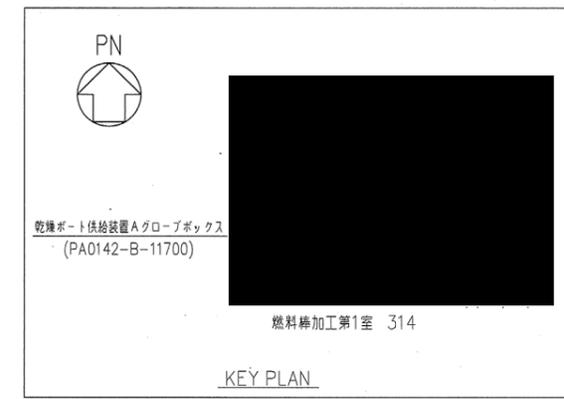
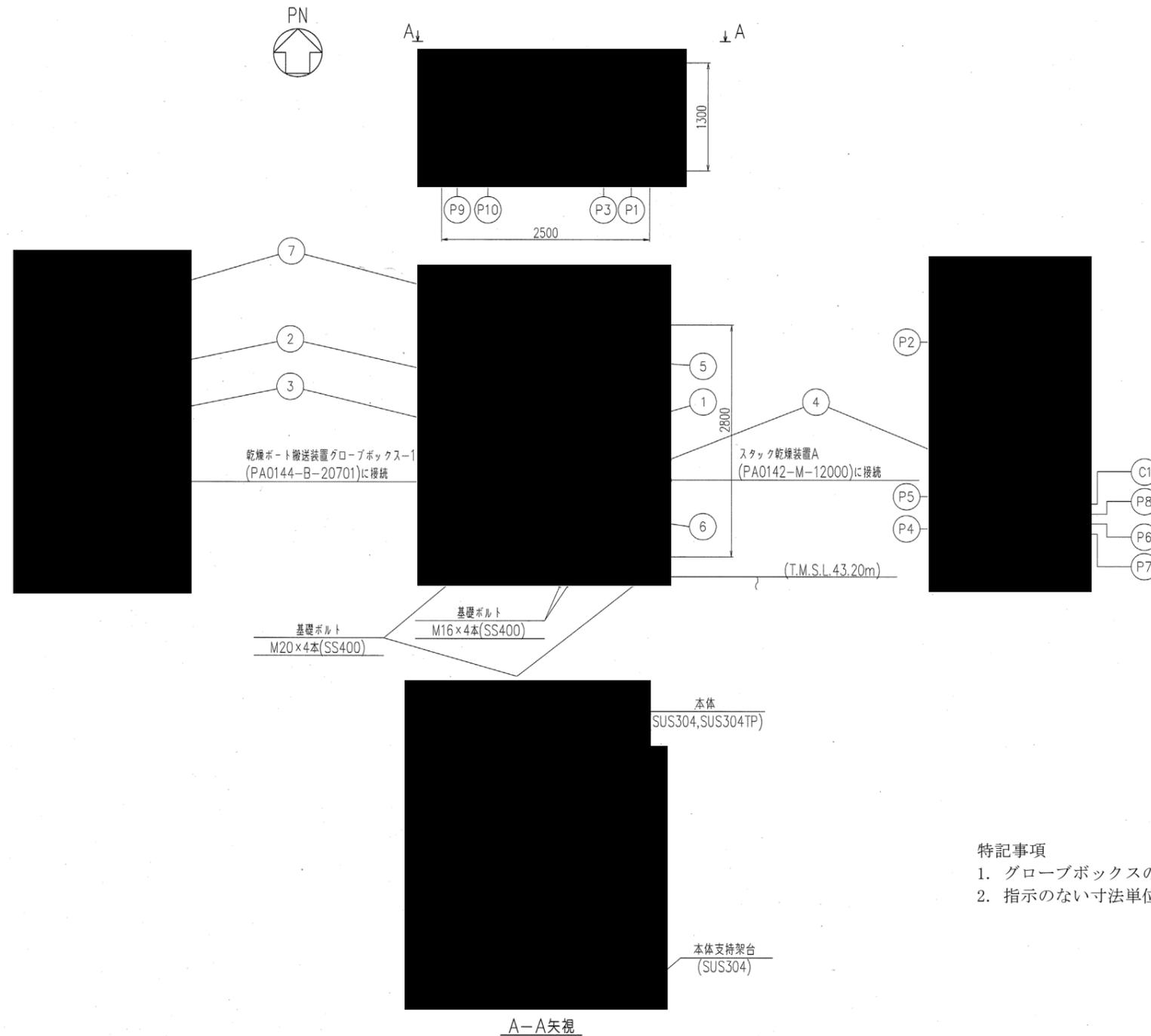
第2.5.2.2図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
乾燥ボート取出装置
(PA0142-M-13000, 23000) (2/2)

第2.5.2.2図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図

乾燥ボート取出装置 (PA0142-M-13000, -23000)

主要寸法* ¹ (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2780	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1050		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2633		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
C1	乾燥装置圧力計	10A	1
P10	予備	10A	1
P9	予備	10A	1
P8	真空引入口	15A	1
P7	真空引出口	15A	1
P6	真空引入口	15A	1
P5	圧縮空気入口	10A	1
P4	アルゴンガス入口	10A	1
P3	消火ガス入口	25A	1
P2	乾燥装置排気口	65A	1
P1	給気口	250A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

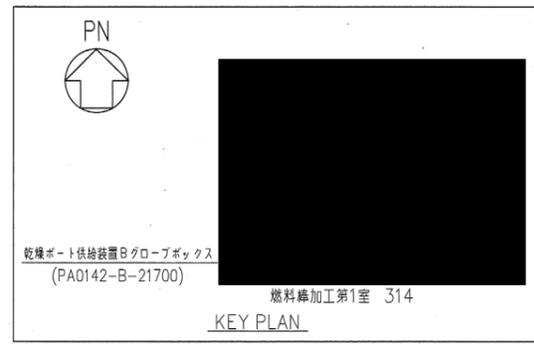
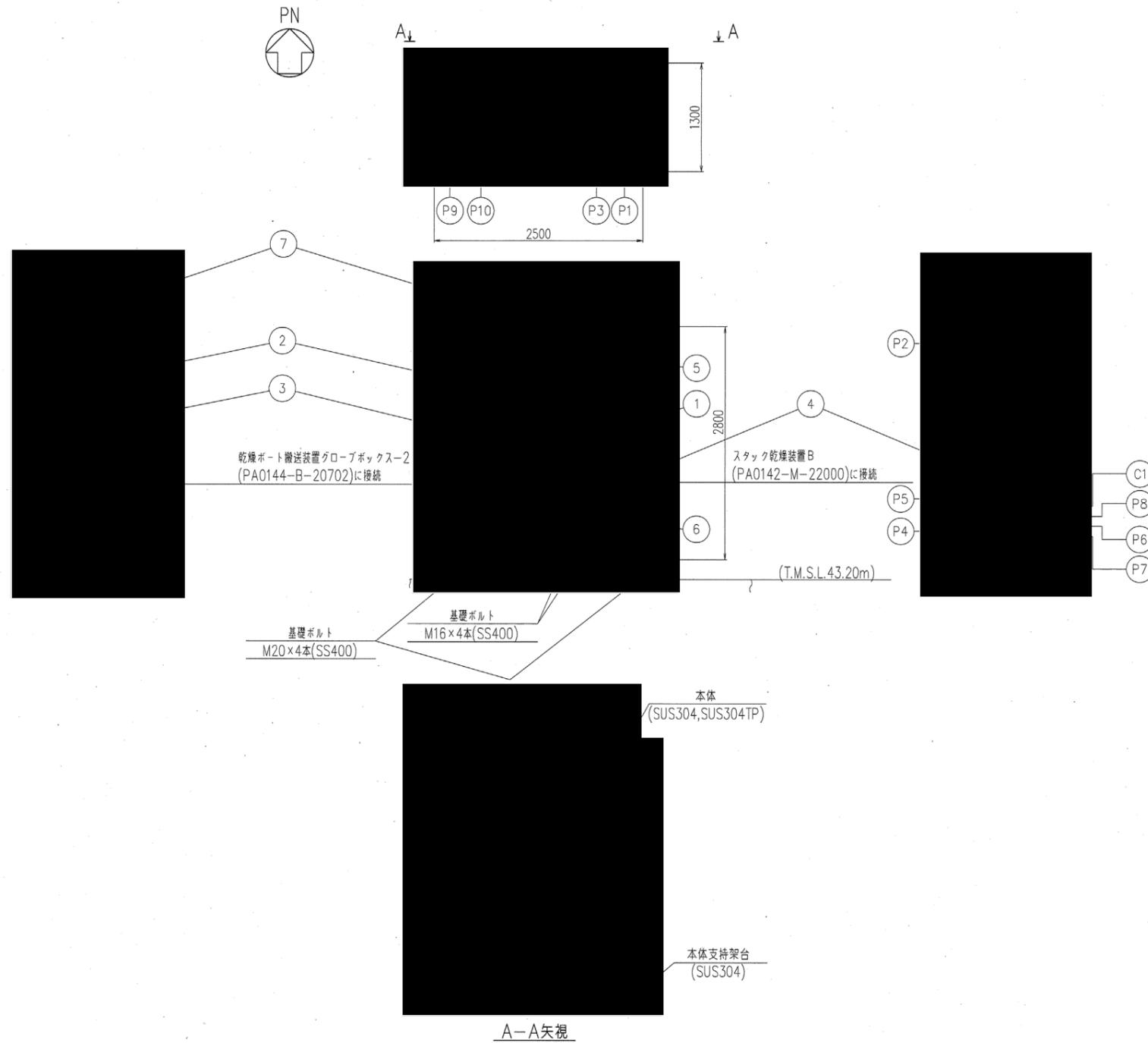
符号	名称	個数
7	コネクタ部	1式
6	含鉛アクリルパネル	1式
5	窓板	1式
4	伸縮継手	1式
3	搬出入口(大)	1式
2	搬出入口(小)	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

- 特記事項
1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
 2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.2.3図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
乾燥ボート供給装置グローブボックス
(PA0142-B-11700, -21700) (1/2)



符号	名称	呼び径	個数
C1	乾燥装置圧力計	10A	1
P10	予備	10A	1
P9	予備	10A	1
P8	真空引入口	15A	1
P7	真空引出口	15A	1
P6	真空引入口	15A	1
P5	圧縮空気入口	10A	1
P4	アルゴンガス入口	10A	1
P3	消火ガス入口	25A	1
P2	乾燥装置排気口	65A	1
P1	給気口	250A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
7	コネクタ部	1式
6	含鉛アクリルパネル	1式
5	窓板	1式
4	伸縮継手	1式
3	搬出入口(大)	1式
2	搬出入口(小)	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

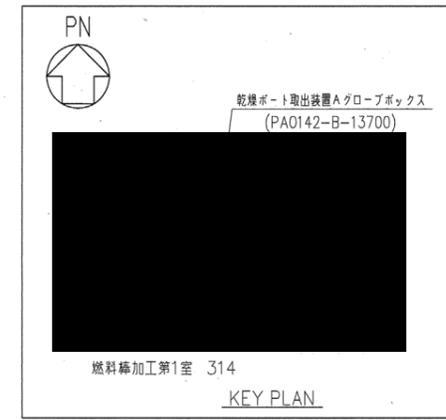
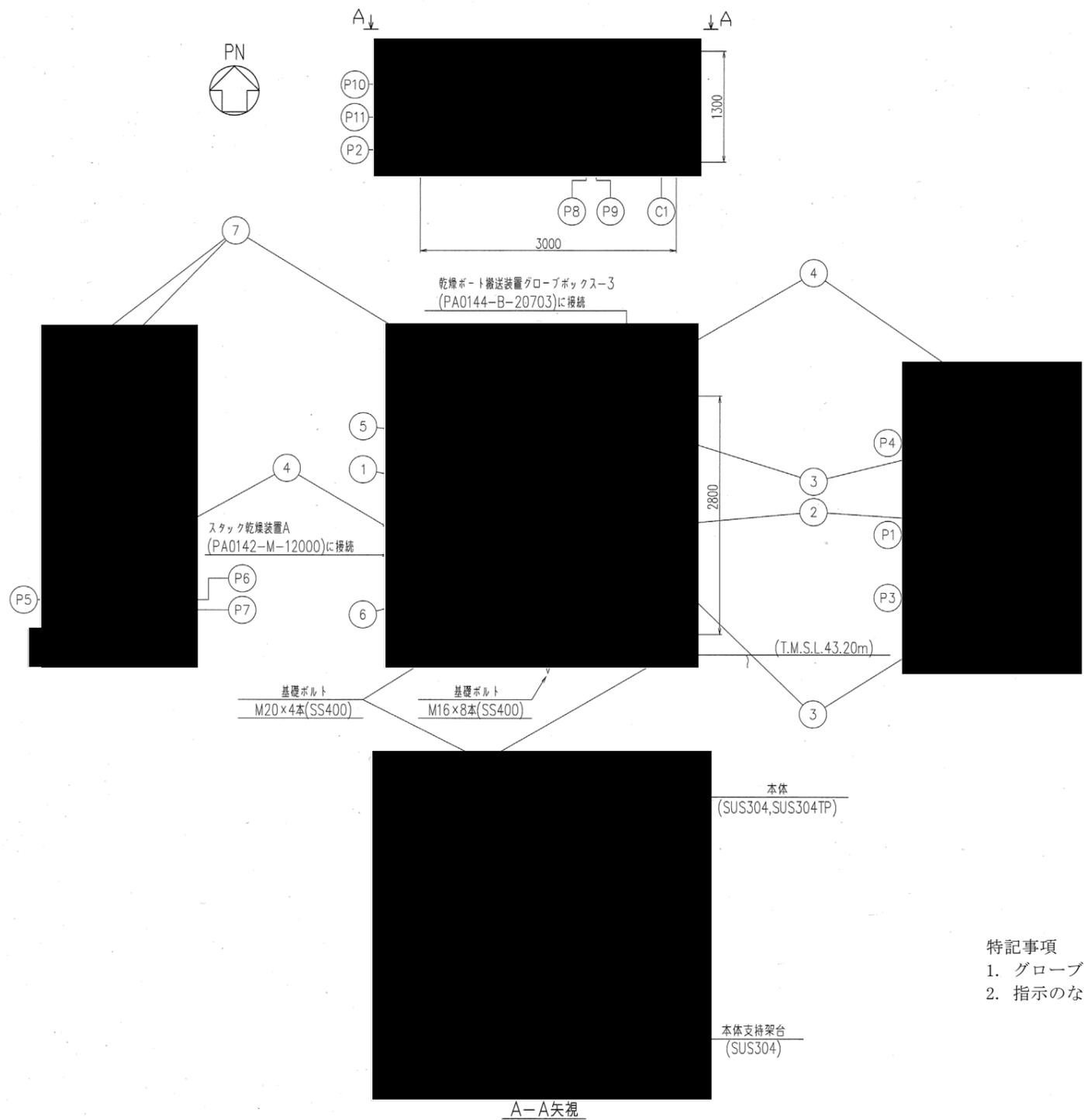
第2.5.2.2.3図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
乾燥ポート供給装置グローブボックス
(PA0142-B-11700, -21700) (2/2)

第2.5.2.2.3図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図

乾燥ボート供給装置グローブボックス (PA0142-B-11700, -21700)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1300		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	1
P11	空気管	50A	1
P10	気送管	50A	1
P9	予備	10A	1
P8	予備	10A	1
P7	アルゴン/窒素ガス入口	10A	1
P6	窒素ガス入口	10A	1
P5	真空引出口	15A	1
P4	消火ガス入口	20A	1
P3	冷却空気入口	80A	1
P2	排気口	100A	1
P1	給気口	150A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

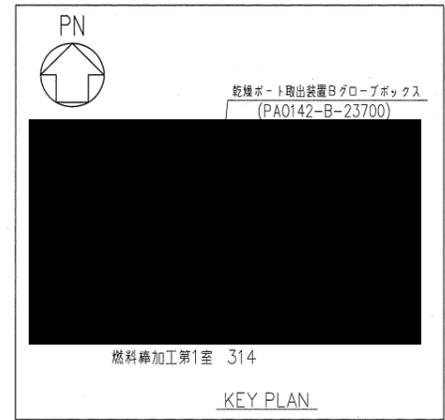
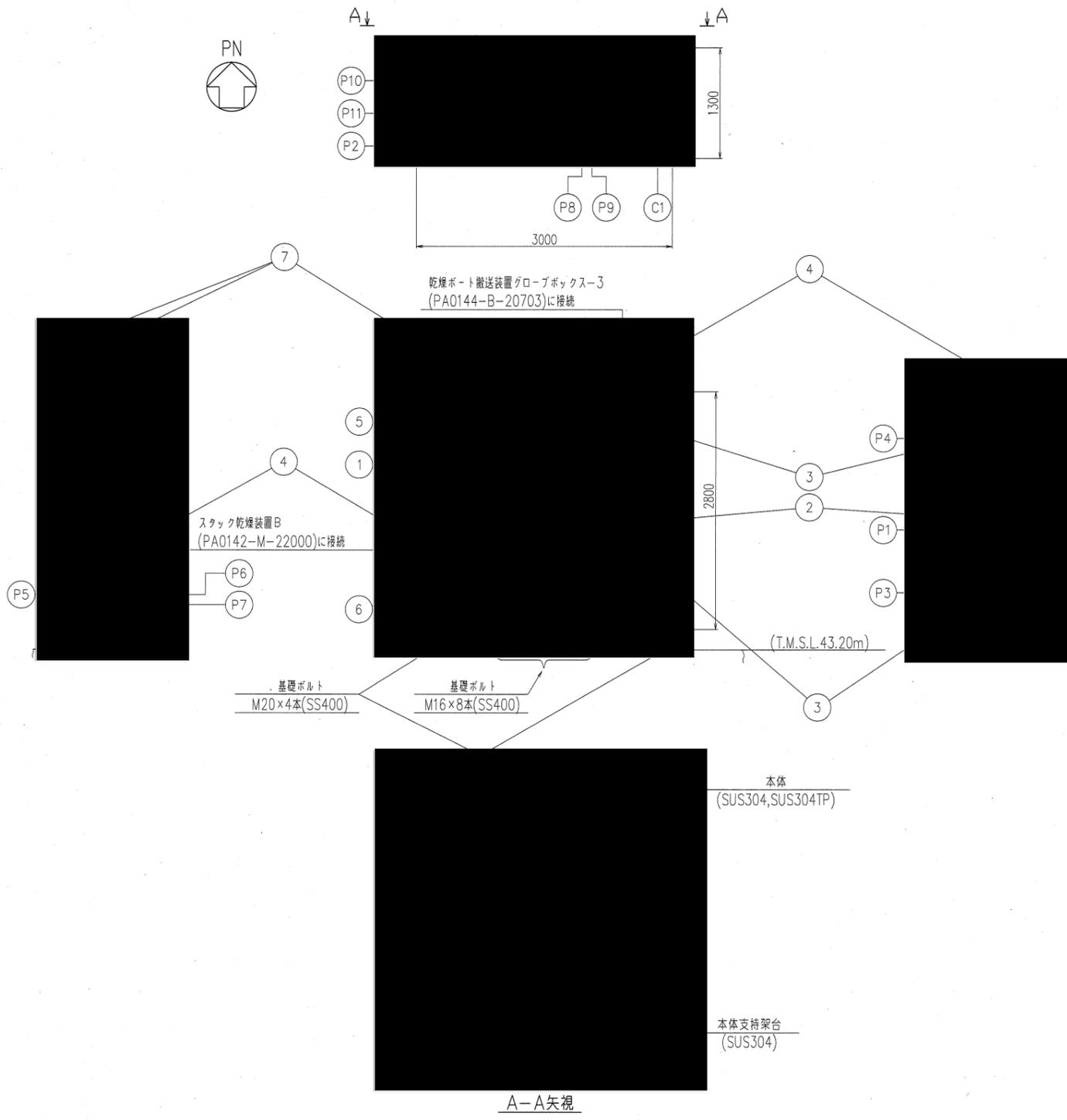
符号	名称	個数
7	コネクタ部	2式
6	含鉛アクリルパネル	1式
5	窓板	1式
4	伸縮継手	2式
3	搬出入口(大)	2式
2	搬出入口(小)	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

- 特記事項
1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
 2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.2.4図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
乾燥ボート取出装置グローブボックス
(PA0142-B-13700, -23700) (1/2)



符号	名称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	1
P11	空気管	50A	1
P10	気送管	50A	1
P9	予備	10A	1
P8	予備	10A	1
P7	アルゴン/窒素ガス入口	10A	1
P6	窒素ガス入口	10A	1
P5	真空引出口	15A	1
P4	消火ガス入口	20A	1
P3	冷却空気入口	80A	1
P2	排気口	100A	1
P1	給気口	150A	1

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
7	コネクタ部	2式
6	含鉛アクリルパネル	1式
5	窓板	1式
4	伸縮継手	2式
3	搬出入口(大)	2式
2	搬出入口(小)	1式
1	本体	1基

個数は、グローボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

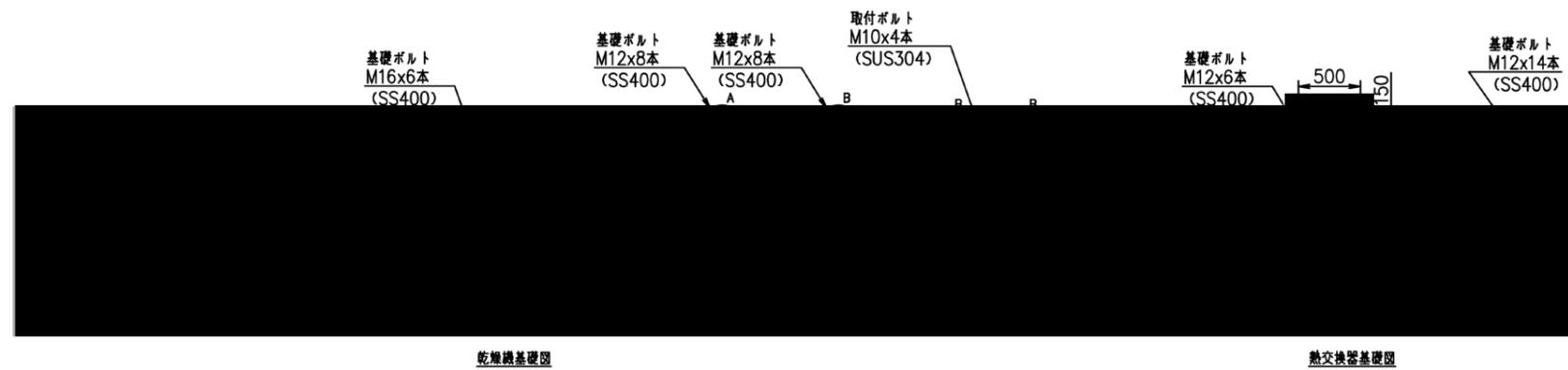
第2.5.2.2.4図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
乾燥ポート取出装置グローボックス
(PA0142-B-13700, -23700) (2/2)

第2.5.2.2.4図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図

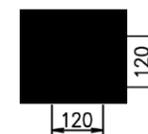
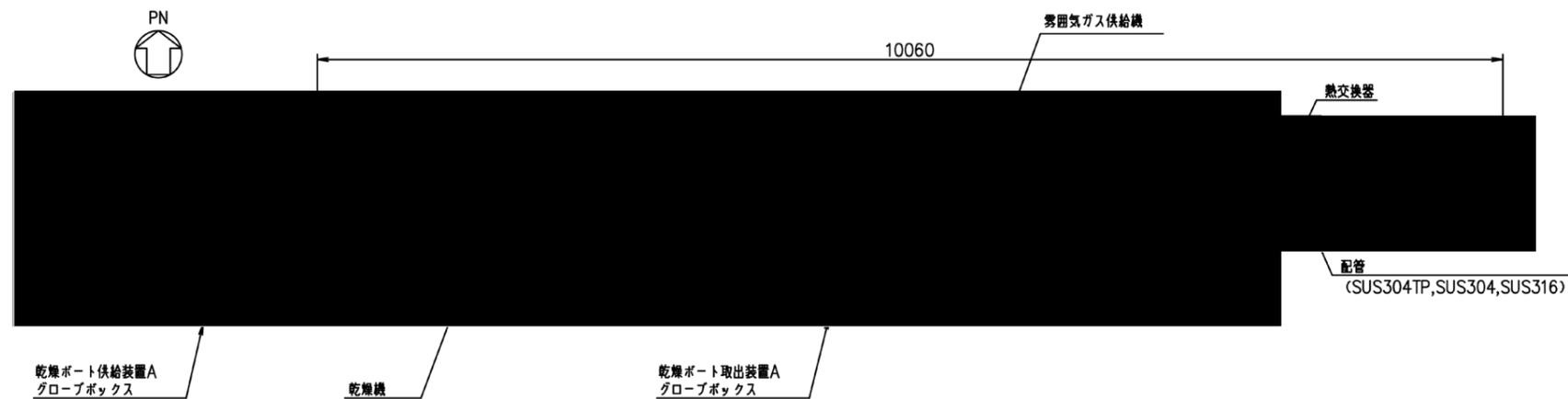
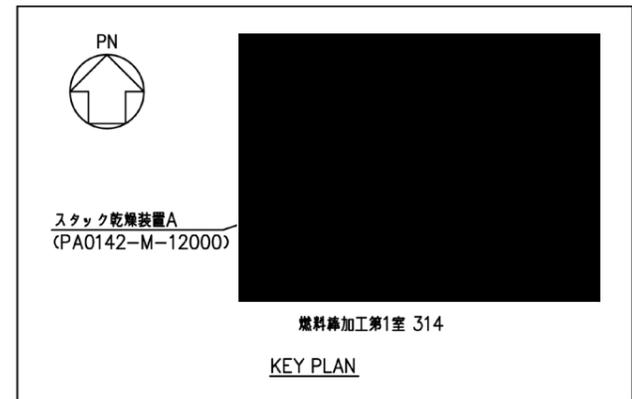
乾燥ボート取出装置グローブボックス (PA0142-B-13700, -23700)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1300		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

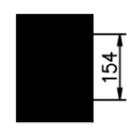
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



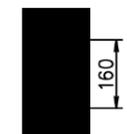
A-A矢視



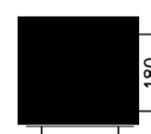
A部詳細



B部詳細



C部詳細



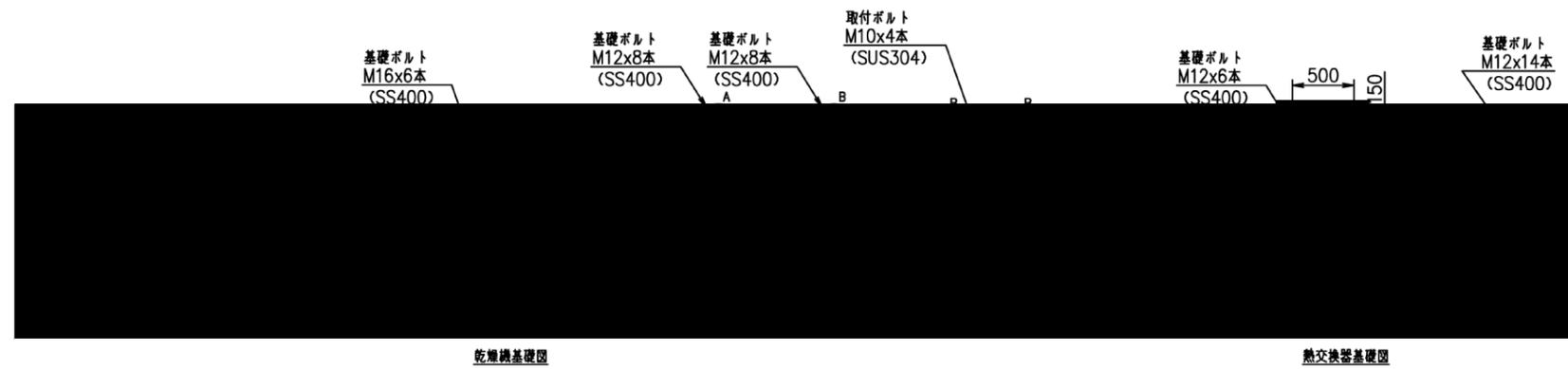
D部詳細

特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 炉内雰囲気200℃以下の設定温度で過熱を停止する。



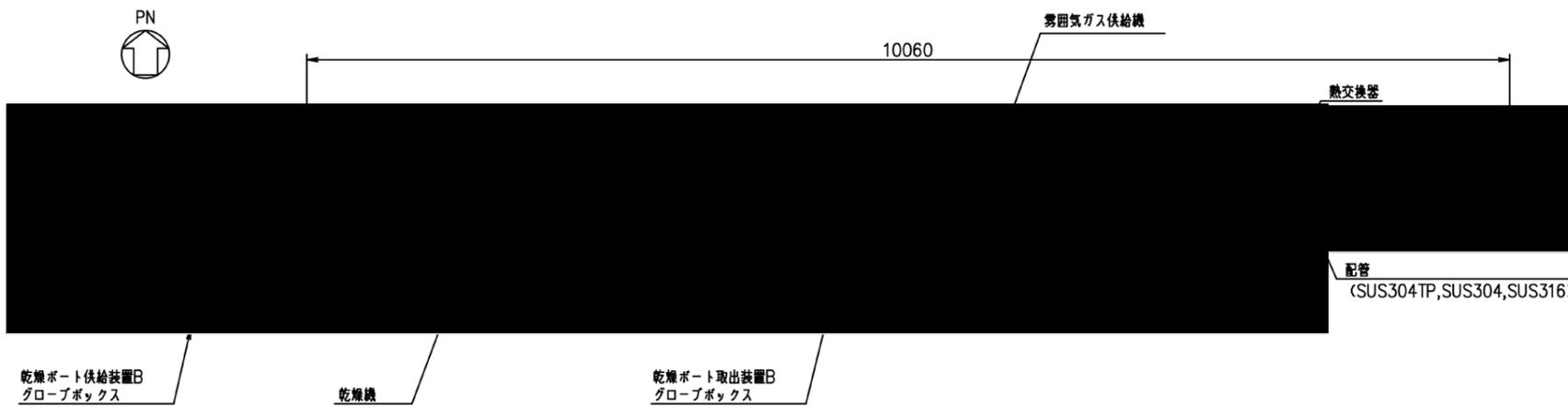
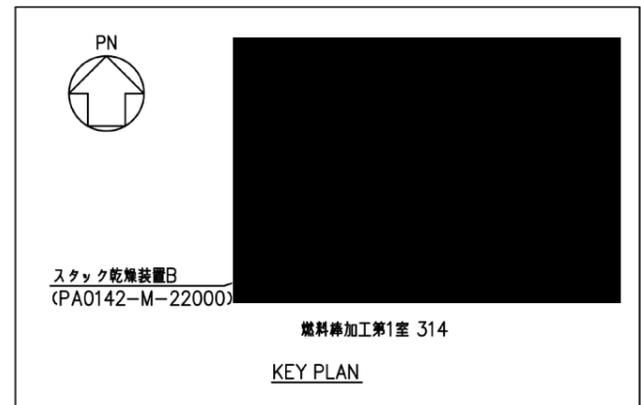
第2.5.2.2.5図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
スタック乾燥装置
(PA0142-M-12000, -22000) (1/2)



乾燥機基礎図

熱交換器基礎図

A-A矢視



乾燥ボート供給装置B
グローブボックス

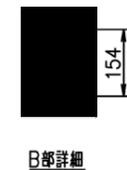
乾燥機

乾燥ボート取出装置B
グローブボックス

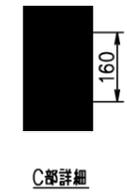
配管
(SUS304TP, SUS304, SUS316)



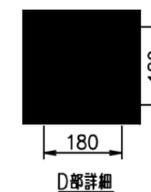
A部詳細



B部詳細



C部詳細



D部詳細

特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 炉内雰囲気 200℃以下の設定温度で過熱を停止する。



フレーム
(STKR400)

(T.M.S.L.43.20m)

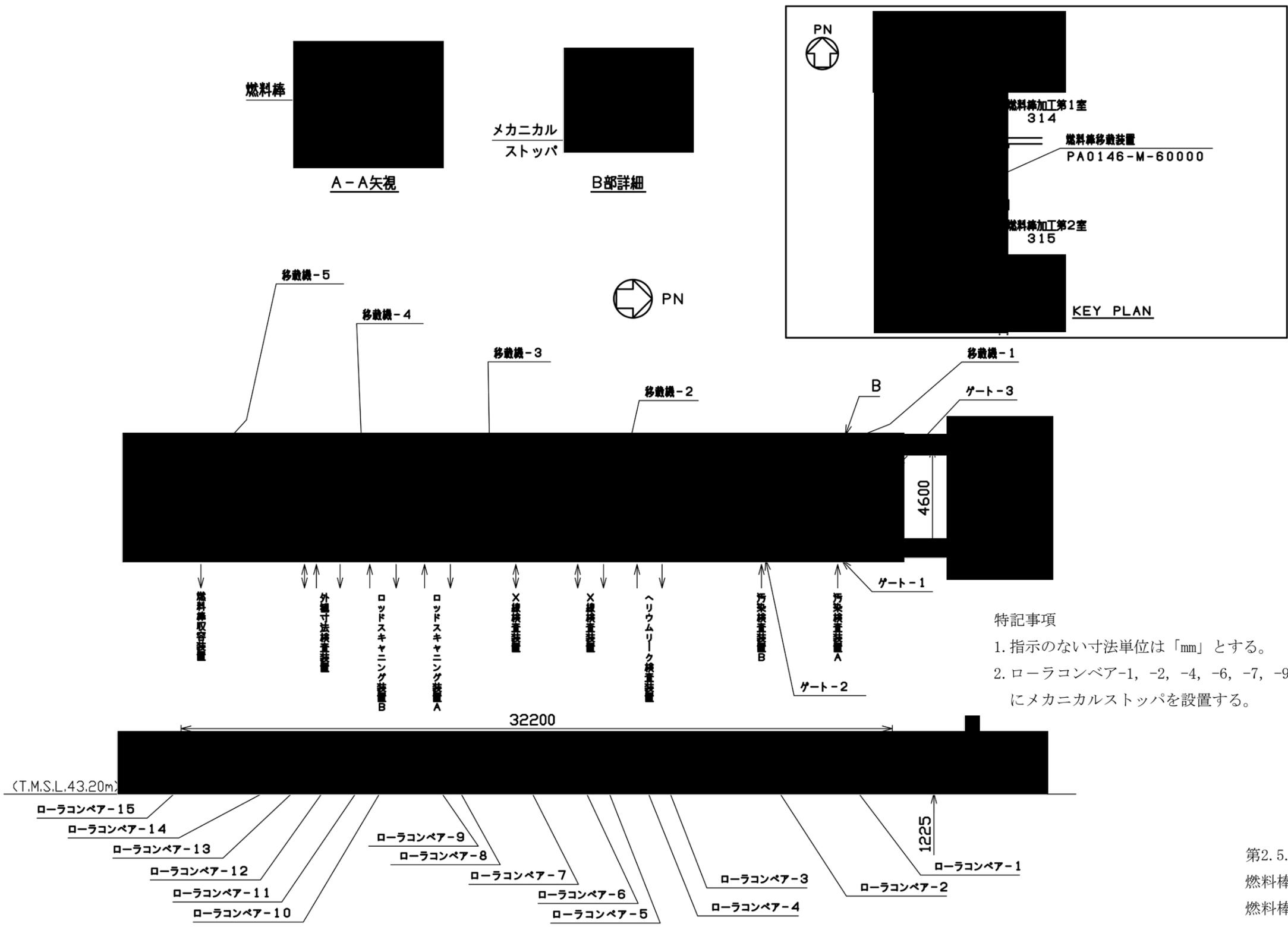
第2.5.2.2.5図 被覆施設
スタック乾燥設備の構造図
スタック乾燥装置
(PA0142-M-12000, -22000) (2/2)

第2.5.2.2.5図 被覆施設 スタック乾燥設備の構造図

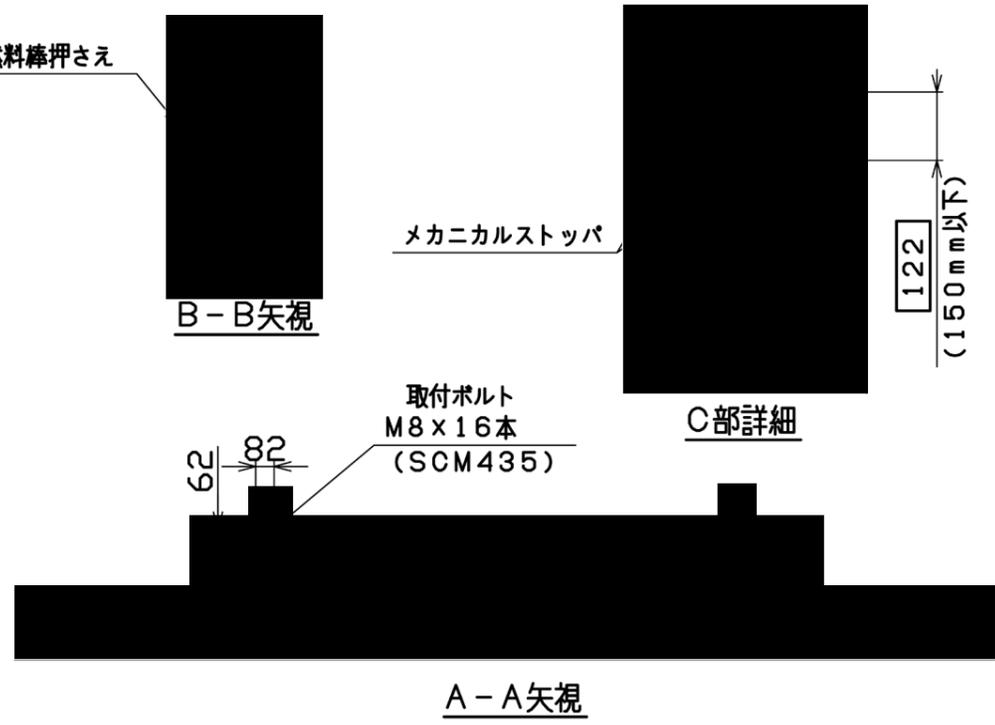
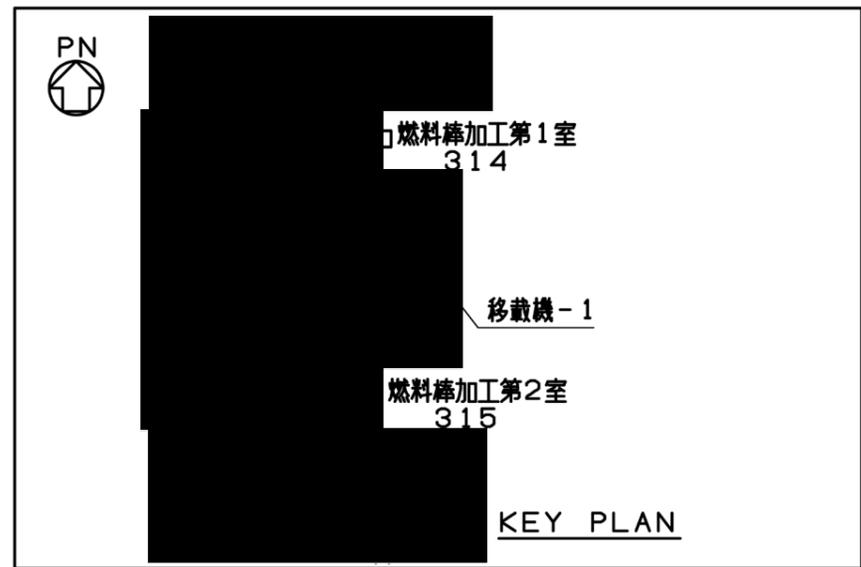
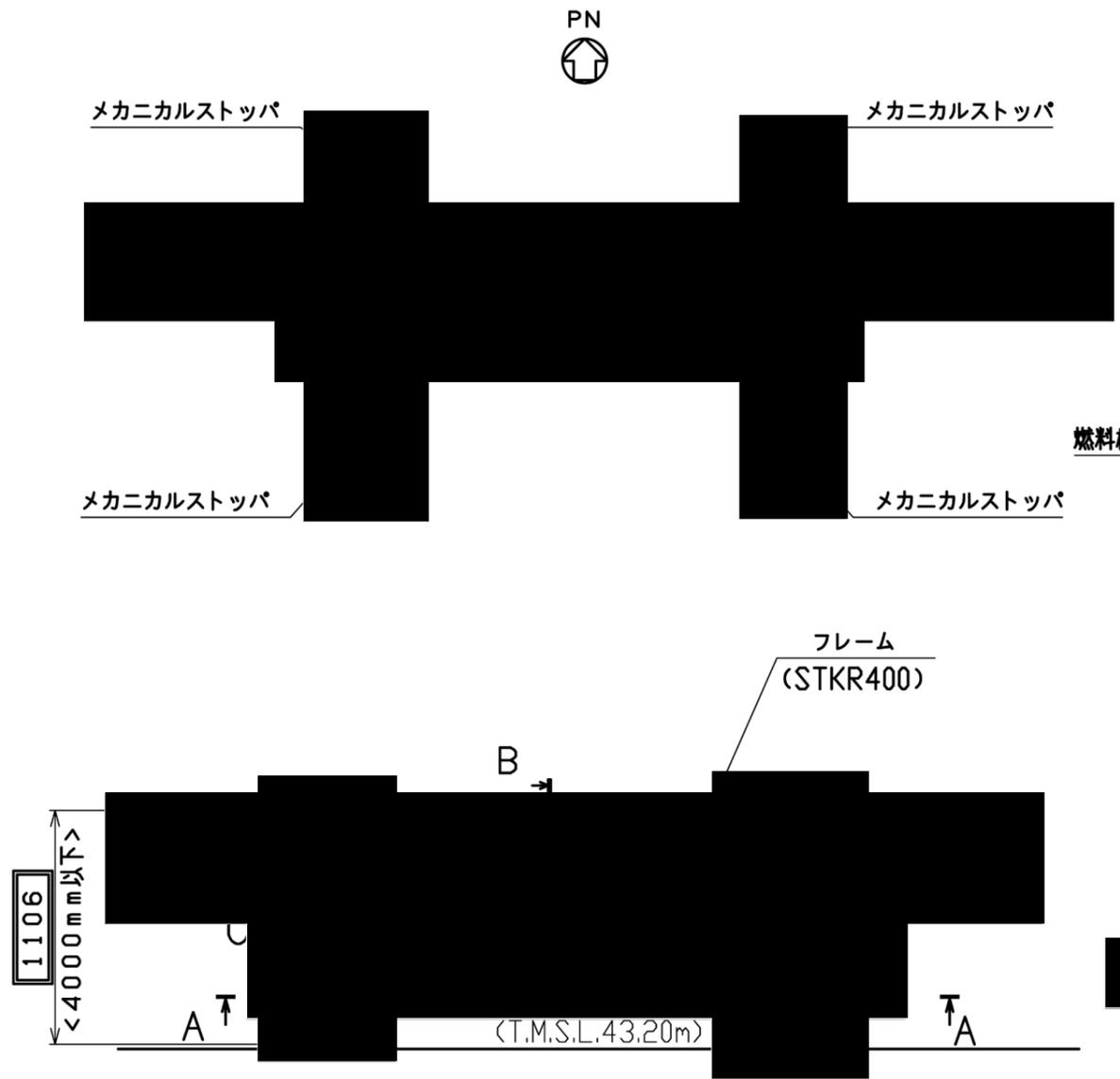
スタック乾燥装置 (PA0142-M-12000, -22000)

主要寸法* ¹ (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	10060	[REDACTED]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1518		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1332		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



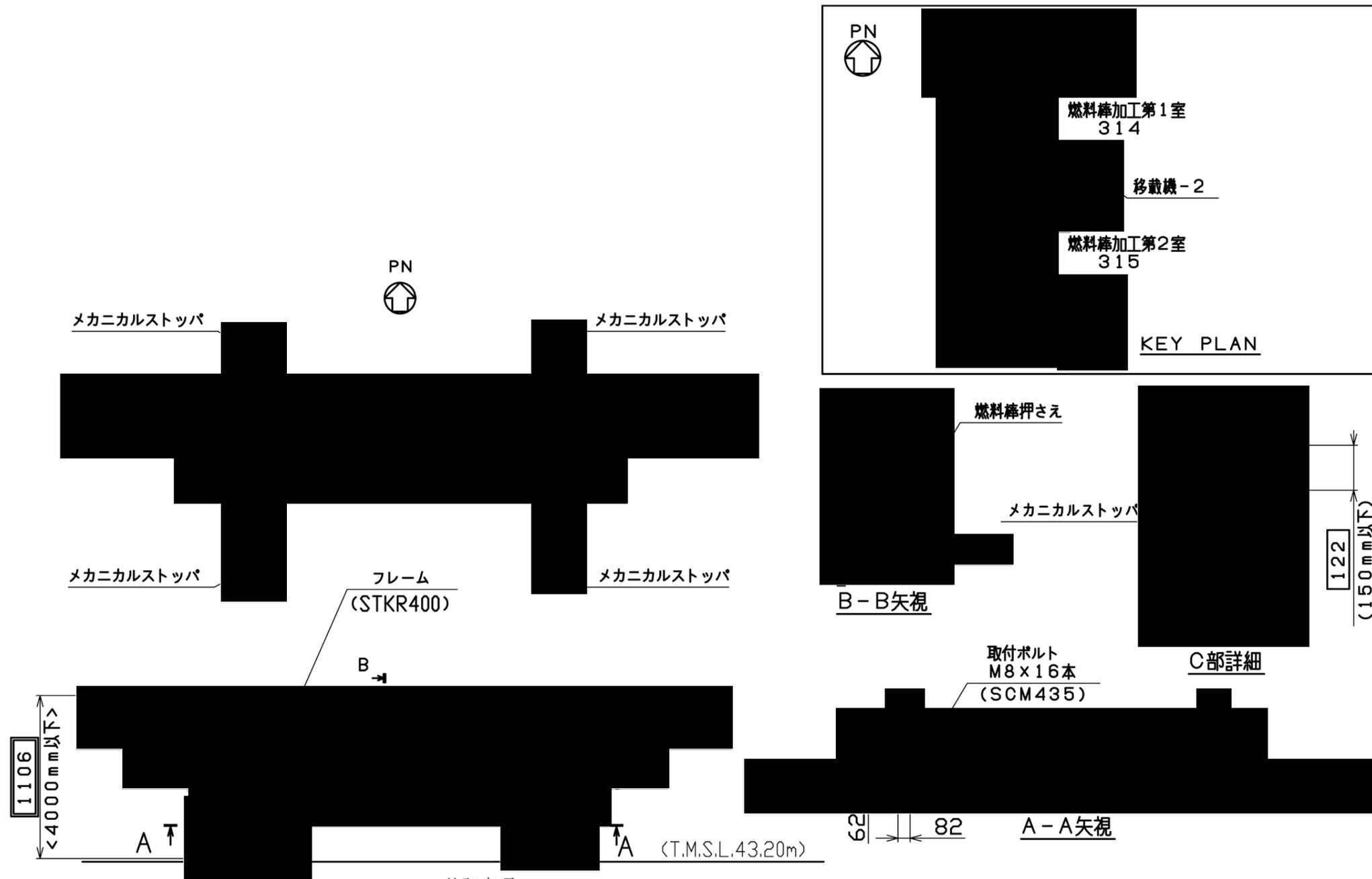
第2.5.2.4.1図 被覆施設
燃料棒検査設備の構造図
燃料棒移送装置
(PA0146-M-60000) (1/8)



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
 < >内寸法は、判定基準を示す。
3. 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
 ()内寸法は、判定基準を示す。

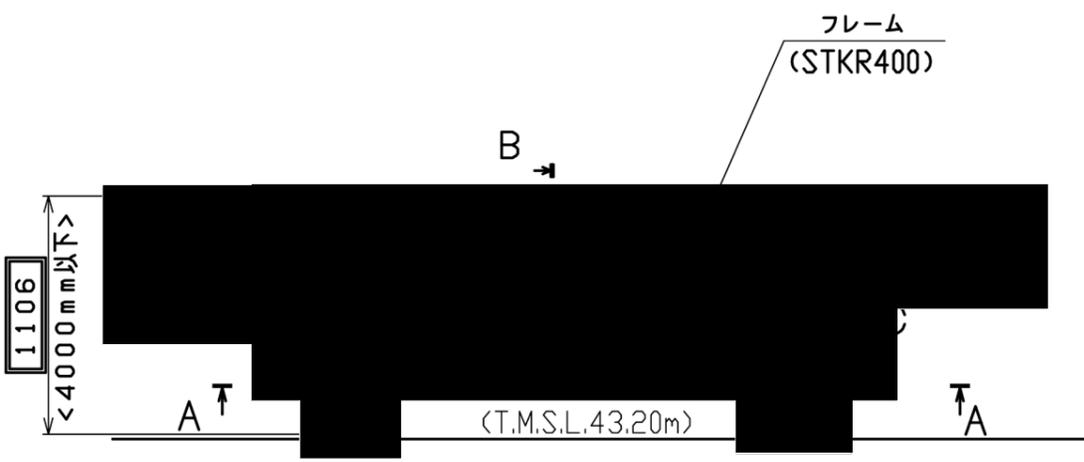
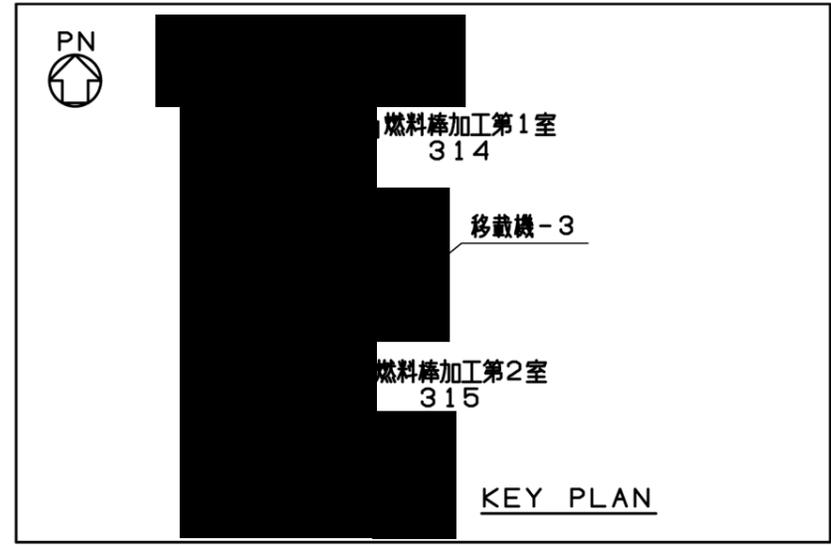
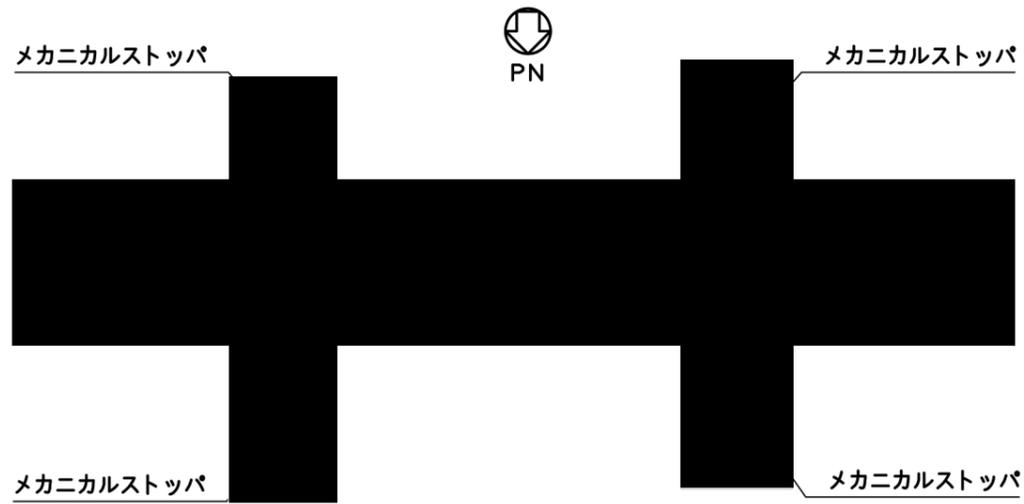
第2.5.2.4.1図 被覆施設
 燃料棒検査設備の構造図
 燃料棒移載装置
 (PA0146-M-60000) (2/8)



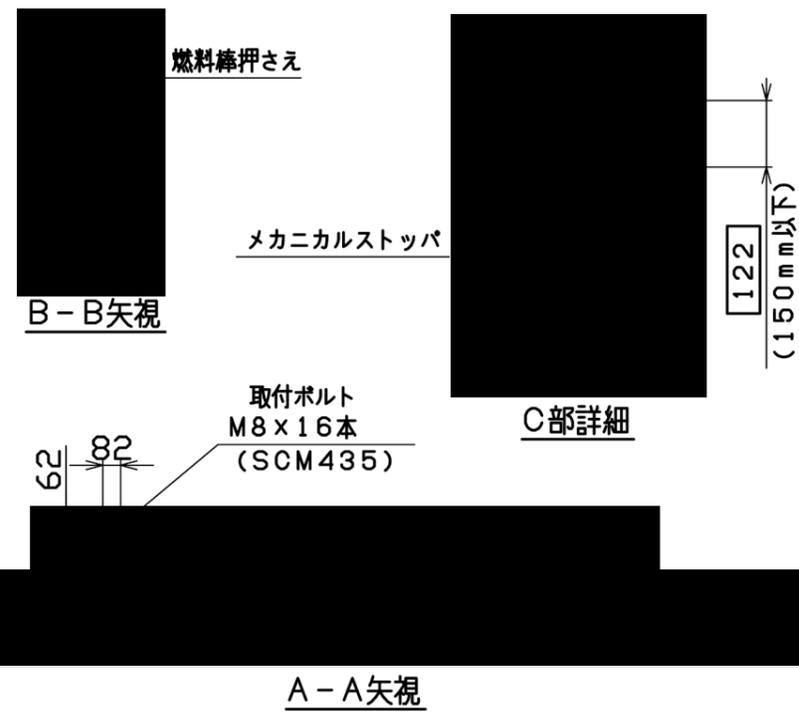
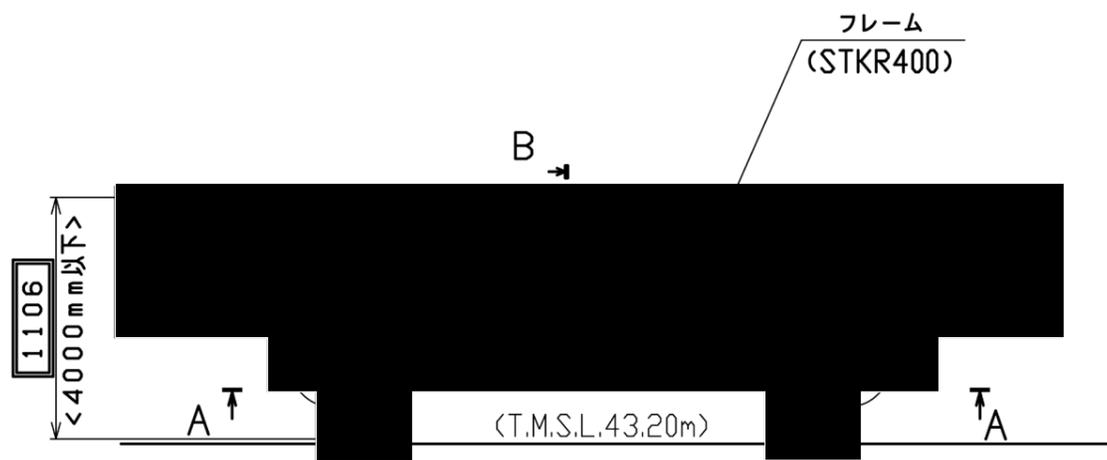
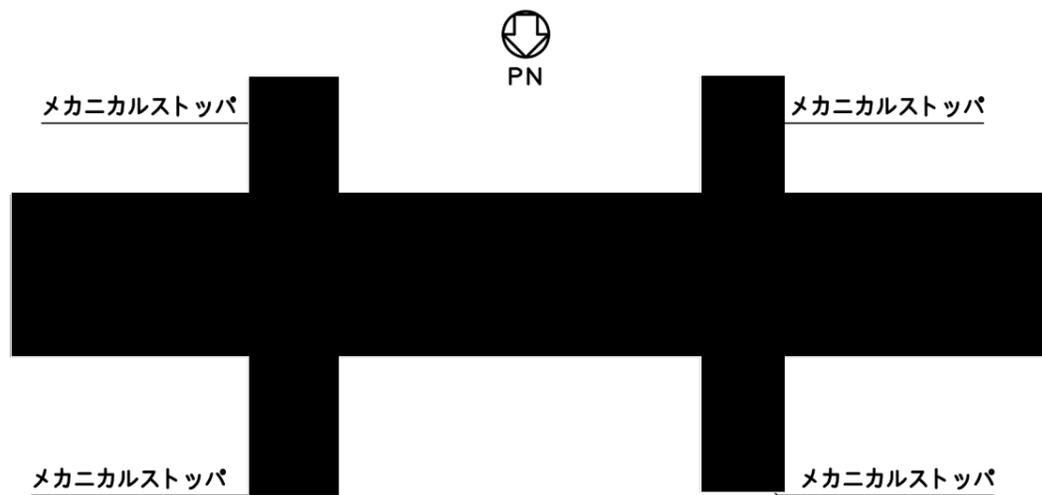
特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
 < >内寸法は、判定基準を示す。
3. 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
 ()内寸法は、判定基準を示す。

第2.5.2.4.1図 被覆施設
 燃料棒検査設備の構造図
 燃料棒移載装置
 (PA0146-M-60000) (3/8)

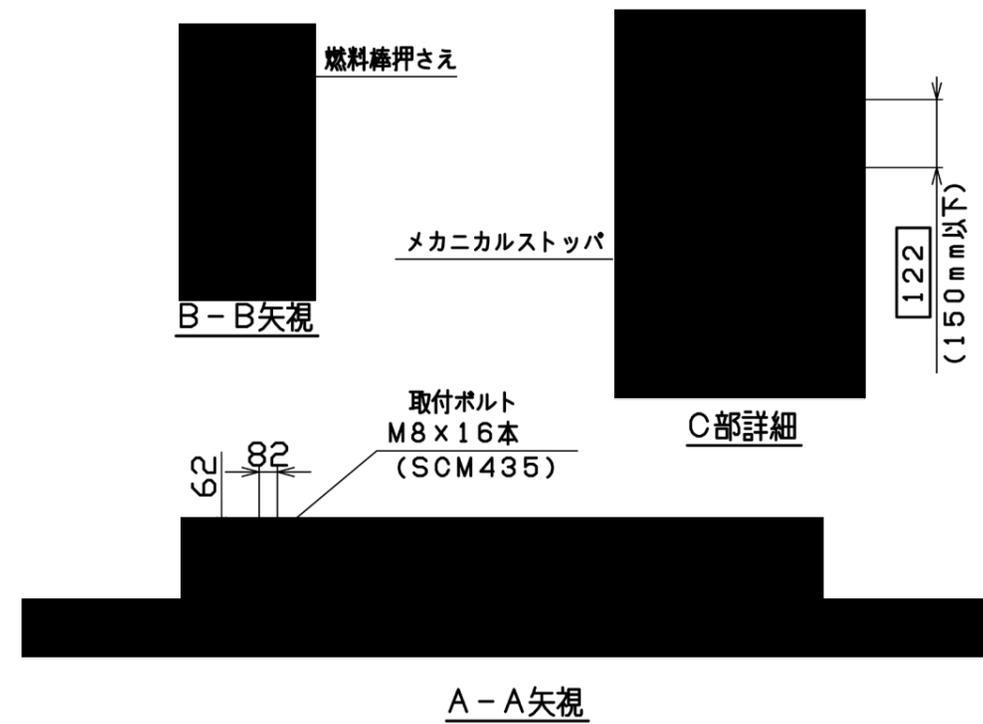
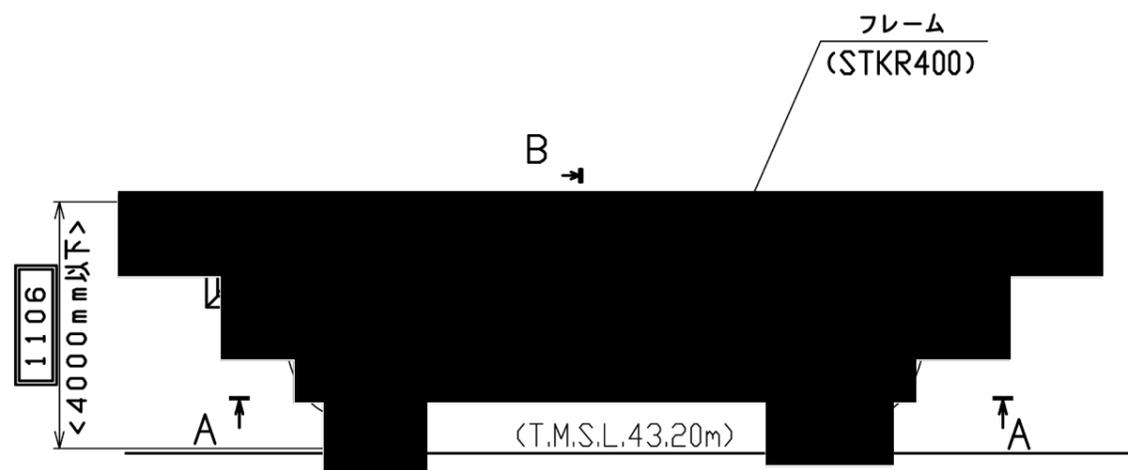
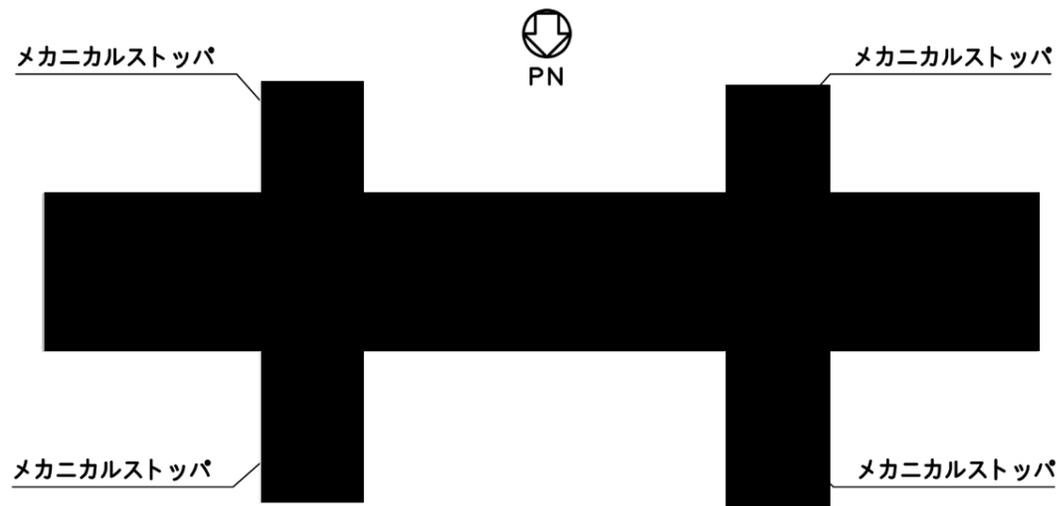


- 特記事項
1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
 < >内寸法は、判定基準を示す。
 3. 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
 ()内寸法は、判定基準を示す。



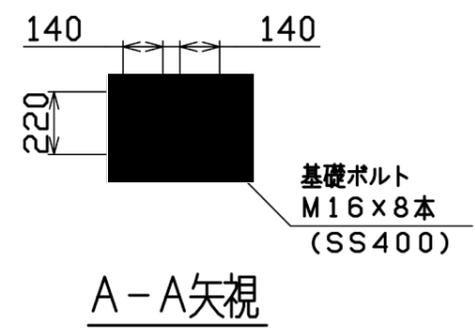
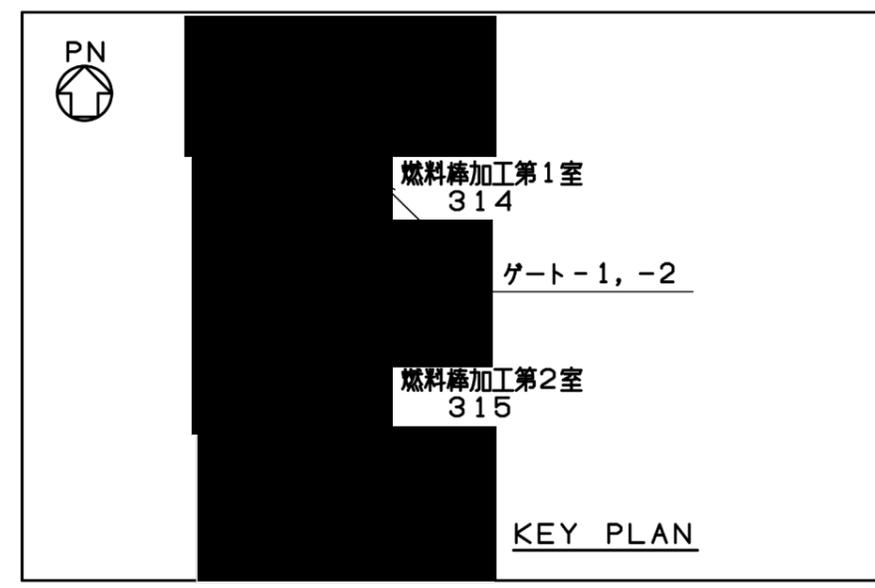
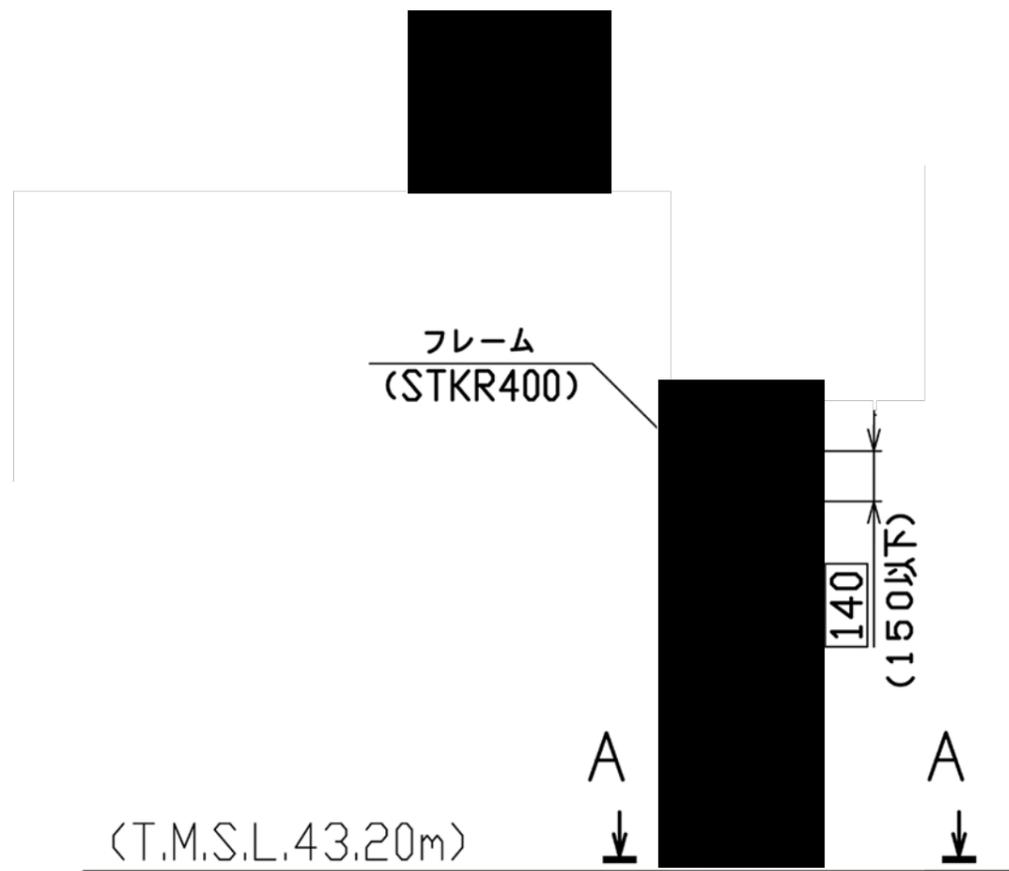
特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
 < >内寸法は、判定基準を示す。
3. 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
 ()内寸法は、判定基準を示す。

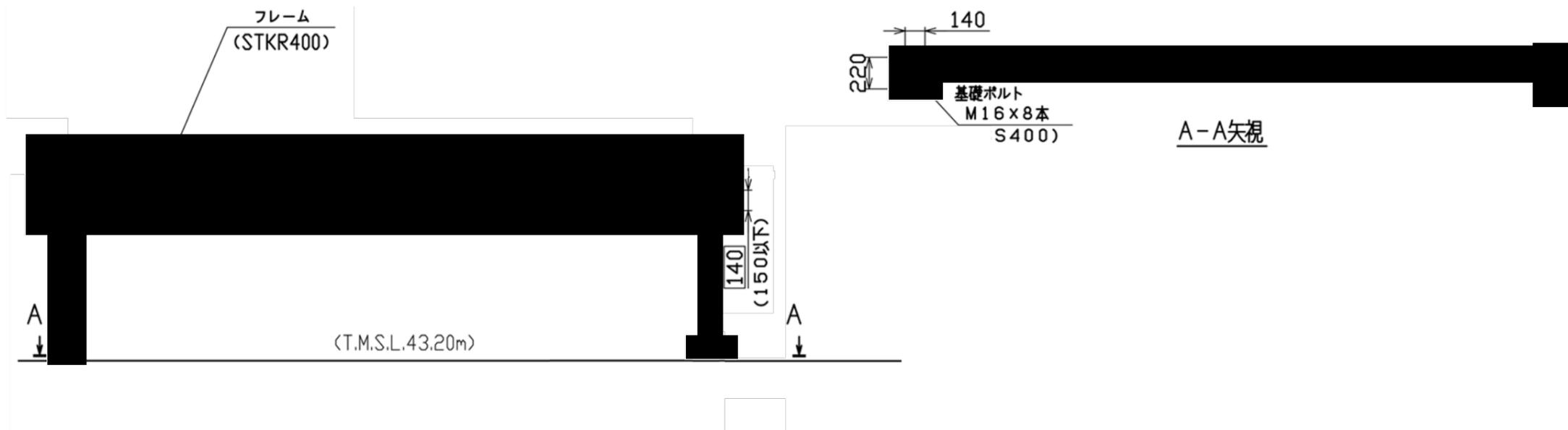
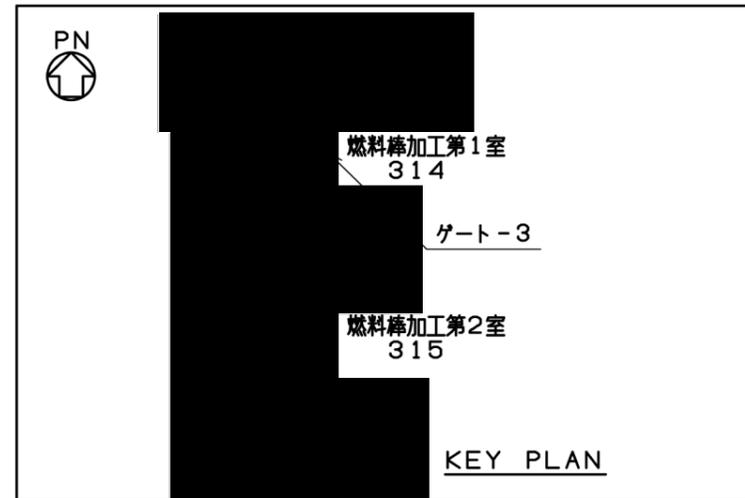


特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
 < >内寸法は、判定基準を示す。
3. 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
 ()内寸法は、判定基準を示す。



- 特記事項
1. 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
 2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。



特記事項

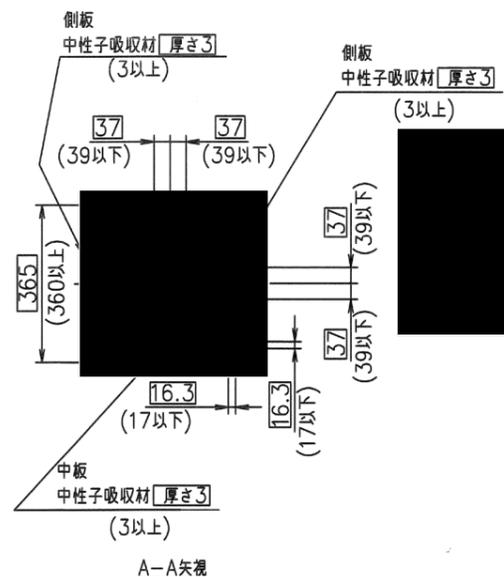
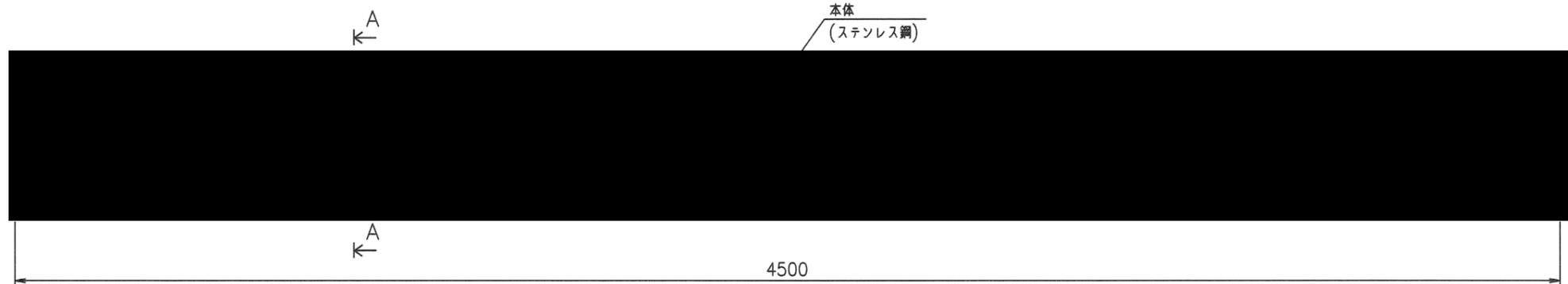
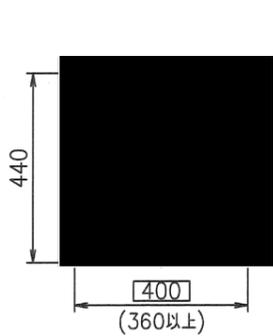
1. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.4.1図 被覆施設 燃料棒検査設備の構造図

燃料棒移載装置 (PA0146-M-60000)

主要寸法*			許容範囲	根拠
(mm)				
燃料棒移 載装置	たて	4600		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	32200		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	1225		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
ゲート-1	高さ	140		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
ゲート-2	高さ	140		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
ゲート-3	高さ	140		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



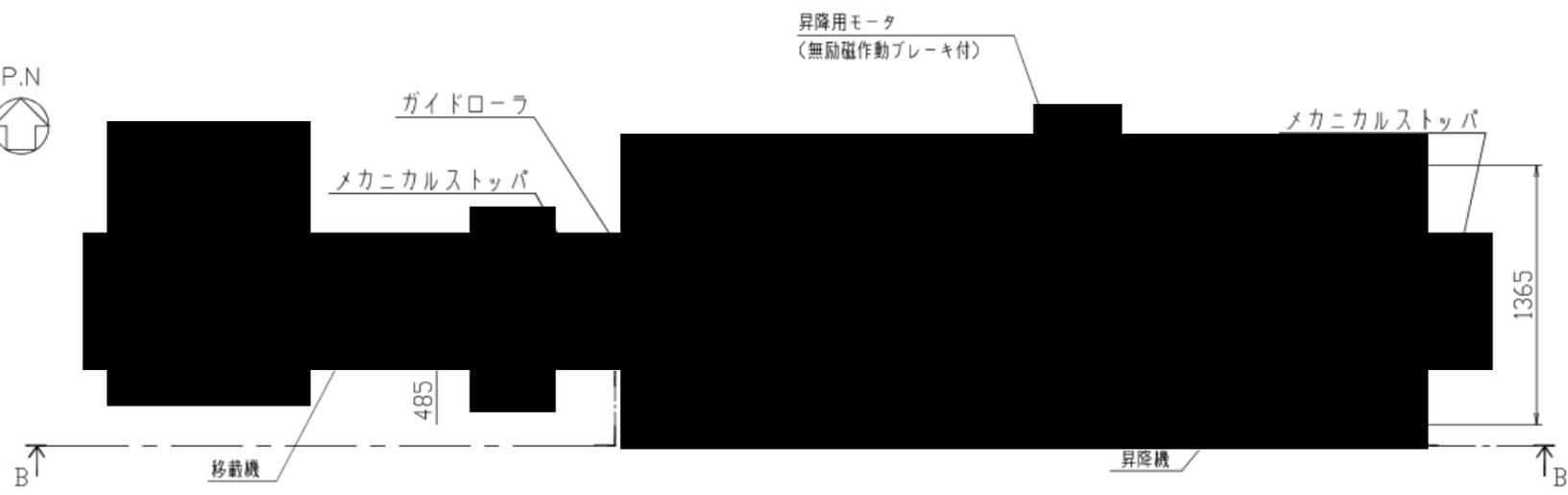
特記事項
 1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 2. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
 ()内寸法は、判定基準を示す。

第 2.5.2.5.1 図 被覆施設
 燃料棒収容設備の構造図
 貯蔵マガジン

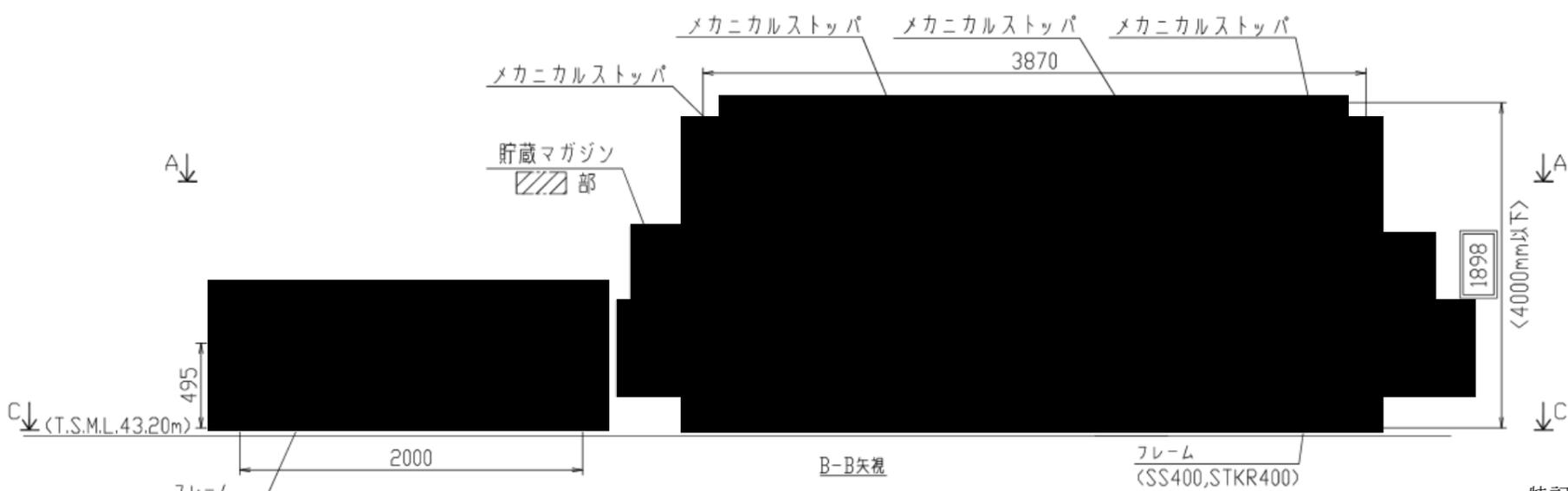
第2.5.2.5.1図 被覆施設 燃料棒収容設備の構造図 貯蔵マガジン

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
本体	たて	4500		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
	横	400	360以上	臨界安全上の制約
	高さ	440		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
貯蔵マガジン中心から最も近い燃料棒中心までの距離		37	39以下	臨界安全上の制約
燃料棒間隔		16.3	17以下	臨界安全上の制約
貯蔵マガジンの中 性子吸収材(ほう 素入りステンレス 鋼)	板厚	3	3以上	臨界安全上の制約

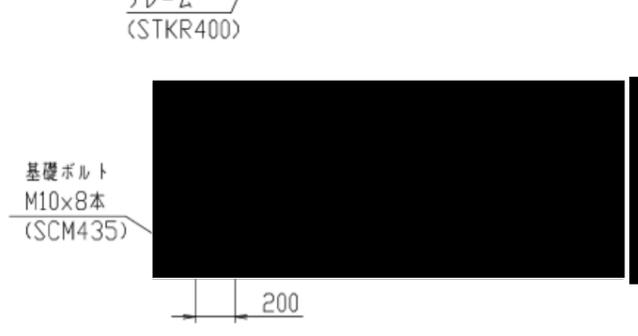
注記 *：主要寸法は，設工認申請書記載の公称値を示す。



A-A矢視



B-B矢視



C-C矢視

特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
< >内寸法は、判定基準を示す。
3. 昇降機の下降方向にもメカニカルストップを設置する。

第 2.5.2.5.2 図 被覆施設
燃料棒収容設備の構造図
貯蔵マガジン移載装置
(PA0147-M-30000)

第2.5.2.5.2図 燃料棒収容設備の構造図
貯蔵マガジン移載装置 (PA0147-M-30000)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
昇降機 (PA0147-M-30101)	たて	3870		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	1365		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	1898		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
移載機 (PA0147-M-30102)	たて	2000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	485		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	495		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。< >内寸法は、判定基準を示す。
3. 収容マガジン取扱機の下方向にもメカニカルストップを設置する。



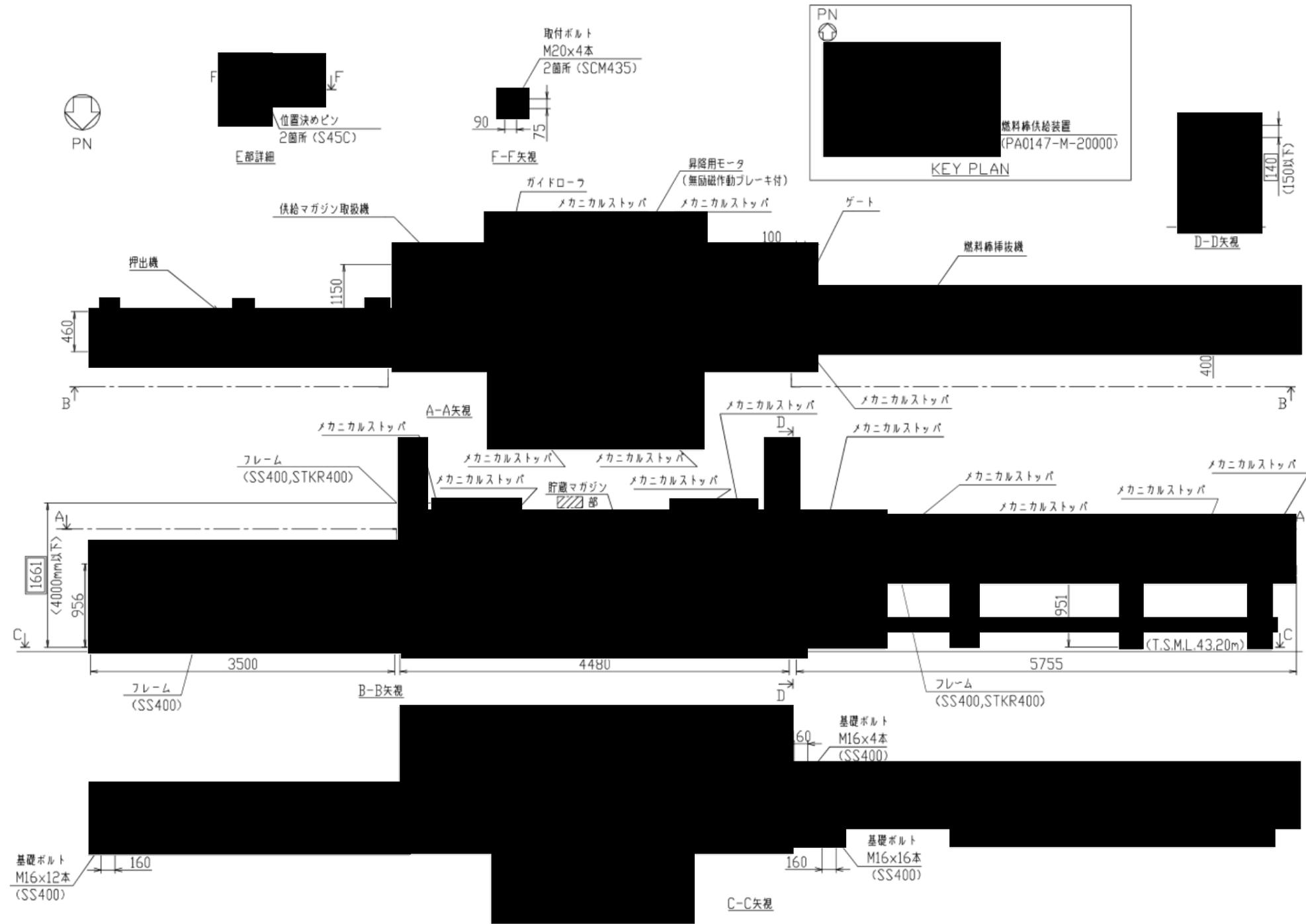
第 2.5.2.5.3 図 被覆施設
燃料棒収容設備の構造図
燃料棒収容装置
(PA0147-M-10000)

第2.5.2.5.3図 被覆施設 燃料棒収容設備の構造図

燃料棒収容装置 (PA0147-M-10000)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
燃料棒挿入機 (PA0147-M-10101)	たて	5755		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	400		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	951		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
収容マガジン取扱機 (PA0147-M-10103)	たて	4480		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	1150		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	1661		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備 (ID 番号読取機) を設置する。(次回以降申請)
3. 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。()内寸法は、判定基準を示す。
4. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。< >内寸法は、判定基準を示す。
5. 供給マガジン取扱機の下降方向にもメカニカルストップを設置する。

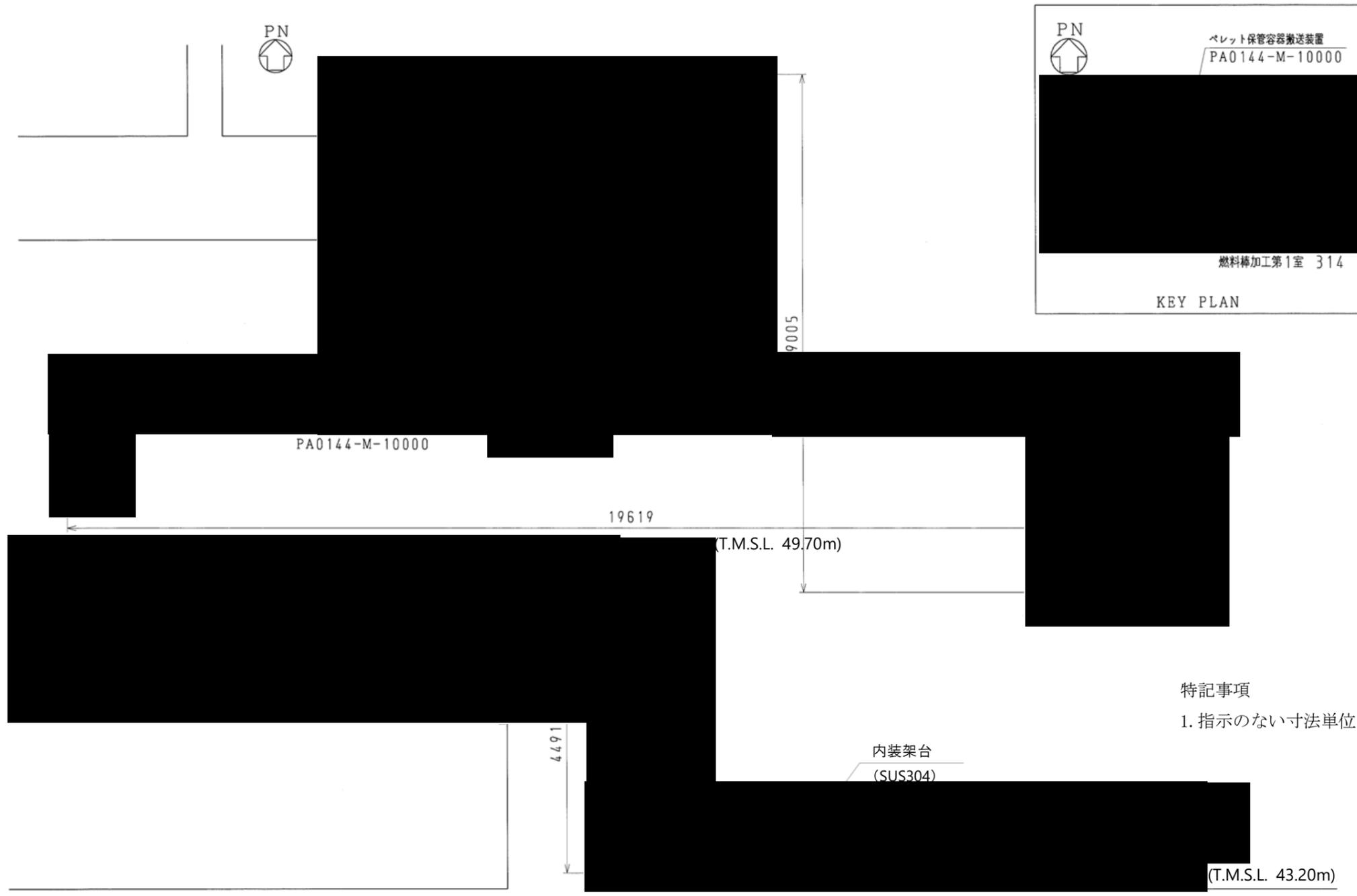
第 2.5.2.5.4 図 被覆施設
燃料棒収容設備の構造図
燃料棒供給装置
(PA0147-M-20000)

第2.5.2.5.4図 燃料棒収容設備の構造図

燃料棒供給装置 (PA0147-M-20000)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
燃料棒挿抜機 (PA0147-M-20101)	たて	5755		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	400		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	951		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
供給マガジン取扱機 (PA0147-M-20103)	たて	4480		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	1150		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	1661		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
押出機 (PA0147-M-20104)	たて	3500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	460		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	956		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
ゲート (PA0147-M-20105)	高さ	140		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

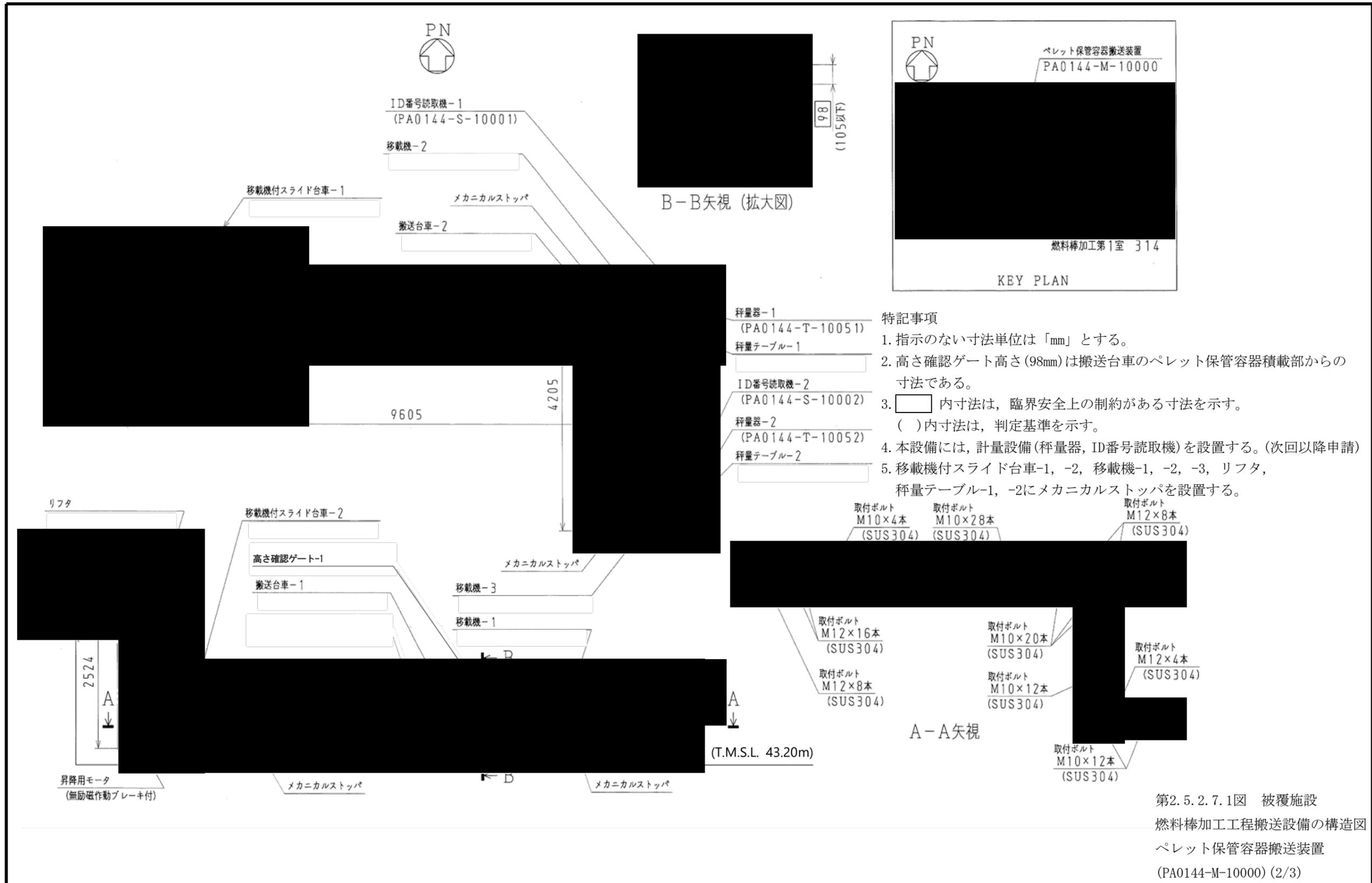
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



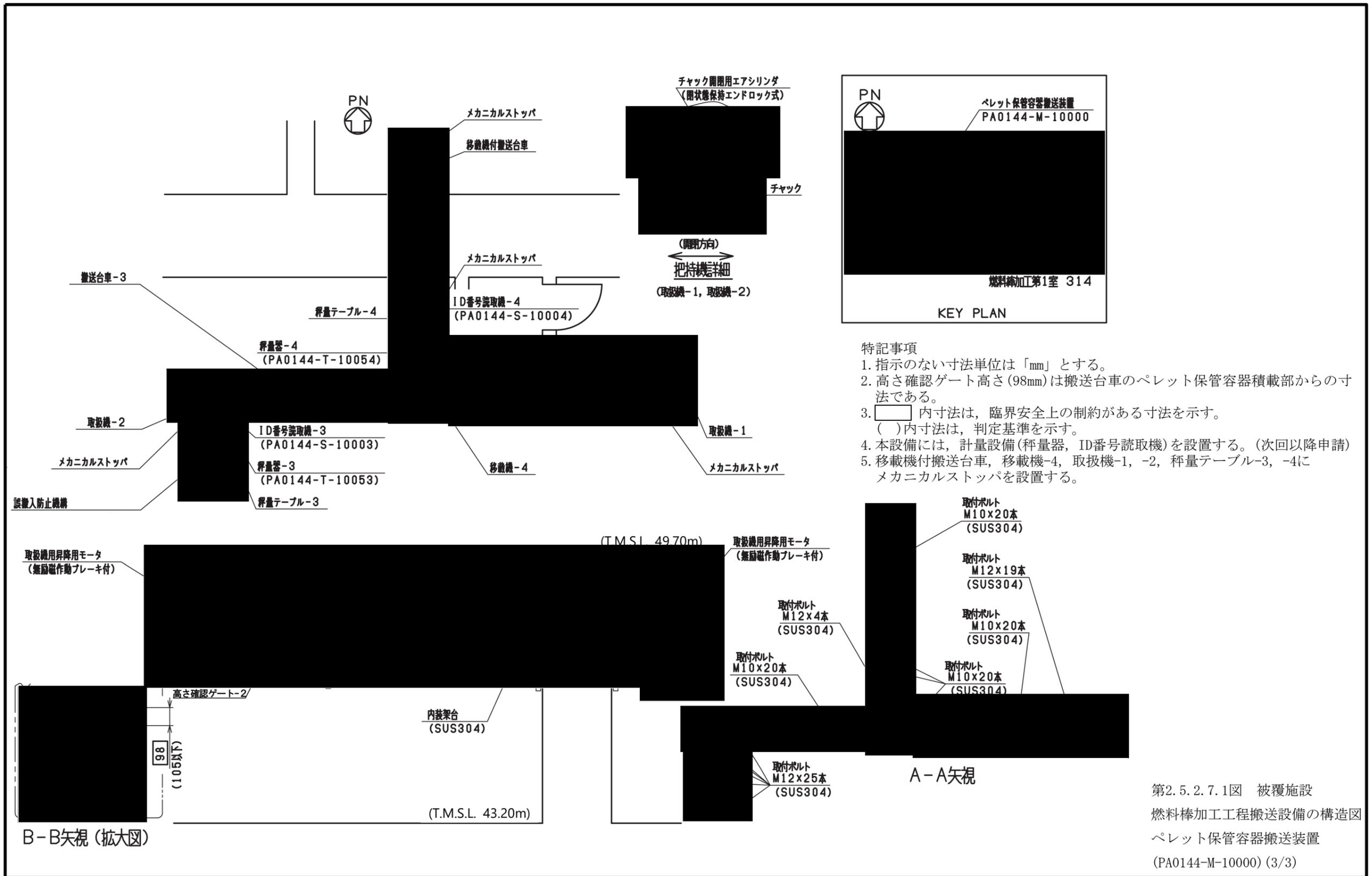
特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.7.1図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
ペレット保管容器搬送装置
(PA0144-M-10000) (1/3)



第2.5.2.7.1図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
ペレット保管容器搬送装置
(PA0144-M-10000) (2/3)

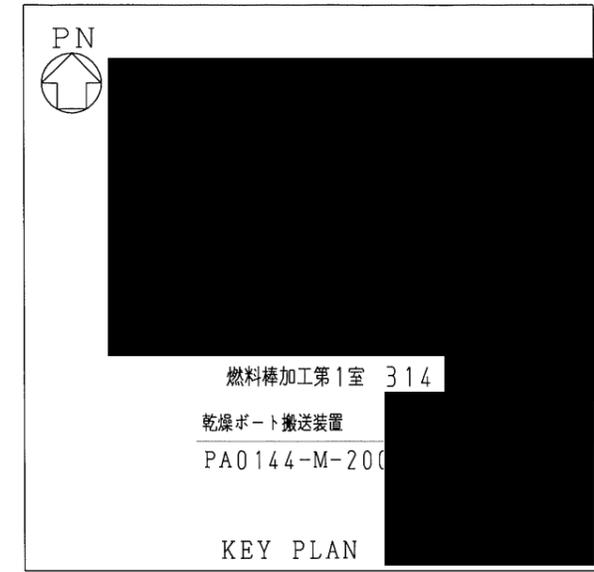


第2.5.2.7.1図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図

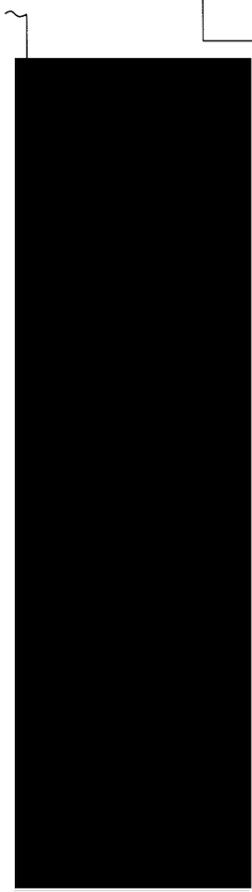
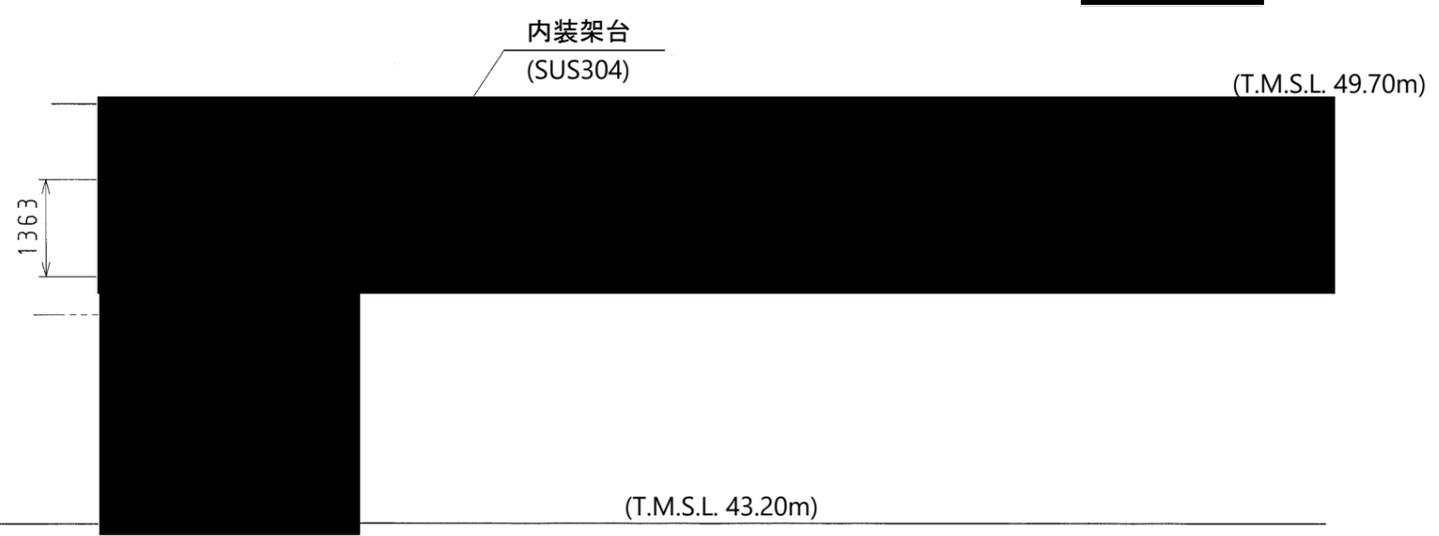
ペレット保管容器搬送装置 (PA0144-M-10000)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
ペレット 保管容器 搬送装置	たて	9005		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	横	19619		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	高さ	4491		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
高さ確認 ゲート- 1, -2	高さ	98		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

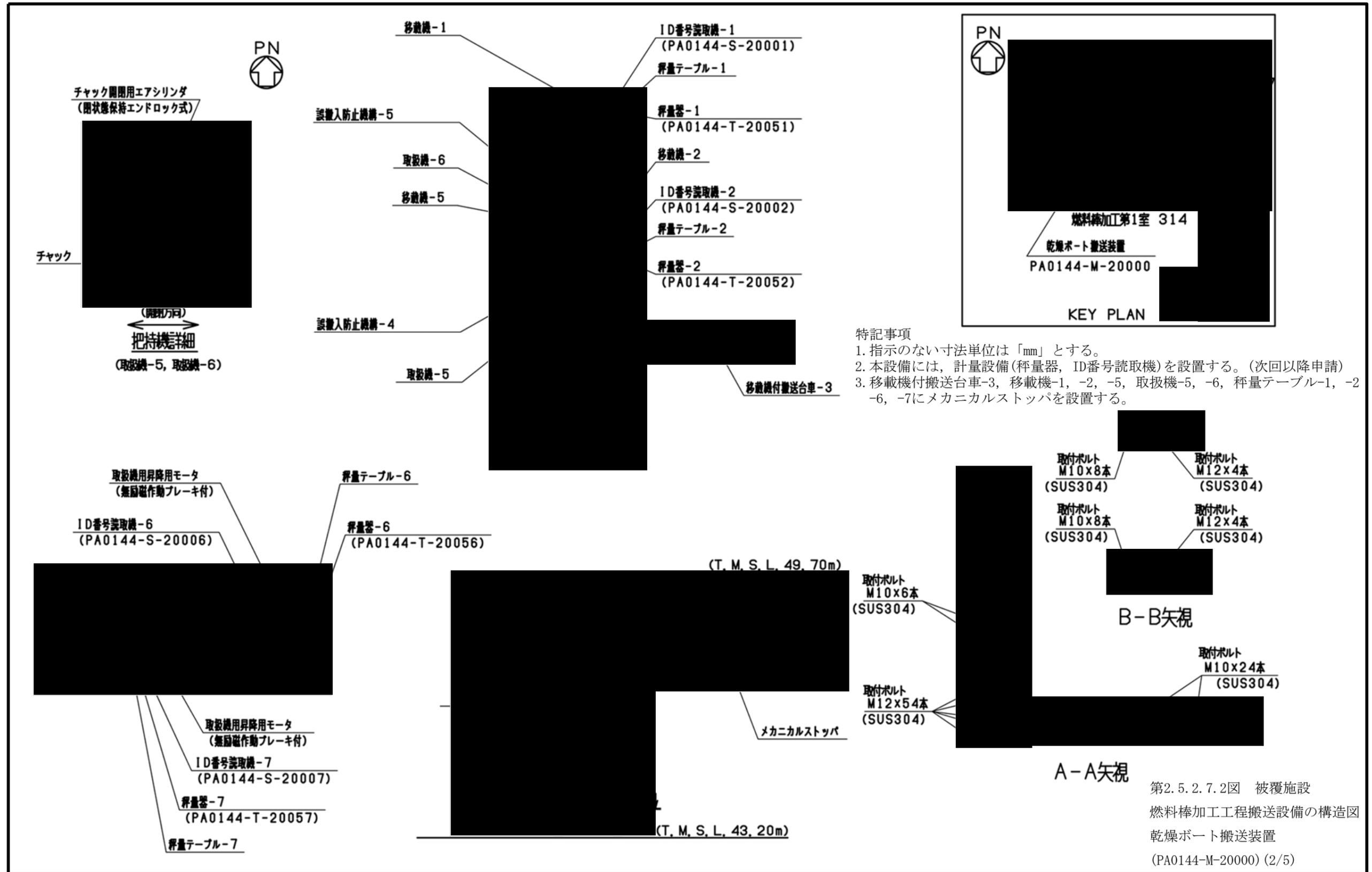


特記事項
 1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。



A矢視

第2.5.2.7.2図 被覆施設
 燃料棒加工工程搬送設備の構造図
 乾燥ボート搬送装置
 (PA0144-M-2000) (1/5)



第2.5.2.7.2図 被覆施設
 燃料棒加工工程搬送設備の構造図
 乾燥ポート搬送装置
 (PA0144-M-20000) (2/5)

取扱機用昇降用モータ
(無励磁作動ブレーキ付)



取扱機-1

チャック開閉用エアシリンダ
(閉状態保持エンドロック式)

チャック

(開閉方向)

把持機詳細

(取扱機-1, 取扱機-2)

移載機付搬送台車-1

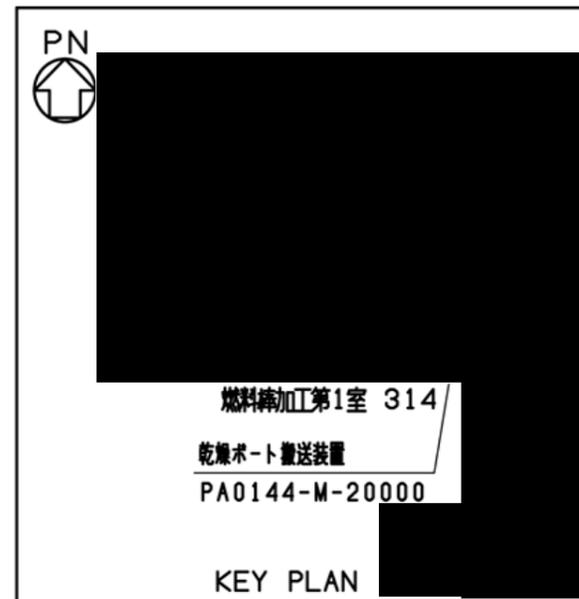
移載機-3

取扱機用昇降用モータ
(無励磁作動ブレーキ付)

メカニカルストップ

取扱機-2

(T. M. S. L. 49. 70m)



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 移載機付搬送台車-1, 移載機-3, 取扱機-1, -2にメカニカルストップを設置する。

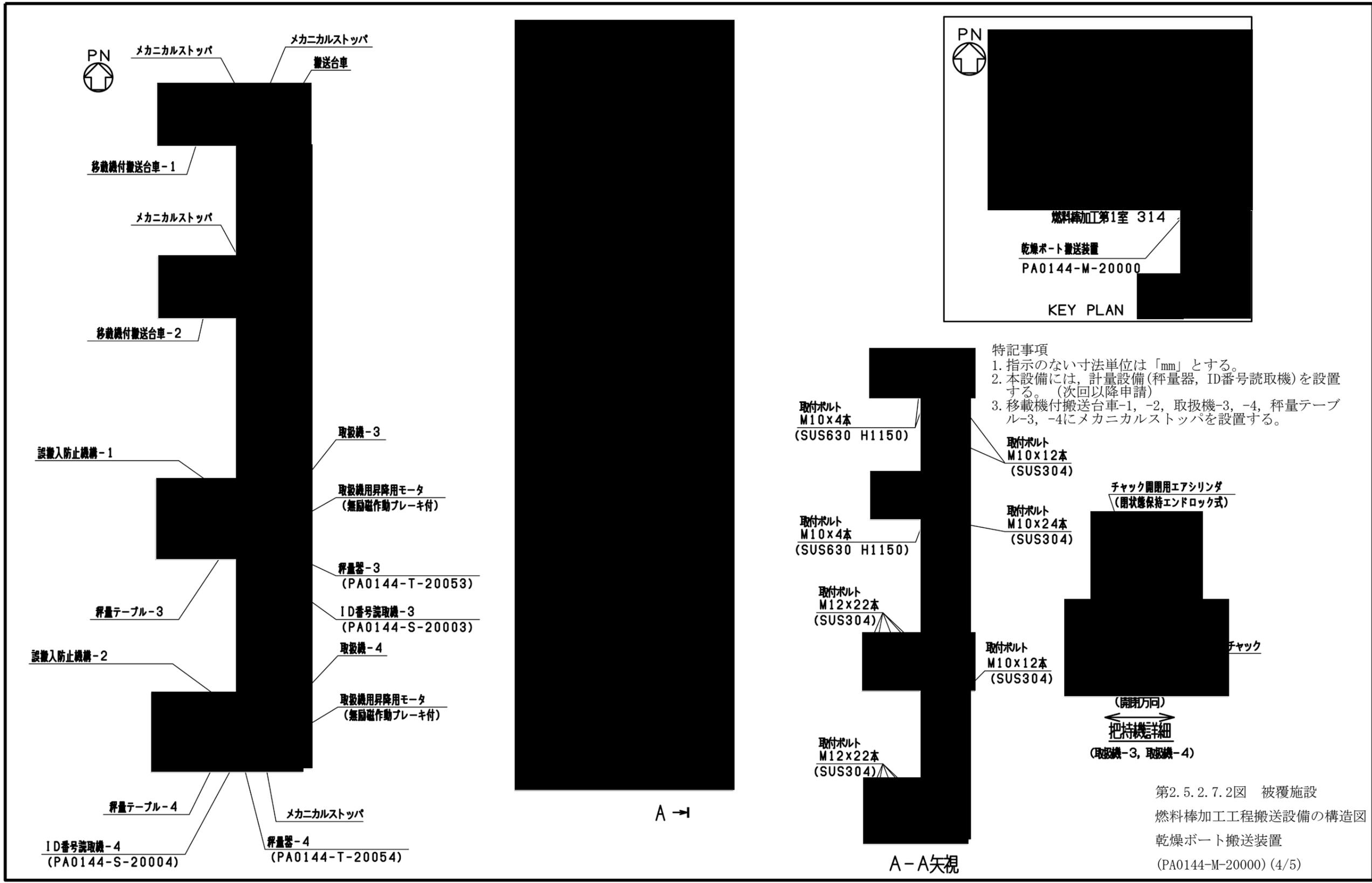
取付ボルト
M12x52本
(SUS304)

取付ボルト
M10x20本
(SUS304)

取付ボルト
M10x6本
(SUS304)

A-A矢視

第2.5.2.7.2図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
乾燥ポート搬送装置
(PA0144-M-20000) (3/5)



PN
メカニカルストップ
メカニカルストップ
搬送台車

移載機付搬送台車-1

メカニカルストップ

移載機付搬送台車-2

誤搬入防止機構-1

取扱機-3

取扱機用昇降用モータ
(無励磁作動ブレーキ付)

秤量テーブル-3

秤量器-3
(PA0144-T-20053)

ID番号読取機-3
(PA0144-S-20003)

誤搬入防止機構-2

取扱機-4

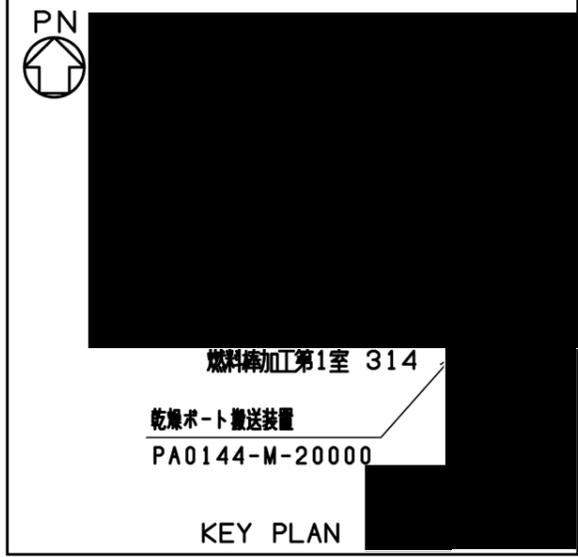
取扱機用昇降用モータ
(無励磁作動ブレーキ付)

秤量テーブル-4

メカニカルストップ

ID番号読取機-4
(PA0144-S-20004)

秤量器-4
(PA0144-T-20054)



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備(秤量器, ID番号読取機)を設置する。(次回以降申請)
3. 移載機付搬送台車-1, -2, 取扱機-3, -4, 秤量テーブル-3, -4にメカニカルストップを設置する。

取付ボルト
M10×4本
(SUS630 H1150)

取付ボルト
M10×12本
(SUS304)

チャック開閉用エアシリンダ
(閉状態保持エンドロック式)

取付ボルト
M10×4本
(SUS630 H1150)

取付ボルト
M10×24本
(SUS304)

取付ボルト
M12×22本
(SUS304)

取付ボルト
M10×12本
(SUS304)

チャック

(開閉方向)

把持機詳細

(取扱機-3, 取扱機-4)

A →

A-A矢視

第2.5.2.7.2図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
乾燥ポート搬送装置
(PA0144-M-20000) (4/5)

秤量器-5
(PA0144-T-20055)

移載機-4

ID番号読取機-5
(PA0144-S-20005)

秤量テーブル-5

メカニカルストップ



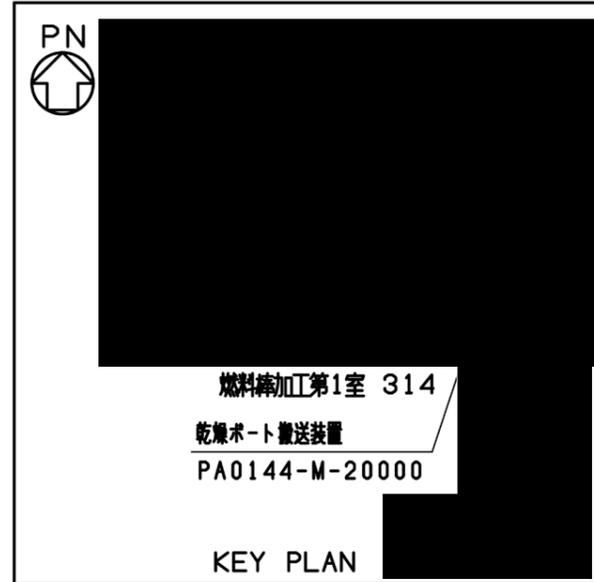
メカニカルストップ

360

スライド付仮置台

移載機付スライド台車

移載機付搬送台車-2



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備(秤量器, ID番号読取機)を設置する。(次回以降申請)
3. 移載機付搬送台車-2, 移載機付スライド台車, 移載機-4, 秤量テーブル-5, スライド付仮置台にメカニカルストップを設置する。

メカニカルストップ

メカニカルストップ

(T.M.S.L. 49.70m)

誤搬入防止機構-3

A ↓

196

A ↓

4974

メカニカルストップ

メカニカルストップ

取付ボルト
M12×10本
(SUS304)

取付ボルト
M10×4本
(SUS304)

取付ボルト
M10×6本
(SUS304)

取付ボルト
M10×12本
(SUS304)

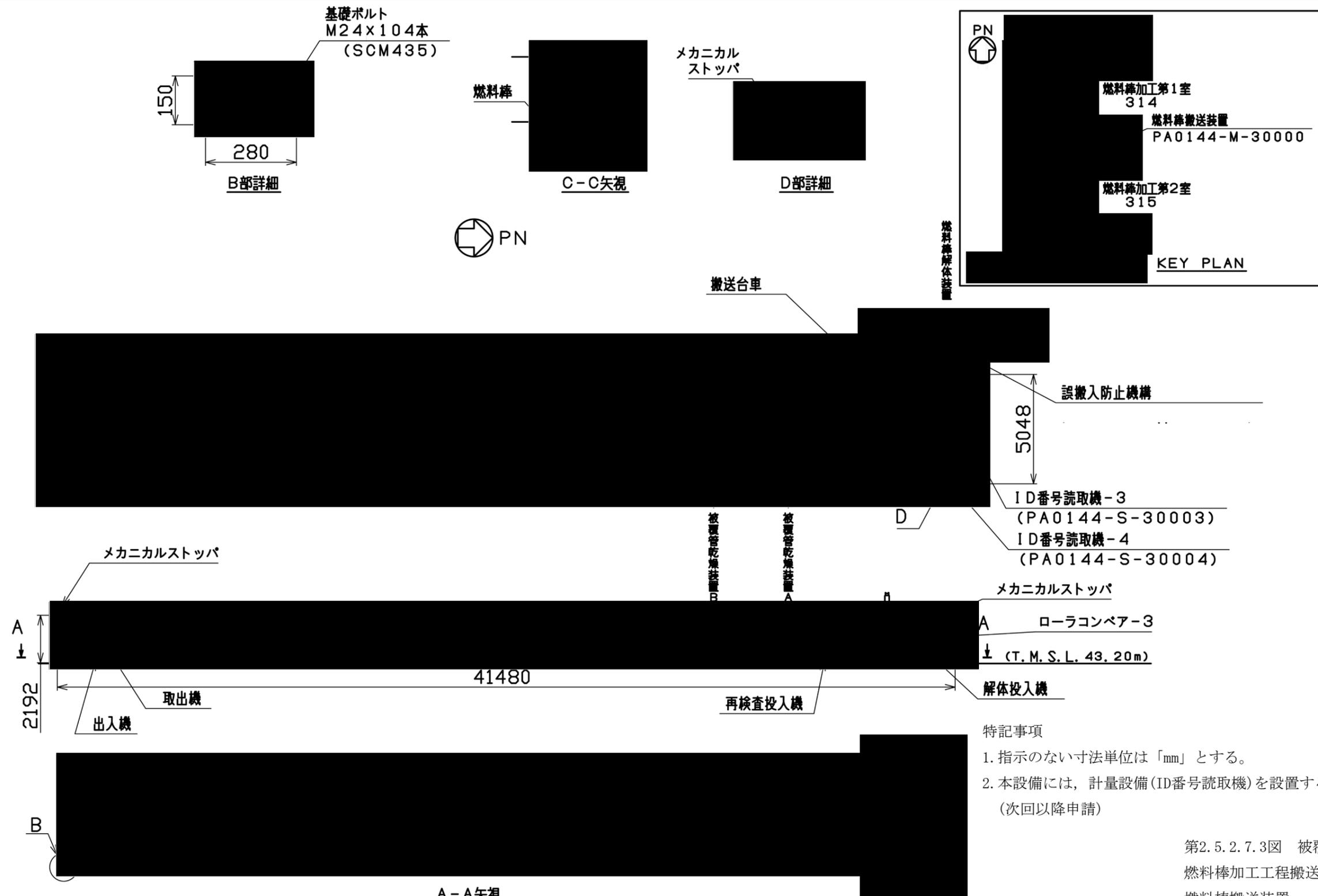
A-A矢視

第2.5.2.7.2図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
乾燥ボート搬送装置
(PA0144-M-20000) (5/5)

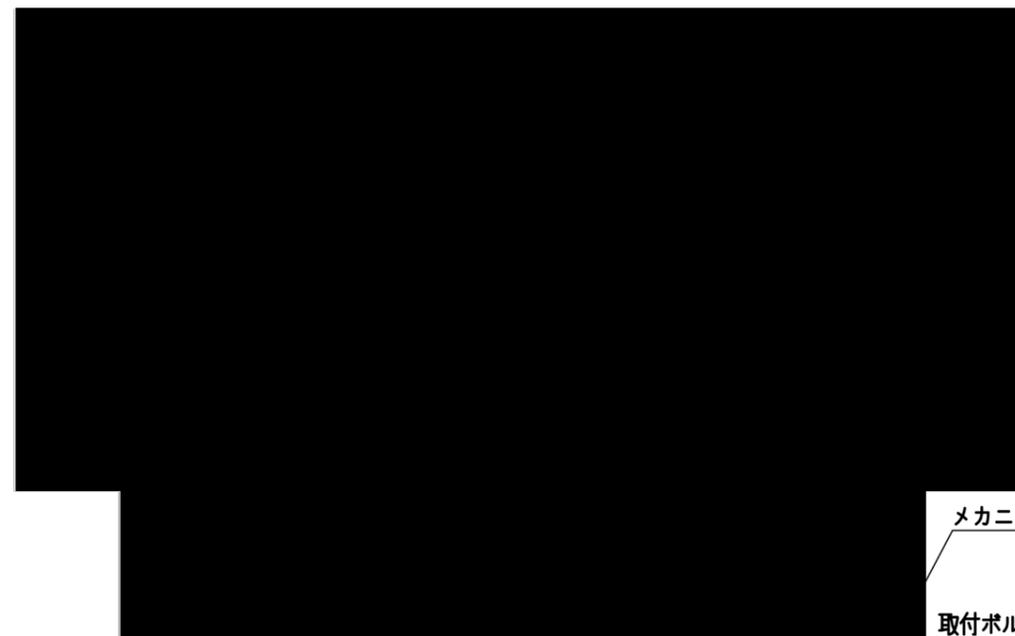
第2.5.2.7.2図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図
乾燥ボート搬送装置 (PA0144-M-20000)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	13024	[REDACTED]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	15618		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1363		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



- 特記事項
1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 2. 本設備には、計量設備 (ID番号読取機) を設置する。
(次回以降申請)



メカニカルストップ

取付ボルト
M20×8本
(SCM435)

搬送台車

メカニカルストップ

取付ボルト
M20×8本
(SCM435)

メカニカルストップ

フレーム
(SS400,STKR400)

走行架台

2661
<4000mm以下>

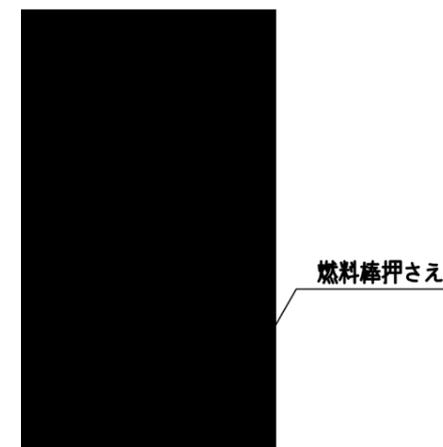
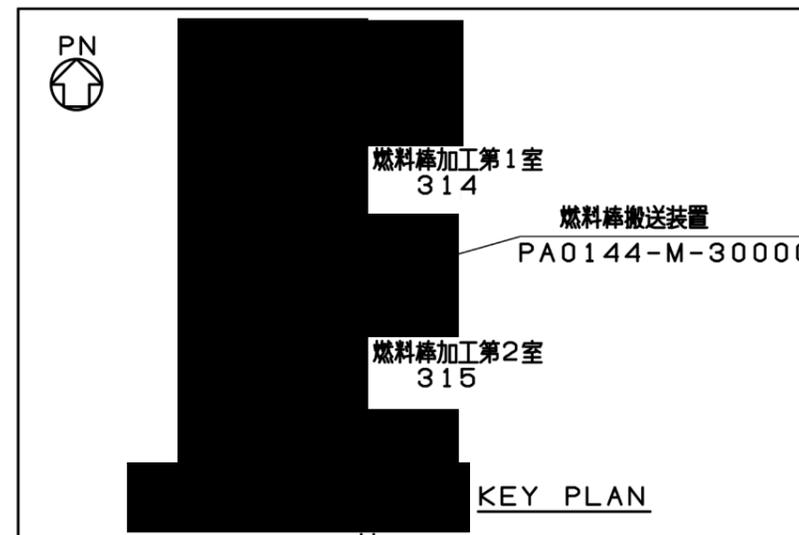
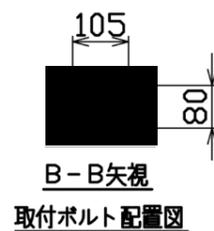
フレーム
(SS400,STKR400)

転倒防止金具(2個)
(SS400)

転倒防止金具(2個)
(SS400)

T
A

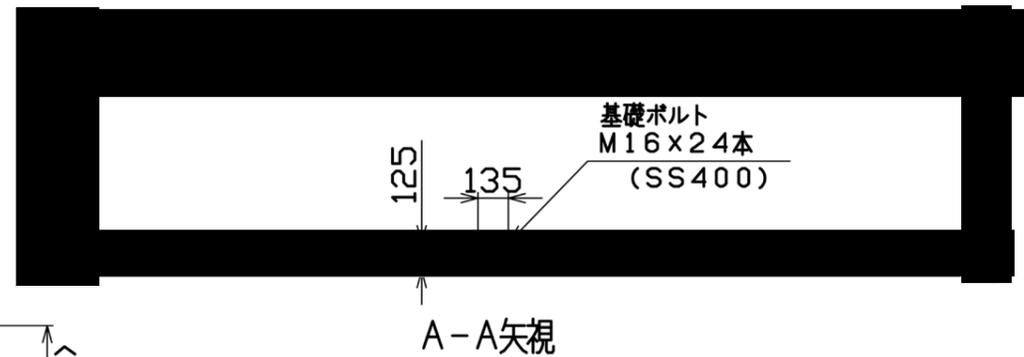
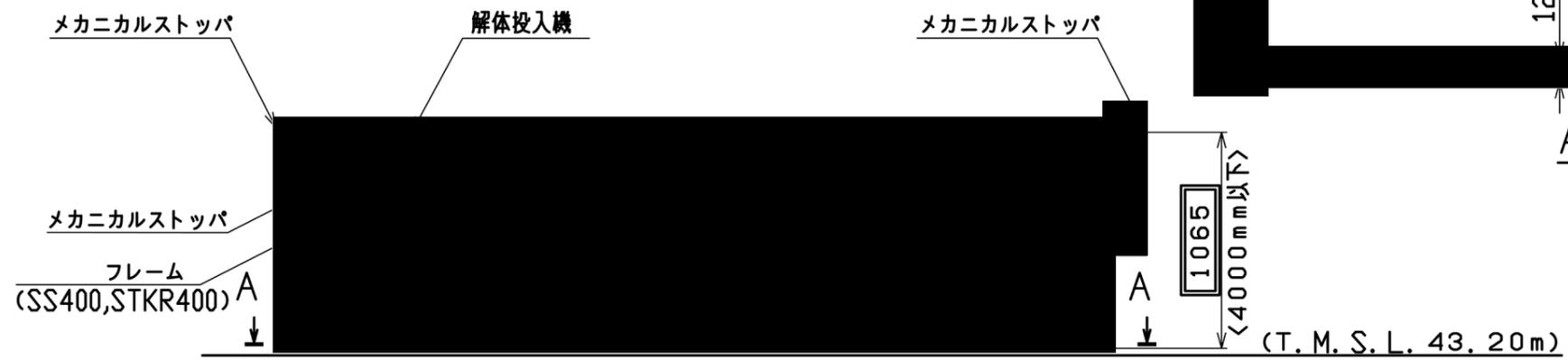
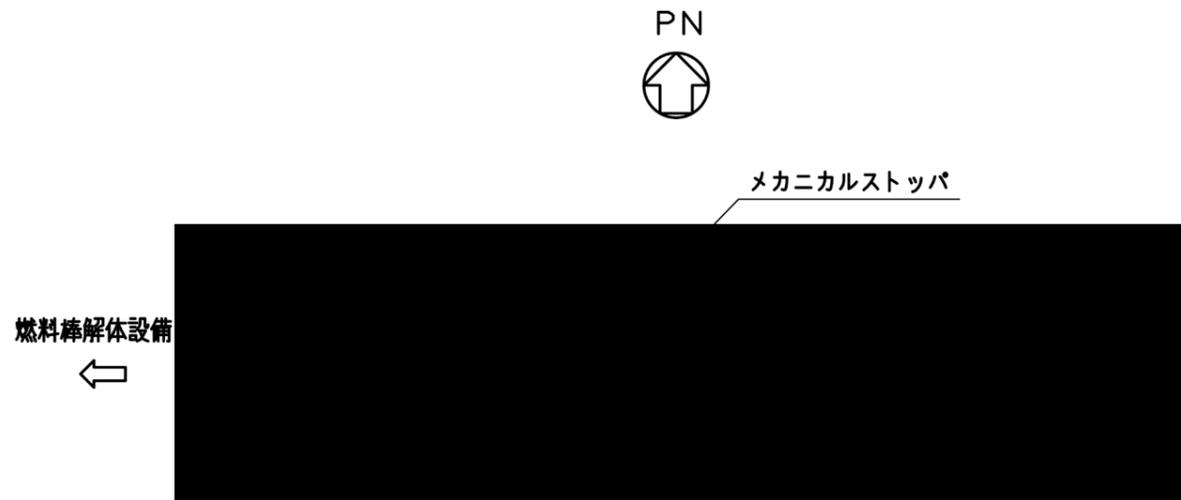
(T. M. S. L. 43. 20m)



A-A矢視(拡大図)

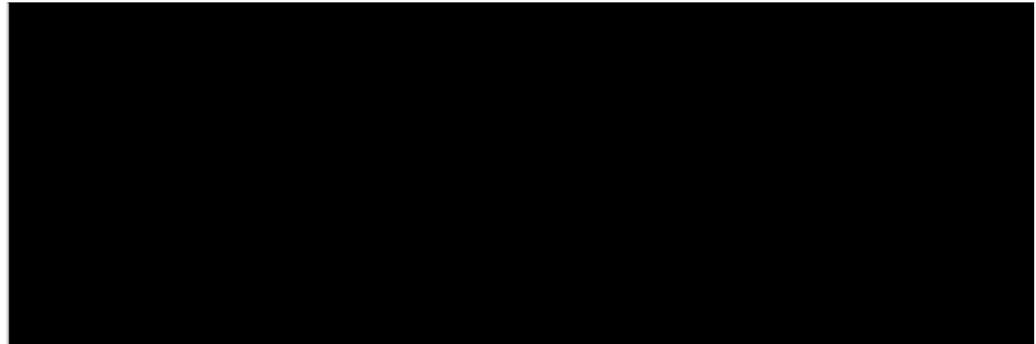
特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
< >内寸法は、判定基準を示す。
3. 搬送台車にメカニカルストップを設置する。

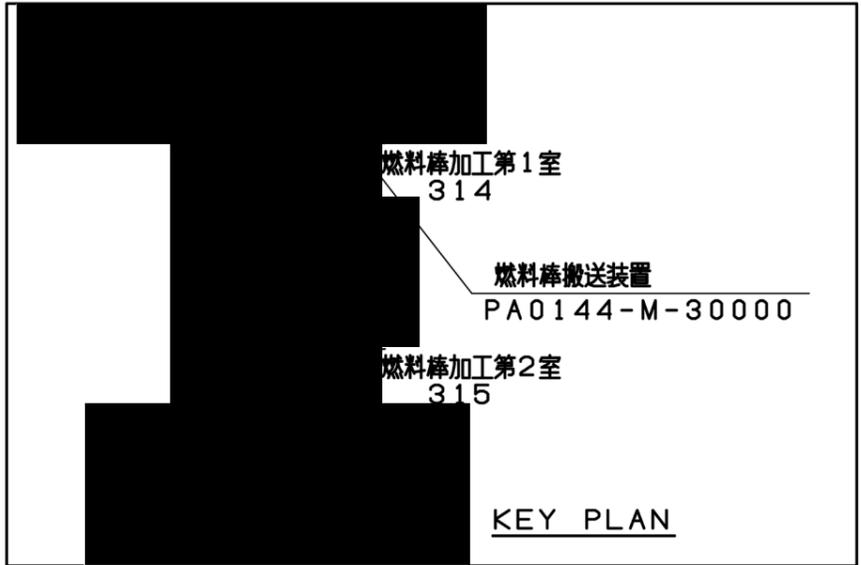


- 特記事項
1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
 < >内寸法は、判定基準を示す。
 3. 解体投入機にメカニカルストップを設置する。

第2.5.2.7.3図 被覆施設
 燃料棒加工工程搬送設備の構造図
 燃料棒搬送装置
 (PA0144-M-30000) (3/6)



メカニカルストップ

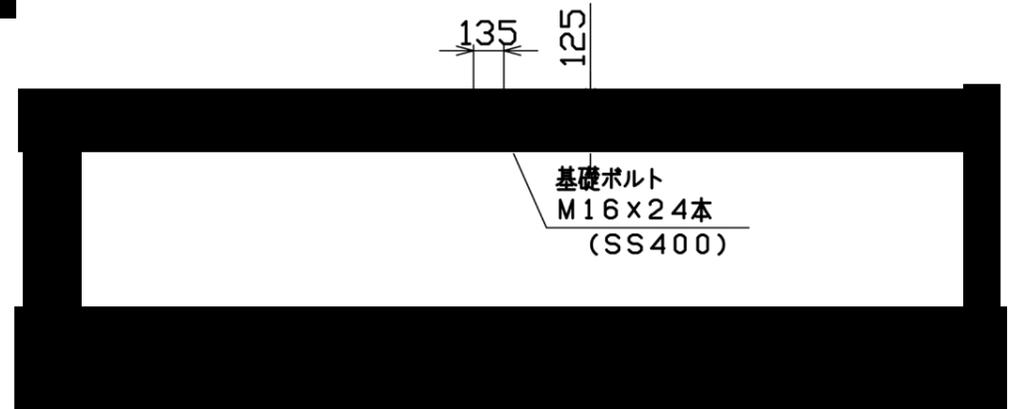


燃料棒加工第1室
314

燃料棒搬送装置
PA0144-M-30000

燃料棒加工第2室
315

KEY PLAN



基礎ボルト
M16×24本
(SS400)

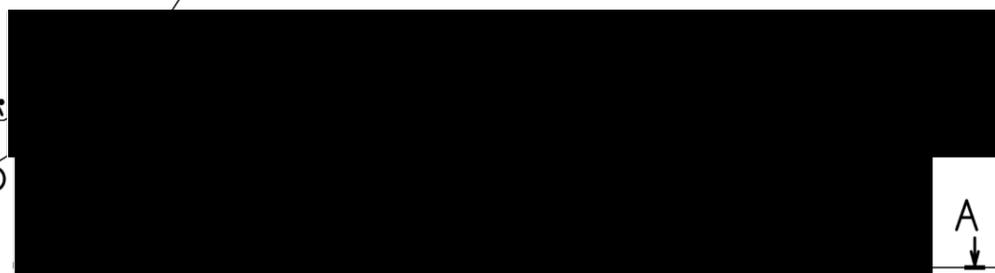
135

125

再検査投入機

メカニカルストップ
フレーム
(SS400,STKR400)

A
↓



A
↓

1065
<4000mm以下>

(T. M. S. L. 43. 20m)

A-A矢視

特記事項

- 1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
- 2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
< >内寸法は、判定基準を示す。
- 3. 再検査投入機にメカニカルストップを設置する。

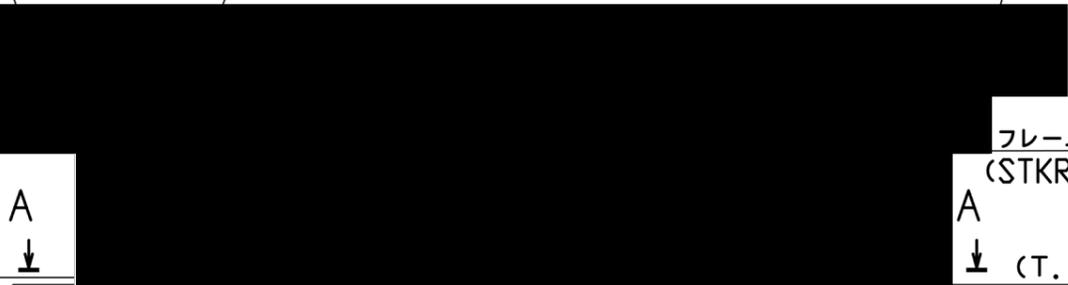


メカニカルストップ

取出機

メカニカルストップ

1079
<4000mm以下>



フレーム
(STKR400)

A
↓ (T. M. S. L. 43. 20m)

特記事項

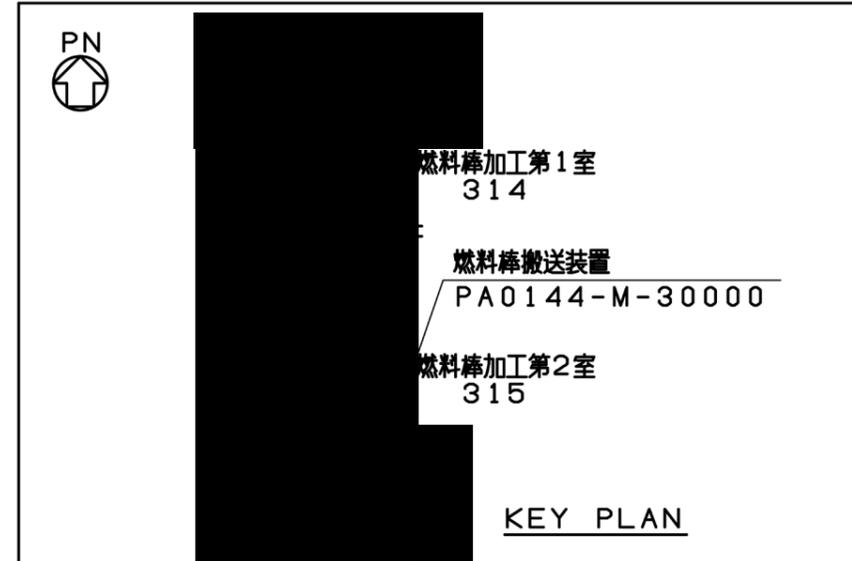
1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 1079 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
< >内寸法は、判定基準を示す。

基礎ボルト
M16×24本
(SS400)



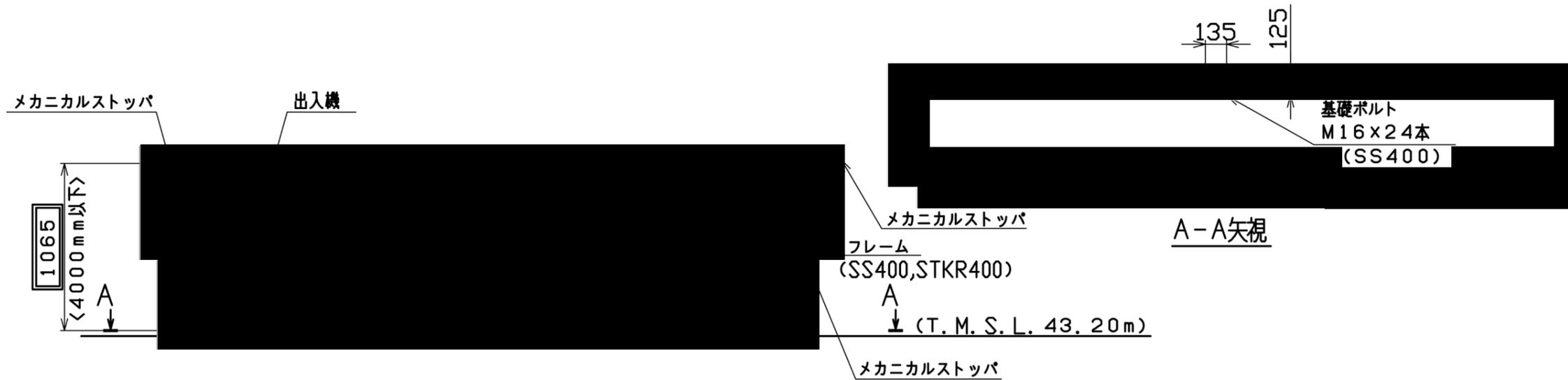
100
100

A-A矢視



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 内寸法は、取扱高さ上の制約がある寸法を示す。
 < >内寸法は、判定基準を示す。
3. 出入機にメカニカルストップを設置する。



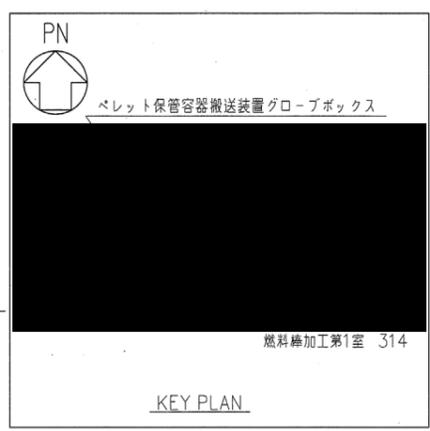
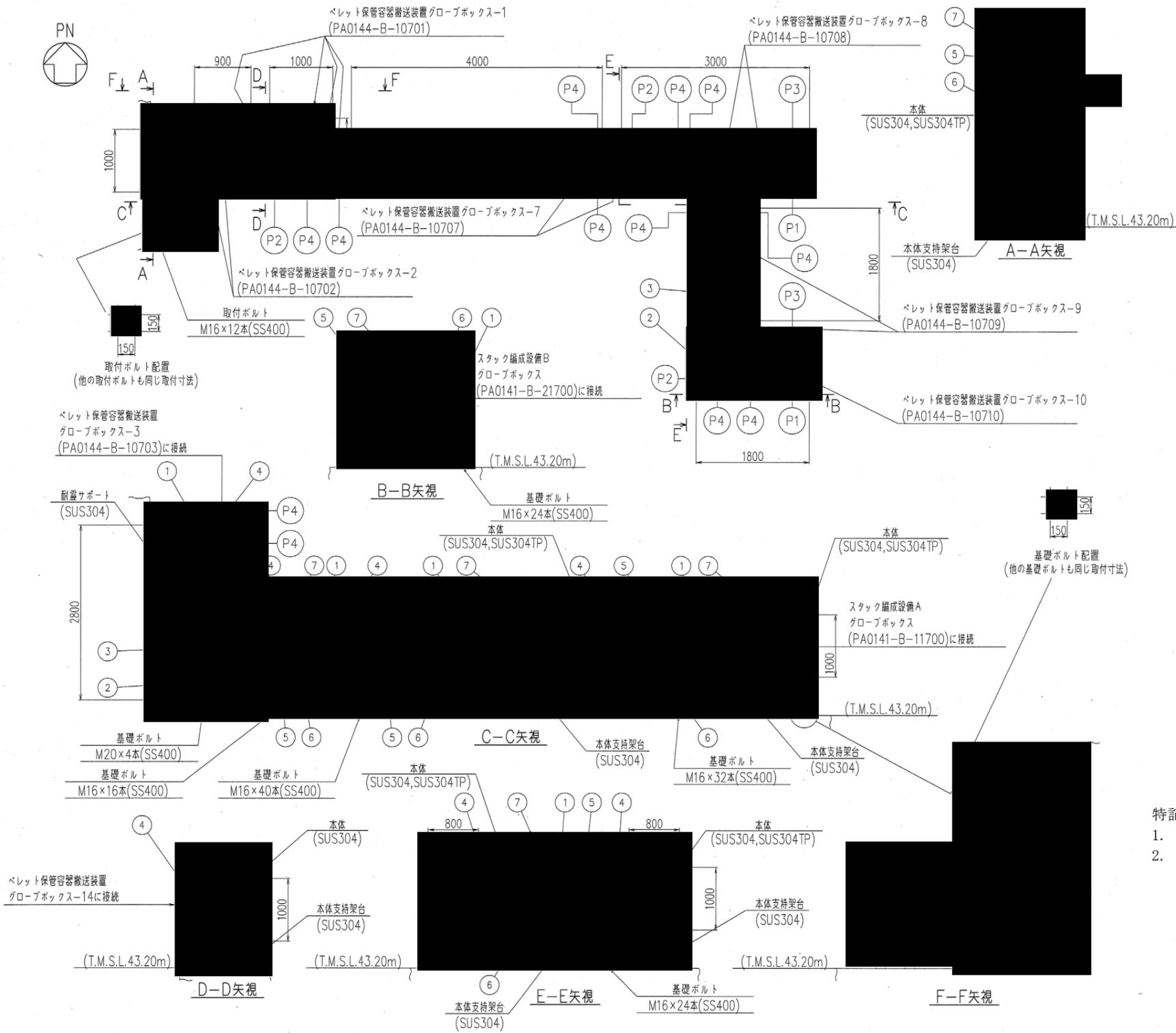
第2.5.2.7.3図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
燃料棒搬送装置
(PA0144-M-30000) (6/6)

第2.5.2.7.3図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図

燃料棒搬送装置 (PA0144-M-30000)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	5048	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	41480		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2192		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
P4	予備	10A	12
P3	消火ガス入口	20A	2
P2	圧縮空気入口	8A	3
P1	給気口	80A	2

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

7	コネクタ部	6式
6	含鉛アクリルパネル	6式
5	密板	6式
4	伸縮継手	7式
3	搬出入口(大)	2式
2	搬出入口(小)	2式
1	本体	6基

部品表

個数は、グローブボックス6基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.7.4図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
ペレット保管容器搬送装置
グローブボックス-1,-2,-7,-8,-9,-10
(PA0144-B-10701,-10702,-10707,
-10708,-10709,-10710)

第2.5.2.7.4図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -2, -7, -8, -9, -10
(PA0144-B-10701, -10702, -10707, -10708, -10709, -10710)

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1130		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	900		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	4000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

(続き)

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3000	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-9

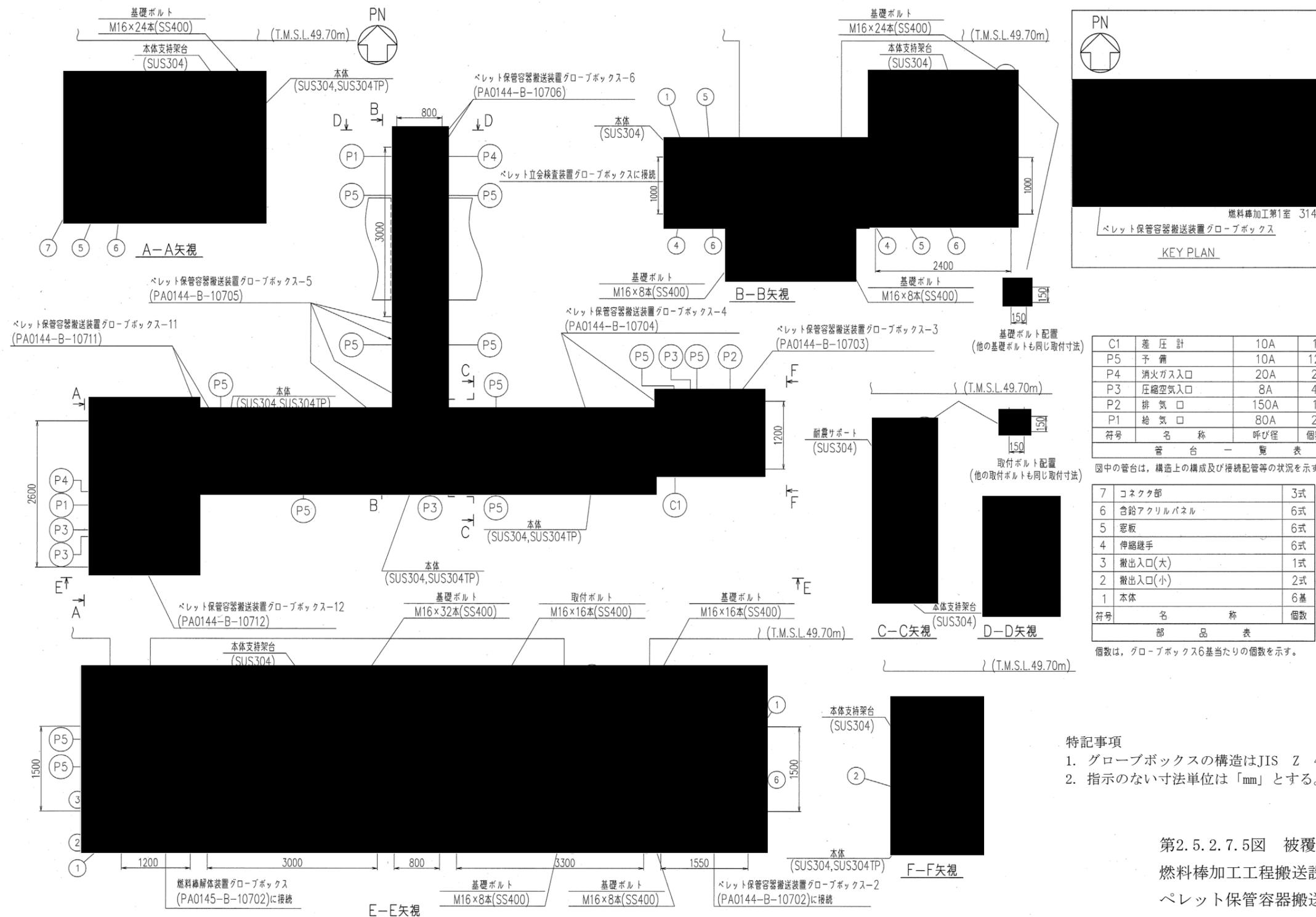
主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	1800	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	1800	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



第2.5.2.7.5図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
ペレット保管容器搬送装置
グローブボックス-3,-4,-5,-6,-11,-12
(PA0144-B-10703,-10704,-10705,-10706,
-10711,-10712)

第2.5.2.7.5図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-3, -4, -5, -6, -11, -12

(PA0144-B-10703, -10704, -10705, -10706, -10711, -10712)

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-3

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	1550		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1200		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-4

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3300		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-5

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2400		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

(続き)

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3000	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-11

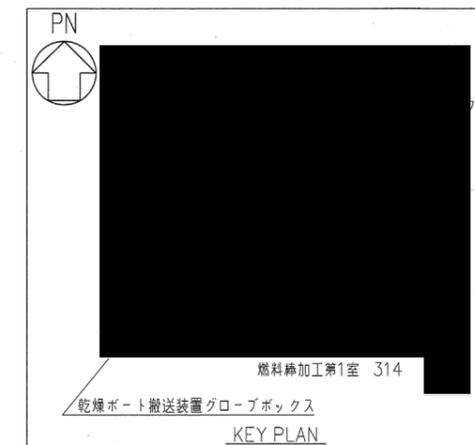
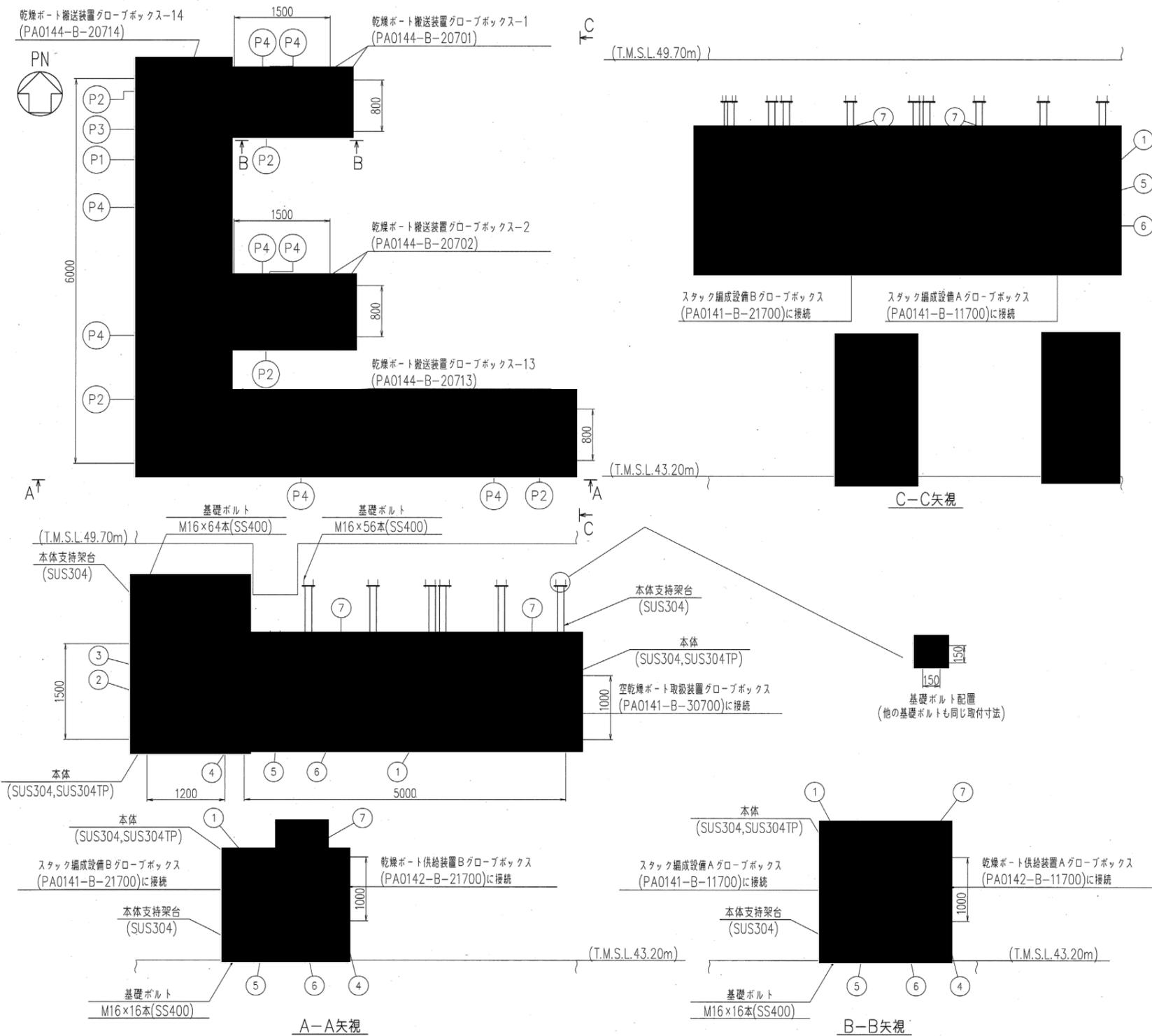
主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3000	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2600	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1200		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
P4	予備	10A	8
P3	消火ガス入口	20A	1
P2	圧縮空気入口	8A	5
P1	給気口	150A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

7	コネクタ部	6式
6	含鉛アクリルパネル	4式
5	窓板	4式
4	伸縮継手	3式
3	搬出入口(大)	1式
2	搬出入口(小)	1式
1	本体	4基
符号	名称	個数

部品表

個数は、グローブボックス4基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.7.6図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
乾燥ポート搬送装置
グローブボックス-1, -2, -13, -14
(PA0144-B-20701, -20702, -20713, -20714)

第2.5.2.7.6図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-1, -2, -13, -14

(PA0144-B-20701, -20702, -20713, -20714)

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-1

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	1500	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-2

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	1500	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-13

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	5000	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

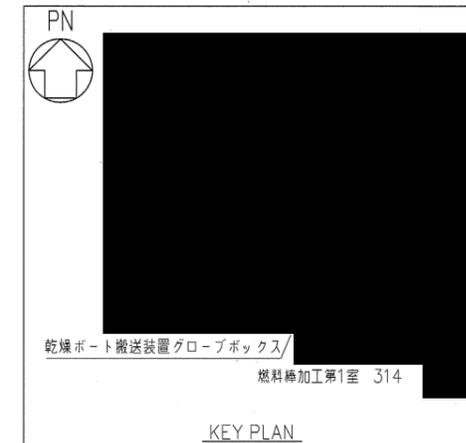
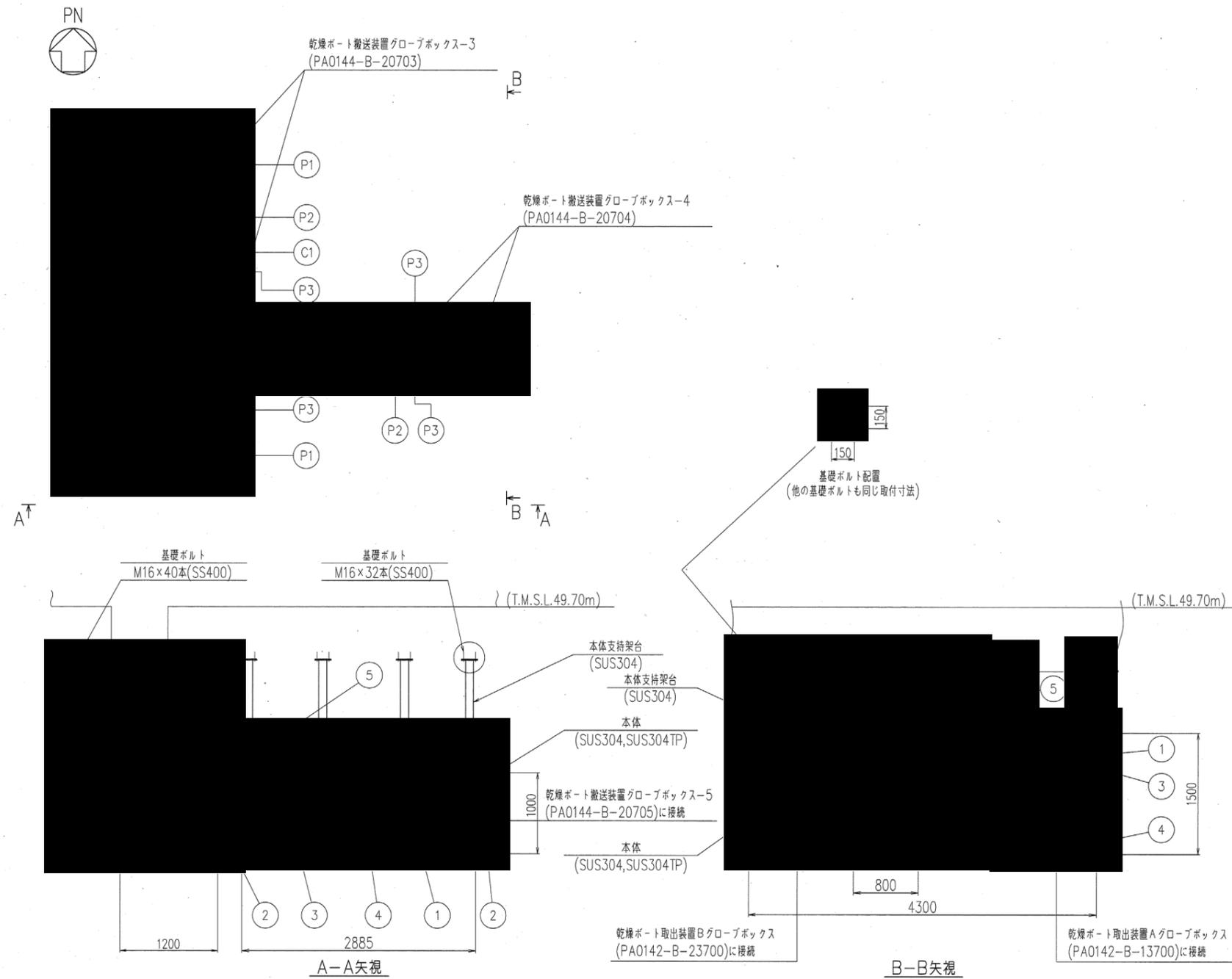
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

(続き)

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-14

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	6000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1200		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



C1	差圧計	10A	1
P3	予備	10A	4
P2	窒素ガス入口	8A	2
P1	排気口	100A	2
符号	名称	呼び径	個数
管台一覧表			

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

5	コネクタ部	2式
4	含鉛アクリルパネル	2式
3	窓板	2式
2	伸縮継手	2式
1	本体	2基
符号	名称	個数
部品表		

個数は、グローブボックス2基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.7.7図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
乾燥ボート搬送装置
グローブボックス-3, -4
(PA0144-B-20703, -20704)

第2.5.2.7.7図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-3, -4 (PA0144-B-20703, -20704)

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-3

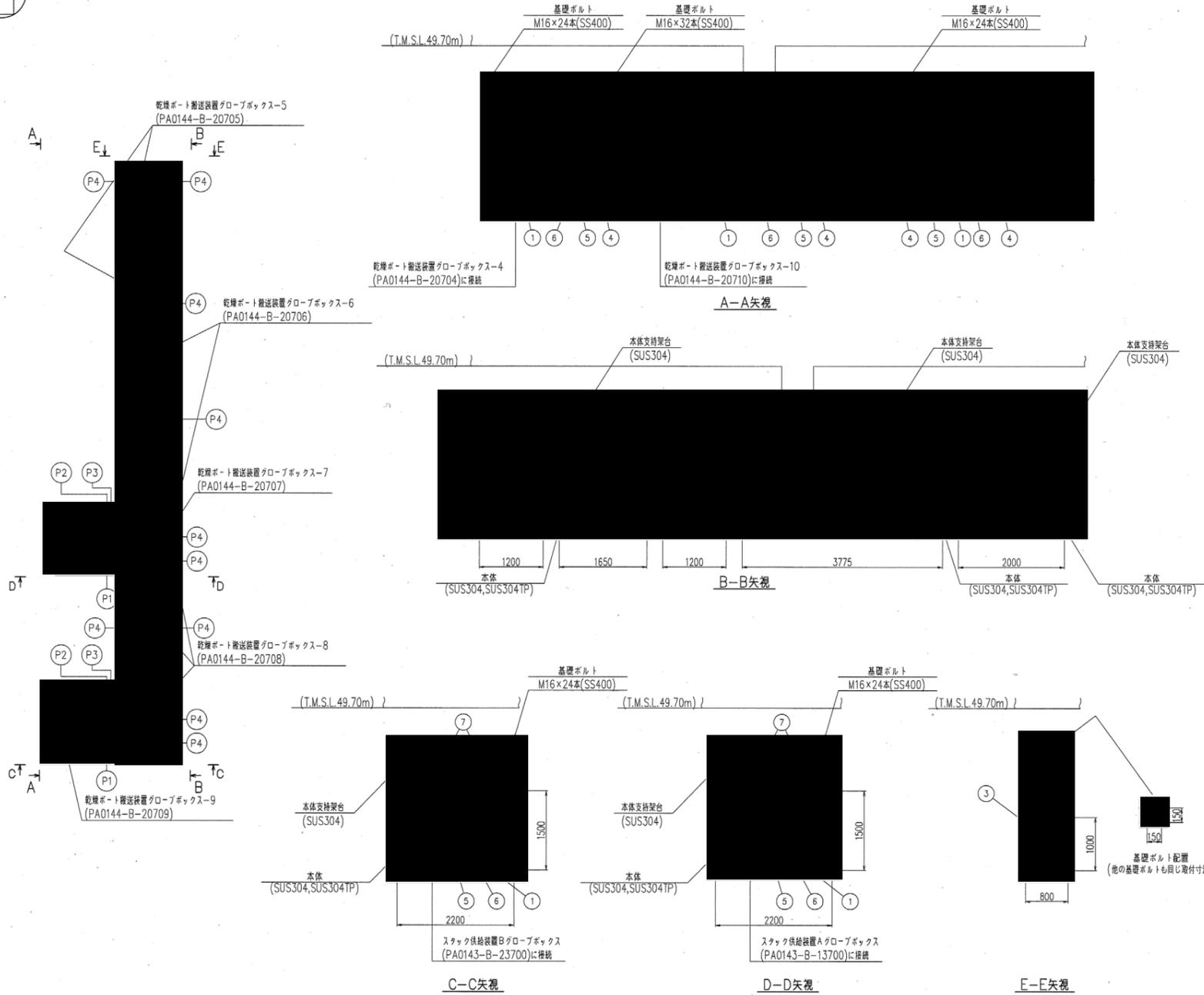
主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	4300		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1200		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-4

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2885		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
P4	予備	10A	10
P3	窒素ガス入口	8A	2
P2	消火ガス入口	20A	2
P1	給気口	100A	2

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
7	コネクタ部	5式
6	含鉛アクリルパネル	5式
5	窓板	5式
4	伸縮継手	4式
3	搬出入口(大)	1式
2	搬出入口(小)	2式
1	本体	5基

個数は、グローブボックス5基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.7.8図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
乾燥ボート搬送装置
グローブボックス-5, -6, -7, -8, -9
(PA0144-B-20705, -20706,
-20707, -20708, -20709)

第2.5.2.7.8図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-5, -6, -7, -8, -9

(PA0144-B-20705, -20706, -20707, -20708, -20709)

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-5

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2000	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	3775	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-7

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2200	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1200		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

(続き)

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-8

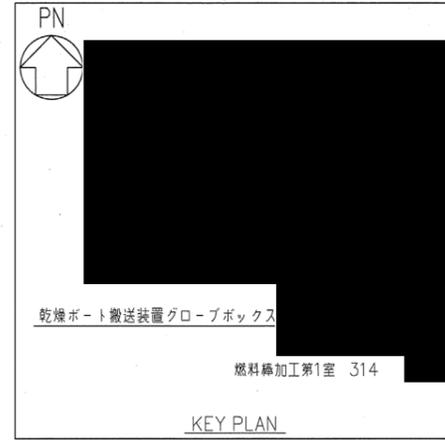
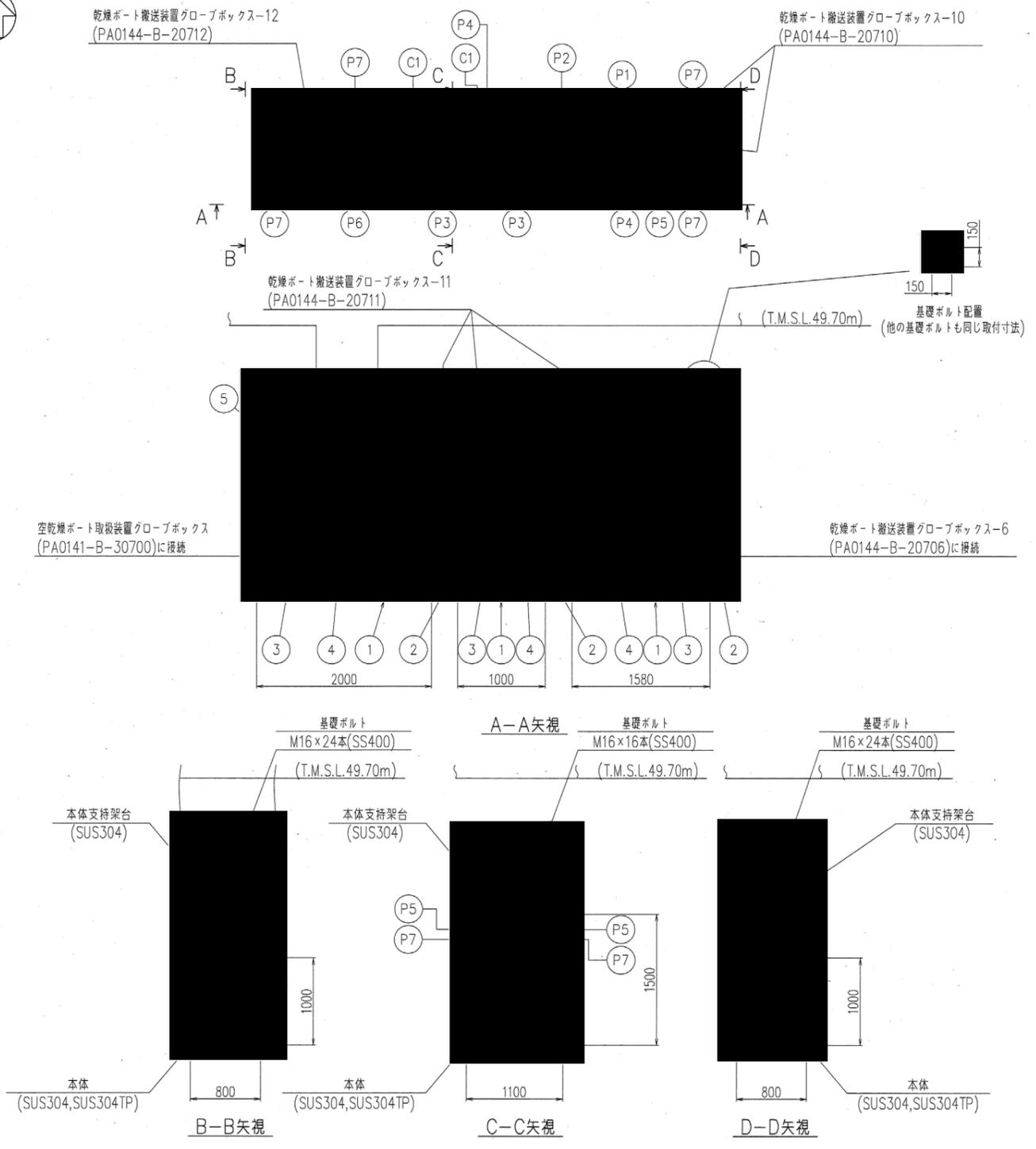
主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	1650		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-9

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2200		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1200		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	2
P7	予備	10A	6
P6	圧縮空気入口	8A	1
P5	窒素ガス入口	8A	3
P4	消火ガス入口	20A	2
P3	排気口	100A	2
P2	給気口	100A	1
P1	給気口	80A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

5	コネクタ部	3式
4	含鉛アクリルパネル	3式
3	窓板	3式
2	伸縮継手	3式
1	本体	3基

符号 名称 個数

部品表

個数は、グローボックス3基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローボックスの構造はJIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.2.7.9図 被覆施設
燃料棒加工工程搬送設備の構造図
乾燥ボート搬送装置
グローボックス-10, -11, -12
(PA0144-B-20710, -20711, -20712)

第2.5.2.7.9図 被覆施設 燃料棒加工工程搬送設備の構造図

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-10, -11, -12 (PA0144-B-20710, -20711, -20712)

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-10

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
(mm)			
たて	1580	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11

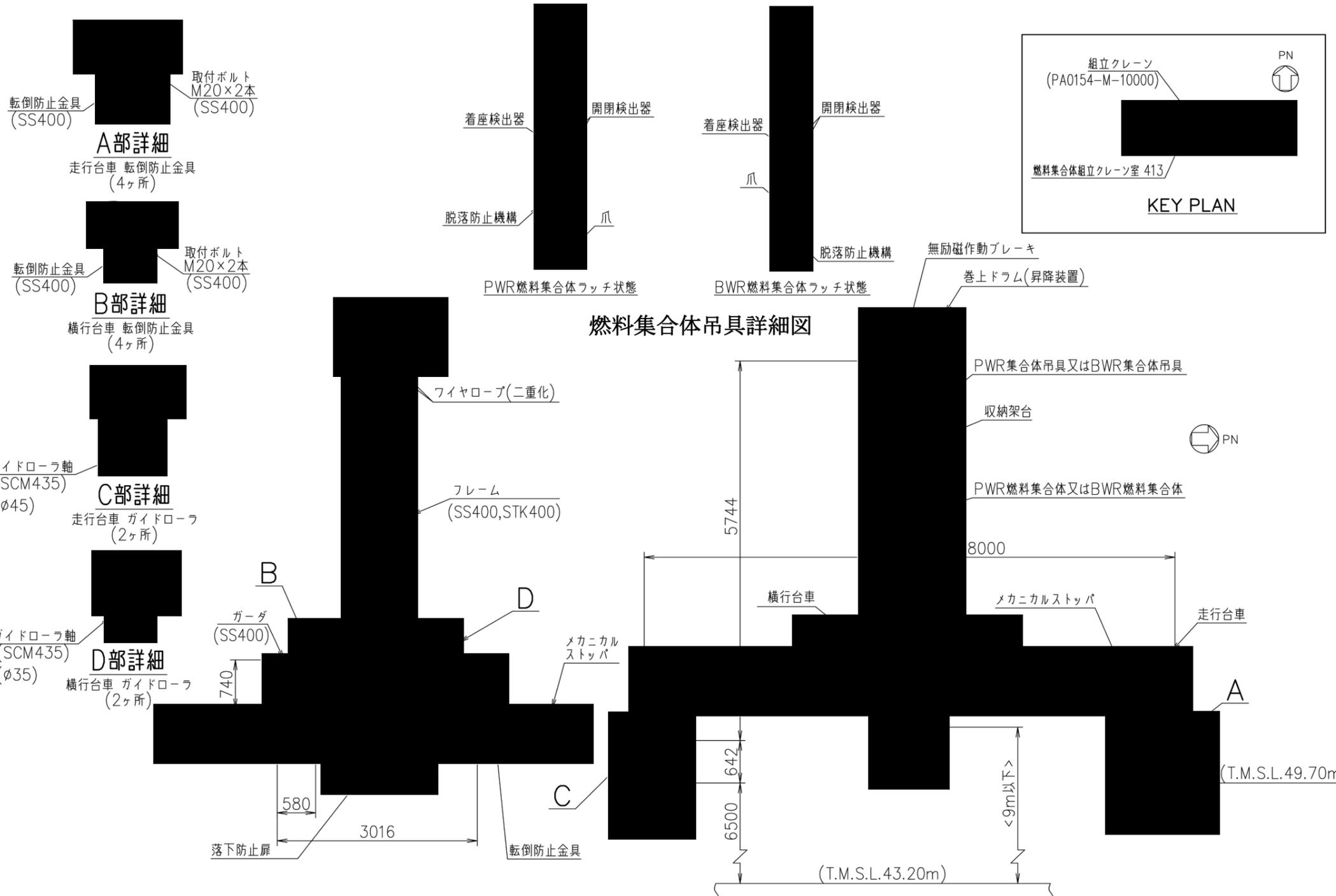
主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
(mm)			
たて	1000	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1100		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-12

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
(mm)			
たて	2000	[Redacted]	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1000		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



取付ボルト
M20×2本
(SS400)

転倒防止金具
(SS400)

A部詳細

走行台車 転倒防止金具
(4ヶ所)

取付ボルト
M20×2本
(SS400)

転倒防止金具
(SS400)

B部詳細

横行台車 転倒防止金具
(4ヶ所)

ガイドローラ軸
(SCM435)
(φ45)

C部詳細

走行台車 ガイドローラ
(2ヶ所)

ガイドローラ軸
(SCM435)
(φ35)

D部詳細

横行台車 ガイドローラ
(2ヶ所)

特記事項

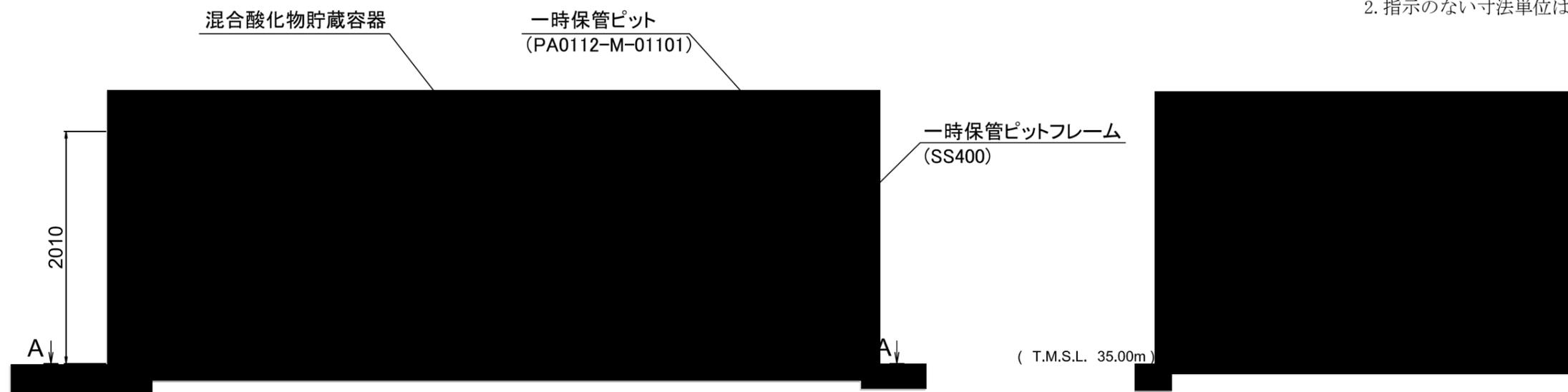
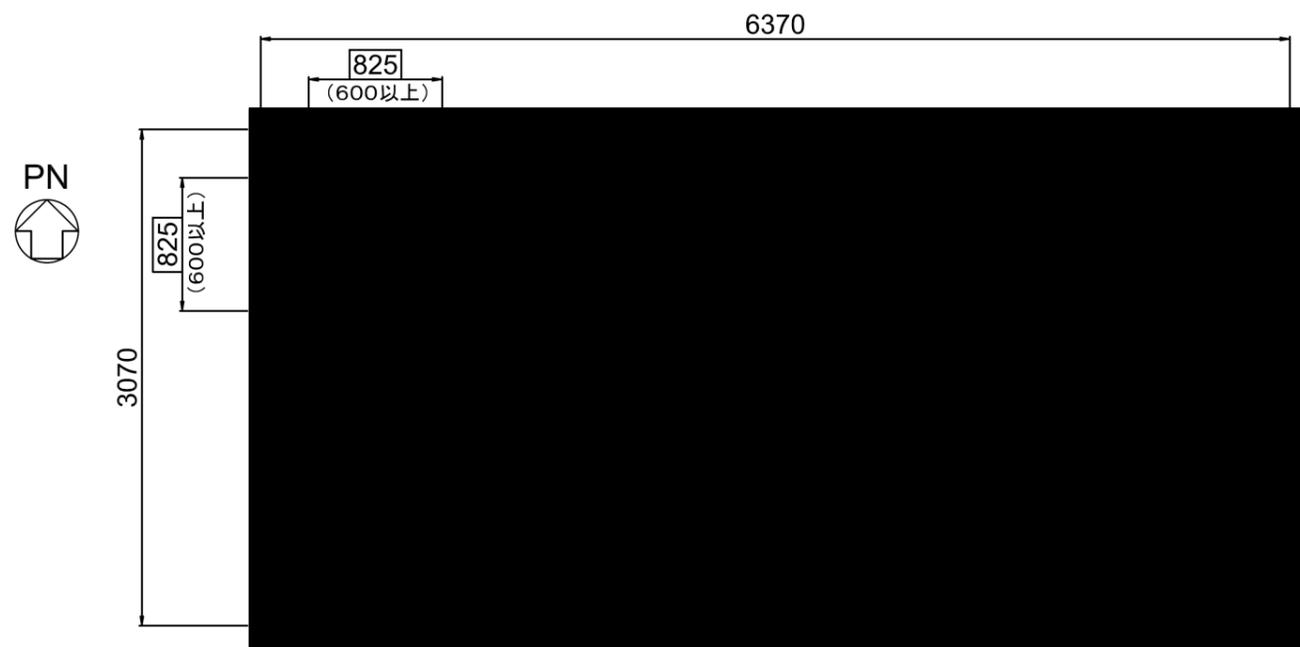
1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. < >内寸法は、取扱高さに係る判定基準を示す。
3. B2F床面から組立クレーンの燃料集合体収納部上端までの高さは13m以下と設計するため、燃料集合体及び吊具の長さを考慮すれば、最大取扱高さは8m以下となり、制限高さ9m以下を満足する。

第2.5.3.4.1図
組立施設
燃料集合体組立工程搬送設備の構造図
組立クレーン (PA0154-M-10000)

第2.5.3.4.1図
組立施設 燃料集合体組立工程搬送設備の構造図
組立クレーン(PA0154-M-10000)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
走行レール間距離	8000		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
クレーン本体ガード距離	3016		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	5744		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
クレーン本体ガード幅	580		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
クレーン本体ガード高さ	740		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準

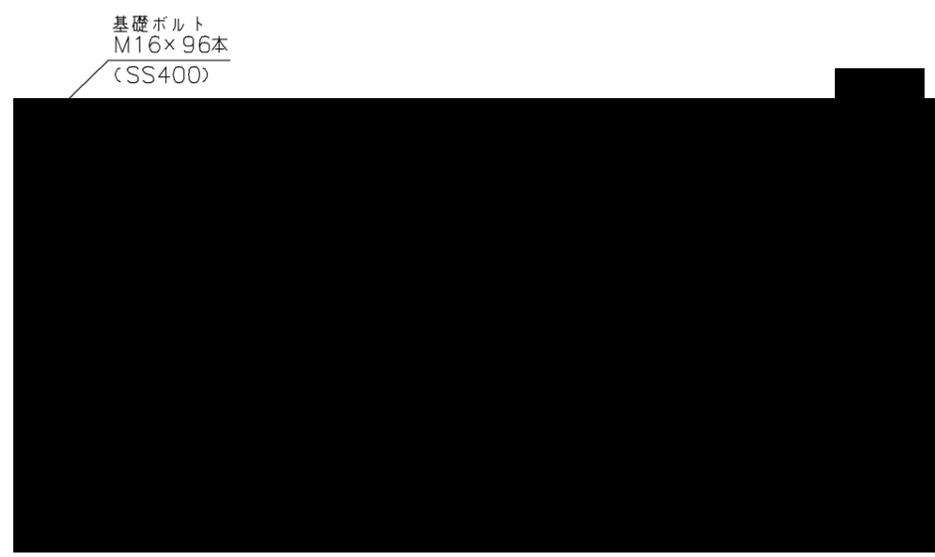
注記 *：主要寸法は，設工認申請書記載の公称値を示す。



特記事項

1. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。()内寸法は、判定基準を示す。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.1.1 図
核燃料物質の貯蔵施設
貯蔵容器一時保管設備の構造図
一時保管ピット (PA0112-M-01101) (1/2)



特記事項
 1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.4.1.1図
 核燃料物質の貯蔵施設
 貯蔵容器一時保管設備の構造図
 一時保管ピット(PA0112-M-01101) (2/2)

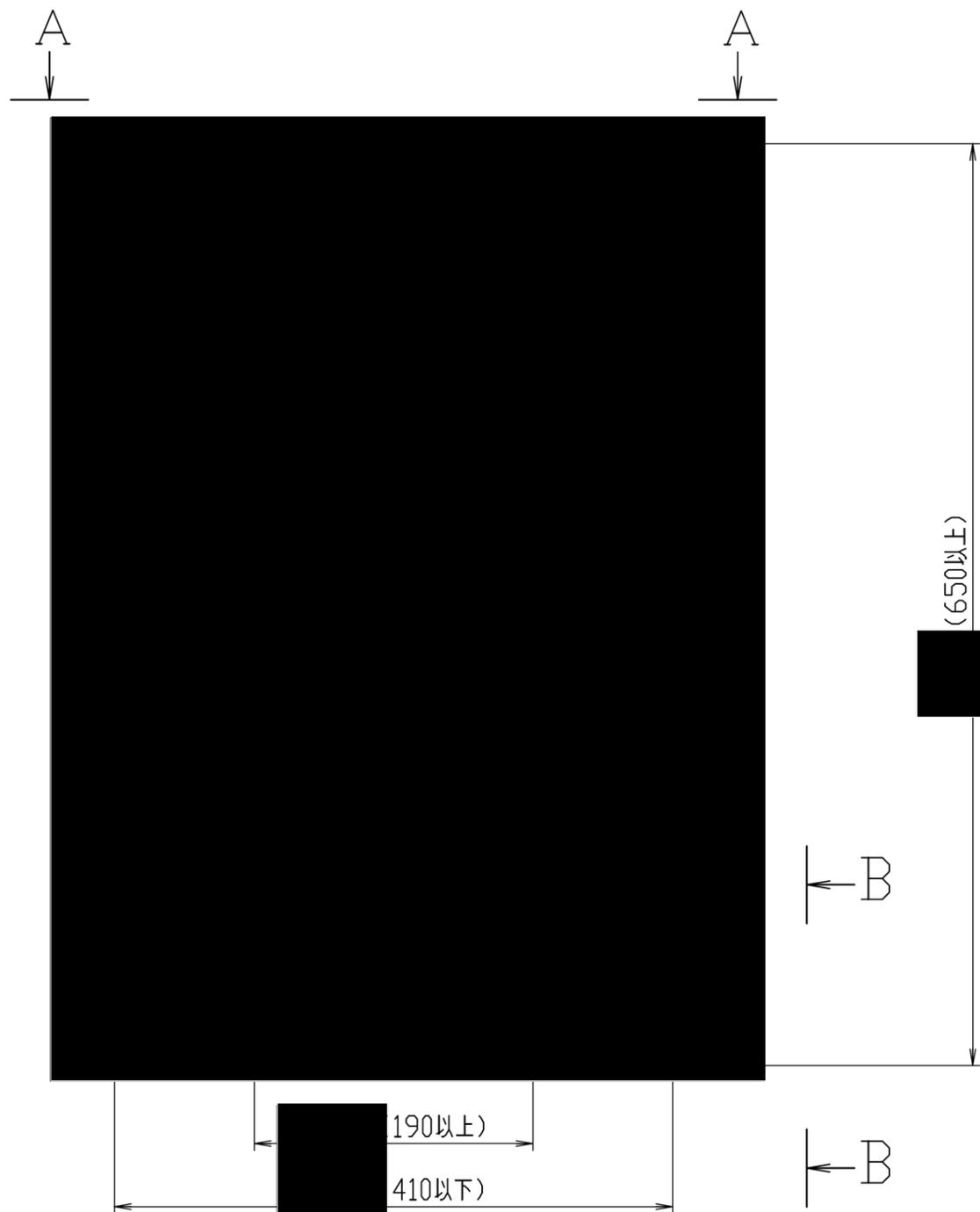
第2.5.4.1.1図

核燃料物質の貯蔵施設 貯蔵容器一時保管設備の構造図

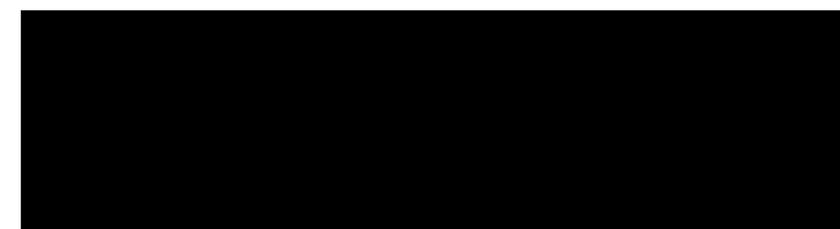
一時保管ピット (PA0112-M-01101) (1/2)～(2/2)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠	
(mm)				
たて	3070	±28	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準	
横	6370	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準	
高さ	2010	±22	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準	
中心間距離 (ピット間隔)	行方向	825	±11	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	列方向	825	±11	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



A - A 矢視図



乗上げ防止用切欠き

B - B 矢視図

特記事項

1. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
2. 寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.4.1 図

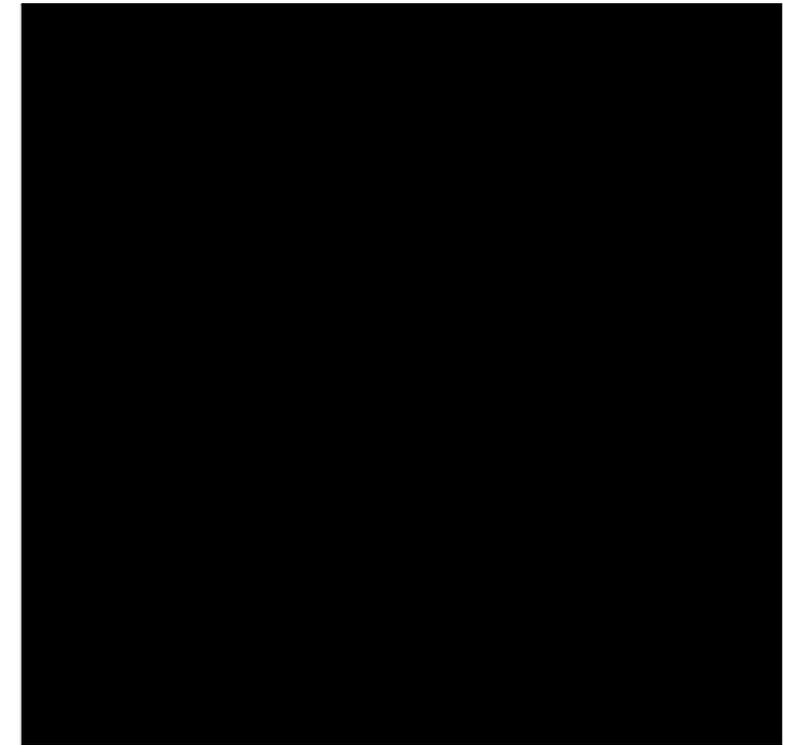
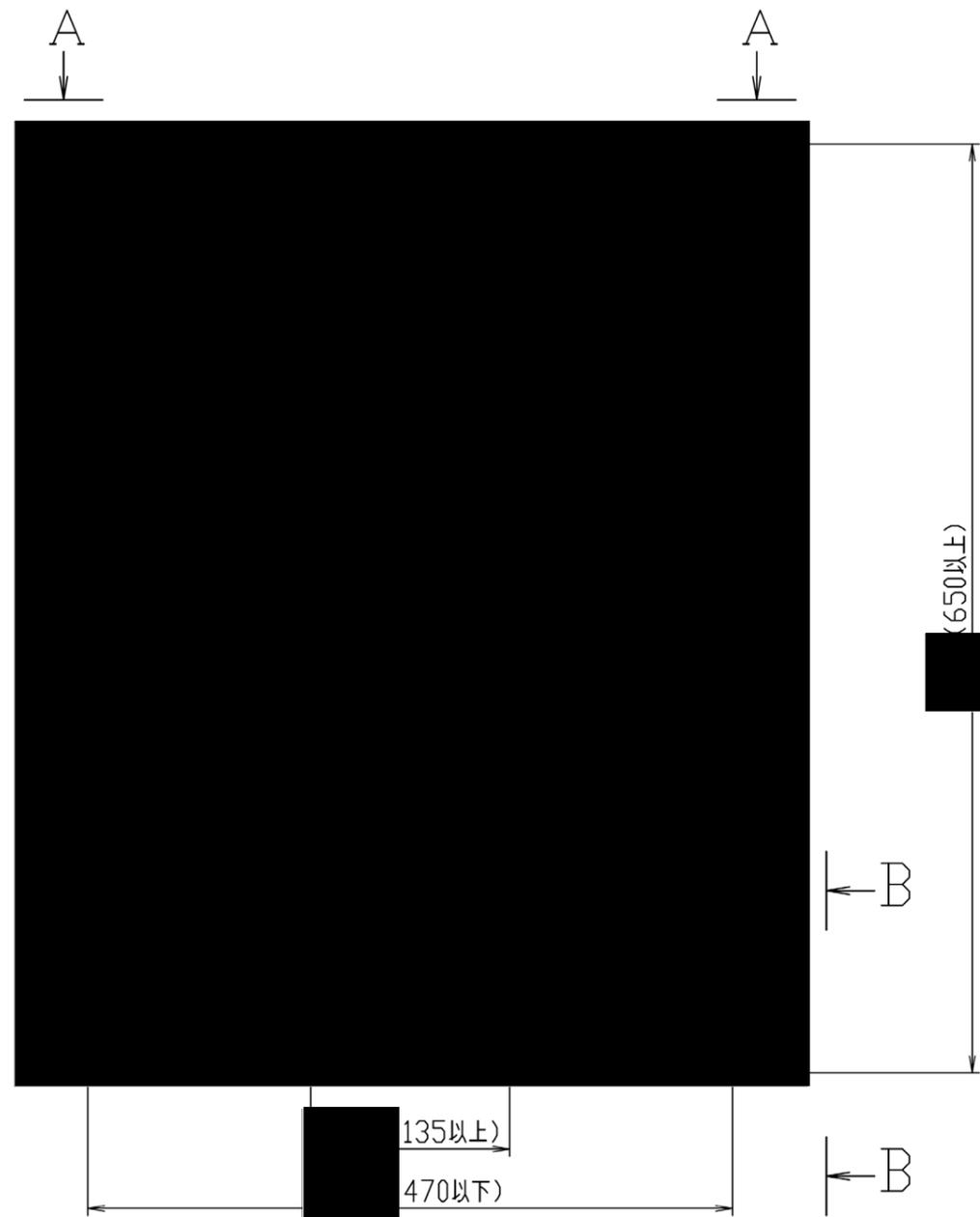
核燃料物質の貯蔵施設
粉末一時保管設備の構造図
容器 (J60)

第2.5.4.4.1図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図
容器(J60)

主要寸法*		許容範囲	根拠
(mm)		(mm)	
内径		±3	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
内管の外径		+0 -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		±1.2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ		±0.2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



A-A 矢視図



B-B 矢視図

特記事項

1. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
2. 寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.4.2 図
核燃料物質の貯蔵施設
粉末一時保管設備の構造図
容器(J85)

第2.5.4.4.2図

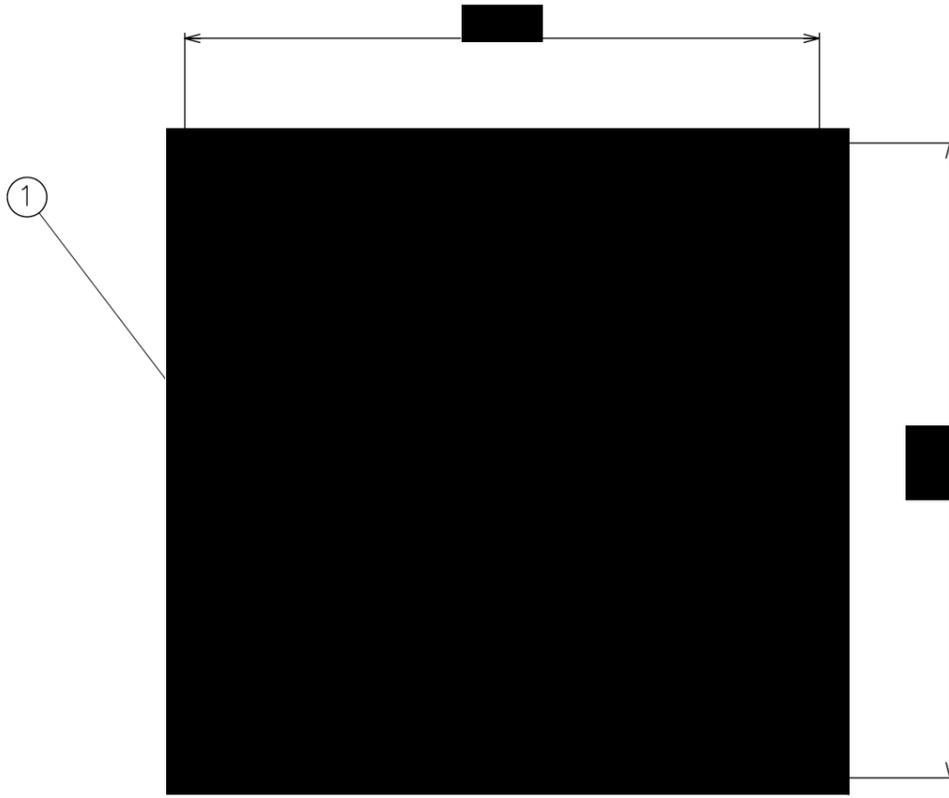
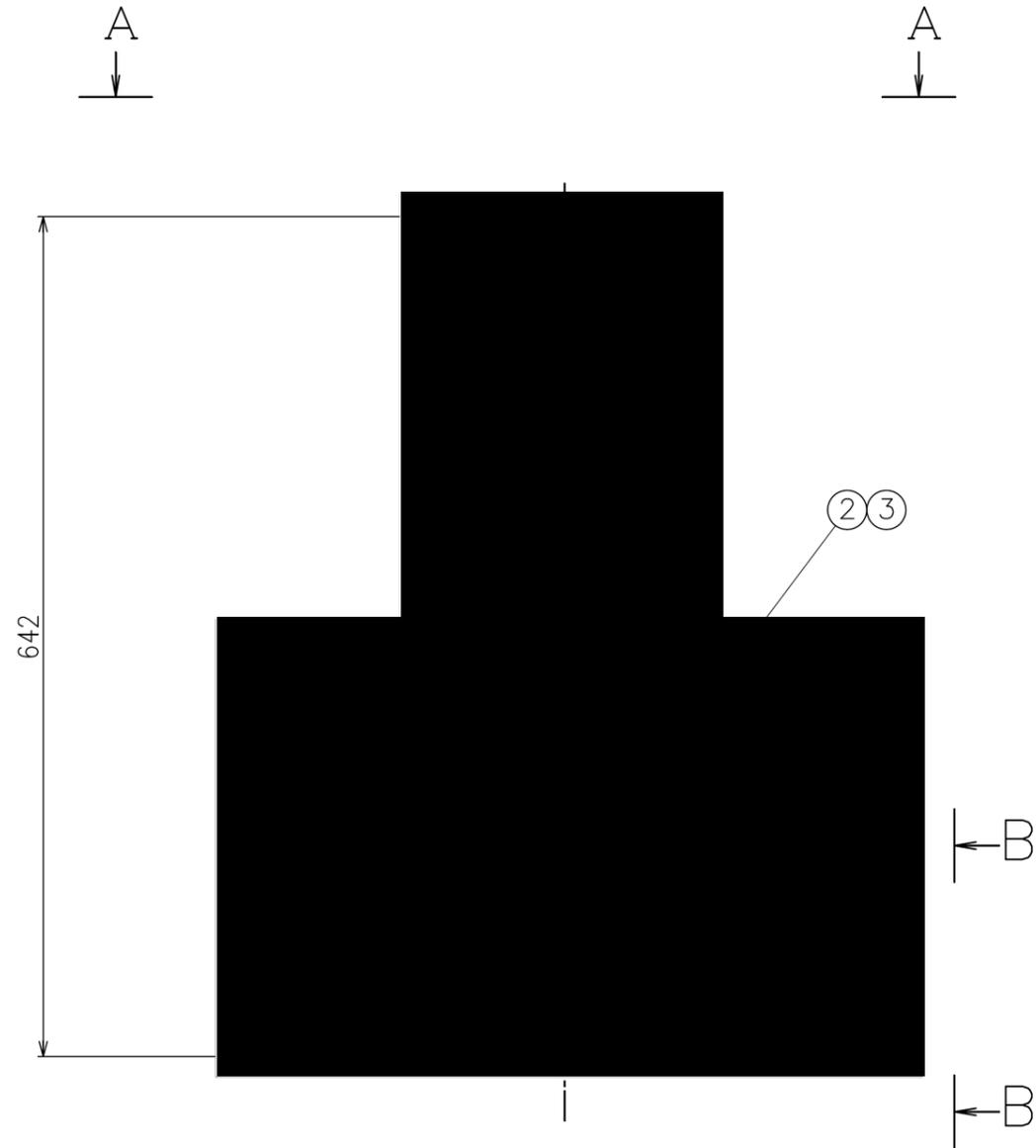
核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

容器(J85)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
内径		±8	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
内管の外径		±5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		±1.2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ		±0.2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

No.	名称
①	5 缶バスケット
②	CS・RS 保管ポット
③	CS・RS 回収ポット



A-A 矢視図



B-B 矢視図



ポット受詳細図

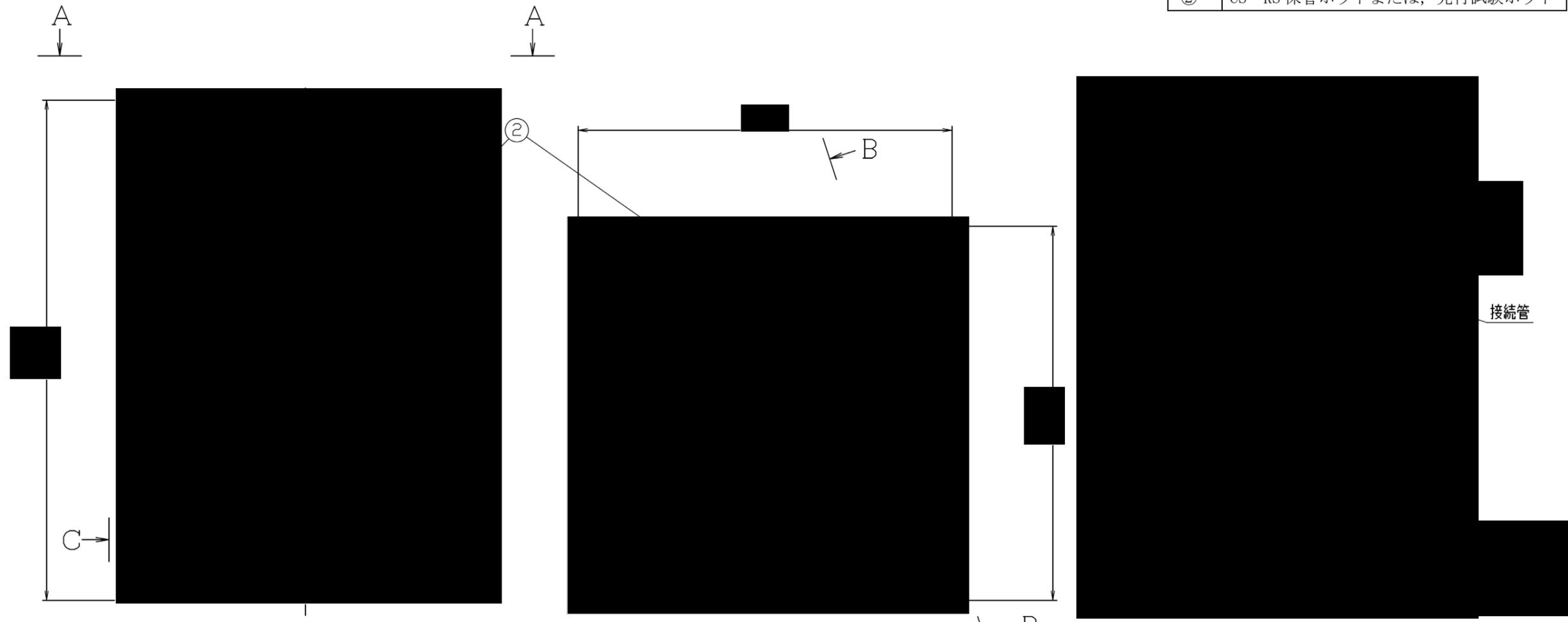
特記事項

1. 臨界安全上, CS・RS 保管ポットまたは, CS・RS 回収ポットの収納数を 5 缶以下とする。
2. 寸法単位は「mm」とする。
3. CS・RS 保管ポットまたは, CS・RS 回収ポットの積載数を 5 缶以下に制限する設計とする。

第 2.5.4.4.3 図

核燃料物質の貯蔵施設
粉末一時保管設備の構造図
容器(5 缶バスケット)

No.	名称
①	1 缶バスケット
②	CS・RS 保管ポットまたは、先行試験ポット



A-A 矢視図

B-B 矢視図
(接続管取付状態)

C-C 矢視図

ポット受詳細図

搬入制限回避スリット

特記事項

1. 臨界安全上、CS・RS 保管ポットまたは、先行試験ポットの収納数を **5 缶**以下とする。
2. 寸法単位は「mm」とする。
3. CS・RS 保管ポットまたは、先行試験ポットの積載数を **5 缶**以下に制限する設計とする。

第 2.5.4.4 図

核燃料物質の貯蔵施設
粉末一時保管設備の構造図
容器(1 缶バスケット)

第2.5.4.4.3図 核燃料物質の貯蔵施設

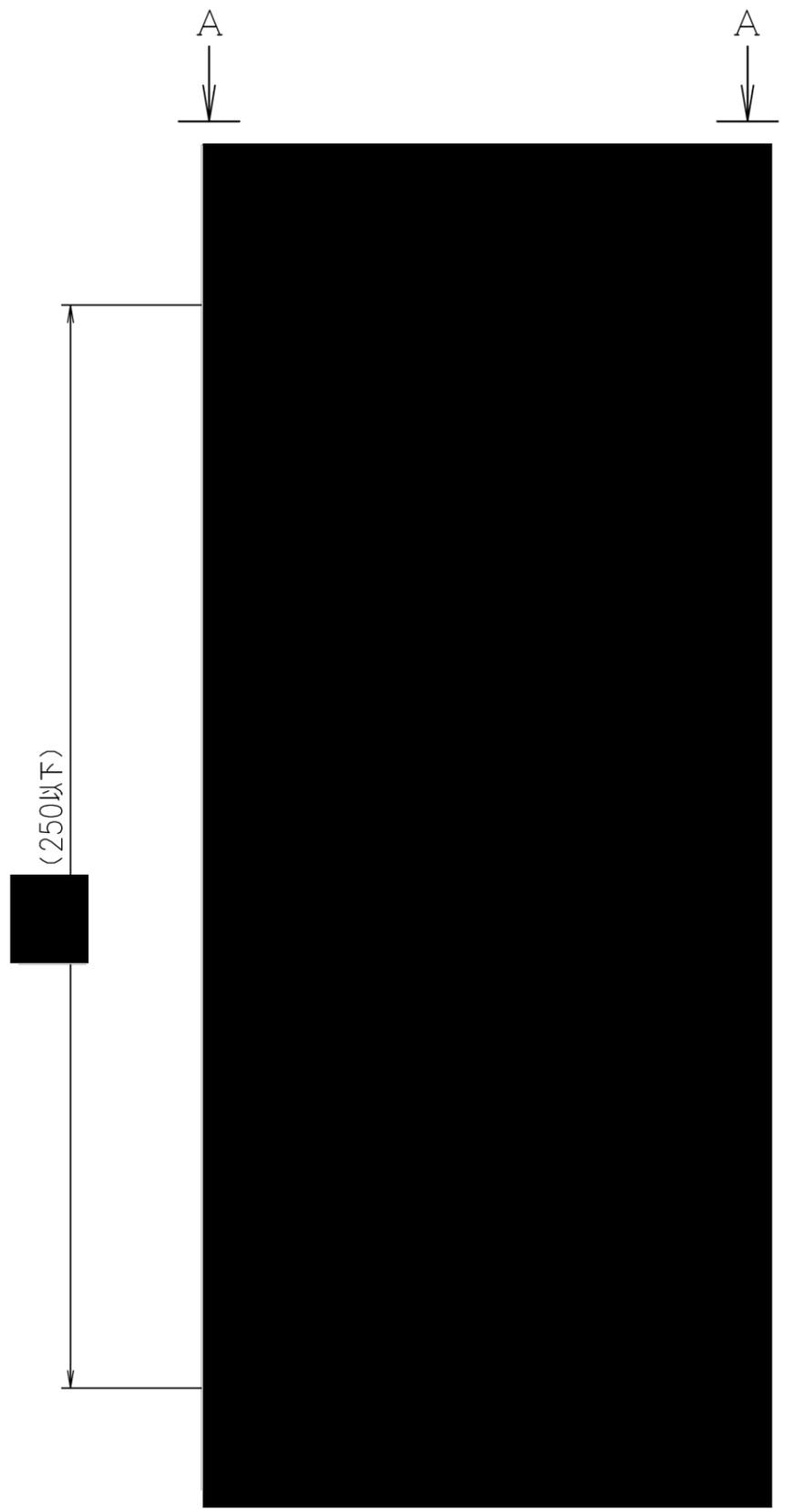
粉末一時保管設備の構造図 容器(5缶バスケット)～

第2.5.4.4.4図 核燃料物質の貯蔵施設

粉末一時保管設備の構造図 容器(1缶バスケット)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて		+0 -0.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		+0 -0.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		±1.0	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	容器(5缶バスケット)	±0.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	容器(1缶バスケット)	±0.3	

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



A-A矢視図

特記事項

1. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
（ ）内寸法は、判定基準を示す。
2. 寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.4.5 図
核燃料物質の貯蔵施設
粉末一時保管設備の構造図
容器 (CS・RS 保管ポット)

第2.5.4.4.5図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図
容器(CS・RS保管ポット)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
内径		±4.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		+2 -5.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ		±0.2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



粉末一時保管装置9
(PA0126-M-01109)

粉末一時保管装置7
(PA0126-M-01107)

粉末一時保管装置11
(PA0126-M-01111)

粉末一時保管装置5
(PA0126-M-01105)

粉末一時保管装置4
(PA0126-M-01104)

粉末一時保管装置12
(PA0126-M-01112)

粉末一時保管装置10
(PA0126-M-01110)

粉末一時保管装置8
(PA0126-M-01108)

粉末一時保管装置6
(PA0126-M-01106)

粉末一時保管装置3
(PA0126-M-01103)

粉末一時保管装置2
(PA0126-M-01102)

粉末一時保管装置1
(PA0126-M-01101)



A→

取付ボルト
M12×4本/台
(SUS304)

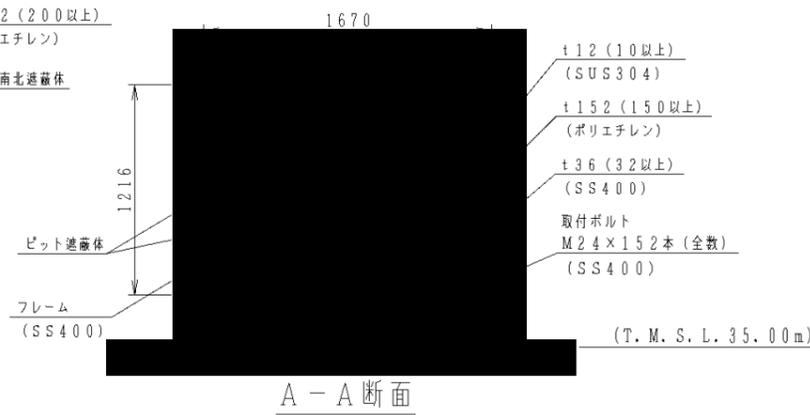
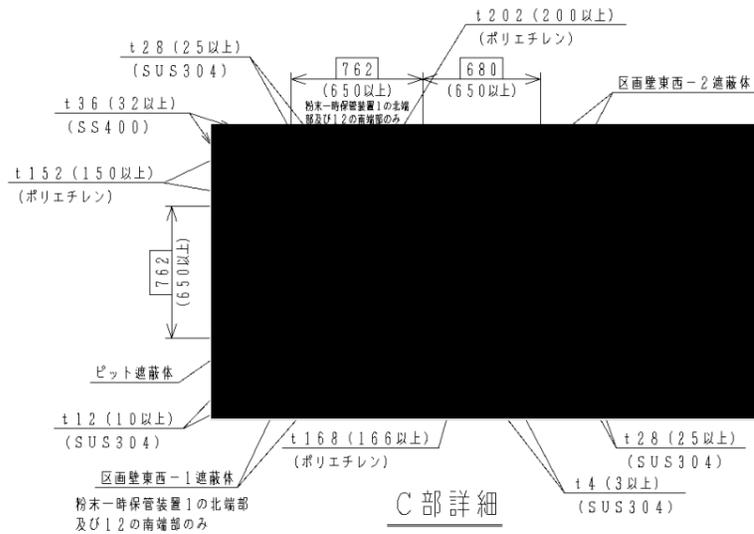
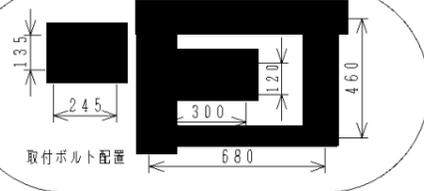
容器冷却機構1

取付ボルト
M12×4本/台
(SUS304)

取付ボルト
M12×6本/台
(SUS304)

B-B断面

取付ボルト配置



特記事項

1. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。()内寸法は、判定基準を示す。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.4.4.8図

核燃料物質の貯蔵施設

粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12

(PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)

第2.5.4.4.8図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 (PA0126-M-01101, -01102, -01103, -01104, -01105, -01106, -01107, -01108, -01109, -01110, -01111, -01112)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠	
粉末一時 保管装置 1, 12	たて		1670	±18	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	横		4390	±43	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	高さ		1216	±12	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	中心間距離 (ピット間隔)	行方向	762	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		列方向	680	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
粉末一時 保管装置 2, 4, 11	たて		1670	±18	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	横		2948	±28	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	高さ		1216	±12	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	中心間距離 (ピット間隔)	行方向	680	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		列方向	762	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
粉末一時 保管装置 3, 7	たて		1670	±18	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	横		1588	±16	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	高さ		1216	±12	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	中心間距離 (ピット間隔)	行方向	680	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		列方向	762	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準

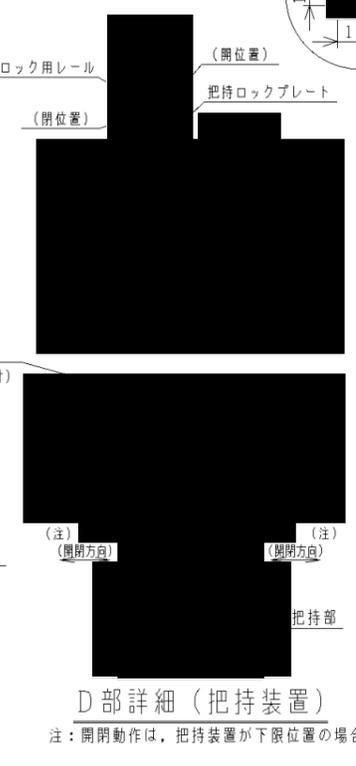
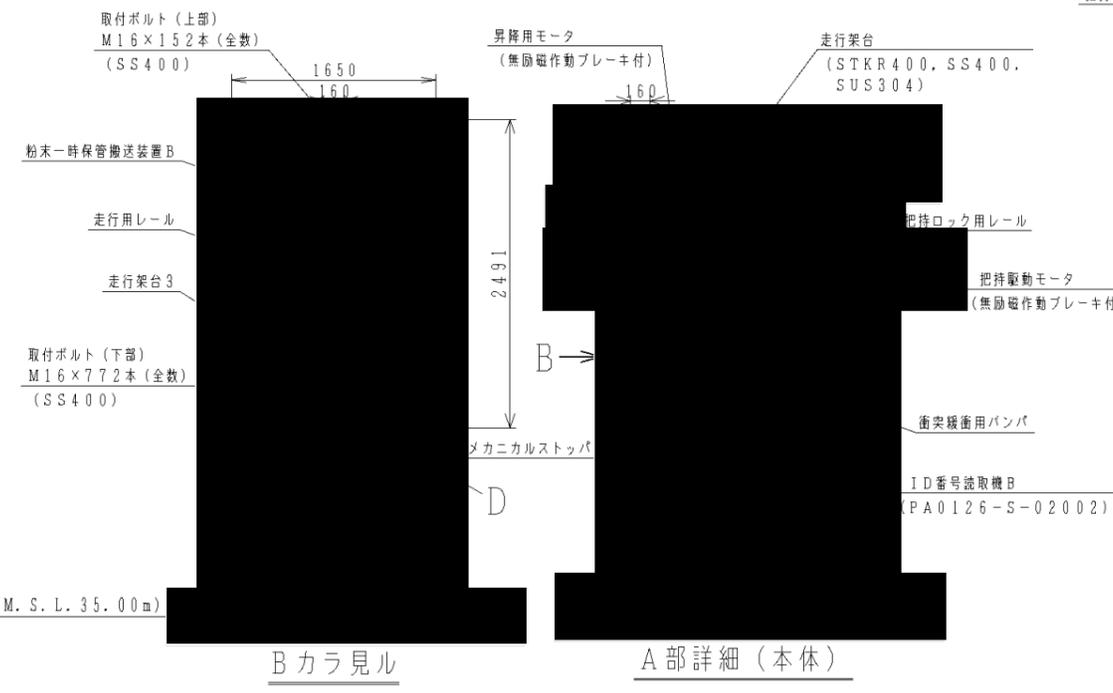
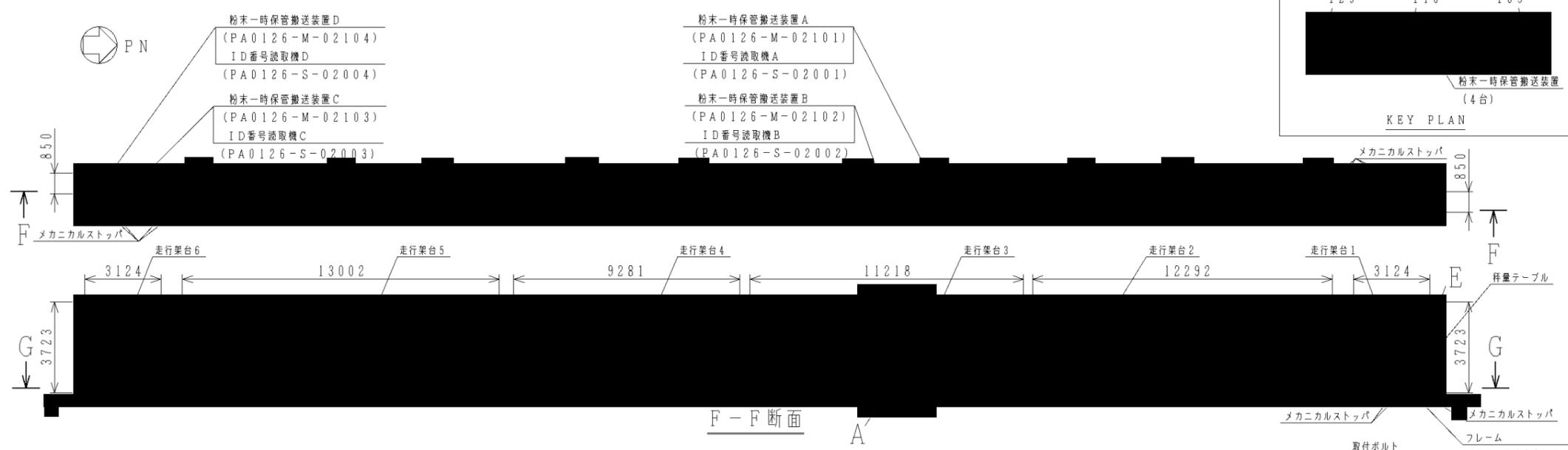
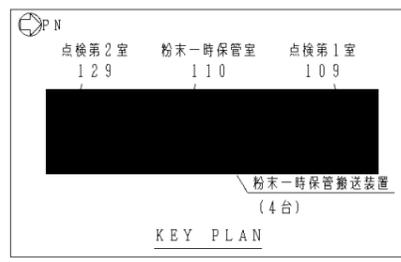
(続き)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠	
粉末一時 保管装置 5, 9, 10	たて		1670	±18	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	横		2268	±22	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	高さ		1216	±12	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	中心間距離 (ピット間隔)	行方向	680	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		列方向	762	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
粉末一時 保管装置 6, 8	たて		1670	±18	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	横		3628	±36	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	高さ		1216	±12	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	中心間距離 (ピット間隔)	行方向	680	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		列方向	762	±10	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準

(続き)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠	
遮蔽体の厚さ	ピット	内側	12	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		中間	152	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		外側	36	+規定しない -4	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	区画壁 東西-1	内側	28	+規定しない -3	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		中間	202	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		外側	28	+規定しない -3	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	区画壁 南北	内側	28	+規定しない -3	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		中間	202	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		外側	28	+規定しない -3	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	区画壁 東西-2	内側	4	+規定しない -1	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		中間	168	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
		外側	4	+規定しない -1	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準

注記 * 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



- 特記事項**
- 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 - 本設備には、計量設備(ID番号読取機)を設置する。
(次回以降申請)
第2.5.4.4.9 図
核燃料物質の貯蔵施設
粉末一時保管設備の構造図
粉末一時保管搬送装置
(PA0126-M-02101, -02102, -02103, -02104)

(T. M. S. L. 35.00m)

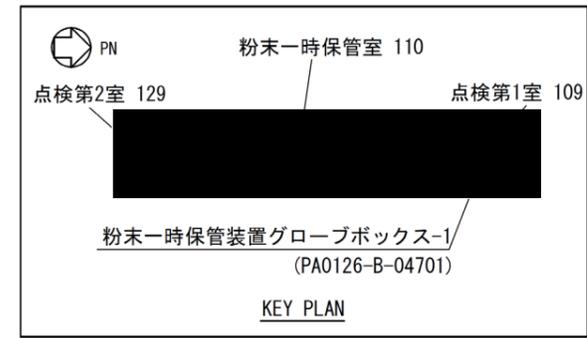
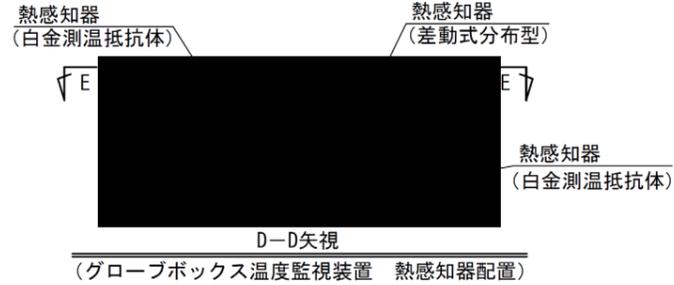
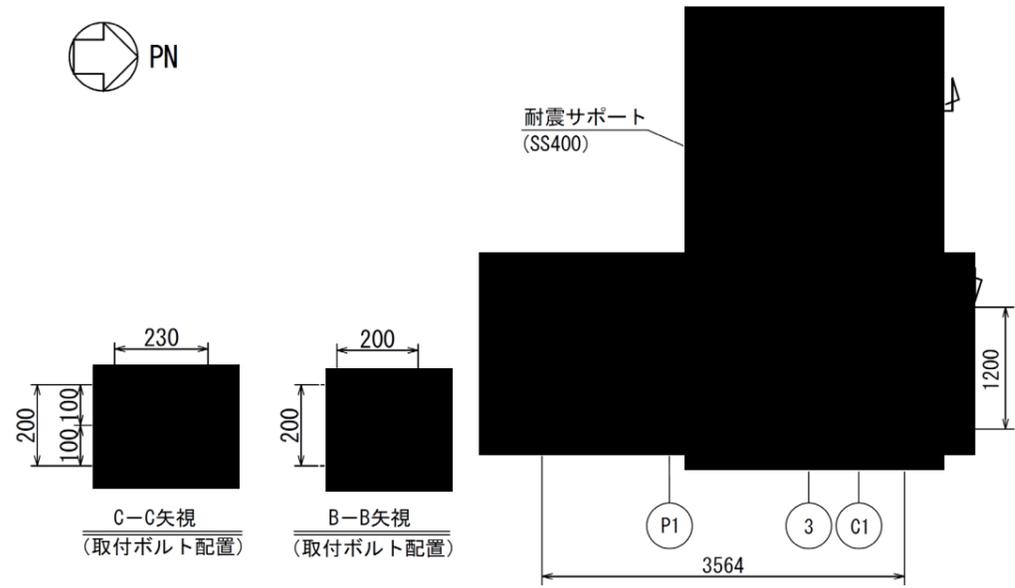
第2.5.4.4.9図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管搬送装置(PA0126-M-02101, -02102, -02103, -02104)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠	
(mm)				
走行架台 1, 6	たて	850	±11	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	3124	±28	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	3723	±37	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
走行架台2	たて	1650	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	12292	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	2491	±22	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
走行架台3	たて	1650	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	11218	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	2491	±22	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
走行架台4	たて	1650	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	9281	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	2491	±22	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
走行架台5	たて	1650	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	13002	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	2491	±22	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

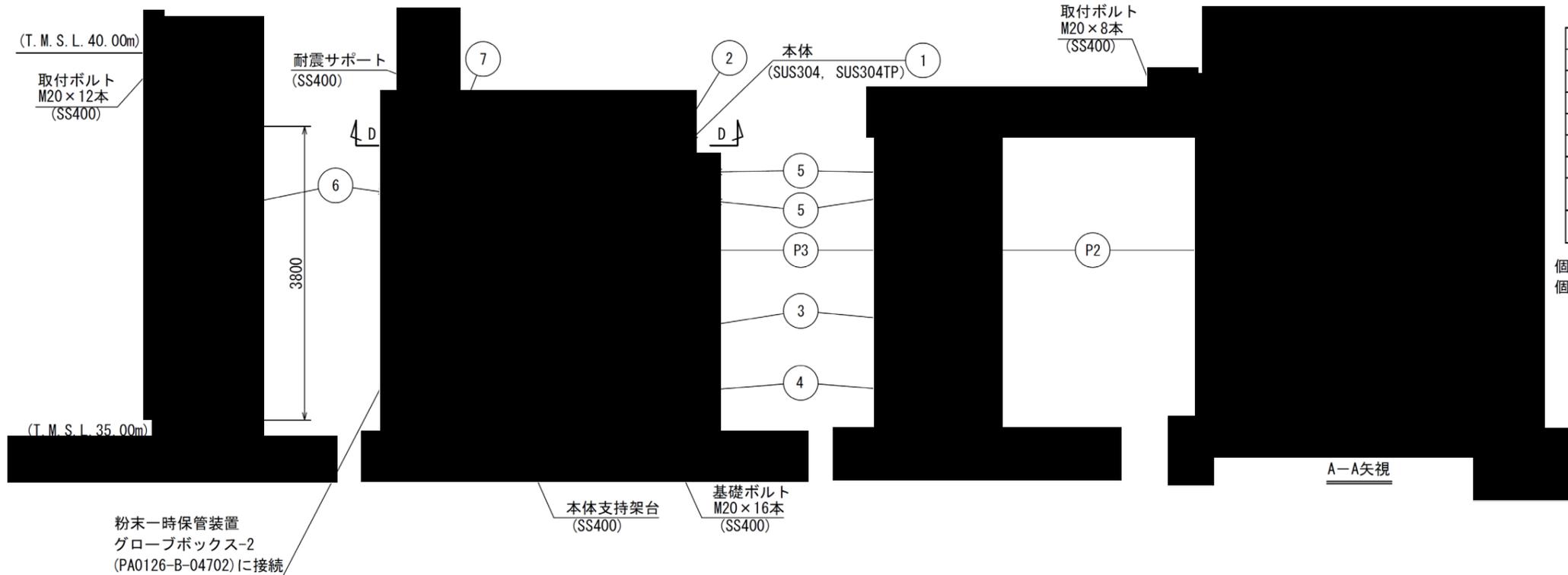
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	1
P3	消火ガス入口	15A	1
P2	予備	15A	1
P1	給気口	400A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。



符号	名称	個数
7	ステンレスパネル	1式
6	伸縮継手	1式
5	コネクタ部	2式
4	搬出入口 (小)	1式
3	搬出入口 (大)	2式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
3. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.4.10 図

核燃料物質の貯蔵施設

粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-1

(PA0126-B-04701)

第2.5.4.4.10図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-1 (PA0126-B-04701)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
	(mm)		
たて	1200	±12	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	3564	±35	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3800	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



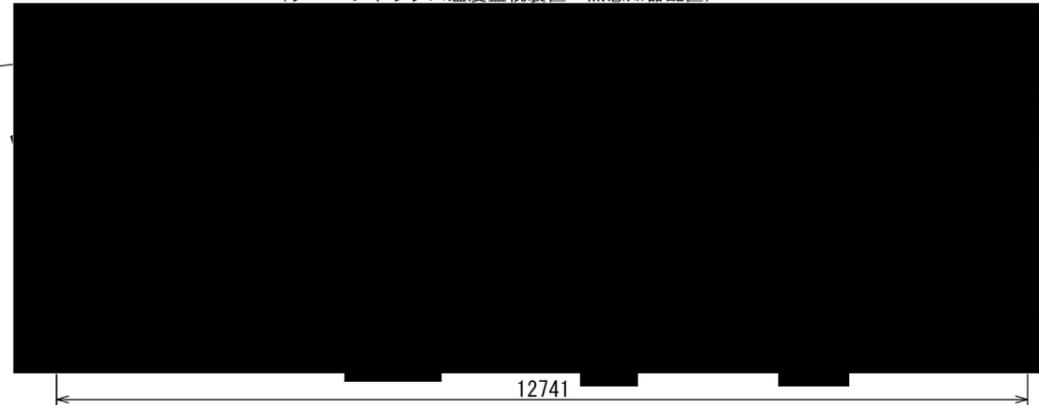
D-D矢視
(グローブボックス温度監視装置 熱感知器配置)

熱感知器
(白金測温抵抗体)

熱感知器
(差動式分布型)



C-C矢視
(グローブボックス温度監視装置 熱感知器配置)

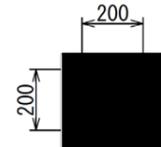


耐震サポート
(SS400)

B-B

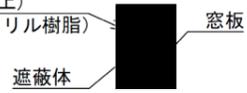
2000

12741

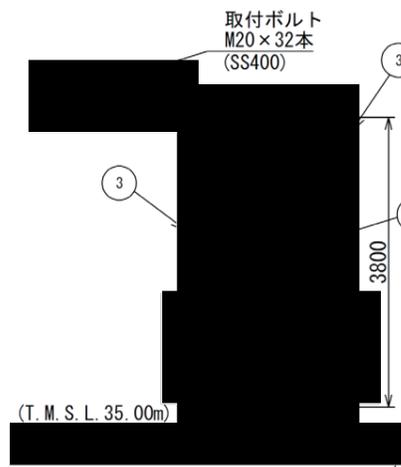


取付ボルト配置
(他の取付ボルトも同じ取付寸法)

t23.5 (22以上)
(含鉛メタクリル樹脂)



A部詳細



取付ボルト
M20×32本
(SS400)

3

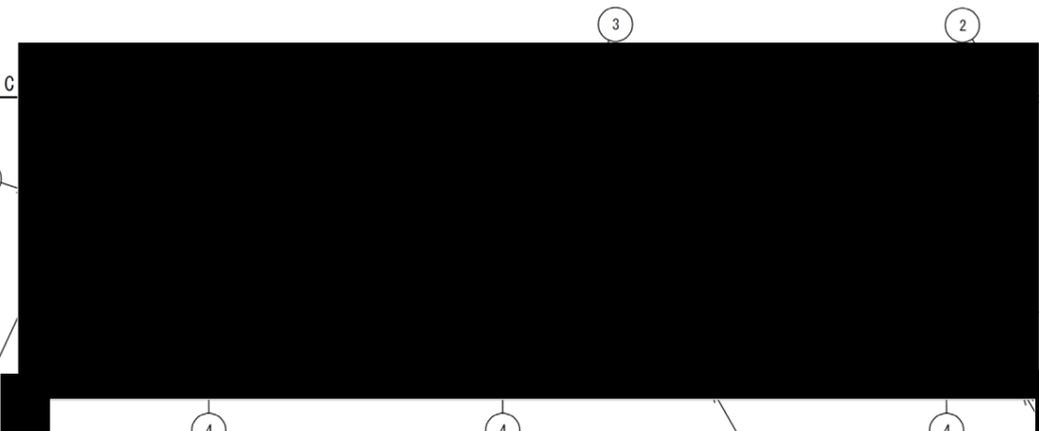
4

3800

4

(T. M. S. L. 35.00m)

粉末一時保管装置
グローブボックス-3
(PA0126-B-04703)に接続



本体
(SUS304, SUS304TP)

1

3

5

本体支持架台
(SS400)

基礎ボルト
M20×56本
(SS400)

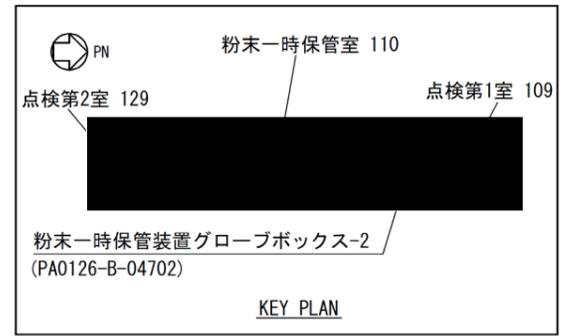


B-B矢視

4

4

4



符号	名称	呼び径	個数
P3	予備	15A	1
P2	消火ガス入口	25A	1
P1	排気口	100A	5

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
5	ステンレスパネル	1式
4	伸縮継手	7式
3	遮蔽体	1式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808(2002)による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
3. ()内寸法は判定基準を示す。
4. 遮蔽体(含鉛メタクリル樹脂)は窓板の前面に設置する。
5. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.4.11 図

核燃料物質の貯蔵施設

粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-2

(PA0126-B-04702)

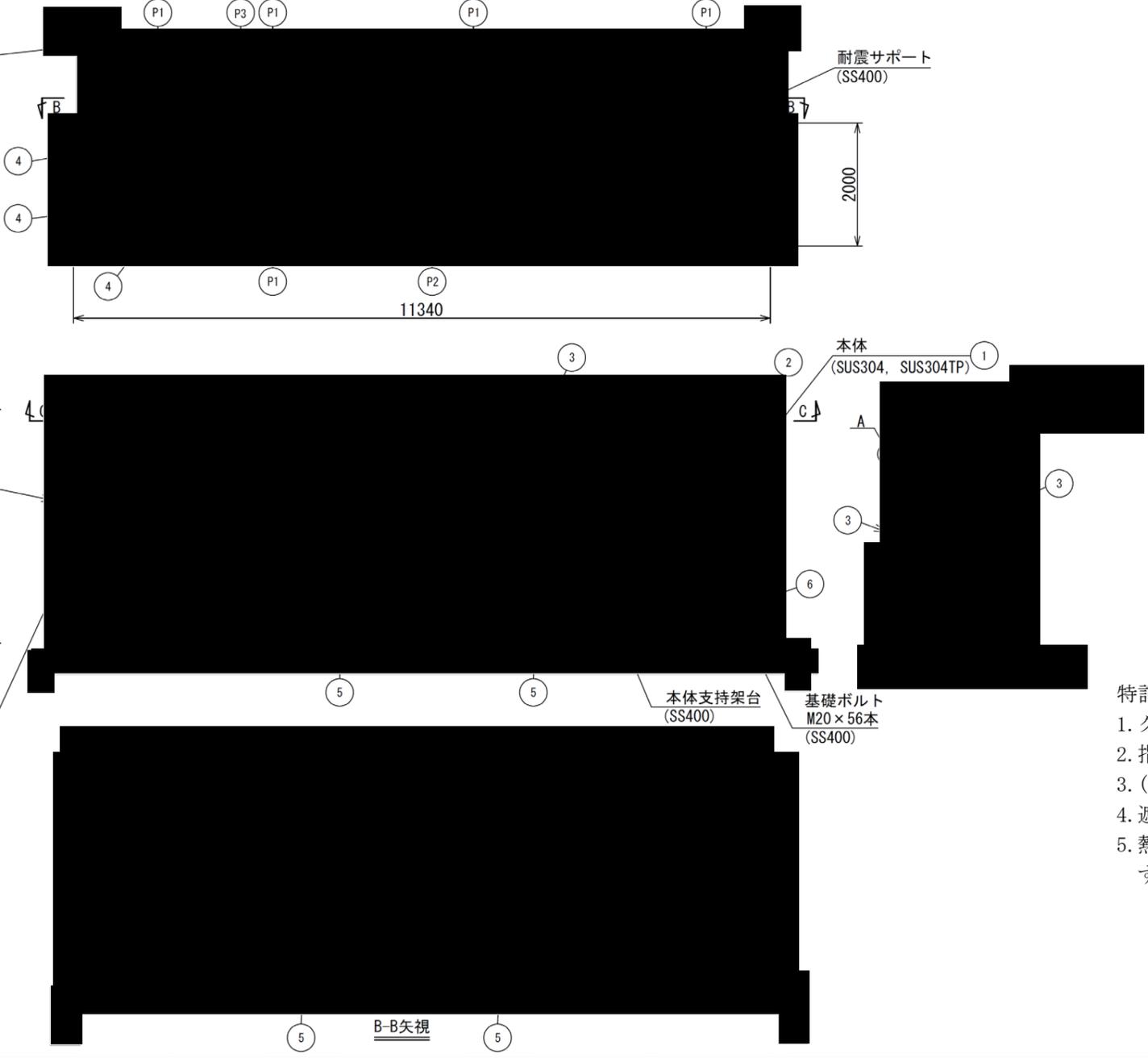
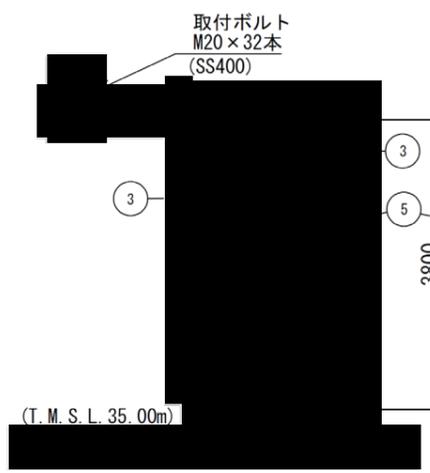
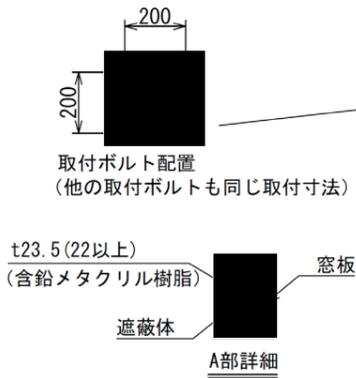
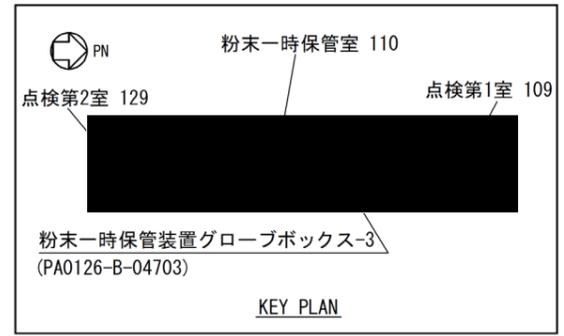
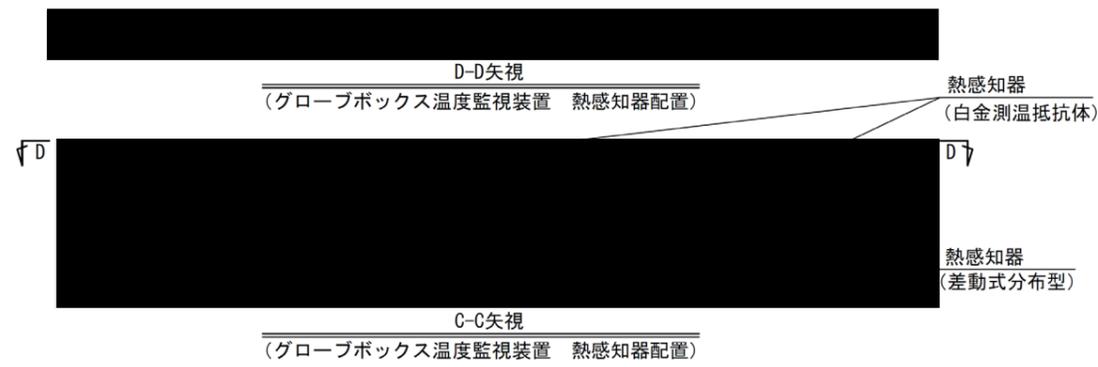
第2.5.4.4.11図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-2(PA0126-B-04702)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2000	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	12741	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3800	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
遮蔽体の厚さ	23.5	+規定しない -1.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
P3	予備	15A	1
P2	消火ガス入口	25A	1
P1	排気口	100A	5

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

6	ステンレスパネル	1式
5	伸縮継手	5式
4	コネクタ部	3式
3	遮蔽体	1式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
3. () 内寸法は判定基準を示す。
4. 遮蔽体(含鉛メタクリル樹脂)は窓板の前面に設置する。
5. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.4.12 図
核燃料物質の貯蔵施設
粉末一時保管設備の構造図
粉末一時保管装置グローブボックス-3
(PA0126-B-04703)

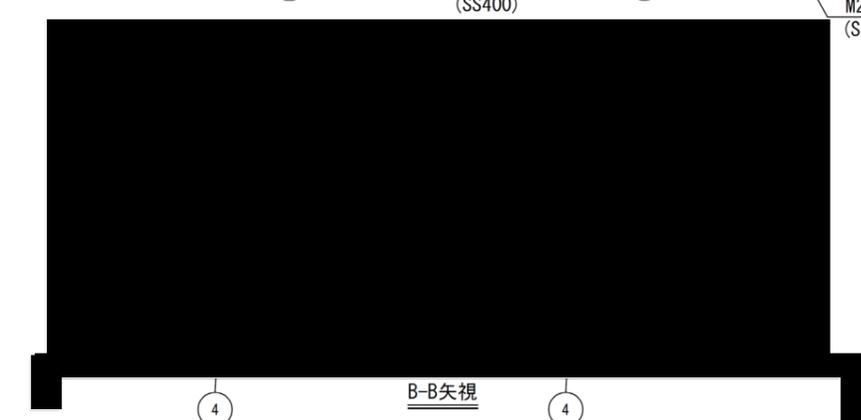
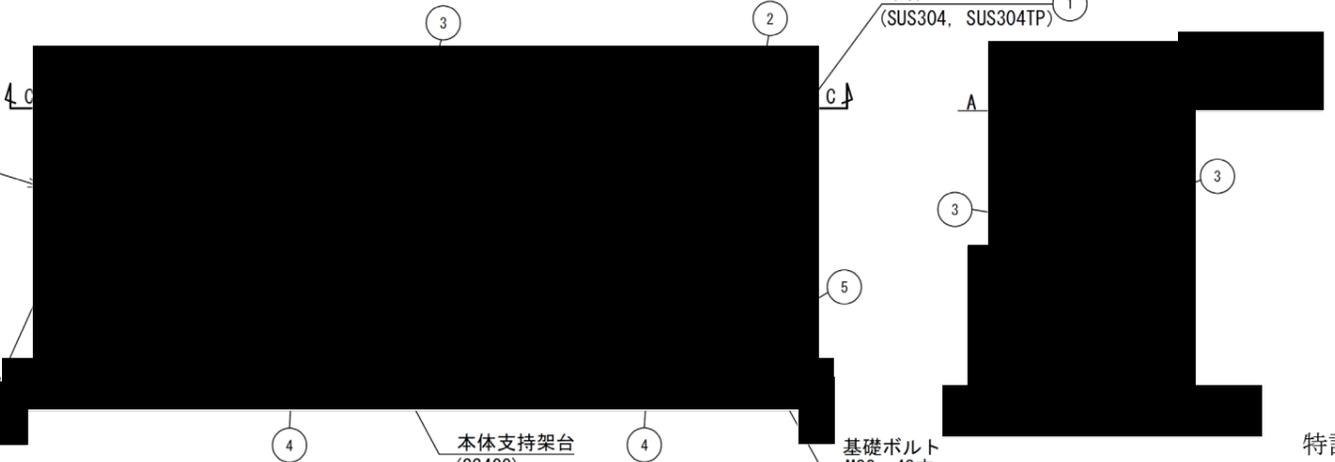
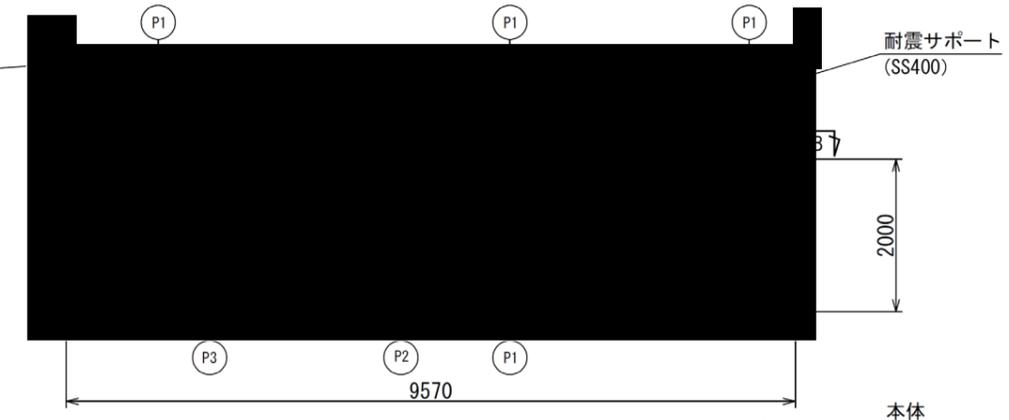
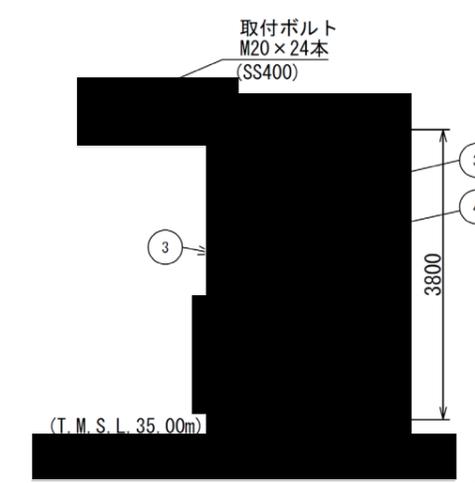
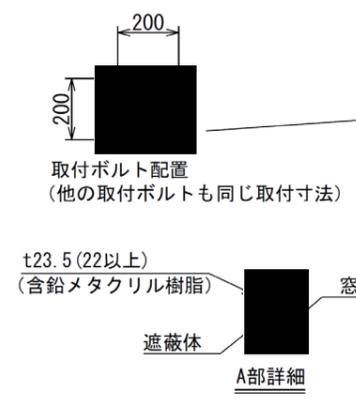
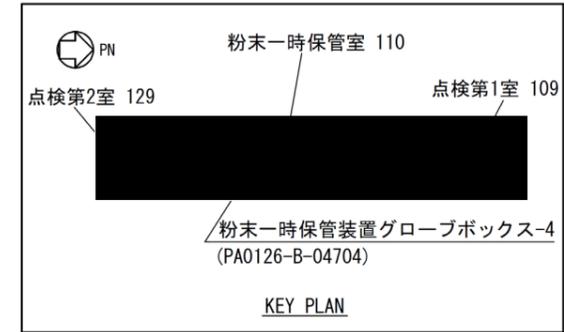
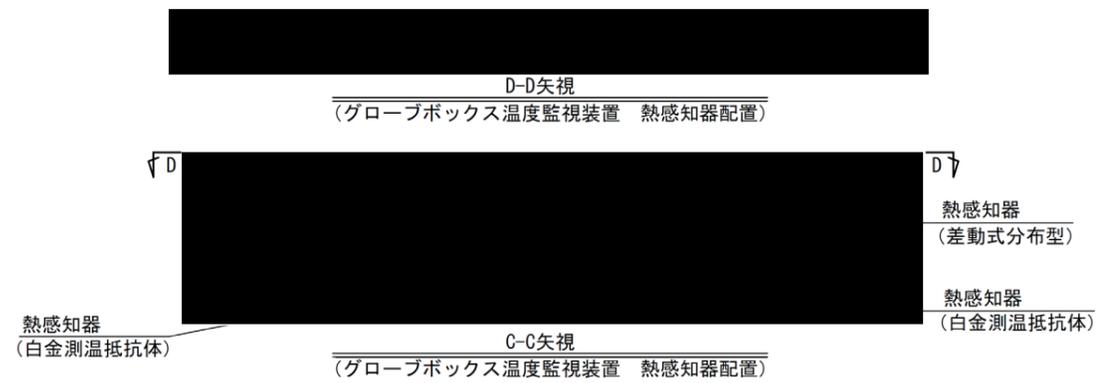
第2.5.4.4.12図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-3 (PA0126-B-04703)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2000	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	11340	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3800	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
遮蔽体の厚さ	23.5	+規定しない -1.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



粉末一時保管装置
グローブボックス-5
(PA0126-B-04705)に接続

符号	名称	呼び径	個数
P3	予備	15A	1
P2	消火ガス入口	25A	1
P1	排気口	100A	4

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

5	ステンレスパネル	1式
4	伸縮継手	5式
3	遮蔽体	1式
2	窓板	1式
1	本体	1基
符号	名称	個数

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
3. () 内寸法は判定基準を示す。
4. 遮蔽体 (含鉛メタクリル樹脂) は窓板の前面に設置する。
5. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.4.13 図
核燃料物質の貯蔵施設
粉末一時保管設備の構造図
粉末一時保管装置グローブボックス-4
(PA0126-B-04704)

第2.5.4.4.13図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-4 (PA0126-B-04704)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて	2000	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	9570	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3800	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
遮蔽体の厚さ	23.5	+規定しない -1.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

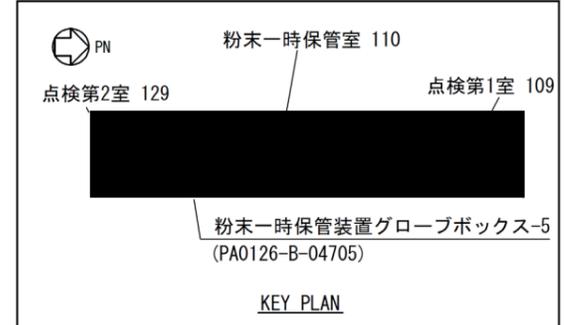
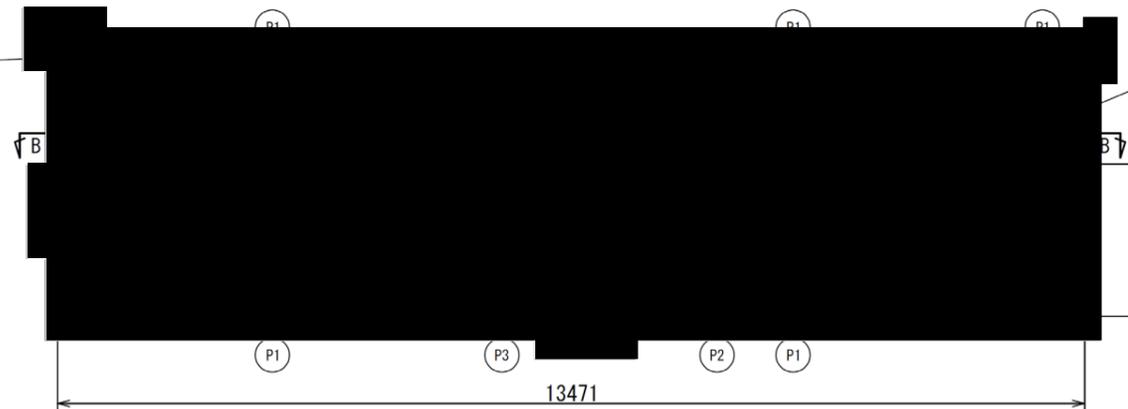
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



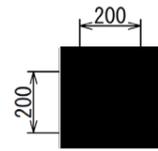
D-D矢視
(グローブボックス温度監視装置 熱感知器配置)



C-C矢視
(グローブボックス温度監視装置 熱感知器配置)

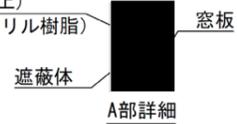


KEY PLAN

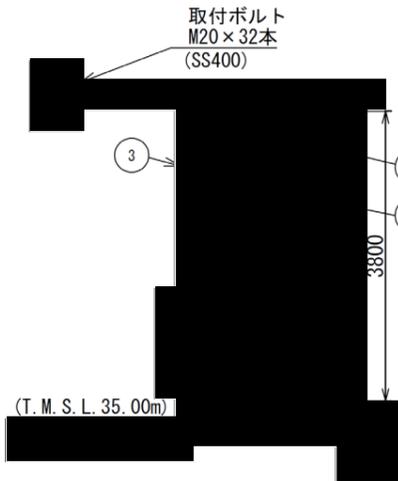


取付ボルト配置
(他の取付ボルトも同じ取付寸法)

t23.5 (22以上)
(含鉛メタクリル樹脂)



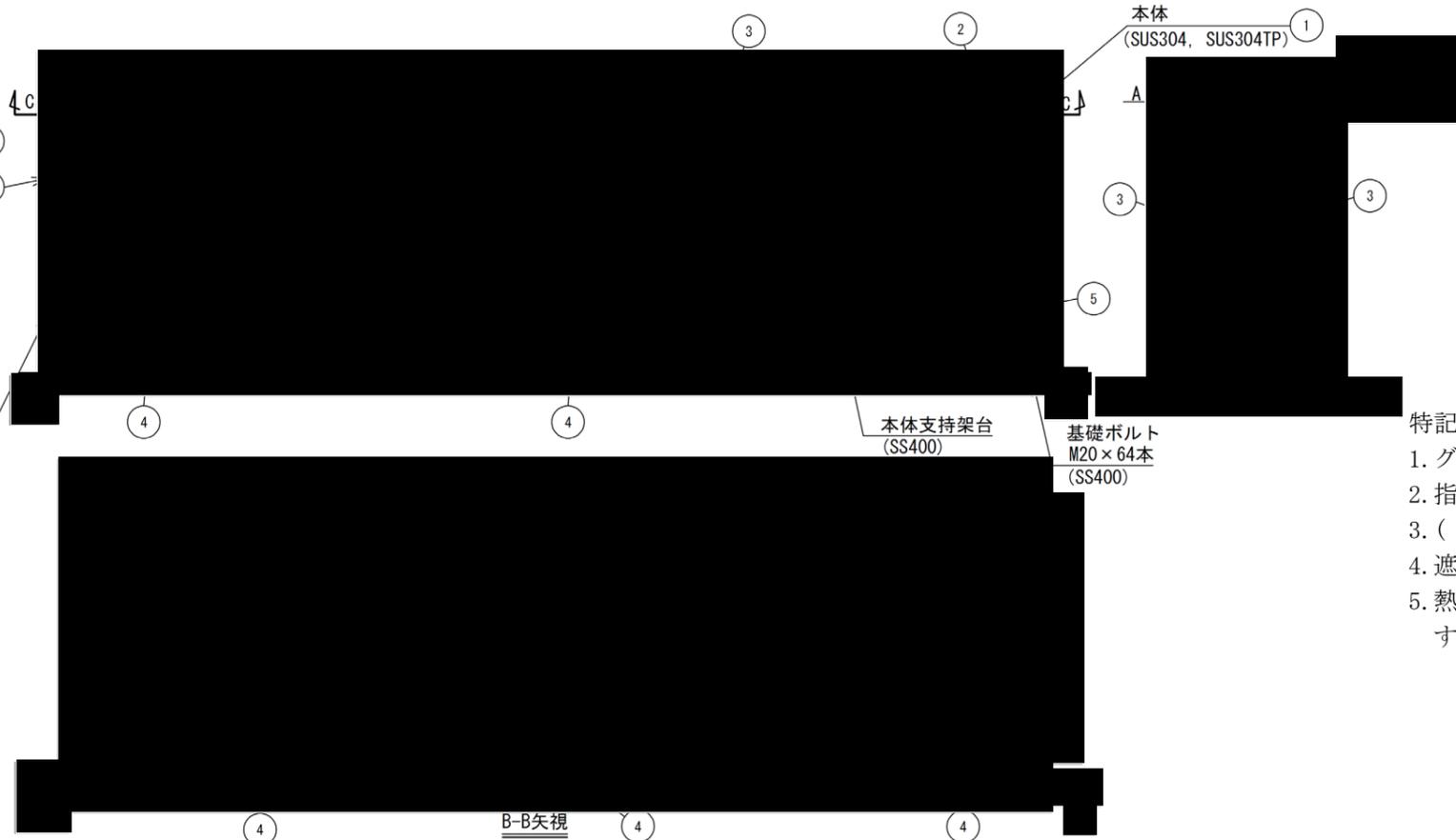
A部詳細



取付ボルト
M20×32本
(SS400)

(T. M. S. L. 35.00m)

粉末一時保管装置
グローブボックス-6
(PA0126-B-04706)に接続



B-B矢視

符号	名称	呼び径	個数
P3	予備	15A	1
P2	消火ガス入口	25A	1
P1	排気口	100A	5

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

5	ステンレスパネル	1式
4	伸縮継手	6式
3	遮蔽体	1式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
3. () 内寸法は判定基準を示す。
4. 遮蔽体(含鉛メタクリル樹脂)は窓板の前面に設置する。
5. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.4.14 図

核燃料物質の貯蔵施設

粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-5

(PA0126-B-04705)

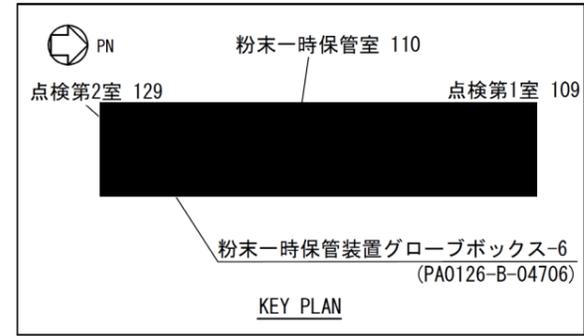
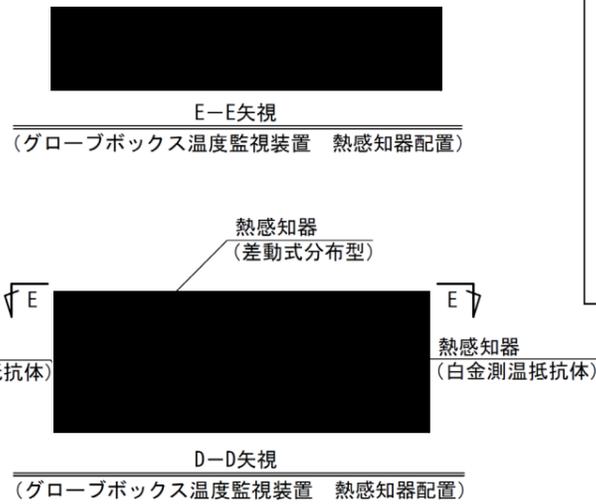
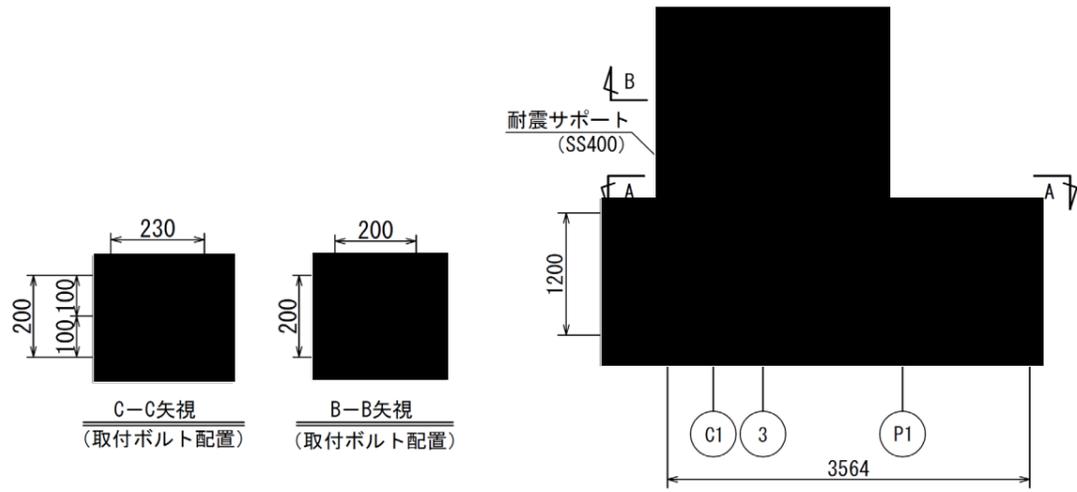
第2.5.4.4.14図

核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-5 (PA0126-B-04705)

主要寸法*		許容範囲	根拠
(mm)		(mm)	
たて	2000	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	13471	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3800	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
遮蔽体の厚さ	23.5	+規定しない -1.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

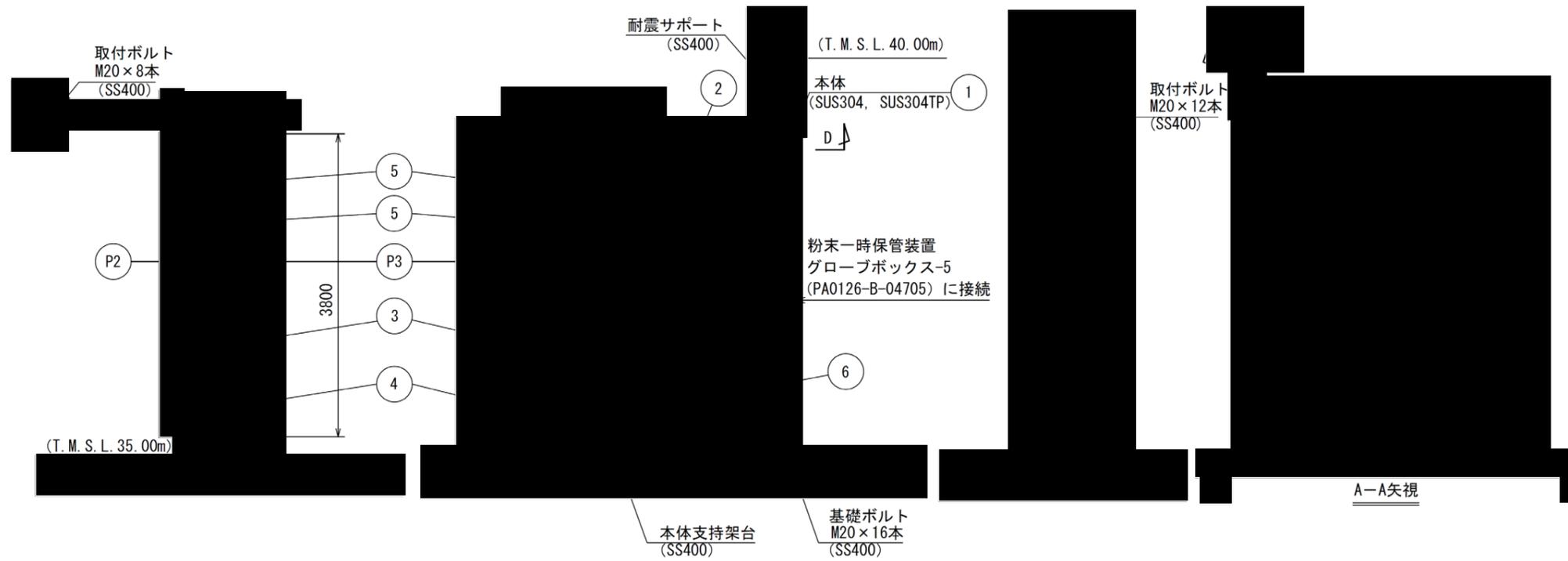
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	1
P3	消火ガス入口	15A	1
P2	予備	15A	1
P1	給気口	400A	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。



6	ステンレスパネル	1式
5	コネクタ部	2式
4	搬出入口 (小)	1式
3	搬出入口 (大)	2式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
3. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.4.15 図

核燃料物質の貯蔵施設

粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-6

(PA0126-B-04706)

第2.5.4.4.15図

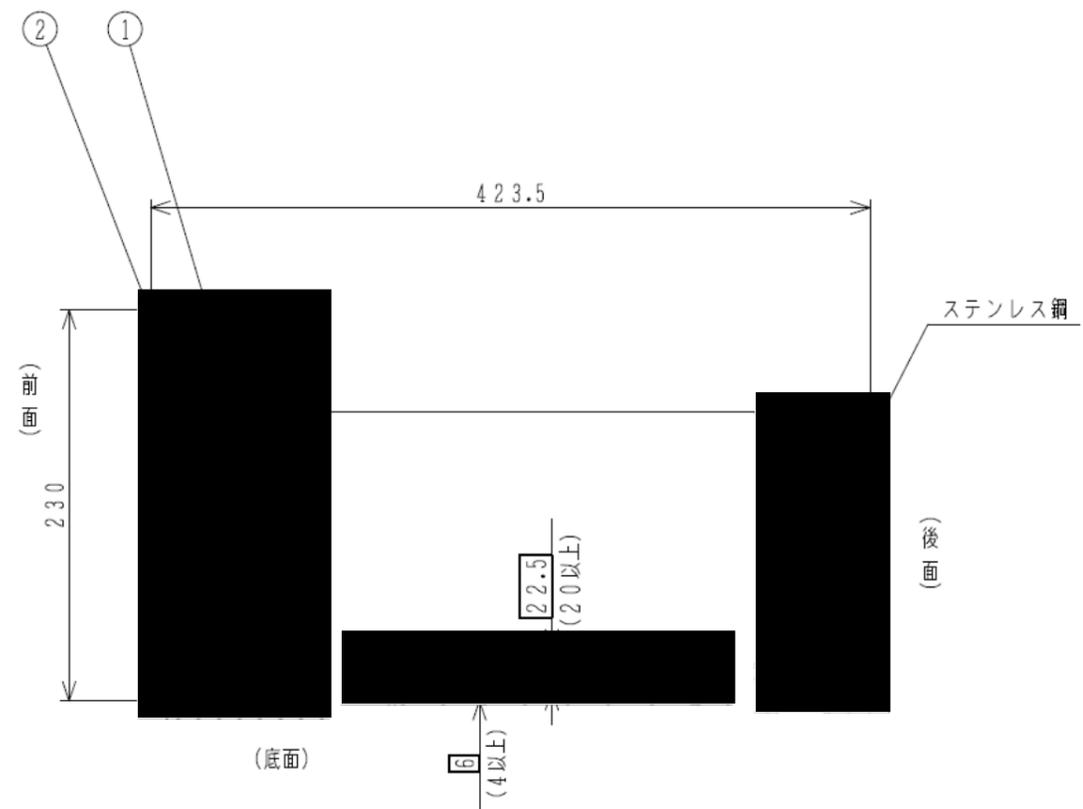
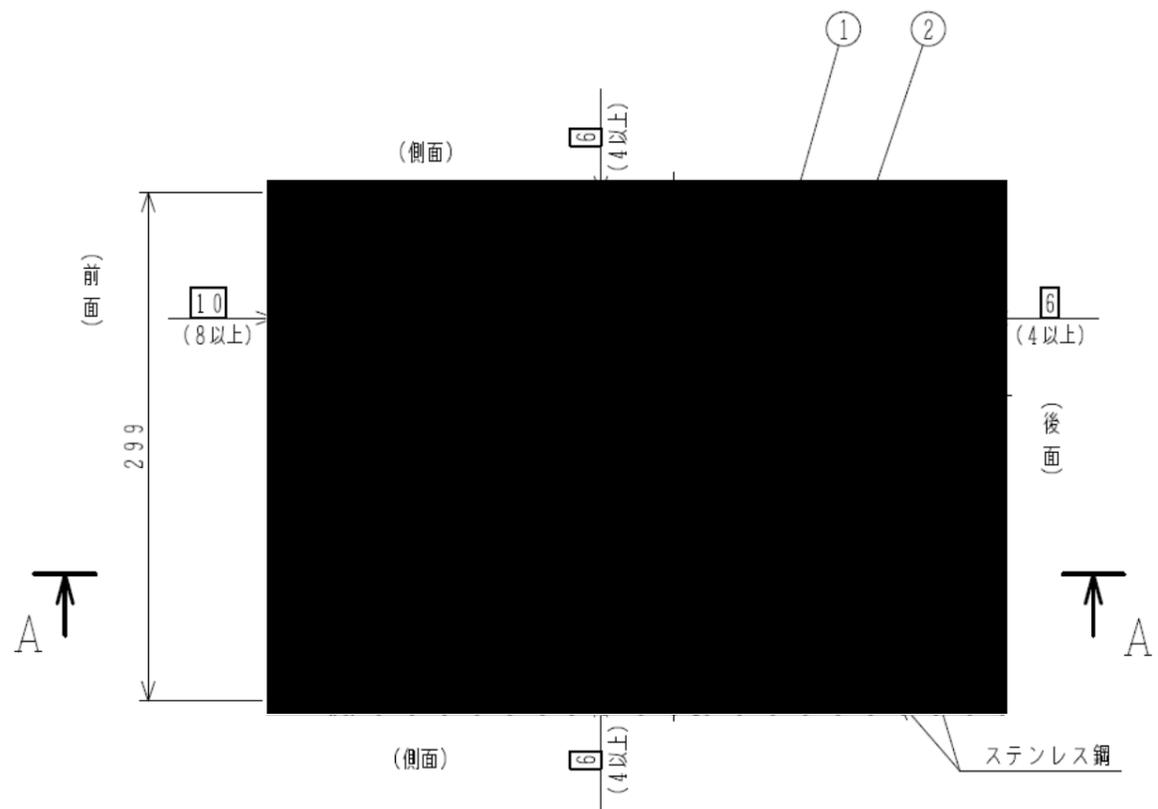
核燃料物質の貯蔵施設 粉末一時保管設備の構造図

粉末一時保管装置グローブボックス-6 (PA0126-B-04706)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
(mm)			
たて	1200	±12	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	3564	±35	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3800	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

No.	名称
①	ポリエチレン
②	SUS304



断面 A - A

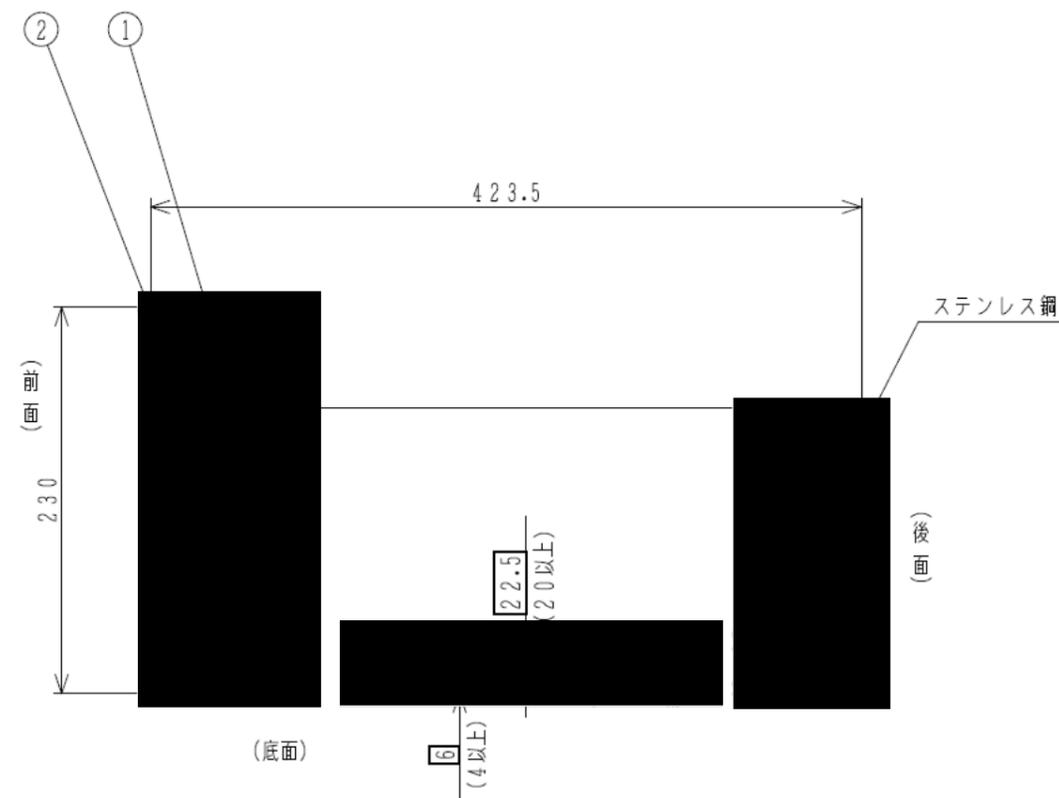
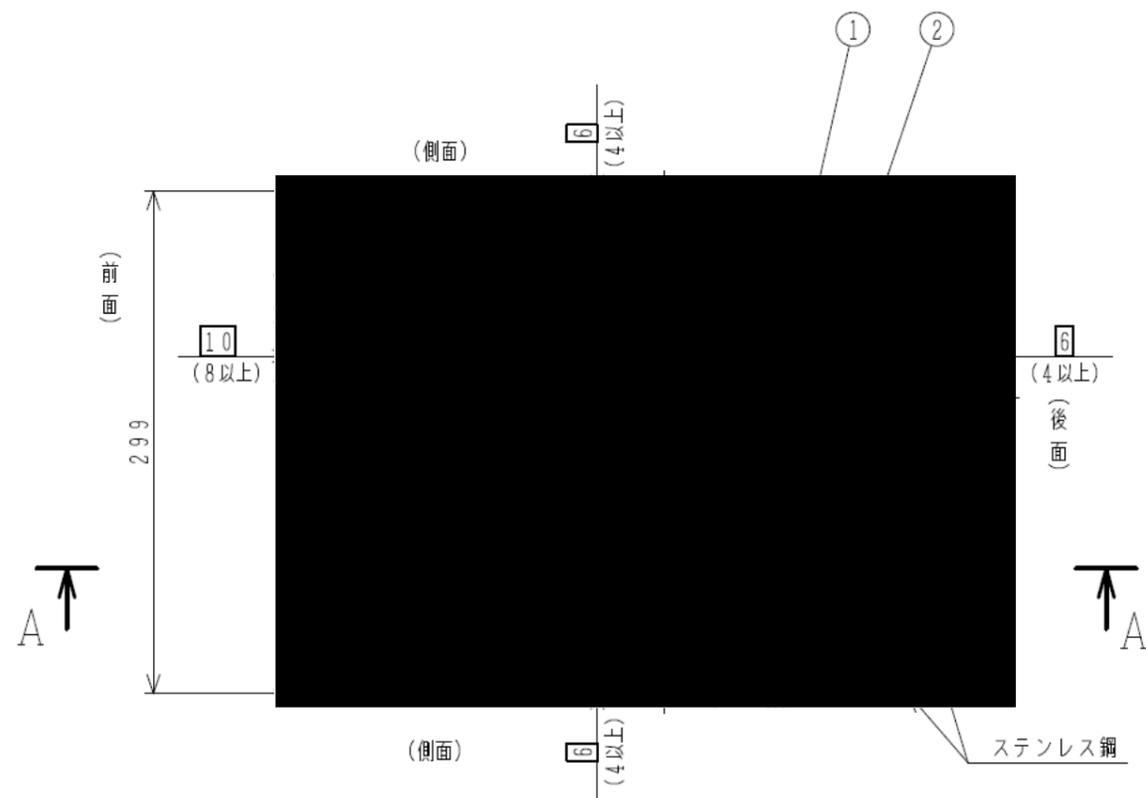
特記事項

- 内寸法は、遮蔽上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.5.1 図

核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
収納パレット-1

No.	名称
①	ポリエチレン
②	SUS304



断面 A - A

特記事項

- 内寸法は、遮蔽上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.5.2 図

核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
収納パレット-2

第2.5.4.5.1図 核燃料物質の貯蔵施設

ペレット一時保管設備の構造図 収納パレット-1～

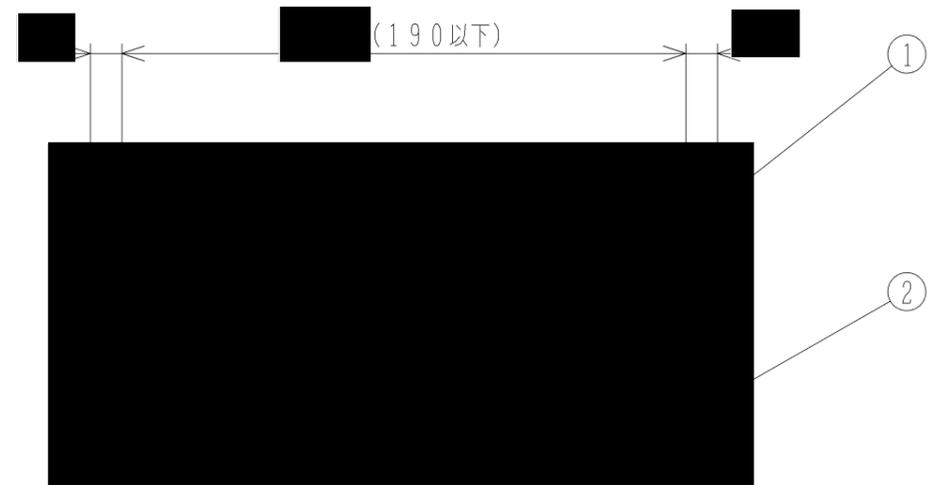
第2.5.4.5.2図 核燃料物質の貯蔵施設

ペレット一時保管設備の構造図 収納パレット-2

		主要寸法* (mm)	許容範囲 (mm)	根拠	
たて		299	±2	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準	
横		423.5	±3	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準	
高さ		230	±2	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準	
厚さ	側面	6	±0.3	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準	
	前面	10	±0.5	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準	
	後面	6	±0.3	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準	
遮蔽体の 厚さ	内側	側面 収納パレット-1	22.5	+規定しない -2.5	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準
		側面 収納パレット-2	7.5	+規定しない -1.5	
	外側	前面	52	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準
		後面・底面	22.5	+規定しない -2.5	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準
		側面	6	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準
		前面	10	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準
後面・底面	6	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を 考慮したメーカー基準		

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

No.	名称
①	トレイ
②	スキッド



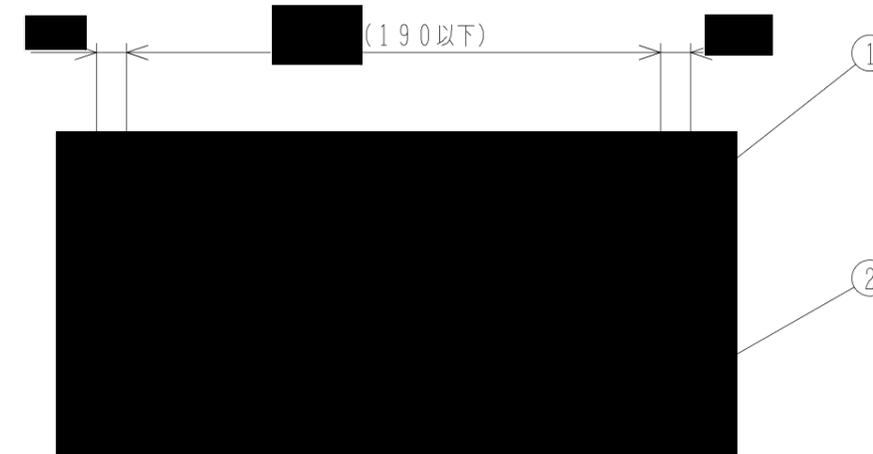
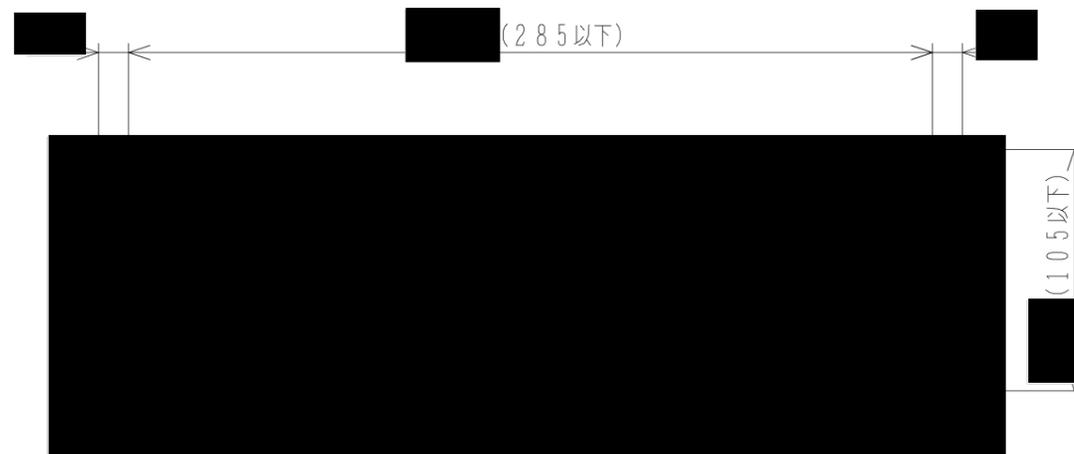
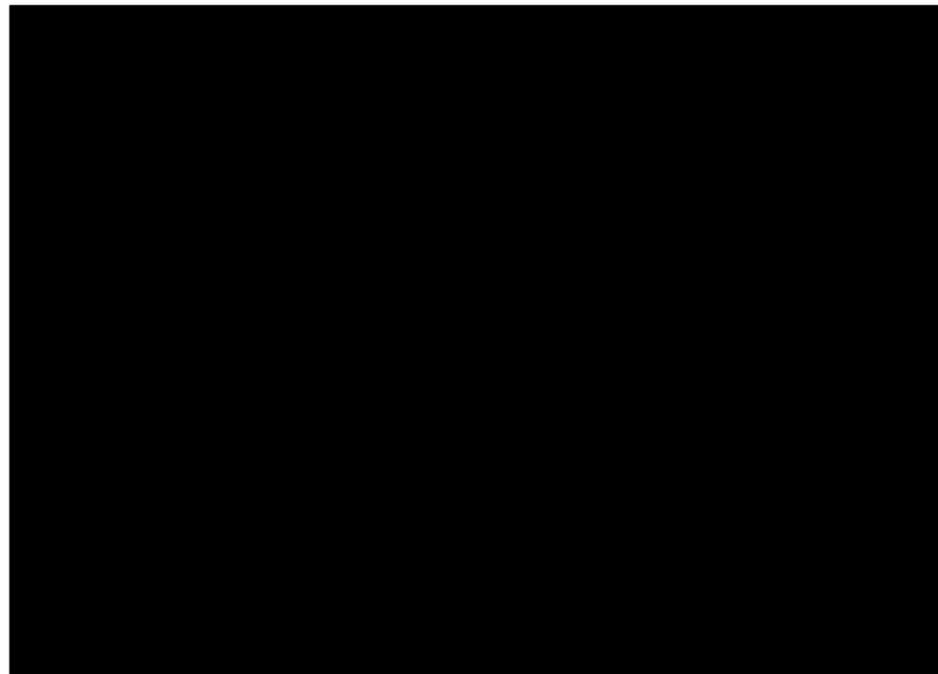
特記事項

1. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
2. 寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.5.3 図

核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
容器(焼結ポート)

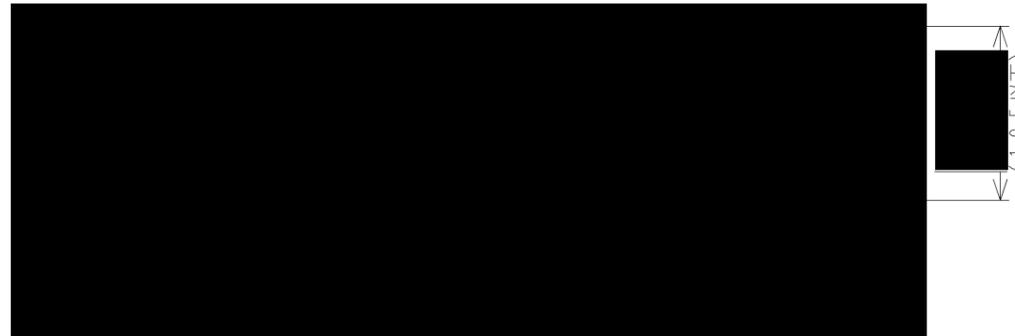
No.	名称
①	トレイ
②	スキッド



特記事項

- 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 寸法単位は「mm」とする。

第2.5.4.5.4図
核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
容器(先行試験焼結ポート)



No.	名称
①	トレイ
②	スキッド



特記事項

- 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 寸法単位は「mm」とする。

第2.5.4.5.5図

核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
容器(スクラップ焼結ポート)

第2.5.4.5.3図 核燃料物質の貯蔵施設

ペレット一時保管設備の構造図 容器(焼結ボート)～

第2.5.4.5.5図 核燃料物質の貯蔵施設

ペレット一時保管設備の構造図 容器(スクラップ焼結ボート)

【容器(焼結ボート), 容器(先行試験焼結ボート)】

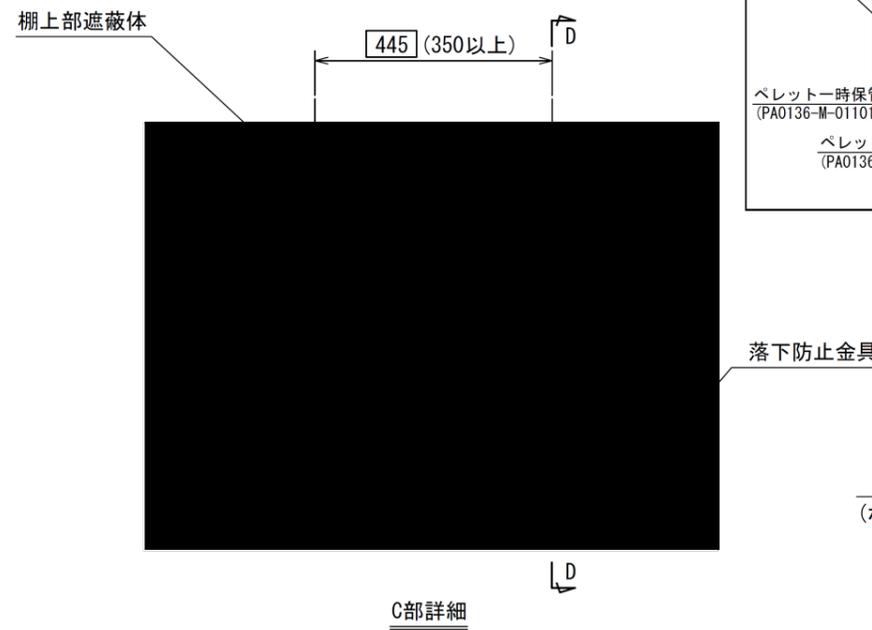
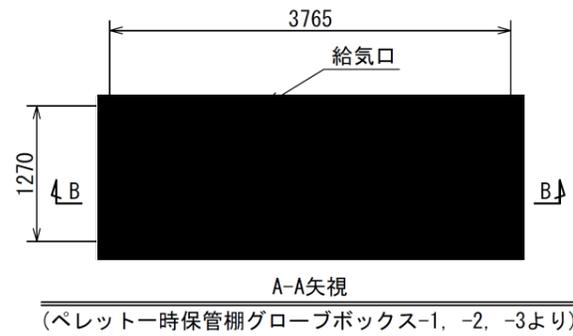
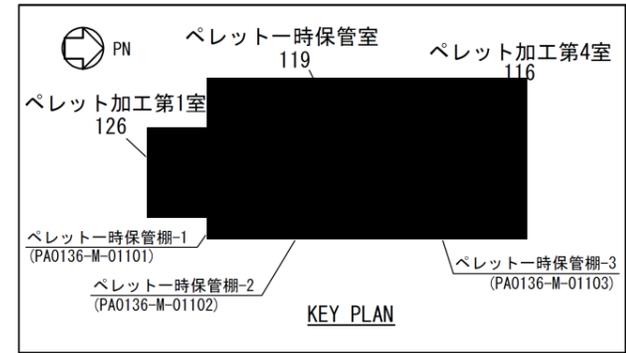
主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて		±5.0	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		±6.0	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		±4.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ		±0.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

【容器(スクラップ焼結ボート)】

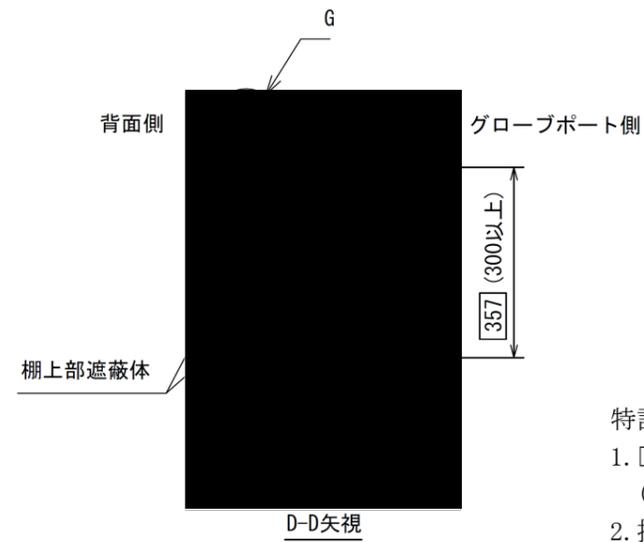
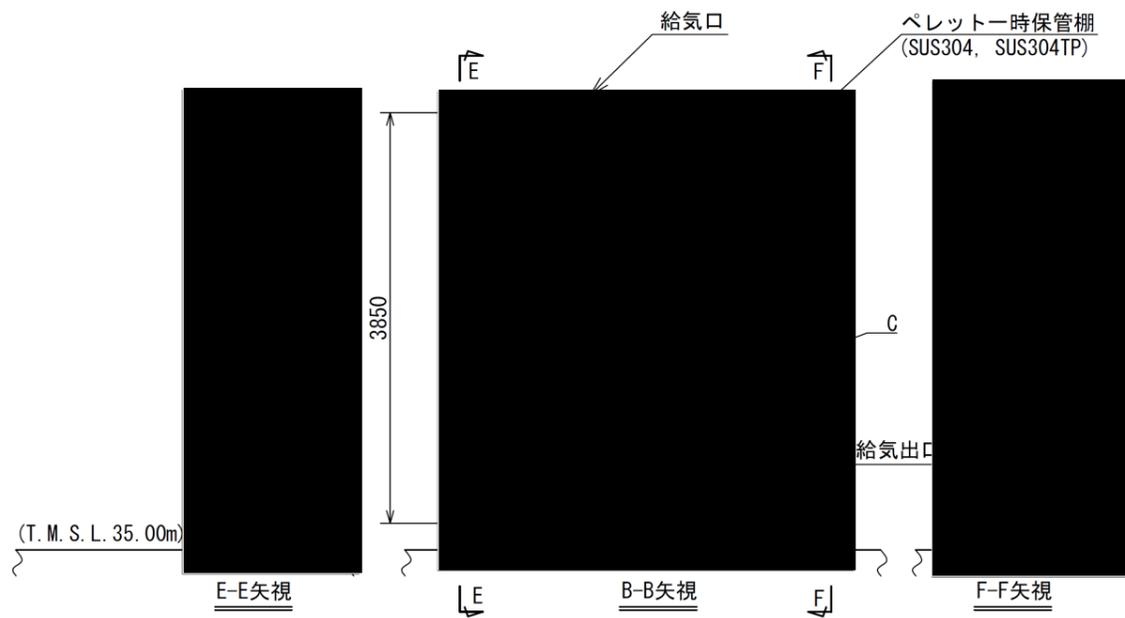
主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて		±5.0	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		±6.0	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		±3.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ		±0.2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



t23 (20以上)
(ポリエチレン)

t5 (4以上)
(SUS304)



特記事項

- 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第2.5.4.5.6図
核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
ペレット一時保管棚-1, -2, -3
(PA0136-M-01101, -01102, -01103)

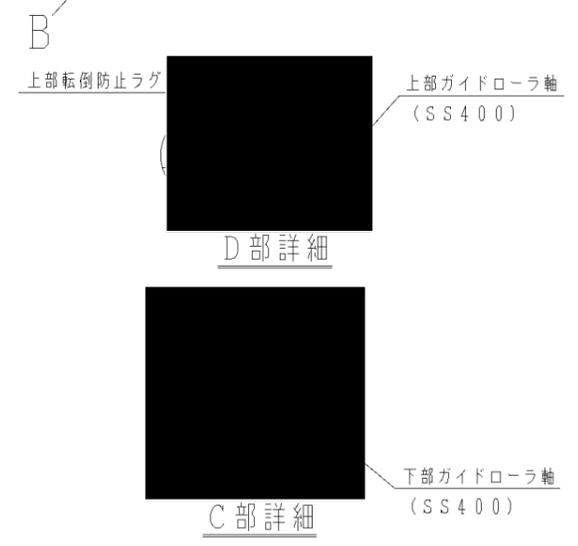
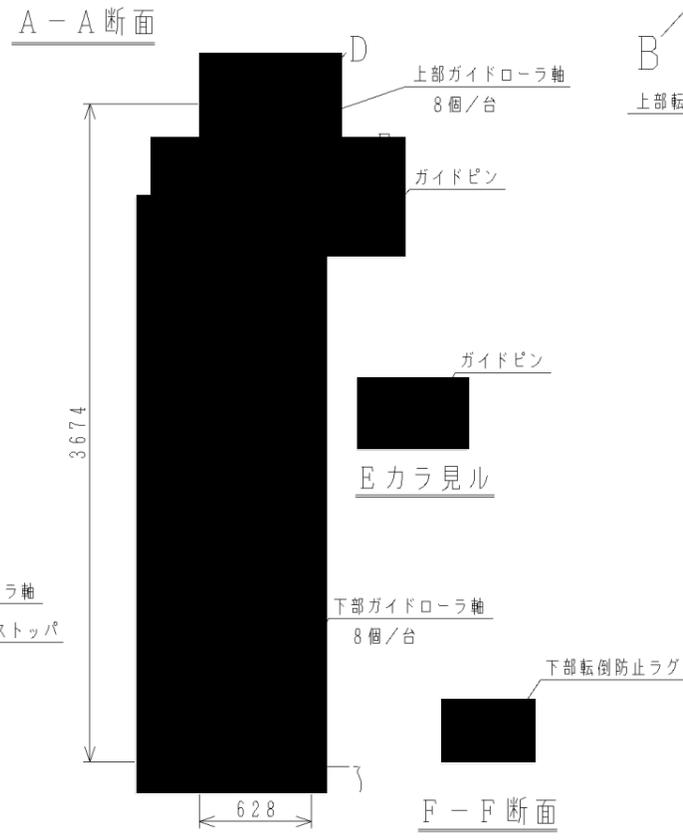
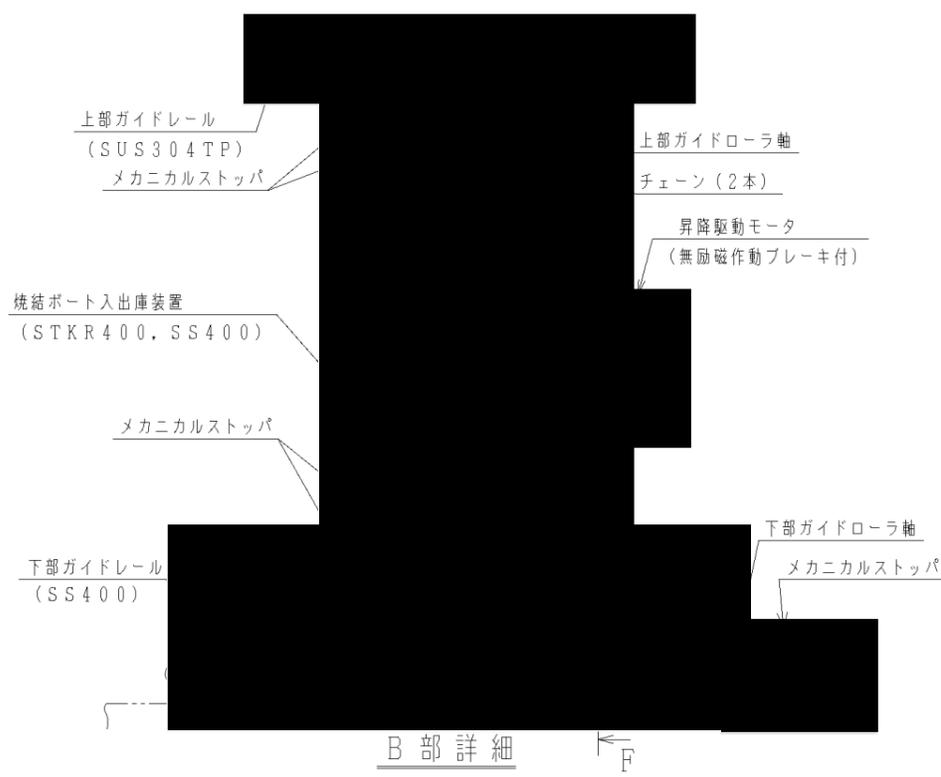
第2.5.4.5.6図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図

ペレット一時保管棚-1, -2, -3(PA0136-B-01101, -01102, -01103)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
たて		1270	±16	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		3765	±37	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		3850	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
中心間距離 (棚間隔)	段方向	357	±7	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	行方向	445	±8	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
遮蔽体 の厚さ	棚上部	内側	+規定しない -3	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		外側	+規定しない -1	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 焼結ポート入出庫装置-1, -2のスライド部にメカニカルストップを設置する。

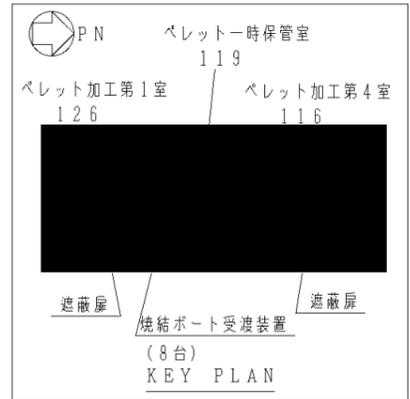
第 2.5.4.5.7 図
核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
焼結ポート入出庫装置-1, -2
(PA0136-M-02101, -02102)

第2.5.4.5.7図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図
 焼結ボート入出庫装置-1, -2 (PA0136-M-02101, -02102)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
	(mm)		
たて	628	±9	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	2393	±22	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	3643	±36	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	5079	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	5273	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3674	±36	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

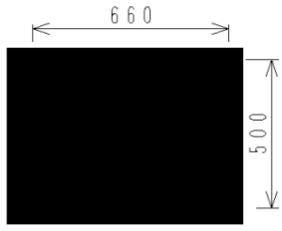


G部詳細



H部詳細

(T. M. S. L. 35.00m)

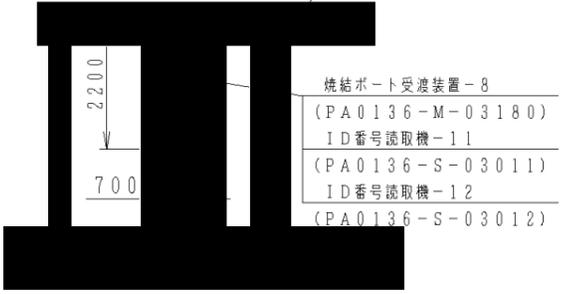


I-I断面 (取付ボルト (下部) 配置)



Aカラ見ル

焼結ポート受渡装置-1 (PA0136-M-03110) ID番号読取機-13 (PA0136-S-03013)



Bカラ見ル

焼結ポート受渡装置-8 (PA0136-M-03180) ID番号読取機-11 (PA0136-S-03011) ID番号読取機-12 (PA0136-S-03012)

特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備 (ID番号読取機) を設置する。
(次回以降申請)

第 2.5.4.5.8 図

核燃料物質の貯蔵施設

ペレット一時保管設備の構造図

焼結ポート受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8
 (PA0136-M-03110, -03120, -03130, -03140, -03150, -03160, -03170, -03180) (1/2)

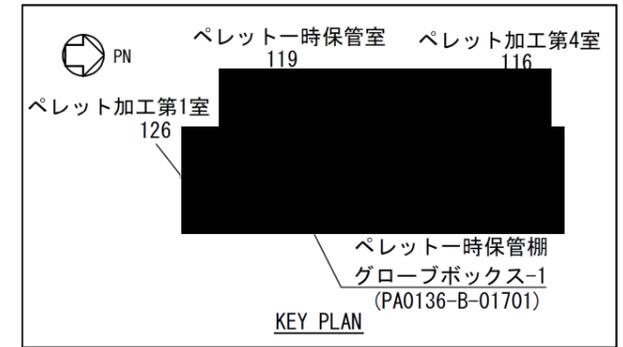
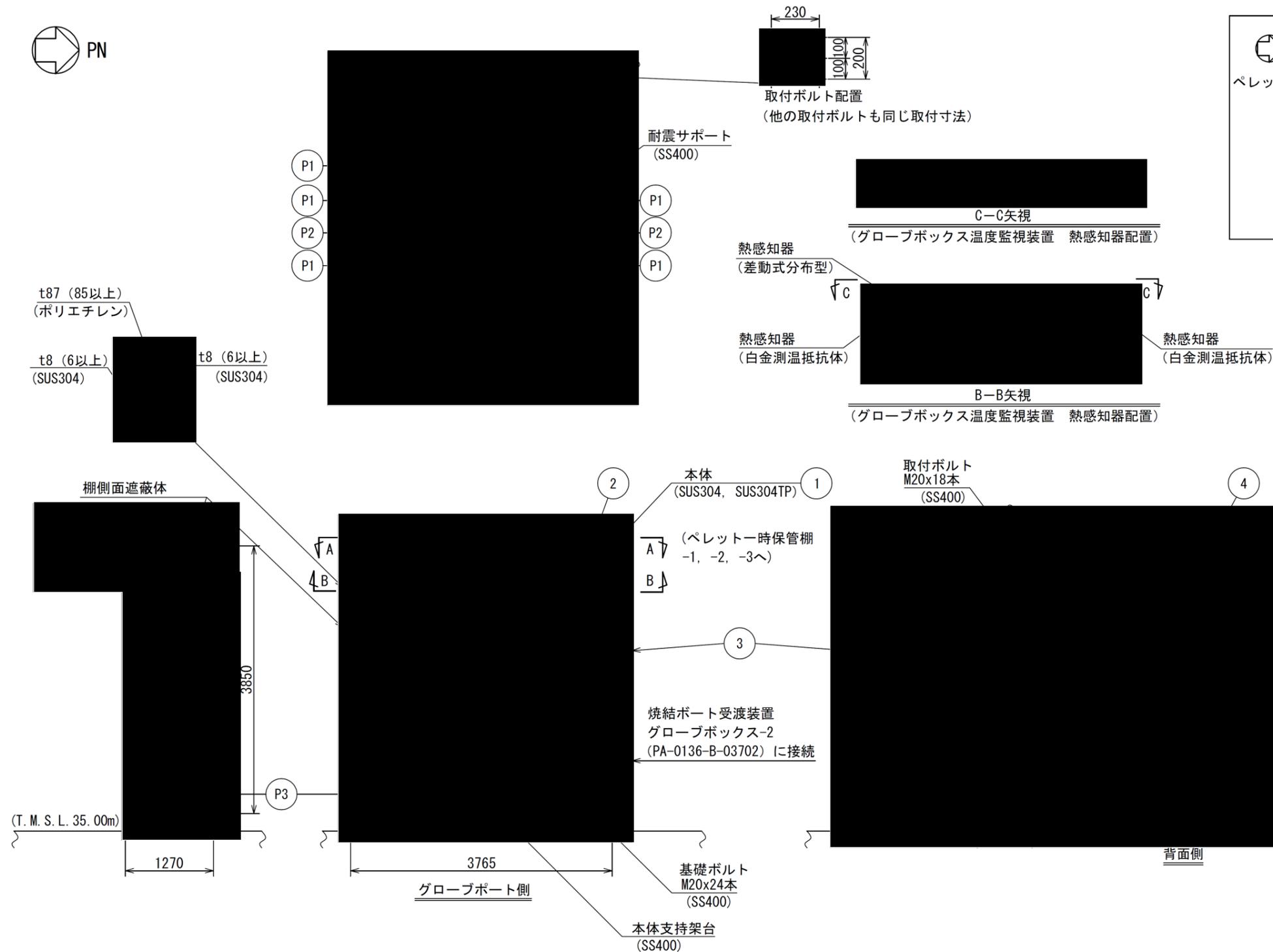
第2.5.4.5.8図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図

焼結ボート受渡装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8 (PA0136-M-03110, -03120, -03130, -03140, -03150, -03160, -03170, -03180) (1/2)～(2/2)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠	
焼結ボート受渡 装置-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7	たて	650	±10	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	700	±10	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	3760	±37	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
焼結ボート受渡 装置-8	たて	650	±10	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	700	±10	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	高さ	2200	±22	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
P3	消火ガス入口	25A	1
P2	排気口	100A	2
P1	給気口	□-100x100 (100A)	5

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
4	ステンレスパネル	1式
3	伸縮継手	1式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

特記事項

1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
3. () 内寸法は判定基準を示す。
4. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.5.9 図

核燃料物質の貯蔵施設

ペレット一時保管設備の構造図

ペレット一時保管棚グローブボックス-1

(PA0136-B-01701)

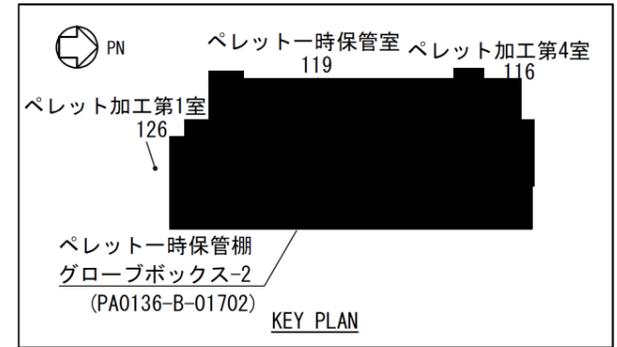
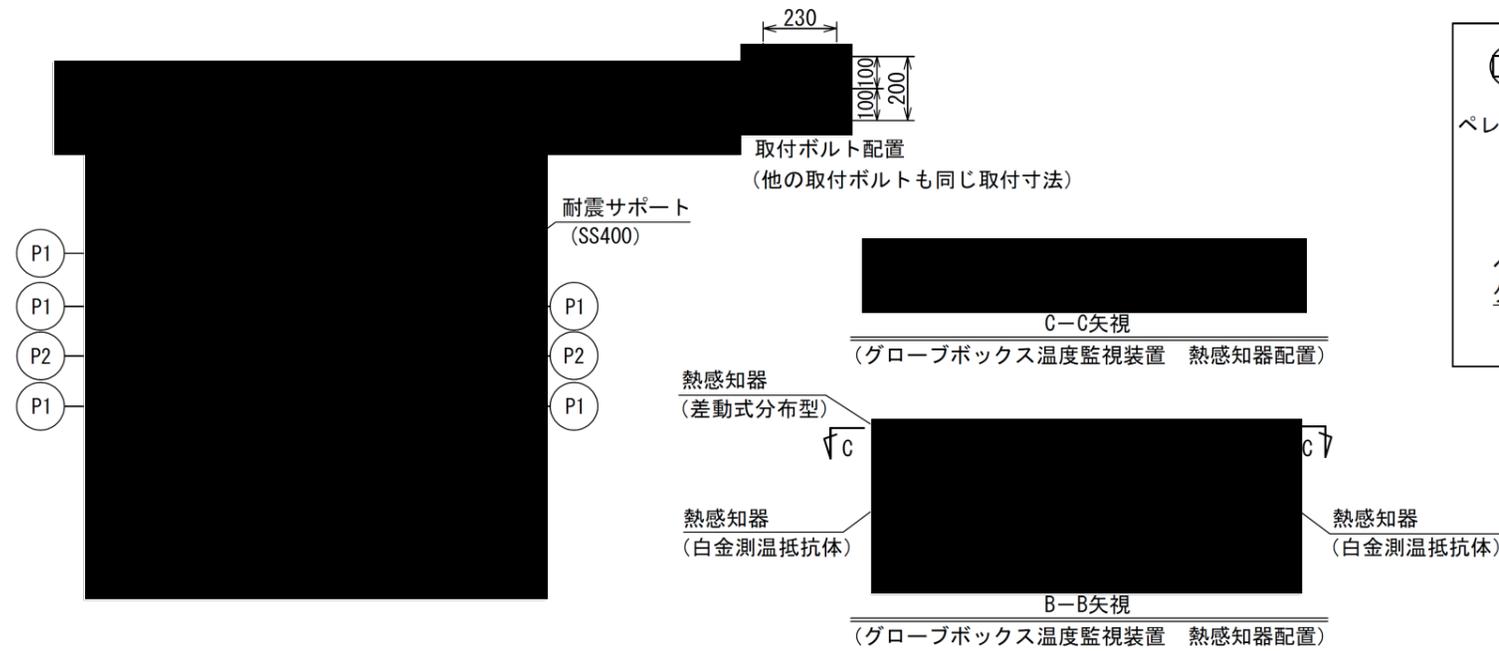
第2.5.4.5.9図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図

ペレット一時保管棚グローブボックス-1 (PA0136-B-01701)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
たて		1270	±16	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		3765	±37	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		3850	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
遮蔽体 の厚さ	棚側面	内側	8 +規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		中間	87 +規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		外側	8 +規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	1
P3	消火ガス入口	25A	1
P2	排気口	100A	2
P1	給気口	□-100x100 (100A)	5

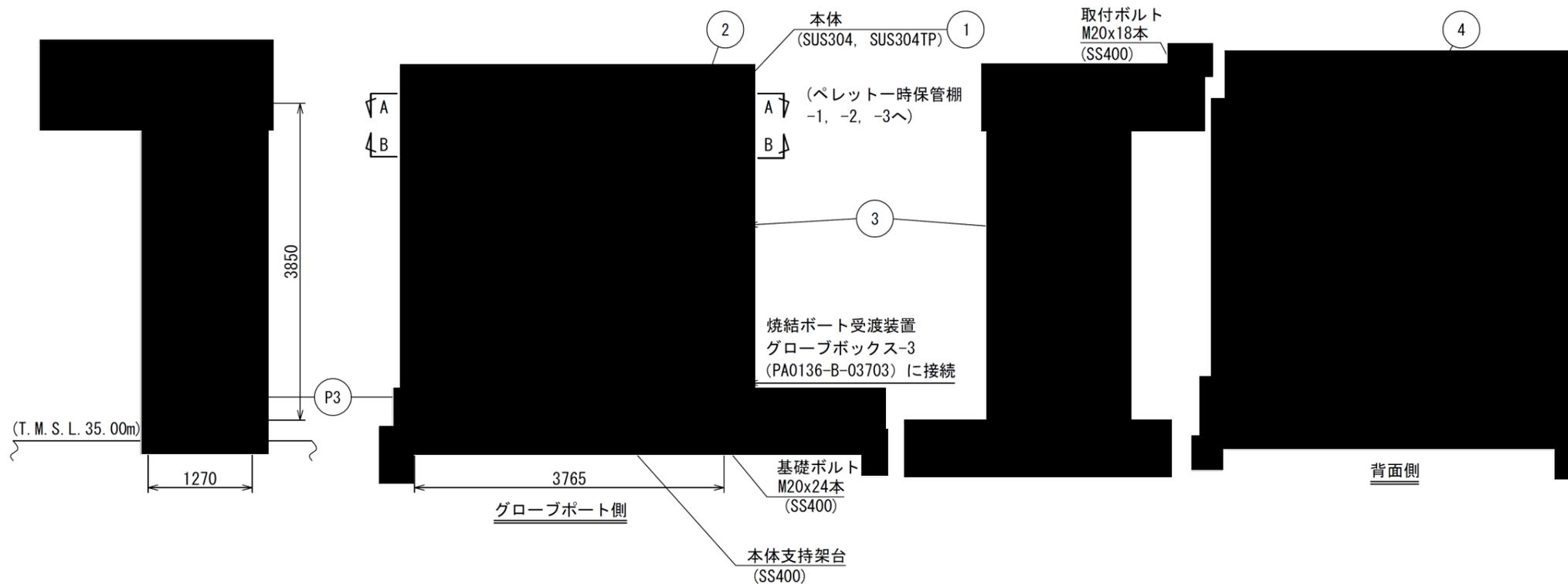
管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
4	ステンレスパネル	1式
3	伸縮継手	1式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。



特記事項

1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
3. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.5.10 図

核燃料物質の貯蔵施設

ペレット一時保管設備の構造図

ペレット一時保管棚グローブボックス-2

(PA0136-B-01702)

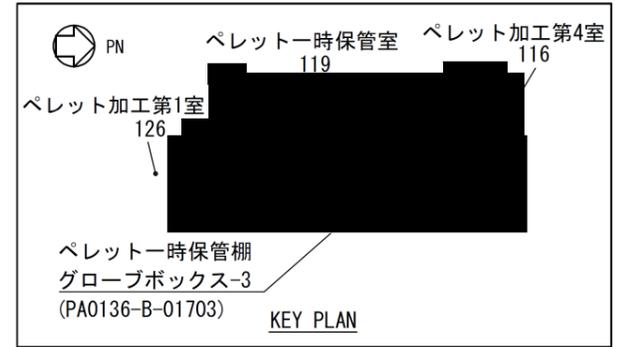
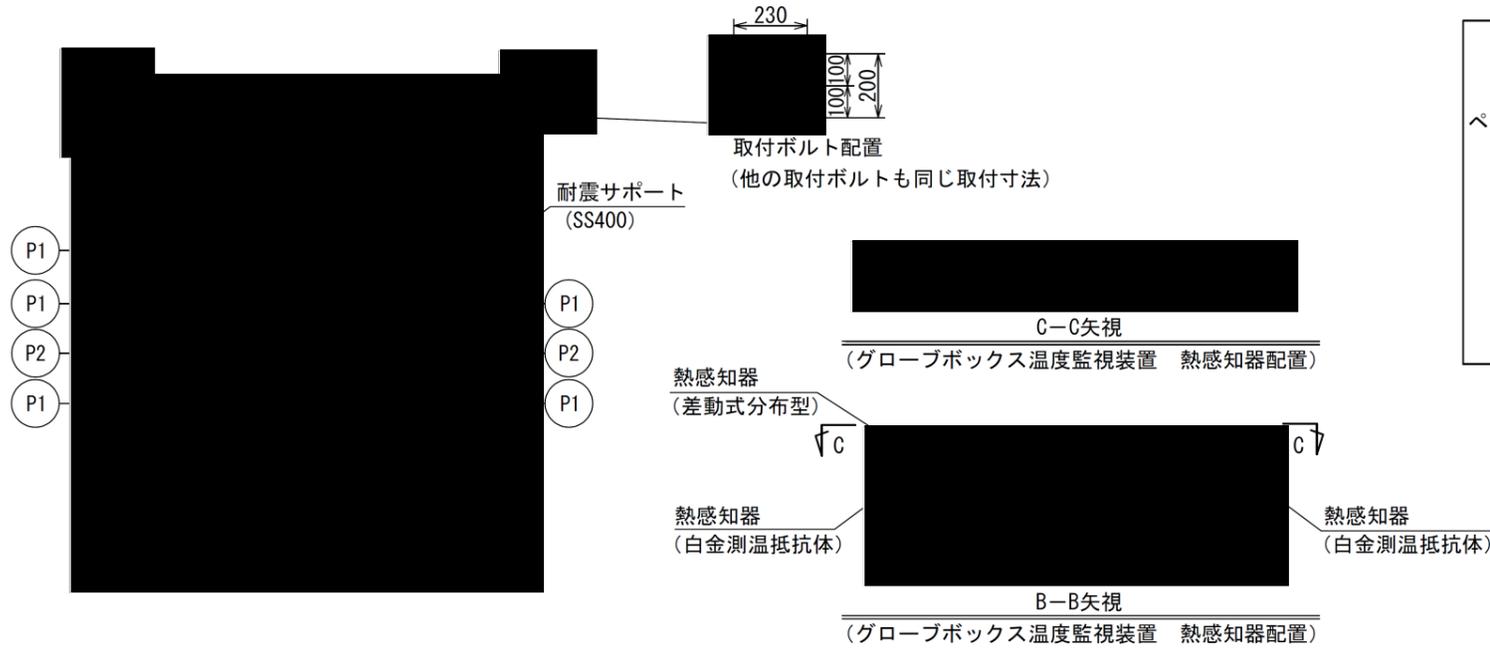
第2.5.4.5.10図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図

ペレット一時保管棚グローブボックス-2(PA0136-B-01702)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
	(mm)		
たて	1270	±16	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	3765	±37	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3850	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
P3	消火ガス入口	25A	1
P2	排気口	100A	2
P1	給気口	□-100x100 (100A)	5

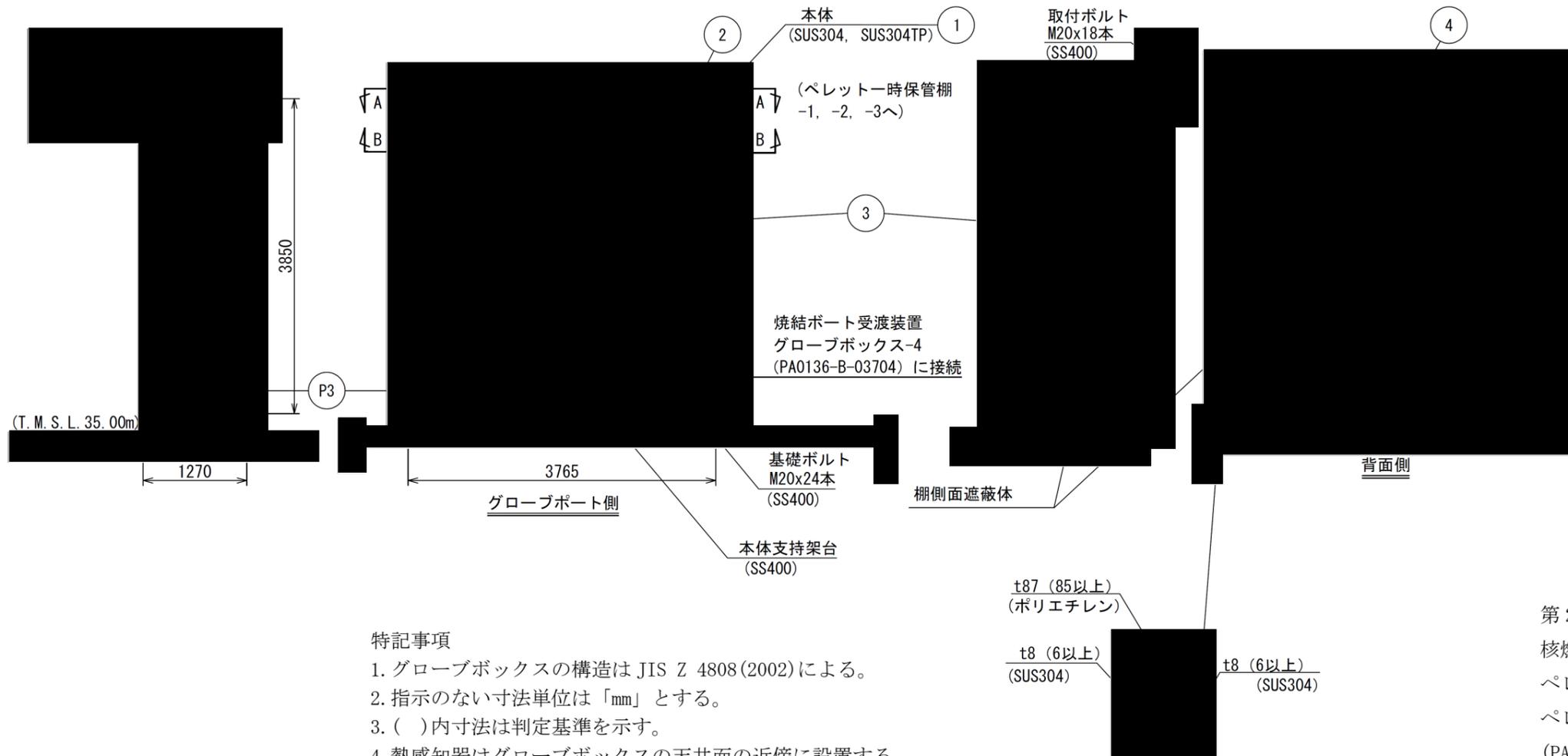
管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。

符号	名称	個数
4	ステンレスパネル	1式
3	伸縮継手	1式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。



- 特記事項
1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
 2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 3. () 内寸法は判定基準を示す。
 4. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.5.11 図
核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
ペレット一時保管棚グローブボックス-3
(PA0136-B-01703)

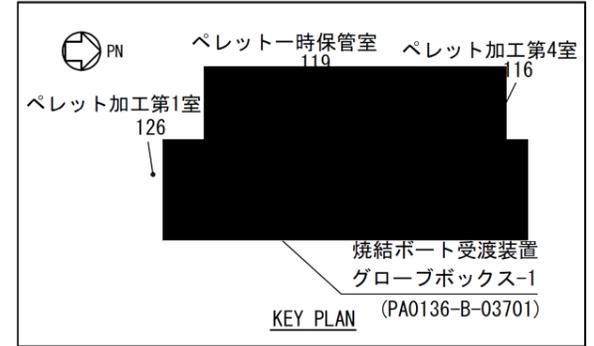
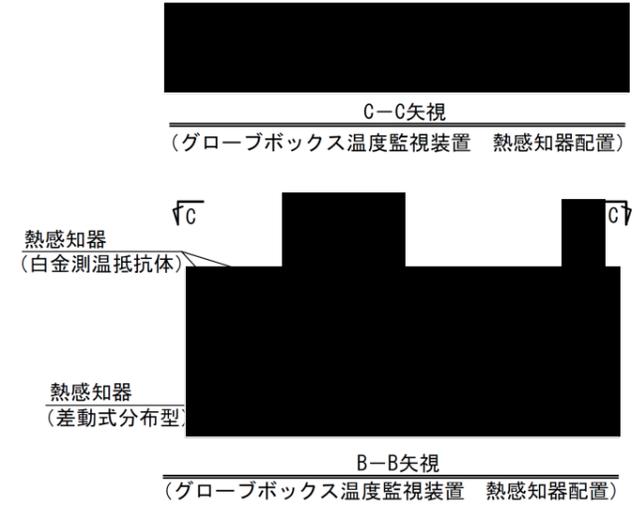
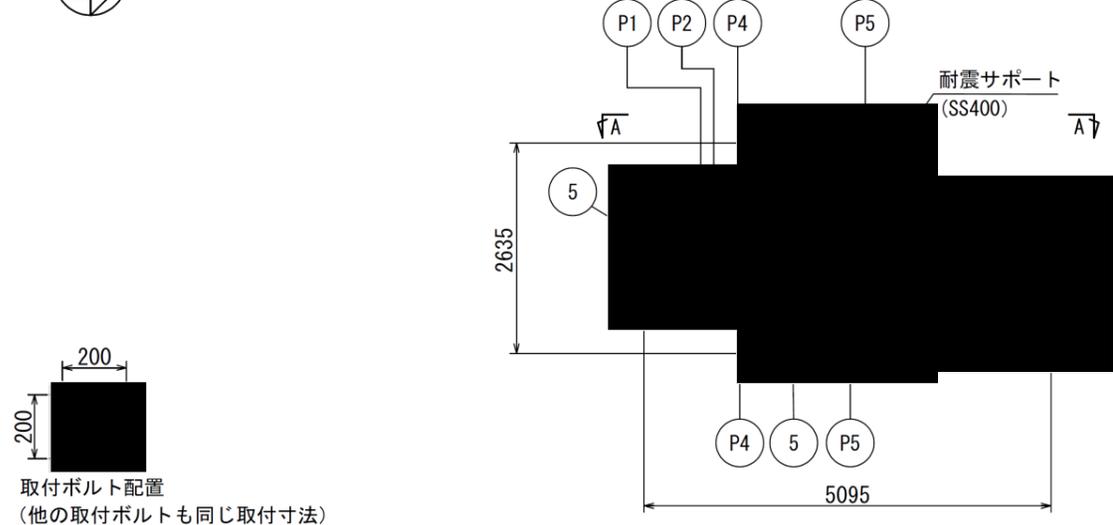
第2.5.4.5.11図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図

ペレット一時保管棚グローブボックス-3 (PA0136-B-01703)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
たて		1270	±16	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		3765	±37	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		3850	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
遮蔽体 の厚さ	棚側面	内側	8 +規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		中間	87 +規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		外側	8 +規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

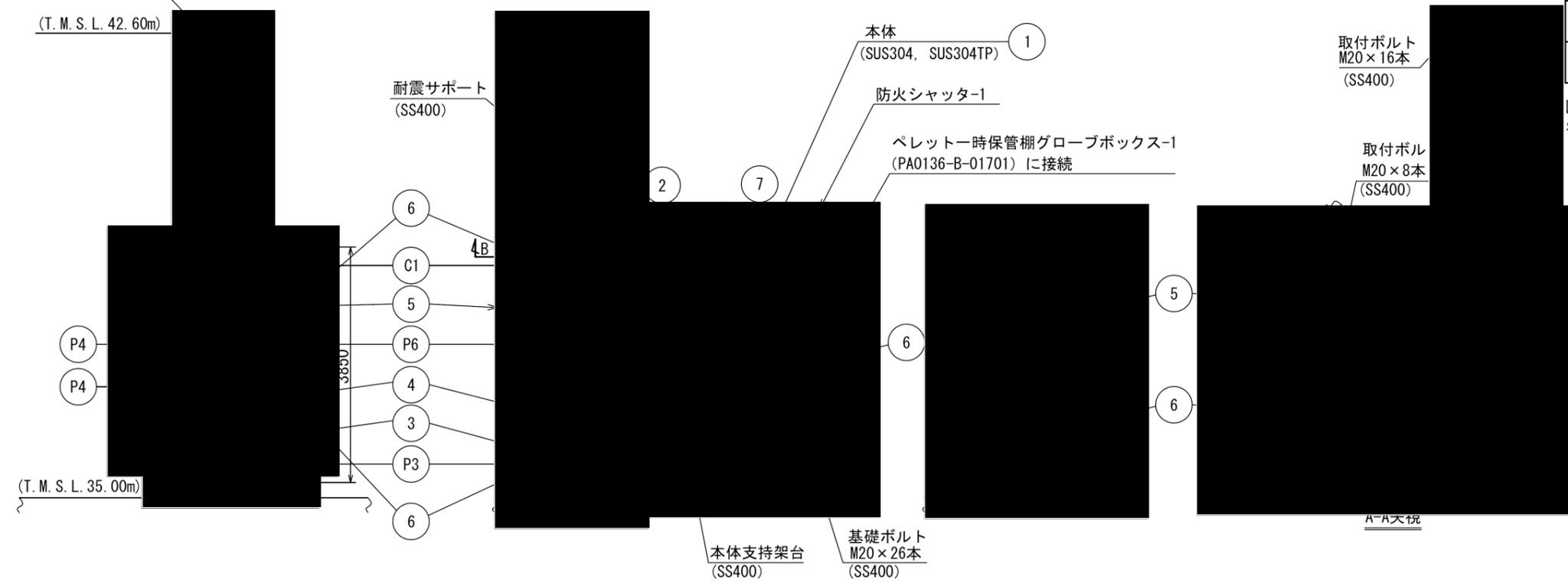
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
C1	差圧計	10A	1
P6	給気口	100A	1
P5	窒素ガス入口	15A	2
P4	予備	15A	4
P3	消火ガス入口	20A	1
P2	排気口	100A	1
P1	給気口	□-125x100 (125A)	1

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。



7	ステンレスパネル	1式
6	伸縮継手	4式
5	コネクタ部	4式
4	搬出入口 (小)	1式
3	搬出入口 (大)	1式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

- 特記事項
1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
 2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 3. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.5.12 図
核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
焼結ボート受渡装置グローブボックス-1 (PA0136-B-03701)

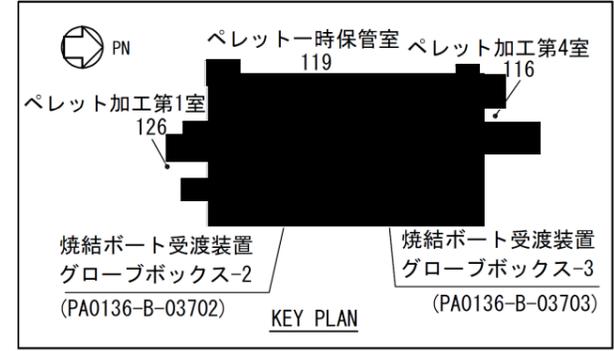
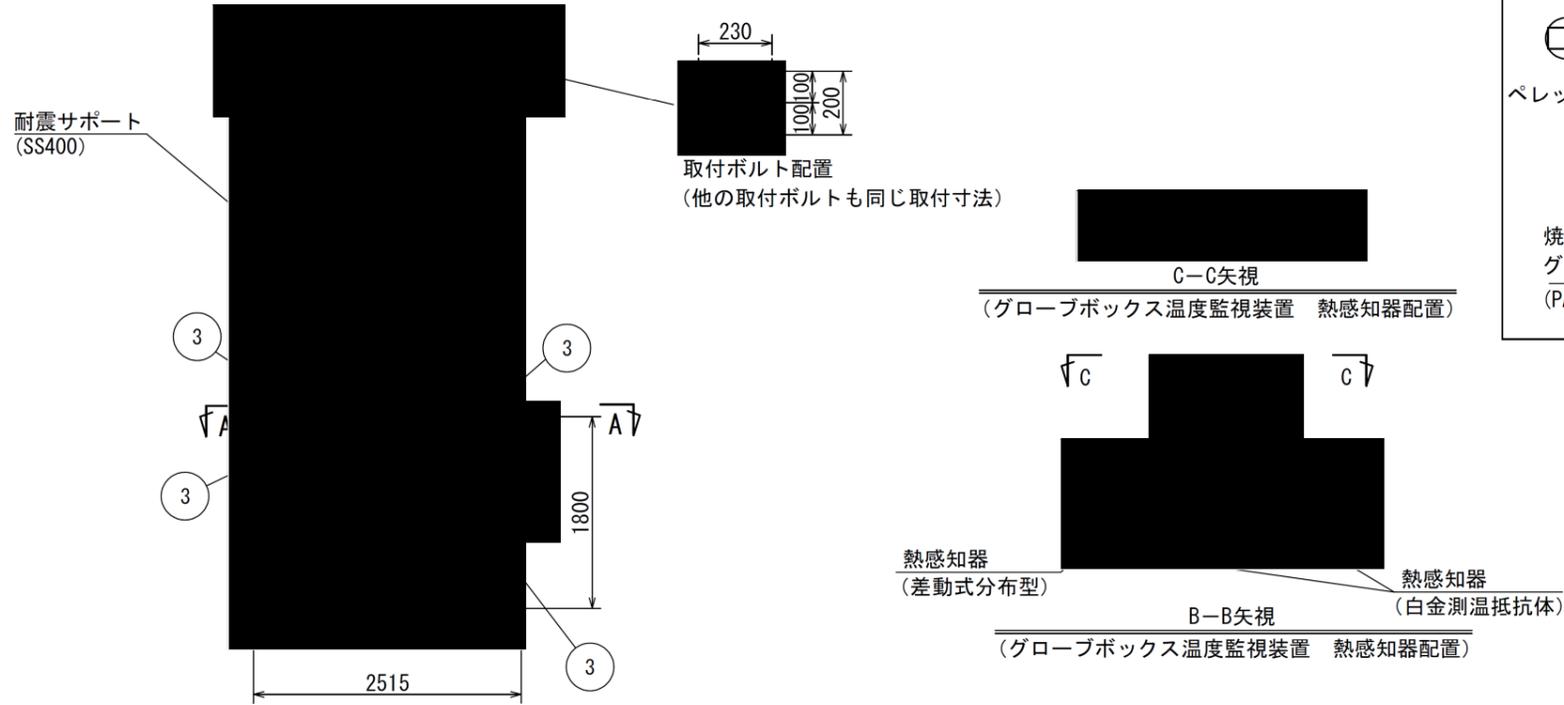
第2.5.4.5.12図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図

焼結ボート受渡装置グローブボックス-1 (PA0136-B-03701)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
	(mm)		
たて	2635	±28	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	5095	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3850	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

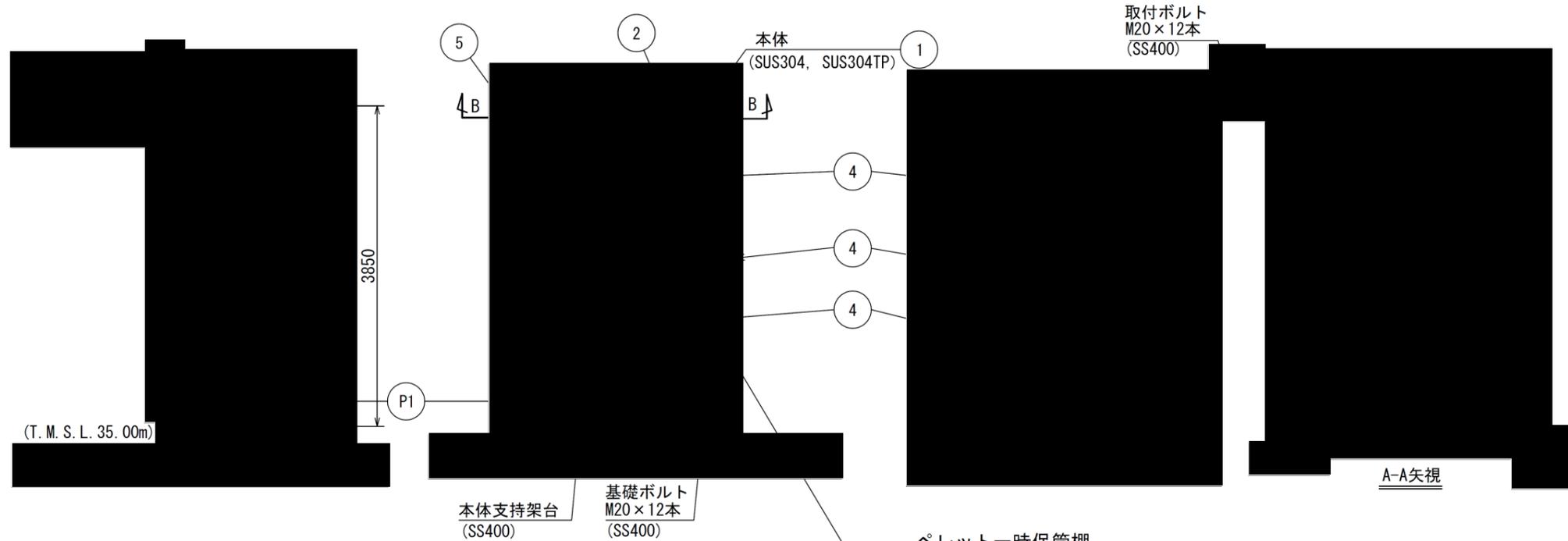
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



符号	名称	呼び径	個数
P2	窒素ガス入口	15A	1
P1	予備	15A	2

管台一覧表

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管等の状況を示す。



符号	名称	個数
5	ステンレスパネル	1式
4	伸縮継手	3式
3	コネクタ部	4式
2	窓板	1式
1	本体	1基

部品表

個数は、グローブボックス1基当たりの個数を示す。

- 特記事項
1. グローブボックスの構造は JIS Z 4808 (2002) による。
 2. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
 3. 熱感知器はグローブボックスの天井面の近傍に設置する。

第 2.5.4.5.13 図
核燃料物質の貯蔵施設
ペレット一時保管設備の構造図
焼結ボート受渡装置グローブボックス-2, -3
(PA0136-B-03702, -03703)

第2.5.4.5.13図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図

焼結ボート受渡装置グローブボックス-2, -3 (PA0136-B-03702, -03703)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
(mm)			
たて	1800	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	2515	±28	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3850	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

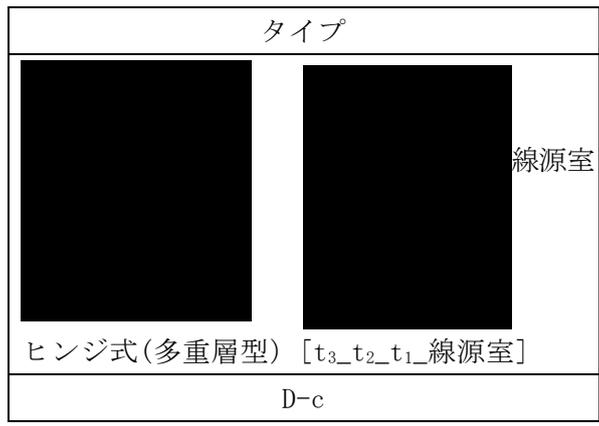
第2.5.4.5.14図

核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4 (PA0136-B-03704)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
	(mm)		
たて	1820	±18	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	5450	±50	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3850	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



第2.5.4.5-15図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図
 遮蔽扉(ペレット一時保管設備)

(続き)

遮蔽扉の遮蔽設計上考慮する厚さ及び材料

遮蔽扉 番号	構造	厚さ (mm)	材料	隣接部屋番号	
				線源室	線源室外
<D9> <D10>	D-c	t ₁ :6	SUS304	119 (ペレット一時保管室)	126
		t ₂ :85	ポリエチレン*		(ペレット加工第1室)
		t ₃ :6	SUS304		116 (ペレット加工第4室)

注記 * : ポリエチレンは鋼材により被覆する構造とする。

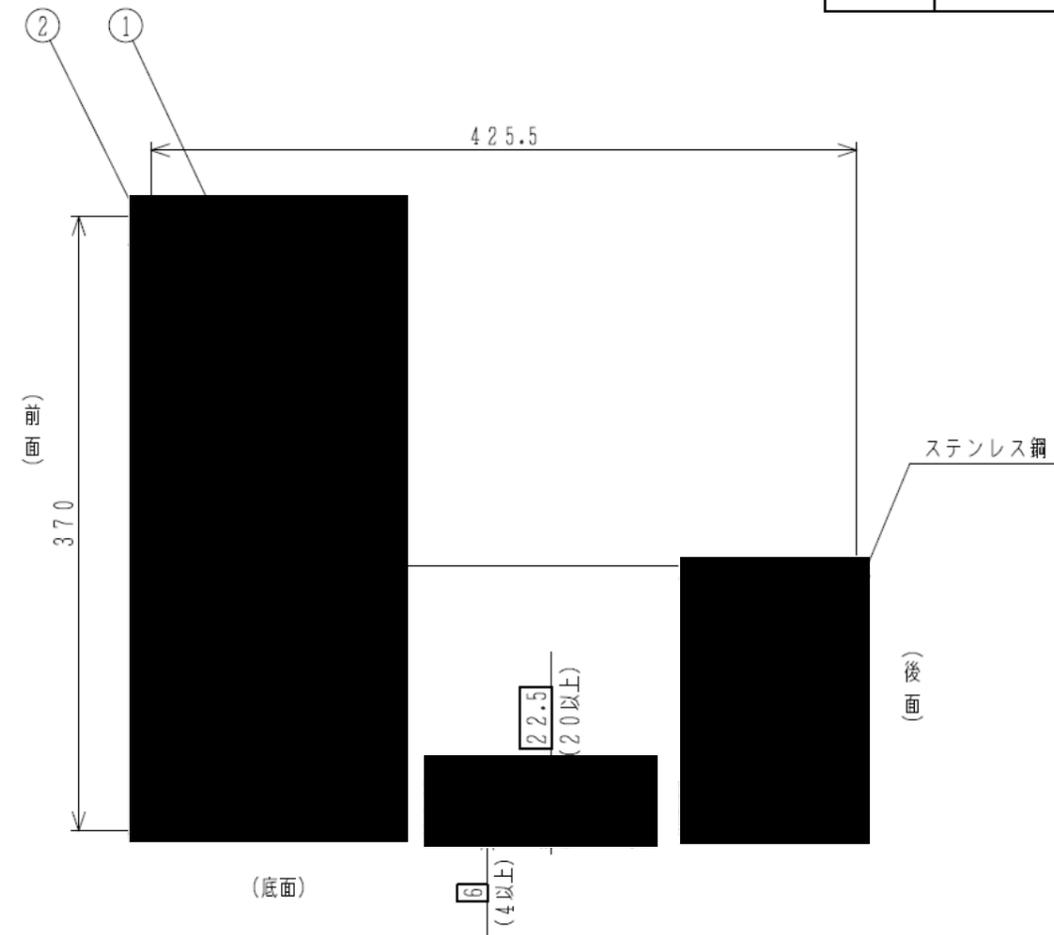
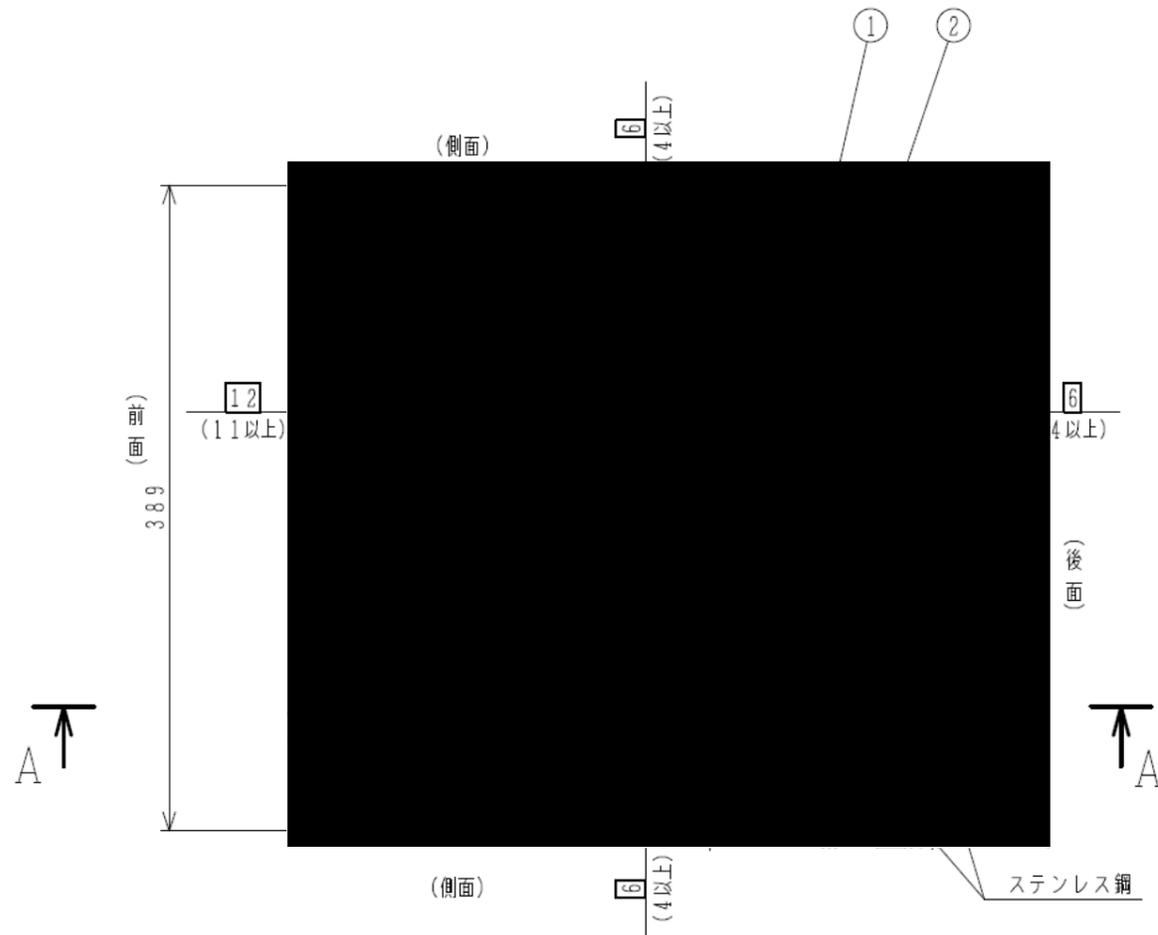
第2.5.4.5-15図 核燃料物質の貯蔵施設 ペレット一時保管設備の構造図
遮蔽扉(ペレット一時保管設備)

遮蔽扉番号<D9, D10>

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
遮蔽扉	$t_1 : 8$	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	$t_2 : 87$	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	$t_3 : 8$	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

No.	名称
①	ポリエチレン
②	SUS304



断面 A - A

特記事項

- 内寸法は、遮蔽上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.6.1 図

核燃料物質の貯蔵施設
スクラップ貯蔵設備の構造図
収納パレット

第2.5.4.6.1図

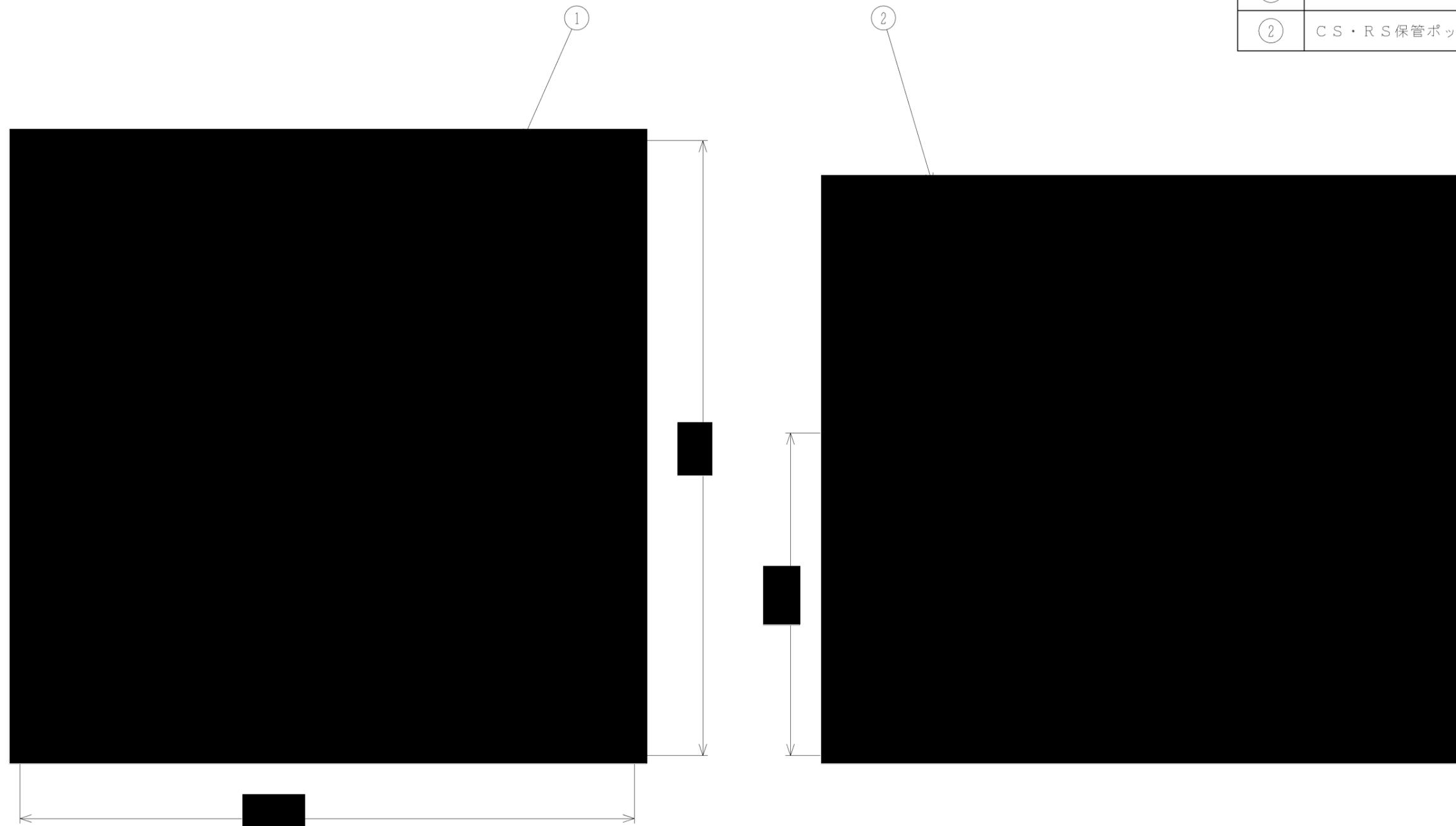
核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図

収納パレット

主要寸法*		許容範囲	根拠		
(mm)		(mm)			
たて	389	±2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準		
横	425.5	±3	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準		
高さ	370	±2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準		
厚さ	側面	6	±0.3	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準	
	前面	12	±0.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準	
	後面	6	±0.3	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準	
遮蔽体の厚さ	内側	側面	22.5	+規定しない -2.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		前面	52	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		後面 ・ 底面	22.5	+規定しない -2.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	外側	側面	6	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		前面	12	+規定しない -1	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		後面 ・ 底面	6	+規定しない -2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

No.	名称
①	9 缶バスケット
②	CS・RS 保管ポット



特記事項

1. 臨界安全上、CS・RS 保管ポット収納数を 9 缶以下とする。
2. 寸法単位は「mm」とする。
3. CS・RS 保管ポットの積載数を 9 缶以下に制限する設計とする。

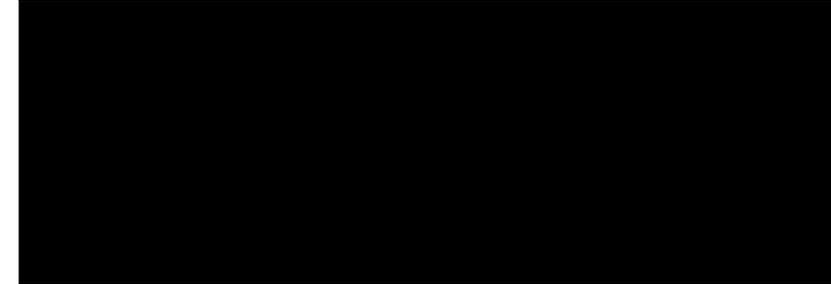
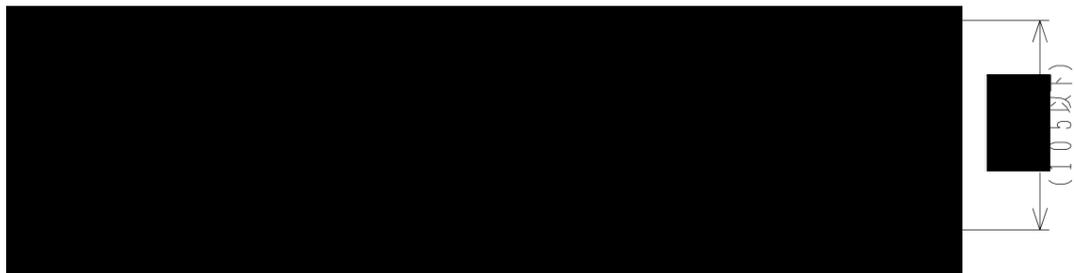
第 2.5.4.6.2 図
核燃料物質の貯蔵施設
スクラップ貯蔵設備の構造図
容器(9 缶バスケット)

第2.5.4.6.2図

核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図
容器(9缶バスケット)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて		±6	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		±6	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		±5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ		±0.3	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



特記事項

1. □内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
2. 寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.6.3 図

核燃料物質の貯蔵施設
スクラップ貯蔵設備の構造図
容器(規格外ペレット保管容器)

第2.5.4.6.3図

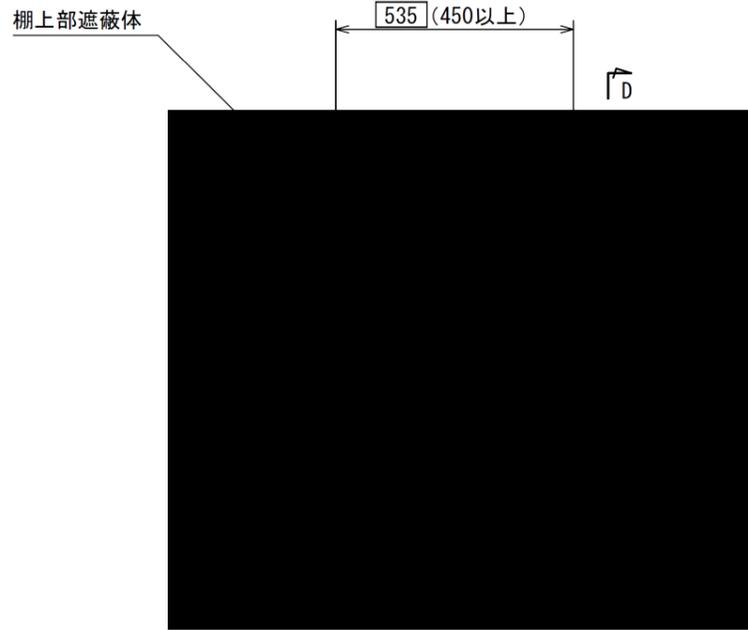
核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図
容器(規格外ペレット保管容器)

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
たて		+1 -0	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		+1 -0	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		±3.5	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ		±0.2	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

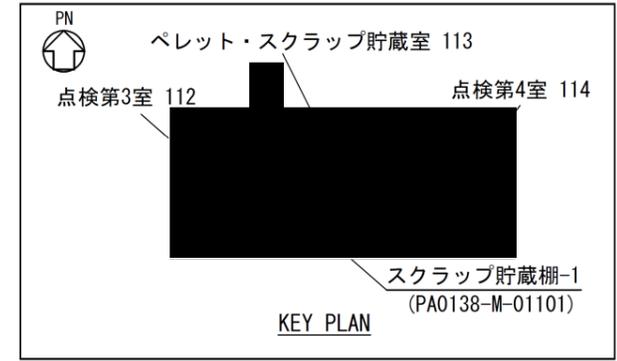
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



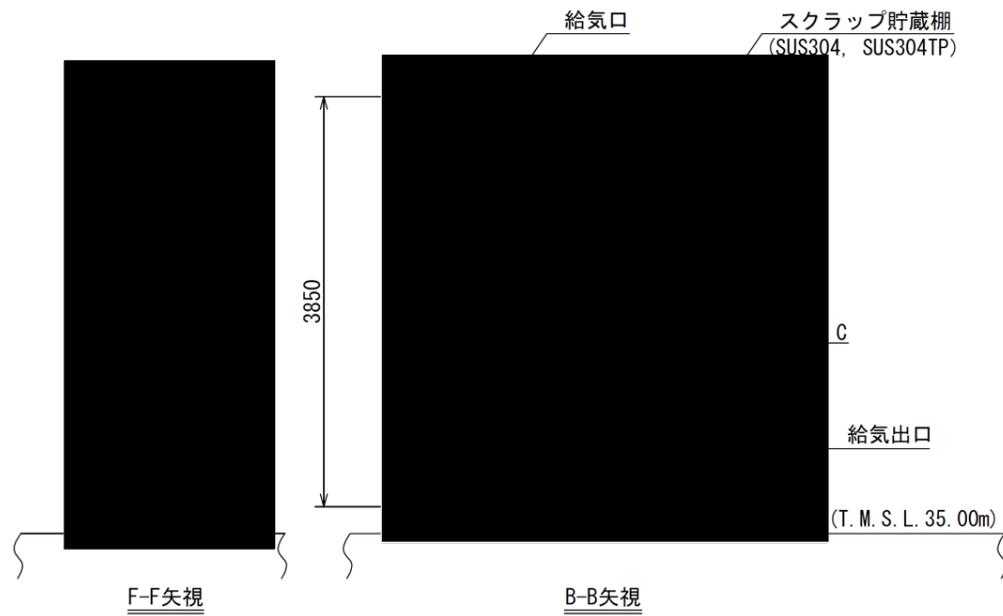
A-A矢視
(スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1より)



C部詳細



H部詳細

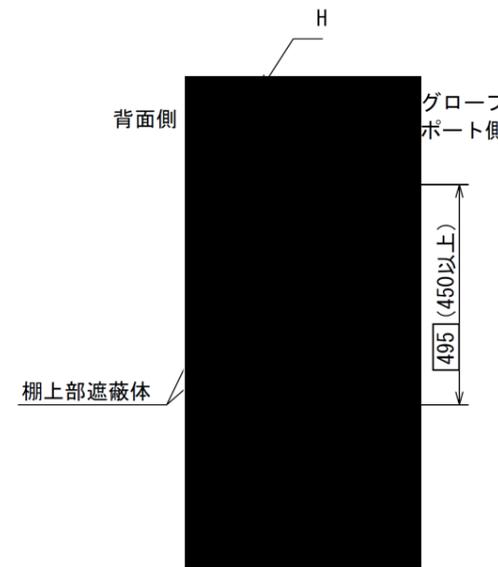


F-F矢視

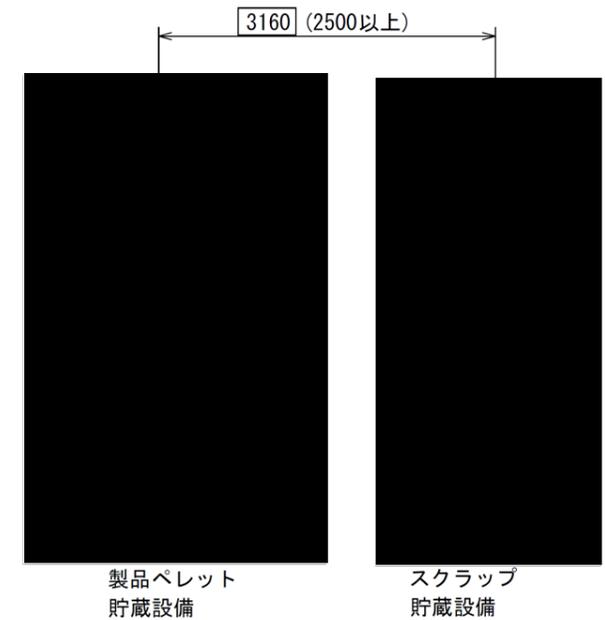
B-B矢視



G-G矢視



D-D矢視



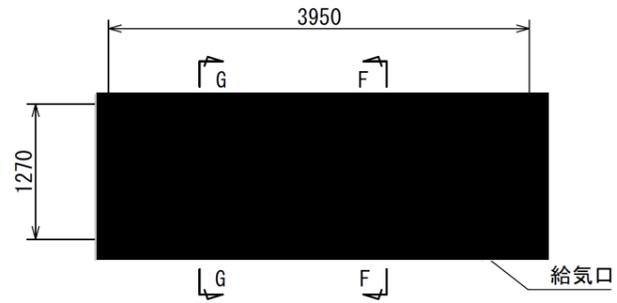
E-E矢視

特記事項

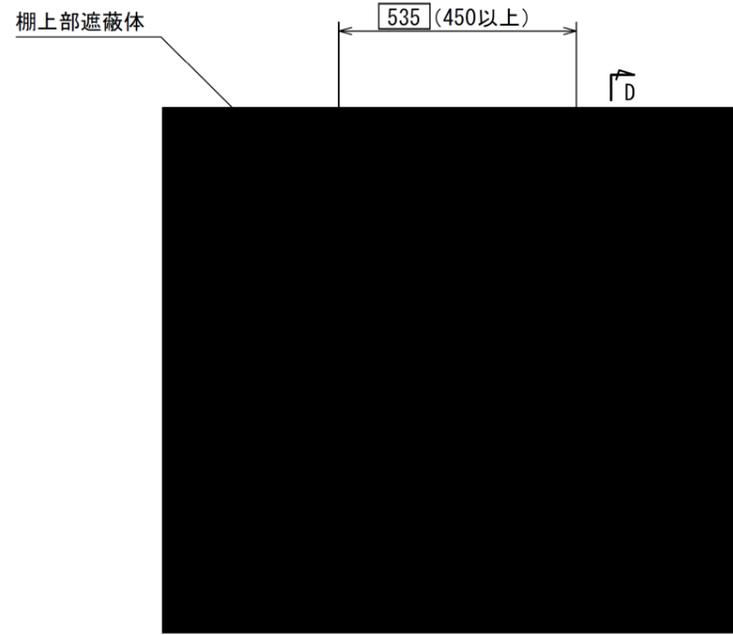
- 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.6.4 図

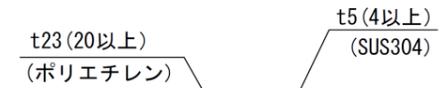
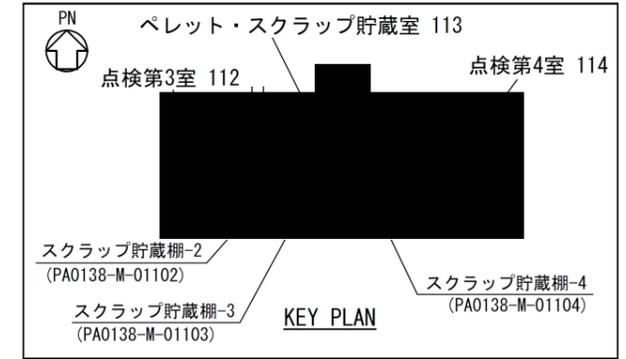
核燃料物質の貯蔵施設
スクラップ貯蔵設備の構造図
スクラップ貯蔵棚-1
(PA0138-M-01101)



A-A矢視
(スクラップ貯蔵棚グローブボックス-2, -3, -4より)

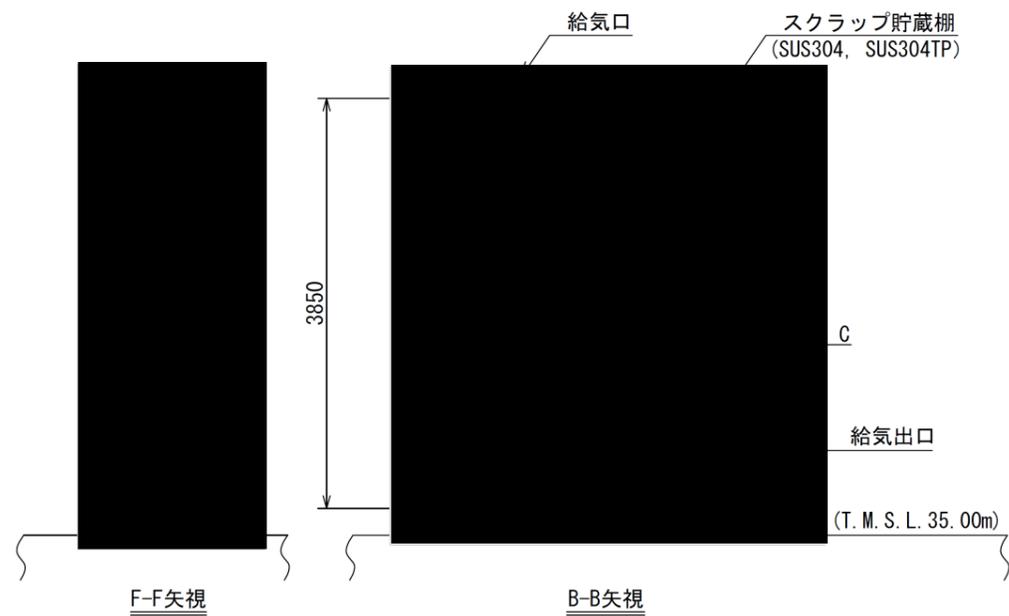


C部詳細



H部詳細

落下防止金具

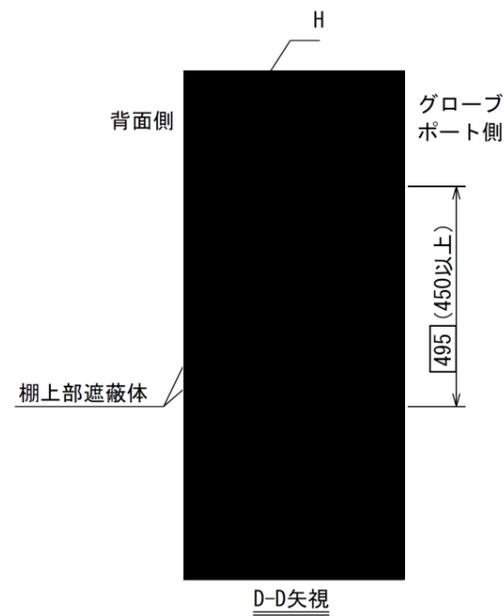


F-F矢視

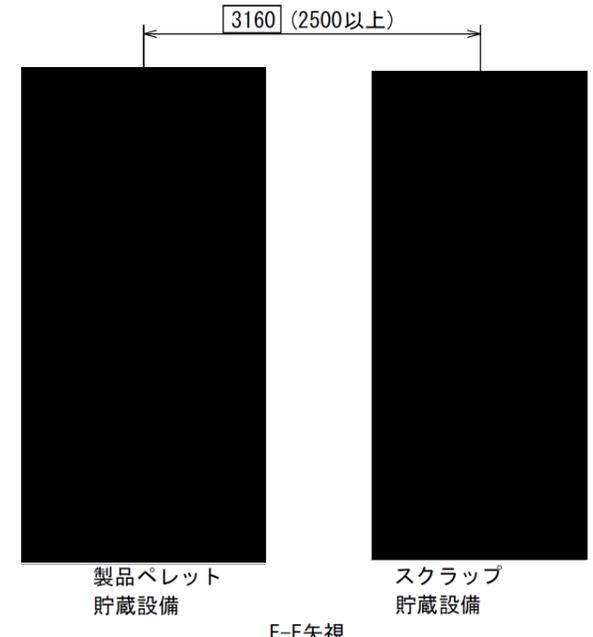
B-B矢視



G-G矢視



D-D矢視



E-E矢視

特記事項

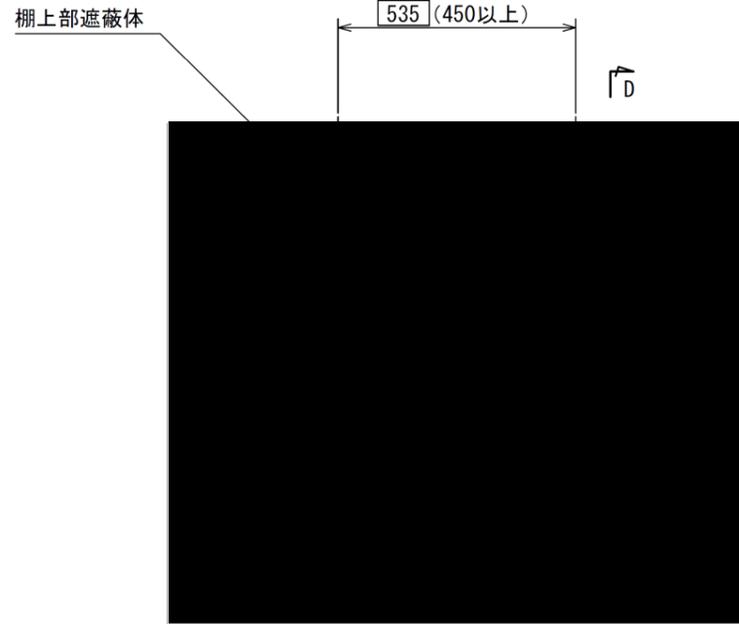
- 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第 2.5.4.6.5 図

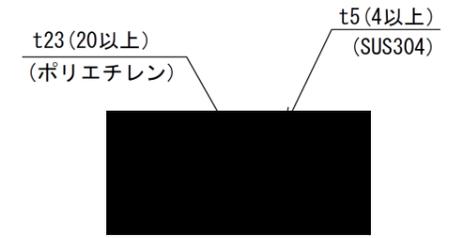
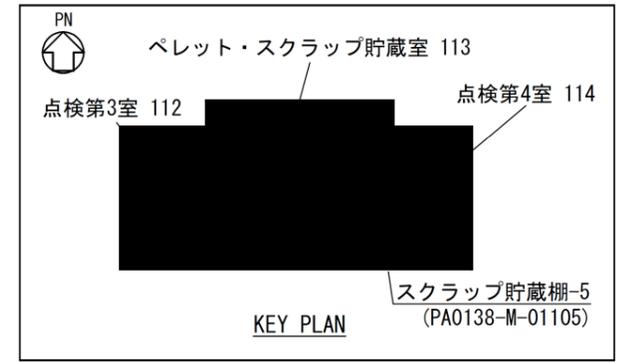
核燃料物質の貯蔵施設
スクラップ貯蔵設備の構造図
スクラップ貯蔵棚-2, -3, -4
(PA0138-M-01102, -01103, -01104)



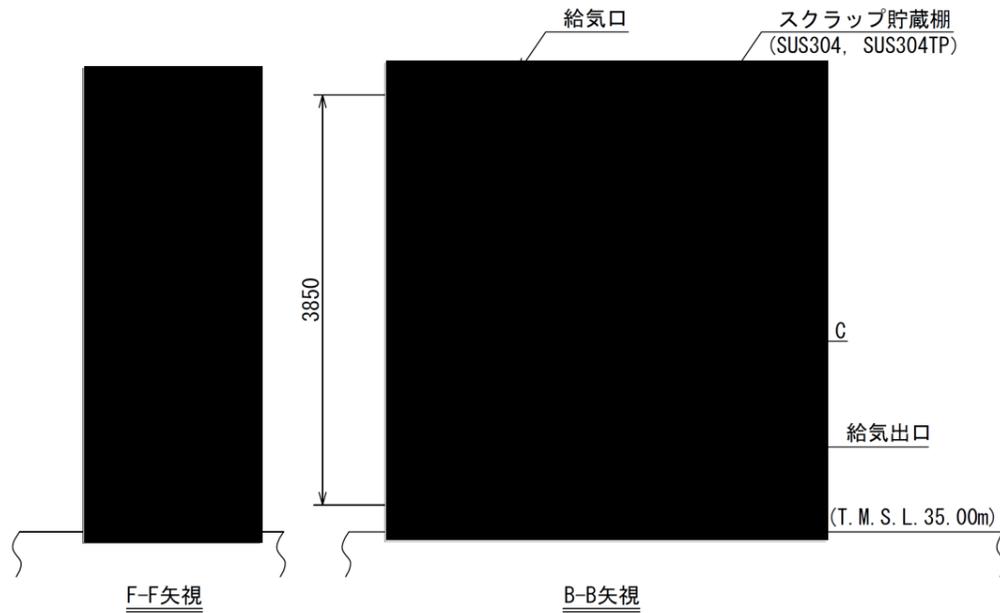
A-A矢視
(スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5より)



C部詳細

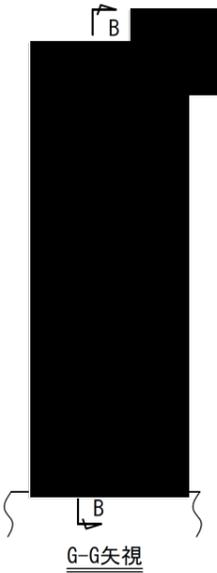


H部詳細

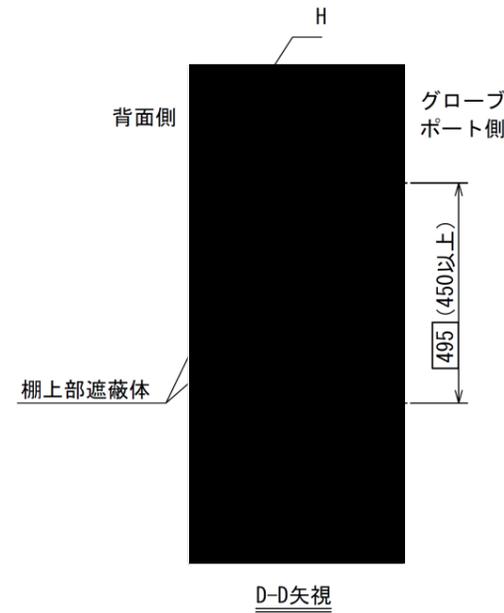


F-F矢視

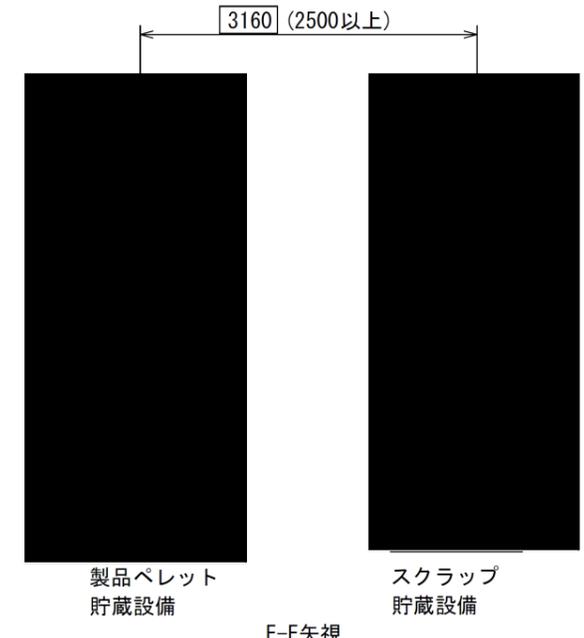
B-B矢視



G-G矢視



D-D矢視



E-E矢視

特記事項

- 内寸法は、臨界安全上の制約がある寸法を示す。
()内寸法は、判定基準を示す。
- 指示のない寸法単位は「mm」とする。

第 2. 5. 4. 6. 6 図

核燃料物質の貯蔵施設
スクラップ貯蔵設備の構造図
スクラップ貯蔵棚-5
(PA0138-M-01105)

第2.5.4.6.4図 核燃料物質の貯蔵施設

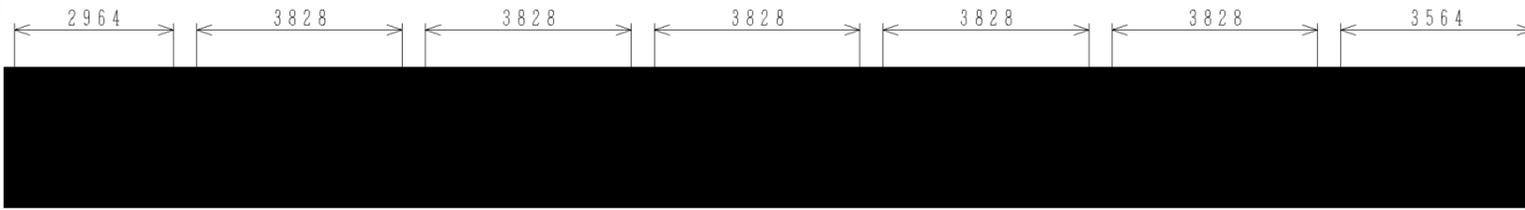
スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ貯蔵棚-1 (PA0138-M-01101)～

第2.5.4.6.6図 核燃料物質の貯蔵施設

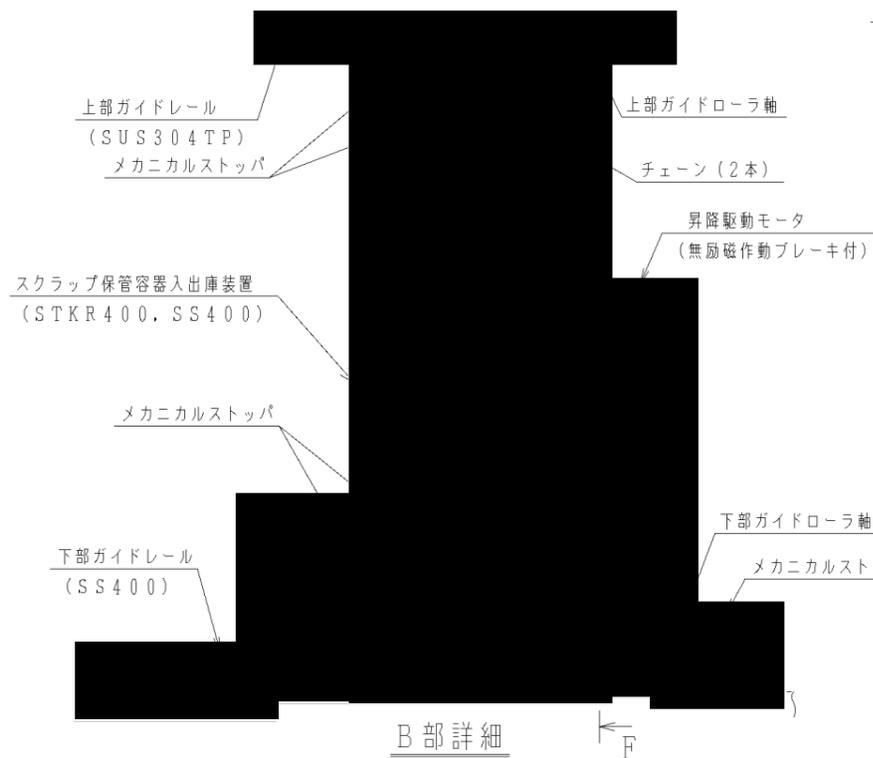
スクラップ貯蔵設備の構造図 スクラップ貯蔵棚-5 (PA0138-M-01105)

主要寸法* (mm)			許容範囲 (mm)	根拠
たて		1270	±16	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横		3950	±39	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ		3850	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
中心間距離 (棚間隔)	段方向	495	±8	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	列方向	535	±9	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
遮蔽体 の厚さ	棚上部	内側	+規定しない -3	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
		外側	+規定しない -1	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

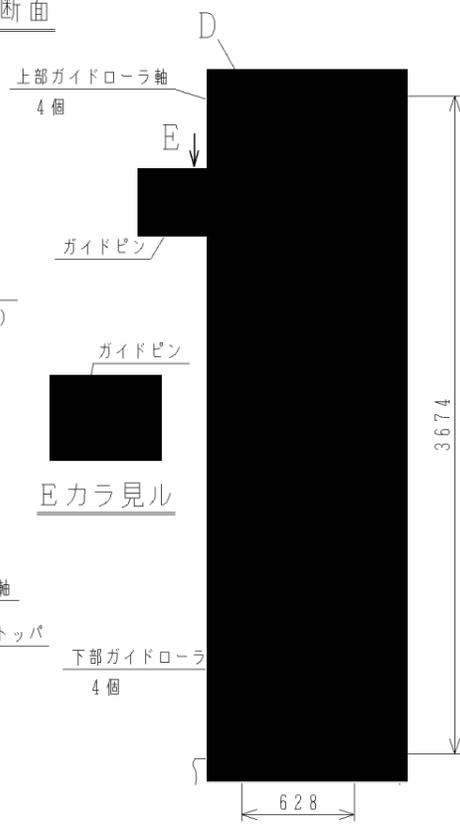
注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



A-A断面

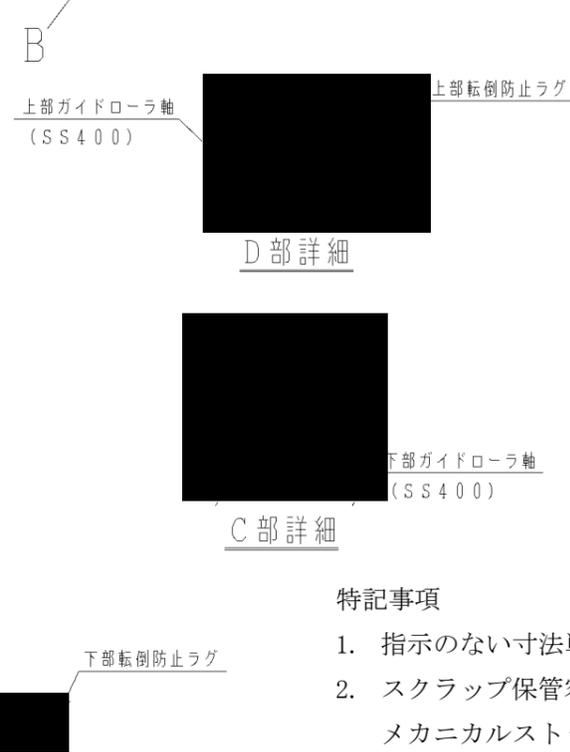


B部詳細



Eカラ見ル

F-F断面



D部詳細

C部詳細

特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. スクラップ保管容器入庫装置のスライド部にメカニカルストップを設置する。

第 2.5.4.6.7 図

核燃料物質の貯蔵施設

スクラップ貯蔵設備の構造図

スクラップ保管容器入庫装置

(PA0138-M-02101)

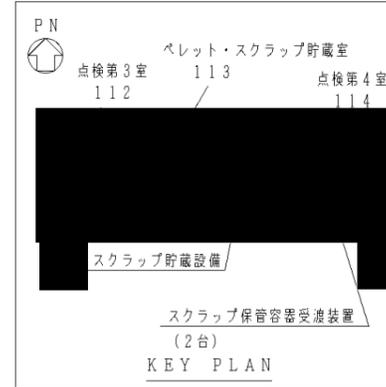
第2.5.4.6.7図

核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図

スクラップ保管容器入出庫装置(PA0138-M-02101)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
	(mm)		
たて	628	±9	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	2964	±28	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	3564	±35	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	3828	±38	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3674	±36	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。



(T. M. S. L. 35.00m)



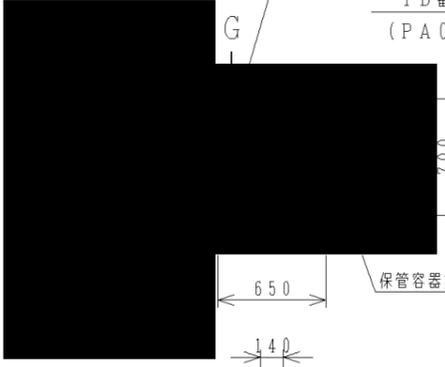
スクラップ保管容器受渡装置-1
(PA0138-M-03110)
ID番号読取機-1
(PA0138-S-03001)

取付ボルト
M8×8本/台
(SUS304)

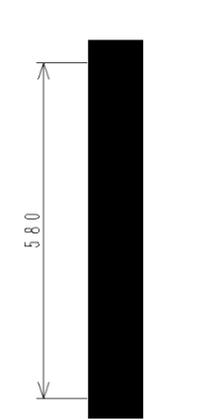
スクラップ保管容器受渡装置-2
(PA0138-M-03120)
ID番号読取機-2
(PA0138-S-03002)



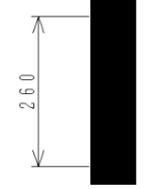
D-D断面



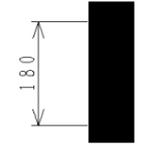
E-E断面



Gカラ見ル
(取付ボルト配置)



F-F断面
(取付ボルト配置)



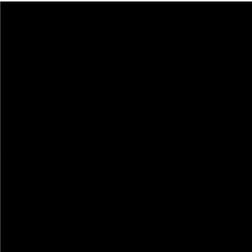
H-H断面
(取付ボルト配置)

昇降駆動モータ
(無励磁作動ブレーキ付)
保管容器取扱機
(昇降部)
(開閉方向)
把持部
取付ボルト
M10×3本/台
(SUS304)
取付ボルト
M10×2本/台
(SUS304)
メカニカルストップ
メカニカルストップ

把持駆動モータ
(無励磁作動ブレーキ付)
メカニカルストップ
(スクラップ保管容器入出庫装
閉方向)
把持部
ガイド×2
内装架台
(STKR400, SS400)
メカニカルストップ
昇降台

取付ボルト(上部)
M16×8本/台
(SS400)
昇降駆動モータ
(無励磁作動ブレーキ付)
取付ボルト(下部)
M16×4本/台
(SS400)

ガイド×2
保管容器搬送コンベア



B部詳細

取付ボルト
M10×3本/台
(SUS304)
取付ボルト
M10×2本/台
(SUS304)
メカニカルストップ
メカニカルストップ

Cカラ見ル



A-A断面

特記事項

1. 指示のない寸法単位は「mm」とする。
2. 本設備には、計量設備(ID番号読取機)を設置する。
(次回以降申請)
3. 保管容器取扱機-1,-2の昇降部にメカニカルストップを設置する。
4. 保管容器搬送コンベア-1,-2のスライド部にメカニカルストップを設置する。

第2.5.4.6.8図

核燃料物質の貯蔵施設
スクラップ貯蔵設備の構造図
スクラップ保管容器受渡装置-1, -2
(PA0138-M-03110, -03120)

第2.5.4.6.8図

核燃料物質の貯蔵施設 スクラップ貯蔵設備の構造図

スクラップ保管容器受渡装置-1, -2 (PA0138-M-03110, -03120)

主要寸法*		許容範囲 (mm)	根拠
	(mm)		
たて	650	±10	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	700	±10	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	2860	±28	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。